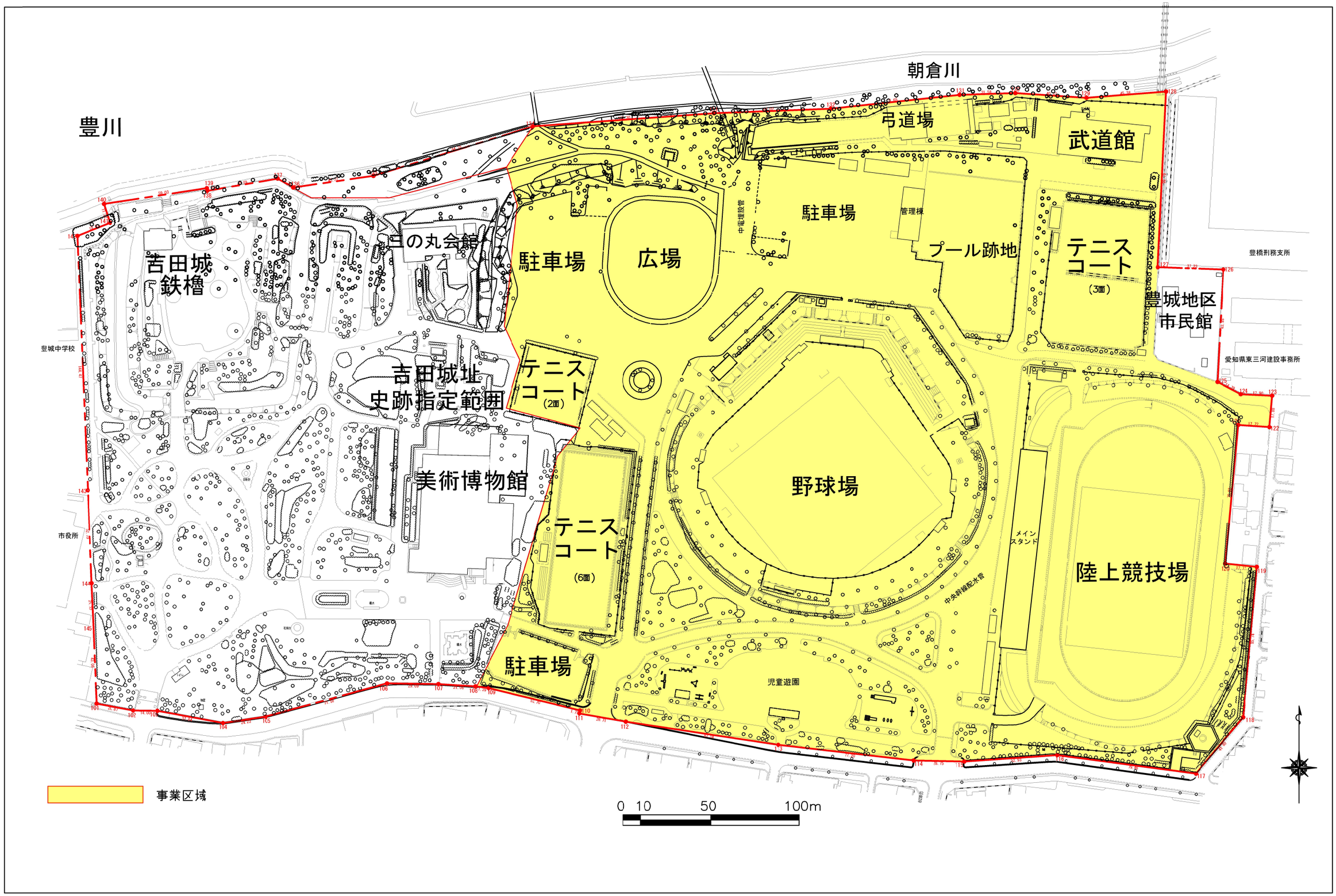
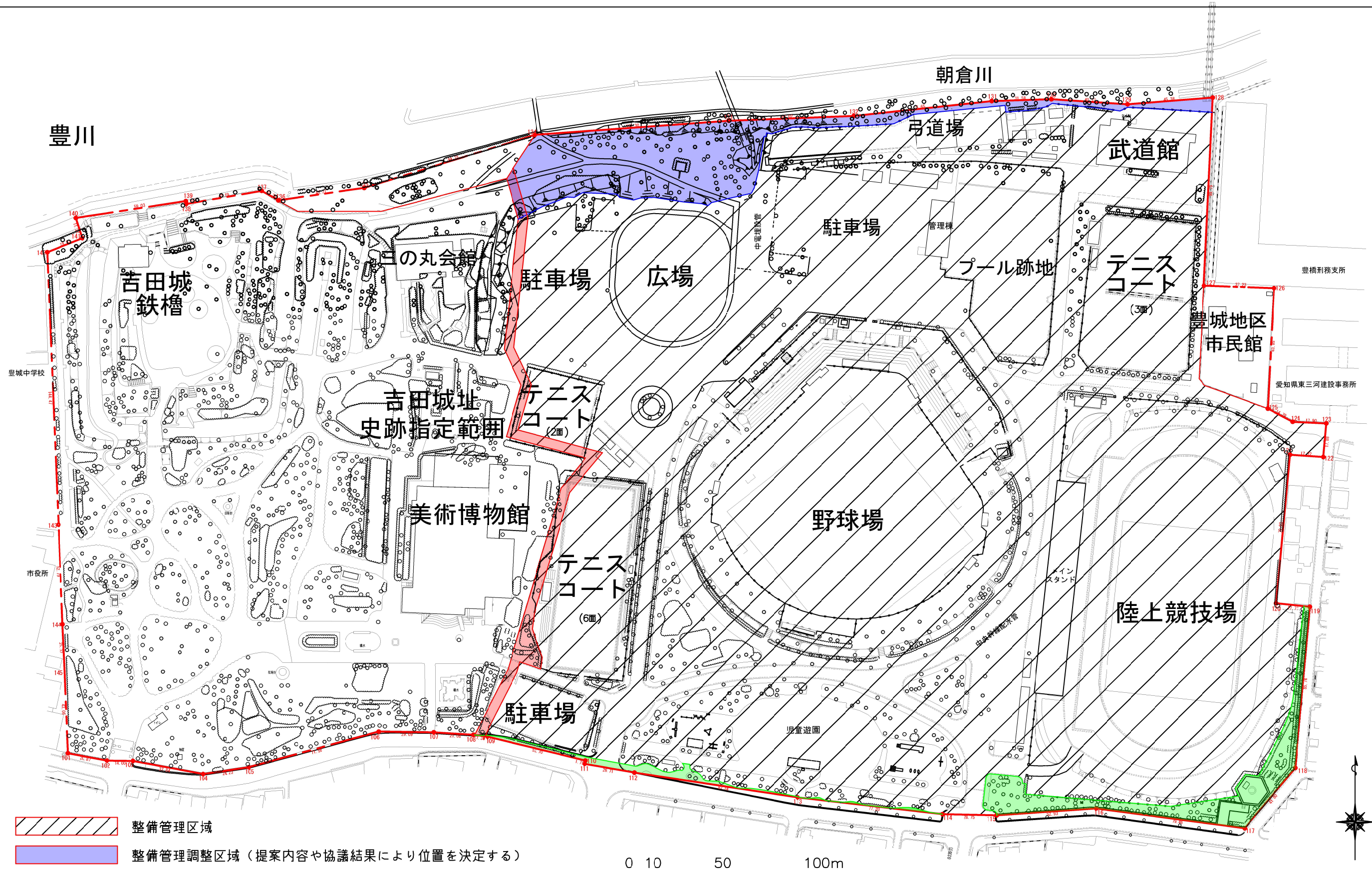
別紙1-1：事業区域図


豊川
朝倉川
弓道場
武道館
駐車場
広場
中電連設管
駐車場
管理棟
プール跡地
テニスコート
(3面)
豊橋刑務支所
豊城地区市民館
愛知県東三河建設事務所
三の丸会館
吉田城鉄櫓
豊城中学校
テニスコート
(2面)
吉田城址
史跡指定範囲
美術博物館
野球場
市役所
テニスコート
(6面)
駐車場
児童遊園
メインスタンド
中央幹線配水管
陸上競技場
事業区域
0 10 50 100m

別紙1-2：整備管理区域図



整備管理区域

整備管理調整区域（提案内容や協議結果により位置を決定する）

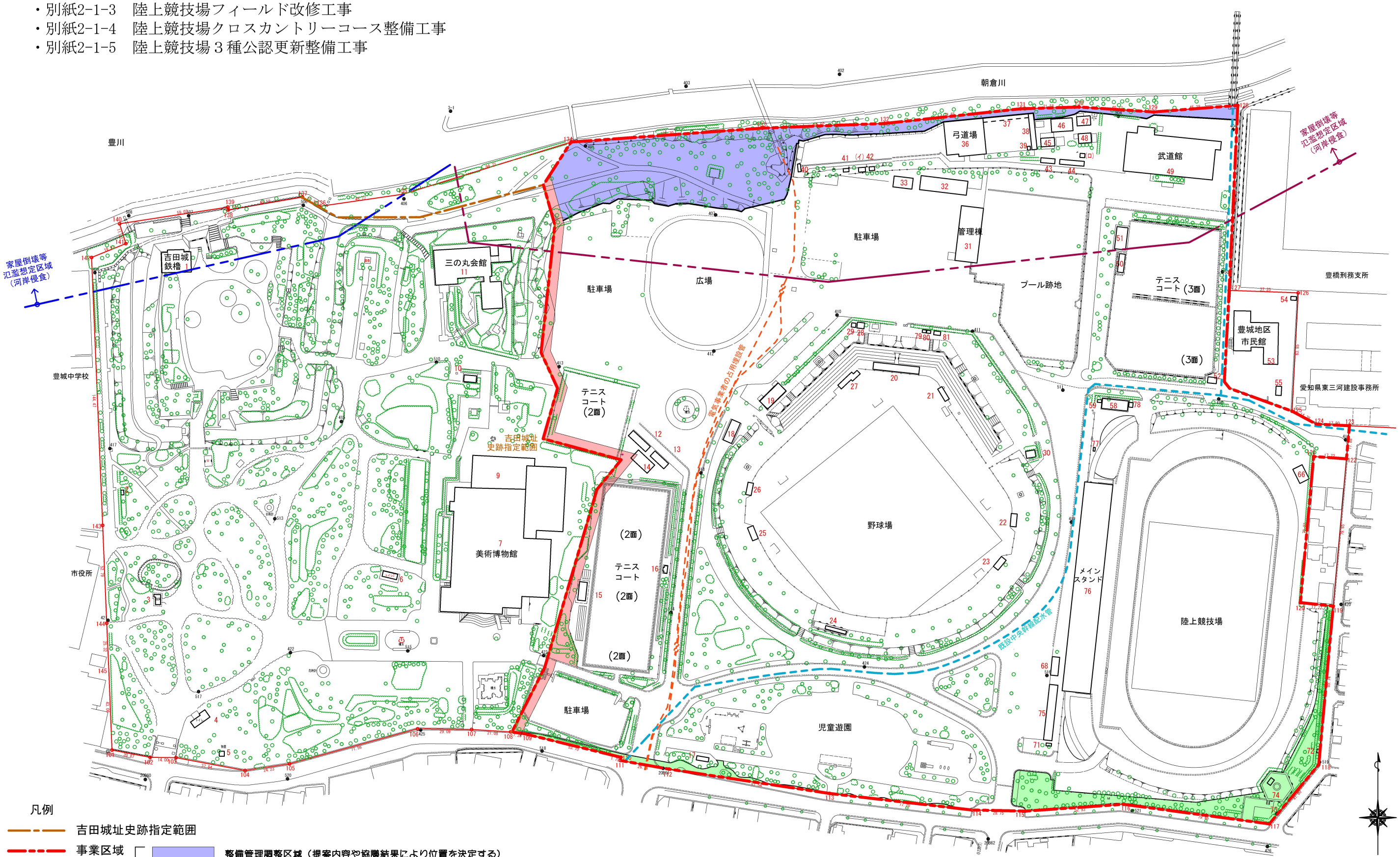
整備管理対象区域外

史跡保護エリア（史跡保護のため施工内容はその都度協議による）

※史跡保護エリアは、史跡指定範囲の境界線から東へ５ｍ離れた地点までを目安に範囲を設定している。

別紙2-1　現況平面図

【令和５年11月28日追加】
- 別紙2-1-3　陸上競技場フィールド改修工事
- 別紙2-1-4　陸上競技場クロスカントリーコース整備工事
- 別紙2-1-5　陸上競技場３種公認更新整備工事



凡例

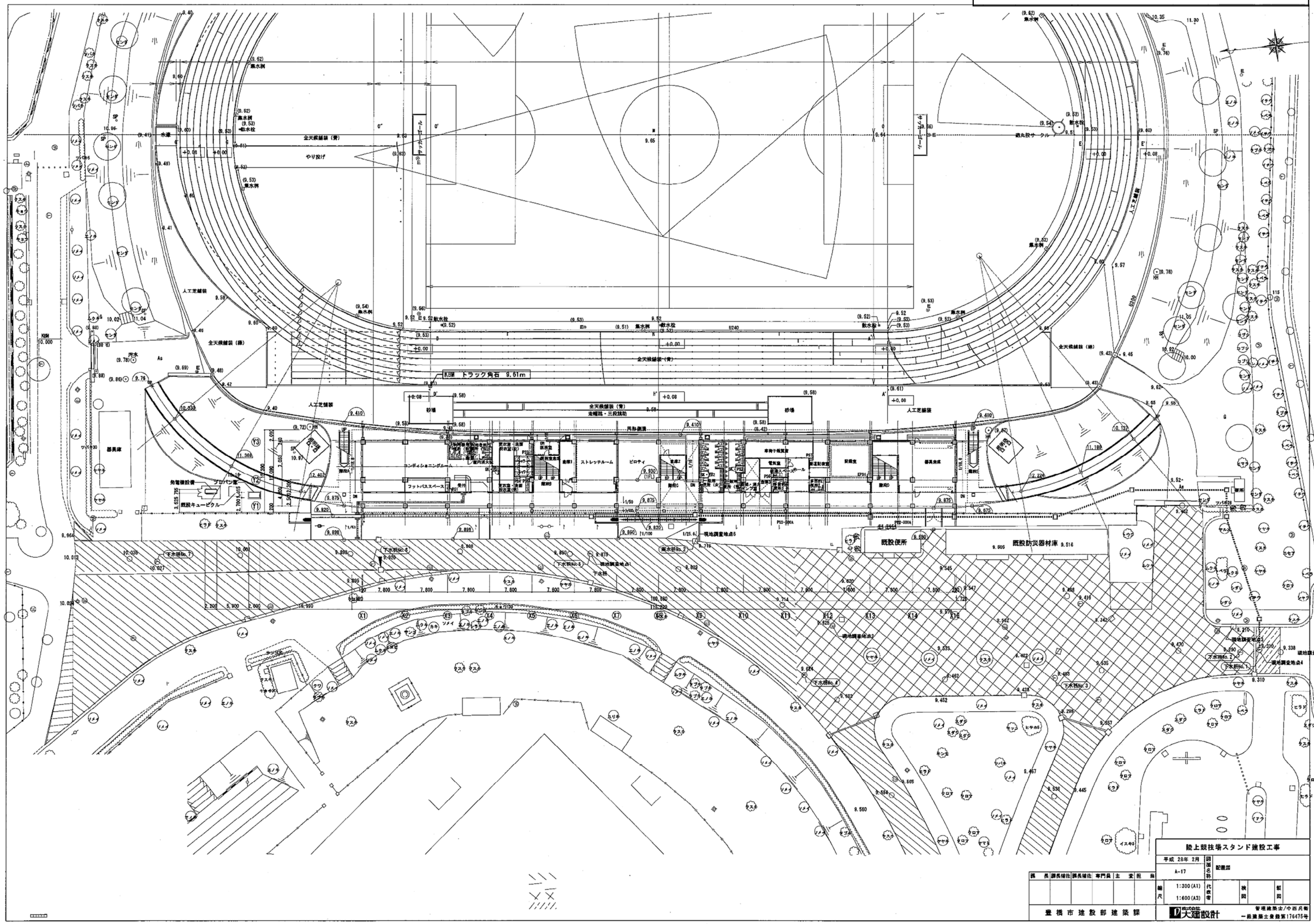
- 吉田城址史跡指定範囲
- 事業区域
  - 整備管理調整区域（提案内容や協議結果により位置を決定する）
  - 整備管理対象区域外
  - 史跡保護エリア（史跡保護のため施工内容はその都度協議による）

※）本図は豊橋市「都市公園台帳更新委託業務」において作成した図面をもとに陸上競技場スタンド建替、プール解体を反映しているもの。
（詳細については　別紙２－２－１陸上競技場スタンド図面、別紙２－２－２プール解体工事図面参照）

0　10　50　100m

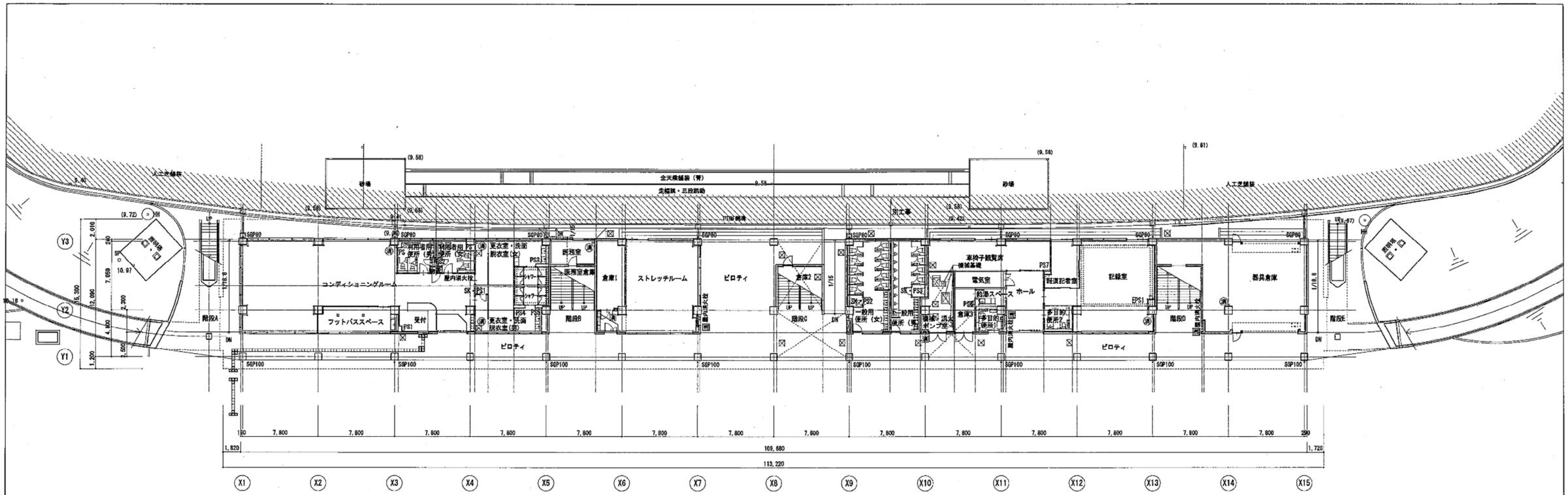
（A3）　S=1:2000

別紙2-1-1 陸上競技場スタンド図面

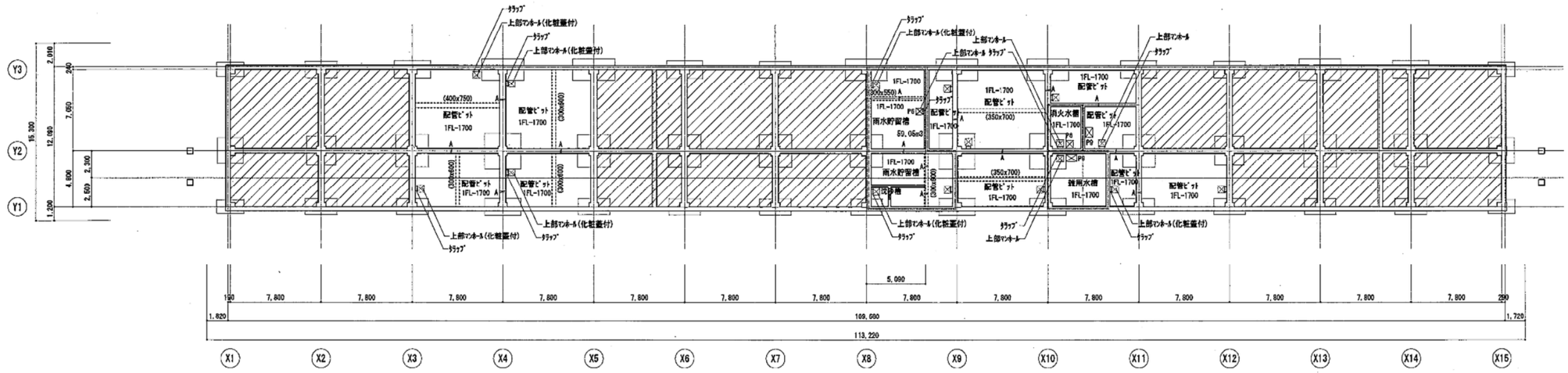


陸上競技場スタンド建設工事			
課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当	平成 28年 2月	図面名称	配置図
						A-17		
豊橋市建設部建築課						縮尺 1:300 (A1) 1:600 (A3)	作成者	検図	製図

株式会社 大建設計 管理建築士/中西兵衛 一級建築士登録第176475号



1階平面図 1：200



床下ピット平面図 1：200

凡例

⊠⊠	化粧蓋	▨	別工事範囲	消	ABC粉末消火器（屋内消火栓、建具内設置）
A/	通気管、通水管	SGP100	SGP竪樋 100Φ	埋	ABC粉末消火器（屋内用埋め込み型消火器ボックス付き）
P6,9▷⊠	ピット下部普場 (H=300) P6—600x600、P9—900x600	SGP80	SGP竪樋 80Φ	床	ABC粉末消火器（屋内用据え置き型消火器ボックス付き）
----	止水板位置	□□	点字ブロック（警告用、誘導用）	屋	ABC粉末消火器（屋外用据え置き・壁掛け型消火器ボックス付き）
▨	一埋め戻し部分を示す	□	雨水桝		

備考

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

豊橋市建設部建築課

陸上競技場スタンド建設工事

平成 28年 2月

図面名称：床下ピット平面図・1階平面図

A-18

縮尺：1:200(A1) 1:400(A3)

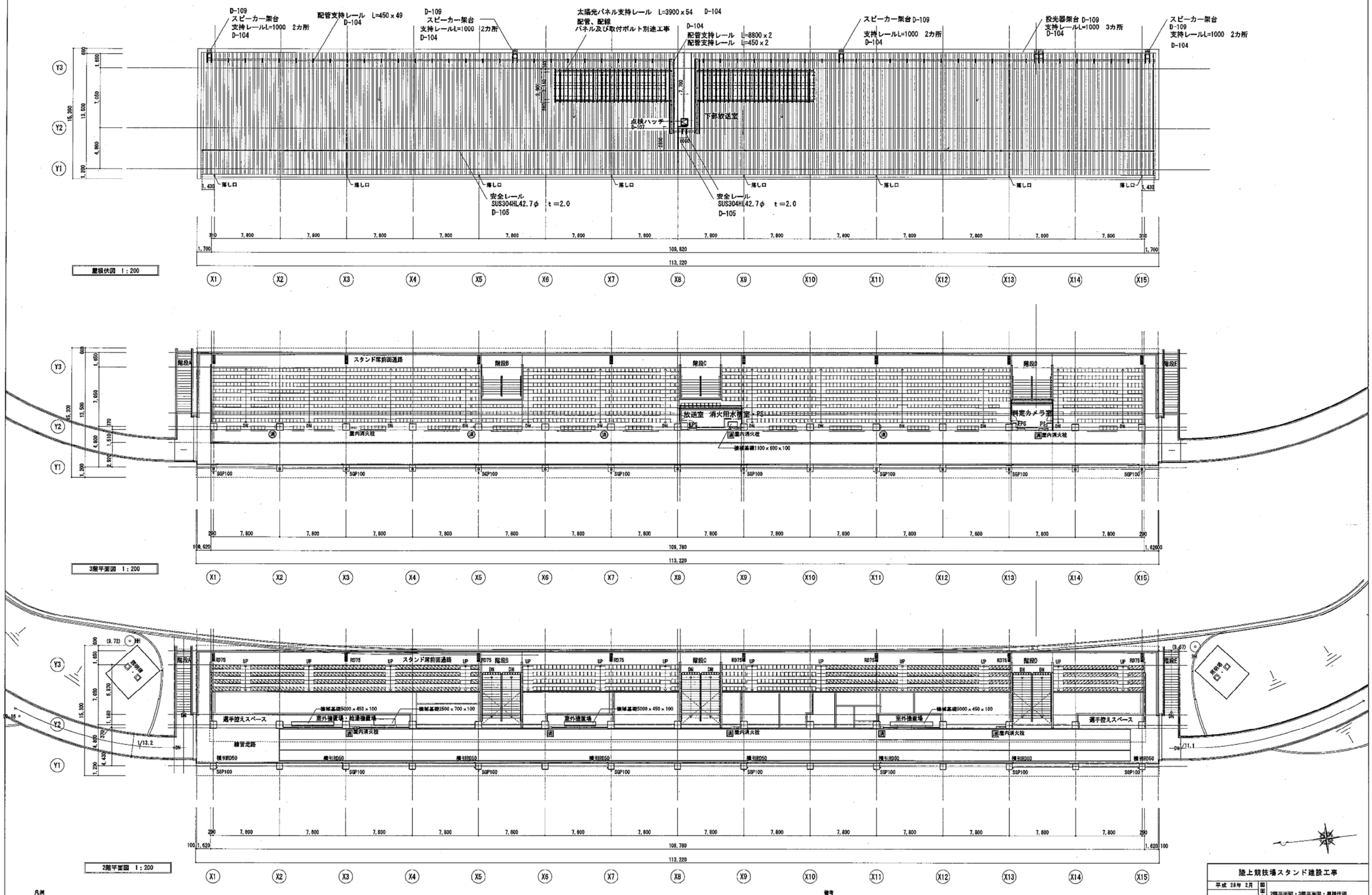
代表者

検図

製図

株式会社 大建設計

管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号



凡例

SGP100	SGP竪樋 100Φ	消	ABC粉末消火器（屋内消火栓、建具内設置）	
SGP80	SGP竪樋 80Φ	消	ABC粉末消火器（屋内用埋め込み型消火器ボックス付き）	
RD75	ルーフドレイン75Φ	消	ABC粉末消火器（屋内用据え置き型消火器ボックス付き）	
横引RD50	横引きルーフドレイン50Φ、SUSパイプ50Φ	消	ABC粉末消火器（屋外用据え置き・壁掛け型消火器ボックス付き）	
□□	点字ブロック（警告用、誘導用）			

備考

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

豊橋市建設部建築課

陸上競技場スタンド建設工事

平成 28年 2月

図面名称：2階平面図・3階平面図・屋根伏図

A-19

縮尺：1:200(A1) 1:400(A3)

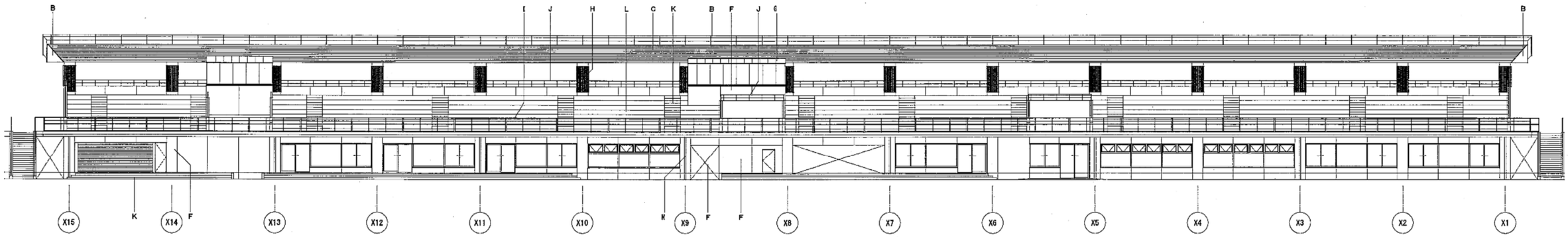
代表者

検図

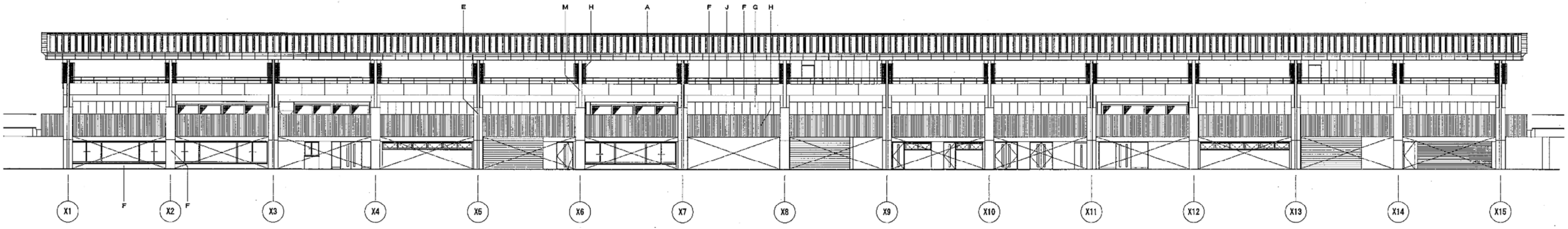
起図

株式会社 大建設計

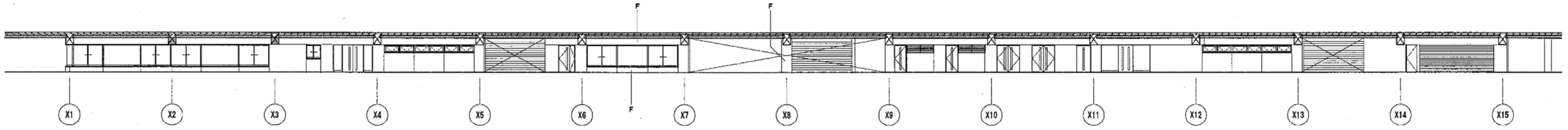
管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号



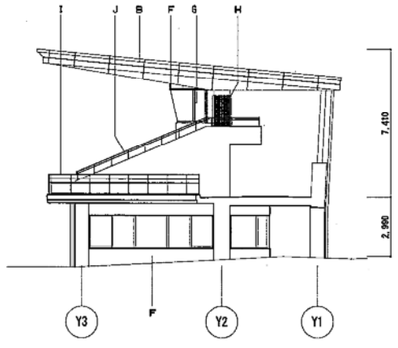
東立面図　1：150



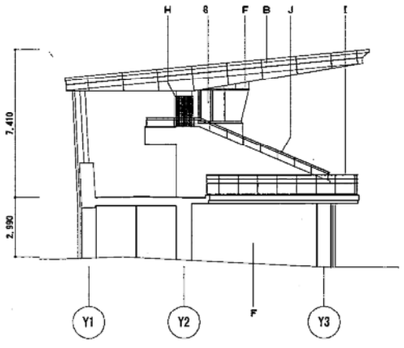
西立面図　1：150



西立面図（ピロティー部分）　1：150



北立面図　1：150



南立面図　1：150

仕上凡例

						備考
A	屋根:折板 山高H=100 フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板 t=1	E	配管用鋼管SGP（白管）呼称100φ　亜鉛メッキ用下地の上DP	J	St溶融亜鉛めっきの上リン酸亜鉛処理	・**********
	無機質高充填プラスチックフォーム t=4張打	F	外壁(RC部):打放しコンクリート用塗材 (アクリルシリコンカラークリア)	K	コンクリート金コテ	
B	軒先パネル:フッ素樹脂塗装(親水型低汚染仕様)ガルバリウム鋼板 t=1.6	G	外壁(ECP):打放しコンクリート用塗材 (アクリルシリコンカラークリア)	L	PCコンクリート素地	
C	軒天:アルミ押出型材スパンドレルt=1.0 フッ素樹脂焼付塗装(一部有孔スパンドレル)	H	外壁:杉板（耐候性加工）	M	耐火塗装（防水仕様）　t＝3	
D	軒樋:耐酸性被覆鋼板 t=0.8　受金物,FB-4,5x38 @500	I	St溶融亜鉛めっきの上リン酸亜鉛処理＋強化ガラス t＝6 x 2　飛散防止フィルム	N	配管用鋼管SGP（白管）呼称80φ　亜鉛メッキ用下地の上DP	

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

豊橋市建設部建築課

陸上競技場スタンド建設工事

平成 28年 2月	図面名称	立面図
A-20		

縮尺　1:150 (A1)　1:300 (A3)　代表者　検図　製図

株式会社 大建設計

管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号

階段A
UP
1/100
1FL-510
1FL-0
SGP80
SGP100
LGS50
LGS100
LW-11 LGS50
LW-12+W LGS50
LW-13+W LGS50
LW-12 LGS50
LW-13 LGS50
LW-10+NF LGS50
LW-12+W
LW-13+W
W-4
W-3
W-4+NF
W-3+NF
スプリント パワーバイク
スプリント パワーバイク
アニマルウォークマシン
スプリント トレーニング
スプリント トレーニング
高速トレッドミル
高速トレッドミル
立位動作型体幹筋肉 トレーニングマシン
ベッド移動式大腿筋 トレーニングマシン
球底型体幹筋ストレッチ トレーニングマシン
マット
コンディショニングルーム 180.97㎡(受付含む)
アルミサッシ
D-603
D-803
D-505
D-513
D-601
D-701
D-703
D-512
D-502
D-501A
D-501B
D-702
D-607
PS1
PS2
PS3
PS4
PS5
AH450
SK 330
SK・PS
物置
W-4 +化FK
W-4 +FK
W-4 +W
W-4 +NF
LW-1 +化FK
LW-2 +化FK
LW-3 +化FK
LW-4 +化FK
LW-5 +化FK
LW-6 +W
LW-6 +NF
LW-14 +化FK
利用者用便所（男） 12.57㎡
利用者用便所（女） 11.46㎡
更衣・洗面脱衣室(女) 31.82㎡ 14箇所×段数
更衣・洗面脱衣室(男) 28.51㎡ 14箇所×段数
ハイサイドライト
ブットバススペース 22.03㎡
受付
受付窓
脱衣棚
棚900x450 (腰高)
棚(7列6段) H1590
床仕上げ：VS1
床仕上げ：VS3
床仕上げ：VT
床仕上げ：硬合圧縮フローリング
床見切り：ステンレス製H=30
FL+0
雨水
Y1
Y2
Y3
X1
X2
X3
X4
X5

凡例

D-○○	仕上げ基準図番号を示す	+NF	壁仕上：ノンアス不燃化粧板 t =3を示す	□	雨水桝
	間仕切り内GWt=50を示す	○CG	壁コーナーガードを示す	消	ABC粉末消火器（屋内消火栓、連具内設置）
LGS100 LGS50	軽量鉄骨間仕切りスタッド100、50を示す（その他の軽量鉄骨間仕切りスタッドF65）		PC構造柱を示す	消	ABC粉末消火器（屋内用埋め込み型消火器ボックス付き）
+化FK	壁仕上：化粧ＦＫｔ=6を示す		SL=FL-200範囲	消	ABC粉末消火器（屋内用据え置き型消火器ボックス付き）
+N	壁仕上：木仕上げｔ=12を示す		点字ブロック（警告用、誘導用）		

備考
・**********

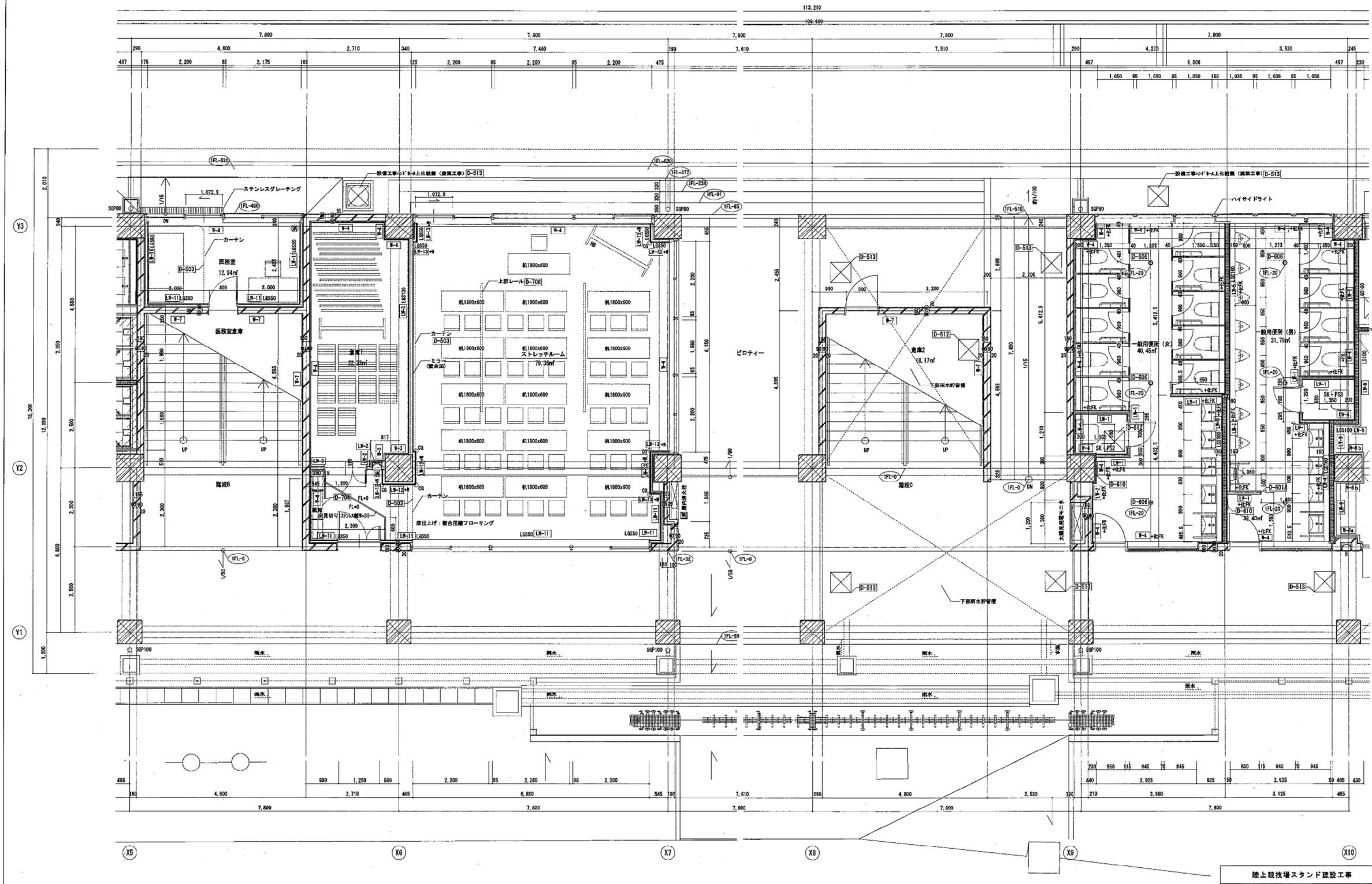
陸上競技場スタンド建設工事

平成 28年 2月
図面名称 1階平面詳細図1
A-30
縮尺 1:50(A1) 1:100(A3)

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	起案

豊橋市建設部建築課

株式会社 大建設計
管理建築士/中西兵衛
一級建築士登録第176475号



凡例

D-○○	仕上げ基準図番号を示す	+W	壁仕上：メラミン不燃化粧板 t =3を示す	消	ABC粉末消火器（屋内消火栓、箱具内設置）
————	間仕切り内GWt=50を示す	○CG	壁コーナーガードを示す	消	ABC粉末消火器（屋内用埋め込み型消火器ボックス付き）
LGS100 LGS50	軽量鉄骨間仕切りスタッド100、50を示す（その他の軽量鉄骨間仕切りスタッドGS）		PC構造柱を示す	消	ABC粉末消火器（屋内用据え置き型消火器ボックス付き）
+化FK	壁仕上：化粧ＦＫｔ=6を示す		点字ブロック（誘導用、誘導用）		
+W	壁仕上：木仕上げｔ=12を示す		雨水桝		

備考

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	設当

豊橋市建設部建築課

陸上競技場スタンド建設工事

平成 28年 2月	図面名称	1階平面詳細図 2	
A-31			
縮尺 1:50 (A1) 1:100 (A3)	作成者	検図	設計

株式会社 大建設計

管理建築士／中西 良喜
一級建築士登録第176475号

車椅子観覧席
41.06㎡
電気室
9.32㎡
ホール
24.87㎡
給湯スペース
5.44㎡
倉庫3
9.82㎡
多目的便所1
8.21㎡
機械・消火ポンプ室
20.14㎡
記録室
82.67㎡
報道記者室
15.87㎡
多目的便所2
8.12㎡
器具倉庫
99.65㎡
階段D
ハイサイドライト
下部減用水槽
雨水
設備工事ハンドホール上化粧蓋（建築工事）D-513
机1800x600
(9.58)
(9.42)
Y3
Y2
Y1
X10
X11
X12
X13
X14
X15

凡例

D-○○	仕上げ基準図番号を示す	+WF	壁仕上：ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板ｔ＝3を示す	雨	雨水桝
	間仕切り内GWt=50を示す	○CG	壁コーナーガードを示す	消	ABC粉末消火器（屋内消火栓、箱具内設置）
LGS100 LGS50	軽量鉄骨間仕切りスタッド100、50を示す（その他の軽量鉄骨間仕切りスタッド65）		PC構造柱を示す	消	ABC粉末消火器（屋内用埋め込み型消火器ボックス付き）
+化FK	壁仕上：化粧ＦＫｔ＝6を示す		SL＝FL-100範囲	消	ABC粉末消火器（屋内用据え置き型消火器ボックス付き）
+W	壁仕上：木仕上げｔ＝12を示す		点字ブロック（警告用、誘導用）		

備考

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

豊橋市建設部建築課

陸上競技場スタンド建設工事

平成 28年 2月

図面名称 1階平面詳細図3

A-32

縮尺 1:50 (A1) 1:100 (A3)

株式会社 大建設計

管理建築士／中西 兵衛
一級建築士登録第176475号

階段A

D-304

2FL-20

D-403

2FL+5

水勾配1/100

2FL-20

水勾配1/100

D-202

スタンド席前面通路

UP

UP

UP

UP

水勾配1/100

水勾配1/100

D-304

ECP受け耐風梁

選手控えスペース

12.54㎡

押出成形セメント板ﾌﾗｯｼｭﾊﾟﾈﾙt=60

室外機置場・給湯機置場

23.76㎡

屋内消火栓

2FL+10

2FL+10

2FL+10

D-601

2FL+10

2FL+40

床見切りｽﾃﾝﾚｽ製H=6

エクリート強化材

M(金) t =30

C打（金）ﾄﾒ撥質系塗布防水

M(金) t =30

特殊舗装 t=15

C打（金）ﾄﾒ撥質系塗布防水

2FL+0

1/13.2

DN

2FL+0

練習定路

486.33㎡

水勾配1/100

水勾配1/100

EXP.J金物

2FL+10

2FL+10

2FL+40

横引RD50

水勾配1/100

水勾配1/100

横引RD50

D-203

水勾配1/100

水勾配1/100

横引RD50

D-203

Y3

Y2

Y1

X1

X2

X3

X4

X5

1,650 7,650 6,420 1,180 370 4,800 1,500

16,300 11,650

1,220 650 650 650 650 150

1,820 280 7,800 445 6,910 445 445 1,090 40 5,780 445 7,530 270 7,800 7,800 290

凡例

D-○○	仕上げ基準図番号を示す	+MF	壁仕上：メラミン不燃化粧板ｔ=3を示す
	間仕切り内GWt=50を示す	○CB	壁コーナーガードを示す
LGS100 LGS50	軽量鉄骨間仕切リスタッド100、50を示す（その他の軽量鉄骨間仕切リスタッド65）		PC構造柱を示す
+化FK	壁仕上：化粧ＦＫｔ=6を示す		点字ブロック（警告用、誘導用）
+木	壁仕上：木仕上げｔ=12を示す	消	ABC粉末消火器（屋内消火栓、建具内設置）

備考

・**********

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

豊橋市建設部建築課

陸上競技場スタンド建設工事

平成 28年 2月

A-33

図面名称 2階平面詳細図1

縮尺 1:50(A1) 1:100(A3)

代表者

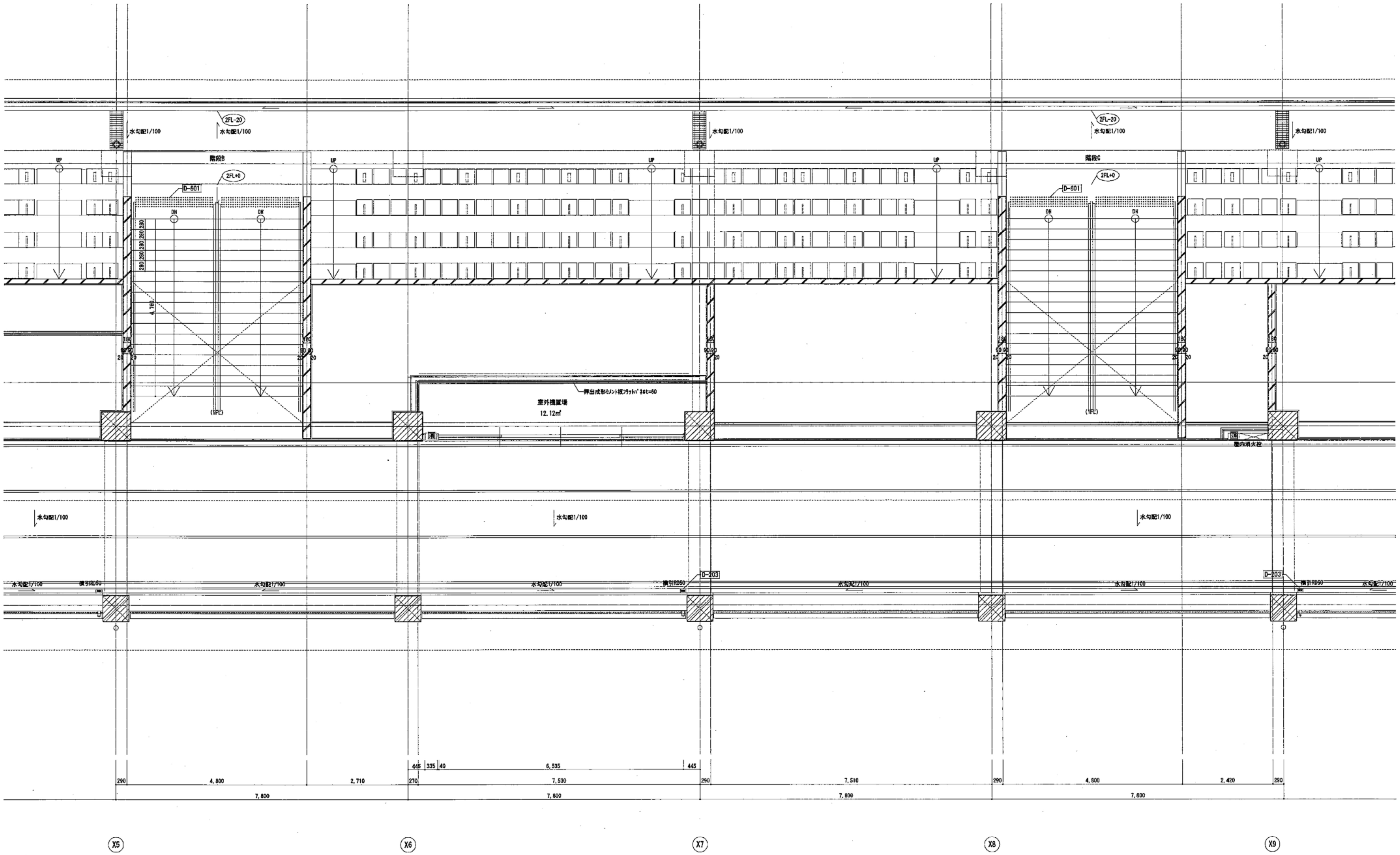
検図

祝図

株式会社 大建設計

管理建築士／中西昌衛

一級建築士登録第176475号



凡例

D-OO	仕上げ基準図番号を示す	+MF	壁仕上：ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板 t =3を示す
	間仕切り内GWt=50を示す	○CG	壁コーナーガードを示す
LGS100 LGS50	軽量鉄骨間仕切りスタッド100、50を示す（その他の軽量鉄骨間仕切りスタッド65）		ＰＣ構造柱を示す
+化FK	壁仕上：化粧ＦＫｔ＝6を示す		点字ブロック（警告用、誘導用）
+W	壁仕上：木仕上げｔ＝12を示す		ABC粉末消火器（屋内消火栓、建具内設置）

備考

陸上競技場スタンド建設工事

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

豊橋市建設部建築課

平成 28年 2月	図面名称	2階平面詳細図２	
A-34			
縮尺	1:50(A1) 1:100(A3)	代表者	検図	製図

株式会社 大建設計

管理建築士/中西兵衛

一級建築士登録第176475号

階段D

階段E

水勾配1/100

UP

DN

D-601

D-304

D-403

D-203

2FL-20

2FL+0

2FL+10

2FL-40

(1FL)

屋内消火栓

横引RD50

EXP. J金物

屋外観戦場
11.25㎡

選手控えスペース
12.12㎡

押出成形セメント板フラットﾊﾟﾈﾙt=60

コンクリート強化材
W(金) t=30
ｳﾚﾀﾝ塗膜系塗布防水
W(金) t=30
特殊鋼板 t=15
ｳﾚﾀﾝ塗膜系塗布防水

C打（金）

床見切り：ｽﾃﾝﾚｽ製H=6

600
1,650
2,250
5,170
7,650
11,850
15,300
1,180
570
4,800
4,430
1,200

Y3
Y2
Y1

X11
X12
X13
X14
X15

445 | 335 | 40 | 6,535 | 445
270 | 7,260 | 270
7,800 | 7,800 | 7,800 | 7,800 | 290
290 | 4,800 | 2,710 | 270 | 7,530
1,820

凡例

▷-○○	仕上げ基準図番号を示す	+NF	壁仕上：ﾉﾝﾉﾝ不燃化粧板 t=3を示す		
▭▭▭	間仕切り内GWt=50を示す	○CG	壁コーナーガードを示す		
LGS100 LGS50	軽量鉄骨間仕切りスタッドF100、50を示す（その他の軽量鉄骨間仕切りスタッドF65）	▨	ＰＣ構造柱を示す		
+化FK	壁仕上：化粧ＦＫｔ=6を示す	▦	点字ブロック（警告用、誘導用）		
+W	壁仕上：木仕上げｔ=12を示す	消	ABC粉末消火器（屋内消火栓、建具内設置）		

備考
・**********

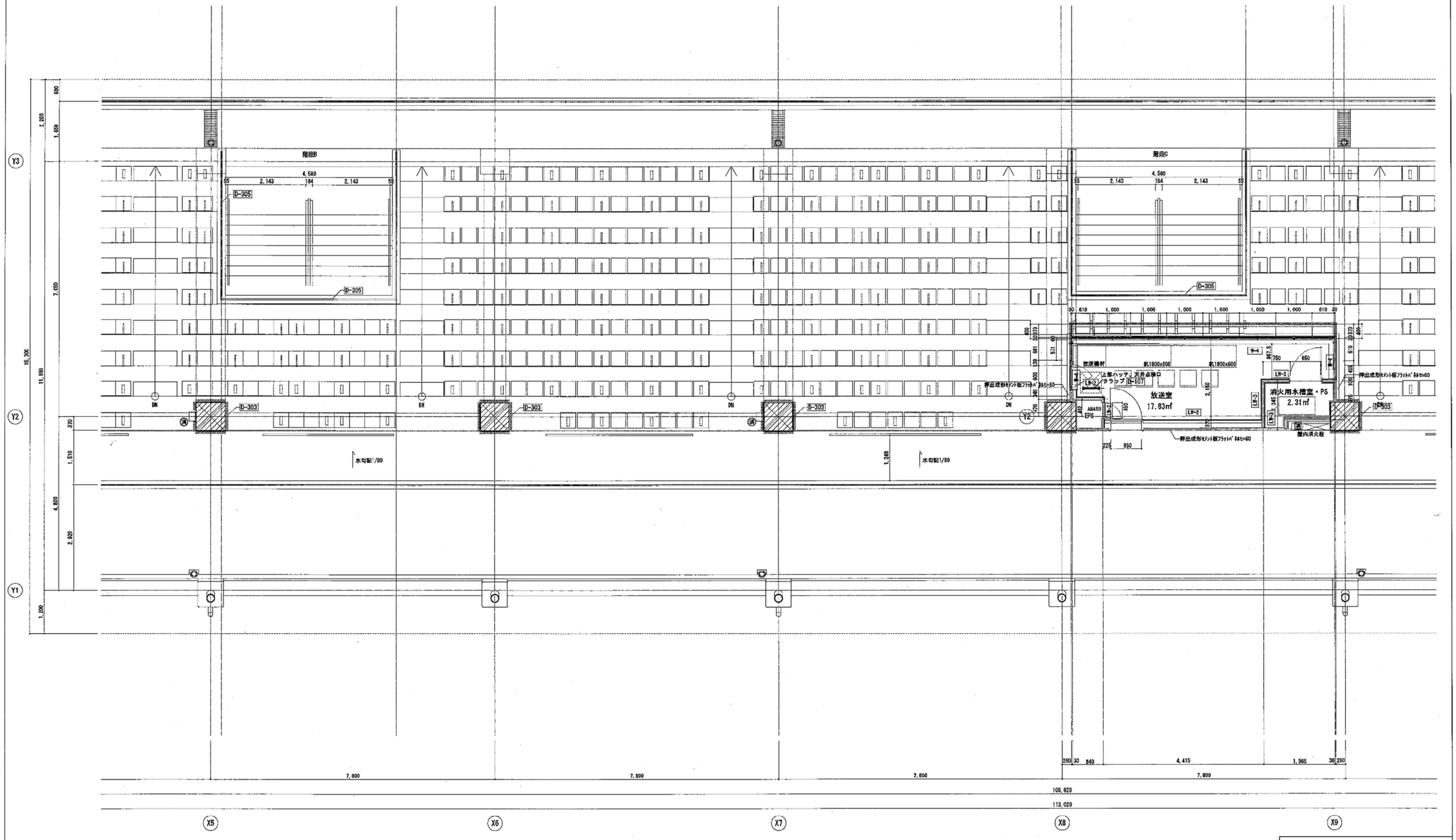
課長	課長補佐	係長補佐	専門員	主査	担当

豊橋市建設部建築課

陸上競技場スタンド建設工事

平成 28年 2月	図面名称	2階平面詳細図3	
A-35			
縮尺 1:50(A1) 1:100(A3)	代表者	検図	製図

株式会社 大建設計
管理建築士/中西 昇剛
一級建築士登録第176475号



凡例

○-○C	仕上げ基準図番号を示す	+MF	壁仕上：メラミン不燃化粧板 t =3を示す		
	間仕切り内GWt=50を示す	○C6	壁コーナーガードを示す		
LGS100 LGS50	軽量鉄骨間仕切りスタッド100、50を示す（その他の軽量鉄骨間仕切りスタッドGS）		ＰＣ構造柱を示す		
+化FK	壁仕上：化粧ＦＫｔ＝6を示す	消	ABC粉末消火器（屋内消火栓、箱具内設置）		
+木	壁仕上：木仕上げｔ＝12を示す	(消)	ABC粉末消火器（屋外周揚え置き・壁掛け型消火器ボックス付き）		

備考

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

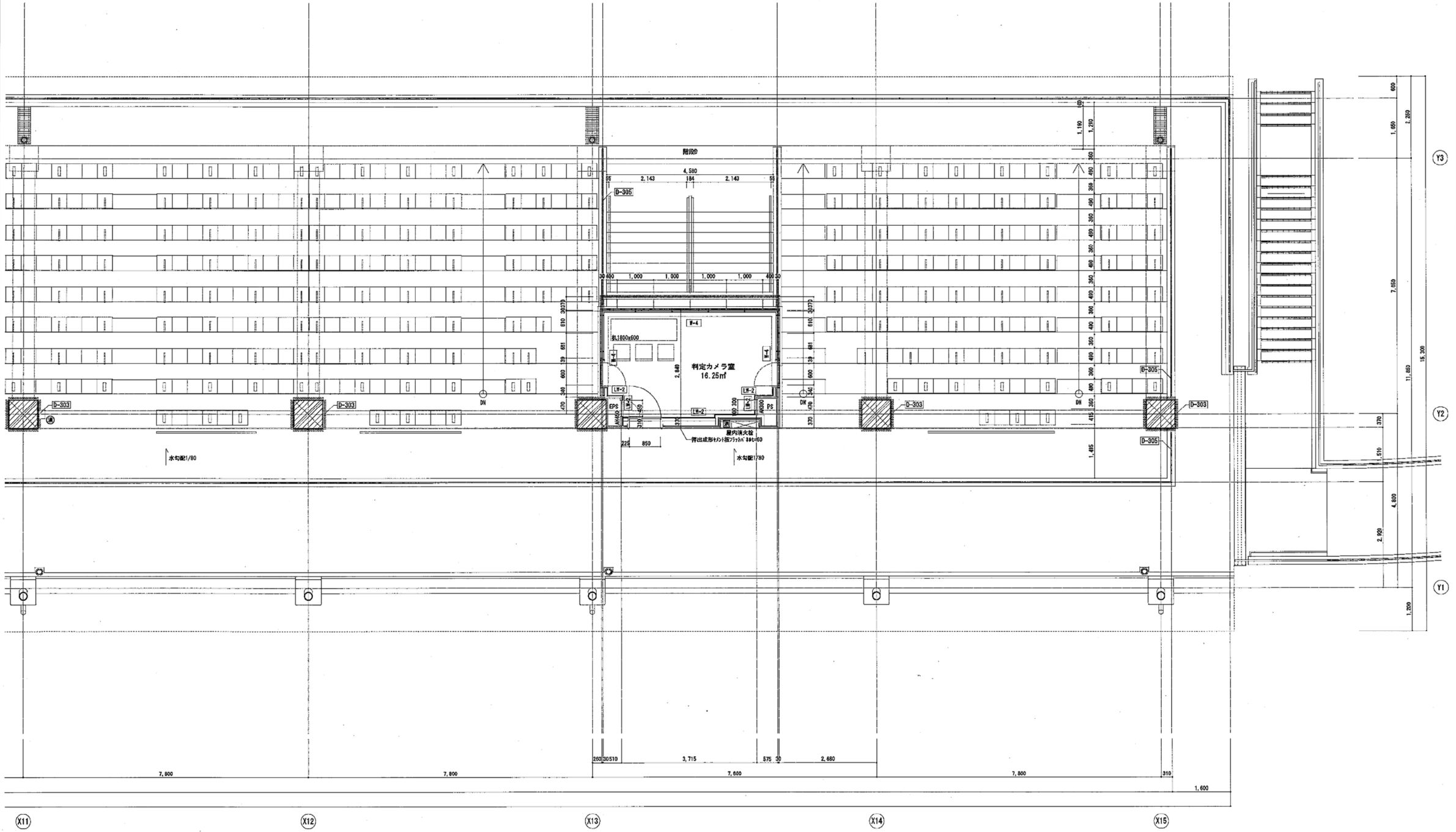
登 橋 市 建 設 部 建 築 課

陸上競技場スタンド建設工事

平成 28年 2月	図面名称	3階平面詳細図 1	
A-36			
縮尺 1:50 (A1) 1:100 (A3)	代表者	検図	製図

株式会社 大建設計

管理建築士/中西兵衛
一級建築士登録第176475号



凡例

D-○○	仕上げ基準図番号を示す	+MF	壁仕上：メラミン不燃化粧板ｔ＝3を示す		
	間仕切り内GWt=50を示す	○CG	壁コーナーガードを示す		
LGS100 LGS50	軽量鉄骨間仕切りスタッドF100、50を示す（その他の軽量鉄骨間仕切りスタッドF65）		ＰＣ構造柱を示す		
+化FK	壁仕上：化粧ＦＫｔ＝6を示す	消	ABC粉末消火器（屋内消火栓、建具内設置）		
+木	壁仕上：木仕上げｔ＝12を示す	消	ABC粉末消火器（屋外用据え置き・壁掛け型消火器ボックス付き）		

備考

・**********

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

豊橋市建設部建築課

陸上競技場スタンド建設工事

平成 28年 2月	図面名称	3階平面詳細図2	
A-37	縮尺	1:50(A1) 1:100(A3)	代表者
	検図		設図

大建設計

管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第175475号

陸上競技場スタンド建設に伴う管工事

図面リスト

図面番号	図　面　名　称	縮　尺 (A1)
	表紙・図面リスト	
Ｍ－０１	特記仕様書・指定資材１	NS
Ｍ－０２	特記仕様書・指定資材2	NS
Ｍ－０３	付近見取図	1/1500
Ｍ－０４	配置図	1/300
Ｍ－０５	機器表	NS
Ｍ－０６	衛生器具表	NS
Ｍ－０７	系統図・凡例・排水桝リスト	NS
Ｍ－０８	屋内消火栓系統図・計算書	NS
Ｍ－０９	1階、2階、3階平面図	1/200
Ｍ－１０	平面詳細図（１）	1/50
Ｍ－１１	平面詳細図（２）	1/50
Ｍ－１２	平面詳細図（３）	1/50
Ｍ－１３	床下ピット図・断面図・汚物中継ユニット据付図	1/200，1/100
Ｍ－１４	雨水利用設備図	1/50
Ｍ－１５	現況配置図	1/300
Ｍ－１６	工事区分表	NS

機械設備工事特記仕様書・指定資材 1

平成 28年 7月19日 改訂

章	節・項目	特記事項
第1編 共通事項	1.1.1 適用基準等	1．この特記事項以外は下記に準拠する。但し、本工事に関係しない事項は適用しない。 1）豊橋市契約規則 2）工事請負契約書 3）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書　（機械設備工事編）（平成28年版） 4）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築設備工事標準図　（機械設備工事編）（平成28年版） 5）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書　（電気設備工事編）（平成28年版） 6）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築設備工事標準図　（電気設備工事編）（平成28年版） 7）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書　（　建築工事編　）（平成28年版） 8）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成28年版） 9）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築改修工事標準仕様書（　建築工事編　）（平成28年版） 10）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成28年版） 11）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　建築物解体工事共通仕様書　（平成24年版） 12）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築木造工事標準仕様書　（平成28年版） 13）関係法令及び諸工事基準 14）鉄筋、ガス圧接、コンクリート及び鋼材の抜取検査は、愛知県建築工事品質管理要領（資材編）による。 2．特記事項の適用優先順位　1.⊙　2.※　但し、⊙と※のある場合は共に適用する。 3．本工事に使用する資材は「機械設備工事指定資材」及び「あいくる材認定一覧」によるものとする。 4．設計図書に関する疑義は原則として、入札執行前に質疑書の提出によって確かめるものとする。
	1.1.3 官公署その他への届出手続等	工事着手、施工、完成に当たり、関係官公署（豊橋市上下水道局、道路管理者等）その他の関係機関への必要な届出手続き及び手数料の支払い等は受注者が遅滞なく行う。　※ 適用する　・ 適用しない
	1.1.4 工事実績情報の登録	受注者は、請負代金額が５００万円以上の工事について、(財)日本建設情報総合センター(JACIC)の工事実績情報システム(CORINS)に工事実績情報の登録（受注時、変更時、しゅん工時）を行う。その内容については、登録前に監督員の確認を受ける。 なお、メール送付の承諾有りとする。
	1.2.1 概成工期	工期は、監督員による工事完了確認期間を含むものとする。 ・ 無　・ 有（　年　月　日）
	1.2.4 工事の記録	1．本工事は工事写真について電子納品の対象工事とする。ただし、電子納品ソフトを購入し、基準どおりに出来ない場合は、工事写真台帳ソフト及びWord、Excel形式等で写真データを貼り付けたものを電子媒体へ記録したものでも可とする。 2．電子納品ソフトによる電子媒体での納品の作成については最新の「愛知県電子納品運用ガイドライン（案）」及び「愛知県デジタル写真管理情報基準（案）」に準じて行うものとし、撮影にあたっては本市の工事記録写真撮影要領に基づくものとする。なお、市独自の対応の必要が生じた場合は、施工計画書の提出前までに監督員と協議し決定する。 3．電子納品の成果品の提出部数については、電子媒体(CD-RまたはDVD-R、ただしDVD-Rとする場合は事前に監督員の承諾を得る。)2部とし、ビュアーソフトを添付したものとする。 4．受注者は、電子納品に必要なハード及びソフト環境の整備を行うとともに、各検査時に写真情報の閲覧操作用機器を準備するものとする。 5．その他、電子納品に関する詳細な取扱いについては、監督員と協議の上、その指示に従うこととする。
	工事写真	工事写真は必要な文字、数量等の内容が判読できるものとする。 1．工事着手前 工事着手に先立ち、敷地及び周辺の道路、建築物、工事物等の現況を撮影する。 2．工事中 1）右図に示す黒板に所定事項を明記し、工事の進捗状況を撮影、記録すると共に、特に施工後隠ぺい又は埋設される部分は、被写体に幅広テープを添え撮影する。 2）監督員の指示により適宜提出する。 工事名 工種 位置 内容
	1.3.2 電気保安技術者	電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者をおき、施工計画書中の現場施工体制に記載すること。 ・ 無　※ 有
	1.3.9 発生材の処理等	1．引渡しを要するものは、監督員の指定する場所に整理し、発生物件調書を施設管理者へ引き渡す。 2．引渡しを要しないものは、すべて場外に搬出し、下記建設副産物の項及び関係法令等に従い、適正に処理する。 3．本工事で発生する産業廃棄物のうち愛知県内の最終処分場に搬入する産業廃棄物については、愛知県産業廃棄物税が課税されるので適正に取り扱うこと。 4．次の物品はＰＣＢの混入が疑われるため、専門の分析機関に依頼し、その有無を確認する。 昭和47年以前の建築物：ポリサルファイド系コーキング 平成元年以前の製造機器：蛍光灯安定器、コンデンサ、リアクトル、コンデンサ用放電コイル、変圧器（絶縁油中の濃度0.5mg/kg以下のものは対象外） 上記以外においても、ＰＣＢ混入の恐れがある場合は、監督員と協議の上、確認すること。 5．アスベスト含有建材は、大気汚染防止法の改正（平成26年6月1日施行）に基づき、適正に対応すること。
	建設副産物	1．発生材については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」及び「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」その他関係法令の規定を遵守し、「豊橋市建設副産物リサイクルガイドライン実施要綱」（以下「リサイクルガイドライン」という。）に基づき、適正に処理する。 2．事前に「リサイクルガイドライン」に定める計画書を監督員に提出する。 3．工事完了時に「リサイクルガイドライン」に定める実施書及び入力した電子データを監督員に提出する。
	撤去・更新時のフロン等の取扱い	豊橋市建設部建築課フロン類回収仕様（H21.4.1）による。
	分別収集	・ しない　※ する　「リサイクルガイドライン別表3」による。
	再資源化施設への搬出	工事に伴い発生する建設廃棄物のうち、次のものは再資源化施設へ搬出する。 ※コンクリート塊　※アスファルトコンクリート塊　※建設発生木材　※金属くず　※建設汚泥　・その他（　）
	再生資材の利用の指定	使用する資材は、リサイクル資材の率先利用を図るため、「愛知県あいくる材率先利用方針」を遵守し、あいくる材として認定されている資材の利用に努める。

章	節・項目	特記事項
第1編 共通事項	1.4.1 環境への配慮	屋内で使用する材料、塗料及び接着剤のホルムアルデヒド放散量　※ F☆☆☆☆　・（　）
	1.4.2 機材の品質等	1．機器類の能力、容量は原則として表示された数値以上とする。（ただし、電気容量は参考とする。） 2．機器の寸法は、概略寸法とする。 3．使用する機器・材料は全てアスベストを含まないものとする。
	1.5.2 技能士	技能検定の職種及び作業の種別　・ 適用する　※ 適用しない 適用職種 / 作業範囲 / 作業内容 / 資格（技能検定における選択作業） 機械設備工事の配管 / 配管工事の施工 / 1級配管技能士（建築配管作業）
	1.7.1 完成時の提出書類	工事完了前に次の図書を作成し提出する。 ⊙ 完成図（しゅん工図、契約原図修正またはしゅん工図の原図提出）　・ 完成図A3判のポリエステルベース　・ 契約図A3判のポリエステルベース ・ 完成図の２つ折り製本　１部　⊙ 完成図A3判の２つ折り製本　３部　⊙ 契約図A3判の２つ折製本　１部 ⊙ 保守指導案内書（取扱説明書）　１部　・ 施設台帳の作成又は整備　⊙ その他必要書類（完成図A3判、施工図A3判の合わせ製本　）　２部
	1.7.2 完成図	完成図の種類は以下とする。 1．特記　2．配置図　3．平面図　4．その他（　） ＣＡＤデータ　完成図　※ 提出する　・ 提出しない 施工図　※ 提出する　・ 提出しない
	その他 光熱水料	建物引渡しまでの電気・水道・ガス等の料金（基本料金を含む）は、協議の上各工事受注者が負担する。
	事故報告	工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、事故発生報告書を速やかに提出すること。
	安全管理	1．工事施工中に東海地震注意情報が発表された場合、安全対策を講じた上で、原則として工事を中止するものとする。 2．酸欠等危険を伴う作業については十分な安全対策を講じると共に、酸素及び硫化水素濃度は暫時測定し記録するものとする。
	施工体制台帳	建設業法第２４条の７第１項の規定により作成した施工体制台帳（同項の規定により記載すべきものとされた事項に変更が生じたことに伴い新たに作成されたものを含む。）の写しを監督員に提出すること。（公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律第１５条）
	施工体系図	下請負契約を締結する場合においては、下請負金額に関わらず施工体系図を作成し、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に提示する。
	騒音・振動対策	「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針（建設大臣官房技術審議官通達）」及び関連法令の規定を厳守し施工する。また、騒音規制法、振動規制法の規制の対象となる作業（特定建設作業）ならびに下記に指定した建設機械については、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」（建設大臣告示）により指定された建設機械を使用する。 作業名：　建設機械名 作業名：　建設機械名
第2編 共通事項	1.3.2 総合調整	適用項目　・ 風量調整　⊙ 水量調整　・ 室内外空気の温湿度測定　・ 室内気流及びじんあい測定　・ 騒音測定　⊙ 飲料水質の測定
	2.2.27 スリーブ	外壁等水密を要する部分はつば付鋼管、又は非加硫ブチルゴム系止水材を巻き付けた鋼管等とし、地中部分で水密を要しない部分のスリーブはビニル管とする。 柱及び梁以外の箇所で、開口補強が不要であり、かつスリーブ径が200mm以下の部分は紙製仮枠を使用してもよいが、配管前に必ず取りはずすこと。
	2.6.3 配管吊り	屋内土間下配管を含め、横走り配管にあっては、棒鋼吊り（吊り用ボルトを含む）を行うものとする。
	2.7.1 埋設配管	屋内土間下配管を含め、管及び被覆樹脂を傷めぬよう山砂の類で管の周囲を埋め戻す。
	2.7.3 防食処置 土中埋設	鋼管類（合成樹脂などで外面を被覆された部分は除く）はペースト塗布の上ペトロラタム系防食テープ1/2重ね1回巻き及びプラスチックテープ（JIS Z1901 厚さ0.4mm）1/2重ね1回巻とする。 ただし、排水に使用する鋼管類についてはプラスチックテープ1/2重ね1回巻とする。
	コンクリート埋設	鋼管類（合成樹脂などで外面を被覆された部分は除く）及び鉛管はプラスチックテープ1/2重ね1回巻とする。
	建物導入部配管	給水管の変位吸収配管はスリークッション工法とする。

陸上競技場スタンド建設に伴う管工事

平成 28年 9月								図面名称	特記仕様書・指定資材 1
課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当			M-01	
						縮尺	N:S	代表者	検図 / 製図

豊橋市建設部建築課

株式会社 大建設計　管理建築士/中西兵衛　一級建築士登録第176475号

機械設備工事特記仕様書・指定資材２

平成 28年 7月19日 改訂

章	節・項目	特記事項
第２編 共通事項	３.１.４ 空気調和設備 工事の保温	表2.3.2
	３.１.５ 給排水衛生設備 工事の保温	表2.3.5
	４.１.１ 仮設工事 建設現場標識及び 建設工事名称板 の設置	※ 設ける　・ 設けない ・ 他工事と共同設置
	材料置場その他 仮設物の設置場所	※ 構内（従業員宿舎は除く）　・ 構外
第３編	１.１５.３ 吹出口	材質 ※ アルミニウム製　・ 鋼製
	１.１５.４ 吸込口	材質 ※ アルミニウム製　・ 鋼製
	２.２.１ 低速ダクト	ダクト長編１５００mm以下　・ スライドオンフランジ工法　・ アングルフランジ工法　・ 共板フランジ工法
第６編	都市ガス設備	都市ガス供給会社による責任施工とする。但し検査結果報告書等の提出を行うものとする。
	液化石油ガス設備	施工は、液化石油ガス設備士が行うものとする。
その他	火災保険等	１.保険期間は工事資材の現場搬入の日から工事目的物の引渡しの日までとする。 （特に定めのない限り、契約上の工事完成期日経過後２１日間とする。） ２.保険の種類は火災保険又は、組立保険（これに準ずるものを含む）とし、保険金受取人（被保険者）は受注者とする
	建設業退職金 共済制度	受注者の社員のみにより工事施工する場合など、この制度の趣旨に該当しない場合は、その旨を監督員に文書により通知し、建設業共済組合への加入及び掛金収納書を省くことができる。
	工事における 高度技術、創意工夫 社会性等の実施状況	受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について工事完了時までに、所定の様式により提出することができる。
	手洗器取付高さ	
	給水設備、揚水設備および給湯設備における水質検査	１）原則として配管工事は、５項目（味、臭気、色、濁り、残留塩素）検査を行う。配管工事の場合は自社検査でも良い。 ２）受水槽・高架水槽を設置する工事については、５項目検査及び通水試験時を利用して槽内・管内の洗浄を十分に行い、端末において検査基準が満たされるまで清掃・消毒を行う。 ※水質検査は登録検査機関に依頼する。
	仮設	足場、作業構台、仮囲い等は、労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害対策要綱（建築工事編）その他関連法令等に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行うこと。（５m以上の構造の足場の組立等の作業を行う場合は、「足場の組立等作業主任者」を選任すること。）
	経費調整	同一敷地内、または隣接地の同業種先行工事を受注した者が、本工事を受注した場合の共通費（共通仮設費、現場管理費及び一般管理費）は、契約締結後に当該先行工事と合算した場合の共通費を調整し、減額が生じる場合は本工事にて減額の変更契約を行う。
	別契約の関連工事	別契約の施工上密接に関連する工事については、監督職員の調整に協力し、当該工事関係者とともに、工事全体の円滑な施工に努める。 別契約の関連する工事　⊙ 有り　・ なし
	あと施工アンカー	１）主要機器据付のためのあと施工アンカーは現場非破壊検査を行うものとする。検査は有資格者によって行うものとし、原則試験本数は各径毎に3本とする。 ただし、あと施工アンカーが各径毎に10本未満の場合は監督員に確認した上、試験本数を決定すること。 ２）主要機器据付のためのアンカーボルト（天井面等の上向きアンカーを除く）は、原則接着系アンカーとする。（ただし、監督員が書面で承諾した場合を除く） ３）主要機器の据付において、下向きのめねじ形あと施工アンカーの使用は禁止とする。また、横向きアンカー、上向きアンカーについても原則禁止とする。
	消火設備 舗装切断時の排水処理	既存消火設備が使用できない期間は、消火器の設置等により、十分な安全対策を行うこと。 ブレード冷却水と切削粉が混じり合った排水は、回収し適正に処理することとし、 受注者は、その責任において、適正な処理のために必要な廃棄物情報を把握し処理業者に提供すること

区分	保温の種別	備考
温水管・膨張管	・ イ　※ ロ	
蒸気管	・ イ　※ ロ	
冷水・冷温水管	・ イ　※ ロ　・ ハ	
冷媒管	・ イ　※ ロ	被覆銅管を除く
ダクト	・ イ　※ ロ	
消音内貼	・ イ　※ ロ	

区分	保温の種別	備考
給水管	・ イ　・ ロ　※ ハ	
排水及び通気管	・ イ　※ ロ　・ ハ	
給湯管・膨張管	・ イ　※ ロ	
消火管	・ イ　・ ロ　※ ハ	隠ぺい部を除く
特殊消火管	・ イ　・ ロ　※ ハ	隠ぺい部、機械室を除く

対象年齢	保育園	小学校	中学校	身障者対応・一般
取付高さ	６００	650～700	７５０	７５０

※本表の取付高さは参考とし、施設管理者と都度打合せの上決定する。

機械設備工事指定資材

分類	指定資材	適用範囲	品質性能基準
管	鋼管		JISマーク表示品　JIS規格適合品
	ライニング鋼管		JWWA規格適合品　WSP規格適合品
	排水用鋳鉄管		JIS規格適合品
	水道用ダクタイル鋳鉄管		JWWA規格適合品
	排水、通気用鉛管		SHASE規格適合品
	樹脂管		JISマーク表示品　JIS規格適合品　JWWA規格適合品　AS規格適合品
	コンクリート管	厚管	JISマーク表示品
弁及び継手	可鍛鋳鉄製管継手		JISマーク表示品　JPF規格適合品
	鋼管継手		JISマーク表示品　JIS規格適合品　JPF規格適合品　MDJ規格適合品
	ビニル管継手		JISマーク表示品　JWWA規格適合品
	伸縮管継手（ベローズ形・スリーブ形）		評価名簿搭載品
	青銅弁・鋳鉄弁		JISマーク表示品　JV規格適合品
	減圧弁・温度調整弁		評価名簿搭載品
ポンプ	横型遠心ポンプ		評価名簿搭載品
	水中モーターポンプ（汚水用・雑排水用・汚物用）		評価名簿搭載品
衛生器具及び付属品	衛生陶器		JISA5207に準ずるもの
タンク	ＦＲＰ製パネルタンク		評価名簿搭載品
	鋼板製パネルタンク		評価名簿搭載品
鋳鉄製ふた	マンホールふた・弁桝ふた		評価名簿搭載品
消火装置	スプリンクラー消火システム		評価名簿搭載システム
	二酸化炭素消火システム		評価名簿搭載システム
	泡消火システム		評価名簿搭載システム
ボイラー	鋳鉄製ボイラー		評価名簿搭載品
	給湯用簡易ボイラー		評価名簿搭載品
温水発生機	真空式温水発生機（鋼製・鋳鉄製）		評価名簿搭載品
	無圧式温水発生機（鋼製・鋳鉄製）		評価名簿搭載品
冷凍機	チリングユニット		評価名簿搭載品
	直だき吸収式冷温水機		評価名簿搭載品
冷却塔	冷却塔		評価名簿搭載品
空気調和器	ユニット形空気調和機		評価名簿搭載品
	パッケージ形空気調和機	圧縮機用電動機の出力7.5kw以上	評価名簿搭載品
	コンパクト形空気調和機		評価名簿搭載品
	ファンコイルユニット及びカセット型ファンコイルユニット		評価名簿搭載品
送風機	遠心送風機（多翼形送風機）		評価名簿搭載品
ダクト付属品	吹出口・吸込口		評価名簿搭載品
自動制御	自動制御システム		評価名簿搭載システム
空気清浄装置	エアーフィルター（パネル形・折り込み形・袋形）		評価名簿搭載品
	自動巻取形エアーフィルタ		評価名簿搭載品
板	亜鉛鉄板		JIS規格適合品
保温材	ロックウール保温材 グラスウール保温材 ポリスチレンフォーム保温材		JISマーク表示品　JIS規格適合品

（注）１．各規格適合品の番号については、平成２５年版国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）、公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）による。
２．「評価名簿登載品」又は「評価名簿搭載システム」と記載のあるものは、上記記載の標準仕様書の仕様規定及び試験方法に適合すること及び、メンテナンスの体制についての確認を（社）公共建築協会の「建築材料・設備器材等品質性能評価事業」の評価書の写しを添付させることにより替えることが出来る。
なお、評価名簿搭載品でない場合は、標準仕様書の仕様規定及び試験方法に適合することとメンテナンスの体制において文書を提出させ監督職員の承諾を得てから使用する。

注）ＪＩＳ規格　日本工業規格　　ＡＳ規格　塩化ビニル・継手協会規格
ＪＷＷＡ規格　日本水道協会規格　　ＪＰＦ規格適合品　鉄管継手協会規格
ＷＳＰ規格　日本水道鋼管協会規格　　ＭＤＪ規格適合品　排水鋼管継手工業会規格
ＳＨＡＳＥ規格　（社）空気調和・衛生工学会規格　　ＪＶ規格適合品　（社）日本バルブ工業会規格

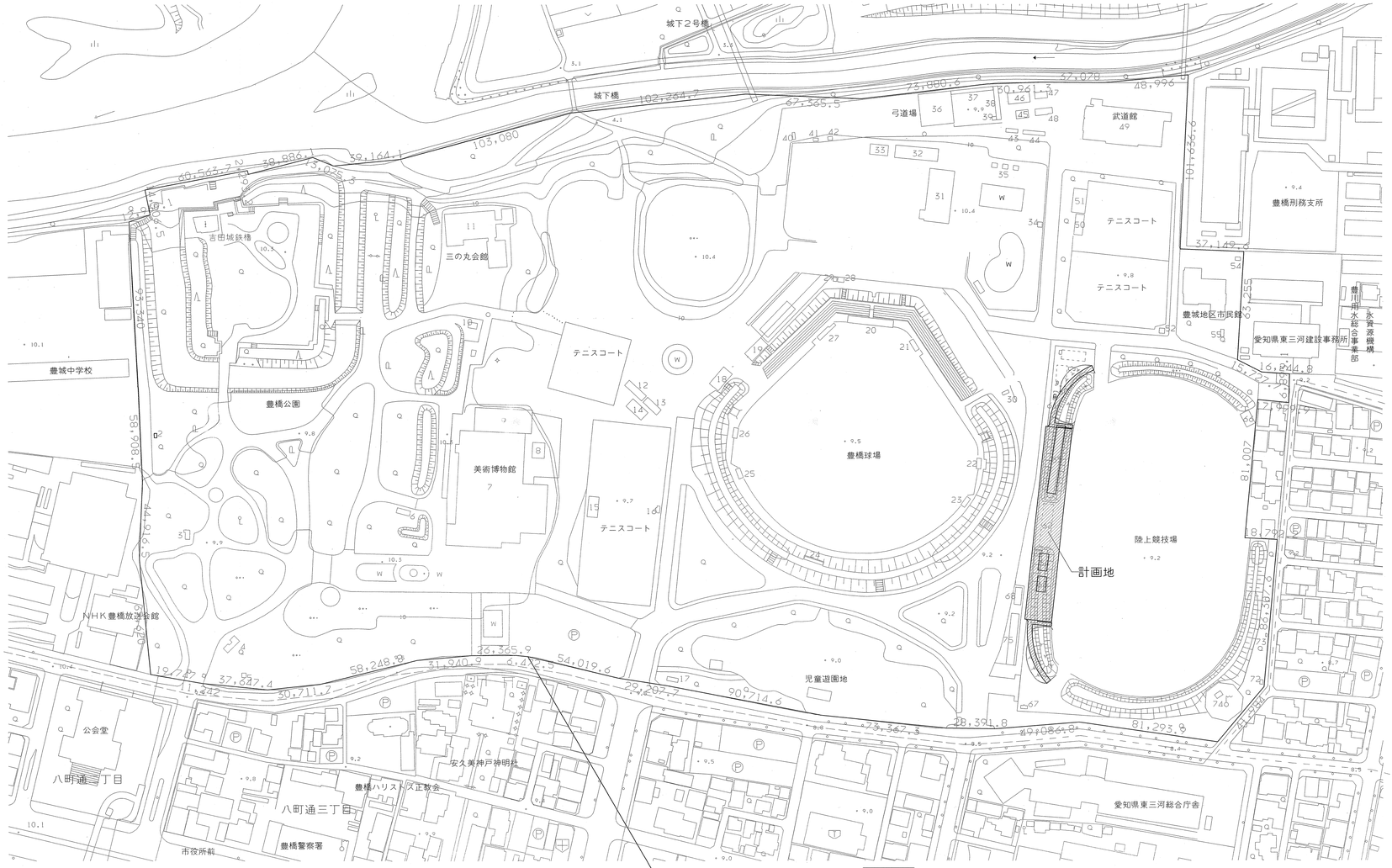
陸上競技場スタンド建設に伴う管工事

平成 28年 9月							図面名称	特記仕様書・指定資材 2
課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当		M-02	
						縮尺 N:S	代表者	検図	製図

豊橋市建設部建築課

株式会社 大建設計　管理建築士／中西兵衛　一級建築士登録第176475号

付近見取図



※　10月23日開催予定（前後2日程度準備・片付）のスポーツフェスタ終了後、別途解体工事となる。その後工事期間中、練習等でトラック等競技場の一部で利用を予定しているが、監督員との協議により一時的な利用制限は可能である。

※　建物周辺の掘削を伴う作業（汚物中継ユニット、屋外給排水配管設備、屋外ガス設備　等）の際、別途埋蔵文化財発掘調査を行うため、工程・安全管理の調整を要す。

※　建物周辺の掘削を伴う作業（汚物中継ユニット、屋外給排水配管設備、屋外ガス設備　等）の際、別途先行工事（照明塔仮設電源等敷設工事）の仮設電源設備との調整を要す。

陸上競技場スタンド建設に伴う管工事

平成 28年 9月							平成 28年 2月	図面名称	付近見取図
課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当		M-03		
						縮尺	1:1500(A1) 1:3000(A3)	代表者	検図	製図

豊橋市建設部建築課

株式会社 大建設計　管理建築士／中西兵衛　一級建築士登録第176475号

以降南側散水栓へ

以降北側配管より

全天候舗装（青）

やり投げ

砲丸投ゲージ

人工芝舗装

全天候舗装（緑）

全天候舗装（青）

走幅跳・三段跳助走

砂場

円形側溝

以降1階平面図参照

今回工事対象

ここまで先行工事

以降既設配管へ 既設使用

既設防災器材庫

倉庫

発電機設備

既設キュービクル

プロパンガス庫詳細図参照

アスファルト舗装撤去復旧を示す。

（水道本管300φ）より取出し

ソフトシール弁75（BOX共）

量水メーター75新設（貸与品）

（逆止弁75,VC-12量水器BOX共）

既設給水配管40HIに接続

既設給水配管40VPに接続

（40VP）

以降既設配管へ

既設使用

既設給水管30HIに接続

以降既設配管より

下水桝No.1

下水桝No.2

下水桝No.3

下水桝No.4

下水桝No.5

下水桝No.6

下水桝No.7

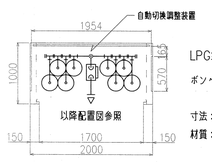
雨水桝No.1

雨水桝No.2

既設排水桝

桝No.	地表標高	管底深さ	管底標高
下水桝No.1	9.310	−2.02	7.290
下水桝No.2	9.290	−1.98	7.310
下水桝No.3	9.483	−1.89	7.593
下水桝No.4	9.624	−1.73	7.894
下水桝No.5	9.875	−1.57	8.305
下水桝No.6	9.920	−1.34	8.580
下水桝No.7	10.027	−1.23	8.797
雨水桝No.1	9.910	−0.45	9.46
雨水桝No.2	9.715	−0.47	9.245

プロパンガス庫詳細図　1/50



LPG集合装置　50kg 4本+4本

ボンベ庫（既製品　50kg 8本用）

（建築工事）

以降配置図参照

寸法：1,000×2,000×2,130H

材質：鋼板製

今回工事対象建屋を示す

舗装撤去等不可範囲（H26.8豊橋公園園路舗装工事施工範囲

陸上競技場スタンド建設に伴う管工事

平成 28年 9月

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

平成 28年 2月

M − 04

図面名称　配置図

縮尺　1:300(A1)　1:600(A3)

代表者　検図　製図

豊橋市建設部建築課

株式会社 大建設計

管理建築士／中西兵衛

一級建築士登録第176475号

1	機器表	—

記号	機器名称	機器仕様	付属電動機 電源	付属電動機 容量kW	台数	据付位置	備考
PWU−11	加圧給水ポンプユニット	形式　ステンレス製多段渦巻型（推定末端圧一定インバーター制御方式）	3φ200V	2.2×2	1	1階機械・消火ﾎﾟﾝﾌﾟ室	コンクリート基礎（建築工事）
	（雑用水系統）	仕様　40φ（×2）×50φ　×　420ℓ/min　×　400　kpa					
		運転方式　交互並列運転型					
		付属品　防振架台、制御盤（運転・故障・警報（受水槽満減渇水））、圧力タンク					
		チャッキ弁、圧力センサー、圧力計、ユニットベース、サクションユニット×2					
		その他一式					
PD−01	湧水排水ﾎﾟﾝﾌﾟ	形式　樹脂製　汚水水中型	3φ200V	0.4	2	湧水ピット	交互運転
PD−02		仕様　50φ　×　100ℓ/min ×　80 kpa					
		付属品　フロートスイッチ（2ヶ），水中ケーブル，その他一式					
PDU−03	汚物中継ﾕﾆｯﾄ	形式　ボルテックスタイプ汚物水中ポンプ　自動交互異常時同時運転形	3φ200V	1.5×2	1	屋外	
		中継槽　FRP製　3,000ℓ タイプ					
		汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ　65φ　×　200ℓ/min ×　100 kpa ×2					
		付属品　着脱装置、ガイドパイプ（SUS）、チェーン、かさ上げスペーサー、GV×2、CV×2、フロースイッチ					
		マンホール、槽内配管、水中ケーブル10m、屋外自立型制御盤（パトライト付）					
		マンホールかさ上げリング200H、マンホール蓋（ボルトロック式）　他標準付属品共					
TF−31	消火用補給水タンク	形式　ステンレス（SUS304）製パネルタンク　保温型（FP25t・アルミラッキング仕上）	—	—	1	3階消火水槽室	コンクリート基礎（建築工事）
		実容量　0.2 m³					
		寸法　1,000×　500　×　1,000 H					
		耐震　2.0 G					
		付属品　マンホール（450φ　鍵付）、内外梯子					
		通気口、電極座、FLS 3P　その他一式					
		架台　鉄骨架台 1,500H（溶融亜鉛メッキ）					
PFU−11	消火ポンプユニット	形式　易操作1号屋内消火栓用　消防認定品　ユニットⅡ型	3φ200V	5.5	1	1階機械・消火ﾎﾟﾝﾌﾟ室	コンクリート基礎（建築工事）
		仕様　50φ　×　300ℓ/min　×　660 kpa					
		付属品　呼水槽、制御盤（消火水槽満減警報、消火用補給水槽満減警報）、サクションユニット、フート弁50A					
		ポンプ性能試験装置、他標準付属品共					
WHG−150	ガスマルチ給湯器	形式　潜熱回収型ガス給湯器　屋外床置型（強制排気仕様）　150号（50号 × 3連結）タイプ　潜熱回収型	1φ100V	1.34	1	2階給湯機置場	コンクリート基礎（建築工事）
		仕様　ガス消費量 ： 324 kW　（ 21.13 kg/h）　LPG					転倒防止措置を講ずること
		付属品　即出湯ポンプユニット、マルチ架台、ドレン管、架台カバー、マルチ配管セット	1φ100V	0.28			
		SUS排気トップ120φ×3ヶ、リモコン（リモコンコード）　他標準付属品共					
TW−11	雑用受水槽（建築工事）	形式　床下コンクリート製　FLS 4P	—	—	(1)	地下	
		実容量　19.93 m³					
TW−12	雨水貯留水槽（建築工事）	形式　床下コンクリート製	—	—	(1)	地下	
TF−11	消火水槽（建築工事）	形式　床下コンクリート製　FLS 3P	—	—	(1)	地下	
		実容量　9.15 m³					
BX−1	屋内消火栓	形式　易操作性1号屋内消火栓（消火器ボックス併設型）　消防認定品　埋込型総合盤タイプ	—	—	9	各所	
		参考寸法　1,050　×　250　×　1,400H					
		付属品　消火栓開閉弁（ポンプ起動スイッチ）、噴霧ノズル、保形ホース、ホースリール					
		他標準付属品共					
BX−2	屋内消火栓	形式　易操作性1号屋内消火栓　消防認定品　露出型総合盤タイプ　SUS製架台付(750×250×300H)	—	—	1	3階スタンド席	
		参考寸法　750　×　250　×　1,400H					
		付属品　消火栓開閉弁（ポンプ起動スイッチ）、噴霧ノズル、保形ホース、ホースリール					
		他標準付属品共					

平成 28年　9月						
課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当	

豊橋市建設部建築課

陸上競技場スタンド建設に伴う管工事

平成 28年 2月	図面名称	機器表
M − 05		
縮尺 N:S	代表者	検図 製図

株式会社 大建設計
管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号

1	衛生器具表	—	

器具記号	名称	仕様	参考品番（上段：TOTO、下段：LIXIL）	附属品・その他	合計	1階								屋外						備考欄
						利用者用便所（男）	利用者用便所（女）	フットバススペース	更衣室・洗面脱衣室（女）	更衣室・洗面脱衣室（男）	一般用便所（女）	一般用便所（男）	多目的便所1	多目的便所2							
C−11	洋風便器	節水床置大便器	CFS460MHRA	普通便座（TC301）、棚付二連紙巻器（YH701）	他標準付属品共															
		リモデル	C−P25H−AY	一般用フラッシュバルブ（節水形・壁給水・中水用）（CF−T7110−C）、普通便座（CF−49AT）、棚付二連紙巻器（CF−63HST）、便座当り止め	他標準付属品共	13					9	4									
C−12	洋風便器	節水床置大便器（壁排水）	C743PVN	一般用フラッシュバルブ（節水形・壁給水・中水用）（TV650R）、普通便座（TC301）、スパッド、フランジ、棚付二連紙巻器（HY701）	他標準付属品共															
			C−P17P	一般用フラッシュバルブ（節水形・壁給水・中水用）（CF−T6112−C）、普通便座（CF−49AT）、スパッド、フランジ、棚付二連紙巻器（CF−63HST）、便座当り止め	他標準付属品共	1						1								
C−13	洋風便器	節水床置大便器	CFS465JRA	タッチスイッチ（TES47U）、洗浄温水便座（TCF5503PV82W）、アングル止水栓13、棚付二連紙巻器（YH701）、腰掛便器用手すりL型（T112CL11）、可動式手すり（T112HK7）、背もたれ（EWC283CR）	他標準付属品共															
		自動フラッシュバルブ	C−P25S75−AY	タッチスイッチ（OKC−T7110−C,OKC−4BP）、洗浄温水便座（CW−PA11F−NECK）、アングル止水栓13、棚付二連紙巻器（CF−63HST）、腰掛便器用手すり L型（KF−926AE80D25）、可動式手すり（KF−471EH70）、背もたれ（KFC−270T1U）	他標準付属品共	2							1	1							AC100V
C−14	洋風便器	節水床置大便器	CFS469HRA	洗浄温水便座（TCF585）、アングル止水栓13、棚付二連紙巻器（HY701）	他標準付属品共															
			C−P25H−AY	一般用フラッシュバルブ（節水形・壁給水・中水用）（CF−T7110−C）、洗浄暖房便座（CW−PB11F−NE）、ｽﾊﾟｯﾄﾞ、アングル止水栓13、棚付二連紙巻器（CF−63HST）	他標準付属品共	2	2													AC100V
C−15	洋風便器	節水床置大便器	CFS460MHRA	洗浄温水便座（TCF585）、アングル止水栓13、棚付二連紙巻器（HY701）	他標準付属品共															
		リモデル	C−P15H	一般用フラッシュバルブ（節水形・壁給水・中水用）（CF−T7110−C）、洗浄暖房便座（CW−PB11F−NE）、ｽﾊﾟｯﾄ、アングル止水栓13、棚付二連紙巻器（CF−63HST）	他標準付属品共	2		2												AC100V
L−11	洗面器	壁掛カウンター付	L270C	立水栓13（自動水栓）（TEN41A）、バックハンガー、排水金具（Pトラップ）	他標準付属品共															
			L−275FCR	立水栓13（自動水栓）（AM−200V1）、バックハンガー、排水金具（Pトラップ）	他標準付属品共	2							1	1						AC100V
L−12	手洗器	埋込式	LSE570AP	自動水栓、排水金具（Pトラップ）	他標準付属品共															
			AWL−71U2AM（P）（100V）	自動水栓、排水金具（Pトラップ）	他標準付属品共	2							1	1						AC100V
L−21	洗面器	はめ込角形	L350C	立水栓13（自動水栓）（TEN41A）、排水金具（Pトラップ）	他標準付属品共															
			L−2150FC	立水栓13（自動水栓）（AM−200V1）、排水金具（Pトラップ）	他標準付属品共	9					5	4								AC100V
L−31	洗面器	はめ込前丸形	L830CRU	立水栓13（自動水栓）（TENA12A）、排水金具（Pトラップ）	他標準付属品共															
			L−2160ANC	立水栓13（自動水栓）（AM−210CV1）、排水金具（Pトラップ）	他標準付属品共	4	2	2												AC100V
L−41	洗面器	アンダーカウンター角形	L520	シングルレバー混合栓（TLCC31E1R）、止水栓（壁）、排水金具（Pトラップ）、ブラケット	他標準付属品共															
			L−2250	シングルレバー混合栓（LF−E340SYC）、止水栓（壁）、排水金具（Pトラップ）、ブラケット	他標準付属品共	4			2	2										
T−11	手すり	腰掛便器用手すり L型	T112CL10	固定用金具	他標準付属品共															
			KF−920AE70D12	固定用金具	他標準付属品共	4	1	1				1	1							
T−12	手すり	小便器用手すり	T112CU2	固定用金具	他標準付属品共															
			KF−701AE	固定用金具	他標準付属品共	3	1					1		1						
T−13	手すり	カウンター洗面器用	M268N		他標準付属品共															
			BB−DC3		他標準付属品共	2					1	1								
SK−11	掃除流し	バック付	SK322	横水栓13（T200SNR13）、排水金具（Sトラップ）、リムカバー、バックハンガー	他標準付属品共															
			S−200	横水栓13（LF−7R−13）、排水金具（Sトラップ）、リムカバー、バックハンガー	他標準付属品共	2					1	1								
SK−12	掃除流し	バック付	SK322	横水栓20（T23B20）、排水金具（Sトラップ）、リムカバー、バックハンガー	他標準付属品共															
			S−200	横水栓20（LF−7K−19）、排水金具（Sトラップ）、リムカバー、バックハンガー	他標準付属品共	2	1			1										
U−11	小便器	低リップセンサー一体型小便器	UFS900R		他標準付属品共															
			U−A51AP		他標準付属品共	12	2					9		1						AC100V
UA−11	オストメイトパック		UAS75RDB2N	側板（UTR138Y）	他標準付属品共															
			PTOM−A210TRW	側板（PTOM−DSCR）	他標準付属品共	1							1							AC100V
F−11	サーモ付混合水栓	緊急止水弁付	TW40S																	
			SF−M345TRHQ			2			2											
YK−11	ベビーシート		YKA25	アンカーボルト	他標準付属品共															
			KFA−23	アンカーボルト	他標準付属品共	1							1							
YK−12	ベビーチェアー		YKA15	アンカーボルト	他標準付属品共															
			KFA−12	アンカーボルト	他標準付属品共	1							1							
M−11	化粧鏡	約500×約1000	YMK52K																	
			KF−5010AG			2							1	1						
US−11	シャワーユニット	サーモスタットシャワーセット	JSV0808LW7AK																	
			SPB−0808SBEL+HGRR4			(4)			(2)	(2)										（建築工事）
US−12	シャワーユニット	サーモスタットシャワーセット	JSV0808LW7CK																	
			SPB−0808SBEL+HGRR4			(4)			(2)	(2)										（建築工事）
F−7	横水栓	2口	T250SN	樹脂製水栓柱 L=1200																
			LF−7Y−13			1								1						
F−8	散水栓	自動接手付	T28UNH13	床用散水栓箱（B3）																
			LF−33−13−CV			1								1						

平成 28年 9月

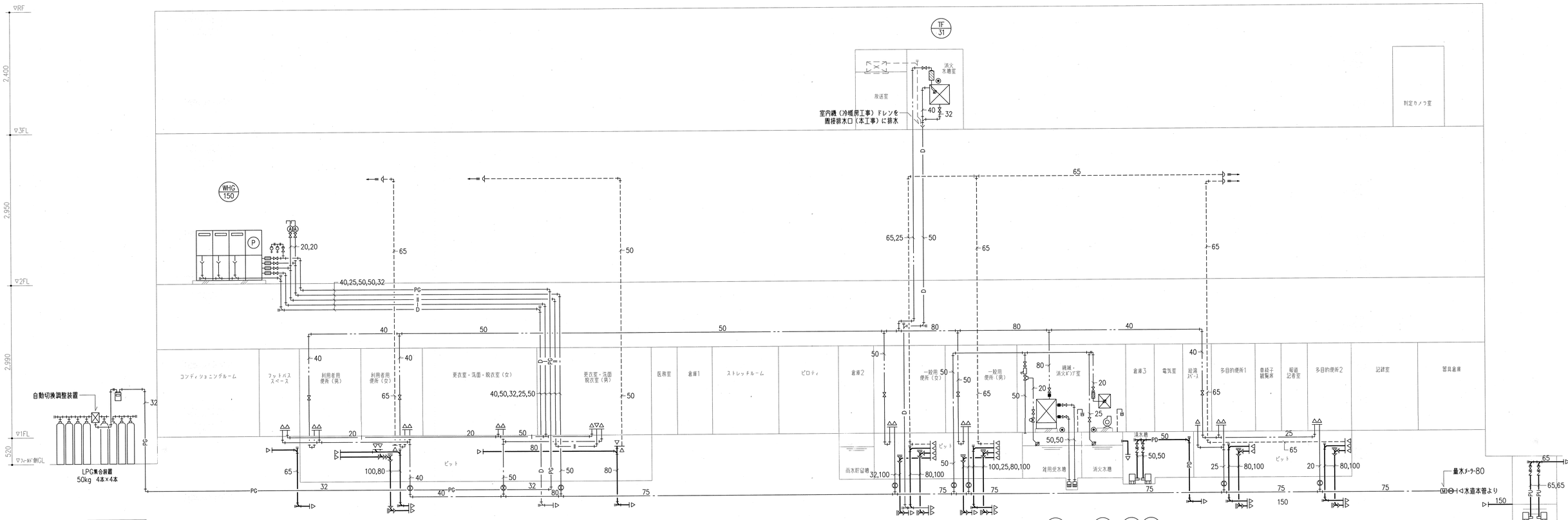
課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

豊橋市建設部建築課

陸上競技場スタンド建設に伴う管工事

平成 28年 2月	図面名称	衛生器具表
M − 06		
縮尺 N:S	代表者	検図 / 製図

㈱大建設計
管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号



凡例

記号	名称	備考
—・—	飲用給水管	硬質塩化ビニルライニング鋼管（一般）SGP−VB
—・—	飲用給水管	硬質塩化ビニルライニング鋼管（屋内埋設）SGP−VD
—・—	飲用給水管	耐衝撃性硬質塩化ビニル管(屋外埋設) HIVP JIS K6742
—・—	雑用給水管	硬質塩化ビニルライニング鋼管（一般）SGP−VB
—・—	雑用給水管	硬質塩化ビニルライニング鋼管（屋内埋設）SGP−VD
—・—	雑用給水管	耐衝撃性硬質塩化ビニル管(屋外埋設) HIVP JIS K6742
—Ⅰ—	給湯管（往）	一般配管用ステンレス鋼鋼管
—Ⅱ—	給湯管（還）	一般配管用ステンレス鋼鋼管
——	汚水管	（一般）硬質塩化ビニル管 VP JIS K6741
——	汚水管	（埋設）硬質塩化ビニル管 VP JIS K6741
——	雑排水管	（一般）硬質塩化ビニル管 VP JIS K6741
——	雑排水管	（埋設）硬質塩化ビニル管 VP JIS K6741
—PU—	ポンプアップ管	耐衝撃性硬質塩化ビニル管 HIVP JIS K6742
—D—	ドレン管	（一般）硬質塩化ビニル管 VP JIS K6741
—D—	ドレン管	（埋設）硬質塩化ビニル管 VP JIS K6741
------	通気管	（一般）硬質塩化ビニル管 VP JIS K6741
------	通気管	（埋設）硬質塩化ビニル管 VP JIS K6741
○	桝	小口径塩ビ桝
⊠	水栓	
⊠	混合水栓	
⊠	床上掃除口	
⊠	床排水金物	
⊠	ベンドキャップ	
⊠	ボールタップ	
⊠	水栓柱	横水栓
⊠	散水栓	散水栓ﾎﾞｯｸｽ
⊠	弁類	JIS 10K
⊠	逆止弁	JIS 10K
Y	最接排水口	
●	埋設表示	

桝表

桝の深さは参考とする。　1FL=9.93

記号	名称	種別	寸法	地盤高	深さ	蓋	備考
①	トラップ桝	小口径塩ビ桝	200φ−150φ−90L	9.82	750	塩ビ蓋	
②	インバート桝	小口径塩ビ桝	200φ−150φ−90Y	9.82	840	塩ビ蓋	
③	インバート桝	小口径塩ビ桝	200φ−150φ−90Y	9.82	850	塩ビ蓋	
④	欠番						
⑤	インバート桝	小口径塩ビ桝	200φ−150φ−90Y	9.82	920	塩ビ蓋	
⑥	インバート桝	小口径塩ビ桝	200φ−150φ−90L	9.82	940	塩ビ蓋	
⑦	インバート桝	小口径塩ビ桝	200φ−150φ−90Y	9.82	1,020	塩ビ蓋	別途工事のドレン管を接続
⑧	インバート桝	小口径塩ビ桝	200φ−150φ−90L	9.82	650	塩ビ蓋	
⑨	インバート桝	小口径塩ビ桝	200φ−150φ−90Y	9.82	660	塩ビ蓋	
⑩	インバート桝	小口径塩ビ桝	200φ−150φ−90Y	9.82	720	塩ビ蓋	
⑪	インバート桝	小口径塩ビ桝	200φ−150φ−90Y	9.82	740	塩ビ蓋	
⑫	インバート桝	小口径塩ビ桝	200φ−150φ−90Y	9.82	750	塩ビ蓋	
⑬	インバート桝	小口径塩ビ桝	200φ−150φ−90Y	9.82	830	塩ビ蓋	
⑭	インバート桝	小口径塩ビ桝	200φ−150φ−90Y	9.82	840	塩ビ蓋	
⑮	インバート桝	小口径塩ビ桝	200φ−150φ−90Y	9.82	850	塩ビ蓋	

記号	名称	種別	寸法	地盤高	深さ	蓋	備考
⑯	インバート桝	小口径塩ビ桝	200φ−150φ−90L	9.82	860	塩ビ蓋	
⑰	インバート桝	小口径塩ビ桝	200φ−150φ−90L	9.82	880	塩ビ蓋	
⑱	インバート桝	小口径塩ビ桝	200φ−150φ−90Y	9.82	900	塩ビ蓋	
⑲	インバート桝	小口径塩ビ桝	200φ−150φ−90Y	9.82	910	塩ビ蓋	
⑳	インバート桝	小口径塩ビ桝	200φ−150φ−90Y	9.82	920	塩ビ蓋	
㉑	インバート桝	小口径塩ビ桝	200φ−150φ−ST	9.82	940	塩ビ蓋	
㉒	インバート桝	小口径塩ビ桝	200φ−150φ−ST	9.82	1,050	塩ビ蓋	
㉓	インバート桝	小口径塩ビ桝	200φ−150φ−90L	9.82	1,100	塩ビ蓋	
㉔	インバート桝	小口径塩ビ桝	200φ−150φ−90L	9.82	1,110	塩ビ蓋	
㉕	インバート桝	小口径塩ビ桝	200φ−150φ−90L	9.82	1,140	塩ビ蓋	
㉖	インバート桝	小口径塩ビ桝	200φ−150φ−90Y	9.82	1,160	塩ビ蓋	
㉗	インバート桝	小口径塩ビ桝	200φ−150φ−90L	9.82	1,060	塩ビ蓋	
㉘	インバート桝	小口径塩ビ桝	200φ−150φ−ST	9.82	460	塩ビ蓋	
㉙	インバート桝	小口径塩ビ桝	200φ−150φ−90L	9.82	470	塩ビ蓋	
㉚	インバート桝	小口径塩ビ桝	200φ−150φ−90Y	9.82	500	塩ビ蓋	
㉛	インバート桝	小口径塩ビ桝	150φ−100φ−90L	9.82	750	塩ビ蓋	

陸上競技場スタンド建設に伴う管工事

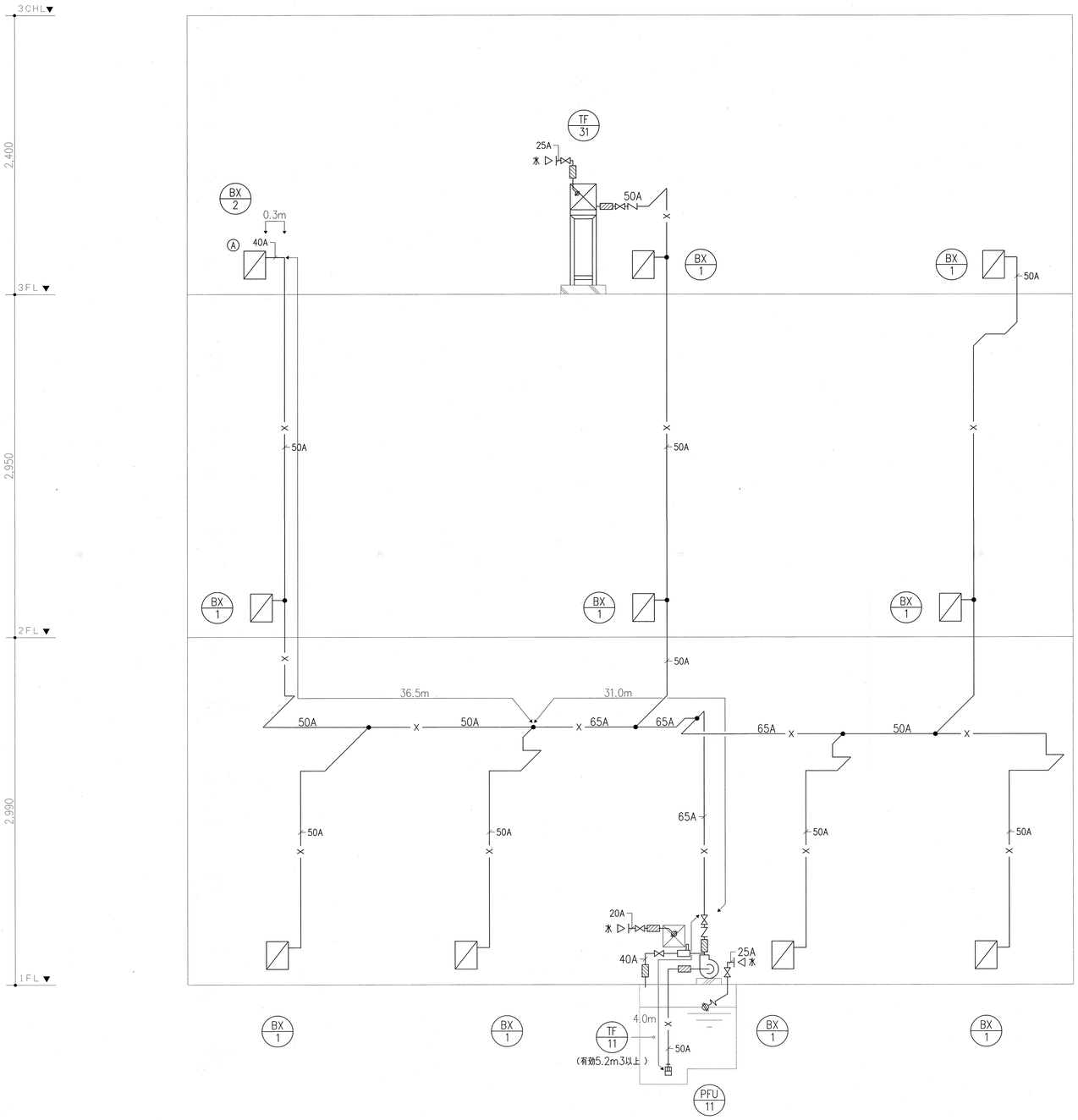
平成28年9月

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

豊橋市建設部建築課

平成28年2月	図面名称 系統図・凡例・排水桝リスト
M − 07	
縮尺 N:S	代表者 検図 製図

株式会社 大建設計　管理建築士／中西兵衛　一級建築士登録第176475号



屋 内 消 火 栓 系 統 図

屋 内 消 火 栓 計 算 書 Ⓐ玄

1. 屋内消火栓設置個数 ： 2箇所 （易操作タイプ）

2. 水源の算定 ： 2.6m3x2箇所 = 5.2m3以上

3. ポンプの算定

A） ポンプの定格吐出量 ： 150l/min×2箇所 = 300l/min

B） ポンプの全揚程 ： H=h1+h2+h3+h4

h1=配管摩擦損失 7.8 (mH20) 下記による。

h2=実揚程 10.5 (mH20)

h3=ノズルの放水圧力 17.0 (mH20)

h4=消防ホースの摩擦損失水頭 24.0 (mH20) 30A保形ホース

H=7.8+10.5+17.0+24.0 = 59.3(mH20) x 1.1 ≒ 66(mH20)

※h1の算定

水量	管径	単位当の摩擦損失	直管の長さ	局部抵抗の種類	数	局部抵抗相当長	計	合計	摩擦損失水頭	備考
(l/min)	(A)	(m/100m)	(m)			(m)	(m)	(m)	(m)	
300	65	4.08	31.0	エルボ	3	2・0	6.0	49.3	2.012	
				チーズ	3	4・1	12.3			
300	50	13.76	4.0	GV	1	0・3	0・3	26.3	3.619	
				CV	1	4・4	4・4			
				フート弁	1	17.6	17.6			
150	50	3.82	36.5	エルボ	3	1.6	4.8	50.9	1.945	
				チーズ	3	3.2	9.6			
150	40	12.30	0.3	エルボ	1	1.3	1.3	1.6	0.197	
									7.773	≒ 7.8

C） 電動機の算定 (kw) = 0.163×Q×H×K / E

=0.163×0.3×66×1.1 / 0.65

=5.47 ⇒ 5.5(kw)

Q=300(l/min) → 0.3(m3/min)

H=66 (mH20)

k=1.1

E=ポンプ効率 (0.65)

∴ 屋内消火栓ポンプユニット(PFU-11) ユニットⅡ型 50φ x 300L/min ×660kpa x 5.5kw (消防認定品)

陸上競技場スタンド建設に伴う管工事

平成28年 9月	課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

豊橋市建設部建築課

平成28年2月	図面名称	屋内消火栓系統図・計算書
M－08	縮尺	N:S
	代表者	
	検図	
	製図	

株式会社 大建設計
管理建築士/中西兵衛
一級建築士登録第176475号

3階平面図 1:200

2階平面図 1:200

1階平面図 1:200

屋外		
横水栓	F-7	1
散水栓	F-8	1

Ⓑ	EM-CEE 1.25^{0}-5C (PF22)
Ⓒ	付属ケーブル×2 (FEP30)
Ⓓ	付属リモコンコード (隠蔽：PF22 屋外露出：GPZ22)

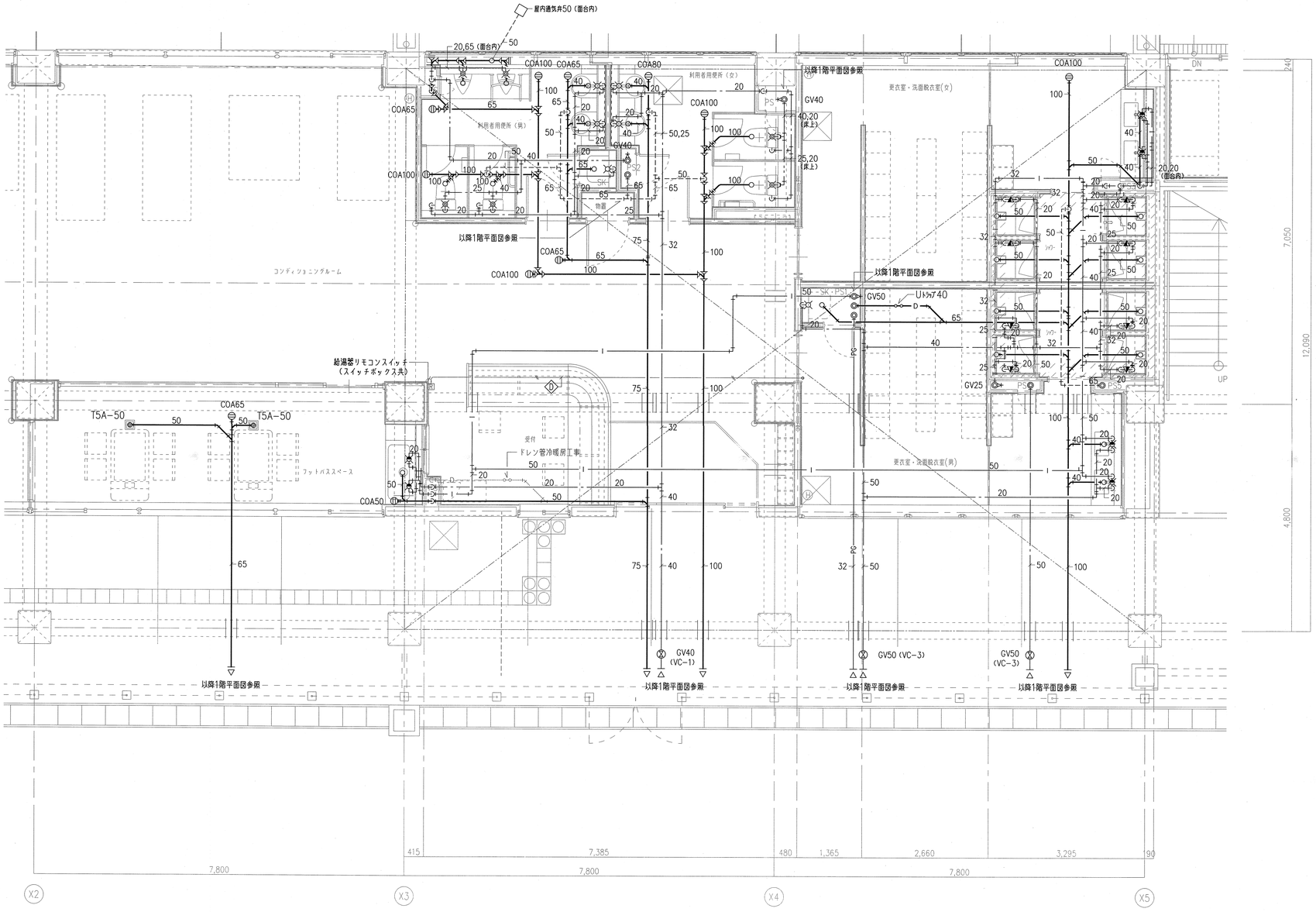
陸上競技場スタンド建設に伴う管工事

平成 28年 9月								平成 28年 2月	図面名称 1階・2階・3階平面図
課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当			M - 09	
						縮尺	代表者	1:200(A1) 1:400(A3)	検図 製図

豊橋市建設部建築課

株式会社 大建設計

管理建築士/中西兵衛 一級建築士登録第176475号



利用者用便所（男）		
洋風便器	C－14	2
小便器	U－11	2
手すり	T－11	1
手すり	T－12	1
掃除流し	SK－12	1
洗面器	L－31	2
洗面カウンター	（建築工事）	(1)

利用者用便所（女）		
洋風便器	C－15	2
手すり	T－11	1
洗面器	L－31	2
洗面カウンター	（建築工事）	(1)

フットバススペース		
サーモ付混合栓	F－11	2
床排水金物	T5A－50	2

更衣室・洗面脱衣室（女）		
シャワーユニット	US－11（建築工事）	2
シャワーユニット	US－12（建築工事）	2
洗面器	L－41	2

更衣室・洗面脱衣室（男）		
シャワーユニット	US－11（建築工事）	2
シャワーユニット	US－12（建築工事）	2
洗面器	L－41	2
掃除流し	SK－12	1

◇1	付属リモコンコード（PF22）

⊠	床下配管ピットを示す

陸上競技場スタンド建設に伴う管工事

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

平成 28年　9月

豊橋市建設部建築課

平成 28年 2月	図面名称	平面詳細図（1）
M－10	縮尺	1:50(A1) 1:100(A3)

代表者　検図　製図

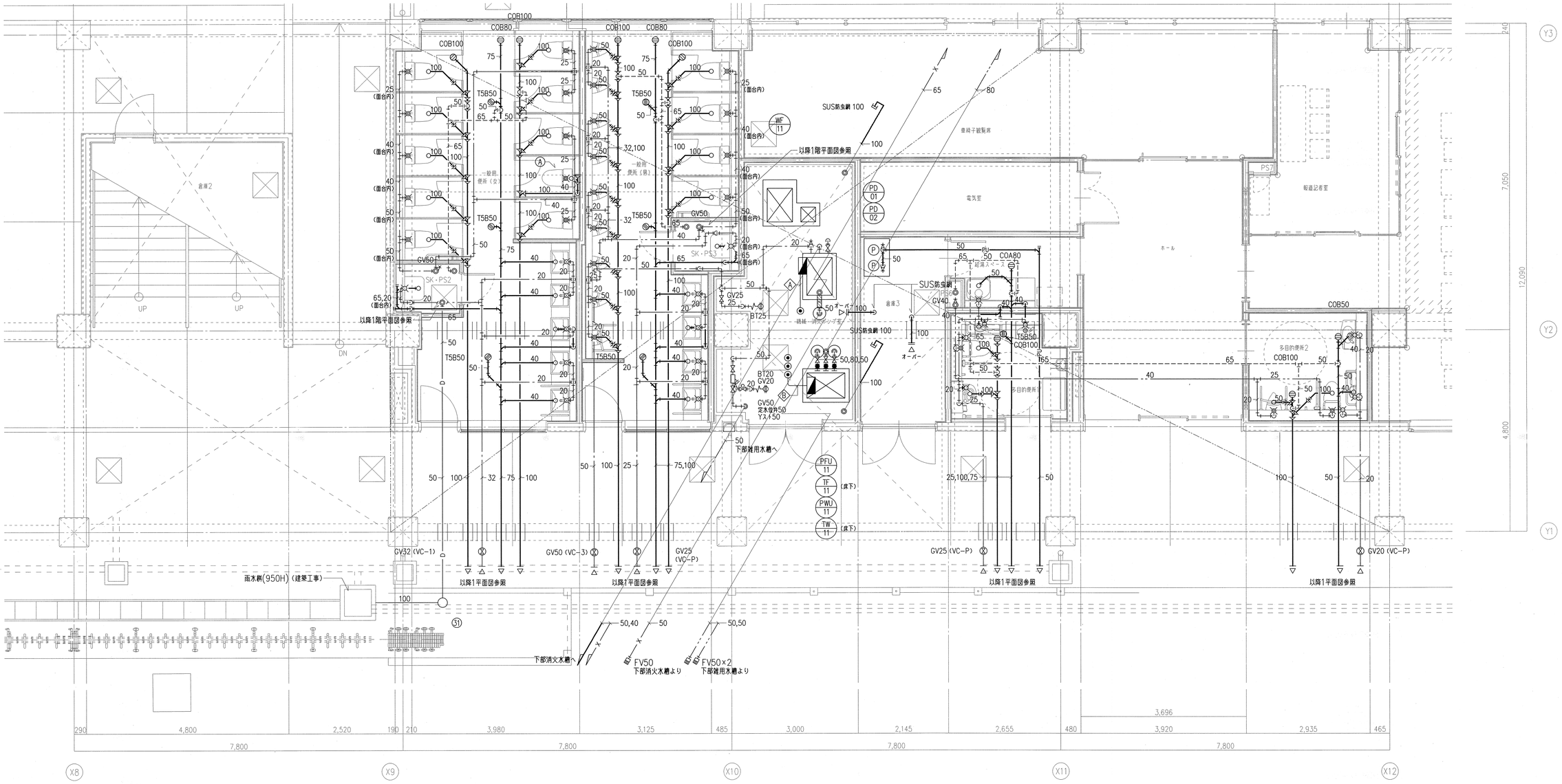
株式会社 大建設計

管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号

PFU−11廻り	消火ポンプユニット		
FJ（SUS）	50A×500L	（消火）	1
FJ（SUS）	40A×500L	（消火）	1
GV（JIS−10K）	20A	（給水）	1
FJ（SUS）	20A×300L	（給水）	1

PWU−11廻り	加圧給水ポンプユニット		
防振継手（球ゴム）	50A	（IN）	2
GV（JIS−5K）	50A	（IN）	2
BV（JIS−10K）	80A	（OUT）	1
防振継手（球ゴム）	80A	（OUT）	1

PD−01・02廻り	湧水排水ポンプユニット		
GV（JIS−10K）	50A	（排水）	2
CV（JIS−10K）	50A	（排水）	2



一般用便所（女）		
洋風便器	C−11	9
洋風便器 Ⓐ	C−12	1
手すり	T−11	1
掃除流し	SK−11	1
洗面器	L−21	5
手すり	T−13	1

一般用便所（男）		
洋風便器	C−11	4
小便器	U−11	9
手すり	T−11	1
手すり	T−12	1
掃除流し	SK−11	1
カウンター一体型洗面器	L−21	4
手すり	T−13	1

多目的便所1		
洋風便器	C−13	1
オストメイトパック	UA−11	1
洗面器	L−11	1
手洗器	L−12	1
化粧鏡	M−11	1
ベビーシート	YK−11	1
ベビーチェア	YK−12	1

多目的便所2		
洋風便器	C−13	1
小便器	U−11	1
手すり	T−12	1
洗面器	L−11	1
手洗器	L−12	1
化粧鏡	M−11	1

Ⓐ	EM−CEE 1.25°−3C（PF16）
Ⓑ	EM−CEE 1.25°−5C（PF22）

床下配管ピットを示す

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

平成 28年　9月

豊橋市建設部建築課

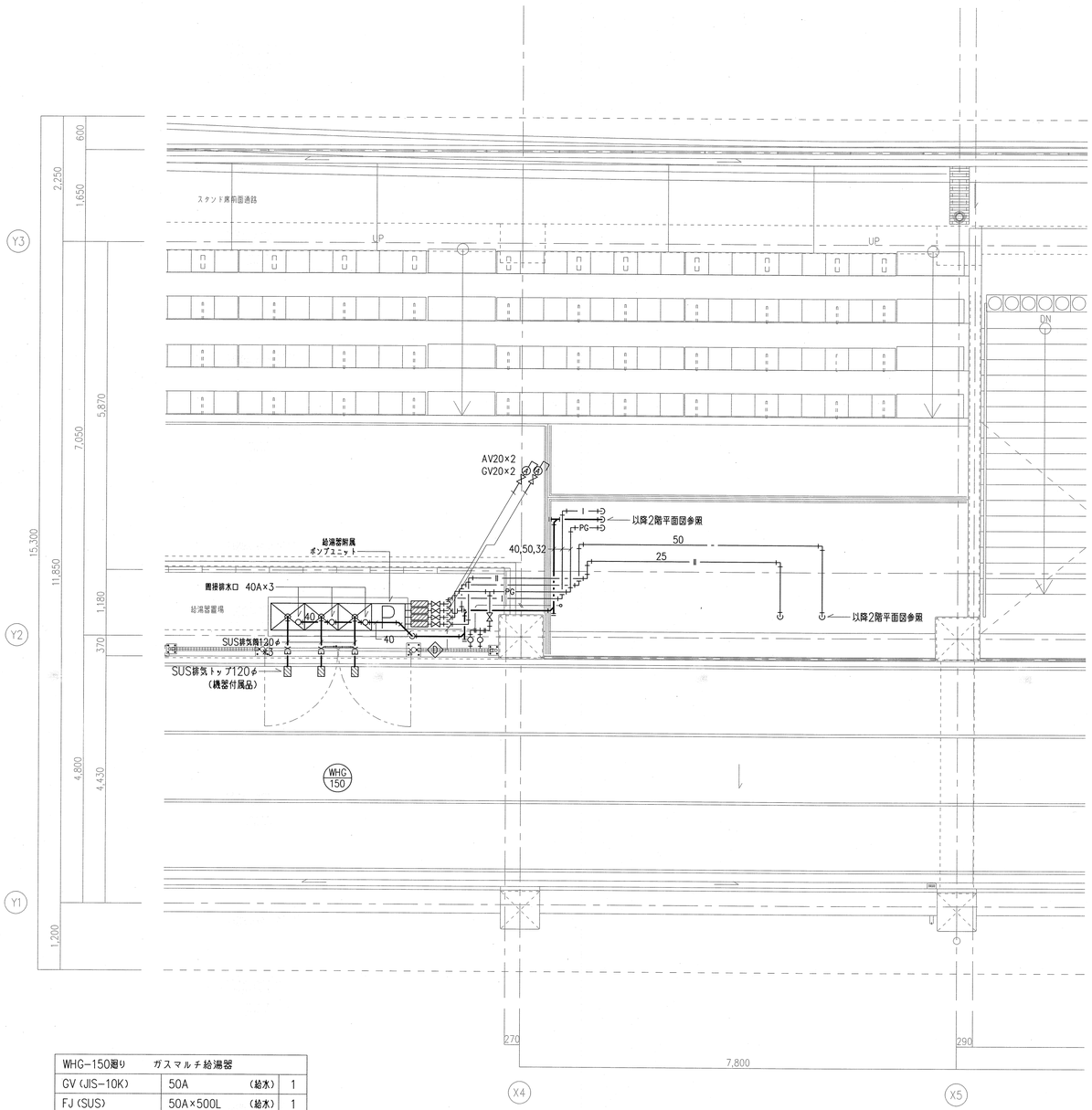
陸上競技場スタンド建設に伴う管工事

図面名称	平面詳細図（2）
M − 11	
縮尺 1:50(A1) 1:100(A3)	代表者 / 検図 / 製図

株式会社 大建設計

管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号

2階　給湯器廻り詳細図　1/50



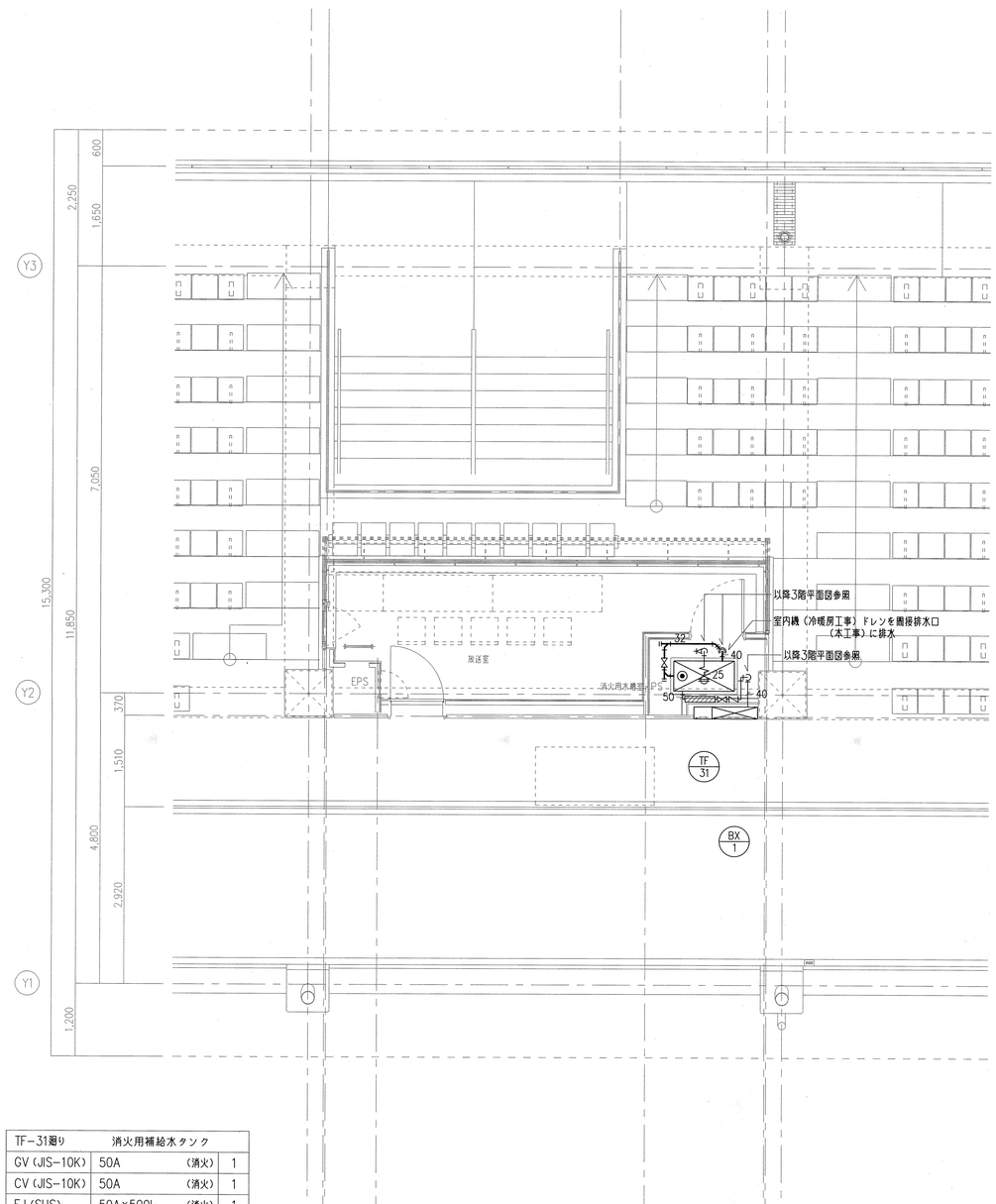
WHG−150廻り　ガスマルチ給湯器			
GV（JIS−10K）	50A	（給水）	1
FJ（SUS）	50A×500L	（給水）	1
GV（JIS−10K）（SUS）	50A	（給湯往）	1
FJ（SUS）	50A×500L	（給湯往）	1
GV（JIS−10K）（SUS）	25A	（給湯返）	1
FJ（SUS）	25A×300L	（給湯返）	1
ガスコック	32A	（ガス）	1
ガス用フレキ	32A	（ガス）	1
圏接排水口	40A	（ドレン）	3

給湯機器置場		
ガスコンセントコック	LB 1/2	2
ガスネジ栓	20A	1

◇D	付属リモコンコード（GPZ22）

凡　例		
記　号	名　称	備　考
—PG—	プロパンガス管	配管用炭素鋼鋼管（一般）JIG−G−3452(B)
—PG—	プロパンガス管	ポリエチレン被覆鋼管（埋設）SGP−PS
—⋈—	ガスねじ栓	
○+	ガスコンセントコック	

3階　消火補給水槽廻り詳細図　1/50



TF−31廻り　消火用補給水タンク			
GV（JIS−10K）	50A	（消火）	1
CV（JIS−10K）	50A	（消火）	1
FJ（SUS）	50A×500L	（消火）	1
GV（JIS−10K）	25A	（雑用給水）	1
FJ（SUS）	25A×300L	（雑用給水）	1
ボールタップ	25A	（雑用給水）	1
GV（JIS−5K）	32A	（排水）	1
防虫網（SUS）	40A	（オーバーフロー）	1
電極棒	FLS3P	（保持器共）	1

陸上競技場スタンド建設に伴う管工事

平成 28年 2月　図面名称　平面詳細図（3）

M − 12

縮尺　1:50(A1)　1:100(A3)

平成 28年　9月

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

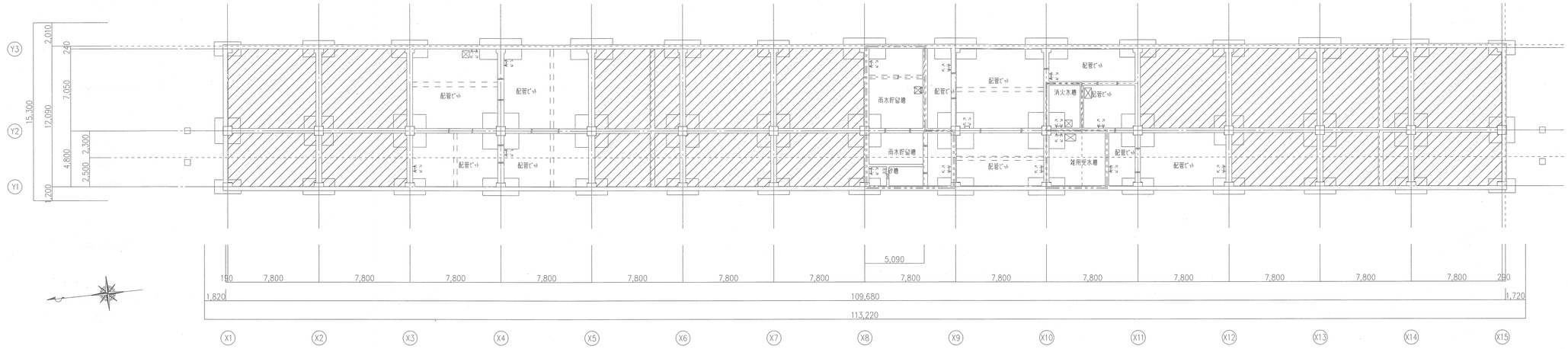
代表者　検図　製図

豊橋市建設部建築課

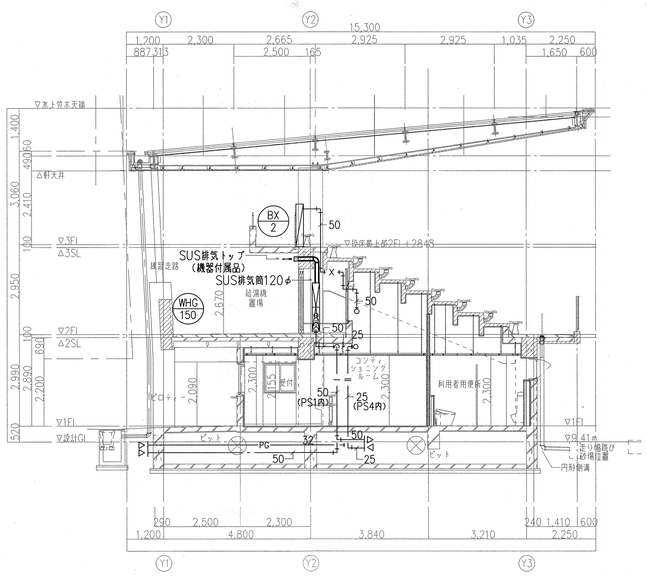
株式会社 大建設計

管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号

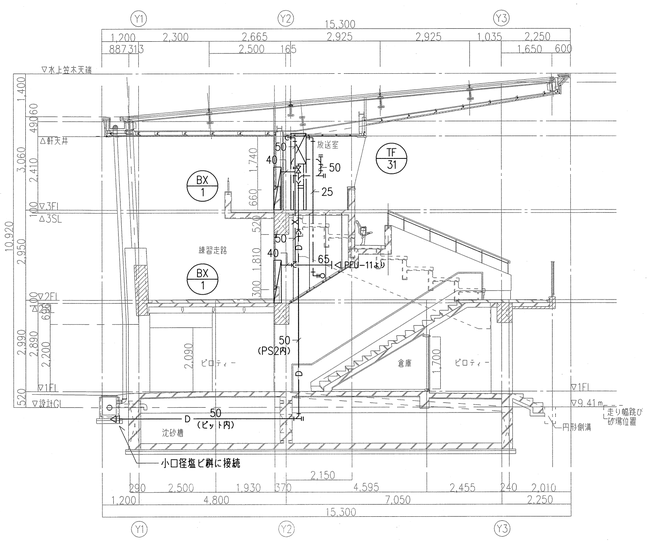
床下ピット平面図　1/200



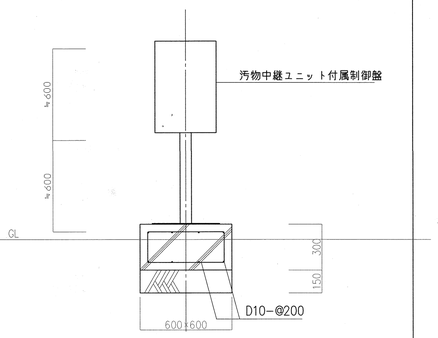
WHG−150廻り断面図　1/100



TF−31廻り断面図　1/100

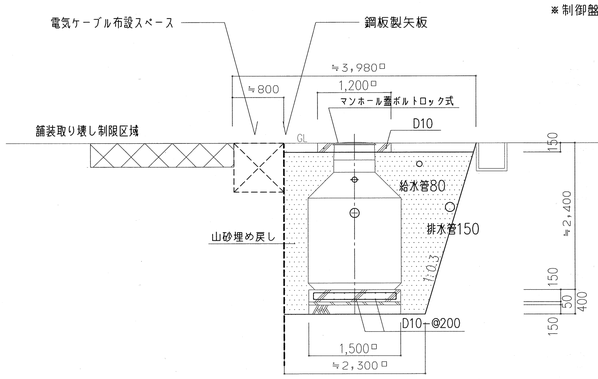


汚物中継ユニット据付図　N/S



汚物中継ユニット付属制御盤据付図　N/S

※制御盤までの一次側電源は別途電気工事



PDU−03　汚物中継ユニット据付図　N/S

陸上競技場スタンド建設に伴う管工事

平成 28年 9月	課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

平成 28年 2月	図面名称	床下ピット図・断面図・汚物中継ユニット据付図
M − 13	縮尺	1:200(A1) 1:400(A3) 1:100(A1) 1:200(A3)
	代表者	検図 / 製図

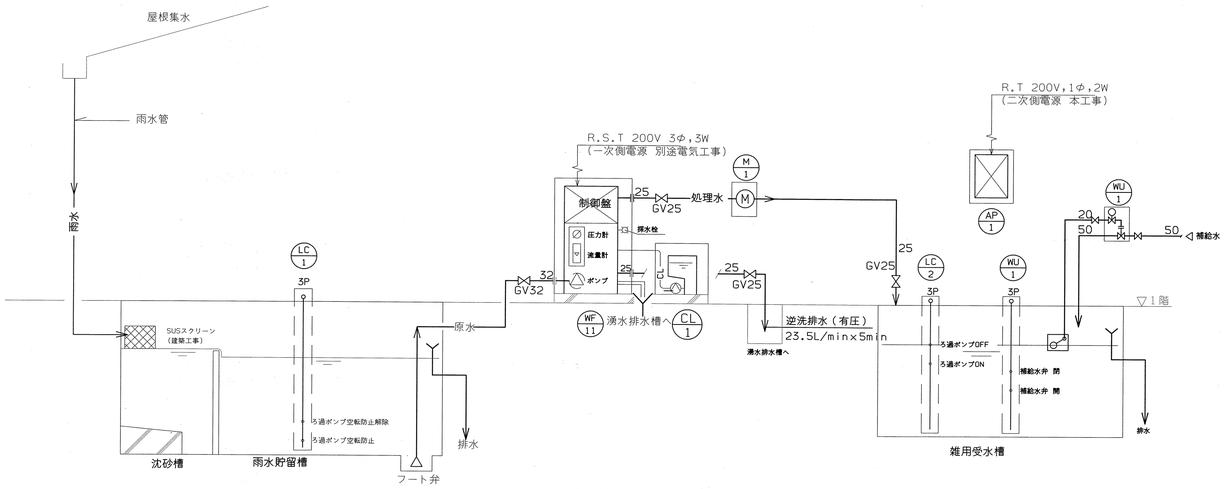
豊橋市建設部建築課

株式会社 大建設計

管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号

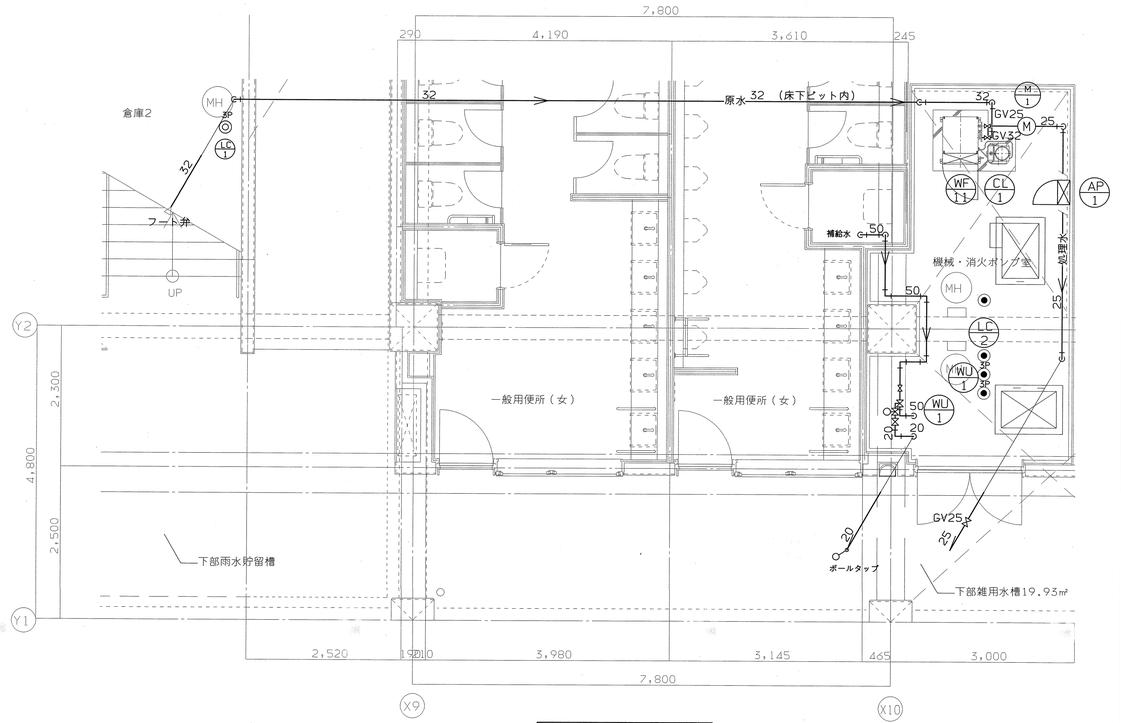
フローシート

は装置範囲を示す。

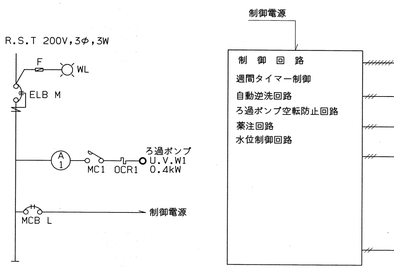


機器表 （参考）

記号	機 器 名 称	仕 様	電源 φ	電源 V	電源 kW	数量	備考
WF-11	雨水ろ過装置	自動型 雨水利用ユニット 処理能力 2.0m³/h 制御盤付パッケージ型（屋内型）				1	型式：RU-2型 逆洗排水（有圧） 23.5L/min × 5min
		ろ過本体 PVC製Φ300 × 1250H，配管 SUS/HIVP，ろ過材SKライトA，自動空気抜弁，圧力計共					
		25A 自動5方ボール弁（SCS製），25A 瞬間流量計（SCS製），25A 流量調整BV × 3	1	200			
		水抜弁，採水弁共					
		ポンプ 自吸式タービン形 32A × 33L/min × 19m（2P） FC製ナイロンコート	3	200	0.4		
		自動制御盤 装置組込型 ろ過運転積算時間計付	3	200			
(CL-1)	塩素剤注入装置	電磁駆動式定量ポンプ 30mL/min×1Mpa×15w PE製タンク30L	1	200	0.015	1	
LC-1	雨水槽水位計	電極3P（SUS製） ろ過ポンプ空転防止 － ろ過ポンプ空転防止解				1	
LC-2	雑用水槽水位計	電極3P（SUS製） ろ過ポンプON － OFF				1	
WU-1	補給水装置	50A 定水位弁 水位計電極3P（SUS製） 電磁弁制御 ボールタップ併用式	1	200		1	
AP-1	補給水制御盤	屋内壁取付形 補給水弁制御	1	200		1	
M-1	積算流量計	25mm デジタル表示					

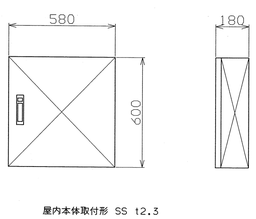


ろ過装置配管 平面図



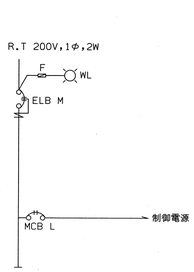
ろ過装置動力分電図

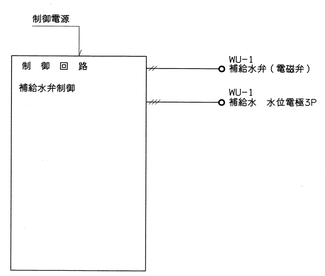
※二次側制御用配管・配線工事は本工事とする。



屋内本体取付形 SS t2.3

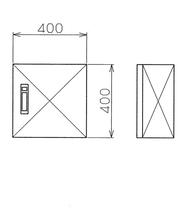
ろ過装置制御盤姿図





AP-1 補給水制御盤動力分電図

※二次側配管・配線工事は本工事とする。



屋内壁掛形 SS t2.3

補給水制御盤姿図

陸上競技場スタンド建設に伴う管工事

平成28年 2月

図面名称 雨水利用設備図

M-14

平成28年 9月

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

縮尺 1:50(A1) 1:100(A3)

代表者 検図 製図

豊橋市建設部建築課

株式会社 大建設計

管理建築士/中西兵衛

一級建築士登録第176475号

以降南側散水栓へ

以降北側配管より

全天候舗装（青）

やり投げ

全天候舗装（緑）

人工芝舗装

砂場

円形側溝

走幅跳・三段跳助

器具庫

便所

施設棟

倉庫

キュービクル

既設排水桝

桝No.	地表標高	管底深さ	管底標高
下水桝No.1	9.310	−2.02	7.290
下水桝No.2	9.290	−1.98	7.310
下水桝No.3	9.483	−1.89	7.593
下水桝No.4	9.624	−1.73	7.894
下水桝No.5	9.875	−1.57	8.305
下水桝No.6	9.920	−1.34	8.580
下水桝No.7	10.027	−1.23	8.797
雨水桝No.1	9.910	−0.45	9.46
雨水桝No.2	9.715	−0.47	9.245

撤去範囲を示す

先行の解体工事で撤去済み（仮閉管処理済）

ここ以降は先行の解体工事で撤去済み（仮閉管処理済）

以降既設配管へ

以降既設配管より

雨水桝No.1

雨水桝No.2

下水桝No.1

下水桝No.2

下水桝No.3

下水桝No.4

下水桝No.5

下水桝No.6

下水桝No.7

塩ビ桝 200φ

量水メーター40（量水器BOX共）

引込管40A開塞

40VP

300φ

150φ

40HI

30

20

40

陸上競技場スタンド建設に伴う管工事

平成 28年 2月

M − 15

現況配置図

1:300(A1)

1:600(A3)

平成 28年 9月

課長 | 課長補佐 | 課長補佐 | 専門員 | 主査 | 担当

豊橋市建設部建築課

株式会社 大建設計

管理建築士／中西兵衛

一級建築士登録第176475号

工　事　区　分　表（下記に示す工事区分は表中 ○印を付した工事に含むものとする）

区分	項目	建築	電気設備	機械設備 冷暖房	機械設備 管		外構(別途)	その他(別途)	別途(備品)	備考
1 一般事項	機械基礎（コンクリート）	○								
	監督員事務所	○								
2 機械基礎	電気、機械の基礎（建築物と接して一体の物）	○								
	同上アンカーボルト、箱入れ、埋込み		○	○	○					
3 躯体貫通	梁（S）貫通スリーブ	○								
	同上貫通補強（鉄骨穴あけを含む）	○								
	梁（RC、PCa）貫通スリーブ		○	○	○					PCaスリーブは建築に材料支給とする
	同上貫通補強	○								
	壁、床の貫通スリーブ、箱入れ	○	○	○	○					
	同上貫通補強	○								
	梁、壁、床の貫通部孔埋め、躯体補修	○	○	○	○					
	PCa設備インサート	○	○	○	○					材料支給は電気、管・冷暖房設備工事とする
4 その他の貫通	天井付き各種設備器具穴あけ、取付け枠及び補強	○	○	○	○					補強は建築工事とする
	同上墨出し		○	○	○					
	中間ファン、全熱交換器ユニット等の本体取付け			○						
	同上穴あけ、補強	○								
	同上墨出し			○						
	コンクリート、石、金属パネル、GB貼り全ての設備機器取り付け用穴明け及び補強	○								
	ALC板の配管・ダクト用穴開け		○	○	○					
5 ガラリ・点検口等	外部取付けガラリ	○								
	外部取付けの換気ベンドキャップ			○						
	ドアガラリ	○								
	点検口（床、天井、各PS）	○								
	設備チャンバー取り付け金物（アングル等）	○								
	マンホール（ピット等の点検用）	○								
6 湯沸・洗面・便所・浴室・厨房	既製品及び造り付けの流し台、水切棚、吊戸棚、調理台	○								
	同上給排水の接続				○					
	流し台等の配管パック取付け工事（配管用孔明け共）	○								
	流し台への電源送り		○							
	同上接続		○							
	洗面カウンター	○								
	トイレブース	○								
	化粧鏡	○—大型鏡 姿見			○—既成品					姿見は建築工事とする
	身障用手摺り				○					
	ユニットシャワー	○								
	ユニットシャワー換気設備	○			○					天井穴開けは建築工事とする
	洗面器、手洗い				○					
	排水目皿				○					
	紙巻器				○					
	乳幼児用いす				○					
	乳幼児用ベッド				○					
	小便器・掃除流し・洗面器・手摺取付用補強	○								
7 機械室	機器搬出入口	○								
9 防災機材	防煙ダンパー・防火ダンパー			○						
	同上用配管、配線、制御盤（作動、復帰、表示共）		○							
	発信器、ベル表示灯		○							
	消火器BOX（埋込型、据え置き型）	○								
	ABC粉末消火器	○								
	屋内消火栓				○					
	同上開口・開口補強	○								
10 制御機器	発電機盤以降の電気配管配線工事		○							
	非常用発電機		○							
	発電機用オイルタンク		○							
	パッケージエアコンの室内外渡り電源及び操作回路電気工事			○						
	同上一次側電源工事、機器接続		○							
	同上リモコンスイッチ			○						
	同上配管、スイッチボックス			○						
	全熱交換器ユニット操作回路電気工事			○						
	同上一次側電源工事		○							
	同上リモコンスイッチ			○						
	同上配管、スイッチボックス			○						
	同上二次側配管配線工事			○						
	換気扇			○						
	同上一次側電源工事		○							
	同上スイッチ		○							
11 仕上げユニット	ブラインドボックス、カーテンボックス、カーテンレール	○								
	ブラインド、カーテン								○	
	掲示板・ホワイトボード								○	
	定礎銘板	○								
	案内板等サイン工事一式	○								
	各種造付け家具	○								
	既成品家具								○	
	設備機器表示		○	○	○					書体は建築工事に合わせる
	スチールパーティション・ガラスパーティション	○								
	OAフロア床パネル切り込み加工	○								
	OAフロア　コンセント	○								
	トレーニング器具								○	
	フットバス設備								○	
12 外構	雨水排水工事、溝、会所、蓋	○					○			範囲は図示による
	雑排水工事、会所、蓋				○		○			
	汚水排水工事、会所、蓋				○		○			
	電力、電話引込みマンホール		○							
	植樹（客土含む）	○					○			
	給水負担金							○		
	その他各種負担金									特記による
	舗装工事一式	○					○			範囲は図示による
	囲障工事一式	○					○			範囲は図示による
	湧水排水ポンプ				○					
	湧水排水ポンプの制御盤及び二次側電気配管配線工事		○							
	同上の一次側電気工事		○							
	汚物中継ユニット				○					
	汚物中継ユニットの制御盤及び二次側電気配管配線工事				○					
	同上の一次側電気工事		○							
13 その他	電話構内交換機								○	
	電話機								○	
	同上配管配線工事		○							
	館内放送設備スピーカー、配管、配線		○							
	同上アンプ、呼び出しマイク		○							
	撤去工事（範囲は図示による）	○	○		○					
	陸上競技場スピーカー		○							
	成績表示設備、配線工事							○		
	同上配管工事		○							
	写真判定、競技測定用配線工事							○		
	同上配管工事		○							

陸上競技場スタンド建設に伴う管工事

平成 28年 9月					
課　長	課長補佐	課長補佐	専門員	主　査	担　当
豊橋市建設部建築課					

平成 28年 2月	図面名称	工事区分表	
M-16			
縮尺	N:S	代表者 / 検図 / 製図	

株式会社 大建設計　管理建築士／中西兵衛　一級建築士登録第176475号

以降南側散水栓

以降北側配管より

全天候舗装（青）

やり投げ

砲丸投サークル

人工芝舗装

全天候舗装（緑）

全天候舗装（青）
走幅跳・三段跳助

円形斜溝

砂場

以降1階平面図参照

今回工事対象

器具庫

発電機設備

既設キュービクル

プロパンガス庫詳細図参照

既設給水配管40HIに接続

（水道本管300φ）より取出し

ソフトシール弁75（BOX共）

量水メーター75新設（貸与品）
（逆止弁75,VC−12量水器BOX共）

GV80（VC−3）

既設給水配管40VPに接続
（40VP）

以降既設配管へ

GV40（VC−1）

GV80（VC−3）

GV20（VC−P）

GV32（VC−1）

ここまで先行工事

以降既設配管へ

既設給水管50Hに接続

アスファルト舗装撤去復旧を示す。

以降既設配管より

下水桝No.1

下水桝No.2

下水桝No.3

下水桝No.4

下水桝No.5

下水桝No.6

下水桝No.X

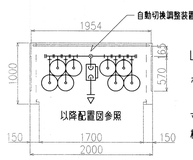
雨水桝No.1

雨水桝No.2

既設排水桝

桝No.	地表標高	管底深さ	管底標高
下水桝No.1	9.310	−2.02	7.290
下水桝No.2	9.290	−1.98	7.310
下水桝No.3	9.483	−1.89	7.593
下水桝No.4	9.624	−1.73	7.894
下水桝No.5	9.875	−1.57	8.305
下水桝No.6	9.920	−1.34	8.580
下水桝No.7	10.027	−1.23	8.797
雨水桝No.1	9.910	−0.45	9.46
雨水桝No.2	9.715	−0.47	9.245

プロパンガス庫詳細図　1/50



LPG集合装置　50kg 4本+4本
ボンベ庫（既製品　50kg 8本用）
（建築工事）
寸法：1,000×2,000×2,130H
材質：鋼板製

今回工事対象建屋を示す

舗装撤去等不可範囲（H26.8豊橋公園園路舗装工事施工範囲

陸上競技場スタンド建設に伴う管工事

平成 28年 2月　図面名称　配置図

M − 04

縮尺　1:300(A1)　1:600(A3)

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

代表者	検図	製図

平成 28年 9月

豊橋市建設部建築課

株式会社 大建設計

管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号

変更

3階平面図 1:200

2階平面図 1:200

1階平面図 1:200

屋外		
横水栓	F-7	1
散水栓	F-8	1

Ⓑ	EM-CEE 1.25°-5C (PF22)
Ⓒ	付属ケーブル×2 (FEP30)
Ⓓ	付属リモコンコード (隠蔽:PF22 屋外露出:GPZ22)

陸上競技場スタンド建設に伴う管工事

平成28年2月

図面名称: 1階・2階・3階平面図

図面番号: M-09

尺度: 1:200(A1) 1:400(A3)

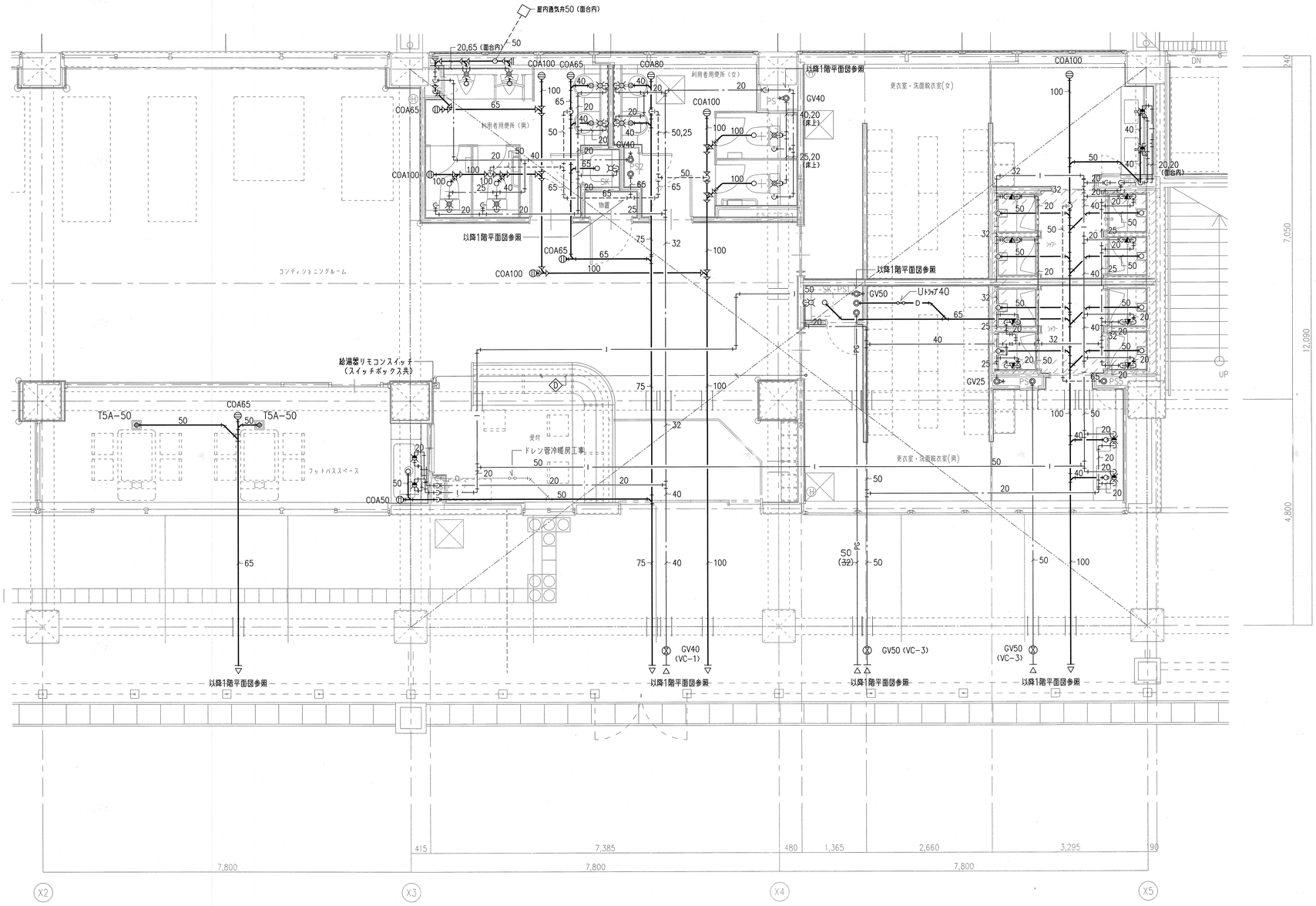
課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

平成28年 9月 変更

豊橋市建設部建築課

株式会社 大建設計

管理建築士/中西兵衛 一級建築士登録第176475号



利用者用便所（男）		
洋風便器	C−14	2
小便器	U−11	2
手すり	T−11	1
手すり	T−12	1
掃除流し	SK−12	1
洗面器	L−31	2
洗面カウンター	（建築工事）	(1)

利用者用便所（女）		
洋風便器	C−15	2
手すり	T−11	1
洗面器	L−31	2
洗面カウンター	（建築工事）	(1)

フットバススペース		
サーモ付混合栓	F−11	2
床排水金物	T5A−50	2

◇D	付属リモコンコード（PF22）

更衣室・洗面脱衣室（女）		
シャワーユニット	US−11（建築工事）	2
シャワーユニット	US−12（建築工事）	2
洗面器	L−41	2

更衣室・洗面脱衣室（男）		
シャワーユニット	US−11（建築工事）	2
シャワーユニット	US−12（建築工事）	2
洗面器	L−41	2
掃除流し	SK−12	1

⊠	床下配管ピットを示す

陸上競技場スタンド建設に伴う管工事

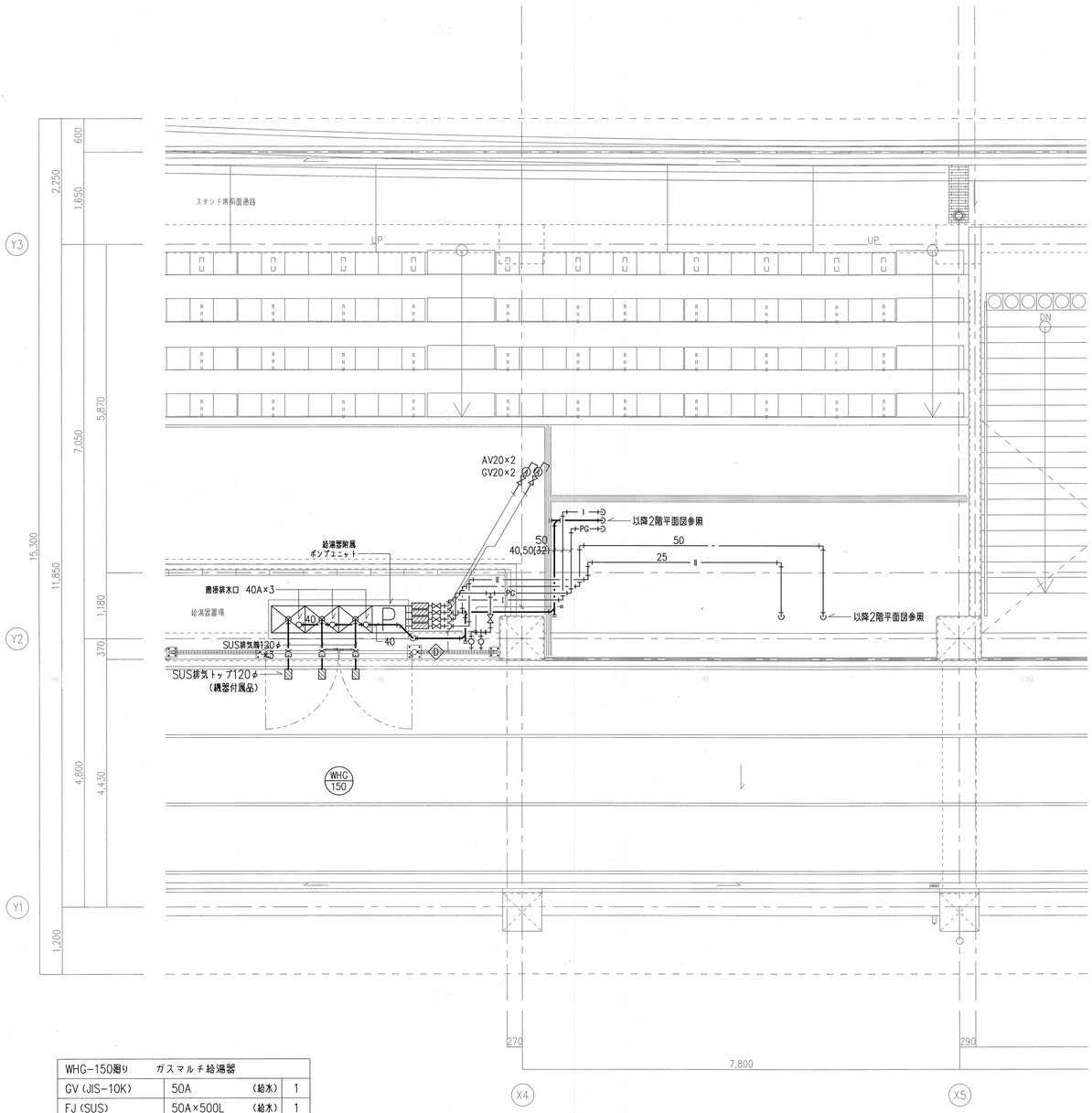
平成 28年 9月	平成 28年 2月	図面名称	平面詳細図（1）
課長 / 課長補佐 / 課長補佐 / 専門員 / 主査 / 担当	M − 10	縮尺	1:50(A1) 1:100(A3)

代表者　検図　製図

豊橋市建設部建築課

株式会社 大建設計　管理建築士／中西兵衛　一級建築士登録第176475号

2階　給湯器廻り詳細図　1/50



WHG−150廻り	ガスマルチ給湯器		
GV（JIS−10K）	50A	（給水）	1
FJ（SUS）	50A×500L	（給水）	1
GV（JIS−10K）（SUS）	50A	（給湯往）	1
FJ（SUS）	50A×500L	（給湯往）	1
GV（JIS−10K）（SUS）	25A	（給湯返）	1
FJ（SUS）	25A×300L	（給湯返）	1
ガスコック	32A	（ガス）	1
ガス用フレキ	32A	（ガス）	1
置接排水口	40A	（ドレン）	3

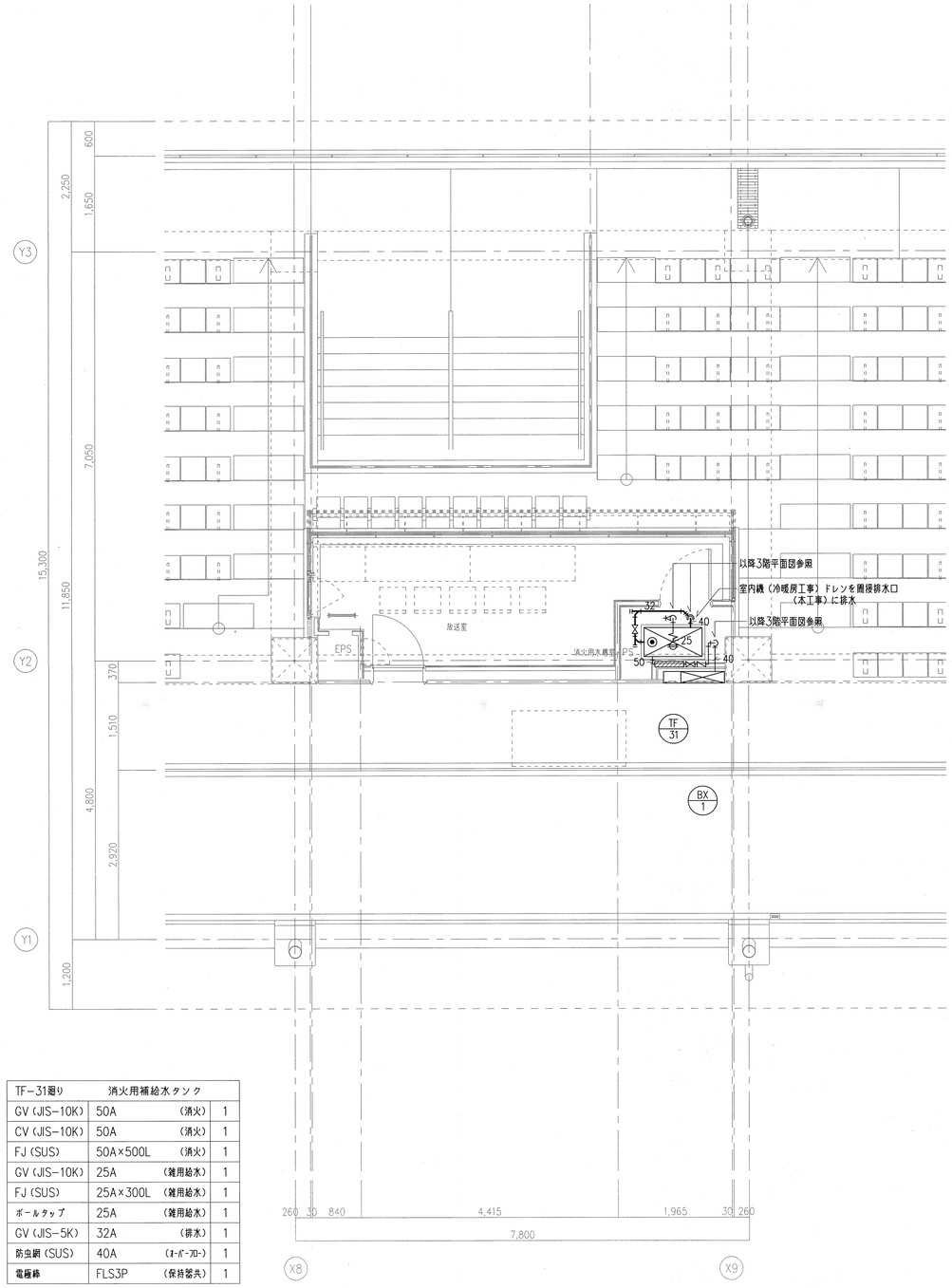
給湯機器置場		
ｶﾞｽｺﾝｾﾝﾄｺｯｸ	LB 1/2	2
ガスネジ栓	20A	1

◇D	付属リモコンコード（GPZ22）

凡　例

記　号	名　称	備　考
—PG—	プロパンガス管	配管用炭素鋼鋼管（一般）JIG−G−3452(白)
—PG—	プロパンガス管	ポリエチレン被覆鋼管（埋設）SGP−PS
—▷◁—	ガスねじ栓	
○+	ｶﾞｽｺﾝｾﾝﾄｺｯｸ	

3階　消火補給水槽廻り詳細図　1/50



TF−31廻り	消火用補給水タンク		
GV（JIS−10K）	50A	（消火）	1
CV（JIS−10K）	50A	（消火）	1
FJ（SUS）	50A×500L	（消火）	1
GV（JIS−10K）	25A	（雑用給水）	1
FJ（SUS）	25A×300L	（雑用給水）	1
ボールタップ	25A	（雑用給水）	1
GV（JIS−5K）	32A	（排水）	1
防虫網（SUS）	40A	（ｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ）	1
電極棒	FLS3P	（保持架共）	1

陸上競技場スタンド建設に伴う管工事

平成 28年　9月

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

平成 28年 2月　図面名称　平面詳細図（3）

M − 12

縮尺　1:50(A1)　1:100(A3)　代表者　検図　製図

豊橋市建設部建築課

株式会社 大建設計

管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号

陸上競技場スタンド建設に伴う冷暖房工事

図面リスト

図面番号	図　面　名　称	縮　尺 (A1)
	表紙・図面リスト	
ＭＡ－０１	特記仕様書・指定資材１	NS
ＭＡ－０２	特記仕様書・指定資材２	NS
ＭＡ－０３	付近見取図	1/1500
ＭＡ－０４	配置図	1/300
ＭＡ－０５	機器表・凡例	NS
ＭＡ－０６	系統図・換気計算書	NS
ＭＡ－０７	配管設備　1階、2階平面図（北）	1/100
ＭＡ－０８	配管設備　1階、2階平面図（南）	1/100
ＭＡ－０９	配管設備　3階平面図・断面図	1/100
ＭＡ－１０	ダクト設備　1階、2階平面図（北）	1/100
ＭＡ－１１	ダクト設備　1階、2階平面図（南）	1/100
ＭＡ－１２	ダクト設備　3階平面図・断面図	1/100
ＭＡ－１３	工事区分表	NS

機械設備工事特記仕様書・指定資材 1

平成 28年 7月19日 改訂

章	節・項目	特記事項
第1編 共通事項	1.1.1 適用基準等	1．この特記事項以外は下記に準拠する。但し、本工事に関係しない事項は適用しない。 1）豊橋市契約規則 2）工事請負契約書 3）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書　（機械設備工事編）（平成28年版） 4）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築設備工事標準図　（機械設備工事編）（平成28年版） 5）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書　（電気設備工事編）（平成28年版） 6）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築設備工事標準図　（電気設備工事編）（平成28年版） 7）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書　（　建築工事編　）（平成28年版） 8）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成28年版） 9）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築改修工事標準仕様書（　建築工事編　）（平成28年版） 10）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成28年版） 11）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　建築物解体工事共通仕様書　（平成24年版） 12）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築木造工事標準仕様書　（平成28年版） 13）関係法令及び諸工事基準 14）鉄筋、ガス圧接、コンクリート及び鋼材の抜取検査は、愛知県建築工事品質管理要領（資材編）による。 2．特記事項の適用優先順位　1．⊙　2．※　但し、⊙と※のある場合は共に適用する。 3．本工事に使用する資材は「機械設備工事指定資材」及び「あいくる材認定一覧」によるものとする。 4．設計図書に関する疑義は原則として、入札執行前に質疑書の提出によって確かめるものとする。
	1.1.3 官公署その他への届出手続等	工事着手、施工、完成に当たり、関係官公署（豊橋市上下水道局、道路管理者等）その他の関係機関への必要な届出手続き及び手数料の支払い等は受注者が遅滞なく行う。　※ 適用する　・ 適用しない
	1.1.4 工事実績情報の登録	受注者は、請負代金額が５００万円以上の工事について、(財)日本建設情報総合センター(JACIC)の工事実績情報システム(CORINS)に工事実績情報の登録（受注時、変更時、しゅん工時）を行う。その内容については、登録前に監督員の確認を受ける。 なお、メール送付の承諾有りとする。
	1.2.1 概成工期	工期は、監督員による工事完了確認期間を含むものとする。 ・ 無　・ 有（　年　月　日）
	1.2.4 工事の記録	1．本工事は工事写真について電子納品の対象工事とする。ただし、電子納品ソフトを購入し、基準どおりに出来ない場合は、工事写真台帳ソフト及びWord、Excel形式等で写真データを貼り付けたものを電子媒体へ記録したものでも可とする。 2．電子納品ソフトによる電子媒体での納品の作成については最新の「愛知県電子納品運用ガイドライン（案）」及び「愛知県デジタル写真管理情報基準（案）」に準じて行うものとし、撮影にあたっては本市の工事記録写真撮影要領に基づくものとする。なお、市独自の対応の必要が生じた場合は、施工計画書の提出前までに監督員と協議し決定する。 3．電子納品の成果品の提出部数については、電子媒体（CD-RまたはDVD-R、ただしDVD-Rとする場合は事前に監督員の承諾を得る。）2部とし、ビュアーソフトを添付したものとする。 4．受注者は、電子納品に必要なハード及びソフト環境の整備を行うとともに、各検査時に写真情報の閲覧操作用機器を準備するものとする。 5．その他、電子納品に関する詳細な取扱いについては、監督員と協議の上、その指示に従うこととする。
	工事写真	工事写真は必要な文字、数量等の内容が判読できるものとする。 1．工事着手前 工事着手に先立ち、敷地及び周辺の道路、建築物、工事物等の現況を撮影する。 2．工事中 1）右図に示す黒板に所定事項を明記し、工事の進捗状況を撮影、記録すると共に、特に施工後隠ぺい又は埋設される部分は、被写体に幅広テープを添え撮影する。 2）監督員の指示により適宜提出する。 工事名 工種 位置 内容
	1.3.2 電気保安技術者	電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者をおき、施工計画書中の現場施工体制に記載すること。 ・ 無　※ 有
	1.3.9 発生材の処理等	1．引渡しを要するものは、監督員の指定する場所に整理し、発生物件調書を施設管理者へ引き渡す。 2．引渡しを要しないものは、すべて場外に搬出し、下記建設副産物の項及び関係法令等に従い、適正に処理する。 3．本工事で発生する産業廃棄物のうち愛知県内の最終処分場に搬入する産業廃棄物については、愛知県産業廃棄物税が課税されるので適正に取り扱うこと。 4．次の物品はＰＣＢの混入が疑われるため、専門の分析機関に依頼し、その有無を確認する。 昭和47年以前の建築物：ポリサルファイド系コーキング 平成元年以前の製造機器：蛍光灯安定器、コンデンサ、リアクトル、コンデンサ用放電コイル、変圧器（絶縁油中の濃度0.5mg/kg以下のものは対象外） 上記以外においても、ＰＣＢ混入の恐れがある場合は、監督員と協議の上、確認すること。 5．アスベスト含有建材は、大気汚染防止法の改正（平成26年6月1日施行）に基づき、適正に対応すること。
	建設副産物	1．発生材については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」及び「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」その他関係法令の規定を遵守し、「豊橋市建設副産物リサイクルガイドライン実施要綱」（以下「リサイクルガイドライン」という。）に基づき、適正に処理する。 2．事前に「リサイクルガイドライン」に定める計画書を監督員に提出する。 3．工事完了時に「リサイクルガイドライン」に定める実施書及び入力した電子データを監督員に提出する。
	撤去・更新時のフロン等の取扱い	豊橋市建設部建築課フロン類回収仕様（H21.4.1）による。
	分別収集	・ しない　※ する　「リサイクルガイドライン別表3」による。
	再資源化施設への搬出	工事に伴い発生する建設廃棄物のうち、次のものは再資源化施設へ搬出する。 ※コンクリート塊　※アスファルトコンクリート塊　※建設発生木材　※金属くず　※建設汚泥　・その他（　）
	再生資材の利用の指定	使用する資材は、リサイクル資材の率先利用を図るため、「愛知県あいくる材率先利用方針」を遵守し、あいくる材として認定されている資材の利用に努める。

章	節・項目	特記事項
第1編 共通事項	1.4.1 環境への配慮	屋内で使用する材料、塗料及び接着剤のホルムアルデヒド放散量　※ F☆☆☆☆　・（　）
	1.4.2 機材の品質等	1．機器類の能力、容量は原則として表示された数値以上とする。（ただし、電気容量は参考とする。） 2．機器の寸法は、概略寸法とする。 3．使用する機器・材料は全てアスベストを含まないものとする。
	1.5.2 技能士	技能検定の職種及び作業の種別　・ 適用する　※ 適用しない 適用職種 / 作業範囲：機械設備工事の配管 / 作業内容：配管工事の施工 / 資格（技能検定における選択作業）：１級配管技能士（建築配管作業）
	1.7.1 完成時の提出書類	工事完了前に次の図書を作成し提出する。 ⊙ 完成図（しゅん工図、契約原図修正またはしゅん工図の原図提出）　・ 完成図A3判のポリエステルベース　・ 契約図A3判のポリエステルベース ・ 完成図の２つ折り製本　１部　⊙ 完成図A3判の２つ折り製本　２部　⊙ 契約図A3判の２つ折製本　５部　・ 施工図　の２つ折製本　１部 ⊙ 保守指導案内書（取扱説明書）　１部　・ 施設台帳の作成又は整備　⊙ その他必要書類（完成図A3判、施工図A3判の合わせ製本　）　２部
	1.7.2 完成図	完成図の種類は以下とする。 1．特記　2．配置図　3．平面図　4．その他（　） ＣＡＤデータ　完成図　※ 提出する　・ 提出しない 施工図　※ 提出する　・ 提出しない
	その他 光熱水料	建物引渡しまでの電気・水道・ガス等の料金（基本料金を含む）は、協議の上各工事受注者が負担する。
	事故報告	工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、事故発生報告書を速やかに提出すること。
	安全管理	1．工事施工中に東海地震注意情報が発表された場合、安全対策を講じた上で、原則として工事を中止するものとする。 2．酸欠等危険を伴う作業については十分な安全対策を講じると共に、酸素及び硫化水素濃度は暫時測定し記録するものとする。
	施工体制台帳	建設業法第２４条の７第１項の規定により作成した施工体制台帳（同項の規定により記載すべきものとされた事項に変更が生じたことに伴い新たに作成されたものを含む。）の写しを監督員に提出すること。（公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律第１５条）
	施工体系図	下請負契約を締結する場合においては、下請負金額に関わらず施工体系図を作成し、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に提示する。
	騒音・振動対策	「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針（建設大臣官房技術審議官通達）」及び関連法令の規定を厳守し施工する。また、騒音規制法、振動規制法の規制の対象となる作業（特定建設作業）ならびに下記に指定した建設機械については、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」（建設大臣告示）により指定された建設機械を使用する。 作業名：　建設機械名 作業名：　建設機械名
第2編 共通事項	1.3.2 総合調整	適用項目　⊙ 風量調整　・ 水量調整　⊙ 室内外空気の温湿度測定　・ 室内気流及びじんあい測定　⊙ 騒音測定　・ 飲料水質の測定
	2.2.27 スリーブ	外壁等水密を要する部分はつば付鋼管、又は非加硫ブチルゴム系止水材を巻き付けた鋼管等とし、地中部分で水密を要しない部分のスリーブはビニル管とする。 柱及び梁以外の箇所で、開口補強が不要であり、かつスリーブ径が200mm以下の部分は紙製仮枠を使用してもよいが、配管前に必ず取りはずすこと。
	2.6.3 配管吊り	屋内土間下配管を含め、横走り配管にあっては、棒鋼吊り（吊り用ボルトを含む）を行うものとする。
	2.7.1 埋設配管	屋内土間下配管を含め、管及び被覆樹脂を傷めぬよう山砂の類で管の周囲を埋め戻す。
	2.7.3 防食処置 土中埋設	鋼管類（合成樹脂などで外面を被覆された部分は除く）はペースト塗布の上ペトロラタム系防食テープ1/2重ね1回巻き及びプラスチックテープ(JIS Z1901 厚さ0.4mm)1/2重ね1回巻とする。 ただし、排水に使用する鋼管類についてはプラスチックテープ1/2重ね1回巻とする。
	コンクリート埋設	鋼管類（合成樹脂などで外面を被覆された部分は除く）及び鉛管はプラスチックテープ1/2重ね1回巻とする。
	建物導入部配管	給水管の変位吸収配管はスリークッション工法とする。

陸上競技場スタンド建設に伴う冷暖房工事

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

平成 28年 9月

図面名称：特記仕様書・指定資材 1

図面番号：MA-01

縮尺：N:S

代表者　検図　製図

豊橋市建設部建築課

株式会社 大建設計　管理建築士／中西兵衛　一級建築士登録第176475号

機械設備工事特記仕様書・指定資材２

平成 28年 7月19日 改訂

章	節・項目	特記事項
第２編 共通事項	3.1.4 空気調和設備 工事の保温	表2.3.2
第３編	1.15.3 吹出口	材質 ※ アルミニウム製 ・ 鋼製
	1.15.4 吸込口	材質 ※ アルミニウム製 ・ 鋼製
	2.2.1 低速ダクト	ダクト長編１５００mm以下 ・ スライドオンフランジ工法 ・ アングルフランジ工法 ・ 共板フランジ工法
第６編	都市ガス設備	都市ガス供給会社による責任施工とする。但し検査結果報告書等の提出を行うものとする。
	液化石油ガス設備	施工は、液化石油ガス設備士が行うものとする。
その他	火災保険等	１.保険期間は工事資材の現場搬入の日から工事目的物の引渡しの日までとする。 （特に定めのない限り、契約上の工事完成期日経過後２１日間とする。） ２.保険の種類は火災保険又は、組立保険（これに準ずるものを含む）とし、保険金受取人（被保険者）は受注者とする
	建設業退職金 共済制度	受注者の社員のみにより工事施工する場合など、この制度の趣旨に該当しない場合は、その旨を監督員に文書により通知し、建設業共済組合への加入及び掛金収納書を省くことができる。
	工事における 高度技術、創意工夫 社会性等の実施状況	受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について工事完了時までに、所定の様式により提出することができる。
	手洗器取付高さ	対象年齢：保育園／小学校／中学校／身障者対応・一般 取付高さ：６００／650～700／７５０／７５０ ※本表の取付高さは参考とし、施設管理者と都度打合せの上決定する。
	給水設備、揚水設備および給湯設備における水質検査	1）原則として配管工事は、５項目（味、臭気、色、濁り、残留塩素）検査を行う。配管工事の場合は自社検査でも良い。 2）受水槽・高架水槽を設置する工事については、５項目検査及び通水試験時を利用して槽内・管内の洗浄を十分に行い、端末において検査基準が満たされるまで清掃・消毒を行う。 ※水質検査は登録検査機関に依頼する。
	仮設	足場、作業構台、仮囲い等は、労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害対策要綱（建築工事編）その他関連法令等に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行うこと。（5m以上の構造の足場の組立等の作業を行う場合は、「足場の組立等作業主任者」を選任すること。）
	経費調整	同一敷地内、または隣接地の同業種先行工事を受注した者が、本工事を受注した場合の共通費（共通仮設費、現場管理費及び一般管理費）は、契約締結後に当該先行工事と合算した場合の共通費を調整し、減額が生じる場合は本工事にて減額の変更契約を行う。
	別契約の関連工事	別契約の施工上密接に関連する工事については、監督職員の調整に協力し、当該工事関係者とともに、工事全体の円滑な施工に努める。 別契約の関連する工事 ⊙ 有り ・ なし
	あと施工アンカー	1）主要機器据付のためのあと施工アンカーは現場非破壊検査を行うものとする。検査は有資格者によって行うものとし、原則試験本数は各径毎に3本とする。 ただし、あと施工アンカーが各径毎に10本未満の場合は監督員に確認した上、試験本数を決定すること。 2）主要機器据付のためのアンカーボルト（天井面等の上向きアンカーを除く）は、原則接着系アンカーとする。（ただし、監督員が書面で承諾した場合を除く） 3）主要機器の据付において、下向きのめねじ形あと施工アンカーの使用は禁止とする。また、横向きアンカー、上向きアンカーについても原則禁止とする。
	消火設備 舗装切断時の排水処理	既存消火設備が使用できない期間は、消火器の設置等により、十分な安全対策を行うこと。 ブレード冷却水と切削粉が混じり合った排水は、回収し適正に処理することとし、 受注者は、その責任において、適正な処理のために必要な廃棄物情報を把握し処理業者に提供すること

機械設備工事指定資材

分類	指定資材	適用範囲	品質性能基準
管	鋼管		JISマーク表示品 JIS規格適合品
	ライニング鋼管		JWWA規格適合品 WSP規格適合品
	排水用鋳鉄管		JIS規格適合品
	水道用ダクタイル鋳鉄管		JWWA規格適合品
	排水、通気用鉛管		SHASE規格適合品
	樹脂管		JISマーク表示品 JIS規格適合品 JWWA規格適合品 AS規格適合品
	コンクリート管	厚管	JISマーク表示品
弁及び継手	可鍛鋳鉄製管継手		JISマーク表示品 JPF規格適合品
	鋼管継手		JISマーク表示品 JIS規格適合品 JPF規格適合品 MDJ規格適合品
	ビニル管継手		JISマーク表示品 JWWA規格適合品
	伸縮管継手（ベローズ形・スリーブ形）		評価名簿搭載品
	青銅弁・鋳鉄弁		JISマーク表示品 JV規格適合品
	減圧弁・温度調整弁		評価名簿搭載品
ポンプ	横型遠心ポンプ		評価名簿搭載品
	水中モーターポンプ（汚水用・雑排水用・汚物用）		評価名簿搭載品
衛生器具及び付属品	衛生陶器		JISA5207に準ずるもの
タンク	ＦＲＰ製パネルタンク		評価名簿搭載品
	鋼板製パネルタンク		評価名簿搭載品
鋳鉄製ふた	マンホールふた・弁桝ふた		評価名簿搭載品
消火装置	スプリンクラー消火システム		評価名簿搭載システム
	二酸化炭素消火システム		評価名簿搭載システム
	泡消火システム		評価名簿搭載システム
ボイラー	鋳鉄製ボイラー		評価名簿搭載品
	給湯用簡易ボイラー		評価名簿搭載品
温水発生機	真空式温水発生機（鋼製・鋳鉄製）		評価名簿搭載品
	無圧式温水発生機（鋼製・鋳鉄製）		評価名簿搭載品
冷凍機	チリングユニット		評価名簿搭載品
	直だき吸収式冷温水機		評価名簿搭載品
冷却塔	冷却塔		評価名簿搭載品
空気調和器	ユニット形空気調和機		評価名簿搭載品
	パッケージ形空気調和機	圧縮機用電動機の出力7.5kw以上	評価名簿搭載品
	コンパクト形空気調和機		評価名簿搭載品
	ファンコイルユニット及びカセット型ファンコイルユニット		評価名簿搭載品
送風機	遠心送風機（多翼形送風機）		評価名簿搭載品
ダクト付属品	吹出口・吸込口		評価名簿搭載品
自動制御	自動制御システム		評価名簿搭載システム
空気清浄装置	エアーフィルター（パネル形・折り込み形・袋形）		評価名簿搭載品
	自動巻取形エアーフィルタ		評価名簿搭載品
板	亜鉛鉄板		JIS規格適合品
保温材	ロックウール保温材 グラスウール保温材 ポリスチレンフォーム保温材		JISマーク表示品 JIS規格適合品

（注）１．各規格適合品の番号については、平成２５年版国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）、公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）による。

２．「評価名簿登載品」又は「評価名簿搭載システム」と記載のあるものは、上記記載の標準仕様書の仕様規定及び試験方法に適合すること及び、メンテナンスの体制についての確認を（社）公共建築協会の「建築材料・設備器材等品質性能評価事業」の評価書の写しを添付させることにより替えることが出来る。
なお、評価名簿搭載品でない場合は、標準仕様書の仕様規定及び試験方法に適合することとメンテナンスの体制において文書を提出させ監督職員の承諾を得てから使用する。

注）ＪＩＳ規格 日本工業規格 ＡＳ規格 塩化ビニル・継手協会規格
ＪＷＷＡ規格 日本水道協会規格 ＪＰＦ規格適合品 鉄管継手協会規格
ＷＳＰ規格 日本水道鋼管協会規格 ＭＤＪ規格適合品 排水鋼管継手工業会規格
ＳＨＡＳＥ規格 （社）空気調和・衛生工学会規格 ＪＶ規格適合品 （社）日本バルブ工業会規格

陸上競技場スタンド建設に伴う冷暖房工事

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

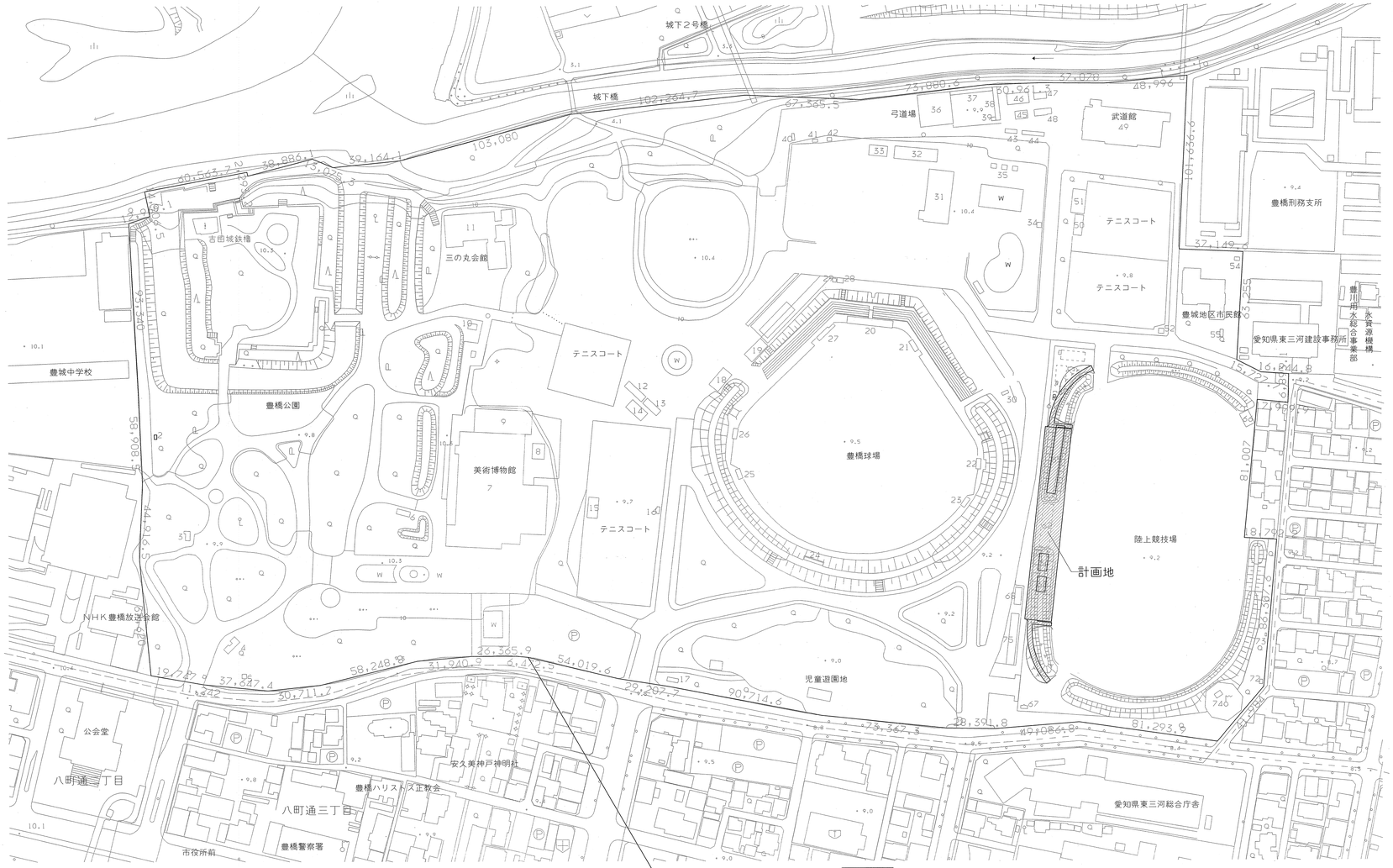
平成 28年 9月

図面名称：特記仕様書・指定資材 ２
MA-02
縮尺：N:S
代表者 検図 製図

豊橋市建設部建築課

株式会社 大建設計
管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号

付近見取図



※　10月23日開催予定（前後2日程度準備・片付）のスポーツフェスタ終了後、別途解体工事となる。その後工事期間中、練習等でトラック等競技場の一部で利用を予定しているが、監督員との協議により一時的な利用制限は可能である。

※　建物周辺の掘削を伴う作業の際、別途埋蔵文化財発掘調査を行うため、工程・安全管理の調整を要する。

陸上競技場スタンド建設に伴う冷暖房工事

平成 28年 9月						
課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当	

豊橋市建設部建築課

平成 28年 2月	図面名称	付近見取図
MA-03		
縮尺 1:1500(A1) 1:3000(A3)	代表者	検図 / 製図

株式会社 大建設計

管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号

今回工事対象

全天候舗装（青）

全天候舗装（緑）

人工芝舗装

やり投げ

円形側溝

走幅跳・三段跳助走路

砂場

器具庫

既設キュービクル

発電機設置

既設便所

既設防災器材庫

便所

既設防球ネット

既設照明

既設散水栓

既設集水桝

既設排水桝

既設汚水桝

既設雨水桝

既設マンホール

既設ガス管

既設水道管

既設電気管

既設通信管

既設雨水管

既設汚水管

既設ガス管

既設水道管

既設電気管

既設通信管

既設雨水管

既設汚水管

今回工事対象建屋を示す

陸上競技場スタンド建設に伴う冷暖房工事

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

平成 28年 2月

平成 28年 9月

図面名称 配置図

MA－04

縮尺 1:300(A1) 1:600(A3)

代表者 検図 製図

豊橋市建設部建築課

株式会社 大建設計

管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号

1	機器表	—	記）電源は60HZとする。

記号	機器名称	機器仕様（参考）	付属電動機 電源	付属電動機 容量KW	台数	据付位置	備考
ACP−	空気熱源ヒートポンプ式	<共通仕様> 特記なき限り下記仕様による。					基礎：建築工事
	パッケージ形空気調和機	能力表示 JISB8615による。 グリーン購入法適合					
		冷媒 オゾン破壊係数0のものとする。					
		電源 室外機への電源送りは電気工事とし、室内機、制御回路の配線は本工事とする					
		フィルタ 防カビ抗菌樹脂ネット					
		付属品 室外機 防振架台・吹出ガイド・ドレン排水用付属品一式（ホース共）					
		室内機 化粧パネル、リモコンスイッチ					
ACP−11	空冷ヒートポンプ式	形式 空冷ヒートポンプ式 （ツインタイプ）	3φ200V	C 2.41	1	1階ｺﾝﾃﾞﾝｼﾝｸﾞﾙｰﾑ	
	パッケージ形空気調和機	天井ｶｾｯﾄ型（2方向） 冷房能力 12.5（5.7~14.0）kW 暖房能力 14.0（6.3~18.0）kW		OF 0.211			
	（1階ｺﾝﾃﾞﾝｼﾝｸﾞﾙｰﾑ北 系統）			IF 0.046			
				×2			
ACP−12	空冷ヒートポンプ式	形式 空冷ヒートポンプ式 （ツインタイプ）	3φ200V	C 1.53	1	1階ｺﾝﾃﾞﾝｼﾝｸﾞﾙｰﾑ	
	パッケージ形空気調和機	天井ｶｾｯﾄ型（2方向） 冷房能力 7.1（3.4~8.0）kW 暖房能力 8.0（3.6~10.6）kW		OF 0.067			
	（1階ｺﾝﾃﾞﾝｼﾝｸﾞﾙｰﾑ中 系統）			IF 0.046			
				×2			
ACP−13	空冷ヒートポンプ式	形式 空冷ヒートポンプ式 （ペアタイプ）	3φ200V	C 1.53	1	1階ｺﾝﾃﾞﾝｼﾝｸﾞﾙｰﾑ	
	パッケージ形空気調和機	天井ｶｾｯﾄ型（2方向） 冷房能力 7.1（3.4~8.0）kW 暖房能力 8.0（3.6~10.6）kW		OF 0.067			
	（1階ｺﾝﾃﾞﾝｼﾝｸﾞﾙｰﾑ南 系統）			IF 0.106			
ACP−14	空冷ヒートポンプ式	形式 空冷ヒートポンプ式 （ペアタイプ）	3φ200V	C 1.10	1	1階ﾌｫﾄﾎﾞｽｽﾍﾟｰｽ	
	パッケージ形空気調和機	天井ｶｾｯﾄ型（2方向） 冷房能力 5.6（2.6~6.3）kW 暖房能力 6.3（2.9~8.0）kW		OF 0.064			
	（1階ﾌｫﾄﾎﾞｽｽﾍﾟｰｽ 系統）			IF 0.046			
ACP−15	空冷ヒートポンプ式	形式 空冷ヒートポンプ式 （ペアタイプ）	3φ200V	C 0.71	1	1階医務室	
	パッケージ形空気調和機	天井ｶｾｯﾄ型（2方向） 冷房能力 4.0（1.8~4.5）kW 暖房能力 4.5（2.1~5.9）kW		OF 0.064			
	（1階医務室 系統）			IF 0.046			
ACP−16	空冷ヒートポンプ式	形式 空冷ヒートポンプ式 （ツインタイプ）	3φ200V	C 3.94	1	1階ｽﾄﾚｯﾁﾙｰﾑ	
	パッケージ形空気調和機	天井ｶｾｯﾄ型（2方向） 冷房能力 20.0（7.5~22.4）kW 暖房能力 22.4（8.5~28.0）kW		OF 0.22			
	（1階ｽﾄﾚｯﾁﾙｰﾑ 系統）			×2			
				IF 0.046			
				×2			
ACP−17	空冷ヒートポンプ式	形式 空冷ヒートポンプ式 （ペアタイプ）	3φ200V	C 1.95	1	1階車椅子観覧席	
	パッケージ形空気調和機	天井ｶｾｯﾄ型（2方向） 冷房能力 10.0（4.8~11.2）kW 暖房能力 11.2（5.1~14.0）kW		OF 0.211			
	（1階車椅子観覧席 系統）			IF 0.046			
ACP−18	空冷ヒートポンプ式	形式 空冷ヒートポンプ式 （ペアタイプ）	3φ200V	C 0.59	1	1階報道記者室	
	パッケージ形空気調和機	天井ｶｾｯﾄ型（2方向） 冷房能力 3.6（1.7~4.0）kW 暖房能力 4.0（1.8~5.3） kW		OF 0.064			
	（1階報道記者室 系統）			IF 0.046			
ACP−19	空冷ヒートポンプ式	形式 空冷ヒートポンプ式 （ツインタイプ）	3φ200V	C 3.94	1	1階記録室	
	パッケージ形空気調和機	天井ｶｾｯﾄ型（2方向） 冷房能力 20.0（7.5~22.4）kW 暖房能力 22.4（8.5~28.0）kW		OF 0.22			
	（1階記録室 系統）	転倒防止金具		×2			
				IF 0.046			
				×2			
ACP−31	空冷ヒートポンプ式	形式 空冷ヒートポンプ式 （ペアタイプ）	3φ200V	C 1.10	1	3階放送室	
	パッケージ形空気調和機	天井ｶｾｯﾄ型（2方向） 冷房能力 5.6（2.6~6.3）kW 暖房能力 6.3（2.9~8.0）kW		OF 0.067			
	（3階放送室 系統）			IF 0.046			
ACP−32	空冷ヒートポンプ式	形式 空冷ヒートポンプ式 （ペアタイプ）	3φ200V	C 0.59	1	3階判定カメラ室	
	パッケージ形空気調和機	天井ｶｾｯﾄ型（2方向） 冷房能力 3.6（1.7~4.0）kW 暖房能力 4.0（1.8~5.3） kW		OF 0.064			
	（3階判定カメラ室 系統）			IF 0.046			
HEU−	全熱交換器ユニット	<共通仕様> 特記なき限り下記仕様による。					
		附属品 プレフィルター、リモコンスイッチ（24時間換気対応）、化粧パネル		消費電力			
		特記事項 マイコンタイプ・普通換気切換回路付					
HEU−11a	ｺﾝﾃﾞﾝｼﾝｸﾞﾙｰﾑ 系統	天井ｶｾｯﾄ型 250 m3/h × 80 Pa	1φ100V	0.15	1	1階ｺﾝﾃﾞﾝｼﾝｸﾞﾙｰﾑ	
HEU−11b					1	1階ｺﾝﾃﾞﾝｼﾝｸﾞﾙｰﾑ	
HEU−11c					1	1階ｺﾝﾃﾞﾝｼﾝｸﾞﾙｰﾑ	
HEU−12	医務室 系統	天井ｶｾｯﾄ型 100 m3/h × 100Pa	1φ100V	0.08	1	1階医務室	
HEU−13a	ｽﾄﾚｯﾁﾙｰﾑ 系統	天井ｶｾｯﾄ型 400 m3/h × 150Pa	1φ100V	0.25	1	1階ｽﾄﾚｯﾁﾙｰﾑ	
HEU−13b					1	1階ｽﾄﾚｯﾁﾙｰﾑ	
HEU−14	車椅子観覧室 系統	天井ｶｾｯﾄ型 200 m3/h × 100Pa	1φ100V	0.15	1	1階車椅子観覧室	
HEU−15	報道記者室 系統	天井ｶｾｯﾄ型 150 m3/h × 80 Pa	1φ100V	0.08	1	1階報道記者室	
HEU−16a	記録室 系統	天井ｶｾｯﾄ型 410 m3/h × 150Pa	1φ100V	0.25	1	1階記録室	
HEU−16b					1	1階記録室	
HEU−31	放送室 系統	天井ｶｾｯﾄ型 100 m3/h × 100Pa	1φ100V	0.08	1	3階放送室	
HEU−32	判定カメラ室 系統	天井ｶｾｯﾄ型 100 m3/h × 100Pa	1φ100V	0.08	1	3階判定カメラ室	

記号	機器名称	機器仕様	付属電動機 電源	付属電動機 容量KW	台数	据付位置	備考
FV−	小型排気ファン						
				消費電力			
FV−11	1階ﾌｫﾄﾎﾞｽｺｰﾅｰ 系統	天井埋込換気扇（低騒音型） 耐湿型 250 m3/h × 100 Pa	1φ100V	0.05	1	1階ﾌｫﾄﾎﾞｽｺｰﾅｰ	
FV−12	1階倉庫1 系統	天井埋込換気扇（低騒音型） 270 m3/h × 100 Pa	1φ100V	0.05	1	1階ｽﾄﾚｯﾁﾙｰﾑ倉庫	
FV−13	1階倉庫3 系統	天井埋込換気扇（低騒音型） 110 m3/h × 80 Pa	1φ100V	0.03	1	1階倉庫3	
FV−14	1階給湯ｽﾍﾟｰｽ 系統	天井埋込換気扇（低騒音型） 150 m3/h × 80 Pa	1φ100V	0.03	1	1階給湯ｽﾍﾟｰｽ	
FV−15	1階多目的ﾄｲﾚ（1） 系統	天井埋込換気扇（低騒音型） 200 m3/h × 100 Pa	1φ100V	0.04	1	1階多目的ﾄｲﾚ（1）	
FV−16	1階多目的ﾄｲﾚ（2） 系統	天井埋込換気扇（低騒音型） 200 m3/h × 100 Pa	1φ100V	0.04	1	1階多目的ﾄｲﾚ（2）	
FE−	排風機	<共通仕様> 特記なき限り下記仕様による。					
		付属品 防振吊金具					
FE−11	排風機	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｿﾛｺｳﾌｧﾝ NO.1・1/4 × 300 m3/h × 150 Pa 天吊型	1φ100V	0.1	1	1階	
	（利用者用便所（男） 系統）						
FE−12	排風機	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｿﾛｺｳﾌｧﾝ NO.1 1/4 × 300 m3/h × 150 Pa 天吊型	1φ100V	0.1	1	1階	
	（利用者用便所（女） 系統）						
FE−13	排風機	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｿﾛｺｳﾌｧﾝ NO.1 1/4 × 350 m3/h × 150 Pa 天吊型	1φ100V	0.1	1	1階	
	（更衣室（女）・気圧調整室（女）・ｼｬﾜｰ 系統）						
FE−14	排風機	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｿﾛｺｳﾌｧﾝ NO.1 1/4 × 350 m3/h × 150 Pa 天吊型	1φ100V	0.1	1	1階	
	（更衣室（男）・気圧調整室（男）・ｼｬﾜｰ 系統）						
FE−15	排風機	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｿﾛｺｳﾌｧﾝ NO.1 1/2 × 950 m3/h × 200 Pa 天吊型	1φ100V	0.19	1	1階	
	（一般用便所（女） 系統）						
FE−16	排風機	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｿﾛｺｳﾌｧﾝ NO.1 1/2 × 750 m3/h × 180 Pa 天吊型	1φ100V	0.16	1	1階	
	（一般用便所（男） 系統）						
FE−17	排風機	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｿﾛｺｳﾌｧﾝ NO.1・1/4 × 250 m3/h × 150 Pa 天吊型	1φ100V	0.1	1	1階	
	（機械・消火ポンプ室 系統）						
FE−18	排風機	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｿﾛｺｳﾌｧﾝ NO.1・1/4 × 250 m3/h × 150 Pa 天吊型	1φ100V	0.1	1	1階	
	（電気室 系統）						
FE−19	排風機	消音ﾎﾞｯｸｽ付ｿﾛｺｳﾌｧﾝ NO.1 1/2 × 1,300 m3/h × 200 Pa 天吊型	1φ100V	0.32	1	1階	
	（器具倉庫 系統）						

凡例

記号	名称	備考
—R—	冷媒管	断熱材被覆銅管
—D—	ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管 VP JIS K6741
—SA—	給気ダクト	亜鉛鉄板
—OA—	外気取入ダクト	亜鉛鉄板 （隠ぺい部分全て断熱）
—EA—	排気ダクト	亜鉛鉄板
	間接排水口	
	ダンパー類	VD：風量調整ダンパー
	ダンパー類	FD：防火ダンパー
	制気口（吹出口）	
	制気口（吸込口）	
	天井埋込換気扇	
	シロッコファン	
	全熱交換器ユニット	
	ﾊﾟｲﾌﾟﾌｰﾄﾞ（VC）	SUS 深形ﾌｰﾄﾞ（防虫網付）

陸上競技場スタンド建設に伴う冷暖房工事

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

平成28年 9月

縮尺	N:S	代表者	検図	製図

平成28年2月 図面名称 機器表・凡例 MA − 05

豊橋市建設部建築課

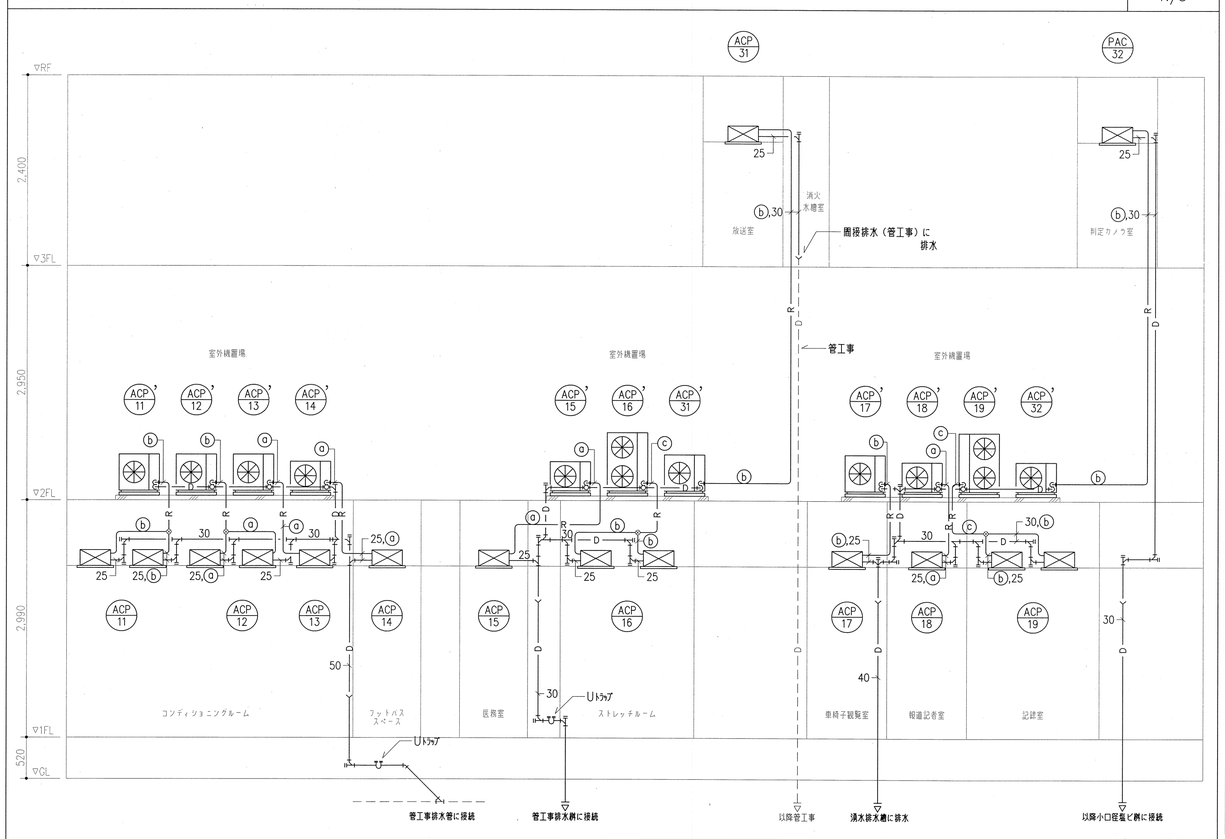
株式会社 大建設計

管理建築士／中西兵衛

一級建築士登録第176475号

空調配管系統図

N/S

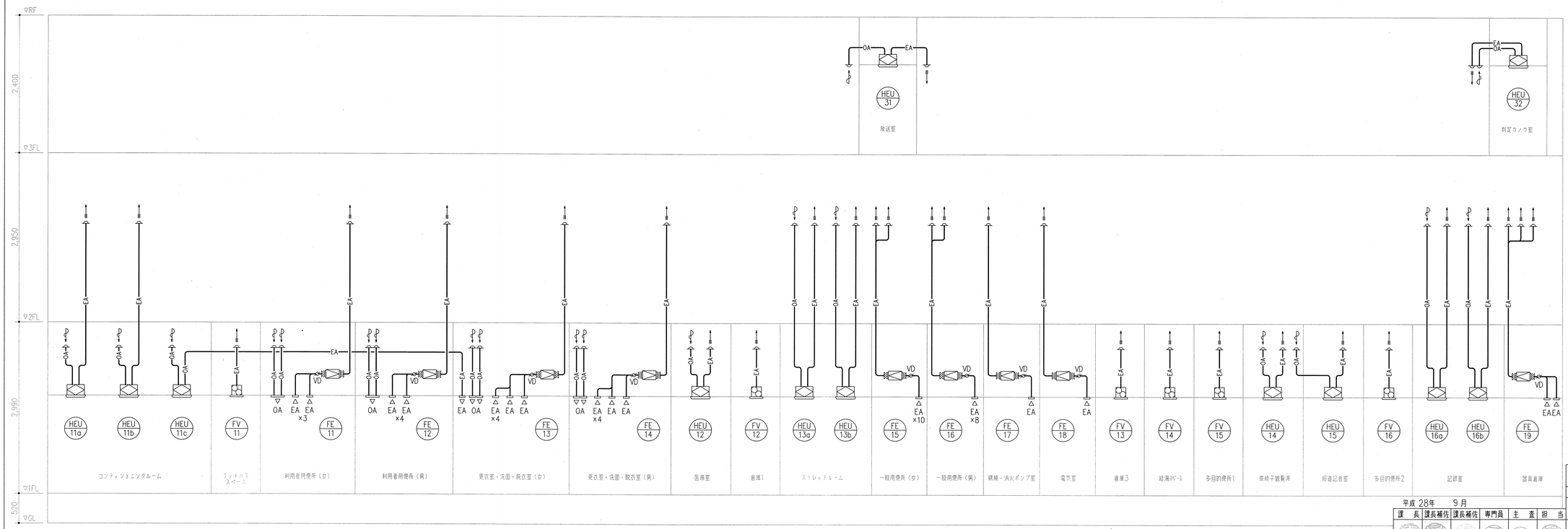


換気計算書

階	部屋名	面積（m²）	天井高（m）	容積（m³）	0.3回/hの風量（CMH）	20Af N	20Af N（CMH）	換気回数（回/h）	1m²当りの人員（人）	人員（人）	1人当りの換気量（m³/h・人）	必要換気量（m³/h）	1台当りの決定風量（m³/h）	換気方式	機器記号	機器名称	台数	シックハウス判定	備考
1	コンディショニングルーム	51.62	2.3	119	136	10	364	(1.6)	0.15	27	25	675	250	第1種	HEU−11a.b.c	全熱交換器	3	136＜250 ∴OK	
		90.21	2.6	235															
		40.31	2.4	97															
1	ファットバススペース	22.52	2.2	50	15	10	45	5	−	−	−	250	250	第1種	FV−11	天井扇	1	15＜250 ∴OK	
1	医務室	12.97	2.2	29	9	10	26	(2.6)	0.2	3	25	75	100	第1種	HEU−12	全熱交換器	1	9＜100 ∴OK	
1	ストレッチルーム	31.81	2.6	83	58	3	513	(4.2)	0.5	38	20	760	400	第1種	HEU−13a.b	全熱交換器	2	58＜400 ∴OK	
		45.15	2.4	108															
1	車椅子観覧席	41.17	2.3	95	29	10	82	(2.1)	0.2	8	25	200	200	第1種	HEU−14	全熱交換器	1	29＜200 ∴OK	
1	報道記者室	16.06	2.4	39	12	10	32	(3.2)	0.3	5	25	125	150	第1種	HEU−15	全熱交換器	1	12＜125 ∴OK	
1	記録室	82.95	2.4	199	60	3	553	(4.1)	0.5	41	20	820	410	第1種	HEU−16a.b	全熱交換器	2	60＜410 ∴OK	
1	利用者用便所（男）	12.89	2.3	30	−	−	−	10	−	−	−	300	300	第3種	FE−11	シロッコファン	1	−	
1	利用者用便所（女）	12.96	2.3	30	−	−	−	10	−	−	−	300	300	第3種	FE−12	シロッコファン	1	−	
1	更衣室（女）	13.5	2.3	31	−	−	−	5	−	−	−	155	350	第3種	FE−13	シロッコファン	1	−	
1	洗面脱衣室（女）	9.9	2.3	23	−	−	−	5	−	−	−	115						−	
1	シャワー（女）×4	0.8	2.3	2	−	−	−	10	−	−	−	20（×4）						−	
1	更衣室（男）	13.5	2.3	31	−	−	−	5	−	−	−	155	350	第3種	FE−14	シロッコファン	1	−	
1	洗面脱衣室（男）	9.9	2.3	23	−	−	−	5	−	−	−	115						−	
1	シャワー（男）×4	0.8	2.3	2	−	−	−	10	−	−	−	20（×4）						−	
1	倉庫1	22.44	2.4	54	−	−	−	5	−	−	−	270	270	第3種	FV−12	天井扇	1	−	
1	一般用便所（女）	40.53	2.3	93	−	−	−	10	−	−	−	930	950	第3種	FE−15	シロッコファン	1	−	
1	一般用便所（男）	32.40	2.3	75	−	−	−	10	−	−	−	750	750	第3種	FE−16	シロッコファン	1	−	
1	機械・消火ポンプ室	20.07	2.2	44	−	−	−	5	−	−	−	220	250	第3種	FE−17	シロッコファン	1	−	
1	電気室	9.48	2.2	21	−	−	−	10	−	−	−	210	250	第3種	FE−18	シロッコファン	1	−	
1	倉庫3	9.75	2.2	21	−	−	−	5	−	−	−	105	110	第3種	FV−13	天井扇	1	−	
1	給湯スペース	5.31	2.4	13	−	−	−	10	−	−	−	130	150	第3種	FV−14	天井扇	1	−	
1	多目的便所（1）	8.63	2.2	19	−	−	−	10	−	−	−	190	200	第3種	FV−15	天井扇	1	−	
1	多目的便所（2）	8.27	2.2	18	−	−	−	10	−	−	−	180	200	第3種	FV−16	天井扇	1	−	
1	器具倉庫	116.96	2.2	257	−	−	−	5	−	−	−	1,285	1,300	第3種	FE−19	シロッコファン	1	−	
3	放送室	15.42	2.4	37	12	10	31	(2.7)	0.25	4	25	100	100	第1種	HEU−31	全熱交換器	1	12＜100 ∴OK	
3	判定カメラ室	14.24	2.4	34	11	10	28	(2.9)	0.25	4	25	100	100	第1種	HEU−32	全熱交換器	1	11＜100 ∴OK	

空調ダクト系統図

N/S



陸上競技場スタンド建設に伴う冷暖房工事

平成 28年 2月	図面名称	系統図・換気計算書
MA − 06		
縮尺 N:S	代表者	検図 製図

平成 28年 9月

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

豊橋市建設部建築課

株式会社 大建設計

管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号

2階平面図　1：100

1階平面図　1：100

冷媒配管ヒット　（保温付空調用銅管）		
記号	寸　法	連 絡 線
ⓐ	6.4φ + 12.7φ	EM-CE-2°-3C
ⓑ	9.5φ + 15.9φ	EM-CE-2°-3C
ⓒ	12.7φ + 25.4φ	EM-CE-2°-3C

●	パッケージ付属リモコン（OB102×44） EM-CEE 2°-2C（PF16）
——●——	防火区画貫通処理を示す。
⊠	床下配管ピットを示す

陸上競技場スタンド建設に伴う冷暖房工事

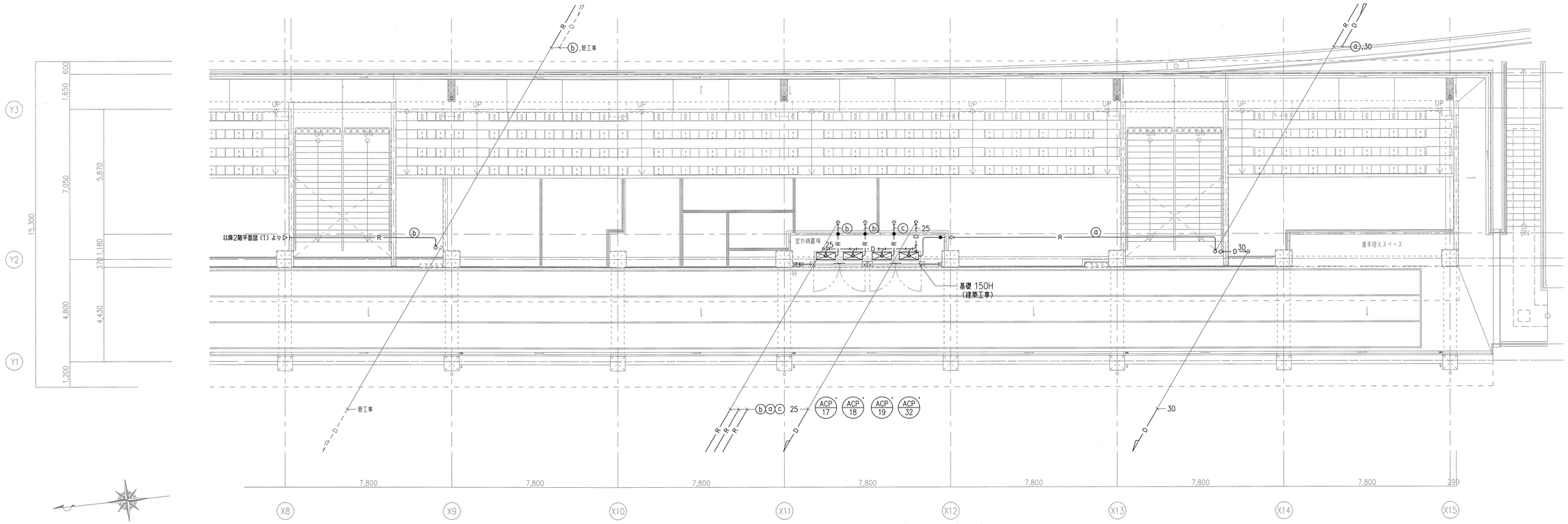
平成 28年 2月	図面名称	配管設備　1階・2階平面図（北）	
MA － 07	縮尺	1:100(A1) 1:200(A3)	代表者

平成 28年　9月

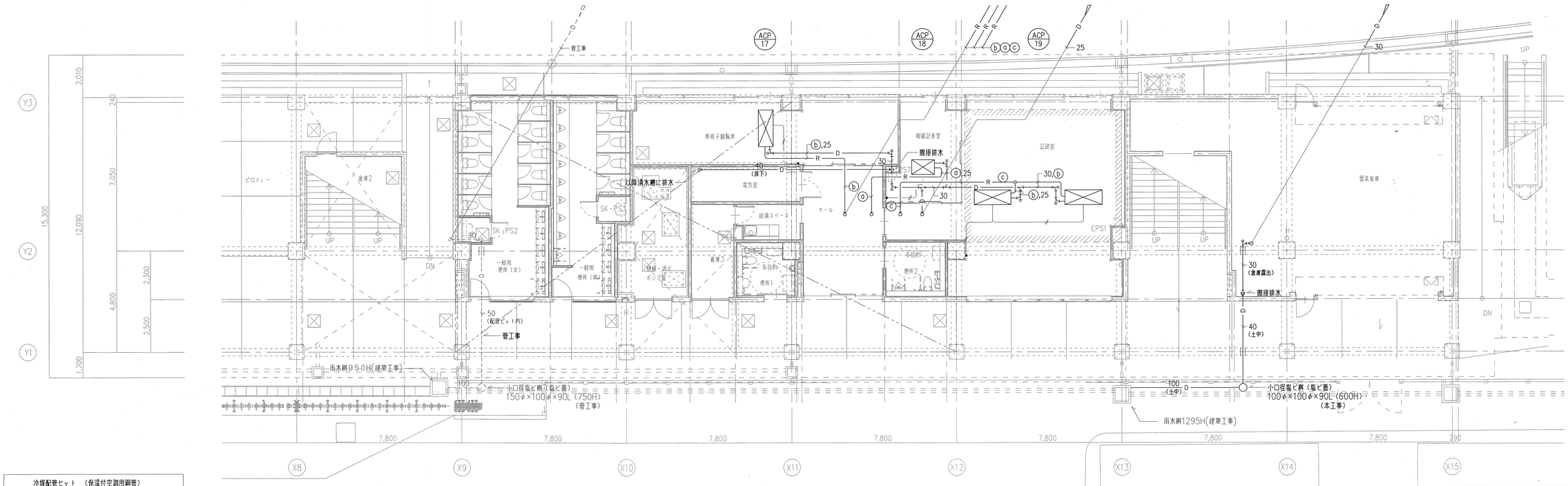
課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

豊橋市建設部建築課

株式会社 大建設計　管理建築士／中西兵衛　一級建築士登録第176475号



2階平面図　1：100



1階平面図　1：100

冷媒配管セット　（保温付空調用銅管）		
記号	寸　法	連 絡 線
ⓐ	6.4φ + 12.7φ	EM-CE-2°-3C
ⓑ	9.5φ + 15.9φ	EM-CE-2°-3C
ⓒ	12.7φ + 25.4φ	EM-CE-2°-3C

●	パッケージ付属リモコン（OB102×44）
	EM-CEE 2°-2C（PF16）

	床下配管ピットを示す
	防火区画貫通処理を示す。

陸上競技場スタンド建設に伴う冷暖房工事

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

平成 28年　9月

豊橋市建設部建築課

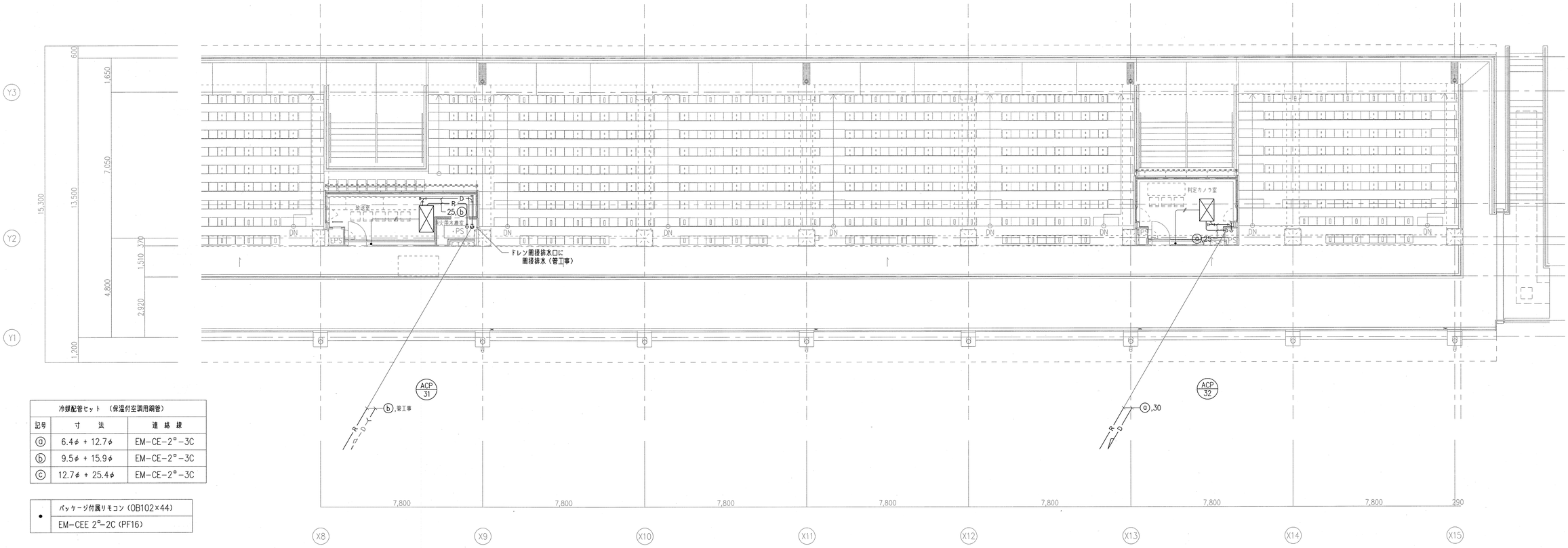
平成 28年 2月	図面名称
MA－08	配管設備　1階・2階平面図（南）
縮尺 1:100(A1) 1:200(A3)	検図 製図
代表者	

株式会社 大建設計

管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号

配管設備　3階平面図

1/100



冷媒配管セット　（保温付空調用銅管）		
記号	寸　法	連 結 線
ⓐ	6.4φ + 12.7φ	EM-CE-2°-3C
ⓑ	9.5φ + 15.9φ	EM-CE-2°-3C
ⓒ	12.7φ + 25.4φ	EM-CE-2°-3C

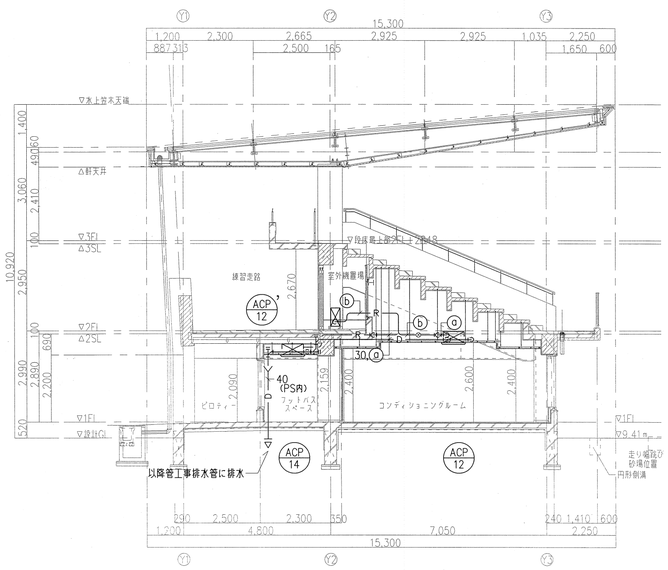
●	パッケージ付属リモコン（OB102×44）
	EM-CEE 2°-2C（PF16）



3階平面図　1：100

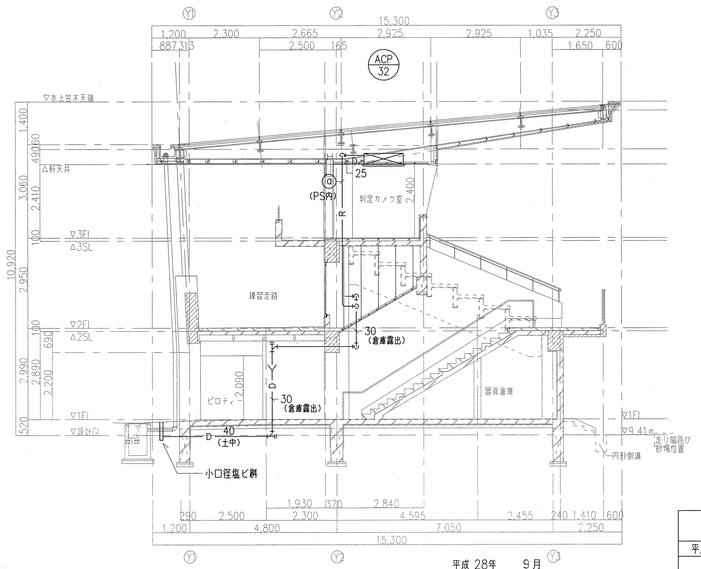
ACP－12・14廻り断面図

1/100



ACP－32廻り断面図

1/100



陸上競技場スタンド建設に伴う冷暖房工事

平成 28年 2月

MA － 09

図面名称　配管設備　3階平面図・断面図

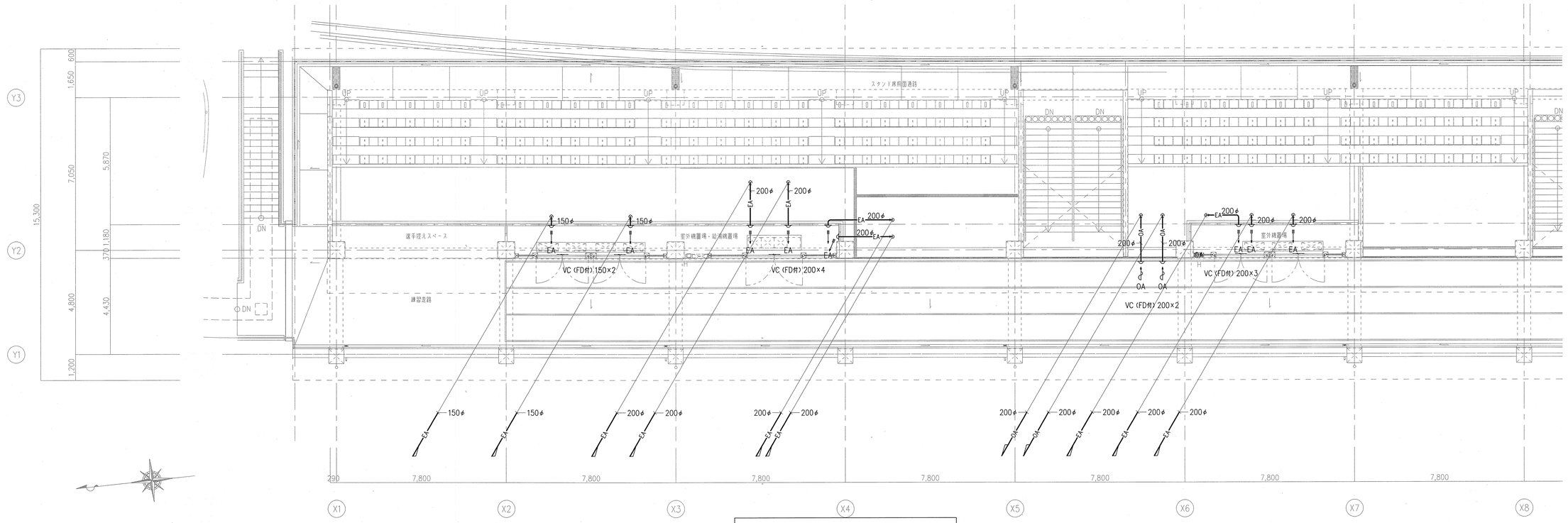
縮尺　1:100(A1)　1:200(A3)

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当
平成 28年 9月					
代表者	検図	製図			

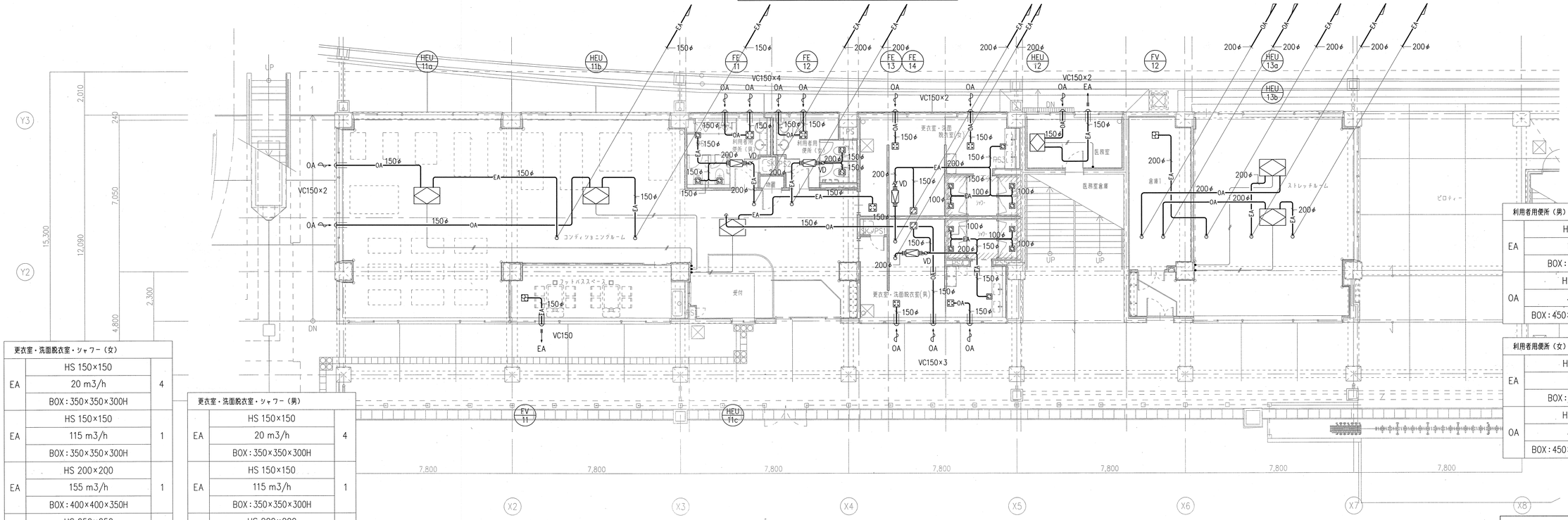
豊橋市建設部建築課

株式会社 大建設計

管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号



2階平面図　1：100



1階平面図　1：100

※ VC(ﾊﾟｲﾌﾟﾌｰﾄﾞ)は指定色塗装とし発注者と打合せの上決定すること。

利用者用便所（男）			
EA	HS 150×150		
	100 m3/h		3
	BOX：350×350×300H		
OA	HS 250×250		
	300 m3/h		1
	BOX：450×450×350H（GW25t）		

利用者用便所（女）			
EA	HS 150×200		
	150 m3/h		2
	BOX：350×400×350H		
OA	HS 250×250		
	300 m3/h		1
	BOX：450×450×350H（GW25t）		

更衣室・洗面脱衣室・シャワー（女）		
EA	HS 150×150	
	20 m3/h	4
	BOX：350×350×300H	
EA	HS 150×150	
	115 m3/h	1
	BOX：350×350×300H	
EA	HS 200×200	
	155 m3/h	1
	BOX：400×400×350H	
EA	HS 250×250	
	250 m3/h	1
	BOX：450×450×400H	
OA	HS 200×200	
	175 m3/h	2
	BOX：400×400×350H（GW25t）	

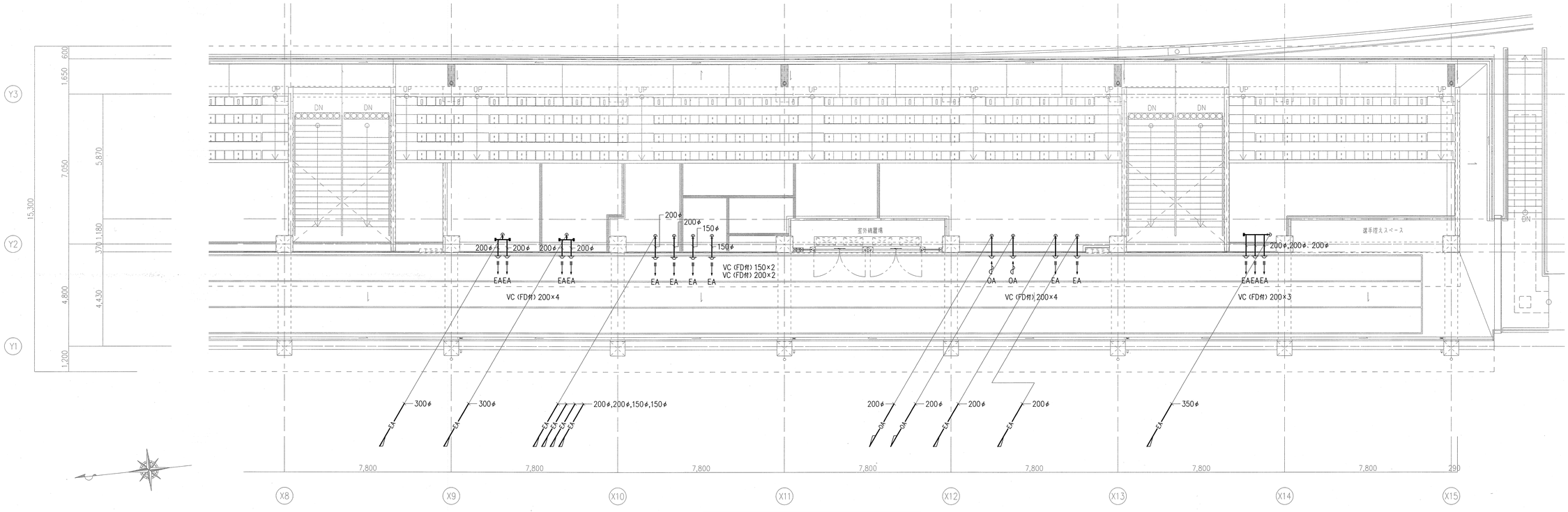
更衣室・洗面脱衣室・シャワー（男）		
EA	HS 150×150	
	20 m3/h	4
	BOX：350×350×300H	
EA	HS 150×150	
	115 m3/h	1
	BOX：350×350×300H	
EA	HS 200×200	
	155 m3/h	1
	BOX：400×400×350H	
OA	HS 200×200	
	175 m3/h	2
	BOX：400×400×350H（GW25t）	

●	コントロールスイッチ
	EM-CEE- 2P-2C (PF16)

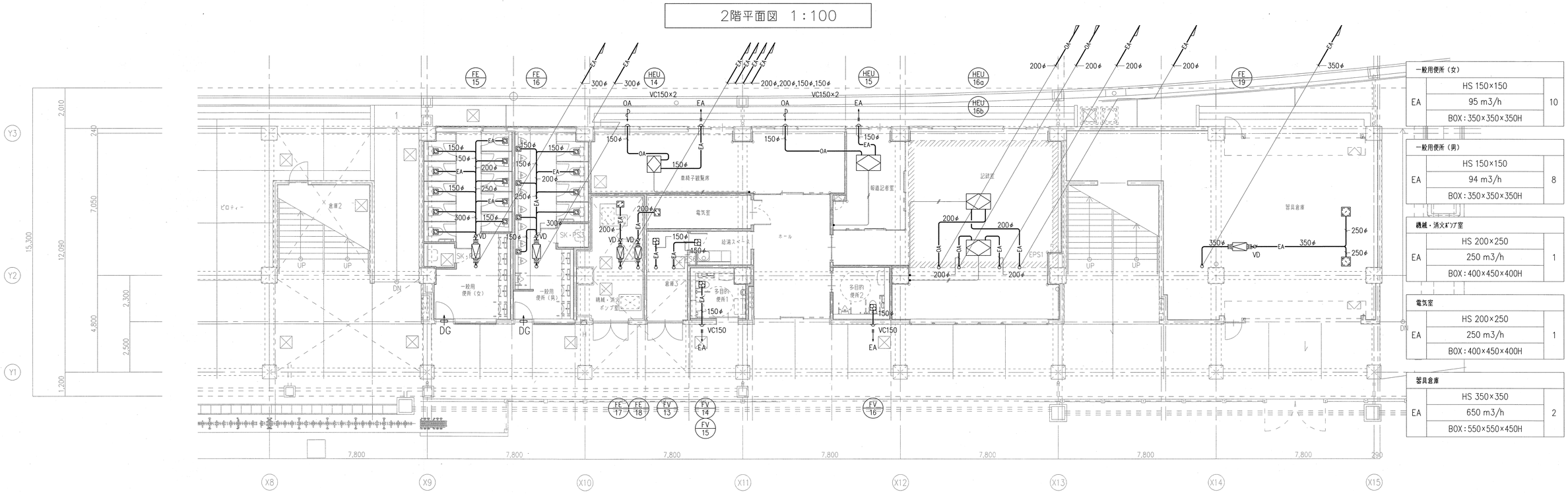
陸上競技場スタンド建設に伴う冷暖房工事

平成 28年 9月								
課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当	図面名称	ダクト設備　1階・2階平面図（北）	
						縮尺	1:100(A1) 1:200(A3)	代表者
豊橋市建設部建築課						株式会社 大建設計		検図 / 製図

平成 28年 2月
MA－10
管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号



2階平面図　1：100



1階平面図　1：100

※ VC(ﾊｲﾌﾟﾌｰﾄﾞ　)は指定色塗装とし発注者と打合せの上決定すること。

●	コントロールスイッチ
	EM-CEE- 2P-2C (PF16)

一般用便所（女）		
EA	HS 150×150	10
	95 m3/h	
	BOX：350×350×350H	

一般用便所（男）		
EA	HS 150×150	8
	94 m3/h	
	BOX：350×350×350H	

機械・消火ﾎﾟﾝﾌﾟ室		
EA	HS 200×250	1
	250 m3/h	
	BOX：400×450×400H	

電気室		
EA	HS 200×250	1
	250 m3/h	
	BOX：400×450×400H	

器具倉庫		
EA	HS 350×350	2
	650 m3/h	
	BOX：550×550×450H	

陸上競技場スタンド建設に伴う冷暖房工事

平成 28年 2月	図面名称	ダクト設備　1階・2階平面図（南）
MA － 11		

平成 28年　9月	課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

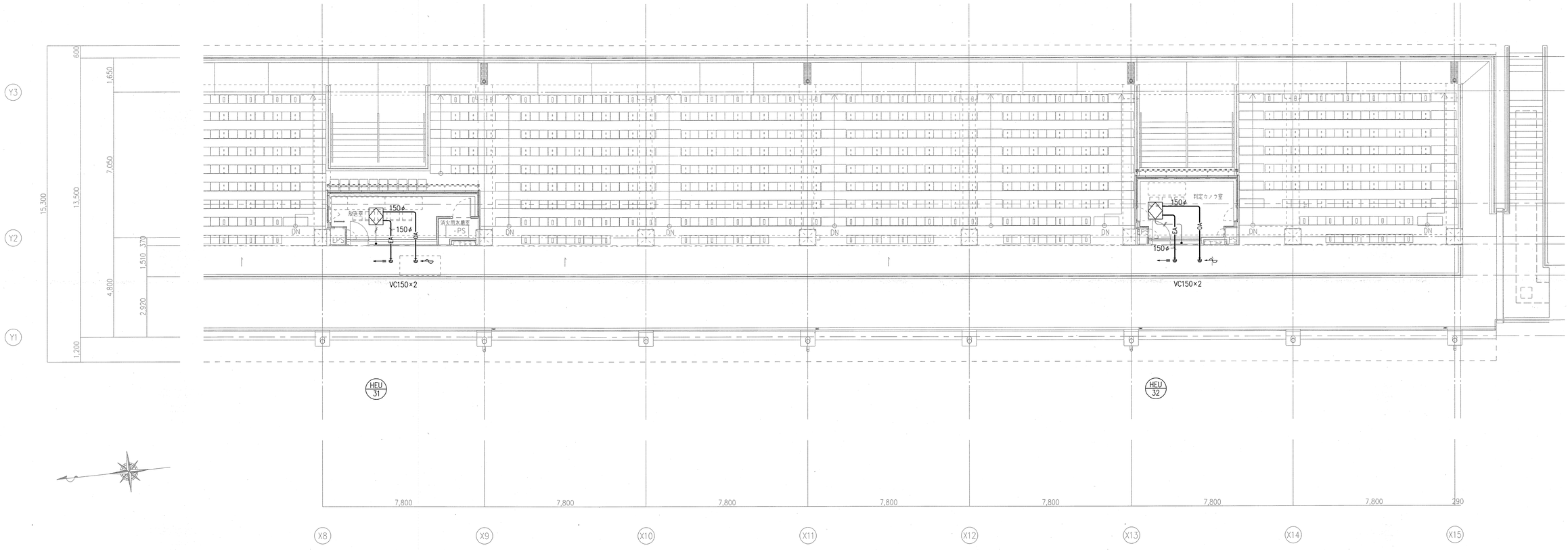
縮尺	1:100(A1) 1:200(A3)	代表者		検図		製図	

豊橋市建設部建築課

株式会社 大建設計　管理建築士／中西兵衛　一級建築士登録第176475号

ダクト設備　3階平面図

1/100



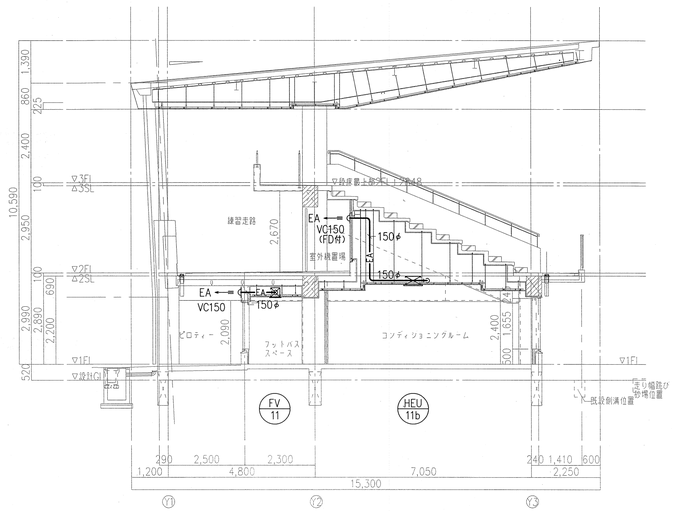
3階平面図　1：100

※ VC(パイプフード　)は指定色塗装とし発注者と打合せの上決定すること。

●	コントロールスイッチ
	EM-CEE- 2P-2C (PF16)

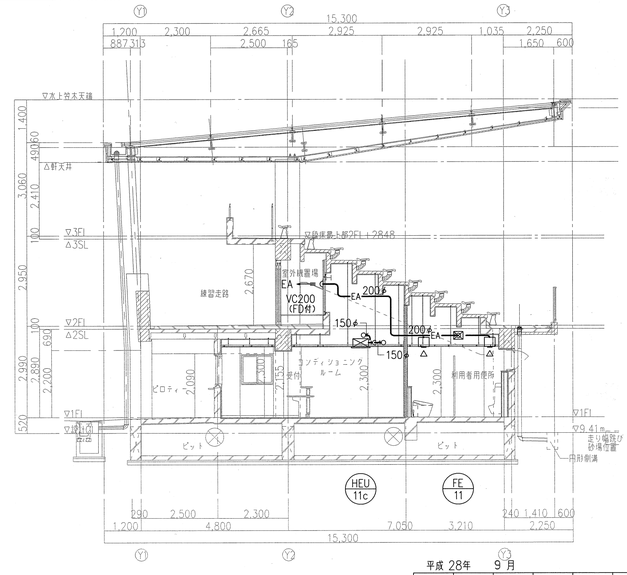
HEU−11b・FV−11廻り断面図

1/100



HEU−11c・FE−11廻り断面図

1/100



課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

豊橋市建設部建築課

陸上競技場スタンド建設に伴う冷暖房工事

平成 28年 2月

図面名称　ダクト設備　3階平面図・断面図

MA − 12

縮尺　1:100(A1)　1:200(A3)

代表者　検図　製図

株式会社 大建設計

管理建築士／中西兵衛

一級建築士登録第176475号

平成 28年 9月

工　事　区　分　表

（下記に示す工事区分は表中 ○印を付した工事に含むものとする）

項目		建築	電気設備	機械設備 冷暖房	機械設備 管	外構(別途)	その他(別途)	別途(備品)	備考
1 一般事項	機械基礎（コンクリート）	○							
	監督員事務所	○							
2 機械基礎	電気、機械の基礎（建築物と接して一体の物）	○							
	同上アンカーボルト、箱入れ、埋込み		○	○	○				
3 躯体貫通	梁（S）貫通スリーブ	○							
	同上貫通補強（鉄骨穴あけを含む）	○							
	梁（RC、PCa）貫通スリーブ		○	○	○				PCaスリーブは建築に材料支給とする
	同上貫通補強	○							
	壁、床の貫通スリーブ、箱入れ	○	○	○	○				
	同上貫通補強	○							
	梁、壁、床の貫通部孔埋め、躯体補修	○	○	○	○				
	PCa設備インサート	○	○	○	○				材料支給は電気、管・冷暖房設備工事とする
4 その他の貫通	天井付き各種設備器具穴あけ、取付け枠及び補強	○	○	○	○				補強は建築附属は建築工事とする
	同上墨出し		○	○	○				
	中間ファン、全熱交換器ユニット等の本体取付け			○					
	同上穴あけ、補強	○							
	同上墨出し			○					
	コンクリート、石、金属パネル、GB貼り全ての設備機器取り付け用穴明け及び補強	○							
	ALC板の配管・ダクト用穴開け		○	○	○				
5 ガラリ・点検口等	外部取付けガラリ	○							
	外部取付けの換気ベンドキャップ			○					
	ドアガラリ	○							
	点検口（床、天井、各PS）	○							
	設備チャンバー取り付け金物（アングル等）	○							
	マンホール（ピット等の点検用）	○							
6 湯沸・洗面・便所・浴室・厨房	既製品及び造り付けの流し台、水切棚、吊戸棚、調理台	○							
	同上給排水の接続				○				
	流し台等の配管パック取付け工事（配管用孔明け共）	○							
	流し台への電源送り		○						
	同上接続		○						
	洗面カウンター	○							
	トイレブース	○							
	化粧鏡	○	大型鏡 姿見		○	既成品			姿見は建築工事とする
	身障用手摺り				○				
	ユニットシャワー	○							
	ユニットシャワー換気設備	○			○				天井穴開けは建築工事とする
	洗面器、手洗い				○				
	排水目皿				○				
	紙巻器				○				
	乳幼児用いす				○				
	乳幼児用ベッド				○				
	小便器・掃除流し・洗面器・手摺取付用補強	○							
7 機械室	機器搬出入口	○							

項目		建築	電気設備	機械設備 冷暖房	機械設備 管	外構(別途)	その他(別途)	別途(備品)	備考
9 防災機材	防煙ダンパー・防火ダンパー			○					
	同上用配管、配線、制御盤（作動、復帰、表示共）		○						
	発信器、ベル表示灯		○						
	消火器BOX（埋込型、据え置き型）	○							
	ABC粉末消火器	○							
	屋内消火栓				○				
	同上開口・開口補強	○							
10 制御機器	発電機盤以降の電気配管配線工事		○						
	非常用発電機		○						
	発電機用オイルタンク		○						
	パッケージエアコンの室内外渡り電源及び操作回路電気工事			○					
	同上一次側電源工事、機器接続		○						
	同上リモコンスイッチ			○					
	同上配管、スイッチボックス			○					
	全熱交換器ユニット操作回路電気工事			○					
	同上一次側電源工事		○						
	同上リモコンスイッチ			○					
	同上配管、スイッチボックス			○					
	同上二次側配管配線工事			○					
	換気扇			○					
	同上一次側電源工事		○						
	同上スイッチ		○						
11 仕上げユニット	ブラインドボックス、カーテンボックス、カーテンレール	○							
	ブラインド、カーテン							○	
	掲示板・ホワイトボード							○	
	定礎銘板	○							
	案内板等サイン工事一式	○							
	各種造付け家具	○							
	既成品家具							○	
	設備機器表示		○	○	○				書体は建築工事に合わせる
	スチールパーティション・ガラスパーティション	○							
	OAフロア床パネル切り込み加工	○							
	OAフロア　コンセント	○							
	トレーニング器具							○	
	フットバス設備							○	
12 外構	雨水排水工事、溝、会所、蓋	○				○			範囲は図示による
	雑排水工事、会所、蓋				○	○			
	汚水排水工事、会所、蓋				○	○			
	電力、電話引込みマンホール		○						
	植樹（客土含む）	○				○			
	給水負担金						○		
	その他各種負担金								特記による
	舗装工事一式	○				○			範囲は図示による
	囲障工事一式	○				○			範囲は図示による
	湧水排水ポンプ				○				
	湧水排水ポンプの制御盤及び二次側電気配管配線工事		○						
	同上の一次側電気工事		○						
	汚物中継ユニット				○				
	汚物中継ユニットの制御盤及び二次側電気配管配線工事				○				
	同上の一次側電気工事		○						

項目		建築	電気設備	機械設備 冷暖房	機械設備 管	外構(別途)	その他(別途)	別途(備品)	備考
13 その他	電話構内交換機							○	
	電話機							○	
	同上配管配線工事		○						
	館内放送設備スピーカー、配管、配線		○						
	同上アンプ、呼び出しマイク		○						
	撤去工事（範囲は図示による）	○	○	○					
	陸上競技場スピーカー		○						
	成績表示設備、配線工事						○		
	同上配管工事		○						
	写真判定、競技測定用配線工事						○		
	同上配管工事		○						

平成 28年 9月

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

豊橋市建設部建築課

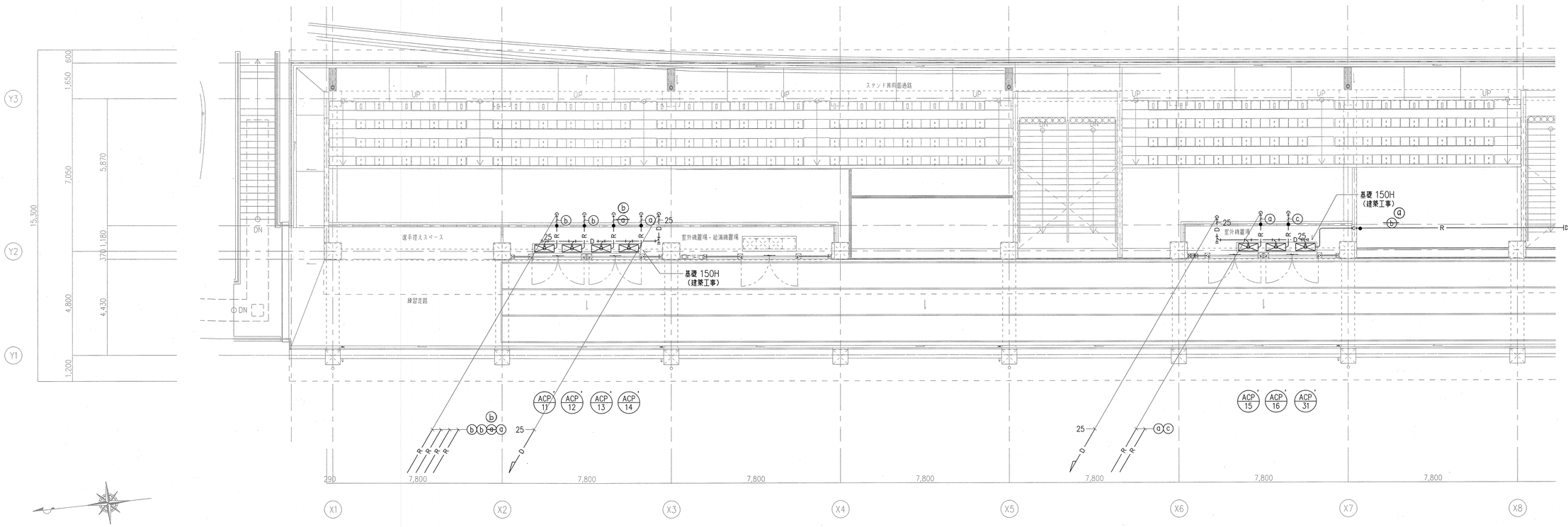
陸上競技場スタンド建設に伴う冷暖房工事

平成 28年 2月	図面名称	工事区分表	
MA-13	縮尺	N:S	
代表者		検図	製図

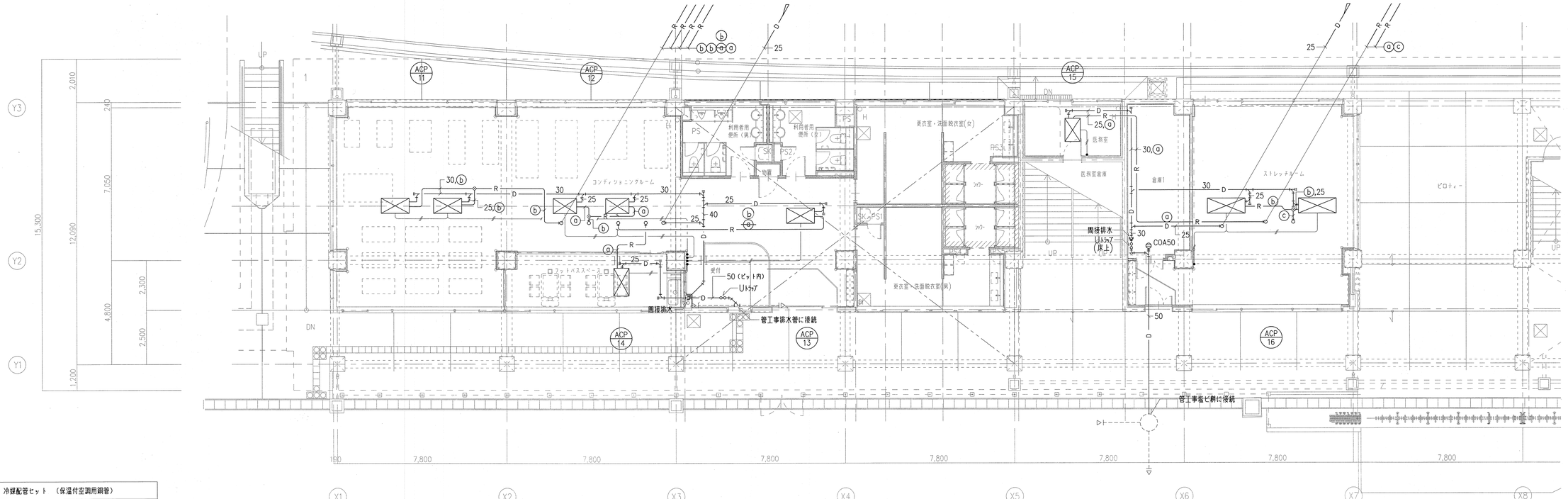
株式会社 大建設計

管理建築士／中西兵衛

一級建築士登録第176475号



2階平面図　1：100



1階平面図　1：100

冷媒配管セット　（保温付空調用銅管）		
記号	寸　法	連 絡 線
ⓐ	6.4φ + 12.7φ	EM-CE-2°-3C
ⓑ	9.5φ + 15.9φ	EM-CE-2°-3C
ⓒ	~~12.7φ~~ 9.5φ + 25.4φ	EM-CE-2°-3C

●	パッケージ付属リモコン（OB102×44） EM-CEE-2°-2C（PF16）
——●	防火区画貫通処理を示す。
▨	床下配管ピットを示す

課　長	課長補佐	課長補佐	専門員	主　査	担　当		

豊橋市建設部建築課

陸上競技場スタンド建設に伴う冷暖房工事

平成 28年 2月	図面名称	配管設備　1階・2階平面図（北）	
MA－07	縮尺	1:100(A1) 1:200(A3)	代表者

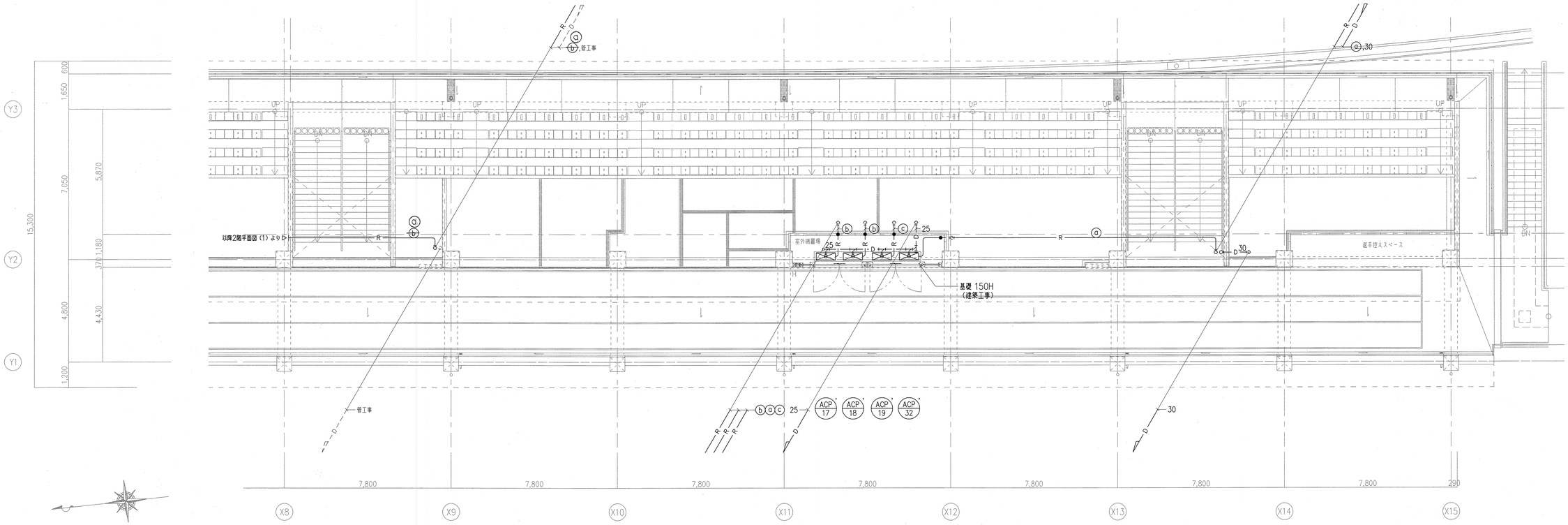
検図　製図

平成 28年　9月

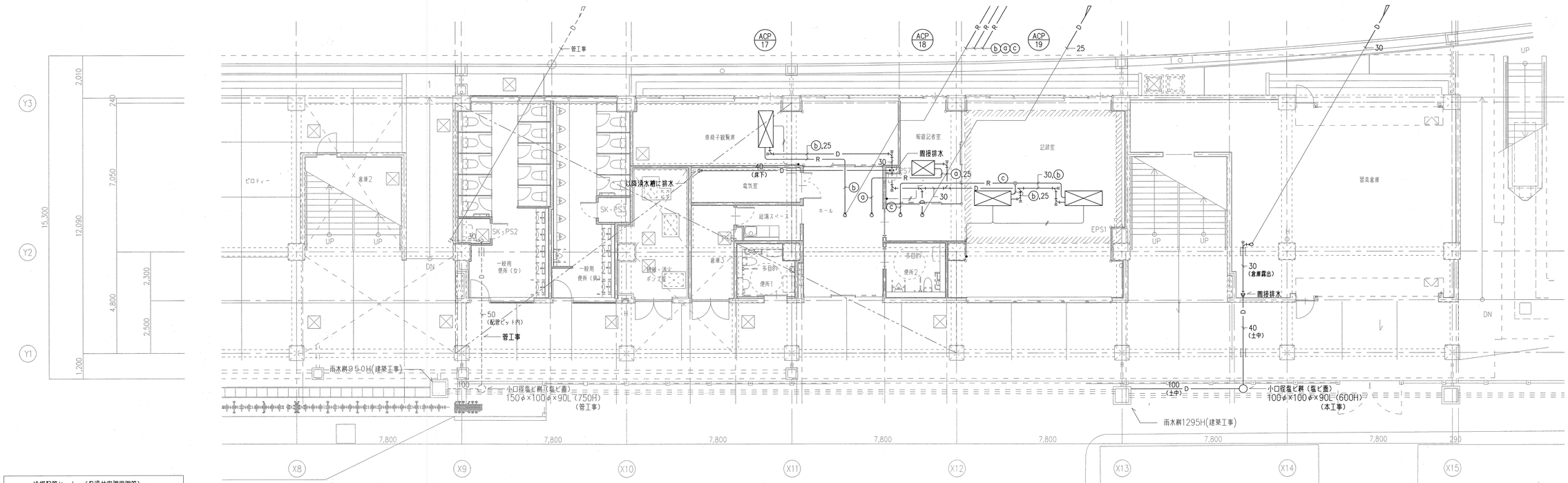
株式会社 大建設計

管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号

変更



2階平面図　1:100



1階平面図　1:100

冷媒配管セット　（保温付空調用銅管）		
記号	寸　法	連 結 線
ⓐ	6.4φ + 12.7φ	EM-CE-2°-3C
ⓑ	9.5φ + 15.9φ	EM-CE-2°-3C
ⓒ	~~12.7φ~~ 9.5 + 25.4φ	EM-CE-2°-3C

•	パッケージ付属リモコン（OB102×44） EM-CEE 2°-2C（PF16） t25

	床下配管ピットを示す
	防火区画貫通処理を示す。

陸上競技場スタンド建設に伴う冷暖房工事

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

平成 28年　9月

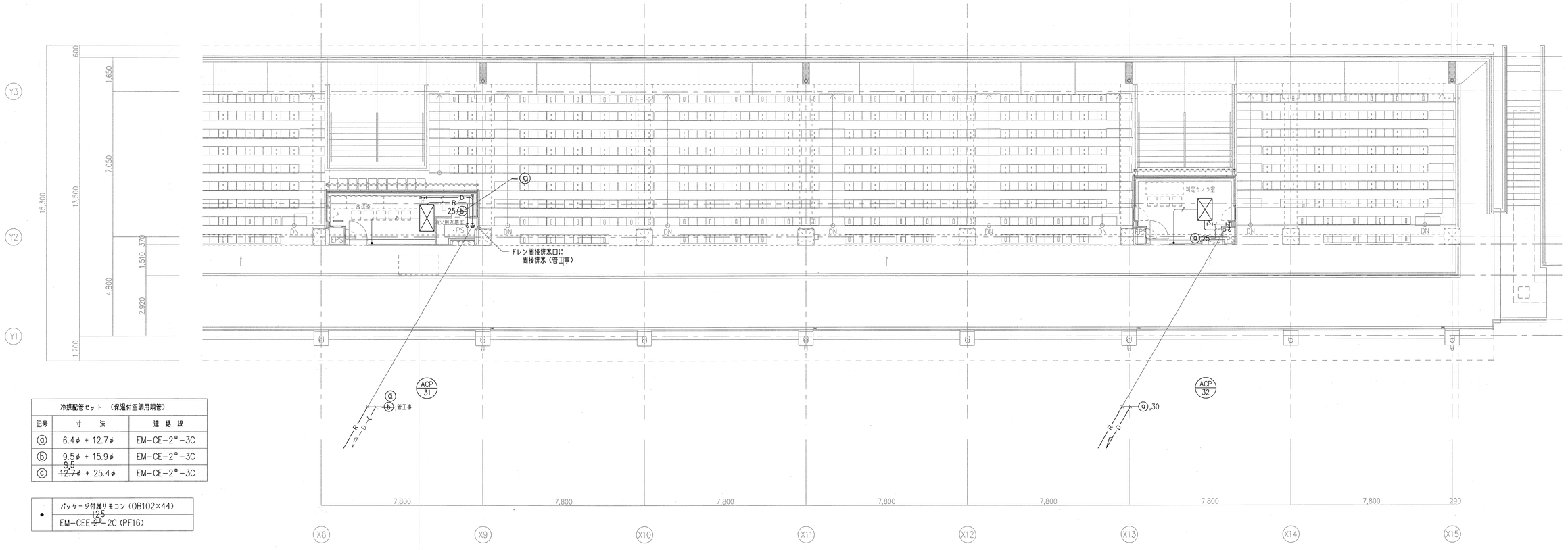
豊橋市建設部建築課

平成 28年 2月	図面名称	配管設備　1階・2階平面図（南）
MA－08	代表者	
縮尺 1:100(A1) 1:200(A3)	検図	製図

株式会社 大建設計
管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号

配管設備　3階平面図

1/100



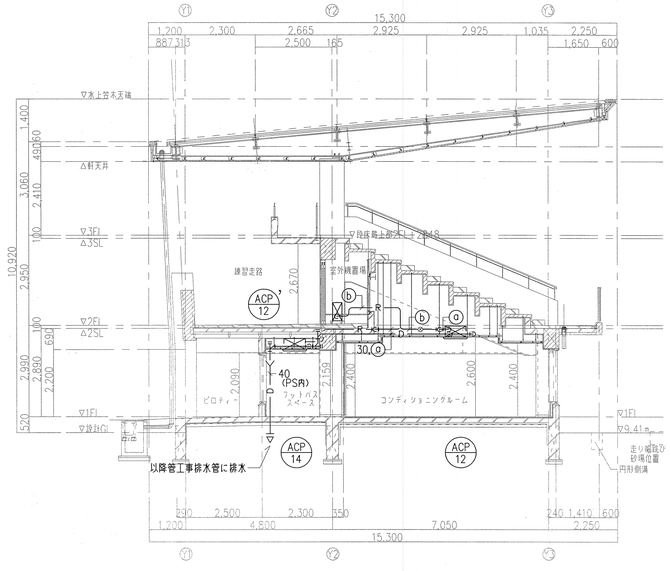
冷媒配管セット　（保温付空調用銅管）		
記号	寸　法	連 結 線
ⓐ	6.4φ + 12.7φ	EM-CE-2°-3C
ⓑ	9.5φ + 15.9φ	EM-CE-2°-3C
ⓒ	~~12.7φ~~ 9.5 + 25.4φ	EM-CE-2°-3C

•	パッケージ付属リモコン（OB102×44）
	EM-CEE-~~2°~~ 1.25-2C（PF16）

3階平面図　1：100

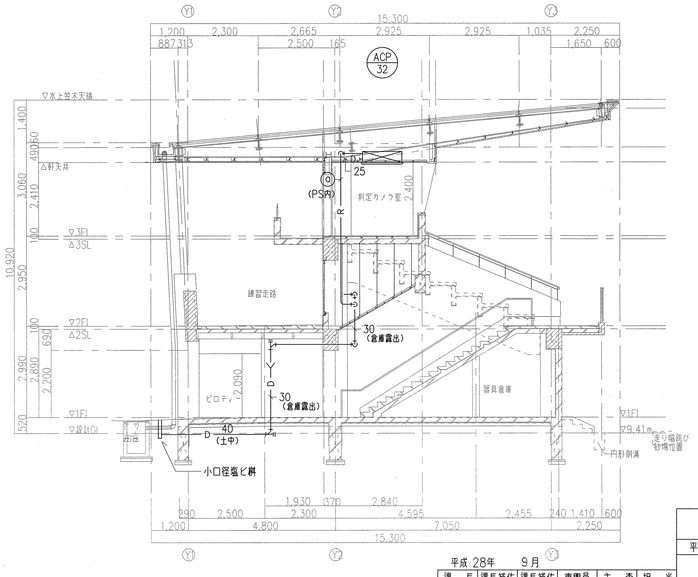
ACP－12・14廻り断面図

1/100



ACP－32廻り断面図

1/100



陸上競技場スタンド建設に伴う冷暖房工事

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

平成 28年 9月

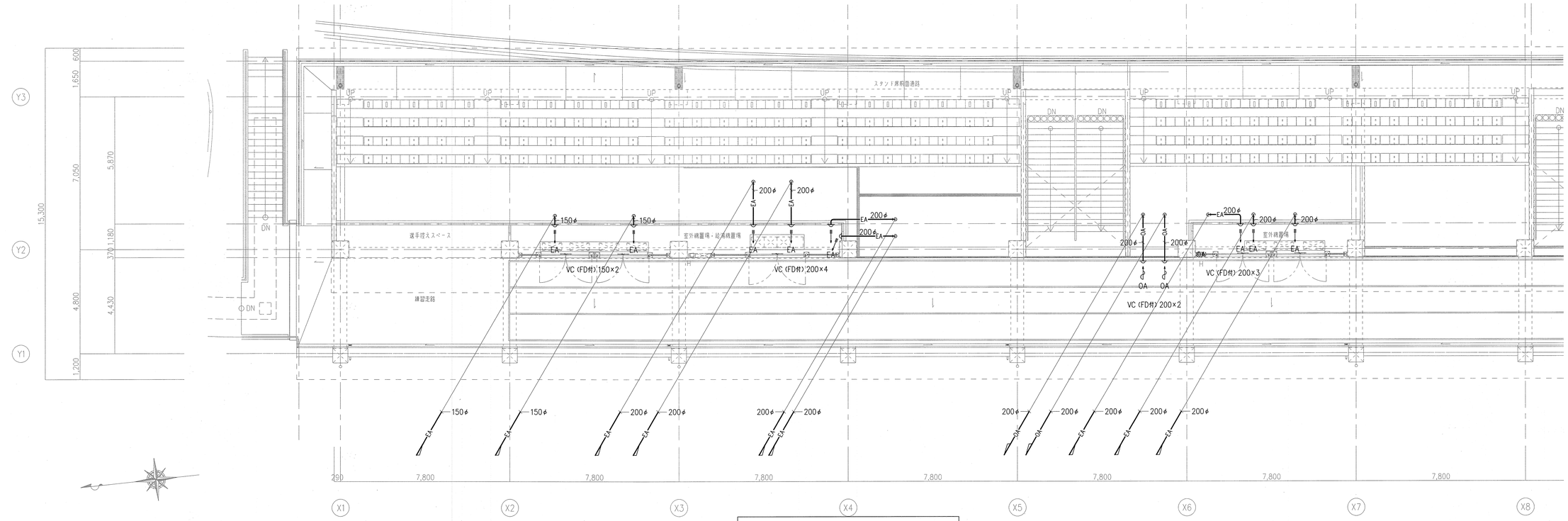
平成 28年 2月	図面名称	配管設備　3階平面図・断面図
MA－09		
縮尺 1:100(A1) 1:200(A3)	代表者	検図 / 製図

豊橋市建設部建築課

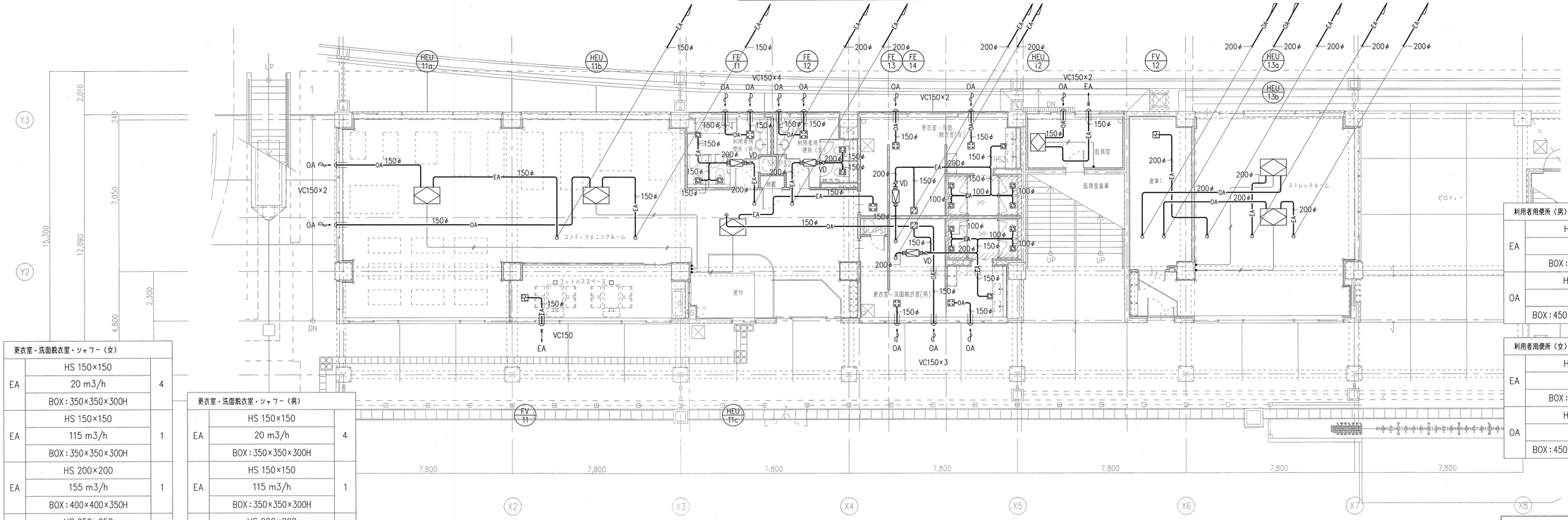
株式会社 大建設計

管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号

変更



2階平面図　1：100



1階平面図　1：100

＊ VC（ﾊﾟｲﾌﾟﾌｰﾄﾞ　）は指定色塗装とし発注者と打合せの上決定すること。

更衣室・洗面脱衣室・シャワー（女）		
EA	HS 150×150	4
	20 m3/h	
	BOX：350×350×300H	
EA	HS 150×150	1
	115 m3/h	
	BOX：350×350×300H	
EA	HS 200×200	1
	155 m3/h	
	BOX：400×400×350H	
EA	HS 250×250	1
	250 m3/h	
	BOX：450×450×400H	
OA	HS 200×200	2
	175 m3/h	
	BOX：400×400×350H（GW25t）	

更衣室・洗面脱衣室・シャワー（男）		
EA	HS 150×150	4
	20 m3/h	
	BOX：350×350×300H	
EA	HS 150×150	1
	115 m3/h	
	BOX：350×350×300H	
EA	HS 200×200	1
	155 m3/h	
	BOX：400×400×350H	
OA	HS 200×200	2
	175 m3/h	
	BOX：400×400×350H（GW25t）	

利用者用便所（男）		
EA	HS 150×150	3
	100 m3/h	
	BOX：350×350×300H	
OA	HS 250×250	1
	300 m3/h	
	BOX：450×450×350H（GW25t）	

利用者用便所（女）		
EA	HS 150×200	2
	150 m3/h	
	BOX：350×400×350H	
OA	HS 250×250	1
	300 m3/h	
	BOX：450×450×350H（GW25t）	

●	コントロールスイッチ
	EM-CEE-$\frac{03}{2P}$-2C（PF16）

陸上競技場スタンド建設に伴う冷暖房工事

平成 28年 2月　MA－10　図面名称：ダクト設備　1階・2階平面図（北）

平成 28年　9月

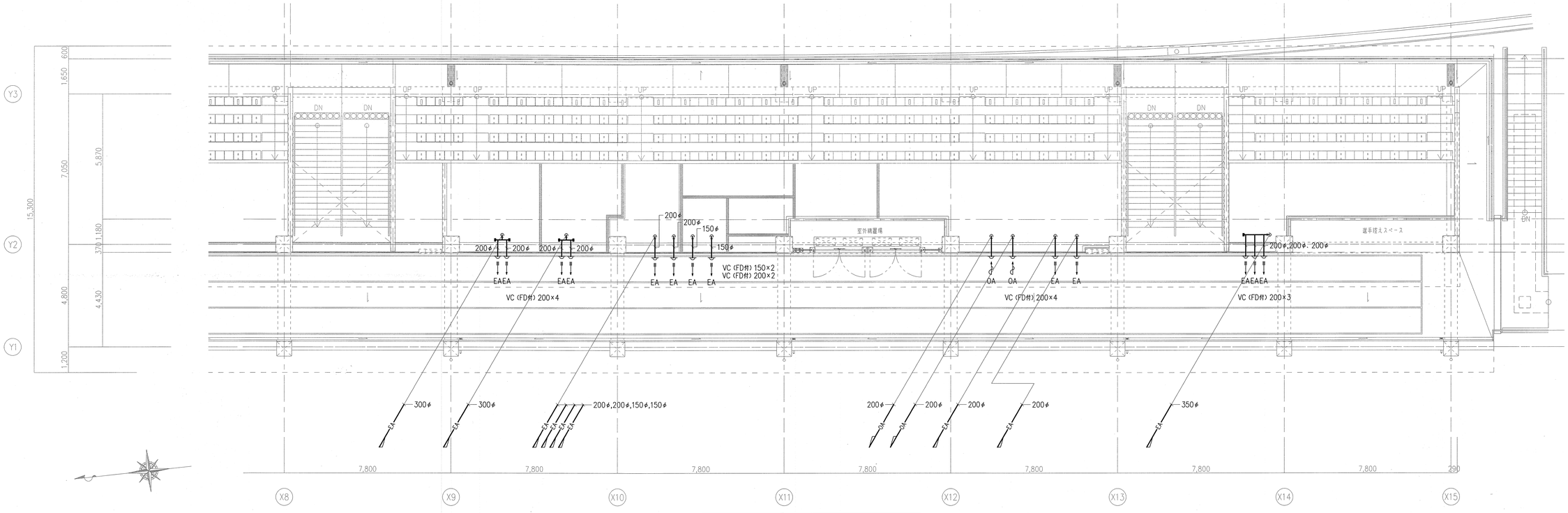
課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

縮尺　1:100(A1)　1:200(A3)　代表者　検図　製図

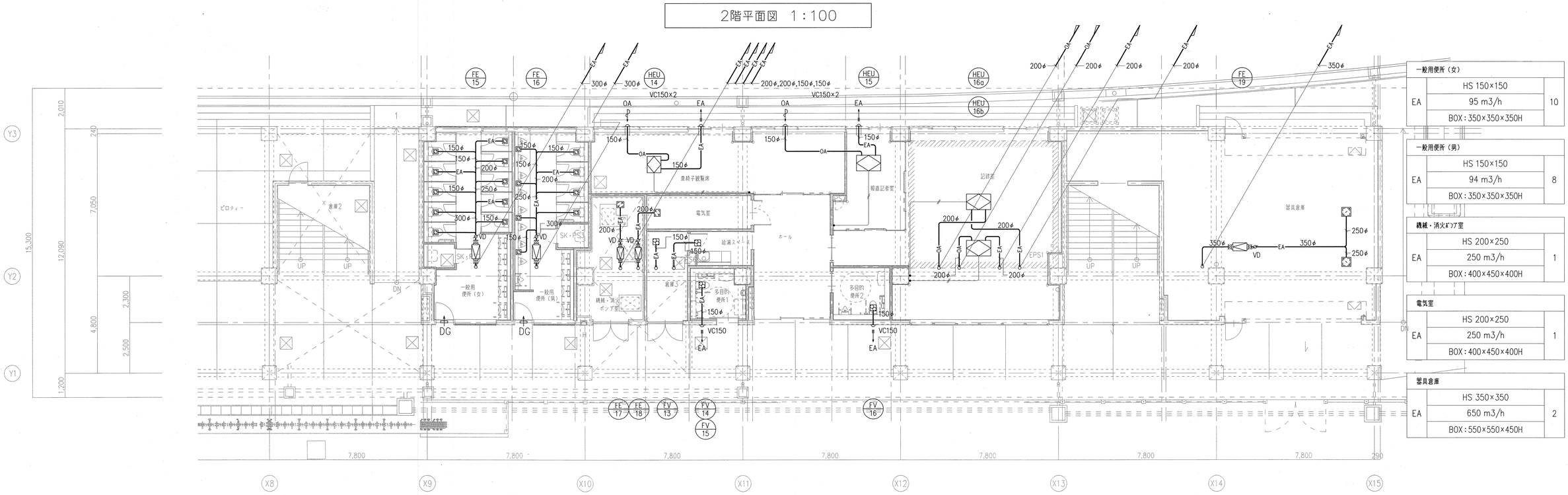
豊橋市建設部建築課

天建設計
管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号

変更



2階平面図　1：100



一般用便所（女）		
EA	HS 150×150	10
	95 m3/h	
	BOX：350×350×350H	

一般用便所（男）		
EA	HS 150×150	8
	94 m3/h	
	BOX：350×350×350H	

機械・消火ポンプ室		
EA	HS 200×250	1
	250 m3/h	
	BOX：400×450×400H	

電気室		
EA	HS 200×250	1
	250 m3/h	
	BOX：400×450×400H	

製具倉庫		
EA	HS 350×350	2
	650 m3/h	
	BOX：550×550×450H	

1階平面図　1：100

※ VC(パイプフード　)は指定色塗装とし発注者と打合せの上決定すること。

•	コントロールスイッチ EM-CEE-0.3-2C (PF16)

陸上競技場スタンド建設に伴う冷暖房工事

平成 28年 2月	図面名称	ダクト設備　1階・2階平面図（南）
MA － 11		

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

縮尺　1:100(A1)　1:200(A3)　代表者　検図　製図

豊橋市建設部建築課

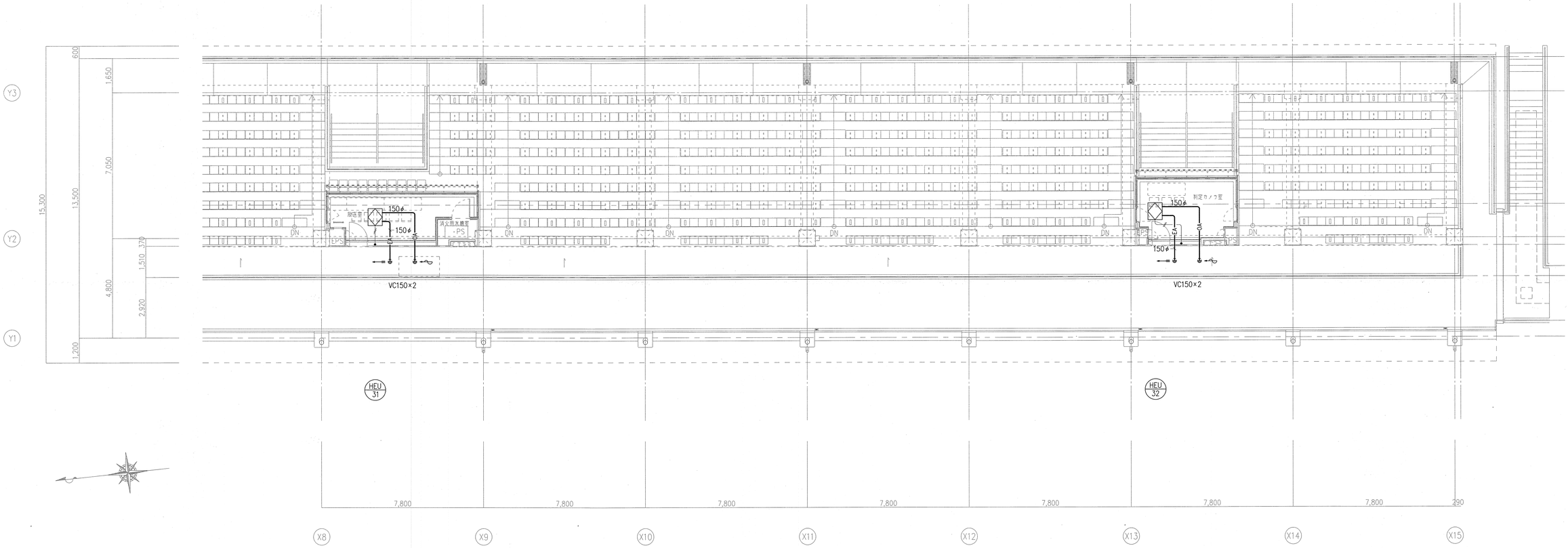
大建設計　管理建築士／中西兵衛　一級建築士登録第176475号

平成 28年　9月

変更

ダクト設備　3階平面図

1/100



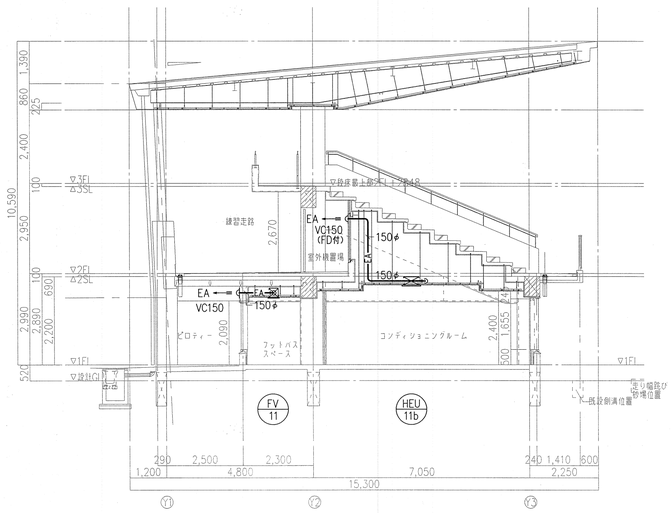
3階平面図　1：100

※ VC(ﾊﾟｲﾌﾟﾌｰﾄﾞ　)は指定色塗装とし発注者と打合せの上決定すること。

●	コントロールスイッチ EM-CEE-$\frac{0.3}{2^2}$-2C (PF16)

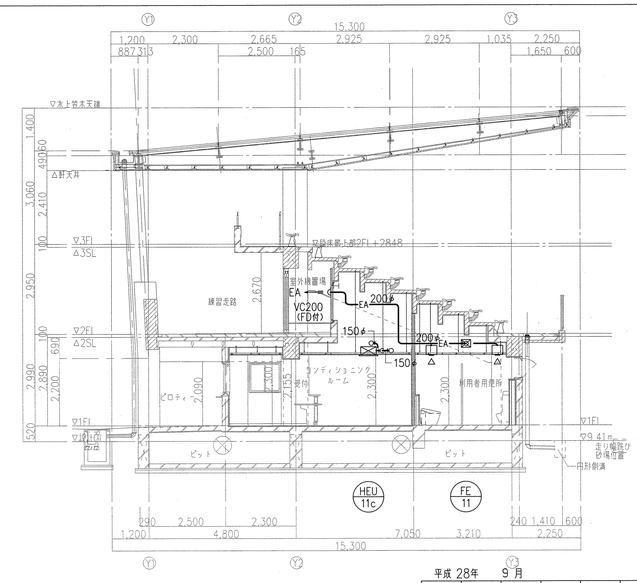
HEU−11b・FV−11廻り断面図

1/100



HEU−11c・FE−11廻り断面図

1/100



陸上競技場スタンド建設に伴う冷暖房工事

平成 28年 2月

図面名称　ダクト設備　3階平面図・断面図

MA − 12

縮尺　1:100(A1)　1:200(A3)

平成 28年　9月

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

豊橋市建設部建築課

代表者　検図　製図

株式会社 大建設計

管理建築士/中西兵衛
一級建築士登録第176475号

陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事

図面番号	図　面　名　称	縮尺（A1）
E-00	図面リスト	NS
E-01	電気設備工事特記仕様書・指定資材	NS
E-02	工事区分表	NS
E-03	建築概要・付近見取図	1:1500
E-04	自家発電装置　仕様書・計算書	NS
E-05	盤類結線図	NS
E-06	電灯分電盤リスト	NS
E-07	幹線設備系統図	NS
E-08	構内配電線路図（建設後）	1:300
E-09	構内配電線路図（建設前）	1:300
E-10	構内通信線路図（建設後）	1:300
E-11	構内通信線路図（建設前）	1:300
E-12	幹線・動力（換気）設備1階平面図（1）	1:100
E-13	幹線・動力（換気）・太陽光発電設備1階平面図（2）	1:100
E-14	幹線・動力・太陽光発電設備2階・3階平面図・屋根伏図	1:200
E-15	コンセント・競技用空配管設備1階平面図（1）	1:100
E-16	コンセント・競技用空配管設備1階平面図（2）	1:100
E-17	コンセント・競技用空配管設備2階・3階平面図・屋根伏図	1:200
E-18	コンセント・競技用空配管設備3階平面詳細図	1:50
E-19	照明器具姿図	NS
E-20	電灯設備1階平面図（1）	1:100
E-21	電灯設備1階平面図（2）	1:100
E-22	電灯設備2階・3階平面図・屋根伏図	1:200
E-23	電灯設備3階平面詳細図	1:50
E-24	防災照明設備1階・2階平面図	1:200
E-25	防災照明設備3階平面図・屋根伏図	1:200

図面番号	図　面　名　称	縮尺（A1）
E-26	通信・情報設備機器姿図	NS
E-27	通信・情報設備系統図	NS
E-28	通信・情報設備1階平面図（1）	1:100
E-29	通信・情報設備1階平面図（2）	1:100
E-30	通信・情報設備2階・3階平面図・屋根伏図	1:200
E-31	火災報知設備凡例・系統図・1階平面図	1:200
E-32	火災報知設備2階・3階平面図	1:200
E-33	太陽光発電設備特記仕様書	NS
E-34	太陽光発電設備システム系統図	NS
E-35	太陽光発電設備機器姿図	NS
E-36	太陽光発電設備架台詳細図	1:200,1:5

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

豊橋市建設部建築課

陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事

平成 28年 2月

図面名称：図面リスト

E-00

縮尺：NS

代表者

検図

製図

株式会社 大建設計

管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号

電気設備工事特記仕様書・指定資材

平成２７年　５月　１日　改訂

章	節・項目	特記事項
共通事項 1章	1.1.1 適用基準等	1．この特記事項以外は下記に準拠する。但し、本工事に関係しない事項は適用しない。 １）豊橋市契約規則 ２）工事請負契約書 ３）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書　（電気設備工事編）　（平成２５年版） ４）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築設備工事標準図　（電気設備工事編）　（平成２５年版） ５）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）　（平成２５年版） ６）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書　（機械設備工事編）　（平成２５年版） ７）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築設備工事標準図　（機械設備工事編）　（平成２５年版） ８）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）　（平成２５年版） ９）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書　（建築工事編）　（平成２５年版） １０）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）　（平成２５年版） １１）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　建築物解体工事共通仕様書　（平成２４年版） １２）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築木造工事標準仕様書　（平成２５年版） １３）関係法令及び諸工事基準 １４）鉄筋、ガス圧接、コンクリート及び鋼材の抜取検査は、愛知県建設部制定　建築工事用資材抜取検査取扱要領（平成２１年版）による。 ２．特記事項の適用優先順位　１.⊙　２.※　但し、⊙と※のある場合は共に適用する。 ３．本工事に使用する資材は「電気設備工事指定資材」及び「あいくる材認定一覧」による。 ４．設計図書に関する疑義は原則として、入札執行前に質疑書の提出によって確かめるものとする。
	1.1.3 官公署その他への届出手続等	工事着手、施工、完成に当たり、関係官公署その他関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行う。 消防設備等設置届書は、自動火災報知設備、消火器、消火栓及び非常放送設備等を一括取りまとめの上、電気工事受注者が消防長への届出手続を行う。 ※適用する　・適用しない
	1.1.4 工事実績情報の登録	受注者は、受注時又は変更時において請負代金額が500万円以上の工事について、(財)日本建設情報総合センター(JACIC)の工事実績情報システム(CORINS)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を作成して監督員に提出し、確認（署名・押印）を受けたうえ登録を行う。 また、登録後にJACICが発行する「登録内容確認書」の写しを、監督員へ提出する。
	1.2.1 概成工期	工期は監督員による工事完了確認期間を含むものとする。 ・無　・有（　年　月　日）
	1.2.4 工事の記録	１．本工事は工事写真について電子納品の対象工事とする。ただし、電子納品ソフトを購入し、基準どおりに整備できない場合は、工事写真台帳ソフト及びWord、Excel形式等で写真データを貼り付けたものを電子媒体へ記録したものでも可とする。 ２．電子納品ソフトによる電子媒体での納品の作成については最新の「愛知県電子納品運用ガイドライン（案）」及び「愛知県デジタル写真管理情報基準（案）」に準じて行うものとし、撮影にあたっては本市の工事記録写真撮影要領に基づくものとする。なお、市独自の対応の必要が生じた場合は、施工計画書の提出前までに監督員と協議し決定する。 ３．電子納品の成果品の提出部数については、電子媒体（CD-RまたはDVD-R、ただしDVD-Rとする場合は事前に監督員の承諾を得る。）２部とし、ビュアーソフトを添付したものする。なお、着手・しゅん工写真についてはサービスサイズまたは同程度の大きさでプリントアウトしたものを１部提出する。 ４．受注者は、電子納品に必要なハード及びソフト環境の整備を行うとともに、各検査時に写真情報の閲覧操作用機器を準備するものとする。 ５．その他、電子納品に関する詳細な取扱いについては、監督員と協議の上、その指示に従うこととする。
	工事写真	１．工事着手前 工事着手に先立ち、敷地及び周辺の道路、建築物及び工作物等の現況を撮影する。 ２．工事中 施工後隠ぺい又は埋設される部分で監督員が承諾した部分を除き右図に示す黒板と被写体及びスケールを合わせて撮影する。 監督員の指示により適宜提出する。　（ファイル部数　１部）
	1.3.2 電気保安技術者	電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者をおき、施工計画書中の現場施工体制に記載すること。 ・無　※有
	1.3.9 発生材の処理等	１．引渡しを要するものは、監督員の指定する場所に整理し、発生物件調書を作成し施設管理者へ引渡す。 ２．引渡しを要しないものは、すべて場外に搬出し、下記建設副産物の項及び関係法令等に従い、適正に処理する。 ３．本工事で発生する産業廃棄物のうち愛知県内の最終処分場に搬入する産業廃棄物については、愛知県産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。 ４．ＰＣＢを使用している器材材料は、引渡しを要する。撤去した機器のメーカー名・型番・製造年月日及びＰＣＢ入りとそうでないものリストを作成して建築課へ提出する。 ５．次の物品はＰＣＢの混入が疑われるため、専門の分析機関に依頼し、その有無を確認する。 昭和47年以前の建築物：ポリサルファイド（チオコール）系コーキング 平成元年以前の建築物：蛍光灯安定器、コンデンサ、リアクトル、コンデンサ用放電コイル、変圧器（絶縁油中の濃度0.5mg/kg以下のものは対象外） 上記以外においても、ＰＣＢ混入の恐れがある場合は、監督員と協議の上、確認すること。 ６．アスベスト含有建材は、大気汚染防止法の改正（平成26年6月1日施工）に基づき、適正に対応すること。
	建設副産物	１．発生材については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」及び「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」そのほか法令の規定を遵守し「豊橋市建設副産物リサイクルガイドライン実施要綱」（以下「リサイクルガイドライン」という。）に基づき、適正に処理する。 ２．事前に「リサイクルガイドライン」に定める計画書を監督員に提出する。 ３．工事完了時に「リサイクルガイドライン」に定める実施書及び入力した電子データを監督員に提出する。 ・しない　※する「リサイクルガイドライン別表３」による。
	分別収集再資源化施設への搬出	工事に伴い発生する建設副産物のうち、次のものは再資源化施設へ搬出する。 ※コンクリート塊　※アスファルトコンクリート塊　※建設発生木材　※金属くず　・その他（　　）
	再生資源の利用の指定	使用する資材は、リサイクル資材の率先利用を図るため、「愛知県あいくる材率先利用方針」を遵守するほか、以下の運用とする。 以下の資材のうち愛知県あいくる材率先利用方針第３のＡグループの資材は、あいくる材の認定資材を使用することとする。 ①　再生加熱アスファルト混合物　②　再生路盤材　③　コンクリート二次製品 ④　舗装用ブロック　⑤　屋内排水管・通気管及び屋外の排水管に使用する再生硬質塩化ビニル管 注１）　①の再生加熱アスファルト混合物及び②の再生路盤材については、あいくる材でない再生加熱アスファルト混合物及び再生路盤材もあいくる材と同等と見なす。
	1.4.1 環境への配慮	屋内で使用する材料、塗料及び接着剤のホルムアルデヒド放散量　※Ｆ☆☆☆☆　・（　　）
	1.4.2 機材の品質等	１．姿図の形状及び寸法は概略を示す。 ２．分電盤、動力制御盤、端子盤、などの二次側以降の配管経路、電線の太さ、電線本数、管径などは監督員の承諾を受けて、変更することができる。 ３．居室・廊下等見えがかり部分の露出配管（金属管のみ、ＰＥ管・ＳＵＳ管を除く）は原則として塗装する。 ４．使用する機器及び材料はすべてアスベストを含まないものとする。 ５．ブロックハンドホールのコンクリート設計基準は圧縮強度２１Ｎ／mm²以上、スランプ１３cm以下とする。　※適用する　・適用しない
	1.5.7 化学物質の濃度測定	※　測定しない　・測定する（測定方法　測定対象室　測定箇所　対象物質　）
	1.7.1 完成時の提出図書	工事完成前に次の図書を作成し提出する。 ⊙　完成図（データ修正または原図修正）　・　完成図の２つ折製本 1部　⊙　完成図A3判の２つ折製本３部　⊙　契約図A3判の２つ折製本３部(契約後速やかに) ・　施工図の２つ折製本１部　⊙　保全に関する資料１部　・　その他必要書類（　）１部
	1.7.2 完成図	完成図の様式は以下とする。 ＣＡＤデータ　※　提出する　・　提出しない 様式　※　普通紙で提出　・　トレーシングペーパーで提出

工事名	
工種	
位置	
図面	

章	節・項目	特記事項
共通事項 2章	その他 ・光熱水費 ・事故報告 ・工事中の安全管理 ・施工体制台帳 ・施工体系図 ・騒音・振動対策	建物引き渡しまでの電気・水道・ガス等の料金（基本料金を含む）は、協議の上、各工事受注者が負担する。 工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、事故発生報告書を監督員に速やかに提出すること。 工事中の建築物その他工作物または施設については、東海地震注意情報が発表された場合、安全対策を講じた上で、原則として工事を中止するものとする。 建設業法第２４条の７第１項の規定により作成した施工体制台帳（同項の規定により記載すべきものとされた事項に変更が生じたことに伴い新たに作成されたものを含む。）の写しを監督員に提出すること。（公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律~~第１３条~~） ~~請負金額が５００万円以上の工事について、１次下請総額の如何に関わらず~~施工体系図を作成し、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲示する。（ただし、下請負に付さない工事、~~当初請負金額が５００万円未満で、変更後５００万円以上となる工事~~を除く。） 「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針（建設大臣官房技術審議官通達、昭和５１年３月２日）」及び関連法規の規定を厳守し施工する。
	2.1.1 一般事項	足場、作業構台、仮囲い等は、労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱(建築工事編)その他関連法令等に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行うこと。（5m以上の構造の足場の組立等の作業を行う場合は、「足場の組立て等作業主任者」を選任すること。）
その他	火災保険等	１．保険期間は工事資材の現場搬入の日から工事目的物の引渡しの日までとする。（特に定めのない限り、契約上の工事完成期日経過後21日間とする。） ２．保険の種類は火災保険又は、組立保険（これに準ずるものを含む。）とし、保険金受取人（被保険者）は受注者とする。
	建設業退職金共済制度	受注者の社員のみにより工事施工する場合など、この制度の趣旨に該当しない場合は、その旨を監督員に文書により通知し、建設業共済組合への加入及び掛金収納書を省くことができる。
	工事における高度技術、創意工夫、社会性等の実施状況	受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。
	経費調整	同一敷地内、または隣接地の同業種先行工事を受注した者が、本工事を受注した場合の共通費（共通仮設費、現場管理費及び一般管理費）は、契約締結後に当該先行工事と合算した場合の共通費を調整し、減額が生じる場合は本工事にて減額の変更契約を行う。

◎ 電気設備工事指定資材

分類		指定資材		適用範囲	品質性能基準
配管・配線	1	電線類	a	全般	ＪＩＳマーク表示品（ＪＩＳマーク表示品でないものはＪＩＳ・ＪＣＳ規格適合品）
			b	高低圧ケーブル	ＪＩＳ・ＪＣＳ規格適合品
			c	通信ケーブル	ＪＣＳ規格適合品
			d	耐火・耐熱電線	(社)電線総合技術センターにより認定または評定されたもの
	2	電線保護物類	a	全般	ＪＩＳマーク表示品（ＦＥＰ・ＰＬＰについてはＪＩＳ規格適合品）
電力設備	3	配線器具	a	コンセント・スイッチ	ＪＩＳマーク表示品
	4	照明器具	a	蛍光灯器具	評価名簿搭載品
			b	白熱灯及びＨＩＤ器具	（４ａ）のメーカー
			c	蛍光灯安定器	ＪＩＳマーク表示品（ＪＩＳマーク表示品でないものはＪＩＳ・ＪＥＬ規格適合品）または評価名簿搭載品（４ｃ）
			d	蛍光灯ランプ	ＪＩＳマーク表示品（４ｄ）
			e	白熱電球	ＪＩＳマーク表示品（４ｅ）
			f	ＨＩＤ安定器	ＪＩＳ規格適合品または評価名簿搭載品（４ｃ）に含まれるメーカー
			g	ＨＩＤランプ	ＪＩＳ・ＪＥＬ規格適合品
	5	防災用照明器具	a	非常用照明器具	日本照明器具工業会の評定マークが貼付されたもの
			b	誘導灯	誘導灯認定委員会の認定証票が貼付されたもの
	6	分電盤・制御盤	a	全般	評価名簿搭載品
			b	消防設備用制御盤	(財)日本消防設備安全センターの認定証票が貼付されたもの
	7	避雷設備	a	避雷設備機器	ＪＩＳマーク表示品
	8	外線材料	a	電柱（コンクリート柱）	ＪＩＳマーク表示品
受変電設備	9	キュービクル式配電線	a	全般	評価名簿搭載品
	10	遮断機器	a	高圧遮断器、負荷開閉器	評価名簿搭載品（１０ａ）
			b	配線用遮断器	ＪＩＳ規格適合品（１０ｂ）
	11	変圧器	a	全般	評価名簿搭載品
	12	コンデンサ	a	低圧コンデンサ	ＪＩＳマーク表示品
			b	高圧コンデンサ	評価名簿搭載品
	13	電磁開閉器類	a	電磁開閉器類、接触器	遮断器類の該当メーカー（１０ａ、１０ｂ）で製造されたもの
電力貯蔵設備	14	直流電源装置	a	全般	評価名簿搭載品
			b	消防設備用	蓄電池設備認定委員会の認定証票が貼付されたもの
	15	交流無停電電源装置	a	全般	評価名簿搭載品
発電設備	16	自家発電装置	a	防災用	(社)日本内燃力発電設備協会の認定証票が貼付されたもの
通信設備	17	端子盤	a	全般	評価名簿搭載品
	18	構内交換装置	a	交換機、主装置、電話機	(財)電気通信端末機器審査協会等の適合マーク及び自己確認マークが貼付されたもの
	19	非常放送	a	消防設備用	日本消防検定協会の検定合格証票が貼付されたもの
	20	自動火災報知装置	a	感知器、発信器、中継器、受信機	日本消防検定協会の検定合格証票が貼付されたもの
	21	非常警報装置	a	ベル、表示灯、起動装置	日本消防検定協会の検定合格証票が貼付されたもの

（注）１．「評価名簿搭載品」又は「評価名簿搭載システム」と記載のあるものは、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）の仕様規定及び試験方法に適合すること及び、メンテナンスの体制についての確認を（社）公共建築協会の「建築材料・設備器材等品質性能評価事業」の評価書の写しを添付させることにより替えることが出来る。
なお、評価名簿搭載品等でない場合は、標準仕様書の仕様規定及び試験方法に適合することとメンテナンスの体制について文書を提出させ監督員の承諾を得てから使用する。

陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

平成 28年 2月　図面名称　E-01　電気設備工事特記仕様書・指定資材

縮尺　ＮＳ　代表者　検図　製図

豊橋市建設部建築課

株式会社 大建設計
管理建築士/中西兵衛
一級建築士登録第176475号

工　事　区　分　表

（下記に示す工事区分は表中○印を付した工事に含むものとする）

項目	建築	電気設備	機械設備 冷暖房	機械設備 管				外構（別途）			別途（備品）	備考
1 一般事項												
機械基礎（コンクリート）	○											
監督員事務所	○											
2 機械基礎												
電気、機械の基礎（建築物と接して一体の物）	○											
同上アンカーボルト、箱入れ、埋込み		○	○	○								
3 躯体貫通												
梁（S）貫通スリーブ	○											
同上貫通補強（鉄骨穴あけを含む）	○											
梁（RC）貫通スリーブ		○	○	○								
壁、床の貫通スリーブ、箱入れ	○	○	○	○								
同上貫通補強	○											
梁、壁、床の貫通部孔埋め、躯体補修	○	○	○	○								
4 その他の貫通												
天井付き各種設備器具穴あけ、取付け枠及び補強	○	○	○	○								補強は建築工事とする
同上墨出し		○	○	○								
中間ファン、全熱交換器ユニット等の本体取付け			○									
同上穴あけ、補強	○											
同上墨出し			○									
コンクリート、石、金属パネル、GB貼り全ての設備機器取り付け用穴明け及び補強	○											
5 ガラリ・点検口等												
外部取付けガラリ	○											
外部取付けの換気ベンドキャップ			○									
ドアガラリ	○											
点検口（床、天井、各PS）	○											
設備チャンバー取り付け金物（アングル等）	○											
マンホール（ピット等の点検用）	○											
6 湯沸・洗面・便所・浴室・厨房												
既製品及び造り付けの流し台、水切棚、吊戸棚、調理台	○											
同上給排水の接続				○								
流し台等の配管パック取付け工事（配管用孔明け共）	○											
流し台への電源送り		○										
同上接続		○										
洗面カウンター	○											
トイレブース	○											
化粧鏡	○ 大型鏡 姿見			○ 既成品								姿見は建築工事とする
身障用手摺り				○								
ユニットシャワー	○											
ユニットシャワー換気設備	○			○								天井穴開けは建築工事とする
洗面器、手洗い				○								
排水目皿				○								
紙巻器				○								
乳幼児用いす				○								
乳幼児用ベッド				○								
7 機械室												
機器搬出入口	○											

項目	建築	電気設備	機械設備 冷暖房	機械設備 管		ＥＶ（建築）		外構（別途）		別途（備品）	備考
9 防災機材											
防煙ダンパー・防火ダンパー			○								
同上用配管、配線、制御盤（作動、復帰、表示共）		○									
発信器、ベル表示灯		○									
消火器ＢＯＸ（埋込型、据え置き型）	○										
ABC粉末消火器	○										
10 制御機器											
発電機盤以降の電気配管配線工事		○									
非常用発電機		○									
発電機用オイルタンク		○									
パッケージエアコンの室内外渡り電源及び操作回路電気工事			○								
同上一次側電源工事、機器接続		○									
同上リモコンスイッチ			○								
同上配管、スイッチボックス			○								
全熱交換器ユニット操作回路電気工事			○								
同上一次側電源工事		○									
同上リモコンスイッチ			○								
同上配管、スイッチボックス			○								
同上二次側配管配線工事			○								
換気扇			○								
同上一次側電源工事		○									
同上スイッチ		○									
11 仕上げユニット											
ブラインドボックス、カーテンボックス、カーテンレール	○										
ブラインド、カーテン										○	
掲示板・ホワイトボード										○	
定礎銘板	○										
案内板等サイン工事一式	○										
各種造付け家具	○										
既成品家具										○	
設備機器表示		○	○	○							書体は建築工事に合わせる
スチールパーティション・ガラスパーティション	○										
OAフロア床パネル切り込み加工	○										
OAフロア　コンセント	○										
トレーニング器具										○	
フットバス設備										○	
12 外構											
雨水排水工事、溝、会所、蓋	○							○			範囲は図示による
雑排水工事、会所、蓋				○				○			
汚水排水工事、会所、蓋				○				○			
電力、電話引込みマンホール		○									
植樹（客土含む）	○							○			
給水負担金									○		
その他各種負担金											特記による
舗装工事一式	○							○			範囲は図示による
囲障工事一式	○							○			範囲は図示による
排水ポンプ				○							
排水ポンプの制御盤及び二次側電気配管配線工事				○							
同上の一次側電気工事		○									

項目	建築	電気設備	機械設備 冷暖房	機械設備 管				外構（別途）	別途	別途（備品）	備考
13 その他											
電話構内交換機										○	
電話機										○	
同上配管配線工事		○									
館内放送設備スピーカー、配管、配線		○									
同上アンプ、呼び出しマイク		○									
撤去工事（範囲は図示による）	○										
陸上競技場スピーカー		○									
成績表示設備、配線工事									○		
同上配管工事		○									
写真判定、競技測定用配線工事									○		
同上配管工事		○									

陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

豊橋市建設部建築課

平成 28年 2月　図面名称：工事区分表

E-02

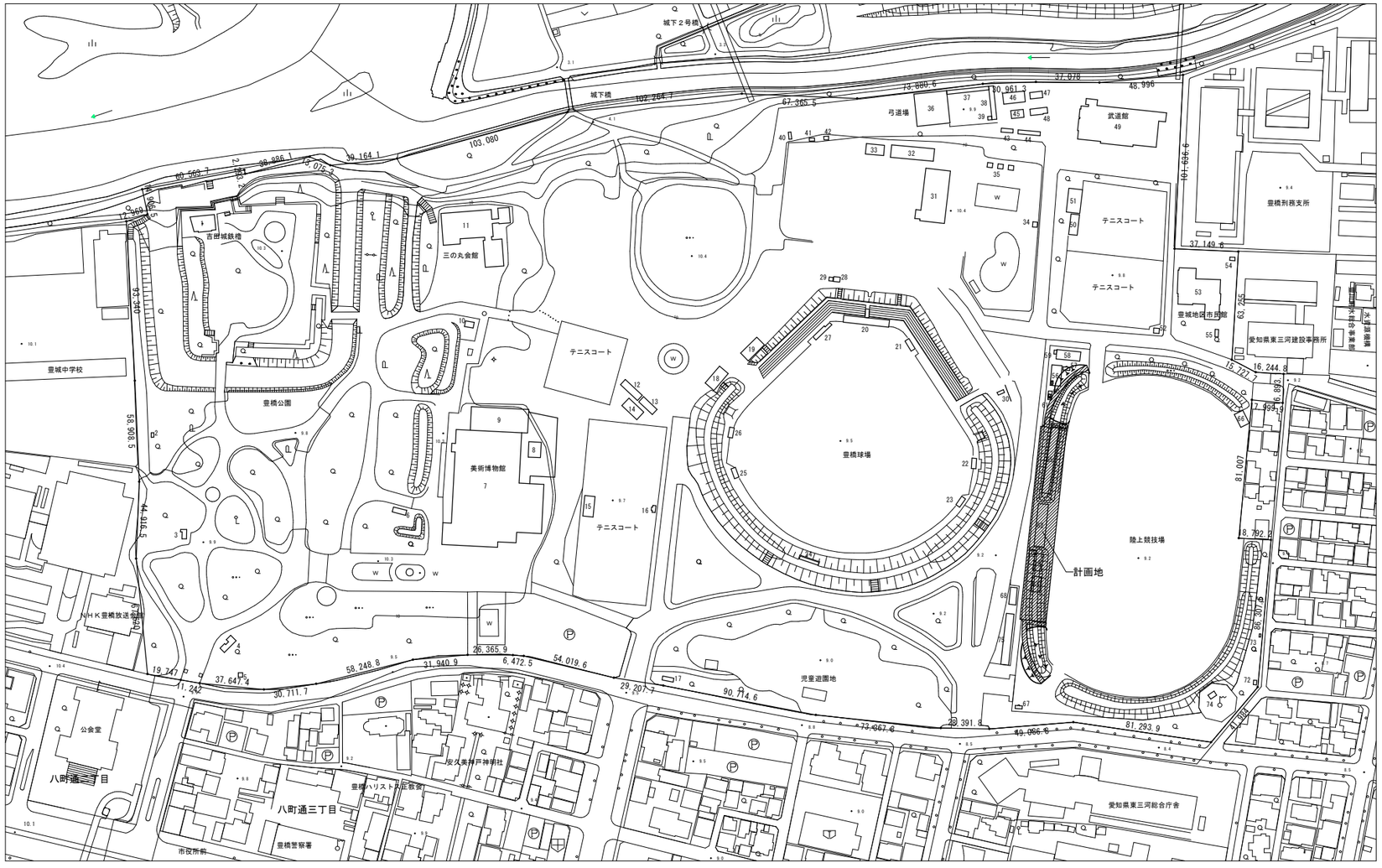
縮尺：NS　代表者　検図　製図

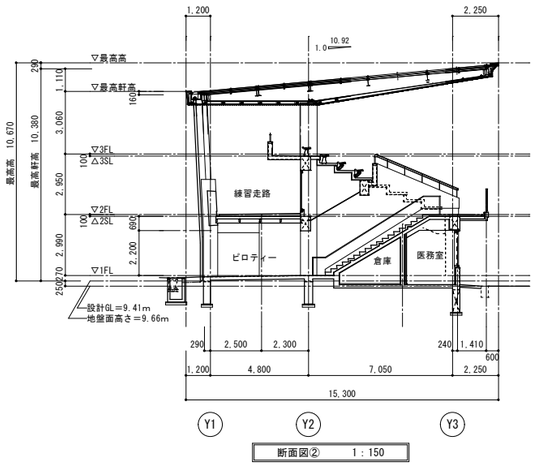
株式会社 大建設計
管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号

建築概要

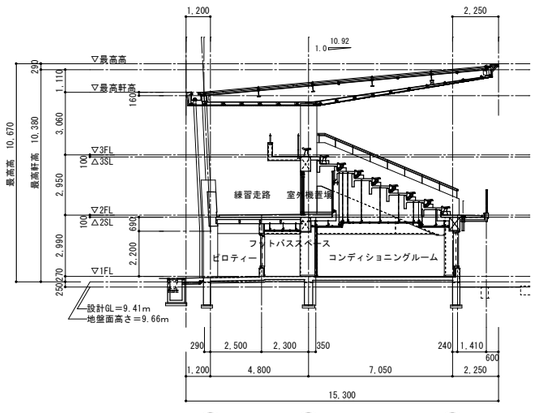
工事名称	陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事	敷地概要	地名地番	愛知県豊橋市今橋町4（豊橋公園内）	建物概要	主要用途	観覧場（陸上競技場スタンド）	棟別概要	棟　名	陸上競技場スタンド	棟　名	プロパン庫	棟　名		棟　名	
			敷地面積	216,400.58 ㎡		工事種別	○新築 ・増築 ・改築 ・移転 ・用途変更	申請建物	用　途	観覧場（陸上競技場スタンド）	用　途	機械室	用　途		用　途	
工事概要	本体工事一式		用途地域	・第１種低層住居専用 ・第２種低層住居専用			・大規模の修繕 ・大規模の模様替 ○解体撤去		工事種別	・既設 ○新築 ・増築 ・改築	工事種別	○新築 ・増築 ・改築	工事種別	・新築 ・増築 ・改築	工事種別	・新築 ・増築 ・改築
	外構工事一式			・第１種中高層住居専用 ・第２種中高層住居専用					階　数	地上 3階・地下 0階・塔屋 0階	階　数	地上 1階・地下 階・塔屋 階	階　数	地上 階・地下 階・塔屋 階	階　数	地上 階・地下 階・塔屋 階
	解体工事一式			○第１種住居 ・第２種住居 ・近隣商業 ・商業		建築面積	新　築　1517.043 ㎡		構　造	・SRC ○RC ○S ・CB	構　造	・SRC ・RC ○S ・CB	構　造	・SRC ・RC ・S ・CB	構　造	・SRC ・RC ・S ・CB
				・準工業 ・工業 ・工業専用			既　設　10,631.20 ㎡		地盤面高	GL 9.66 m	地盤面高	GL m	地盤面高	GL m	地盤面高	GL
				・市街化地域 ・特別用途（ ）			合　計　**** ㎡		最高高さ	GL＋ 10.67 m	最高高さ	GL＋ 2.31 m	最高高さ	GL＋ m	最高高さ	GL＋
			防火地域	・防火 ○準防火 ・指定なし ・法２２条		延べ面積	新　築　※2350.94 ㎡		最高軒高	GL＋ 10.38 m	最高軒高	GL＋ 2.31 m	最高軒高	GL＋ m	最高軒高	GL＋
							既　設　※15,183.01 ㎡		建築面積	1523.15㎡	建築面積	2.03㎡	建築面積	㎡	建築面積	
			その他地域	・高度地区（第 種） ・高度利用地区（ ）			合　計　**** ㎡		床面積	階	床面積	階	床面積	階	床面積	階
			・地区	○風致地区（第３種） ○都市計画公園		平均地盤面高	SITE GL 9.66 m			階		階		階		階
						建ぺい率	**** %			階		階		階		階
				・						階		階		階		階
			基準建ぺい率	・30 ・40 ・50 ○60 ・70 ・80		容積率	**** %			階		階		階		階
			（%）				※計算式は求積図参照			階		階		階		階
			基準容積率	・50 ・60 ・80 ・100 ・150 ○200 ・300		既設除却面積	建築面積 *.** ㎡			階		階		階		階
			（%）	・400 ・500 ・600 ・700 ・800 ・900 ・1000			床面積 *.** ㎡			階		階		階		階
										3階 780.02 ㎡		階		階		階
			道路	・南側 市道苗口・旭町1号線7.5～27.0m(1項1号)		その他	・道路斜線制限 適用距離20m 勾配1.25			2階 642.94 ㎡		階		階		階
			・壁面後退等				・隣地斜線制限 20m+1.25×距離			1階 930.35 ㎡		1階 2.03 ㎡		階		階
										B1階 ㎡		階		階		階
			日影規制							合計 2353.30 ㎡		合計 2.03 ㎡		合計		合計

附近見取図





断面図②　1：150



断面図①　1：150

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

豊橋市建設部建築課

陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事

平成 28年 2月	図面名称	建築概要・付近見取図	
E-03			
縮尺 1:1500(A1) 1:3000(A3)	代表者	検図	製図

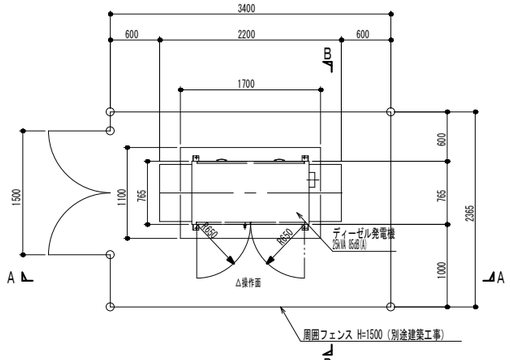
株式会社 大建設計

管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号

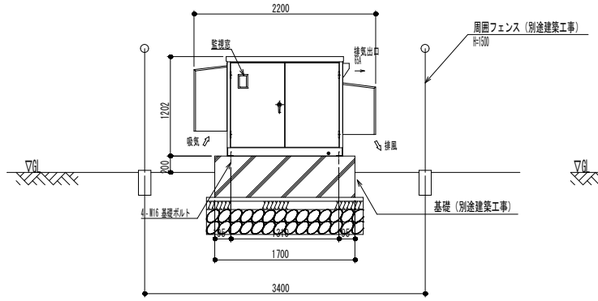
要目表

発電機	形　式		横軸回転界磁形同期発電機	エンジン	形　式		立形水冷４サイクルディーゼル機関
	容　量		２５ｋＶＡ		燃焼方式		直接噴射式
			２０ｋＷ		定格出力		２９．４ｋＷ
	電　圧		２２０Ｖ		回転速度		３６００ｍｉｎ$^{-1}$
	電　流		６５．６Ａ		総排気量		１．４９６Ｌ
	周波数		６０Ｈｚ		冷却方式		ラジエータ冷却
	回転速度		３６００ｍｉｎ$^{-1}$		冷却水量		３．７Ｌ
	相　数		３相３線		始動方式		セルモータによる電気始動
	極　数		２極		使用燃料	種　類	ディーゼル軽油（ＪＩＳ２号）
	力　率		８０％			搭載タンク容量	２８Ｌ
	励磁方法		ブラシレス			燃料消費量	７．８Ｌ／ｈ
	耐熱クラス	発電機	電機子：Ｆ種　界磁：Ｈ種		潤滑油量（全量／有効量）		７．２／４．７　Ｌ
		励磁機	電機子：Ｆ種　界磁：Ｆ種		ラジエータファン風量		５３ｍ^3／ｍｉｎ
	保護方式		開放形（ＩＰ００）		バッテリー	種　類	制御弁式鉛蓄電池
	冷却方式		自由通流形（ＩＣ０１）			容　量	ＤＣ１２Ｖ－２４ＡＨ（ＲＥＨ２４）
充電方式			半導体式全自動充電		始動時間		１０秒
キュービクル		騒音値	約８５ｄＢ（Ａ）以下	乾燥質量			約６３０ｋｇ
		塗装色	５Ｙ７／１　半ツヤ	装備質量			約６６４ｋｇ
ベース		仕　様	溶融亜鉛メッキ	認　定			（社）日本内燃力発電設備協会

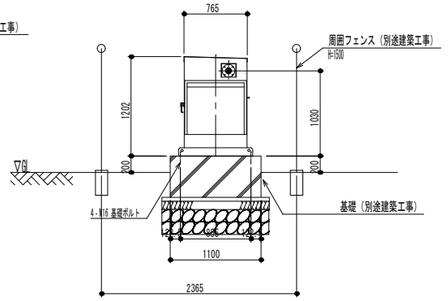
※４方向エネルギー平均
機側１ｍ、高さ１．２ｍ　半自由音場下による



発電設備平面図



Ａ－Ａ断面図



Ｂ－Ｂ断面図

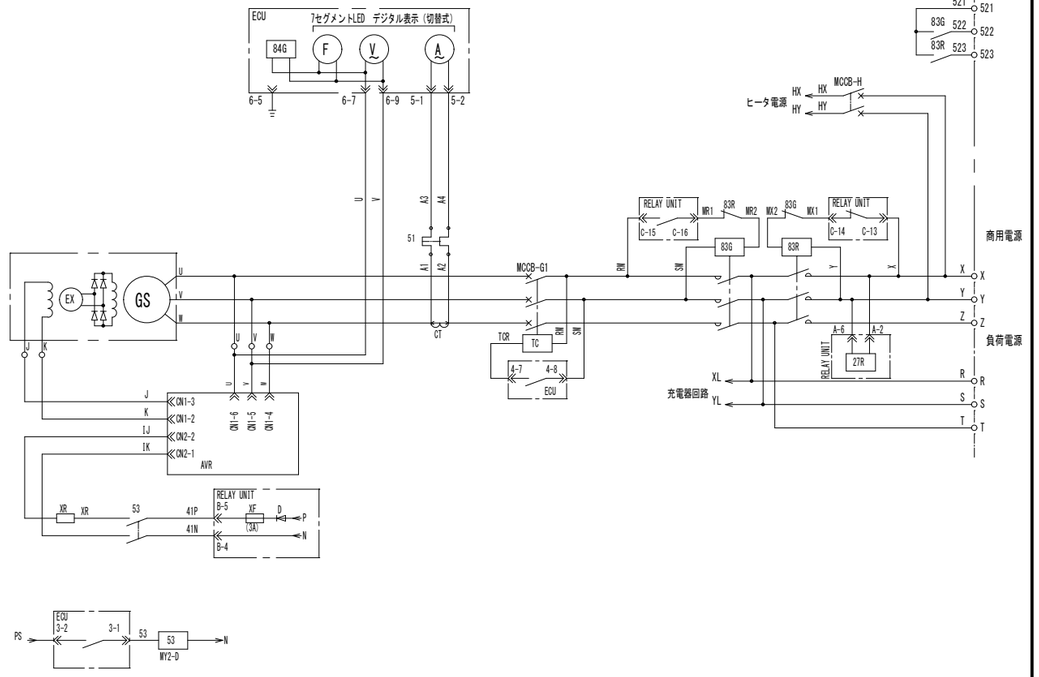
特記事項

1. キュービクル吸気口・排風口に防虫金網（４メッシュ）ＳＵＳ３０４を取り付けること。
2. 図中寸法及び仕様は参考とする。

保護警報装置

項　　目	デバイス	警報表示灯	警　報	機関自動停止	主回路遮断	外部信号
緊急停止	5E	○	○	○	○	○（一括）
始動渋滞	48T	○	○	○	—	
過回転	12	○	○	○	○	
過電流	51	○	○	×	○	
潤滑油圧低下	63Q	○	○	○	○	
冷却水温度上昇	26W	○	○	○	○	

結　線　図



様式-1　〈最大最終〉

自家発電設備出力計算書

特性等		
(1)	対象負荷機器	様式-2　のとおり
(2)	発電機　特性	
	KG3 =	1.650
	KG4 =	0.150
	xd″g =	0.125
	△E =	0.250
	ηg =	0.844
(3)	原動機　特性	
	ε =	1.000
	γ =	1.100
	α =	0.250
(4)	負荷機器	
	**D =	1.000
	**d =	1.000

自家発電設備		
(1)	種　類	
(2)	形式番号	
(3)	発電機出力	
	定格出力 25.0 kVA	極　数 2 極
	定格電圧 0 V	定格周波数 60 Hz
	定格力率 0.800	定格回転速度 3,600 min^{-1}
(4)	原動機出力	
	原動機の種別　ディーゼル機関（長時間形）	
	定格出力 29.4 kW（40.0 PS）	
	使用燃料 軽油	定格回転速度 3,600 min^{-1}
(5)	整合比 1.240	

作成者	会社名	
	氏　名	印
	資　格	

**：1,000未満の場合は、消防設備用出力算定には使用できません。

様式-2　〈最大最終〉　　件名：

自家発電設備出力計算シート（負荷表）

番号	グループ	負荷機器名称	消防設備	記号	台数	換算入出力 kW kVA	出力 mi(kW)	始動動作方式	単相負荷（kW） R-S	S-T	T-R	需要率 di	分負荷担当出力 Mp(kW)	M2の選定 <A>	M3の選定 <B>	M'2の選定 <C>	M'3の選定 <D>
1	単	消火栓ポンプ	E-1	ML	1	5.50	5.50	L	0.00	0.00	0.00	—	5.50	39.29	31.20	18.72	17.10
算出				負荷出力合計値 K =		5.50			0.00	0.00	0.00						
									最大値：A = 0.00 次の値：B = 0.00 最小値：C = 0.00								
選定														<A>の値が最大となるm1=M2= 5.50	<B>の値が最大となるm1=M3= 5.50	<C>の値が最大となるm1=M'2= 5.50	<D>の値が最大となるm1=M'3= 5.50

<A>：=ks／Z'm × mi　<B>：=[ks／Z'm-d／(ηb×cos θb)] × mi　<C>：=[ks／Z'm×cos θs-(ε-a)×d／ηb) × mi <D>：=(ks／Z'm×cos θs-d／ηb) × mi
（ただしエレベーター負荷のときは、各式に1/ηaを掛けた値とする。）　グループ欄が"単"の場合は、単機での始動を示す。

様式-3　〈最大最終〉　　件名：

自家発電設備出力計算シート（発電機）

RG1	= 1/ηL × D × Sf × 1/cos θg = 1/0.850 × 1.000 × 1.000 × 1/0.800 = 1.471 △P = A + B − 2C = 0.00 + 0.00 − 2 × 0.00 = 0.00 u = (A − C)/△P = (0.00 − 0.00)/0.00 = 1.000 Sf = √(1 + △P/K + (△P/K)^2 × (1 − 3u + 3u^2)) = √(1 + 0.00/5.50 + (0.00/5.50)^2 × (1 − 3 × 1.000 + 3 × 1.000^2)) = 1.000	定格負荷出力係数 RG1 1.471
RG2	エレベーター 無（0） = (1 − △E/ε) × xd″g × ks/Z'm × M'2/K = (1 − 0.250/0.250) × 0.125 × 1.000/0.140 × 5.50/5.50 = 2.679	許容電圧降下出力係数 RG2 2.679
RG3	= Cγ1/KG3 × {d/(ηb×cos θb) × (1 − M'3/K) + ks/Z'm × M'3/K} = 0.880/1.650 × {1.000/(0.850 × 0.800) × (1 − 5.50/5.50) + 1.000/0.140 × 5.50/5.50} = 3.810	短時間連電流耐力出力係数 RG3 3.810
RG4	= 1/K × 1/KG4 × √(H − RAF)^2 + (Σ A1/(η1×cos θ1) + Σ B1/(η1×cos θ1) − 2 × Σ C1/(η1×cos θ1))^2 × (1 − 3u + 3u^2) ※ H = hb × √(Σ (RG1 × hk1/(η1 × cos θ1))^2 + (Σ (RG1 × hk1/(η1 × cos θ1)) × hph)^2 = 1/5.50 × 1/0.150 × √((0.00 − 0.00)^2 + (0.00)^2 × (1 − 3 × 1.000 + 3 × 1.000^4)) = 0.000	許容逆相電流出力係数 RG4 0.000
RG	= RG〈3〉= 3.810　RG1,RG2,RG3,RG4のうち最大値	3.810
発電機計算出力 G'	G' = RG × K = 3.810 × 5.50 = 20.96 (kVA)	発電機定格出力 G　G = 25.0

備　考：G'はGの95%以上の値とする。

様式-4　〈最大最終〉　　件名：

自家発電設備出力計算シート（原動機、整台）

RE1	= (1/ηL) × D × (1/ηg) = (1/0.850) × 1.000 × (1/0.844) = 1.394	定格負荷出力係数 RE1 1.394
RE2	= 1/ηg × fv^2/ηg × {(ε − a) × d/ηb × (1 − M'2/K) + ks/Z'm × cos θs × M'2/K} = 1/1.000 × 0.760/0.802 × {(1.000 − 0.250) × 1.000/0.850 × (1 − 5.50/5.50) + 1.000/0.140 × 0.600 × 5.50/5.50} = 4.063	許容回転速度変動出力係数 RE2 4.063
RE3	= 1/ρ × fv^3/ηg × {d/ηb × (1 − M'3/K) + ks/Z'm × cos θs × M'3/K} = 1/1.100 × 0.760/0.802 × {1.000/0.850 × (1 − 5.50/5.50) + 1.000/0.140 × 0.600 × 5.50/5.50} = 3.693	許容最大出力係数 RE3 3.693
RE	= RE〈2〉= 4.063　RE1,RE2,RE3　のうち最大値	RE 4.063
原動機計算出力 E	E' = RE × K = 4.063 × 5.50 = 22.35 (kW)	
整合	M' = E'/(G × cos θg) × ηg = 22.35/25.0 × 0.800 = 0.844 = 0.943	
原動機定格出力 E	M' = 0.943　E* = 23.70 (kW) M = 1.240	E = 29.4 (kW)

自家発電設備の出力	G = 25.0 (kVA)　力率 = 0.800	E = 29.4 (kW) 40.0 (PS)　ディーゼル機関（長時間形）

備　考：E≧E'又はE*の値以上の値とする。

陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

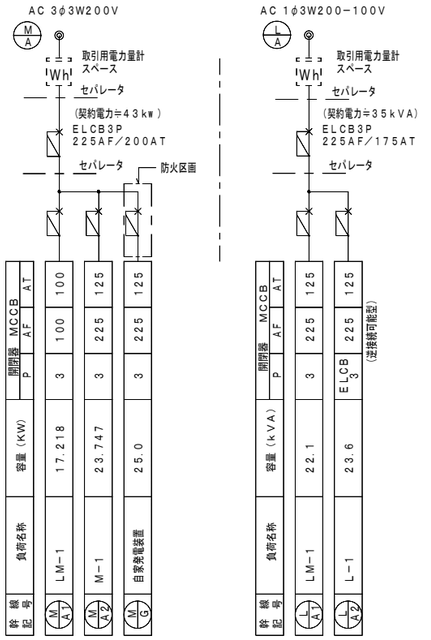
平成 28年 2月　図面名称　自家発電装置 仕様書・計算書
図面番号　E-04
縮尺　NS　代表者印　検図　製図

豊橋市建設部建築課

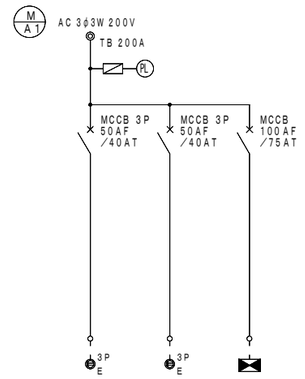
管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号

盤類結線図 ―

引込盤　引込開閉器盤（屋外壁埋込型、防水ＳＵＳ製　キー付）

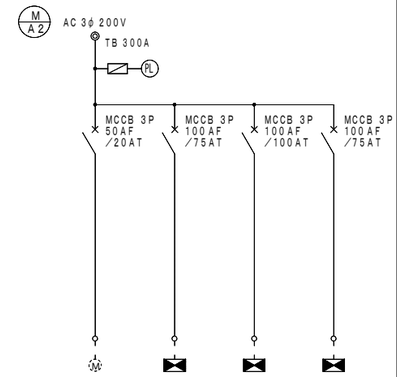


LM−1　１階南電灯・動力盤（屋外壁埋込形　防水ＳＵＳ製　キー付　）



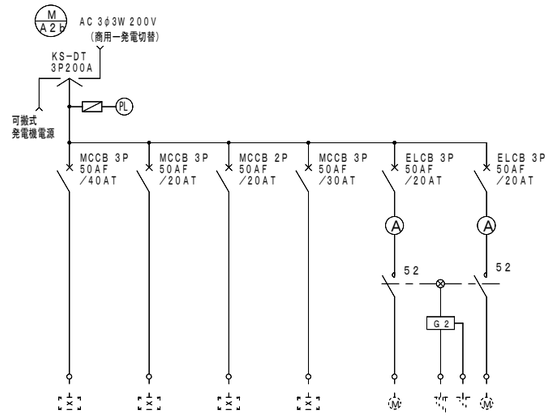
負荷記号	―	―	2M−1
負荷名称	高速トレッドミル	高速トレッドミル	2Ｆ空調盤−1
負荷容量(kW)	5.0	5.0	7.218
単位装置 始動方式	L	L	L
単位装置 操作・制御方式	―	―	―
単位装置 操作・制御スイッチ	―	―	―
連動	―	―	―
インターロック	―	―	―

M−1　１階動力盤（屋内壁付型）



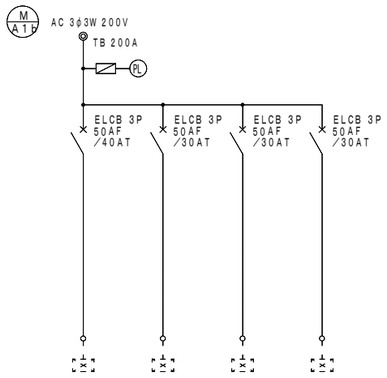
負荷記号	SS	2M−2	2M−3	M−2
負荷名称	シャッター	空調盤	空調盤	動力制御盤
負荷容量(kW)	0.4	6.462	8.085	
単位装置 始動方式	L	L	L	L
単位装置 操作・制御方式	―	―	―	―
単位装置 操作・制御スイッチ	―	―	―	―
連動	―	―	―	―
インターロック	―	―	―	―

M−2　１階機械室動力制御盤（屋内壁付型）



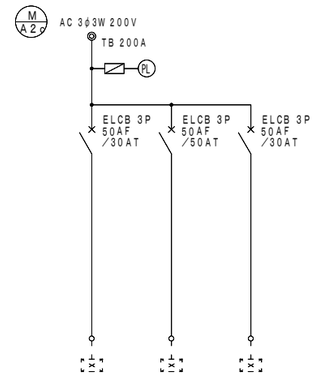
負荷記号	PWU−11	WF−11	WF−11	PDU−01	PD−01	PD−02
負荷名称	雑用水加圧給水ポンプユニット	雨水ろ過装置	雨水ろ過装置	汚水中継ポンプユニット	湧水排水ポンプ	湧水排水ポンプ
負荷容量(kW)	4.4	0.5	1φ200V 0.1	3.0	0.4	0.4
単位装置 始動方式	L	L	L	L	L	L
単位装置 操作・制御方式	―	―	―	―	9	
単位装置 操作・制御スイッチ	―	―	―	―	B−G2	B−G2
連動	―	―	―	―	―	―
インターロック	―	―	―	―	―	―

2M−1　２階空調盤（屋外防水ＳＵＳ製　壁付型）



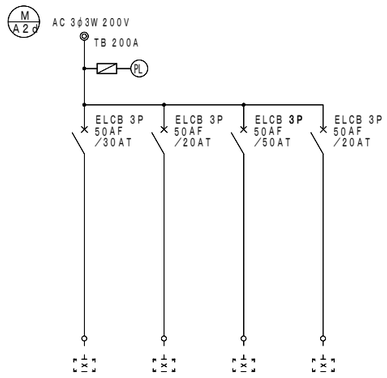
負荷記号	ACP−11	ACP−12	ACP−13	ACP−14
負荷名称	空調機 コンディショニング	空調機 コンディショニング	空調機 コンディショニング	フットバス
負荷容量(kW)	2.676	1.643	1.643	1.256
単位装置 始動方式	L	L	L	L
単位装置 操作・制御方式	―	―	―	―
単位装置 操作・制御スイッチ	―	―	―	―
連動	―	―	―	―
インターロック	―	―	―	―

2M−2　２階空調盤（屋外防水ＳＵＳ製　壁付型）



負荷記号	ACP−15	ACP−16	ACP−31
負荷名称	空調機 医務室	空調機 ストレッチ	空調機 放送室
負荷容量(kW)	0.82	4.432	1.21
単位装置 始動方式	L	L	L
単位装置 操作・制御方式	―	―	―
単位装置 操作・制御スイッチ	―	―	―
連動	―	―	―
インターロック	―	―	―

2M−3　２階空調盤（屋外防水ＳＵＳ製　壁付型）



負荷記号	ACP−17	ACP−18	ACP−19	ACP−32
負荷名称	空調機 車椅子	空調機 報道室	空調機 記録室	空調機 判定カメラ室
負荷容量(kW)	2.253	0.7	4.432	0.7
単位装置 始動方式	L	L	L	L
単位装置 操作・制御方式	―	―	―	―
単位装置 操作・制御スイッチ	―	―	―	―
連動	―	―	―	―
インターロック	―	―	―	―

単位装置の記号

(2)単位装置の記号

(イ)始動方式

記号	形式
L	直入
Y	人−△
C	コンドルファ
P	極数変換
R	リアクトル
A	電源送り(MCBのみ)、電流計付
T	タイトランス付電源送り
	(MCCB及び乾式トランス1φ200V又は200V/100V)

(ロ)操作・制御方式

記号	方式
1	手動
2−1 2−1a	手動−遠方
2−2 2−2a	試験−遠方
2−3	便所排気ファン
3	手動−自動
4−1 4−2	試験−自動
5	給水又は排水
6	警報付給水又は排水
7	消火ポンプ(遠方始動)
8	消火ポンプ(連動始動)
8−2	スプリンクラーポンプ
8−3	排煙ファン
9	複式自動交互運転
10	複式自動交互同時運転
11−1	手動交互運転(手動)
11−2	手動交互運転(試験−自動)
12	湯沸室排気ファン(電磁弁)
13−1	湯沸室排気ファン(ガス圧スイッチ)
13−2	湯沸室排気ファン(水圧スイッチ)
14−1	油ポンプ(単式)
14−2	油ポンプ(複式)
15−1	可変速運転(バイパス回路なし)
15−2	可変速運転(バイパス回路付き)

(ハ)操作・制御スイッチ

記号	名称
B	押しボタンスイッチ
I	連動スイッチ
T_1	タイムスイッチ
V	真空スイッチ
P	圧力スイッチ (ガス圧スイッチ、水圧スイッチ等)
T_h	温度スイッチ
H_u	湿度スイッチ
L_i	リミットスイッチ
L_e	レベルスイッチ
F_1	フロートスイッチ
F_2	フロートスイッチ(油用)
G_0	液面継電器 給水又は排水
G_1	液面継電器 空転防止又は高架水槽減水警報付き給水
G_2	液面継電器 満水警報付き排水
G_3	液面継電器 満減水警報付き給水又は排水
G_4	液面継電器 受水槽空転防止付き満減水警報及び高架水槽満減水警報付き給水
G_5	警報用
TD	外部信号(インバータ制御用)

陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事

平成 28年 2月　図面名称　盤類結線図　図番 E-05

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

縮尺 NS　代表者　検図　製図

豊橋市建設部建築課

管理建築士/中西兵衛
一級建築士登録第176475号

盤形式 | 電灯分電盤リスト | ―

注）1．盤内機器は全てＪＩＳ協約型とする。　2．1Ｐ：MCB1P 50AF／20AT　R：リモコン　2Ｐ：MCB2P 50AF／20AT　M：マグネット　ELB：ELB2P 50AF／20AT　3．(101)・(301)：１００Ｖ　(201)：２００Ｖ

LM－1

（屋外壁埋込形）（SUS製）（動力盤と共用）

消灯用中継盤

AC1φ3W 210／105V

(L A1)

MCCB3P 225AF ／125AT

Ta：22.5KVA

回路番号	1P	2P	ELCB	リモコン	用途		容量VA	備考
E1		○			照明	誘導灯	50	１００Ｖ
イ		○			コンセント	火災受信機	200	１００Ｖ
ロ		○			コンセント	警備保障盤	200	１００Ｖ
ハ		○			コンセント	トイレ呼出	200	１００Ｖ
D1		○			照明	非常用照明	45	１００Ｖ
201 R1		○		1	照明	コンディショニングルーム	540	
202 R3		○		3	照明	コンディショニングルーム	690	
203		○			照明	更衣室	170	
204 E			○		照明	更衣室	490	
205		○			ＲＴｒ	ＲＴ	－	伝送ユニット　－1 リレー端末　－2
206		○			スペース	ヨビ	－	
207		○			スペース	ヨビ	－	
208		○			スペース	ヨビ	－	
301		○			コンセント	受付	400	
302		○			コンセント	受付	200	
303 E			○		コンセント	運動器具	600	
304 E			○		コンセント	運動器具	1500	
305 E			○		コンセント	運動器具	1500	
306		○			コンセント	ヨビ	500	
307		○			コンセント	ヨビ	500	
308 E			○		コンセント	運動器具	1500	
309 E			○		コンセント	運動器具	1500	
310 E			○		コンセント	便所（男子）	1000	
311 E			○		コンセント	便所（男子）	420	
312 E			○		コンセント	便所（女子）	1000	
313		○			コンセント	コンディショニングルーム	600	
314 E			○		コンセント	更衣室	600	
315 E			○		コンセント	更衣室	1000	
316 E			○		コンセント	更衣室	1000	
317 E			○		コンセント	更衣室	1000	
318 E			○		コンセント	更衣室	1000	
319 E			○		コンセント	2階モニター	400	
320 E			○		コンセント	2階	100	
321 E			○		コンセント	フットバス	500	
322 E			○		コンセント	ＷＨＥ－1	1700	
323		○			スペース	ヨビ	－	
324		○			スペース	ヨビ	－	
325		○			スペース	ヨビ	－	
326		○			スペース	ヨビ	－	
327		○			スペース	ヨビ	－	
328		○			スペース	ヨビ	－	
F1 R1		○		1	換気	コンディショニングルーム	950	
101			○		照明		400	１００Ｖ

L－1

（屋内自立形）

消灯用中継盤

AC1φ3W 210／105V

(L A2)

Ta：23.6KVA

MCCB3P 225AF ／125AT

パワーステーション

パワーステーション

回路番号	1P	2P	ELCB	リモコン又はMg	用途		容量VA	備考
E1		○			照明	誘導灯	60	
D1		○			照明	非常用照明	135	
201		○			照明	器具倉庫	350	
202 ER2			○	2	照明	通路	360	
203		○			照明	ポンプ室	105	
204		○			照明	ヨビ	500	
205 R3		○		3	照明	ストレッチ	860	
206 ER1			○	1	照明	2階練習走路	350	
207 ER2			○	2	照明	3階スタンド	810	
208 E			○		照明	屋根投光器	1300	
209		○			照明	放送室	235	伝送ユニット　－1 リレー端末　－3
210		○			ＲＴｒ	ＲＴ	－	
ELCB 3P 50AF／40AT					(逆接続可能型)	パワーステーション	5.5kVA	太陽光発電
211		○			スペース	ヨビ	－	
212		○			スペース	ヨビ	－	
213		○			スペース	ヨビ	－	
214		○			スペース	ヨビ	－	
301		○			コンセント	医務室	1000	
302		○			コンセント	ストレッチ	400	
303		○			コンセント	ストレッチ	400	
304		○			コンセント	モニタ	400	
305 E			○		コンセント	一般便所（女子）	350	
306 E			○		コンセント	一般便所（男子）	910	
307 E			○		コンセント	一般便所（男子）	280	
308		○			コンセント	倉庫	200	
309		○			コンセント	電気室	200	
310		○			コンセント	Ｔ－1	100	
311 E			○		コンセント	車椅子観覧	500	
312 E			○		コンセント	湯沸	500	
313 E			○		コンセント	多目的便所	1100	
314 E			○		コンセント	多目的便所	900	
ELCB 3P 50AF／40AT					(逆接続可能型)	パワーステーション	5.5kVA	太陽光発電
315		○			コンセント	輪道	900	
316		○			コンセント	記録	600	
317		○			コンセント	記録	400	
318		○			コンセント	記録	400	
319 E			○		コンセント	2階モニタ	400	
320		○			コンセント	ヨビ	500	
321		○			コンセント	器具倉庫	200	
322		○			コンセント	太陽光表示装置	400	
323		○			コンセント	放送室ＡＭＰ	800	
324		○			コンセント	放送室	400	
325		○			コンセント	放送室	500	
326 E			○		コンセント	2階	100	
327		○			コンセント	写真カメラ室	600	
328		○			コンセント	写真判定機	1000	
329		○			スペース	ヨビ	－	
330		○			スペース	ヨビ	－	
331		○			スペース	ヨビ	－	
332		○			スペース	ヨビ	－	
333		○			スペース	ヨビ	－	
334		○			スペース	ヨビ	－	
F1		○			換気	ストレッチ	650	
F2		○			換気	車椅子観覧	400	
F3		○			換気	記録	850	
F4		○			換気	ポンプ室	200	
MCCB 3P 50AF／50AT								
系統・自立切替器								
MCCB 3P 50AF／50AT								
SL1		○			照明	ホール	965	特定負荷
SL2		○			照明	電気室	105	特定負荷
SL3		○			照明	通路	280	特定負荷
SL4		○			照明	一般便所	560	特定負荷
SL5		○			照明	練習走路	350	特定負荷
MCCB 3P 50AF／50AT								
電力切替ユニット								
MCCB 3P 50AF／40AT								
SC1		○			コンセント	記録	400	特定負荷
SC2		○			コンセント	記録	400	特定負荷
ELCB 3P 50AF／40AT					(逆接続可能型)	パワーステーション	5.5kVA	太陽光発電

陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事

平成 28年 2月

図面名称：電灯分電盤リスト

E-06

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

縮尺：NS　代表者　検図　製図

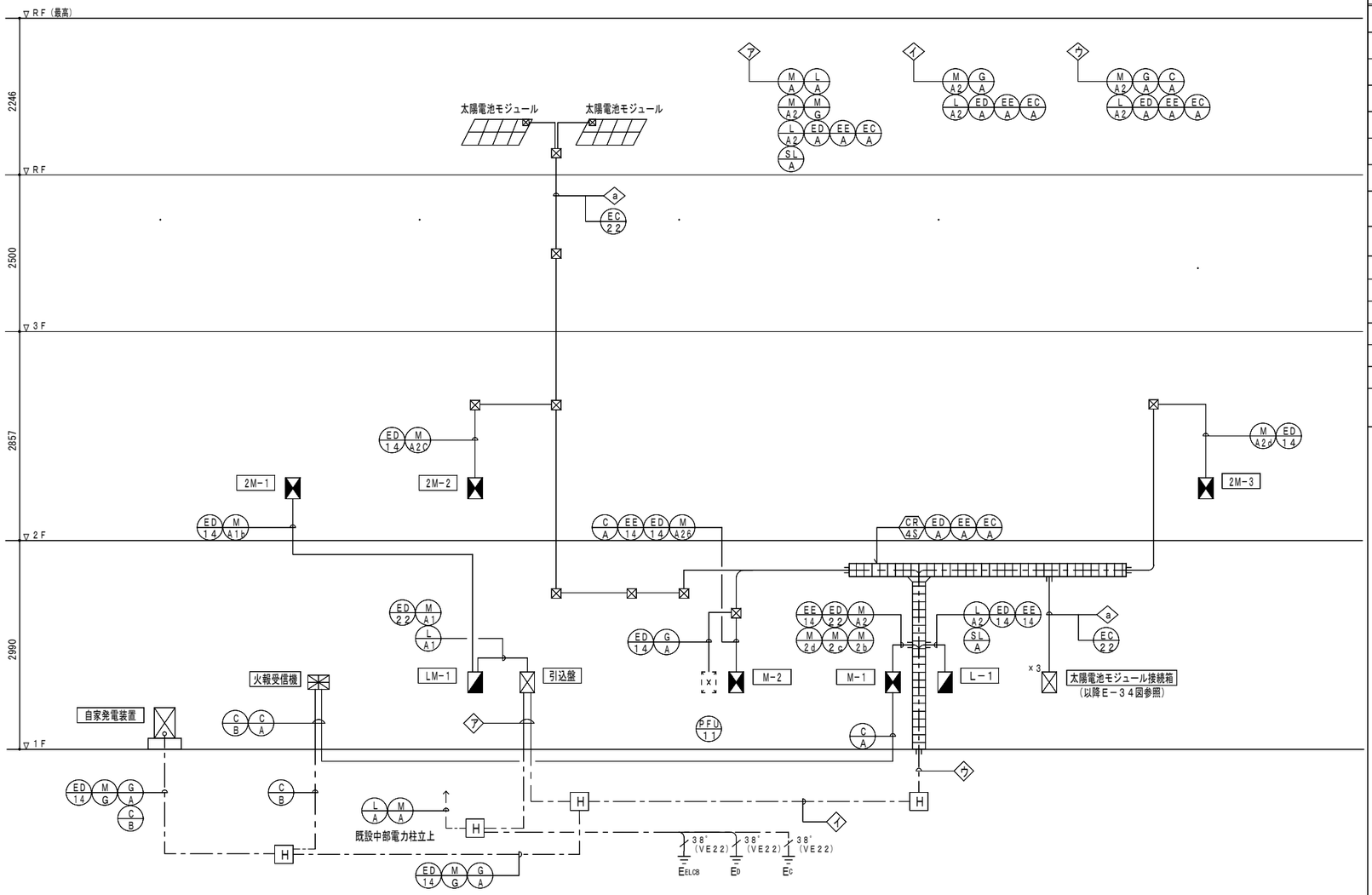
豊橋市建設部建築課

株式会社 大建設計

管理建築士／中西兵衛　一級建築士登録第176475号

幹線系統図 —

注）1. ▭ 防火区画貫通部耐火処理（国土交通省認定工法）とする。



端子盤リスト —

盤名称	盤形式	電話	情報（木板のみ）	拡声	テレビ		備考
T-1	イ	F-10/10-1	600×600	B-20/30-1	（A）		
T-2	ニ	－	400×400	B-40/50-2	－		

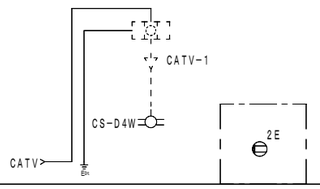
盤形式	
イ	屋内自立型
ロ	屋内自立型，上部配線ダクト付
ハ	屋内自立型，扉省略式（シャフト内）
ニ	屋内壁掛型
ホ	屋内壁掛型，上部配線ダクト付
ヘ	総合盤組込型（器体自火報工事）
ト	屋内壁掛型，上，下部配線ダクト付
チ	屋内壁掛型，上部ダクト（扉開閉式）付

テレビ共同受信機器図 —

注）1. ⊖2E ＝露出形コンセント 2P15AE×2（セパレータ樹脂製）

記号	名称	備考
▽	ブースター	CATV-1 40dB
⊣▽	1分岐器	CS-C1W
⊣	2分岐器	CS-C2W
⊸	2分配器	CS-D2W
⊸	4分配器	CS-D4W

（A）



2 配線リスト —

幹線記号	分岐	負荷	配線サイズ	管路 隠ぺい	露出	露出塗装	CR	地中	備考
3φ3W200V									
MA	構内中電引込柱	引込盤	EM-CET100 C			GPZ(82) GPZ(82)		FEP(80) FEP(80)	
MA1	引込盤	LM-1	EM-CET 22						
MA1a		LM-1	EM-IE22 ×3	盤内					開閉器分岐
MA1b	LM-1	2M-1	EM-CET 22	E(51)		GPZ(54)			開閉器分岐
MA2	引込盤	M-1	EM-CET100			GPZ(82)		GPZ(82)	
MA2a	引込盤	M-1	EM-IE14 ×3	盤内					開閉器分岐
MA2b	M-1	M-2	EM-CET 22	E(51)	E(51)				開閉器分岐
MA2c	M-1	2M-2	EM-CET 38	E(63)		GPZ(70)			開閉器分岐
MA2d	M-1	2M-3	EM-CET 38	E(63)		GPZ(70)			開閉器分岐
MG	引込盤	非常用発電装置	EM-CET 60					FEP(65)	
非常用発電機									
GA	非常用発電装置	消火栓ポンプPFU-1	EM-FPT22					FEP(65)	
1φ3W 200-100V									
LA	構内中電引込柱	引込盤	EM-CET150 C			GPZ(92) GPZ(92)		FEP(100) FEP(100)	
LA1	引込盤	LM-1	EM-CET100	G(82)				FEP(80)	開閉器分岐
LA2	引込盤	L-1	EM-CET100	G(82)				FEP(80)	開閉器分岐

幹線記号	分岐	負荷	配線サイズ	管路 隠ぺい	露出	露出塗装	CR	地中	備考
接地									
EA	接地極	引込盤	EM-IE38 ×3					FEP(50)	ED・EC・EELCB
EDA	引込盤		EM-IE38 ×1	HI(22)	HI(22)				D種接地母線
ED14	引込盤	各盤	EM-IE14 ×1	幹線配管に収容					母線分岐
ED22	引込盤	各盤	EM-IE22 ×1	幹線配管に収容					母線分岐
ECA	引込盤		EM-IE38 ×1	HI(22)	HI(22)				
EC22		太陽電池モジュール	EM-IE22 ×1	幹線配管に収容					母線分岐
EEA	引込盤		EM-IE38 ×1	HI(22)	HI(22)				
EE14	引込盤	各盤	EM-IE14 ×1	幹線配管に収容					母線分岐
太陽光発電									
8	太陽電池アレイ	接続箱	専用ケーブル 8 -1C×24	E(39)		GPZ(36)	○		
制御警報									
CA	火報受信機	M-1	EM-CPEE1.2-15P	E(39)	E(39)			FEP(40)	
CB	火報受信機	非常用発電装置	EM-CEE1.25 -4C					FEP(30)	
ケーブルラック									
CR4S	ZM-400B	セパレータ付	W400×H100						

陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事

平成 28年 2月 図面名称 幹線設備系統図 E-07

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

縮尺 NS 代表者 検図 製図

豊橋市建設部建築課

株式会社 大畠設計

管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号

注）1．図中特記なき配管配線サイズは下記による。
・幹　線　　幹線系統図参照
・動　力　　動力制御盤・負荷配線リスト参照

2．地中埋設配管深さ特記なきは、ＧＬ－１２００以上とする。
又、地中配線路には埋設標識シート（２倍長以上重合せ）を布設する。

3．ハンドホール寸法は別表による。

注）1.図中ハンドホール寸法は下記による。
- HB：６００×６００×９００（Ｒ２Ｋ－６０）
- HC：９００×９００×９００（Ｒ８Ｋ－６０）
- ■　：化粧用鉄蓋（別途建築工事）
- （Ｓ）：強弱電セパレータ付

鋼管ポール（８０φ～１１０φ－全長７m）
１φメーター盤（SUS製）SB2P20A×1

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

豊橋市建設部建築課

陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事

平成 28年 2月　E-08　図面名称：構内配電線路図（建設後）

縮尺：1:300(A1)　1:600(A3)　代表者　検図　製図

天雷設計
管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号

施　工　凡　例

記　号	名　　称	備　　考
×	既設機器 配管配線 等 撤去	
-------	既設配線又は機器	

注）1.図中ハンドホール寸法は下記による。

- H HA：450×450×900（R2K−45）
- H HB：600×600×900（R2K−60）
- H HC：900×900×900（R8K−60）

CV60°−3C（VE54）照明塔
CV38°−3C（VE42）照明塔
CV38°−3C（VE42）照明塔
CV38°−3C（VE42）照明塔
VVF2.0−2C（VE22）本部
VVF1.6−2C（VE22）殺虫灯
VVF1.6−3C（VE22）殺虫灯

CV60°−3C（VE54）照明塔
CV38°−3C（VE42）照明塔
CV38°−3C（VE42）照明塔
VVF2.0−2C（VE22）本部
VVF1.6−2C（VE22）殺虫灯
VVF1.6−3C（VE22）殺虫灯
VVF2.0−2C（VE22）スピーカ

CV60°−3C（VE54）照明塔
CV38°−3C（VE42）照明塔
VVF2.0−2C（VE22）スピーカ

CV60°−3C（VE54）照明塔
CV38°−3C（VE42）照明塔
VVF2.0−2C（VE22）本部
VVF2.0−2C（VE22）スピーカ

VVF2.0−2C（VE22）本部
VVF2.0−2C（VE22）スピーカ
CV22°−3C（FEP50）本部
CV5.5°−2C（FEP30）便所

CV22°−3C（FEP50）1C
EM−CET60°（FEP80）3C

CV5.5°−2C（FEP30）便所
EM−CET60°（FEP80）3C

CV5.5°−2C（FEP30）便所

仮設 ← 仮設後ハンドホールと配線のみ撤去
CVT60°（FEP65）
CVT38°（FEP50）
CV2°−2C（FEP30）

CV60°−3C（VE54）照明塔
VVF2.0−2C（VE22）スピーカ

CV60°−3C（VE54）照明塔
VVF2.0−2C（VE22）スピーカ

既設配線と接続

ケーブルのみ撤去
以降配管配線撤去

陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

平成 28年 2月　図面名称　構内配電線路図（建設前）

E-09

縮尺 1:300（A1）
1:600（A3）

代表者　検図　製図

豊橋市建設部建築課

管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号

施　工　凡　例

記　号	名　　称	備　　考
×	既設機器 配管配線 等 撤去	
- - - - -	既設配線又は機器	
⊂⊃	既設配管に接続	
——♦——	既設配管に入線替	
♦	既設機器、器具、撤去し更新	

注）1.図中記号は下記による。

：ホーンスピーカ 30W（既設鋼管ポール付）
コンクリート基礎 600×600×H1300

2.ハンドホール内配線接続は、合成樹脂製レジン注入形にて施工

3．幹線配管配線サイズは通信・情報設備系統図参照

4．スピーカ回路下記はタイマーデジタルアナウンス回路とする。

S11

注）1.図中ハンドホール寸法は下記による。

- HA：450×450×900（R2K−45）
- HB：600×600×900（R2K−60）
- HC：900×900×900（R8K−60）
- ■　：化粧用鉄蓋（別途建築工事）

（FEP50）×1競技用
（FEP80）×1競技用
EM−EEF2.0−2C×2（FEP30）スピーカ S10 S11

（FEP50）×1競技用
（FEP80）×1競技用
EM−EEF2.0−2C×2（FEP30）スピーカ S10 S11

既設配管に
EM−EEF2.0−2Cを入線

既設配管（FEP30）×2

（FEP80）×2競技用
EM−EEF2.0−2C×2（FEP30）スピーカ S11 S10

（FEP30）×2競技用
既設ハンドホール内スピーカ配線に接続
EM−EEF2.0−2C×2（FEP30）S10 S11

EM−EEF2.0−2C（FEP30）
EM−EEF2.0−2C×2（FEP30）S10

既設鋼管ポール再使用

電灯盤立上げ
（FEP80）×1競技用
強電と共用

既設ハンドホール内
スピーカ配線に接続
EM−EEF2.0−2C×2（FEP30）スピーカ S9 S11

既設配管にEM−EEF2.0−2Cを入線

EM−EEF2.0−2C（FEP30）S9

既設鋼管ポール再使用

既設便所

既設防災器材庫 9.516

陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事

平成 28年 2月

E-10

構内通信線路図（建設後）

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

縮尺 1:300(A1) 1:600(A3) 代表者

検図　製図

豊橋市建設部建築課

株式会社 天竜設計

管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号

施　工　凡　例

記　号	名　　称	備　　考
×	既設機器 配管配線 等 撤去	
◆	既設機器取外し移設再使用	鋼製ポールのみ

注）1.図中記号は下記による。

⋈ ：ホーンスピーカ（鋼管ポール付）
コンクリート基礎 600×600×H1300

ブルボックス寸法リスト

PB1	SS 100×100×100	

（W）＝防水形ステンレス製

注）1.図中ハンドホール寸法は下記による。

H HA ：450×450×900（R2K−45）

EM−KNPEE SB1.25°−15P
EM−KNPEE SB1.25°−1P （FEP30）
EM−CE8°−2C （FEP30）

EM−KNPEE SB1.25°−3P（FEP50）
EM−CE8°−2C （FEP30）

EM−KNPEE SB1.25°−15P （FEP50）
EM−KNPEE SB1.25°−1P
EM−KNPEE SB1.25°−3P （FEP50）
EM−CE8°−2C （FEP30）

VVF2.0−2C（PF16）地中埋設
（配線のみ撤去）

VVF2.0−2C（PF16）地中埋設

VVF2.0−2C（PF16）地中埋設
人工芝舗装

VVF2.0−2C（PF16）地中埋設

VVF2.0−2C（PF16）地中埋設

VVF2.0−2C（PF16）フェンスに露出
鋼製ポール
H=2.5撤去

VVF2.0−2C（FEP30）

VVF1.6−2C（FEP30）

VVF1.6−2C（PF16）フェンスに露出
既設便所
EM−AE0.9−3P（FEP30）インターホン
既設防災器材庫

EM−AE0.9−3P（FEP30）インターホン

配管切離箇所

既設配管切断

架空引込（スピーカ）

アウトレットボックス
四角中浅樹脂製

アウトレットボックス
四角中浅樹脂製

陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事

平成 28年 2月	図面名称	構内通信線路図（建設前）
E−11		

課　長	課長補佐	課長補佐	専門員	主　査	担　当

縮尺 1:300（A1） 1:600（A3）　代表者　検図　製図

豊橋市建設部建築課

天竜設計

管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号

機　器　凡　例		
記　号	名　　称	備　　考
	動力制御盤	
	電灯分電盤	
S	開閉器盤	仕様はリスト参照
	全熱交換機	1φ100V・別途冷暖房工事
	電動機	
	換気扇	1φ100V・別途冷暖房工事
S_{52}	手元開閉器盤　　MCCB 3P 50AF/－×2	
E^{3P}_{E}	壁付埋込コンセント　3P20AEx1・3φ250V	
	梁貫通 75φ	別途建築工事

プルボックス寸法リスト		
PB1	SS 100×100×100	
PB2	SS 200×200×200	
PB3	SS 300×300×200	
PB4	SS 400×400×400	
PB5	SS 500×500×400	
PB6	SS 600×600×400	
PB7	SS 700×700×500	

(W)＝防水形ステンレス製

注）1．図中特記なき配管配線サイズは下記による。

・幹　線　　幹線系統図参照

・動　力　　負荷配線リスト参照

——//——	EM－IE2.0×3 E2.0	(PF22)
- - -//- - -	EM－IE2.0×3 E2.0	(E25)露出配管

・空調室内機・換気

— - -//-	又は ——//——	EM－EEF2.0-2C	(PF22)・ころがし
- -//- -	又は ——//——	EM－IE2.0×2 E2.0	(E19)露出配管
- -//- -	又は ——//——	EM－IE2.0×3 E2.0	(E25)露出配管
- -/- -	又は ——//——	EM－IE2.0×2	(E19)露出配管
— -/\-	又は ——//——	EM－EEF2.0-3C	(PF22)・ころがし1線接地
— -//\-	又は ——//——	EM－EEF2.0-2C×2	(PF22)・ころがし1線接地
— -//\- 5.5	又は ——//—— 5.5	EM－EER5.5°－3C	(PF28)・ころがし1線接地

但し二重天井内はケーブルころがし配線とする。

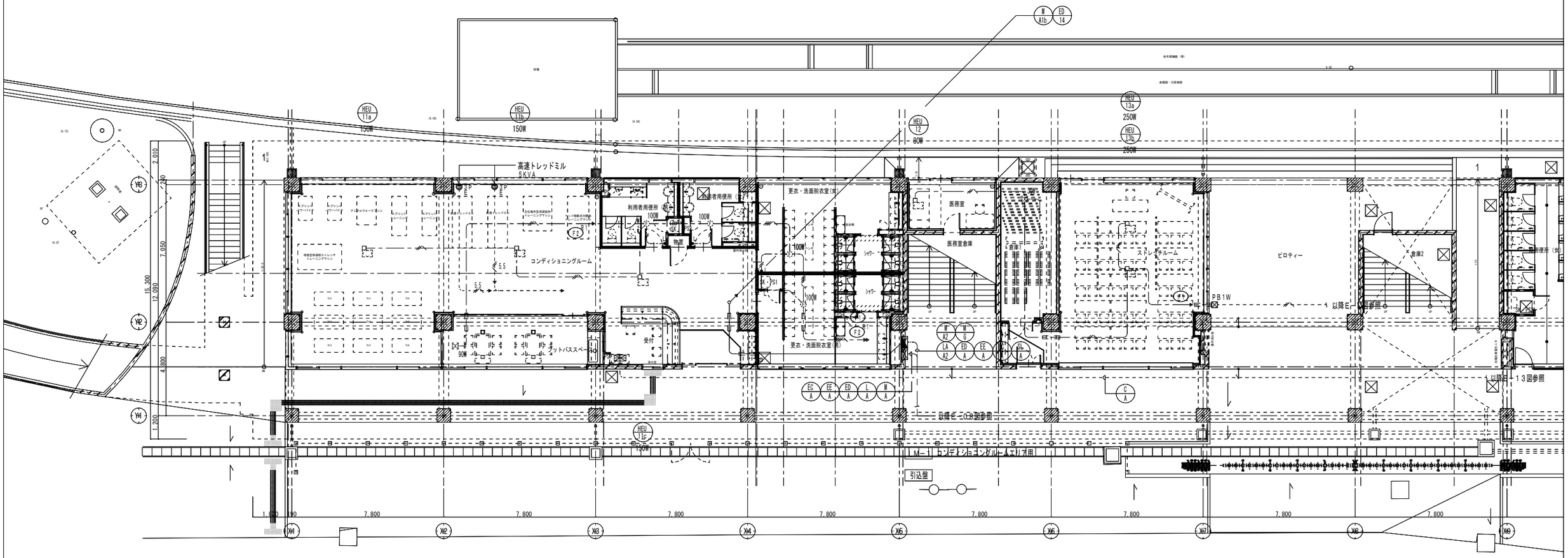
・太陽光発電　　太陽光発電設備システム系統図参照

2．回路符号は下記による。

(F1)・・・AC1φ100V 換気回路

3．★——　：防火区画貫通処理を示す。

4．アウトレットボックスは全て合成樹脂製とする。



課　長	課長補佐	課長補佐	専門員	主　査	担　当

豊橋市建設部建築課

陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事

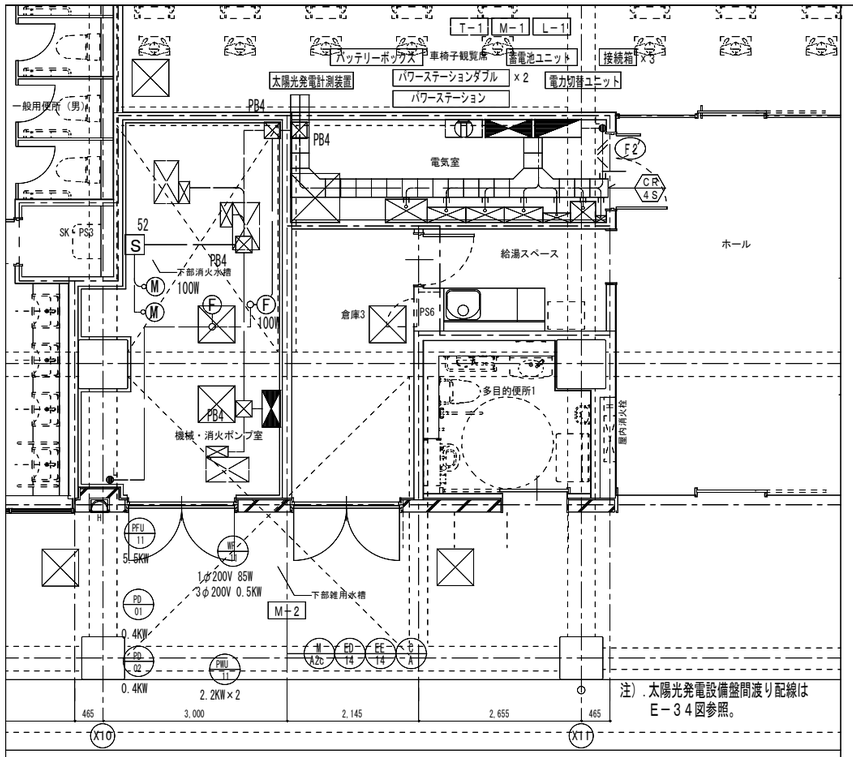
平成 28年 2月　図面名称　幹線・動力設備（換気）1階平面図（1）

E-12

縮尺　1:100(A1)　1:200(A3)　代表者　検図　製図

株式会社 天竜設計

管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号



機械・消火ポンプ室・電気室部分平面詳細図　　1/50

注）.太陽光発電設備盤間渡り配線は
E－３４図参照。

動力制御盤　負荷配線リスト

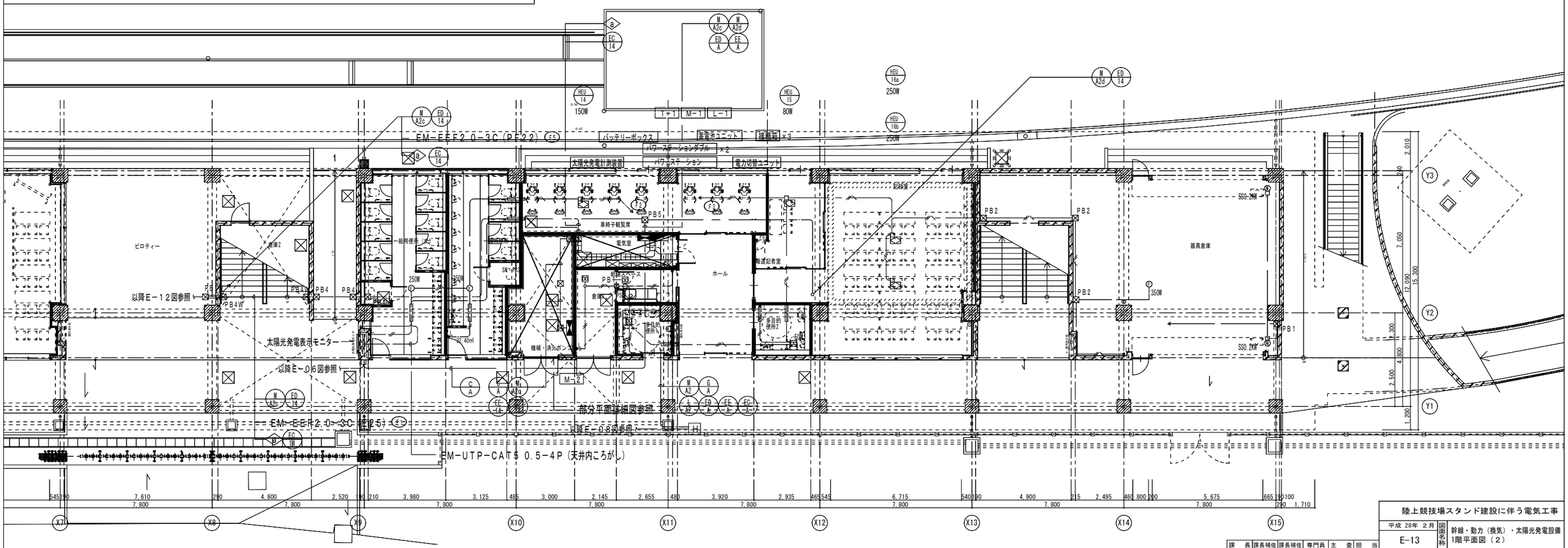
M－2

負荷記号	配線サイズ	管路 いんぺい	管路 露出	管路 屋外露出	CR	地中	備考
PWU-11	EM-CE5.5° -4C		E (31)		○		
	EM-CEE2° -4C		E (25)		○		
WF-11	EM-CE3.5° -4C		E (31)		○		3φ200V
	EM-CE3.5° -3C		E (25)		○		1φ200V
PD-01	EM-CE3.5° -4C		E (31)		○		
	EM-CEE2° -4C		E (25)		○		
PD-02	EM-CE3.5° -4C		E (31)		○		
	EM-CEE2° -4C		E (25)		○		
PDU-01	EM-CE5.5° -4C					FEP (30)	
	EM-CEE2° -6C					FEP (30)	

動力制御盤　負荷配線リスト

M－1

負荷記号	配線サイズ	管路 いんぺい	管路 露出	管路 屋外露出	CR	地中	備考
SS	EM-CE3.5° -4C	PF (28)	E (31)				2台



課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

豊橋市建設部建築課

陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事

平成 28年 2月

図面名称：幹線・動力（換気）・太陽光発電設備
1階平面図（２）

図番：E-13

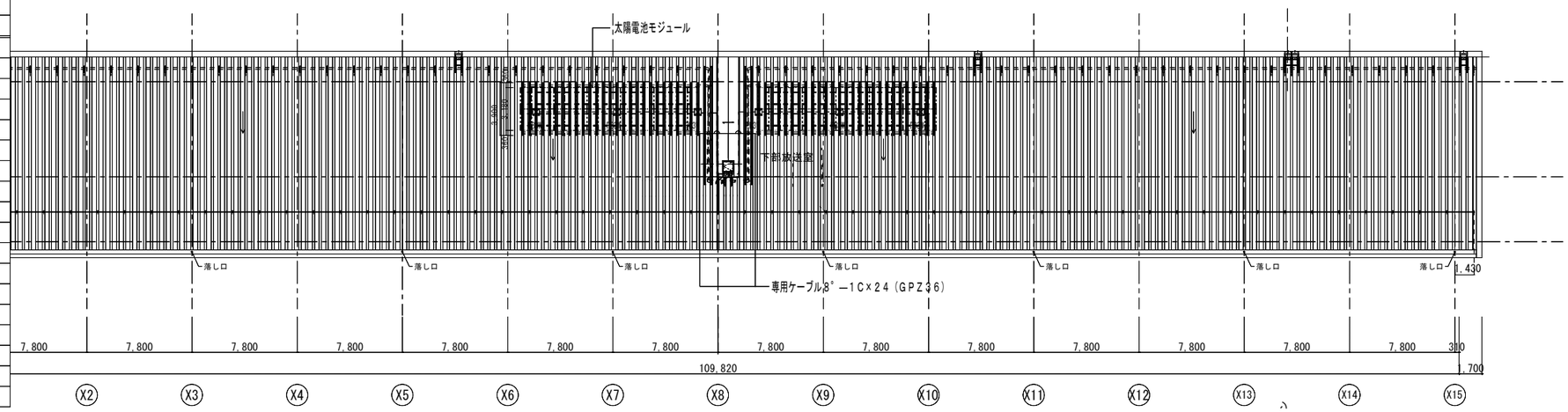
縮尺：1:100(A1)　1:200(A3)

代表者　検図　製図

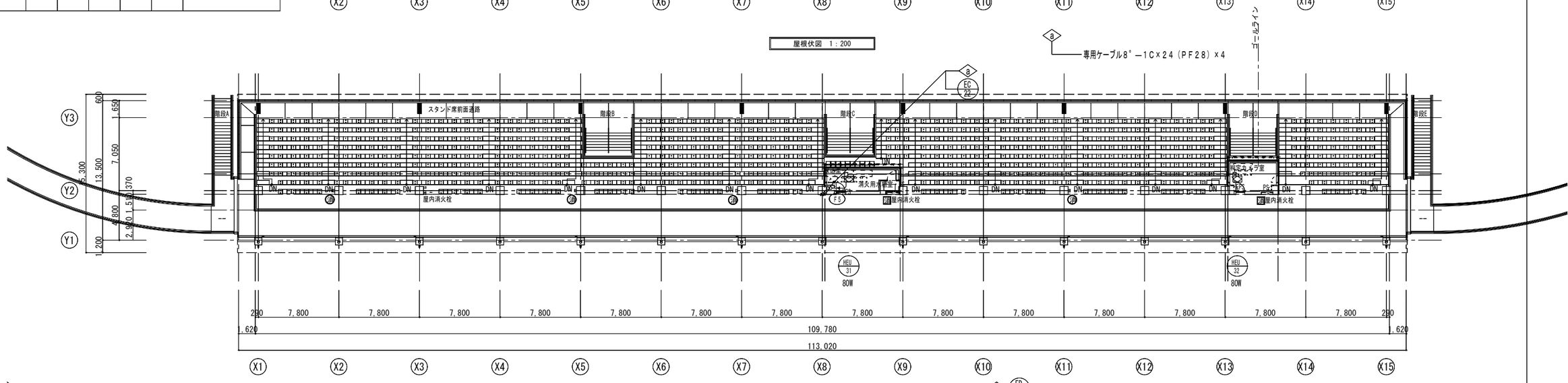
管理建築士/中西兵衛
一級建築士登録第176475号

動力制御盤　負荷配線リスト

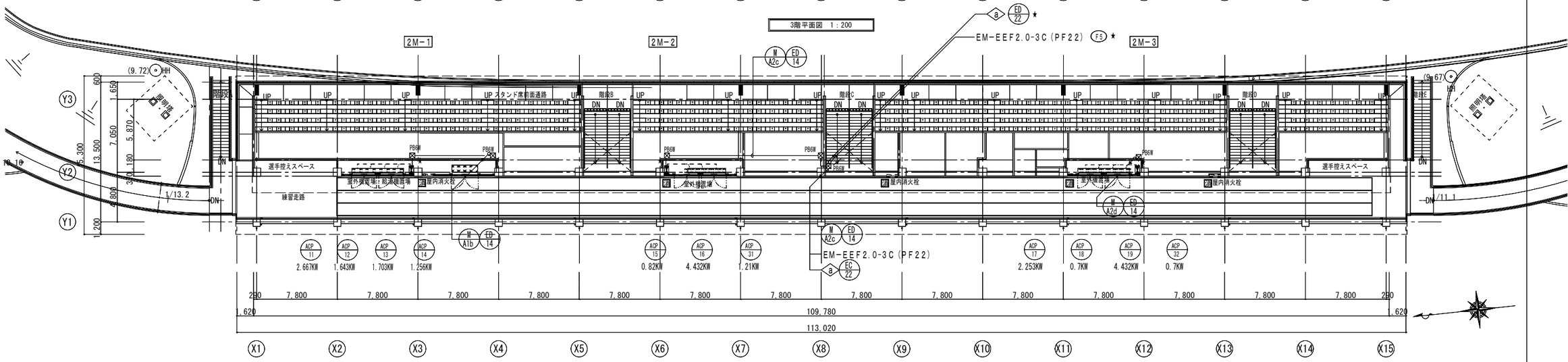
負荷記号	配線サイズ	管路 いんぺい	露出	屋外露出	CR	地中	備考
2M-1							
ACP-11	EM-CE8° -3C E5.5°			GPZ (36)			
ACP-12	EM-CE5.5° -4C			GPZ (28)			
ACP-13	EM-CE5.5° -4C			GPZ (28)			
ACP-14	EM-CE5.5° -4C			GPZ (28)			
2M-2							
ACP-15	EM-CE5.5° -4C			GPZ (28)			
ACP-16	EM-CE14° -3C E5.5°			GPZ (36)			
ACP-31	EM-CE5.5° -4C			GPZ (28)			
2M-3							
ACP-17	EM-CE8° -3C E5.5°			GPZ (36)			
ACP-18	EM-CE5.5° -4C			GPZ (28)			
ACP-19	EM-CE14° -3C E5.5°			GPZ (36)			
ACP-32	EM-CE3.5° -4C			GPZ (28)			



屋根伏図　1：200



3階平面図　1：200



2階平面図　1：200

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

豊橋市建設部建築課

陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事

平成 28年 2月

図面名称：幹線・動力・太陽光発電設備 2階・3階平面図・屋根伏図

図番：E-14

縮尺：1:200(A1) 1:400(A3)

代表者　検図　製図

株式会社 大建設計
管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号

機　器　凡　例

記　号	名　　称	備　　考
	電灯分電盤	
	動力制御盤	
コンセント		
⊖2E	壁付埋込コンセント　2P15AE×2	
⊖EET	壁付埋込コンセント　2P15AE，ETx1	
⊖2EET	壁付埋込コンセント　2P15AE，ETx2	4ケ用プレート
⊖E	壁付埋込コンセント　2P15AEx1	
⊖20E	壁付埋込コンセント　2P20AEx1	
⊖E	壁付埋込コンセント　2P15AEx1・250V	
⊖WP	防水型壁付コンセント　2P15AE，ETx1	
⊖2E	露出型コンセント　2P15AEx2	
⊘2C	二重床内ケーブル用ジョイントボックス　電源x1 分岐x2	OAタップ（2P15AE・LKx4）x1
⊘2C	二重床内ケーブル用ジョイントボックス　電源x1 分岐x2	特定負荷回路
□V	映像信号用アウトレット	角カバープレート付
□C	将来コンセント用　ブランクプレート	
□S	自動洗浄センサー用アウトレット	
	梁貫通　75φ	別途建築工事
（口）付記	露出配管を示す	
（露出）付記	露出ボックスE25-1方出を示す	塗装有

注）1．図中特記なき配管配線サイズは下記による。

・コンセント

——又は- - - -	EM－IE2.0×2　E2.0	（PF16）打込配管
- - -//- - -	EM－IE2.0×4　E2.0	（PF22）打込配管
- - -//6- - -	EM－IE2.0×6　E2.0	（PF22）打込配管
—— － ——	EM－EEF2.0－3C	（PF22）ころがし1線接地
—— - - ——	EM－EEF2.0－3C	（OA床内）ころがし

・競技用空配管

- - -e- - -（E25）	—e—	（E25）露出配管
- - -e- - -（E31）	—e—	（E31）露出配管
——e——（PF22）	—e—	（PF22）天井内いんぺい
——e——（PF28）	—e—	（PF28）天井内いんぺい

但し二重天井内はケーブルころがし配線とする。

2．回路符号は下記とする。

(301)・・・AC1φ100V

(SC1)・・・AC1φ100V 特定負荷回路

E ＝ ELCB回路

3．*—— ：防火区画貫通処理とする。

4．アウトレットボックスは全て合成樹脂製とする。

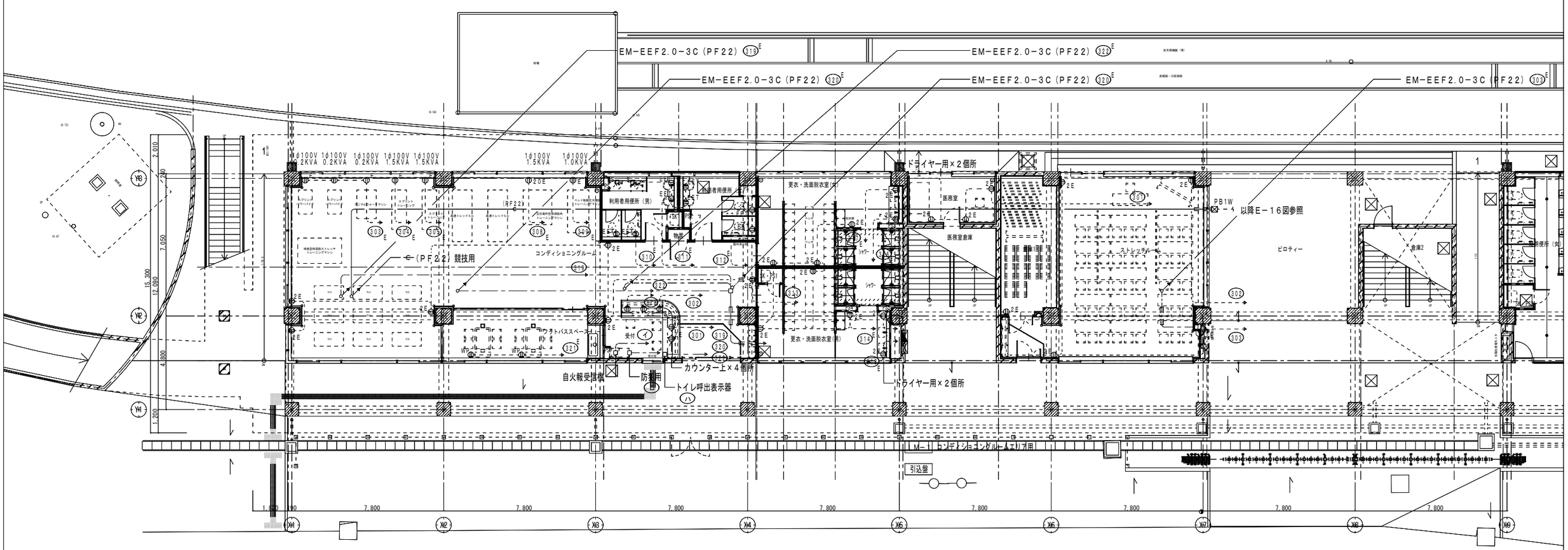
5．(- － -) 破線（細線）は別途工事を示す。

6．ピロティ部の露出配管及びプルボックスは塗装すること。

プルボックス寸法リスト

PB1	SS 100×100×100	
PB2	SS 200×200×200	
PB6	SS 600×600×400	

（W）＝防水形ステンレス製
（K）＝幹線・動力設備と兼用



課　長	課長補佐	課長補佐	専門員	主　査	担　当

豊橋市建設部建築課

陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事

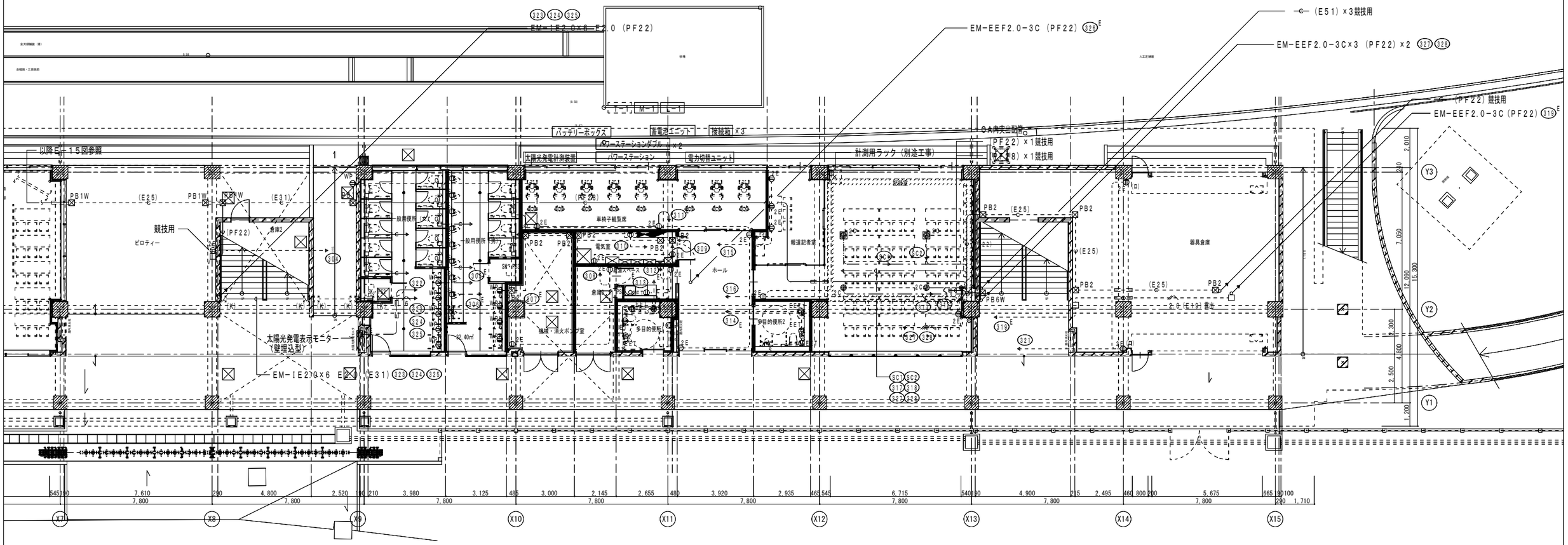
平成 28年 2月　図面名称　コンセント・競技用空配管設備 1階平面図（1）

図番 E-15

縮尺 1:100（A1） 1:200（A3）　代表者　検図　製図

株式会社 天竜設計

管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号



陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

平成 28年 2月

図面名称：コンセント・競技用空配管設備 1階平面図（2）

E-16

縮尺：1:100(A1) 1:200(A3)

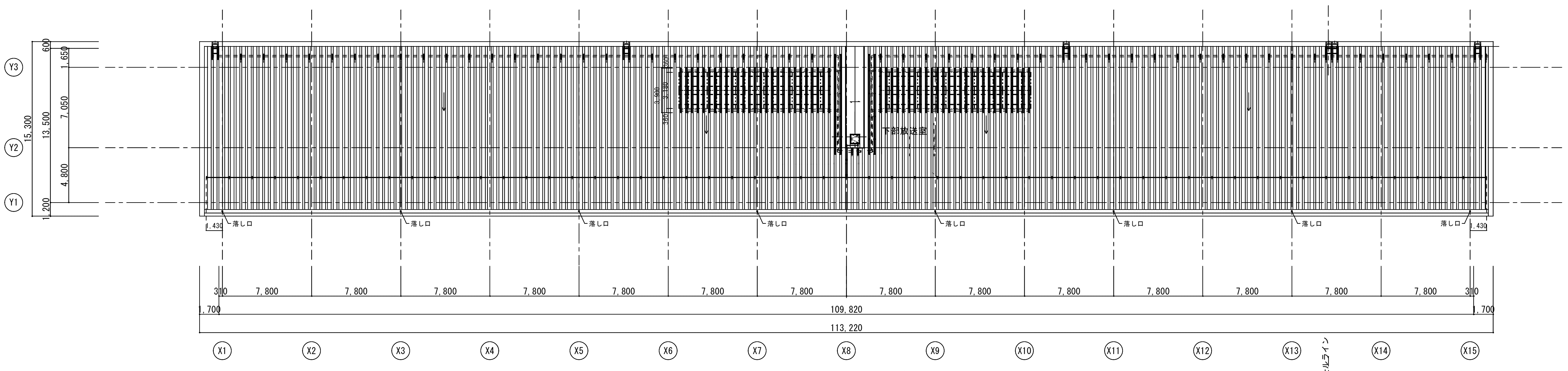
代表者

検図

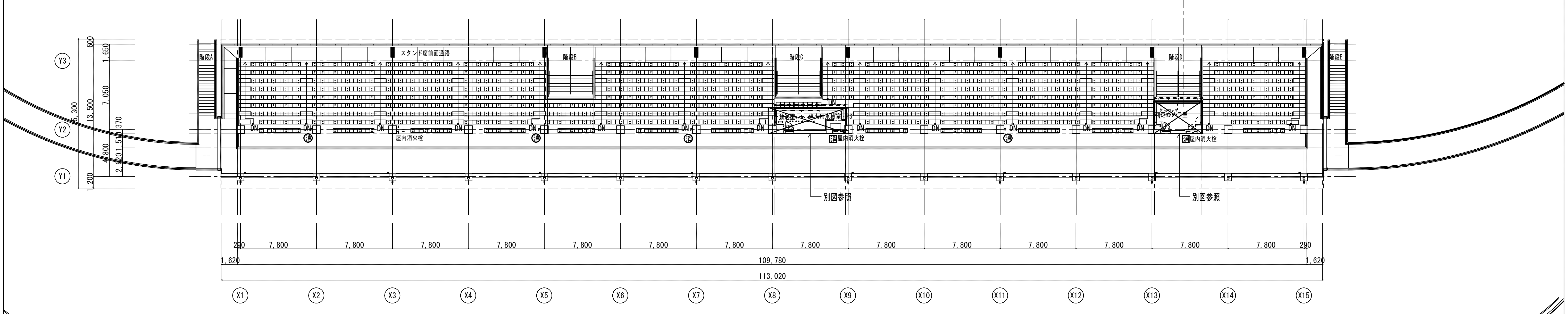
製図

豊橋市建設部建築課

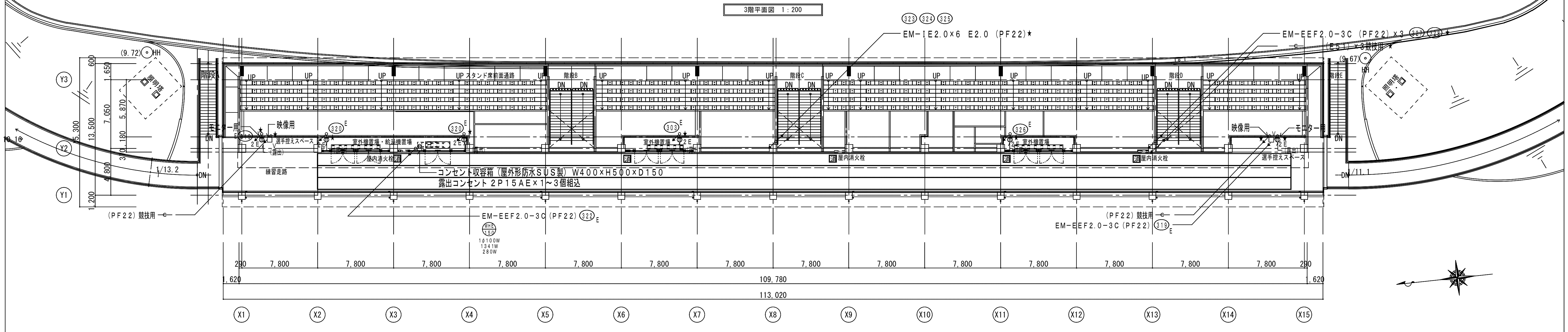
管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号



屋根伏図 1：200



3階平面図 1：200



2階平面図 1：200

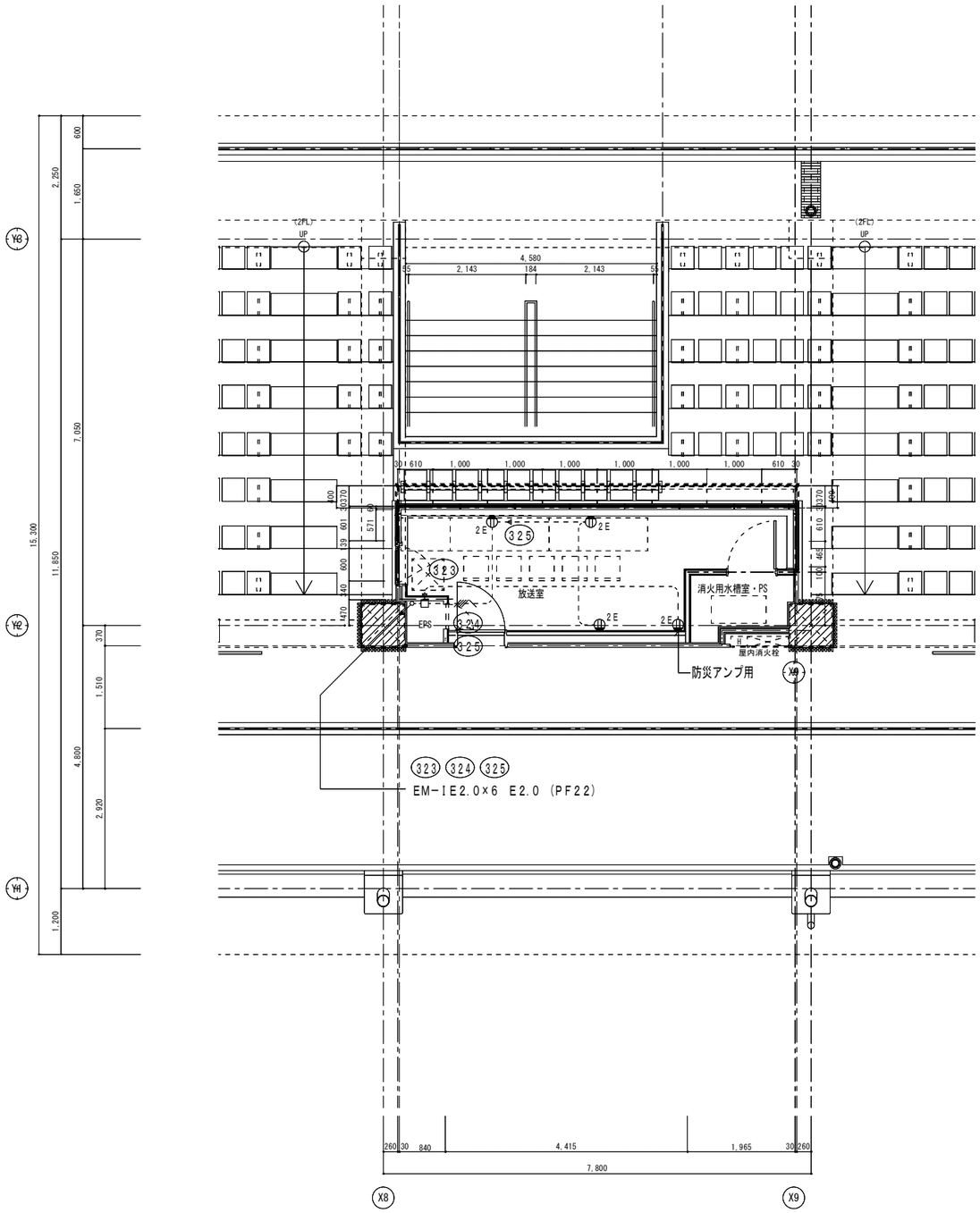
陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事		
平成 28年 2月	図面名称	コンセント・競技用空配管設備 2階・3階平面図・屋根伏図
E-17		
縮尺 1:200 (A1) 1:400 (A3)	代表者	検図 / 製図

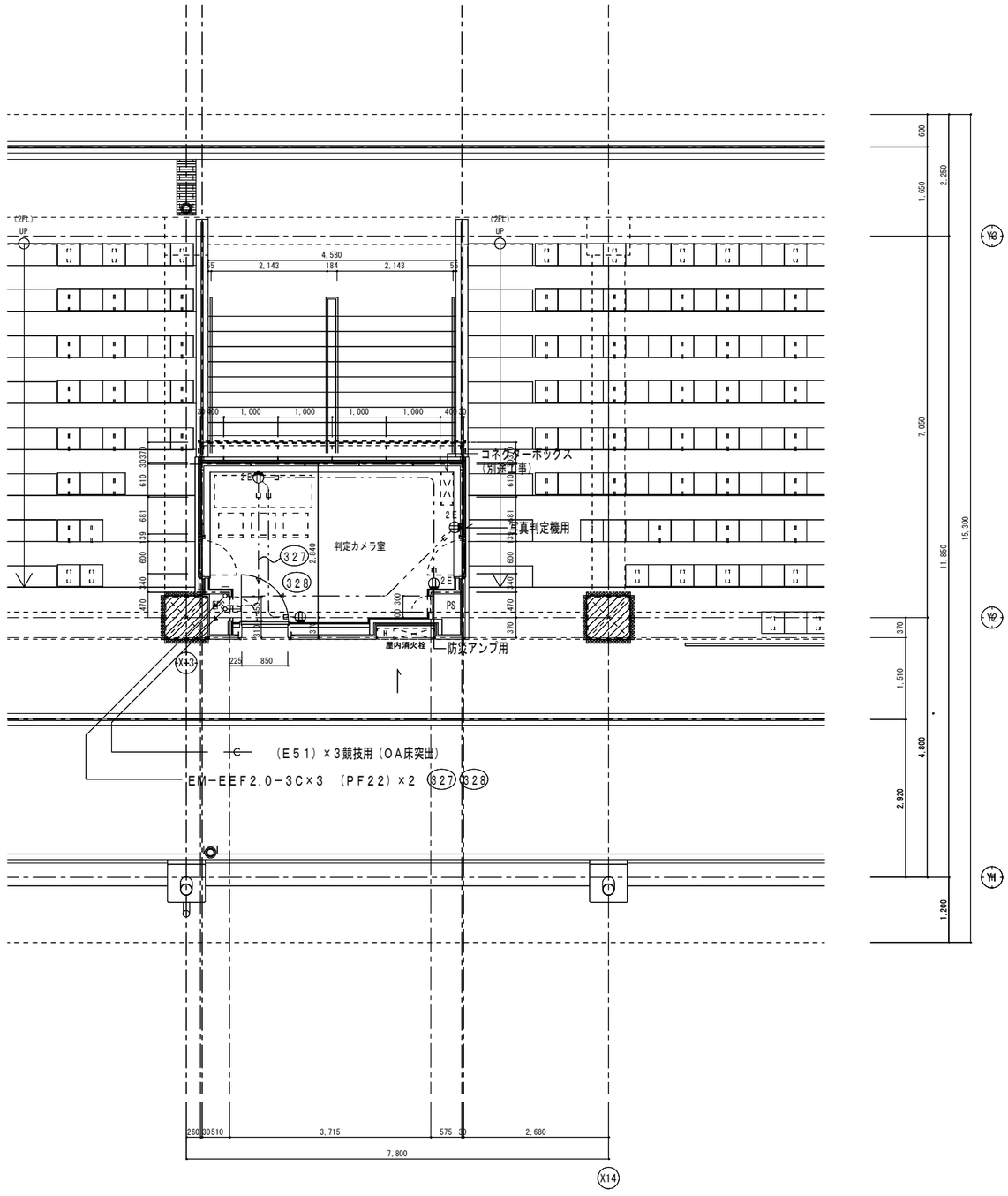
課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

豊橋市建設部建築課

株式会社 大建設計

管理建築士/中西兵衛
一級建築士登録第176475号





課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

豊橋市建設部建築課

陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事

平成 28年 2月

図面名称: コンセント・競技用空配管設備 3階平面詳細図

E-18

縮尺: 1:50(A1) 1:100(A3)

代表者

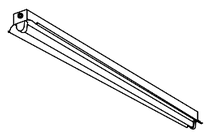
検図

製図

株式会社 天建設計
管理建築士/中西兵衛
一級建築士登録第176475号

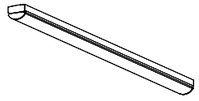
照明器具姿図	—	注）.姿図・型番は参考とする。

A 直管形LEDベースライト 反射笠



A26	LDL40x1	東芝 LET-41107NK-LD9								

B LEDベースライト トラフ



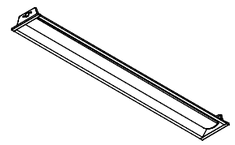
B33.3	LED33.3W(昼白色)	東芝 LEKT407521N-LS9								
B33.3G	LED33.3W(昼白色)	東芝 LEKT407521N-LS9								
		+FBG-41000								
B6.2	LED6.0W(昼白色)	東芝 LEKT207081N-LD9								

C LEDベースライト 直付形 防湿・防雨形



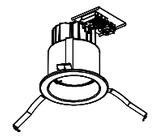
C44.5	LED44.5W(昼白色)	東芝 LEKTM407691N-LS9								

D LEDベースライト 埋込形下面開放



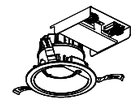
D44.5	LED44.5W(昼白色)	東芝 LEKR415692N-LS9								
D25.5	LED25.5W(昼白色)	東芝 LEKR415402N-LS9								
D20.3	LED20.3W(昼白色)	東芝 LEKR415322N-LS9								

E LEDダウンライト



E18.2	LED18.2W(昼白色)	東芝 LEDD-16002M-LD9								
		LEDF/18N-W20GH5070								
E13.8	LED13.8W(昼白色)	東芝 LEDD-16002M-LD9								
		LEDF/14N-W16GH5070								
E9.8	LED9.8W(昼白色)	東芝 LEDD-16002M-LD9								
		LEDF/10N-W11GH5070								

F 人感センサー内蔵形LEDダウンライト



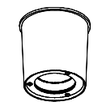
F14.1	LED14.1W	東芝 LEDD-16001WY-LD9								
		LEDF14N-W16GH5070P								
F10.1	LED10.1W	東芝 LEDD-16001WY-LD9								
		LEDF10N-W11GH5070P								

G 軒下用LEDダウンライト



G13.8W	LED13.8W(温白色)	東芝 LEDD-16001N-LD9								
		LEDF14NW-W14GH3585								

H LED直付軒下シーリングダウンライト 防雨形



H18.2	LED18.2W	東芝 LEDG-16901(K)-LD9								
		LECF/18N-W20GH5070								
H13.8	LED13.8W	東芝 LEDG-16901(K)-LD9								
		LECF/14N-W16GH5070								

I LEDブラケット（防湿・防雨形 全面アクリル）



I17	LED20.5W(昼白色)	東芝 LET-41881-LS9+00-4105								
		LDL40T・N/17/25								
I10	LED10.0W(昼白色)	東芝 LEDB-20921YWK-LD1								
		※人感センサ付き								

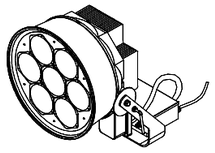
J LED小形丸形投光器 防雨形 耐塩形



※ビス・ボルト等の金具は、ＳＵＳ製とする。

J25	LED25W(昼白色)	東芝 LEDS-02801NM-LS9改								

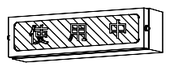
K LED投光器 防雨形 重耐塩形



※電源ボックスは、ＳＵＳ製+塗装。

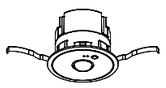
K594	LED594W(昼白色)	東芝 LEDS-50406NN-LJ2								

L LED表示灯



L10	LED5W	東芝 LMT-11917-LS+SN100								

a LED非常灯 埋込形 低天井用13形



保守率:0.86 LED

配置表（保守率、光束換算係数を含む）

取付高さ		2.1	2.4	2.6	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	6.0	7.0
単体配置	A1	4.3	4.7	4.8	5.0	3.0	－	－	－	－	－
	A'1	4.3	4.7	4.8	5.0	3.0	－	－	－	－	－
	B1	4.3	4.7	4.8	5.0	3.0	－	－	－	－	－
	B'1	4.3	4.7	4.8	5.0	3.0	－	－	－	－	－
直線配置	A2	9.2	10.2	10.8	12.0	13.0	13.8	13.6	7.8	－	－
	B2	9.2	10.2	10.8	12.0	13.0	13.8	13.6	7.8	－	－
四角配置	A4	7.1	7.9	8.4	9.5	10.6	11.7	12.6	7.8	－	－
	B4	7.1	7.9	8.4	9.5	10.6	11.7	12.6	7.8	－	－

a1d	LED1.0W	東芝 LEDEM13221								

a LED非常灯 直付形 低天井用13形



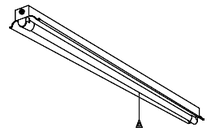
保守率:0.86 LED

配置表（保守率、光束換算係数を含む）

取付高さ		2.1	2.4	2.6	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	6.0	7.0
単体配置	A1	4.3	4.7	4.8	5.0	3.0	－	－	－	－	－
	A'1	4.3	4.7	4.8	5.0	3.0	－	－	－	－	－
	B1	4.3	4.7	4.8	5.0	3.0	－	－	－	－	－
	B'1	4.3	4.7	4.8	5.0	3.0	－	－	－	－	－
直線配置	A2	9.2	10.2	10.8	12.0	13.0	13.8	13.6	7.8	－	－
	B2	9.2	10.2	10.8	12.0	13.0	13.8	13.6	7.8	－	－
四角配置	A4	7.1	7.9	8.4	9.5	10.6	11.7	12.6	7.8	－	－
	B4	7.1	7.9	8.4	9.5	10.6	11.7	12.6	7.8	－	－

a2d	LED1.0W	東芝 LEDEM13821								

a LED非常灯 直付形 反射笠付 非常時45%点灯



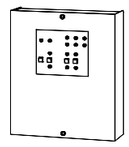
保守率:0.86 LDL40S・N /29/38-G

配置表（保守率、光束換算係数を含む）

取付高さ		2.1	2.4	2.6	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	6.0	7.0
単体配置	A1	5.7	6.0	6.1	6.4	6.7	7.0	7.1	7.3	7.5	7.5
	A'1	5.7	6.0	6.1	6.4	6.7	7.0	7.1	7.3	7.5	7.5
	B1	4.6	4.9	5.1	5.3	5.7	5.9	6.1	6.3	6.5	6.6
	B'1	4.6	4.9	5.1	5.3	5.7	5.9	6.1	6.3	6.5	6.6
直線配置	A2	13.8	14.4	15.0	15.8	16.6	17.4	18.0	18.6	19.6	20.2
	B2	11.4	12.0	12.4	13.2	14.0	14.8	15.4	16.0	17.0	17.8
四角配置	A4	12.7	13.3	13.8	14.5	15.3	15.9	16.6	17.1	18.1	18.9
	B4	10.4	11.0	11.3	11.9	12.7	13.4	14.0	14.6	15.6	16.5

a3d	LDL40×1	東芝 LEDTS-41107K-LS9								

誘導灯用信号装置（消灯用）



電源電圧	ＡＣ１００Ｖ
機能	火災信号より誘導灯（消灯時）を点灯

b LED避難口誘導灯（壁・天井直付形）B級BH形 片面



b1d	LEDモジュール×1	東芝 FBK-20601N-LS17								

c LED通路誘導灯（壁・天井直付形）B級BL形 片面



c1d	LEDモジュール×1	東芝 FBK-20601N-LS17								

d LED通路誘導灯（壁・天井直付形）B級BL形 両面



d1d	LEDモジュール×2									

fa LED避難口誘導灯（防雨型）B級BH形 （壁付）



fa1dw	LEDモジュール×1									

fb LED避難口誘導灯（防雨型）B級BH形 （天井付）



fb1dw	LEDモジュール×1									

fc LED矢印付避難口誘導灯（防雨型）B級BH形



fc1dw	LEDモジュール×1									

g LED通路誘導灯（壁付）（防雨型）B級BL形



g1dw	LEDモジュール×1									

陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事

平成 28年 2月

図面名称：照明器具姿図

図面番号：E-19

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

縮尺：NS　代表者　検図　製図

豊橋市建設部建築課

天竜設計

管理建築士/中西兵衛
一級建築士登録第176475号

注）1．図中特記なき配管配線サイズは下記による。

———	EM−EEF1.6−3C	（PF22）打込配管
——//———	EM−EEF1.6−2C	（PF22）打込配管
——///———	EM−EEF1.6−3C	（PF22）打込配管
——4———	EM−IE1.6×4　E1.6	（PF22）打込配管
——6———	EM−IE1.6×6　E1.6	（PF22）打込配管
——8———	EM−IE1.6×8　E1.6	（PF22）打込配管
——10———	EM−IE1.6×10　E1.6	（PF28）打込配管
—— − ——	EM−EEF1.6−3C	（PF22）1線接地
—— − //———	EM−EEF1.6−2C	（PF22）
—— − ///———	EM−EEF1.6−3C	（PF22）
—— − //———	EM−EEF1.6−2C×2	（PF22）
—— − ///———	EM−EEF1.6−2C+3C	（PF22）
—— − 9———	EM−EEF1.6−3C×3	（PF22×2）
—— − 12———	EM−EEF1.6−3C×4	（PF22×2）
—— − ^———	EM−EEF1.6−2C+3C×3	（PF22×4）1線接地
—— − 4———	EM−EEF1.6−2C+3C	（PF22）1線接地
—— − 6———	EM−EEF1.6−2C×2+3C	（PF22）1線接地
—— − 8———	EM−EEF1.6−3C×3	（PF22×2）1線接地
—— − 10———	EM−EEF1.6−2C+3C×3	（PF22×4）1線接地
—— − 16———	EM−EEF1.6−2C+3C×5	（PF22×6）1線接地
—— − ^———	EM−EEF2.0−3C	（PF22）1線接地
—— − 2.6———	EM−EEF2.6−3C	（PF28）1線接地
—— − R———	EM−AE1.2−2P	（PF16）
—— − S———	EM−AE1.2−2P	（PF16）

——— ———	EM−IE1.6×2　E1.6	（E19）露出配管
——//———	EM−IE1.6×3　E1.6	（E19）露出配管
——///———	EM−IE1.6×4　E1.6	（E25）露出配管
——6———	EM−IE1.6×6　E1.6	（E25）露出配管
——//———	EM−IE1.6×2	（E19）露出配管
——//———	EM−IE1.6×3	（E19）露出配管
——//———	EM−IE2.0×2　E2.0	（E19）露出配管
——///———	EM−IE2.0×4　E2.0	（E25）露出配管
——//———	EM−IE1.6×2　E1.6	（MM2）40×30

但し二重天井内はケーブルころがし配線とする。

2．回路符号は下記とする。

(107)・・・AC1φ100V
(207)・・・AC1φ200V
(SL7)・・・AC1φ200V特定負荷回路

E＝ELCB
R＝リモコン回路

3．分電盤より第１電源ボックス迄は、２.０mm配線に読み替える。

4．——— 部はＰＦ管にて配線保護する。

5．アウトレットボックスは全て合成樹脂製とする。

6．＃ｎはリモコンスイッチ回路番号を示す。

7．ピロティ部の露出配管・レースウエイ及びプルボックスは塗装すること。

機　器　凡　例

記号	名称	備考
	電灯分電盤	
	熱線センサー付自動スイッチ　親器	明るさセンサー付
	熱線センサー付自動スイッチ　子器	
	埋込壁付スイッチ１Ｐ１５Ａ×１	位置表示灯付、ネーム付
3	埋込壁付スイッチ　　３Ｗ１５Ａ×１	位置表示灯付、ネーム付
AR	熱線センサー用切替スイッチ	（切ー自動ー入）
n	リモコンセレクタースイッチ	
	梁貫通　７５φ（別途建築工事）	
	特定負荷回路照明器具	
	防火区画貫通処理を示す。	
	２Ｆ・ＰＣ床上打込	

プルボックス寸法リスト

PB2	SS 200×200×200	

（W）＝防水形ステンレス製
（K）＝幹線・動力設備と兼用

コンディショニングルーム	
D44.5	15
E13.8	22

フットバススペース	
C44.5	3

利用者用便所（男）	
F10.1	3
E13.8	3
E9.8	2

受付	
D44.5	2

利用者用便所（女）	
F10.1	2
E13.8	2
E9.8	2

共同SK・PS	
F10.1	1

更衣室・洗面脱衣室(女)	
D44.5	5
E9.8	2

更衣室・洗面脱衣室(男)	
D44.5	4
E13.8	2
E9.8	2

階段	
H13.8	2

医務室	
D22.5	2

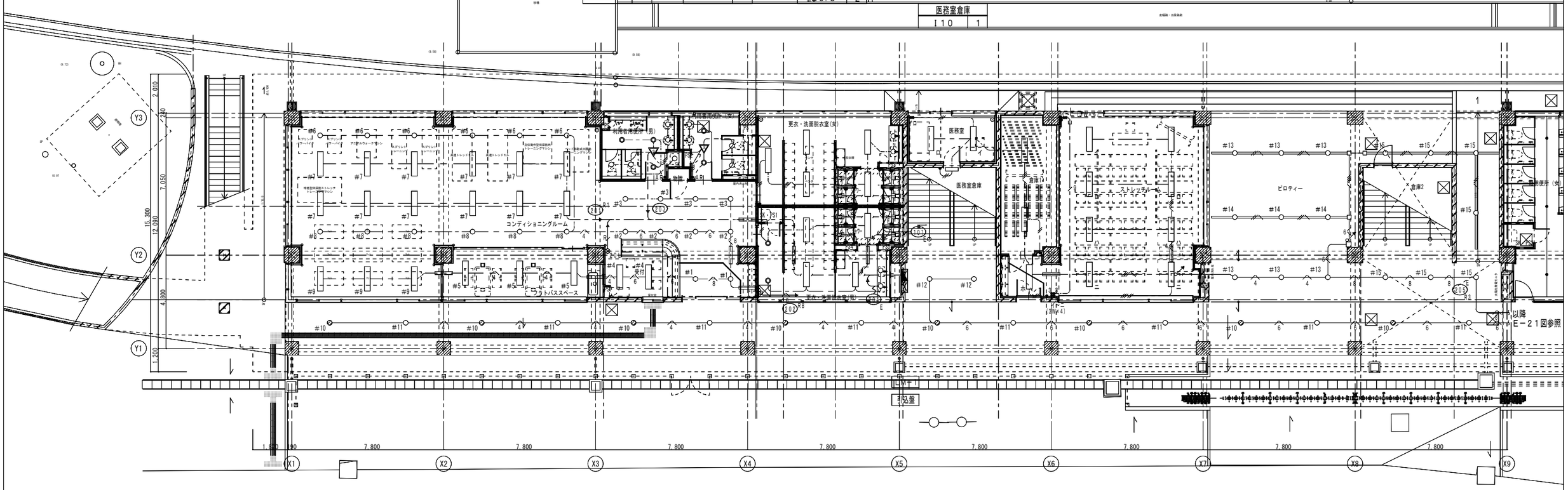
医務室倉庫	
I10	1

倉庫	
D44.5	2

ストレッチルーム	
D44.5	9

ピロティー	
H13.8	16

通路	
H18.2	16



陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

豊橋市建設部建築課

平成 28年 2月
E-20
図面名称：電灯設備 1階平面図（１）
縮尺：1:100(A1)　1:200(A3)
代表者
検図　製図

株式会社 天竜設計
管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号

一般用便所（女）	
F10.1	11
E13.8	5
I17	2

一般用便所（男）	
F10.1	5
E13.8	5
I17	2

車椅子観覧席	
D44.5	4

報道記者室	
D44.5	3

記録室	
D44.5	9

階段	
H13.8	2

器具倉庫	
B33.3G	10

通路	
H18.2	12

機械・消火ポンプ室	
A26	1
a3d	1

電気室	
A26	1
a3d	1

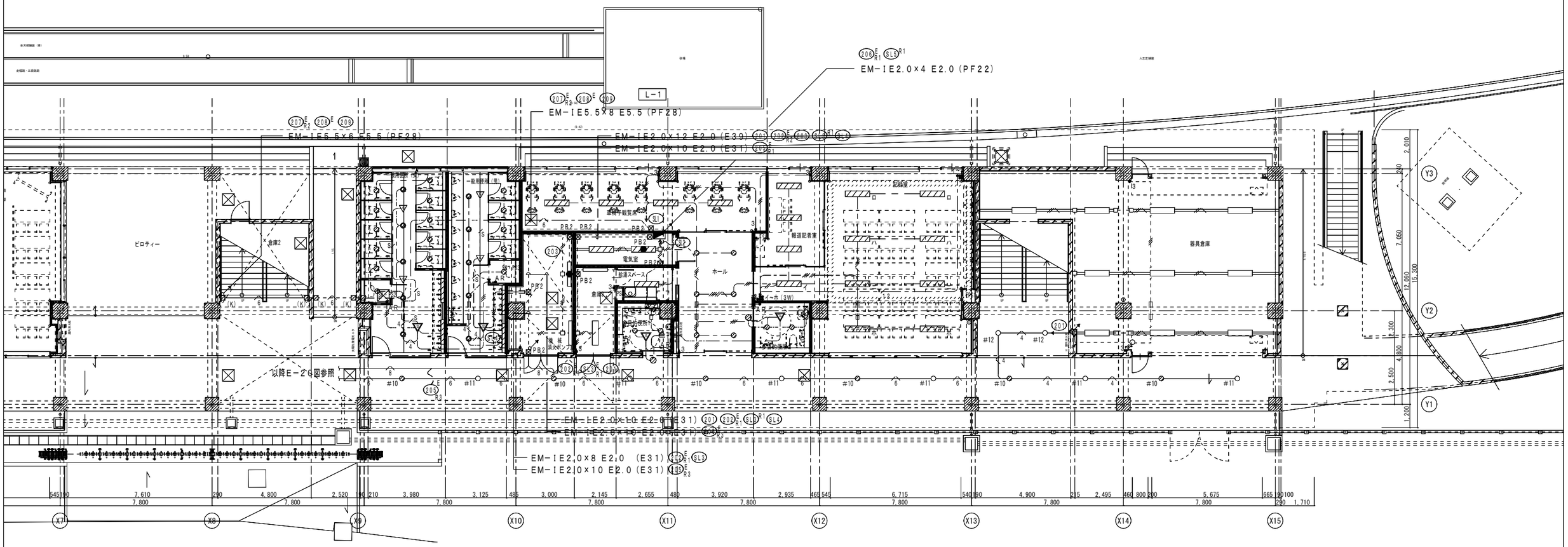
ホール	
E18.2	6

多目的便所2	
E13.8	2
I10	1
L10	1

倉庫	
B33.3	2

給湯スペース	
D20.3	1

多目的便所1	
E13.8	2
I10	1
L10	1



課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

豊橋市建設部建築課

陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事

平成 28年 2月

E-21

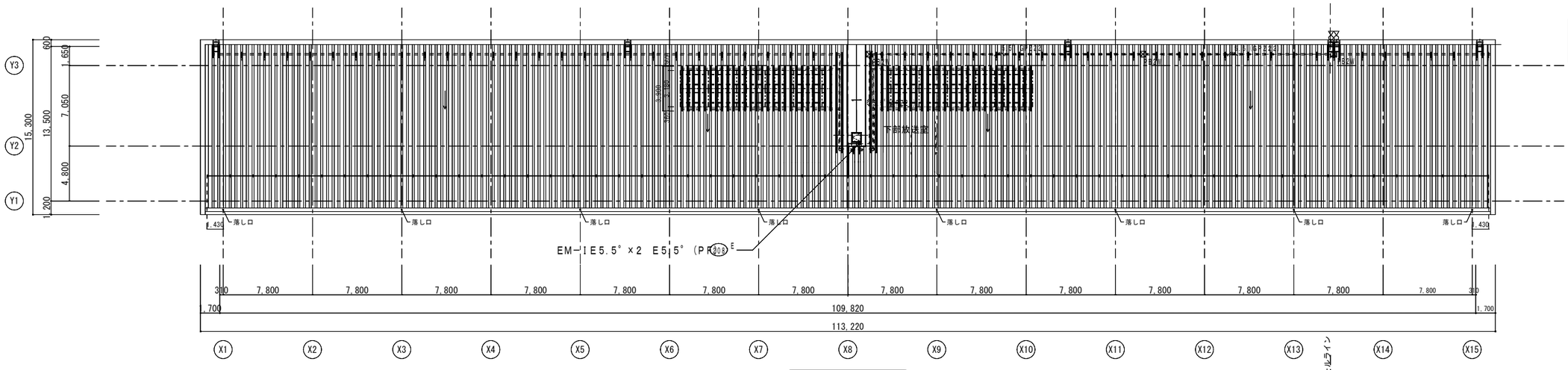
図面名称：電灯設備 1階平面図（２）

縮尺：1:100(A1) 1:200(A3)

代表者 | 検図 | 製図

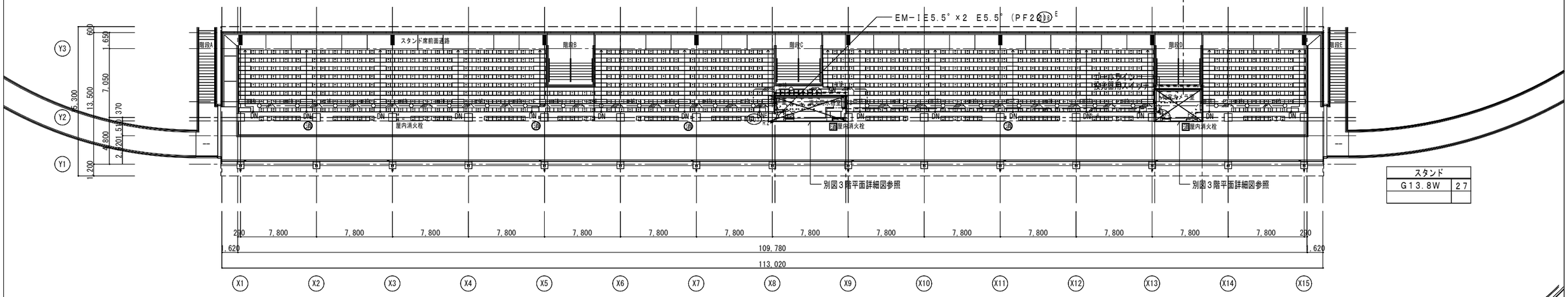
株式会社 天雲設計
管理建築士/中西兵衛
一級建築士登録第176475号

ゴール用投光器	
K594	2

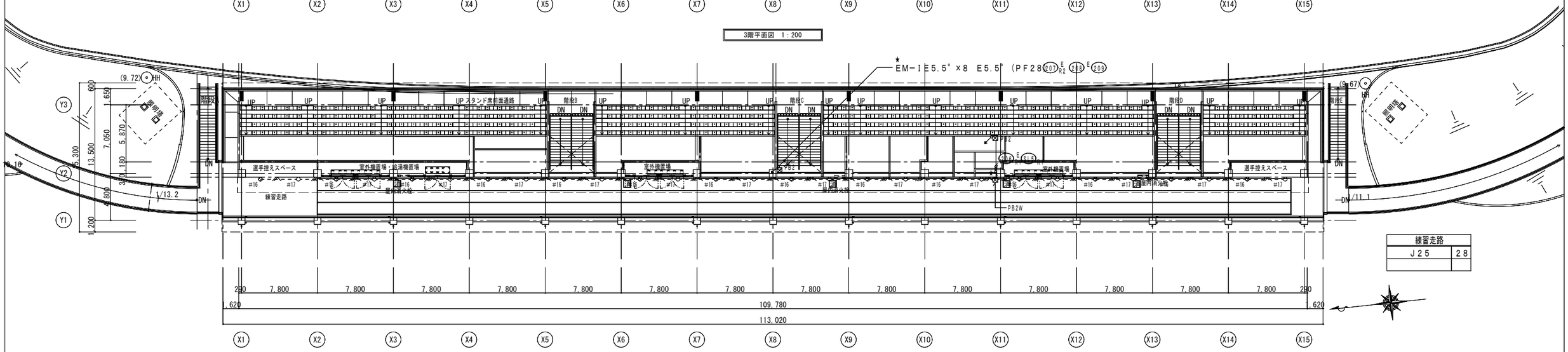


屋根伏図 1：200

スタンド	
G13.8W	27



3階平面図 1：200



2階平面図 1：200

練習走路	
J25	28

陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

豊橋市建設部建築課

平成 28年 2月

図面名称：電灯設備 2階・3階平面図・屋根伏図

E-22

縮尺：1：200（A1） 1：400（A3）

代表者

検図

製図

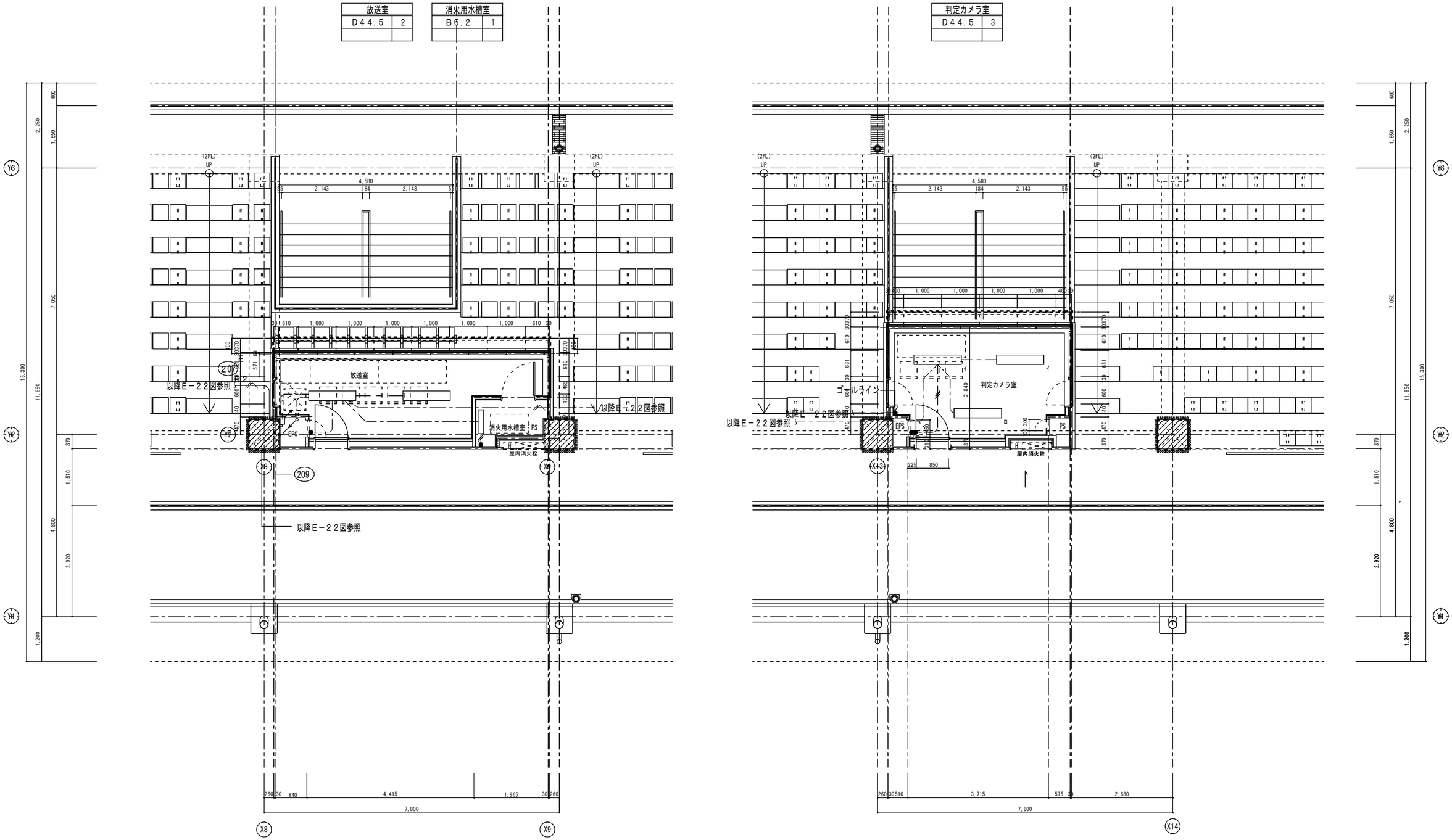
株式会社 大電設計

一級建築士登録第176475号

放送室	
D44.5	2

消火用水槽室	
B6.2	1

判定カメラ室	
D44.5	3



課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

豊橋市建設部建築課

陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事

平成 28年 2月

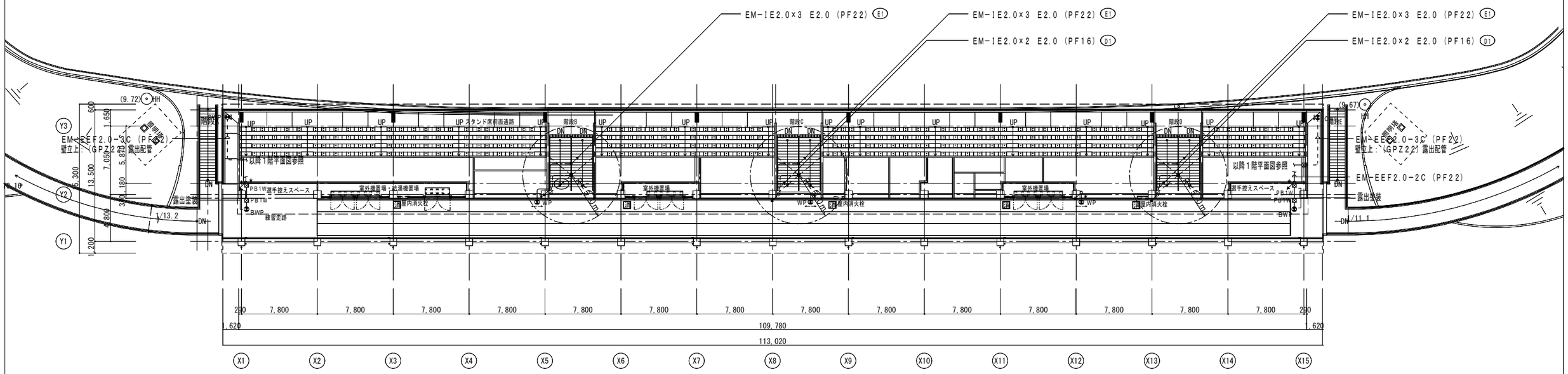
図面名称：電灯設備　3階平面詳細図

E-23

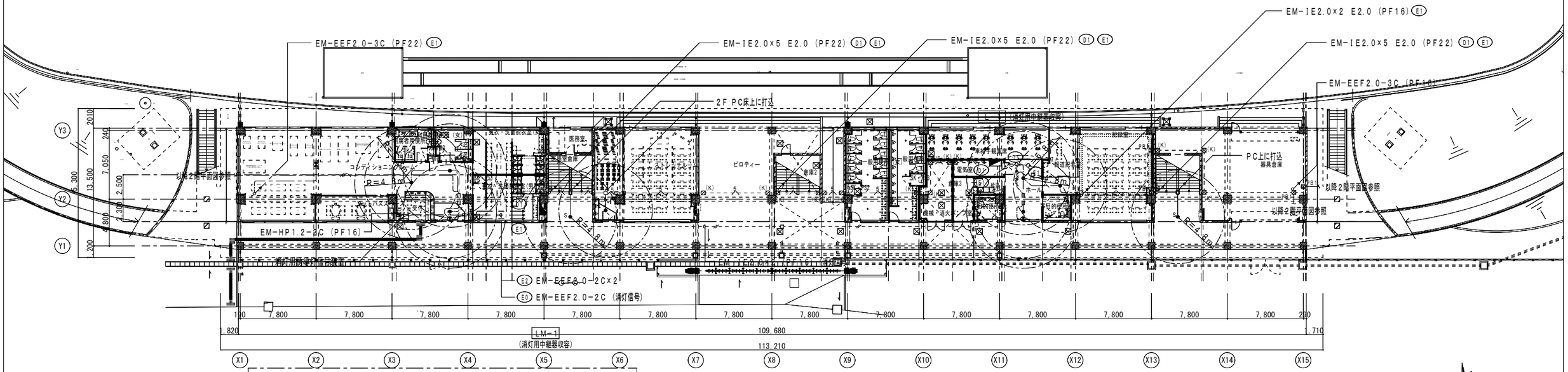
縮尺：1:50(A1)　1:100(A3)

代表者　検図　製図

管理建築士/中西兵衛
一級建築士登録第176475号



2階平面図 1：200



1階平面図 1：200

プルボックス寸法リスト		
PB1	SS 150×150×100	

(W) =防水形ステンレス製
(K) =幹線・動力設備と兼用

注）1．図中特記なき配管配線サイズは下記による。

———	EM-IE2.0×2 E2.0	(PF16) 打込配管
———4———	EM-IE2.0×4 E2.0	(PF22) 打込配管
- - - - - - - -	EM-IE2.0×2 E2.0	(E19) 露出配管
- - -4- - -	EM-IE2.0×4 E2.0	(E25) 露出配管
—— － ——	EM-EEF2.0-3C	(PF16)
—— －///	EM-EEF2.0-2C×2	(PF22)
—— －5	EM-EEF2.0-3C+2C	(PF22)

但し二重天井内はケーブルころがし配線とする。

2．回路符号は下記とする。

(D1)・・・AC1φ100V 非常用照明
(E1)・・・AC1φ100V 誘導灯

3．誘導灯は消防法施行規則第２８条の３第４項第２項の規定により夜間消灯する。

4．⟹ 部はＰＦ管にて配線保護する。

5．★—— ：防火区画貫通処理とする。

6．アウトレットボックスは全て合成樹脂製とする。

7．ピロティ部の露出配管及びプルボックスは塗装すること。

注）1．機器凡例

- ● ：非常用照明（a1d）
- ●S ：非常用照明（a2d）
- ⊕ ：避難口誘導灯（b1d）
- ⊕ ：通路誘導灯 （c1d）
- ⊕ ：通路誘導灯 （d1d）
- ⊕WP ：防湿、防雨型通路誘導灯 （g1dw）
- ⊕AWP ：防湿、防雨型避難口誘導灯 （fa1dw）
- ⊕BWP ：防湿、防雨型避難口誘導灯 （fb1dw）
- ⊕CWP ：防湿、防雨型避難口誘導灯 （fc1dw）

陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

平成 28年 2月
図面名称：防災照明設備 1階・2階平面図
図面番号：E-24
縮尺：1:200(A1) 1:400(A3)
代表者
検図
製図

豊橋市建設部建築課

天雲設計
管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号

陸上競技場スタンド増設に伴う電気工事

平成 28年 2 月	図面名称
E-25	防災照明設備 3階平面図・屋根伏図

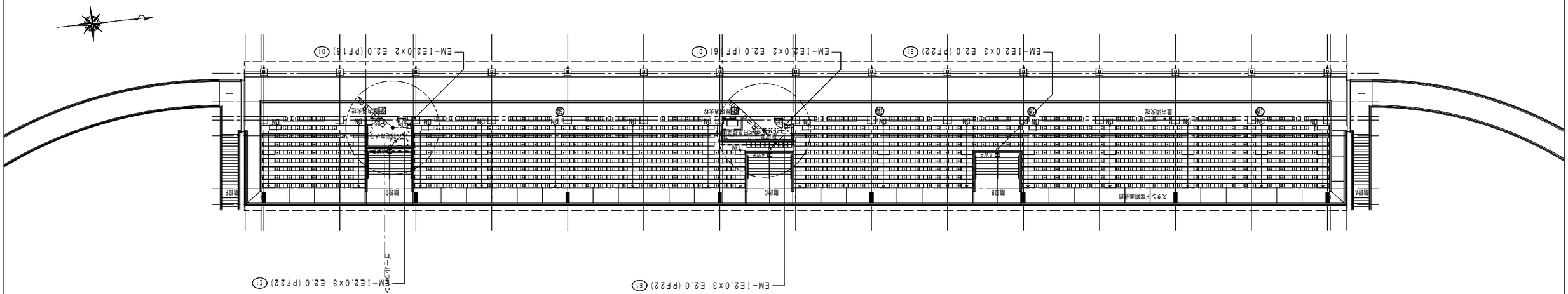
課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主 査	担 当

豊橋市建設部建築課

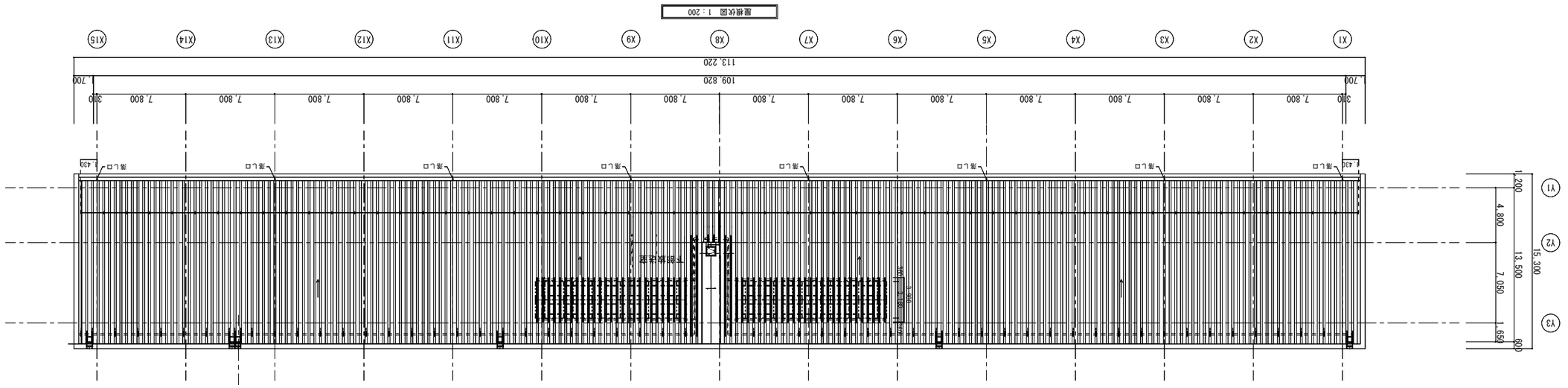
縮尺	1:200(A1) 1:400(A3)	作成	検図	承認

常盤設計
常盤設計事務所
一級建築士登録第176473号

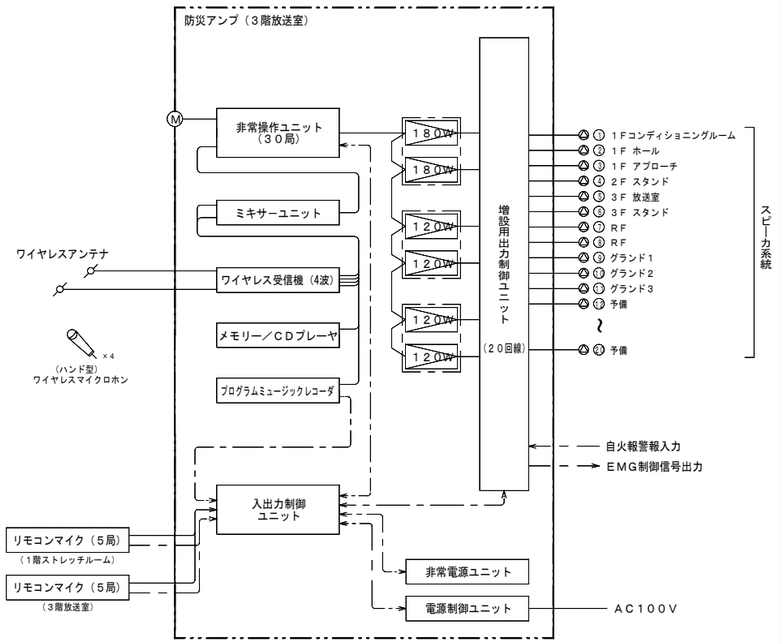
3階平面図 1：200



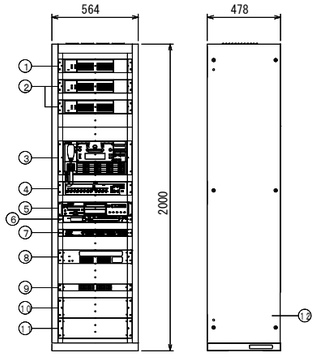
屋根伏図 1：200



システムブロック図



AMP 防災アンプ　（３階放送室）

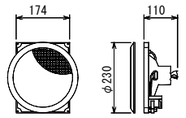


NO	機器名称
1	電力増幅ユニット（１８０W＋１８０W）
2	電力増幅ユニット（１２０W＋１２０W）
3	非常操作ユニット
4	デジタルミキサーユニット
5	メモリー／ＣＤプレーヤ
6	プログラムミュージックレコーダ
7	チャイムユニット
8	非常電源ユニット
9	電源制御ユニット
１０	入出力制御ユニット
１１	増設用出力制御ユニット（２０回線）
１２	架本体
※	指示なきパネルはブランクパネル

電源	ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ	電力増幅ユニット	
非常操作ユニット（音声警報音内蔵）		定格出力	８４０W（（１８０W＋１８０W）×１＋
選局制御他	２０局、緊急放送×３、優先及び一般一斉放送		（１２０W＋１２０W）×２）
コールサイン	上り４音／下り４音	異常制御出力	２端子（内部並列）
オリジナルコールサイン	６種（内蔵可能）　総合計３０秒	非常電源ユニット	充電方式：トリクル充電 １ユニットにつき７２０Wまで
非常起動	連動、連動一斉、発報連動停止、手動	デジタルオーディオミキサー	
緊急地震速報放送	地震放送表示、地震放送停止スイッチ（受信端末別途）	入力	モノラル（ハウリングサプレッサ内蔵）×８、ステレオ×４
	（平成２１年　消防庁告示第２２号に対応）	出力	メイン×２、モノラル×２
音声入力	マイク、ミキサー、チャイム、ページング等	プログラムミュージックレコーダ	
音声警報音源	１００種（地下５階～４０階、ＥＬＶ、階段他）	記録メディア	ＳＤ／ＳＤＨＣメモリーカード
	「日本語」または「日本語＋英語」	音源ファイル・記録時間	２５５ファイル、最長５１０時間
緊急・業務音源	１０種　総合計５分	プログラムタイマー	週間／年間スケジュール設定可能
緊急放送機能	緊急地震速報メッセージ・ローカルアンプ電源遮断	時刻補正入力	ＮＴＰサーバー、親時計、時報音声、接点
入出力制御ユニット		ワイヤレス受信機（４波）	
入出力	非常リモコン×８、リモコンマイク、外部制御×１０	受信周波数	８００ＭＨｚ帯４波
	マルチリモコン×８、ＢＧＭ、チャイム等	待機時混信低減機能	解除／６ｄＢ設定／１２ｄＢ設定
汎用出力	１０（接点×５、オープンコレクタ×５）	メモリー／ＣＤプレーヤ	
増設用出力制御ユニット	スピーカ端子：２０回線	使用メディア	ＣＤ、ＣＤ−Ｒ／ＲＷ、ＳＤ／ＳＤＨＣカード、ＵＳＢメモリー
電源制御ユニット	電源：ＡＣ１００Ｖ　３８Ａ（Ａ及びＢ系統合計）	再生可能フォーマット	ＣＤ−ＤＡ、ＷＡＶ、ＭＰ２、ＭＰ３、ＡＡＣ、ＷＭＡ

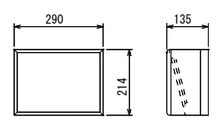
天井埋込スピーカ

天井埋込スピーカ（ＡＴＴ付）



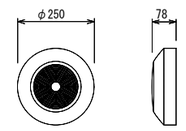
定格入力／種別	１W／Ｌ級
入力インピーダンス	１０ｋΩ
周波数特性	１００Ｈｚ～１５ｋＨｚ（偏差２０ｄＢ）
出力音圧レベル	９２ｄＢ（１ｍ／１W）
使用スピーカ	１６ｃｍコーンスピーカ
取付パネル	ネット：アルミパンチング、フレーム：ＡＢＳ樹脂

壁掛スピーカ（ＡＴＴ付）



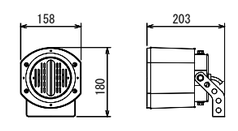
定格入力／種別	１W／Ｌ級
入力インピーダンス	１０ｋΩ
周波数特性	１２０Ｈｚ～１２ｋＨｚ
出力音圧レベル	９２ｄＢ（１ｍ／１W）
使用スピーカ	１６ｃｍコーンスピーカ

SWP 防滴型天井露出スピーカ（ＡＴＴ付）



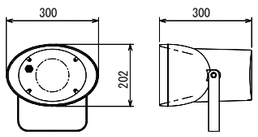
定格入力／種別	３W／Ｌ級（１W／Ｌ級）
入力インピーダンス	３．３ｋΩ・１０ｋΩ
周波数特性	１８０Ｈｚ～１５ｋＨｚ
出力音圧レベル	９２ｄＢ（１ｍ／１W）
使用スピーカ	１２ｃｍコーンスピーカ

WP 防滴型壁掛スピーカ



定格入力／種別	１W／３W／５W／Ｌ級
入力インピーダンス	２ｋΩ・３．３ｋΩ・１０ｋΩ
周波数特性	１３０Ｈｚ～１５ｋＨｚ
出力音圧レベル	９０ｄＢ（１ｍ／１W）
使用スピーカ	１０ｃｍコーンスピーカ

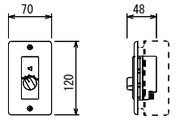
クリアホーン



※取付金具付

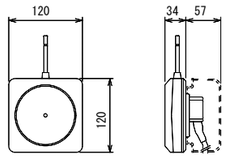
定格入力／種別	１０W／２０W／３０W／Ｌ級
入力インピーダンス	３３０Ω、５００Ω、１ｋΩ
周波数特性	１８０Ｈｚ～１５ｋＨｚ
出力音圧レベル	１０１ｄＢ（１ｍ／１W）

アッテネータ



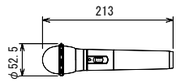
入力容量	０．５W～６W
入力インピーダンス	２０ｋΩ～１．６７ｋΩ
音量調節	５段階（ＯＦＦ、１、２、３、４）
プレート	新金属プレート

ワイヤレスアンテナ



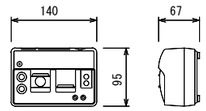
電源	ＤＣ１２Ｖ（受信機・分配器より供給）
入力周波数	８０６ＭＨｚ～８１０ＭＨｚ帯
出力周波数	２６０ＭＨｚ帯
出力インピーダンス	７５Ω
取付方法	壁取付型（防滴仕様）

ワイヤレスマイク（ハンド型）　（４本）



電波形式	Ｆ３Ｅ
受信方式	水晶制御ＰＬＬシンセサイザー方式
変調方式	リアクタンス変調方式
周波数特性	１００Ｈｚ～１０ｋＨｚ
	（１ｋＨｚ基準、５０μｓエンファシス）
使用マイク	単一指向性エレクトレットコンデンサーマイク
制御信号	電池残量用：３種類

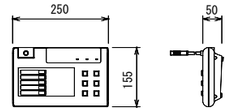
ワイヤレスマイク充電器　（２台）



※充電池各２本（計４本）付属

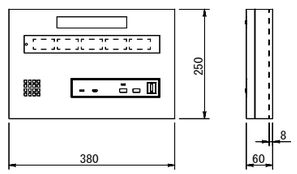
定格入力	ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
定格出力	ＤＣ１．６Ｖ
充電本数	同時２本

5局リモコンマイク（卓上型）



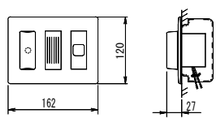
電源／マイクロホン	ＤＣ２４Ｖ／エレクトレットコンデンサ型
周波数特性	５０Ｈｚ～１５ｋＨｚ３ｄＢＶ（１０００Ｈｚ基準）
音声入力	フレキシブルマイク：−５５ｄＢＶ　６００Ω不平衡ＡＧＣ付 １回路
	業務入力：−２ｄＢＶ　１０ｋΩ　不平衡　１回路
音声出力	Ｈ、Ｃ、０ｄＢ、６００Ω 平衡 負荷インピーダンス３０００Ω以上
操作スイッチ	放送×１、選局×５、一斉×１、コールサイン×２
制御出力	放送制御：１回路　系統制御：１～５回路

トイレ呼出表示盤



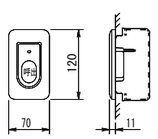
電源電圧	AC100V　50/60Hz（内部電源DC12V）
形　状	壁取付形
材　質	SPCC t1.2
窓　数	５窓
表示方式	呼出音と表示窓点灯

廊下灯（復帰釦・ブザー付）



形　状	壁埋込型(JIS3個用スイッチボックス)
材　質	樹脂
ランプ表示	ＬＥＤ
備　考	ブザー付

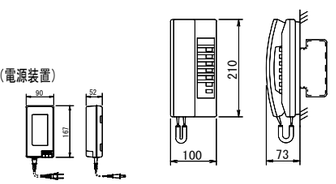
壁付呼出押釦（確認灯・引紐付）



形　状	壁埋込型(JIS1個用スイッチボックス)
材　質	自己消火性樹脂

相互式インターホン（親機・電源装置）付 6局用

相互式インターホン（副親機）付 6局用



電源電圧	ＤＣ１２Ｖ（電源アダプタ−から供給）
通話方式	電話型同時通話
形　状	壁取付・卓上両用（ＪＩＳ１個用スイッチボックス）
材　質	樹脂
局　数	６局用
備　考	親子式・相互式親機

回線容量表

アンプ容量表

総合系統NO	エリア系統NO	系統名称	スピーカ入力（W） 1W	3W	5W	6W	15W	30W	グランド30W
	①	1F	１４						
	②	1F	１３						
	③	1F ピロティ	7						
	④	2F 練習走路	8						
	⑤	3F 放送室・前室カメラ室	2						
	⑥	3F スタンド						9	
	⑦	RF						2	
	⑧	RF						2	
	⑨	グランド							5
	⑩	グランド							4
	⑪	グランド							2
	⑫	スタンド 階段	3						
計			４７					１３	１１

計算　47×1W+13×30W+11×30W=767W<840W
※アンプ容量は840Wを選定する。

陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

豊橋市建設部建築課

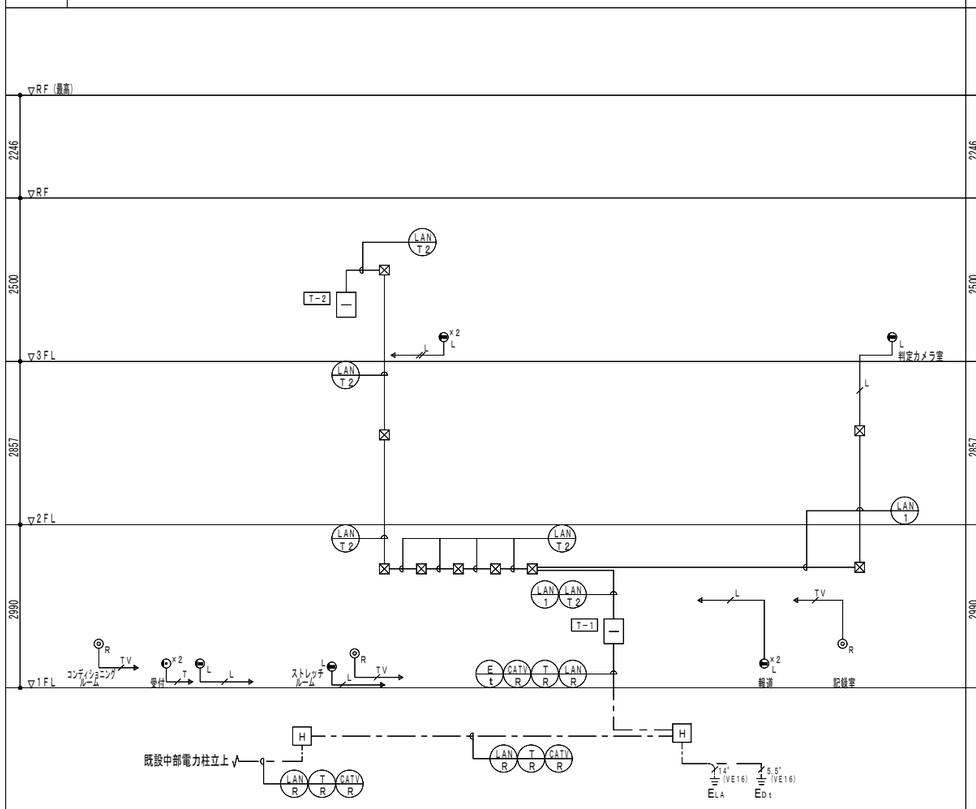
平成 28年 2月　図面名称：弱電機器図（非常放送・誘導支援）
図面番号：E-26
縮尺：NS　代表者　検図　製図

株式会社 大建設計
管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号

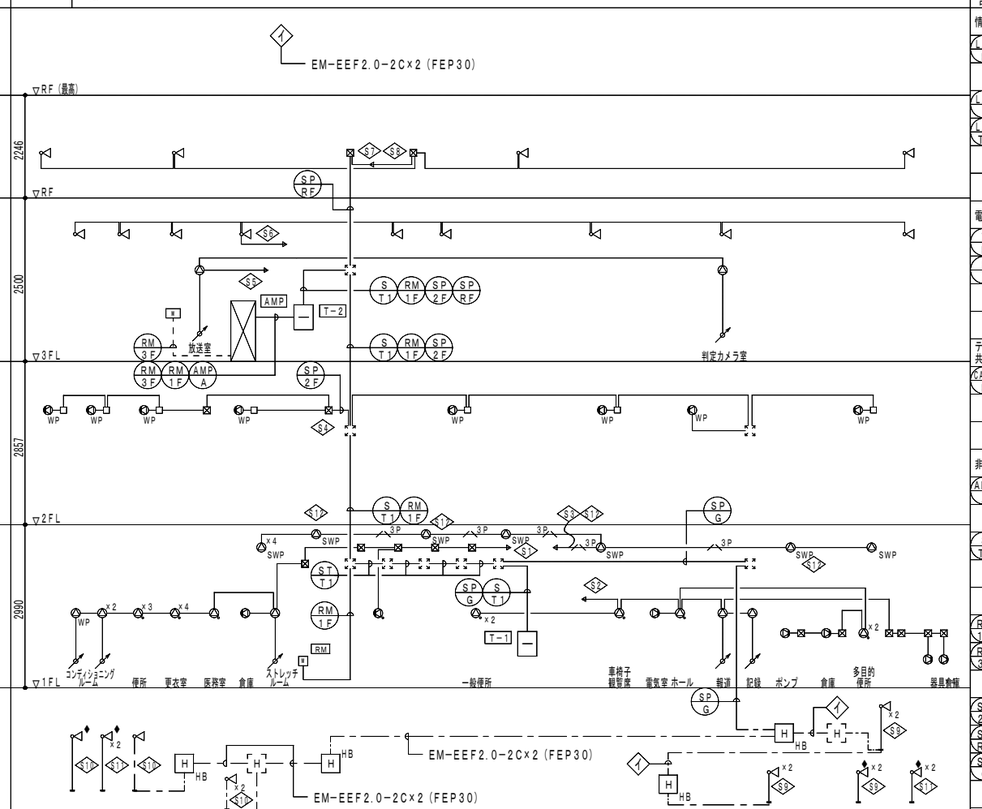
通信・情報設備 系統図（1）　—

注）1. ▭ 防火区画貫通部耐火処理（国土交通省認定工法）とする。
2. 各設備端末配線サイズは平面図参照

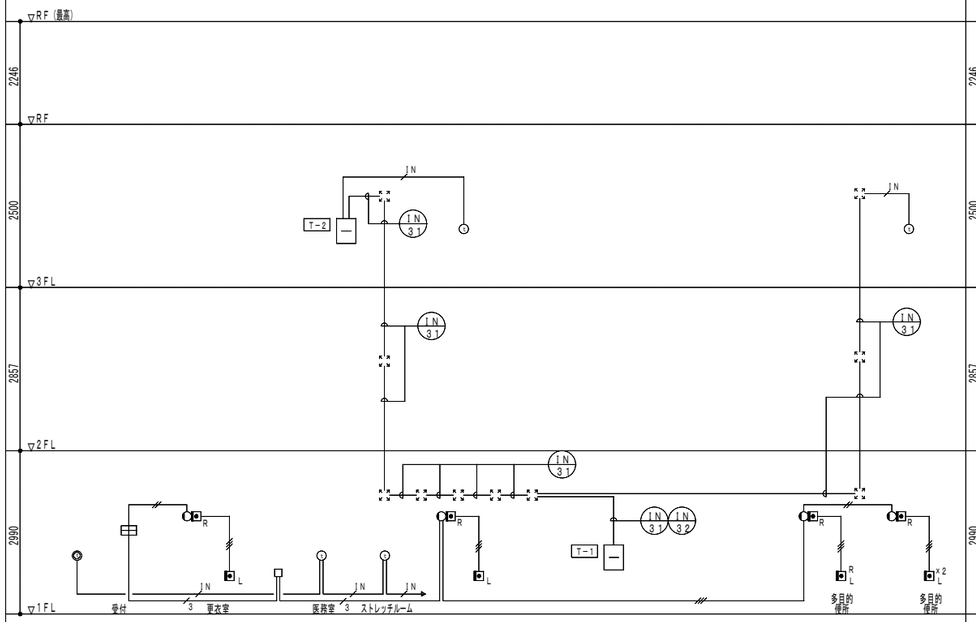
1　情報・電話・テレビ共同受信



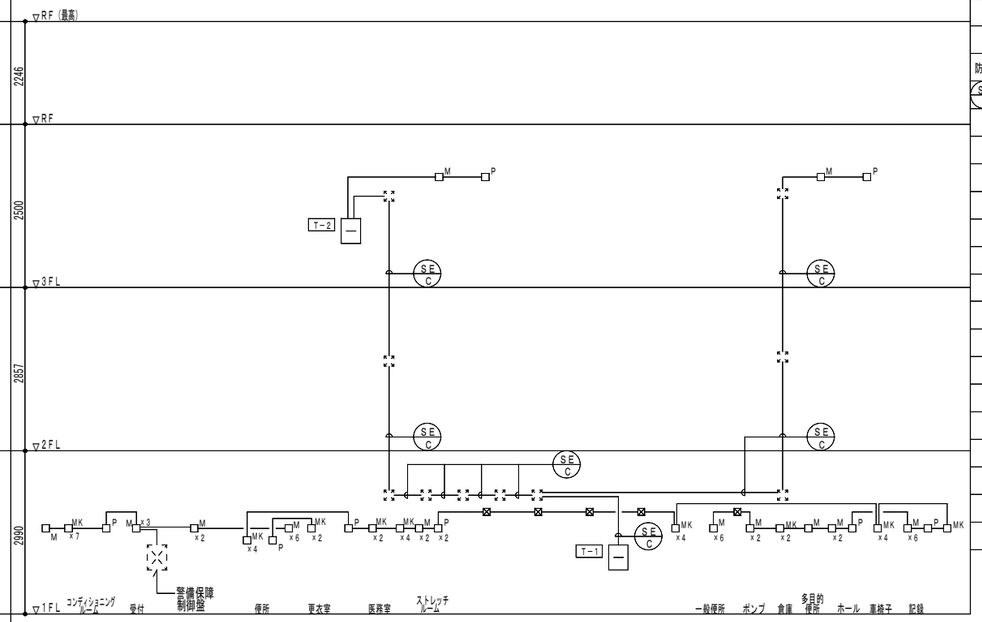
2　拡声



3　インターホン・トイレ呼出



4　防犯



2　配線リスト

注）1. 各端末機器への配線は平面図参照

幹線記号	分岐	負荷	配線サイズ	管路 隠ぺい	露出	屋外塗装	C	R	地中	備考
情報										
LAN R	構内引込柱	T-1	—c—			GPZ (28)×2			FEP (30)×2	
LAN 1	T-1	P・BOX	EM-UTP-CAT6 0.5-4P	PF (22)	G (22)	ZPD (22)				
LAN T2	T-1	T-2	EM-UTP-CAT6 0.5-4P×1	PF (22)	G (22)	ZPD (22)				
電話										
T R	構内引込柱	T-1	—c—			GPZ (28)			FEP (30)	
E t	接地極	T-1	EM-IE14' ×1 EM-IE5.5' ×1						HIVE (28)	ELA（電話保安器） EDt（アンプ）
テレビ共同受信										
CATV R	構内引込柱	T-1	—c—			GPZ (28)			FEP (30)	CATV引込用
非常放送										
AMP A	T-2	AMP	EM-HP1.2-20P EM-HP1.2-2C×2	(E39) (PF28)						
			EM-IE5.5'	(PF16)						EDt
S T1	T-2	T-1	EM-HP1.2-10P EM-HP1.2-2C×2	(PF28) (PF28)		(GPZ28) (GPZ28)				
			EM-IE5.5'	(PF16)						EDt
RM 1F	1F RM	AMP	EM-HP1.2-5P	PF (22)	E (25)	GPZ (28)				
RM 3F	3F RM	AMP	EM-HP1.2-5P	PF (22)	E (25)	GPZ (28)				
SP 2F	T-2	2F スピーカ	EM-HP1.2-3P	PF (22)		GPZ (28)				
SP RF	T-2	RF スピーカ	EM-HP1.2-2C×2	PF (22)		GPZ (28)				
SP G	T-2	グランドスピーカ	EM-HP1.2-2C×4	PF (28)×2					FEP (30)	
インターホン										
IN 31	T-1	T-2	EM-AM1.2-5P	PF (22)		GPZ (22)				
IN 32	T-1	3F 判定カメラ①	EM-AM1.2-5P	PF (22)		GPZ (22)				
防犯										
SE C			—c—	PF (22)		GPZ (22)				

陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

豊橋市建設部建築課

平成 28年 2月　E-27　図面名称：通信・情報設備 系統図

縮尺 NS　代表者　検図　製図

株式会社 大建設計　管理建築士／中西兵衛 一級建築士登録第176475号

機　器　凡　例

記号	名称	備考	記号	名称	備考
⊟	弱電端子盤		テレビ共同受信		
			◉	直列ユニット　CS－7F－7W	
情報			◉R	直列ユニット　CS－7F－RW	
◓	壁付埋込情報用アウトレット　MJ8P－8C用	CAT6			
			呼出		
電話			⊙	相互式インターホン（副親機）	
◐	壁付埋込電話アウトレット　MJ6P－4C用		◉	相互式インターホン（親機）	
非常放送			トイレ呼出		
⊠	アンプ		⊞	トイレ呼出表示盤	
M	リモートマイク（卓上型）5局用		◘R	廊下灯・復帰釦付・ブザー付	
◎	天井埋込スピーカ		◘L	壁付呼出押釦（確認灯付）	
◎	天井埋込スピーカ（アッテネータ付）				
◎SWP	天井付防湿型スピーカ（アッテネータ付）		防犯	（機器別途工事）	
◎	壁掛スピーカ（アッテネータ付）		ロMK	検知器（磁気近接スイッチ）（壁付）	角ノズルプレート付
◎WP	防滴形壁掛スピーカ（アッテネータ付）		ロM	検知器（磁気近接スイッチ）（天井付）	丸ノズルプレート付
◁	ホーンスピーカ		ロP	検知器（空間検知器）（天井付）	丸ノズルプレート付
⊿	アッテネータ		ロC	カメラ用アウトレット	丸ノズルプレート付
⊸	ワイヤレスアンテナ				
			⊂⊃	梁貫通　75φ	別途建築工事

注）1．図中特記なき配管配線サイズは下記による。

・構内情報
- EM－UTP－CAT6 0.5－4P　（PF22）打込配管
- EM－UTP－CAT6 0.5－4P×2　（PF22）打込配管

・電話
- EM－TKEE0.5－2P　（PF16）打込配管

・非常放送
- EM－HP1.2－3C　（PF16）打込配管・いんぺい
- EM－HP1.2－3P　（PF22）打込配管・いんぺい
- EM－HP1.2－3C　（E19）露出配管
- EM－HP1.2－3P　（E25）露出配管
- EM－HP1.2－3C　（PF16）ころがし
- EM－HP1.2－3P　（PF22）ころがし

・誘導支援
- EM－CPEE1.2－5P　（PF22）打込配管
- EM－AE1.2－2C　（PF16）打込配管
- EM－AE1.2－3C　（PF16）打込配管
- EM－AE1.2－3P　（PF22）打込配管
- EM－AE1.2－2C　（PF16）ころがし
- EM－AE1.2－3C　（PF16）ころがし
- EM－AE1.2－3P　（PF22）ころがし

・テレビ共同受信
- EM－S－5C－FB（二重シールド）　（PF16）打込配管
- EM－S－5C－FB（二重シールド）　（PF16）ころがし

・防犯
- （PF22）

但し二重天井内はケーブルころがし配線とする。

2．放送回路符号は下記とする。

S1・・・スピーカ回路

3．★——：防火区画貫通処理とする。

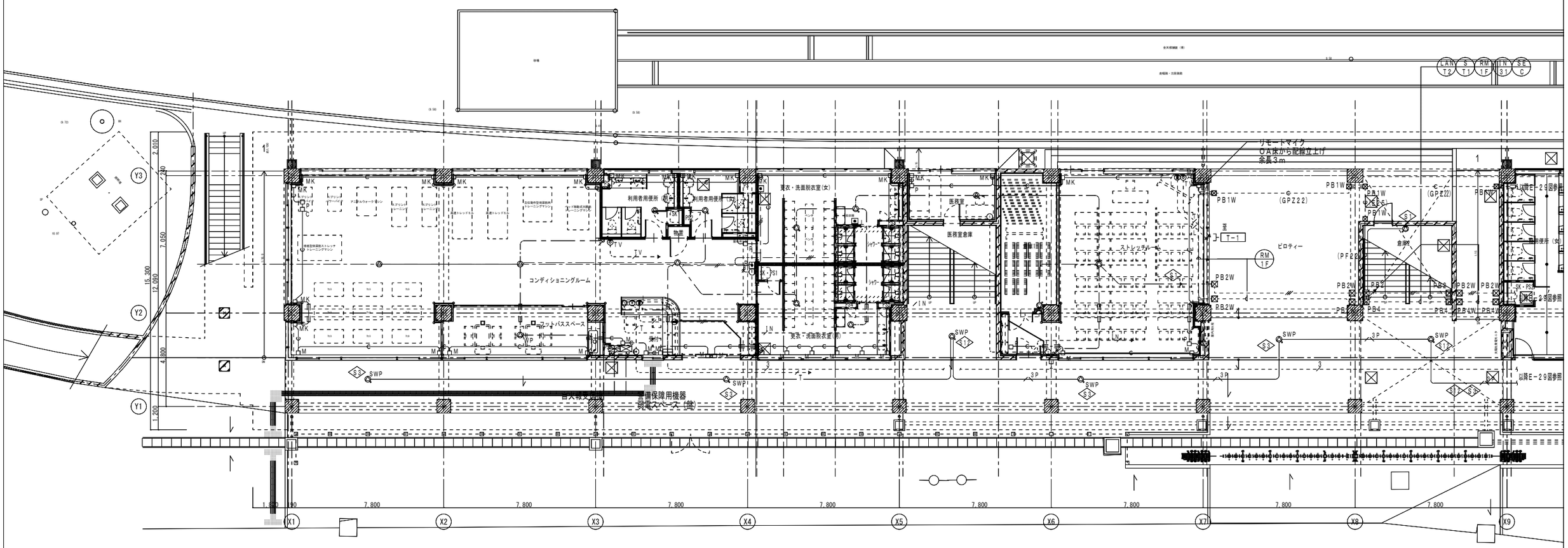
4．アウトレットボックスは全て合成樹脂製とする。

5．ピロティ部の露出配管及びプルボックスは塗装すること。

プルボックス寸法リスト

PB1	SS 100×100×100	
PB2	SS 200×200×200	
PB3	SS 300×300×200	
PB4	SS 400×400×400	

（W）＝防水形ステンレス製



課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

豊橋市建設部建築課

陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事

平成 28年 2月　図面名称：通信・情報設備 1階平面図（1）

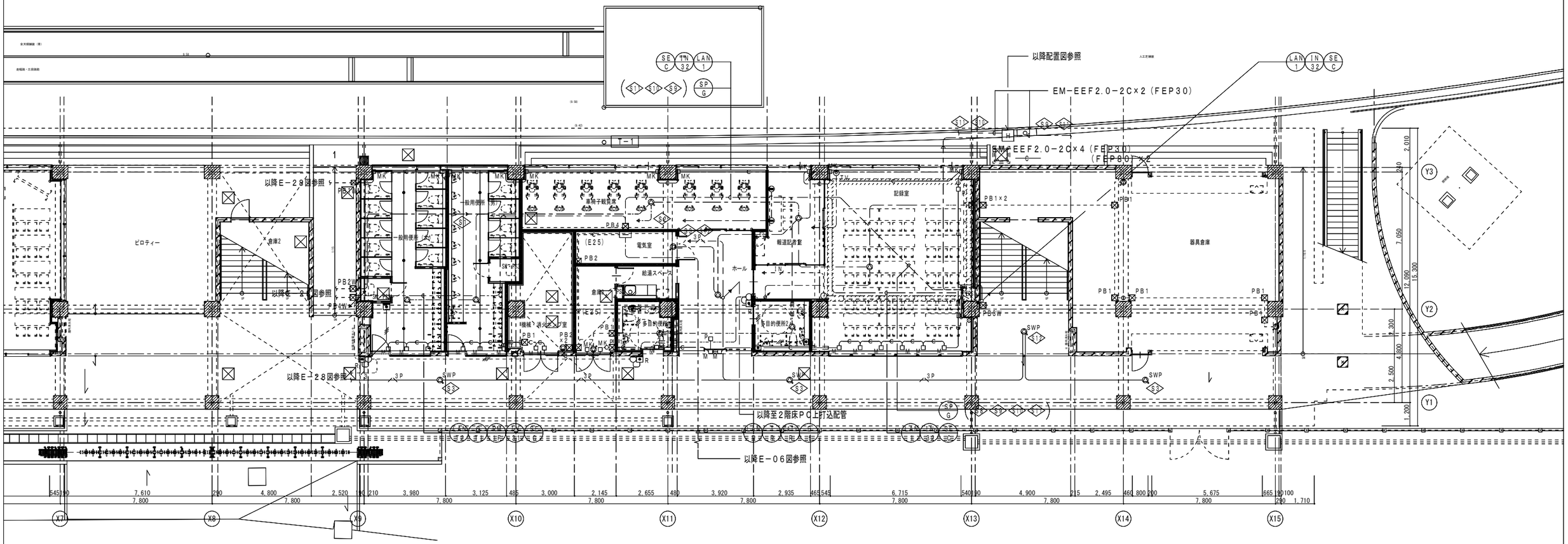
E-28

縮尺　1：100（A1）　1：200（A3）　代表者

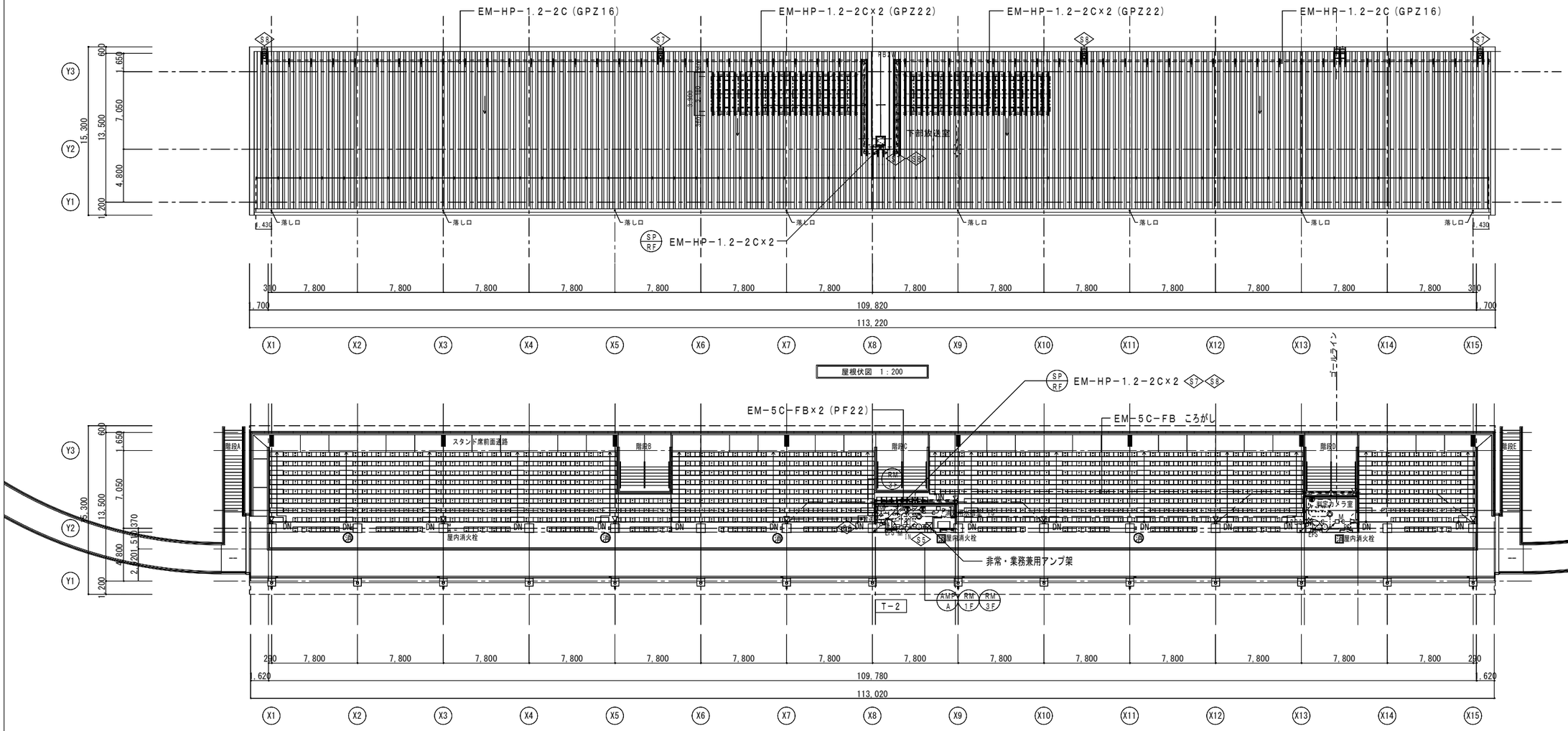
検図　製図

株式会社 天竜設計

管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号

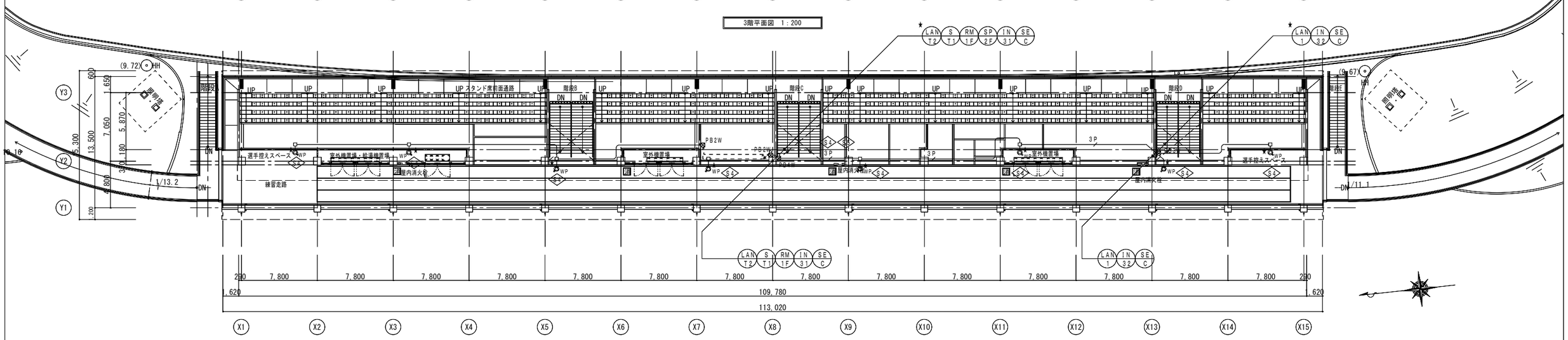


陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事												
									平成 28年 2月	図面名称	通信・情報設備 1階平面図（2）	
									E-29			
課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当			縮尺	1:100(A1) 1:200(A3)	代表者	検図	製図
豊橋市建設部建築課									天雲設計		管理建築士/中西兵衛 一級建築士登録第176475号	



屋根伏図 1：200

3階平面図 1：200



2階平面図 1：200

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

豊橋市建設部建築課

陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事

平成 28年 2月

図面名称：通信・情報設備 2階・3階平面図・屋根伏図

図番：E-30

縮尺：1：200(A1) 1：400(A3)

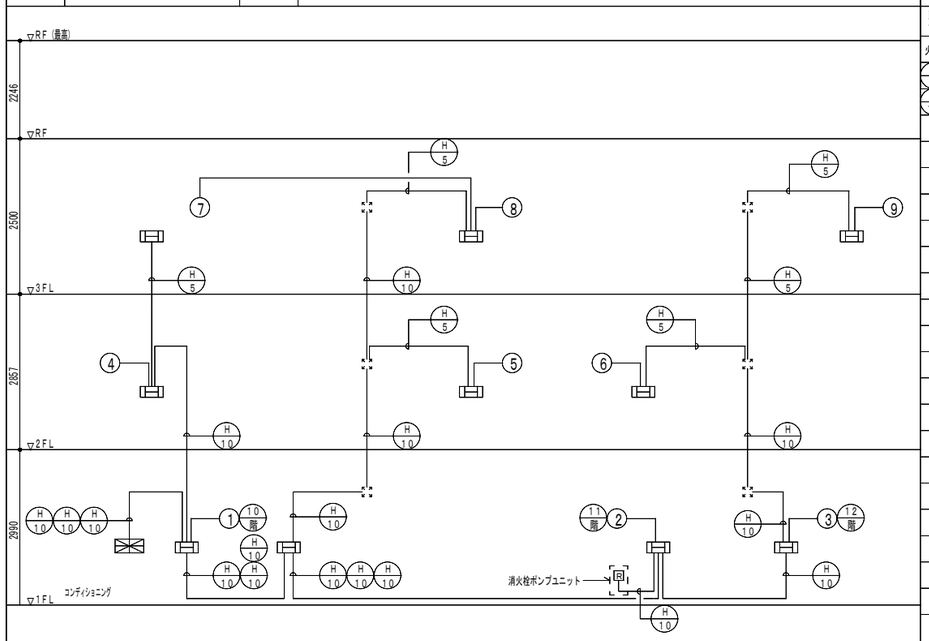
代表者

検図

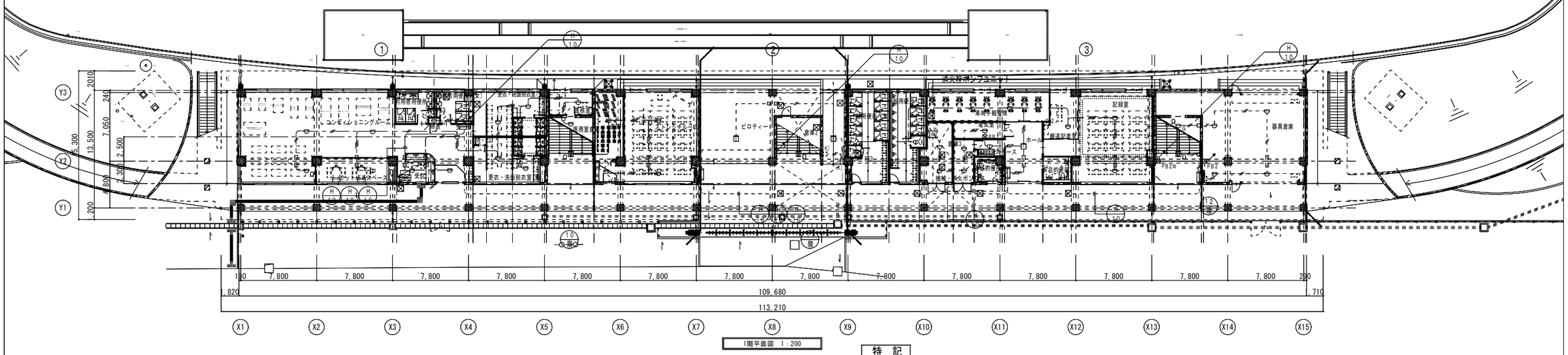
製図

株式会社 大電設計
管理建築士/中西兵衛
一級建築士登録第176475号

	火災報知設備 系統図	—	注）1．各端末機器への配線は平面図参照



2	配 線 リ ス ト	—						
幹線記号	配線サイズ	管路 隠ぺい	露出	屋外塗装	地中	天井内ころがし	備考
火報							
H 5	EM-HP1.2-5P	PF (22)	E (25)	GPZ (22)			
H 10	EM-HP1.2-10P	PF (28)	E (31)	GPZ (28)	FEP (30)		



1階平面図 1：200

プルボックス寸法リスト		
PB2	SS 200×200×200	

（W）＝防水形ステンレス製
（K）＝通信・情報設備と兼用

記号	名称	備考
	自動火災受信機	P形1級 15回路
	総合盤 消火栓箱組込	発信機・表示灯
	誘導灯信号装置	消灯用
	差動式スポット型感知器	2種
	定温式防水型スポット型感知器	1種
$_{G}$	差動式スポット型感知器	2種ガード付
$_{WP}$	差動式防水型スポット型感知器	2種
	光電式スポット型煙感知器	2種
$_{H}$	消火栓始動装置	表示灯点滅装置 AC200V／24V 70VA消火栓ポンプ制御盤組込
	梁貫通 75φ	別途建築工事

注）1．図中特記なき配管配線サイズは下記による。

- EM−AE1.2−2C （PF16）打込配管
- EM−AE1.2−4C （PF16）打込配管
- EM−AE1.2−2C （E19） 露出配管
- EM−AE1.2−4C （E19） 露出配管
- EM−AE1.2−2C （PF16）
- EM−AE1.2−4C （PF16）

但しニ重天井内はケーブルころがし配線とする。

2．幹線配線は系統図参照

3．★ ：防火区画貫通処理とする。

4．アウトレットボックスは全て合成樹脂製とする。

5．⁘（細線）：プルボックスは通信・情報設備と共用とする。

6．ピロティ部の露出配管及びプルボックスは塗装すること。

特記

1）防災監視盤の仕様は下記の通り。

・自火報	15L
・諸表示	11／15L
消火栓ポンプ起動	1L
消火栓ポンプ故障	1L
消火栓ポンプ呼水槽減水・満水	2L
消火水槽減水・満水	2L
加圧給水ポンプユニット（PWU−11）故障	1L
雨水ろ過装置（WF−11）故障	1L
汚水排水ポンプ（PD−01・02）故障	2L
自家発電装置 故障	1L
合 計	30L

2）地区警報は非常放送によることとし、火報受信機より階別及び火災確認信号を放送アンプへ移報する。

3）火報受信機より動力空調盤M−1へ空調停止信号（火災一括信号）を移報する。

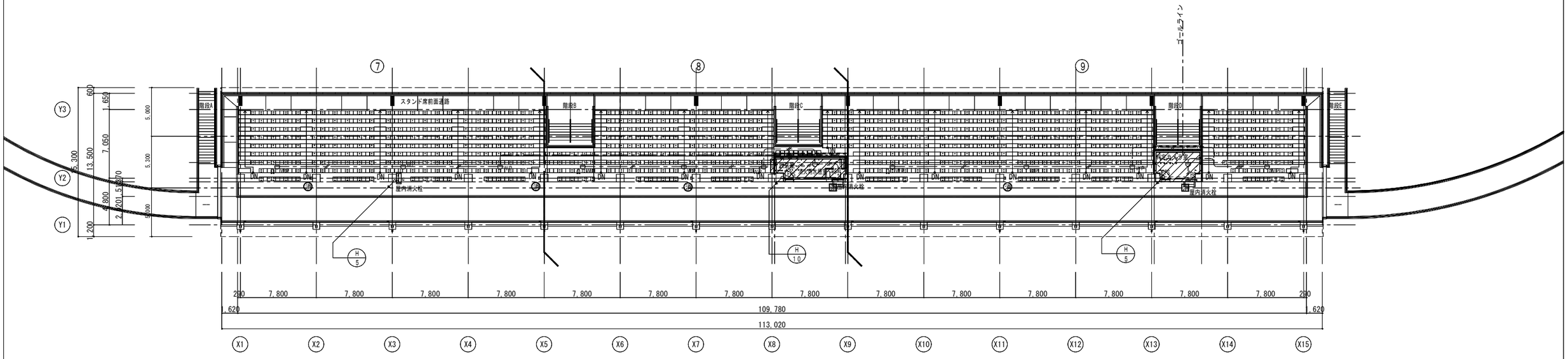
4）各警報信号は無電圧（a接点）信号を受けるものとする。

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

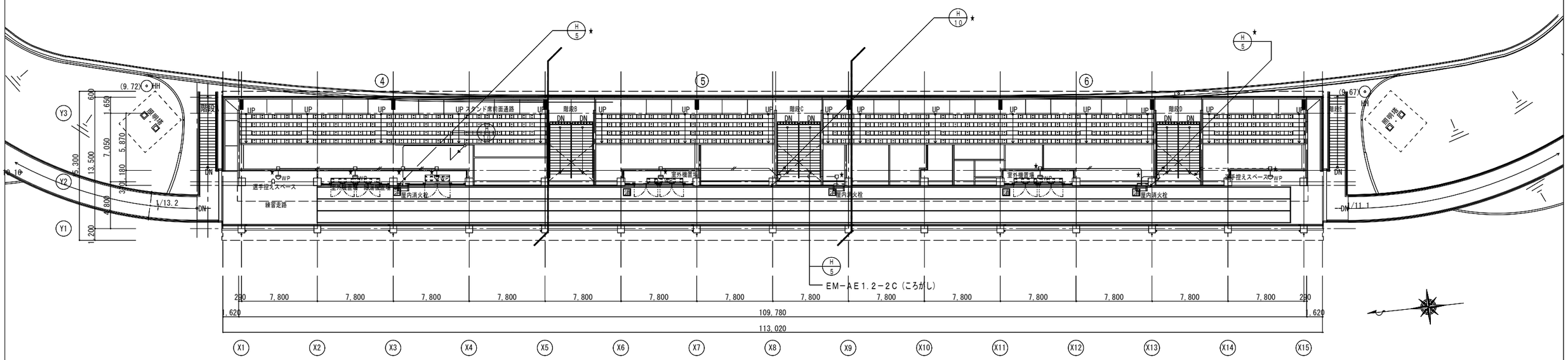
豊橋市建設部建築課

陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事		
平成 28年 2月	図面名称	火災報知設備 凡例・系統図 1階平面図
E-31		
縮尺 1:200(A1) 1:400(A3)	代表者	検図 製図

管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号



3階平面図　1：200



2階平面図　1：200

陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

豊橋市建設部建築課

平成 28年 2月

図面名称：火災報知設備　2階・3階平面図

E-32

縮尺：1：200(A1)　1：400(A3)

代表者　検図　製図

株式会社 大畠設計

管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号

太陽光発電設備工事　特記仕様書

1．一般事項

1．1　適用範囲

本仕様書は、太陽光発電電気設備工事における
系統連系用太陽光発電システムについて適用する。

1．2　適用規格・法規等

本工事の設計・施工に当たっては、下記の法令・規格等に基づくものとする。

（1）労働基準法　　（8）日本工業規格（ＪＩＳ）
（2）労働安全衛生法　　（9）日本電線工業会規格（ＪＣＳ）
（3）電気事業法　　（１０）日本電気工業会規格（ＪＥＭ）
（4）電気設備技術基準　　（１１）日本電気規格調査会標準規格（ＪＥＣ）
（5）電気工事士法　　（１２）内線規程
（6）消防関係法規　　（１３）系統連系規程
（7）電力品質確保に係る系統連系技術要件ガイドライン

1．3　保証条件

竣工後１年以内に設計もしくは製作不良、その他工事者の責任に帰すべき不都合が発生した場合は、速やかにこれを無償で修理、又は、良品と交換するものとする。

2．システム概要

2．1　設備の概要

名称　：　太陽光発電設備工事
連系する電力系統　：　低圧連系
発電設備の種類　：　太陽電池発電所
設備容量　：　太陽電池容量　15ｋW以上
　　パワーステーション容量　15ｋW以上
　　リチウムイオン蓄電池容量　15ｋWｈ以上

2．2　システム構成

本システムは、太陽電池モジュール、太陽電池架台、パワーステーション（連系保護装置含む）、バッテリーボックス（リチウムイオン蓄電池内蔵）、系統・自立切替器、太陽光遠隔出力制御対応機能付き計測装置、表示装置等より構成する。

1　太陽電池は太陽からの日射を受けると直流電力を発生。
2　パワーステーションは、この直流電力を並列する商用電源の電圧、周波数、位相と同期した交流電力に変換し、電力会社側電力系統に供給する。
3　連系保護装置により、パワーステーション及び系統の異常には連系を遮断する。
4　平常時は商用電源から蓄電池への充電が可能とする。
5　非常時は太陽光モジュールとパワーステーションが連携しバックアップ回路へ電力供給する。また昼間に太陽光発電による余剰電力が生じた場合、蓄電池に充電し夜間等に再利用が可能とする。
6　運転データ等は計測装置により収集する。
（電力会社・逆潮流の有無、太陽光の出力合計によっては太陽光遠隔出力制御対応機能が必要となる場合もある。）

2．3　運転方式

1　連系運転

太陽光発電により得られた直流電力を交流電力に変換し、その電力は負荷電力に使用する。また、太陽光発電の不足分を蓄電池で補い、下記のモードによりその動作を変更することが可能。

◎運転モード１
あらかじめタイマー設定された時間帯に蓄電池への充電、蓄電池からの放電を行う。充電時、太陽光発電による不足分は系統から補う。放電時、太陽光発電による放電量不足分は蓄電池から補う。

◎運転モード２
太陽光発電の余剰分で蓄電池に充電し、太陽光発電の不足時に蓄電池の放電により電力不足分を補う。

◎運転モード３
常に蓄電池が満充電になるまで充電し、停電に備えた状態を保持する。

2　自立運転

停電時は系統電源から切離し、自立運転により太陽光発電と蓄電池からバックアップ回路へ電力供給を行う。
復旧にあたっては手動で切替を行うこととする。（自動復旧も可能）

2．4　系統連系保護機能

本システムにおける連系保護機能装置は、電気設備技術基準に沿って設置するものとする。
電気設備技術基準解釈による保護継電器の種類・設置相数・検出場所を表－１に示す。

表－１

保護継電器の種類	設置相数	検出場所
（2）過電圧継電器　（ＯＶＲ）	２相	インバータ出力点など低圧回路の検出可能な場所
（3）不足電圧継電器　（ＵＶＲ）	２相	
（4）周波数上昇継電器（ＯＦＲ）	１相	
（5）周波数低下継電器（ＵＦＲ）	１相	
（6）単独運転検出機能（受動・能動）	１相	

※電力会社と事前協議し、必要と認められた場合設置。

2．5　納入機器範囲

納入機器は表－２に示す通りとする。

表－２

ＮＯ	機器名	仕　様	数量	備　考
1．	太陽電池モジュール	※１	64枚	合計15.3ｋW
2．	太陽電池架台	横置	１式	
3．	パワーステーションダブル１（ベース１含む）	屋内/屋側5．5ｋW	１台	３台合計で屋内/屋側１６．５ｋW
4．	パワーステーションダブル２（ベース２含む）	屋内/屋側5．5ｋW	１台	
5．	パワーステーション	屋内/屋側5．5ｋW	１台	
6．	リモコン設定器	屋内	３台	
7．	接続箱	屋内・屋側	３台	
8．	バッテリーボックス（１１．２ｋWｈ）	屋内１１．２ｋWｈ	１台	合計１６．２ｋW
9．	リチウムイオン蓄電池ユニット	屋内5．０ｋWｈ	１台	
１０．	系統・自立切替器	屋内	１台	
１１．	電力切替ユニット	屋内	１台	
１２．	計測装置	屋内	１式	
１３．	表示装置	屋内	１台	

※１単結晶系ハイブリッド型シリコン太陽電池（単結晶ヘテロ接合型太陽電池）

3．機器仕様

3．1　太陽電池モジュール

種類　：単結晶系ハイブリッド型シリコン太陽電池（単結晶ヘテロ接合型太陽電池）
容量　：240W
外形寸法　：図面参照
出力特性　：表－３参照

太陽電池モジュール電気出力特性表（参考値）　　表－３　特性表

項　目		単　位	特 性 値
最 大 出 力	Ｐm	W	240
最大出力動作電圧	Ｖpm	V	43.0
最大出力動作電流	Ｉpm	A	5.59
開 放 電 圧	Ｖoc	V	52.7
短 絡 電 流	Ｉsc	A	6.00

条件　：　ＡＭ１．５　全天日射基準太陽光
　　：　放射強度　１０００Ｗ／ｍ²　　モジュール温度　２５℃

3．2　太陽電池架台

構造　：陸屋根、傾斜屋根、他設置場所に適合する構造とする
外形寸法　：別途図面を参照
材質　：一般構造用鋼　溶融亜鉛メッキ処理同等品とする（高耐食性メッキ鋼板も含む）
強度　：関係法規に基づき必要な強度を有するものとする。

3．3　パワーステーションダブル１（ベース１含む）

蓄電池入出力
　定格入力電圧　：　ＤＣ９３．６Ｖ
　定格入出力電力　：　１．５Ｗ（充電時）　２．０ｋＷ（放電時）
太陽電池入力
　使用入力電圧範囲　：　ＤＣ７０～４２０Ｖ
　定格入力電力　：　１．６ｋＷ（１入力あたり）
系統連系出力
　定格出力電圧　：　単相２線　（接続方式：単相３線）
　　ＡＣ２０２Ｖ　５０／６０Ｈｚ
　定格出力有効電力　：　５．５ｋＷ
　定格出力皮相電力　：　５．５ｋＶＡ
自立出力
　定格出力電圧　：　単相３線ＡＣ１０１Ｖ／２０２Ｖ　５０／６０Ｈｚ
　定格出力皮相電力　：　２．０ｋＶＡ
　　（パワーステーションダブル２と協調して合計４．０ｋＶＡ出力可能）
その他
　使用周囲温度　：　－２０℃～＋４０℃
　保護等級　：　ＩＰ４４相当
　運転音　：　４５ｄＢ以下
　設置場所　：　屋内／屋側（自立）
　質量　：　約１１０ｋｇ（本体：約５７ｋｇ・ベース１：約５３ｋｇ）
　強度　：　アンカーボルトは耐震計算を実施し選定すること。

3．4　パワーステーションダブル２（ベース２含む）

蓄電池入出力
　定格入力電圧　：　ＤＣ９３．６Ｖ
　定格入出力電力　：　１．５Ｗ（充電時）　２．０ｋＷ（放電時）
太陽電池入力
　使用入力電圧範囲　：　ＤＣ７０～４２０Ｖ
　定格入力電力　：　１．６ｋＷ（１入力あたり）
系統連系出力
　定格出力電圧　：　単相２線　（接続方式：単相３線）
　　ＡＣ２０２Ｖ　５０／６０Ｈｚ
　定格出力有効電力　：　５．５ｋＷ
　定格出力皮相電力　：　５．５ｋＶＡ
自立出力
　定格出力電圧　：　単相３線ＡＣ１０１Ｖ／２０２Ｖ　５０／６０Ｈｚ
　定格出力皮相電力　：　２．０ｋＶＡ
その他
　使用周囲温度　：　－２０℃～＋４０℃
　保護等級　：　ＩＰ４４相当
　運転音　：　４５ｄＢ以下
　設置場所　：　屋側（壁支持自立）
　質量　：　約１０３ｋｇ（本体：約５６ｋｇ・ベース：約４７ｋｇ）
　強度　：　アンカーボルトは耐震計算を実施し選定すること。

3．5　パワーステーション

蓄電池入出力
　定格入力電圧　：　ＤＣ８６．４Ｖ
　定格入出力電力　：　１．５ｋＷ（充電時）　２．０ｋＷ（放電時）
太陽電池入力
　使用入力電圧範囲　：　ＤＣ７０～４２０Ｖ
　定格入力電力　：　１．６ｋＷ（１入力あたり）
系統連係出力
　定格出力電圧　：　単相２線　（接続方式：単相３線）
　　ＡＣ２０２Ｖ　５０／６０Ｈｚ
　定格出力有効電力　：　５．５ｋＷ
　定格出力皮相電力　：　５．５ｋＶＡ
自立出力
　定格出力電圧　：　単相３線ＡＣ１０１Ｖ／２０２Ｖ　５０／６０Ｈｚ
　定格出力皮相電力　：　２．０ｋＶＡ
その他
　使用周囲温度　：　－２０℃～＋４０℃
　保護等級　：　ＩＰ４４相当
　運転音　：　４５ｄＢ以下
　設置場所　：　屋側（壁支持自立）
　質量　：　約１０３ｋｇ（本体：約５６ｋｇ・ベース：約４７ｋｇ）
　強度　：　アンカーボルトは耐震計算を実施し選定すること。

3．6　リモコン設定器

定格電圧　：　ＤＣ１２Ｖ
消費電力　：　２Ｗ以下
使用周囲温度　：　－１０℃～＋４０℃
設置場所　：　屋内（壁掛）
質量　：　２８０ｇ

3．7　接続箱

回路数　：　入力４回路
収納機器　：　入力回路出力回路用開閉器
外形寸法　：　別途図面参照
設置場所　：　屋内／屋側（壁掛）

3．8　バッテリーボックス（１１．２ｋWｈ）

内蔵蓄電池　：　リチウムイオン蓄電池
定格容量　：　１１．２ｋＷｈ
使用周囲温度　：　0℃～＋４０℃
設置場所　：　屋内（自立）
質量　：　約２４６ｋｇ（本体：約１１０ｋｇ・蓄電池部：約１３６ｋｇ）
強度　：　アンカーボルトは耐震計算を実施し選定すること。

3．9　リチウムイオン蓄電池ユニット

定格入出力電圧　：　ＤＣ８６．４Ｖ
定格容量　：　５ｋＷｈ
内蔵蓄電池　：　リチウムイオン
使用周囲温度　：　0℃～＋４０℃
運転音　：　３５ｄＢ以下
設置場所　：　屋内（壁支持自立）

3．10　系統・自立切替器

定格電圧　：　単相３線　ＡＣ１００／２００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
定格電流　：　６０Ａ
設置場所　：　屋内（盤内取り付け）
質量　：　約１２ｋｇ

3．11　電力切替ユニット（切替器）

定格電圧　：　単相３線　ＡＣ１００/２００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
定格電流　：　３０Ａ
消費電力　：　通常時　１．３ＶＡ（切替時約２５ＶＡ）
設置場所　：　屋内（盤内取付）
質量　：　約６．６ｋｇ

3．12　計測装置

1．計測機能
・パワーステーションダブル１、２と通信して太陽光発電電力、蓄電池残量、充放電電力等を取得
　通信方式　：　ＭＯＤＢＵＳ
・取得したデータを一定期間蓄積

2．表示機能
・取得データ、蓄積データ等を表示装置に送信

3．太陽光遠隔出力制御機能
遠隔出力制御指示情報に基づき、パワーステーションダブル１，２の系統連系出力を抑制制御する。

3．13　表示装置

種類　：　液晶モニタ
画面サイズ　：　４２型
アスペクト比　：　１６：９
電源　：　ＡＣ１００Ｖ
外形寸法　：　別途図面参照
設置場所　：　屋内壁掛け

4．工事範囲

4．1　機器据付工事

（1）太陽電池組立取付工事
（2）納入機器取付工事
※架台に設置されない機器の取付は電気工事

4．2　電気工事他

（1）受電盤までの配管配線工事（連系点からキュービクル間）別途工事
（2）計測信号配線工事（別途工事）
（3）基礎工事（別途工事）
（4）接地工事（別途工事）
※太陽電池モジュール間配線以外の全ての配線工事は別途工事とする。

5．試運転・完成検査

5．1モジュール出力検査

（1）各モジュールの試験成績表の出力値がＪＩＳに適合していること。
（2）出力の合計値が３．１に示す容量の合計値以上であること。

5．2　下表４の項目については試運転・検査・測定を行うこと。

ただし、太陽電池の工場立会検査は実施しない。

表－4

項目＼機器	太陽電池	接続箱	パワーステーション	バッテリーボックス リチウムイオン蓄電池ユニット	配線ケーブル	計測システム
外観検査	○	○	○	○	○	○
絶縁抵抗測定	○　注1	○　注1	○　注1		○	
絶縁耐圧	○　注1	○　注1	○　注1			
保護装置特性			○　注1			
システム動作			○			○　注2
出力測定	○　注1		○　注1			

注１）現地検査又は工場検査のいずれかで可。
注２）計測誤差の評価も併せて実施。

6．特記事項

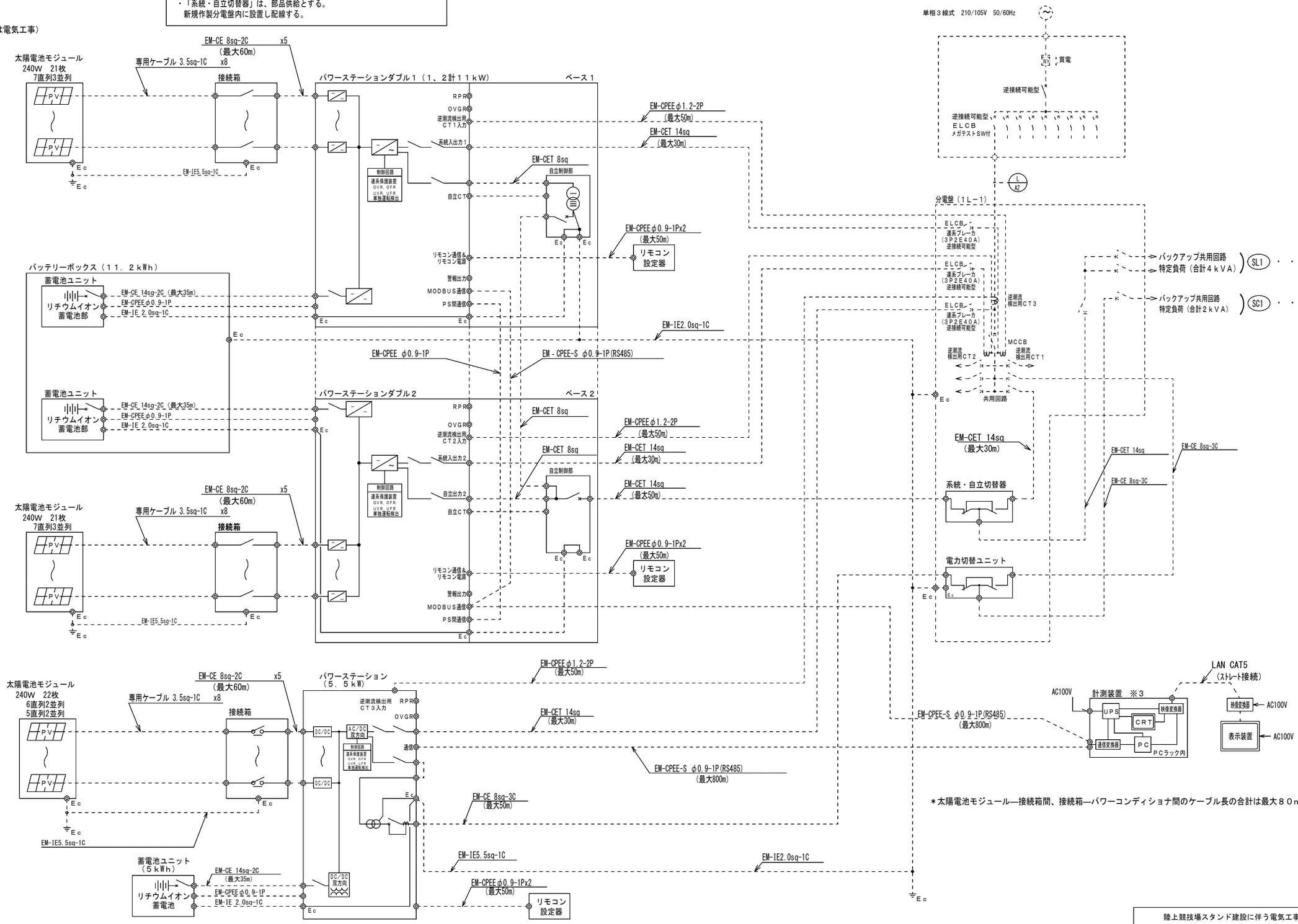
1）図中、仕様は参考とする。

陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事												
							平成 28 年 2 月	図面名称	太陽光発電設備　特記仕様書			
課　長	課長補佐	課長補佐	専門員	主　査	担　当		E-33					
						縮尺	NS	代表者		検図		製図	
豊 橋 市 建 設 部 建 築 課						株式会社 天竜設計			管理建築士／中西兵衛 一級建築士登録第176475号			

凡例

- 太陽光工事（架台に設置されない機器の取付は電気工事）
- 電気工事
- 太陽光工事
- 電気工事（接地工事は電気工事）

・連系ブレーカ、逆潮用ＣＴの位置は当該位置固定
・逆潮用ＣＴを接続する電源線サイズは１５０mm ²以下、定格電流２５５Ａ。
・「系統・自立切替器」は、部品供給とする。
新規作製分電盤内に設置し配線する。



＊太陽電池モジュール―接続箱間、接続箱―パワーコンディショナ間のケーブル長の合計は最大８０ｍ

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事

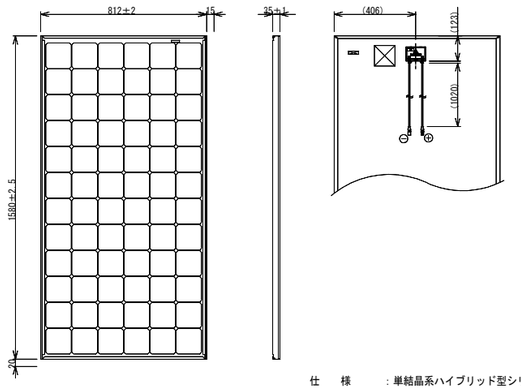
平成 28 年 2 月	図面名称	太陽光発電設備　システム系統図
E-34		
縮尺 NS	代表者	検図　製図

豊橋市建設部建築課

大建設計

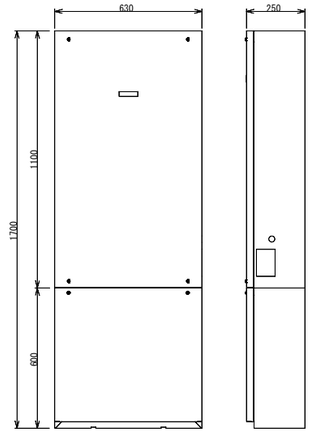
管理建築士/中西兵衛
一級建築士登録第176475号

太陽電池モジュール（参考図）

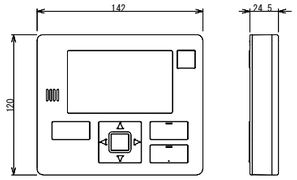


仕　　様　：単結晶系ハイブリッド型シリコン太陽電池
最大出力　：２４０W
質　　量　：１４．０ｋｇ

パワーステーションダブル１、パワーステーションダブル２、パワーステーション、リモコン設定器（参考図）



アンカーボルトは耐震計算を実施し選定すること。



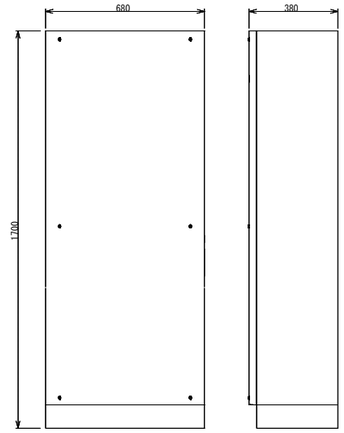
＜リモコン設定器＞
質　　量　：約２８０ｇ

＜パワーステーションダブル１＞
質　　量　：約１１０ｋｇ
材　　質　：鋼板

＜パワーステーションダブル２＞
質　　量　：約１０４ｋｇ
材　　質　：鋼板

＜パワーステーション５．５ｋW＞
質　　量　：約１０３ｋｇ
材　　質　：鋼板

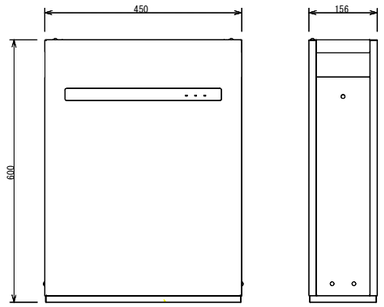
バッテリーボックス（１１．２ｋW）（参考図）



アンカーボルトは耐震計算を実施し選定すること。

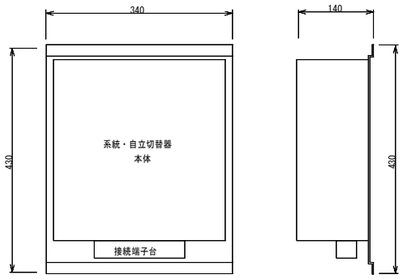
質　　量　：約２４６ｋｇ
材　　質　：鋼板

リチウムイオン蓄電池ユニット＜５ｋｗｈ＞（参考図）



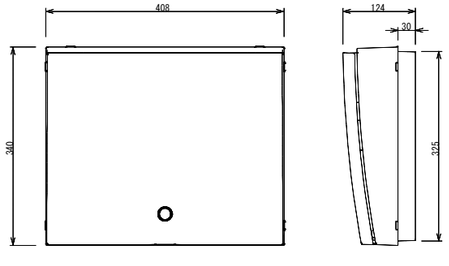
質　　量　：約６０ｋｇ
材　　質　：鋼板

系統・自立切替器（参考図）



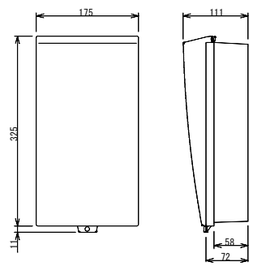
※盤内に収納してください
質　　量　：約１２ｋｇ
材　　質　：鋼板

電力切替ユニット（参考図）



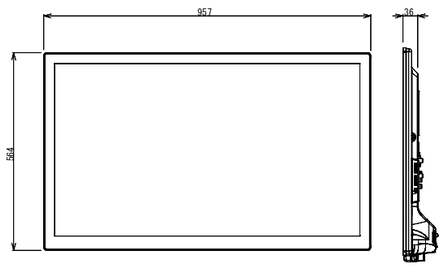
質　　量　：約６．６ｋｇ
材　　質　：合成樹脂製

接続箱〈４回路〉（参考図）



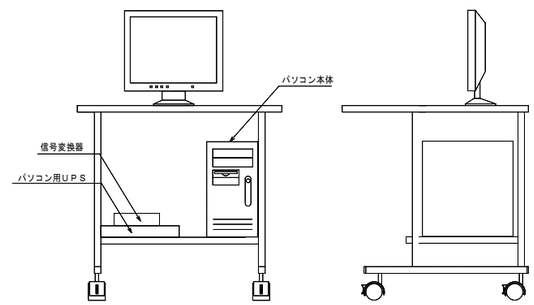
質　　量　：２．０ｋｇ
材　　質　：合成樹脂製

表示装置〈液晶４２インチ〉（参考図）



質　　量　：約１３．５ｋｇ

計測装置(参考図)



※図中、寸法・仕様は参考とする。

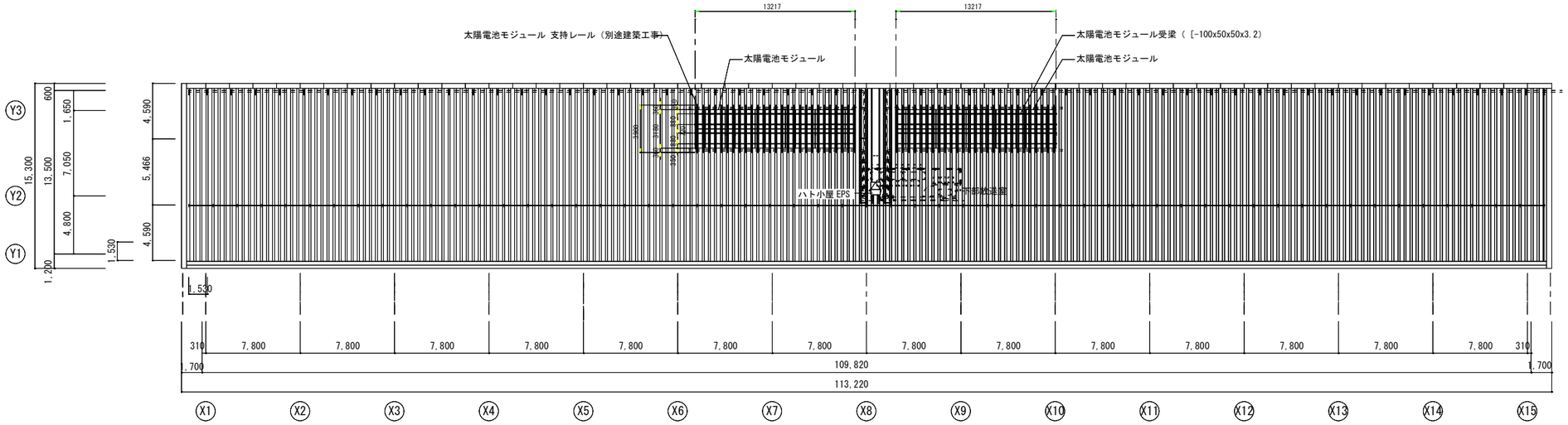
陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事

課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当

平成 28 年 2 月
図面名称　太陽光発電設備　機器姿図
E-35
縮尺　NS
代表者
検図
製図

豊橋市建設部建築課

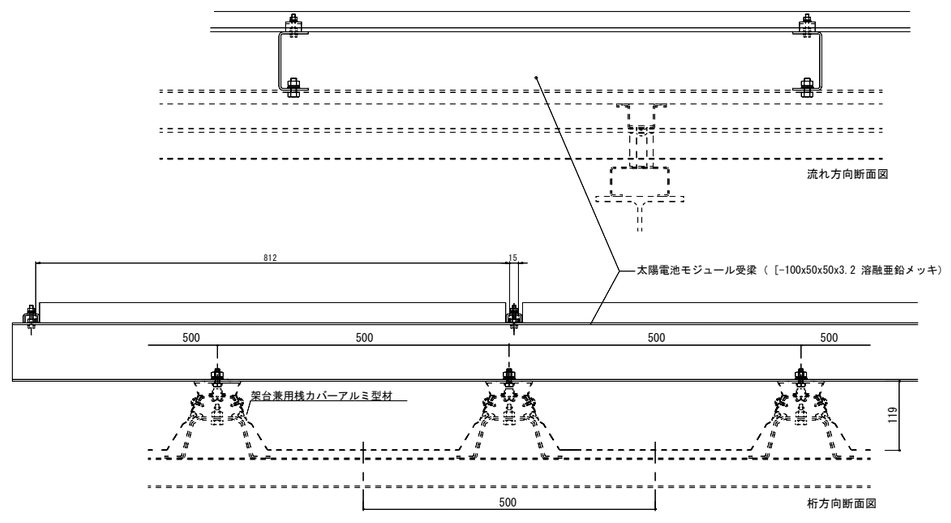
株式会社 矢萬設計
管理建築士／中西兵衛
一級建築士登録第176475号



屋根伏図　1：200

太陽電池架台断面詳細図　1/5

注）実線部本工事
　　取付用ボルト・ナット類は全てステンレス製とする。



陸上競技場スタンド建設に伴う電気工事									
課長	課長補佐	課長補佐	専門員	主査	担当	平成 28 年 2 月	図面名称	太陽光発電設備　架台詳細図	
						E-36			
						縮尺 1:200,1:5 (A1) 1:400,1:10(A3)	代表者	検図	製図
豊橋市建設部建築課						矢萩設計	管理建築士/中西兵衛 一級建築士登録第176475号		

別紙2-1-2 プール解体工事図面

市民プール解体工事

図面リスト

A-01	特記仕様書１
A-02	特記仕様書２
A-03	配置図、案内図
A-04	平面図
A-05 (M-01)	機械設備　配置図
A-06 (E-01)	電気設備　配置図　参考図　引込盤単線結線図
参考図	参考図A-1～12、参考図M12-1～12

原図

令和　４年　６月

課長	主幹	課長補佐		主査	担当
加藤	中野			松井	伊藤

豊橋市建設部建築課

（注記）各図面の原図サイズはＡ２

取 壊 し 工 事 特 記 仕 様 書

令和 4年 5月 16日 改訂

章	節 ・ 項 目	特 記 事 項
1章 各共通事項	1.1.1 一 般 事 項	1.この特記事項以外は下記に準拠する。但し、本工事に関係しない事項は適用しない。 1）豊橋市契約規則 2）工事請負契約書 3）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　建築物解体工事共通仕様書　（令和４年版） 4）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書（建築工事編）　（令和４年版） 5）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）　（令和４年版） 6）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）　（令和４年版） 7）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）　（令和４年版） 8）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）　（令和４年版） 9）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）　（令和４年版） １０）関係法令及び諸工事基準 2.特記事項の適用優先順位　1.⊖（又は○）　2.※　ただし、⊖（又は○）　と　㊒　のある場合は共に適用する。 3.設計図書に関する疑義は原則として、入札執行前に質疑書の提出によって確かめるものとする。 4．本工事特記仕様書は建築物解体工事共通仕様書に対応している。
	1.1.3 官公署その他への届出手続等	工事の着手、施工、完成に当たり、関係官公署その他関係組織への必要な届出手続等を遅滞なく行う。
	1.1.4 工事実績情報の登録	受注者は請負代金額が５００万円以上の工事について（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）の工事実績情報システム（CORINS）に工事実績情報の登録（受注時、変更時、しゅん工時）を行う。その内容については、登録前に監督職員の確認を受ける。 なお、メール送付の承諾有りとする。
	1.1.5　書類の書式等 施工体制台帳	建設業法第２４条の８第１項の規定により作成した施工体制台帳（同項の規定により記載すべきものとされた事項に変更が生じたことに伴い新たに作成されたものを含む。）の写しを監督職員に提出すること。（公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律第１５条）
	施工体系図	下請負契約を締結する場合においては、下請負金額に関わらず施工体系図を作成し、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲示する。
	1.2.3　工事の記録	1．本工事は工事写真について電子納品の対象工事とする。ただし、電子納品ソフトを購入し、基準どおりに整備できない場合は、工事写真台帳ソフト及びWord、Excel形式等で写真データを貼り付けたものを電子媒体へ記録したものでも可とする。 2．電子納品ソフトによる電子媒体での納品の作成については最新の「愛知県電子納品運用ガイドライン」及び［愛知県デジタル写真管理情報基準（案）］に準じて行うものとし、撮影にあたっては本市の工事記録写真撮影要領に基づくものとする。なお、市独自の対応の必要が生じた場合は、施工計画書の提出前までに監督職員と協議し決定する。 3．電子納品の成果品の提出部数については、電子媒体（ＣＤ－ＲまたはDVD-R、ただしDVD-Rとする場合は事前に監督職員の承諾を得る。）２部とし、ビュアーソフトを添付したものする。 4．受注者は、電子納品に必要なハード及びソフト環境の整備を行うとともに、各検査時に写真情報等の閲覧操作用機器を準備するものとする。 5．その他、電子納品に関する関する詳細な取り扱いについては、発注者、受注者協議の上、決定する。
	工事写真	工事写真は必要な文字、数量等の内容が判読できるものとする。 1.工事着手前 工事着手に先立ち、敷地及び周辺の道路、建築物、工作物等の現況を撮影する。 2.工事中 1）右図に示す黒板に所定事項を明記し、工事の進捗状況を撮影、記録すると共に、特に施工後隠ぺい又は埋設される部分は、被写体に幅広テープを添え撮影する。 2）監督職員の指示により適宜提出する。 ※デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得たうえで、「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について」により行うことができる。
	1.3.3　電気保安技術者	⊙ 配置する　・　配置しない
	1.3.5　施工条件	施工条件　⊙ 有(図A-3参照)　・　無
	1.3.6 施工中の安全確保	1．工事中の建築物その他工作物または施設については、南海トラフ地震臨時情報が発表された場合、安全対策を講じた上で、原則として工事を中止するものとする。 2．作業開始前、終了後の現場内外の点検を必ず毎日行うこと。 3．工事施工に当たっては、騒音、埃、運搬等により付近住民に迷惑を及ぼさないよう、対策を十分講ずること。 4．工事用車両の現場進入経路は、近隣の状況を把握し、迷惑をかけないよう配慮すること。
	1.3.8 災害時の安全確保	工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通報するとともに、事故発生報告書を監督職員に速やかに提出する。
	1.3.9　施工中の環境保全等	「土壌汚染対策法」、「県民の生活環境の保全等に関する条例」による措置　・無　・有（詳細は図示による）
	騒音・振動対策	1．解体作業は、原則として破砕工法とし、騒音、振動等に十分配慮すること。 2．「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針（建設大臣官房技術審議官通達）」及び関連法規の規定を厳守し施工する。 また、騒音規制法、振動規制法の規制の対象となる作業（特定建設作業）及び下記に指定した建設機械については、「低騒音型、低振動型建設機械の指定に関する規程」（建設大臣告示）により指定された建設機械を使用する。 作業名：　建設機械名： 作業名：　建設機械名：
	排出ガス対策型建設機械	排出ガス対策型建設機械の適用　⊙ 有り　・ なし （対象機種：バックホウ、車輪式ﾄﾗｸﾀｰｼｮﾍﾞﾙ、ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞｰ、発動発電機、空気圧縮機、油圧ﾕﾆｯﾄ、ﾛｰﾗｰ類、ﾎｲﾙｸﾚｰﾝ（いずれもﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ出力7.5～260ＫＷ）） （対象規制値：排出ガス対策型建設機械指定要領(国土交通省総合政策局）の別表１（１次基準値））
	1.3.10 発生材の処理	1．引き渡しを要するものは、監督職員の指定する場所に整理し、発生物件調書を作成し施設管理者へ引き渡す。 2．本工事で発生する産業廃棄物のうち愛知県内の最終処分場に搬入する産業廃棄物については、愛知県産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。

工事名
工　種
位　置
図　面

章	節 ・ 項 目	特 記 事 項
	その他	1．本工事による動力用水等の手続き及び費用はすべて受注者負担とする。 2．本工事により道路を破損した場合は原型復旧し、維持管理等の一切の費用は受注者負担とする。 3．電気、給水及びガス等設備の切断復旧は、本工事とする。 4．管類の開塞位置を杭等で表示すること。 5．本工事が、公共事業労務調査、共通費実態調査等の対象となった場合は、必要な協力をすること。
	法定外の労災保険	本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
	監理技術者	監理技術者の兼任要件等については「豊橋市及び豊橋市上下水道局発注工事における特例監理技術者及び監理技術者補佐の取り扱いについて」のとおりとする。 （https://www.city.toyohashi.lg.jp/item/88852.htmを参照）
	請負金額内訳書	受注者は、請負金額内訳書を作成し、工事請負契約締結後１４日以内に監督員を通じて発注者に提出しなければならない。 なお、内訳書には、健康保険、厚生年金保険及び雇用保険に係る法定福利費を明示すること。
	建設業退職金共済制度	受注者の社員のみにより工事施工する場合など、この制度の趣旨に該当しない場合は、その旨を監督職員に文書により通知し、建設業共済組合への加入及び掛金収納書を省くことができる。
	工事における高度技術、創意工夫、社会性等の実施状況	受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について工事完了時までに所定の様式により提出することができる。
	工程表	契約約款第３条第１項の規定による「工程表」は、発注者から請求があった時に提出すること。
	実施工程表	工事の着手に先立ち、実施工程表を作成し、監督員の承諾を受けること。
2章 仮設工事	2.2.1 騒音・粉塵等の対策	1．足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（平成21年4月24日厚生労働省労働基準局長　基発第0424002号)に規定する「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の（２）手すり据置方式又は２の（３）手すり先行専用足場方式により行う。 2．解体作業時は、外部足場に原則として防音シートを用い、散水養生を十分に行い、粉塵の飛散を極力なくす。 3．解体養生は監督職員が飛散防止に必要と認めた箇所ができたときは、受注者の責任で速やかに対処処置する。
	2.3.1 監督職員事務所等	1．監督職員事務所　・設ける（　　㎡程度）　※設けない
	受注者事務所等	2．監督職員事務所の標準備品　机、いす、書棚、受注者加入の電話子機 3．工事施工にあたり、安全確保のため仮囲いを設置し、周辺住民通行人に迷惑のかからないよう万全を期す。 なお、出入口の位置等は仮設計画書を作成し、監督職員の承諾を得る。 4．仮囲いは、第三者の出入りができないようにし、作業終了時は閉鎖すること。 5．建設現場標識の位置は監督員の指示により、敷地外より見やすい位置に設置する。（他工事と共同設置を可とする） 6．現場敷地内には、喫煙場所を設けない。
4章 建設廃棄物の処理	4.1.4 建設廃棄物の処理計画	リサイクルガイドライン　別表３に従い分別収集を行う。
	4.3.1 運搬及び処分の委託	引き渡しを要しないものは、すべて場外に搬出し、下記建設副産物の項及び関係法令等に従い、適正に処理する。 処分完了後に、還付されたマニフェストを提示すること。
	4.4.1　再資源化等	工事に伴い発生する指定副産物のうち、次のものは再資源化施設へ搬出する。 ※コンクリート塊　※アスファルトコンクリート塊　※建設発生木材　・（　　） また、鉄骨・建具・ダクト・配管・機器等の金属類については積極的に再資源化を図ること。
	特定建設資材の再資源化等	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律［（平成12年法律第104号）以下「建設リサイクル法」という。］に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、別表１又は３の積算条件を設定しているが、発注者が積算上条件明示した別表の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。ただし、現場条件の変更等、受注者の責によるものでない事項については、この限りでない。

・別表１　建築物に係る解体工事

工程ごとの作業内容及び解体方法	工　程	作業内容	分別・解体等の方法
	・建築設備、内装材等	⊙有 ・無	・手作業 ⊙手作業と機械作業の併用
	・屋根ふき材	⊙有 ・無	・手作業 ⊙手作業と機械作業の併用
	・外装材、上部構造部材	⊙有 ・無	・手作業 ⊙手作業と機械作業の併用
	・基礎、基礎杭	⊙有 ・無	・手作業 ⊙手作業と機械作業の併用
	・その他	⊙有 ・無	・手作業 ⊙手作業と機械作業の併用

・別表３　建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(外構・工作物等)

工程ごとの作業内容及び解体方法	工　程	作業内容	分別・解体等の方法
	・仮設	⊙有 ・無	・手作業 ⊙手作業と機械作業の併用
	・土工	⊙有 ・無	・手作業 ⊙手作業と機械作業の併用
	・基礎	⊙有 ・無	・手作業 ⊙手作業と機械作業の併用
	・本体工事	⊙有 ・無	・手作業 ⊙手作業と機械作業の併用
	・本体付属品	⊙有 ・無	・手作業 ⊙手作業と機械作業の併用
	・その他	⊙有 ・無	・手作業 ⊙手作業と機械作業の併用

4章 建設廃棄物の処理	4.4.3 再資源化完了報告書等	1．発生材については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」及び「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」その他関係法令の規定を遵守し「豊橋市建設副産物リサイクルガイドライン実施要綱」（以下「リサイクルガイドライン」という。）に基づき、適正に処理する。 2．事前に「リサイクルガイドライン」に定める計画書を監督職員に提出する。 3．工事完了時に「リサイクルガイドライン」に定める実施書を監督職員に提出する。

原図

令和 4年 6月

市民プール解体工事					
図面番号	A-01	縮尺		図面名称	特記仕様書1
豊橋市建設部建築課					

取 壊 し 工 事 特 記 仕 様 書

令和 4年 5月 16日　改訂

章	節・項目	特記事項
5章 特別管理産業廃棄物の処理等	4節 特別管理産業廃棄物の処理等	
	5.4.1 特別管理産業廃棄物の処理等	撤去したＰＢＣを含む機器のメーカー名・型番・製造年月日及びＰＣＢ入りとそうでないもののリストを作成して提出する。 ＰＣＢを使用している機器は、適切な容器に収めた上で施設管理者に引き渡す。次の物品はＰＣＢの混入が疑われるため、専門の分析機関に依頼し、その有無を確認する。 昭和47年以前の建築物：ポリサルファイド（チオコール）系コーキング 平成元年以前の建築物：蛍光灯安定器、コンデンサ、リアクトル、コンデンサ用放電コイル、変圧器（絶縁油中の濃度0.5mg/kg以下のものは対象外） 上記以外においても、ＰＣＢ混入の恐れがある場合は、監督職員と協議の上、確認すること。 微量ＰＣＢの分析調査　・行う　⊙行わない
6章 石綿含有建材の除去及び処理	1節 6.1.1 一般事項 6.1.3 施工調査 6.1.4 石綿粉じん濃度測定	大気汚染防止法に基づき、適正に対応すること。 石綿含有吹付け材、石綿保温材等及び石綿含有成形板の処理に当たっては、建築物解体工事共通仕様書６章「石綿含有建材の除去及び処理」及び公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)９章１節「石綿含有建材の除去工事」に基づき適切に処理すること。 石綿含有調査　⊙行わない　・行う（調査範囲：　分析方法：　） 調査報告書の貸与　⊙有（ 豊橋市三の丸会館アスベスト分析調査委託業務 報告書 ）　・無 石綿含有吹付け材の除去を行う場合は、下記により、石綿粉じん濃度測定を行うこと。 測定時期／測定場所／測定箇所数／備考 処理作業前／①施工区画周辺又は敷地境界／４方向各１点／(注)１ 処理作業中／②セキュリティゾーン入口／１点／空気の流れを確認 (注)１ 処理作業中／③集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）／１点／集じん・排気装置の性能確認 (注)１ 処理作業中／④施工区画周辺又は敷地境界／４方向各１点／(注)１ 処理作業後 隔離シート撤去前／⑤処理作業室（隔離された区域）内／２点 (注)２／(注)３ (注)１　速報値で１０f/L以上検出された場合は、直ちに作業を中止し、その原因を確認すること。 (注)２　各施工箇所ごとの室面積が１０㎡以下は１点、５０㎡以下までは２点、３００㎡以下までは３点とする。 ３００㎡を超えるものは、３００㎡ごとに１測定点を追加する。 (注)３　粉じん測定は、粉じん飛散抑制剤を散布した翌日とし、速報値で１０f/L以下であることを確認した後、シートの撤去を行うこと。 粉じん濃度測定結果報告書　※　２部　・（　部） 石綿則第6条による隔離措置と「同等以上の効果を有する措置」により除去等作業を行う場合、上表のうち、①及び④を実施する。
	6.2.2 作業主任者	石綿作業主任者技能講習修了者または平成１８年３月以前の特定化学物質作業主任者の有資格者の内から石綿作業主任者を選任し、法令に基づき、作業の方法、労働者の指導等必要な措置を行うこと。
	6.3.2 工法	・除去工法　・封じ込め工法　・囲い込み工法
7章	3節 7.3.2 特定物質	撤去時のフロンの取扱いは、「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」に基づいて行うこと。

取壊し工事ｱｽﾍﾞｽﾄ粉じん濃度測定実施要領（案）２０１３/７/１

第１　この要領は、建築課の実施する取壊し工事に適用する。
ただし、吹付け石綿除去工事のある場合は、本要領によらずに公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成３１年版(以下「標準仕様書」という)によるものとする。
第２　測定方法及び測定機関は、標準仕様書の９．１．１（ｅ）による。
第３　測定場所は、敷地境界４方向で各１点とし、測定時期は原則として取壊し作業前、取壊し作業中の２回とする。
第４　取壊し作業前、取壊し作業中の測定結果は速やかに監督職員に報告すること。作業中の測定濃度において、その数値が１０ｆ／Lを超えた場合は、作業を直ちに中止してその発生源を特定して必要な措置を講じた後、監督職員の承諾を得て作業を再開できるものとする。
(2)工事再開後、受注者の責任で再度、濃度測定を行い、速やかに監督職員に報告すること。

東洋ゴム化工品(株)及びニッタ化工品(株)で製造された製品・材料を用いる場合

受注者は、東洋ゴム化工品(株)、ニッタ化工品(株)で製造された製品や材料(以下、ゴム製品等とする。)を用いる場合には、同社が製造するゴム製品等に対して受注者が指定した第三者(東洋ゴム化工品(株)、ニッタ化工品(株)と資本面・人事面で関係がない者)によって作成された品質を証明する書類を提出し、監督職員の確認を得るものとする。
なお必要な品質証明書は、以下の試験及び検査において、製品に応じて必要な規格について取得するものとする。

試験名	計測項目
通常状態での試験（常態試験）	硬さ、比重、引張強度、伸び
熱老化試験	熱老化前後での変化率（硬さ、比重、引張強度、伸び）
圧縮永久ひずみ試験	圧縮による残留歪み
製品検査	外観、寸法、性能

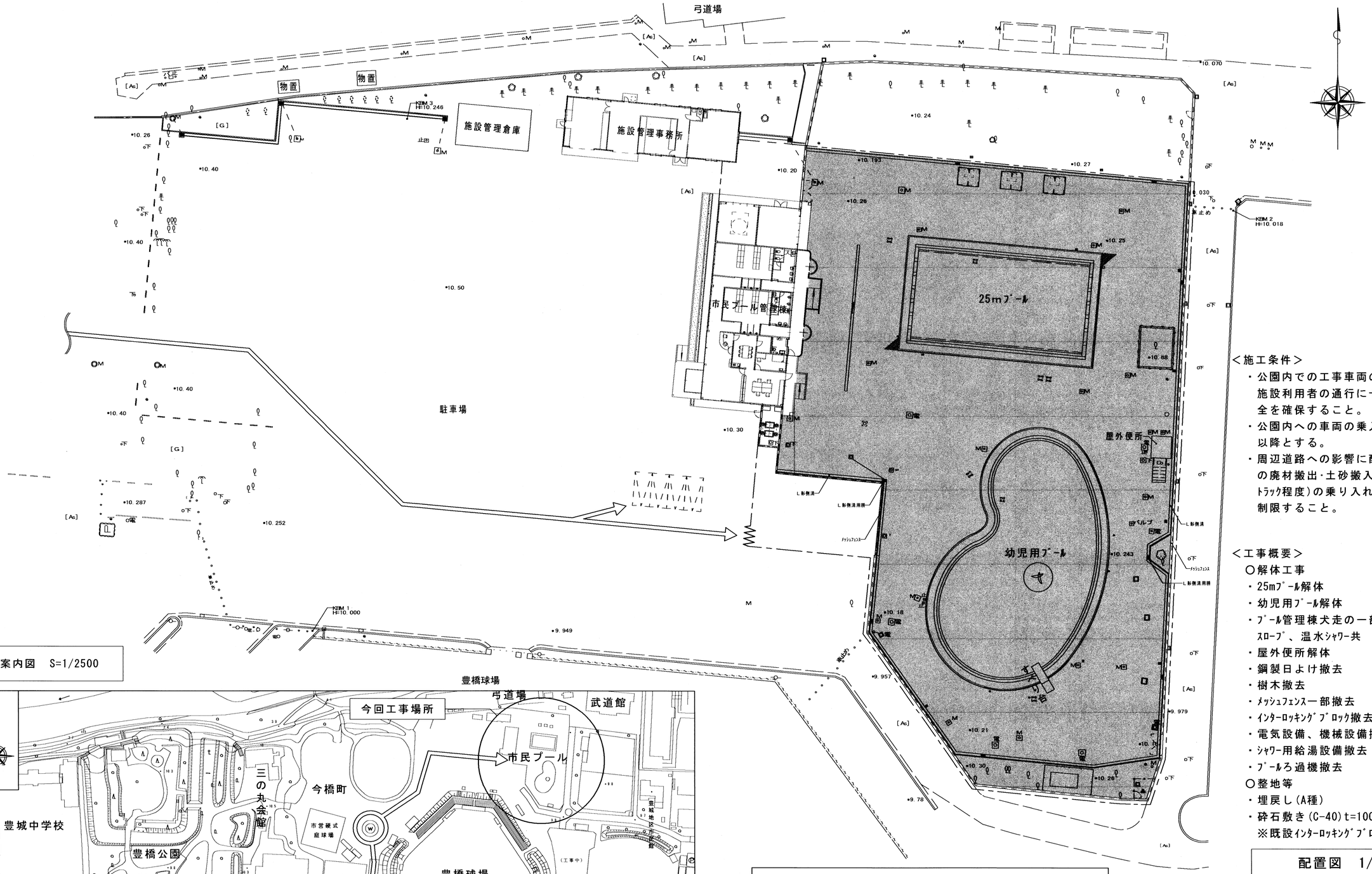
ただし、第三者による品質証明書類を提出し監督職員の確認を得た場合であっても、後に製品不良等が判明した場合に受注者の契約不適合責任が免責されるものではない。

特記事項
○本工事は、豊橋市週休2日モデル工事試行要領に基づく対象工事である。

原図

令和 4年 6月

市民プール解体工事					
図面番号	A-02	縮尺		図面名称	特記仕様書2
豊橋市建設部建築課					



案内図　S=1/2500

［凡例］

- ：施工範囲
- ：工事車両進入経路
- ：工事車両駐車場
- ：仮囲い（ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ（全面ﾊﾟﾈﾙ）H=1,800）
- ：ｷｬｽﾀｰｹﾞｰﾄ（W=3,000、H=1,800）

＜施工条件＞

- 公園内での工事車両の通行に際しては、施設利用者の通行に十分に注意して安全を確保すること。
- 公園内への車両の乗入は、午前8時30分以降とする。
- 周辺道路への影響に配慮し、公園内への廃材搬出･土砂搬入用の大型車両（4tﾄﾗｯｸ程度）の乗り入れは毎時6台程度に制限すること。

＜工事概要＞

○解体工事

- 25mﾌﾟｰﾙ解体
- 幼児用ﾌﾟｰﾙ解体
- ﾌﾟｰﾙ管理棟犬走の一部撤去
  ｽﾛｰﾌﾟ、温水ｼｬﾜｰ共
- 屋外便所解体
- 鋼製日よけ撤去
- 樹木撤去
- ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽｰ部撤去
- ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ撤去
- 電気設備、機械設備撤去
- ｼｬﾜｰ用給湯設備撤去
- ﾌﾟｰﾙろ過機撤去

○整地等

- 埋戻し（A種）
- 砕石敷き（C-40）t=100（　　の範囲）
  ※既設ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ面高さに合わせる

配置図　1/400

原図

令和 4年 6月

市民プール解体工事					
図面番号	A-03	縮尺	1/2500 1/400	図面名称	案内図　配置図

豊橋市建設部建築課

植栽抜根
H=10m程度 5本
H= 5m程度 2本
H= 2m程度 1本
植栽伐採
H=10m程度 2本

屋外便所解体
（参考図A-6参照）

ｶｰﾃﾝｼｬﾜｰ撤去
（参考図A-6参照）

花壇撤去
（参考図A-7参照）

L型側溝(250B)撤去

ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ撤去
（基礎共）

鋼製日よけ撤去
（参考図A-11,12参照）

ﾊﾟﾈﾙﾌｪﾝｽ撤去
（基礎共）

幼児用ﾌﾟｰﾙ解体
（参考図A-3,4,5参照）

400
1,400

FRP製滑り台撤去
（参考図A-8参照）

FRP製ﾓﾆｭﾒﾝﾄ(H=2.0m程度)2箇所移設
：ﾓﾆｭﾒﾝﾄ基礎(RC造t=250)を400×800程度(2箇所)に切り出した後、
市民ﾌﾟｰﾙ管理棟機械室内(ﾌﾟｰﾙろ過機撤去後)に移設

ｼｬﾜｰ用給湯設備撤去
設備基礎共

25mﾌﾟｰﾙ解体
（参考図A-1,2参照）

ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ撤去
（参考図A-7参照）

10,000

15,300

ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ撤去
（基礎共）

U字側溝撤去(W=250)

支柱埋込部周りはつりの上、引抜撤去
撤去穴ﾓﾙﾀﾙ詰め補修

ﾌﾟｰﾙろ過機撤去

市民プール管理棟

凡例

：ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀｰ入れ

：犬走及びｽﾛｰﾌﾟ撤去範囲(参考図A-10参照)
（ｽﾃﾝﾚｽ手摺、温水ｼｬﾜｰ支柱、基礎共）

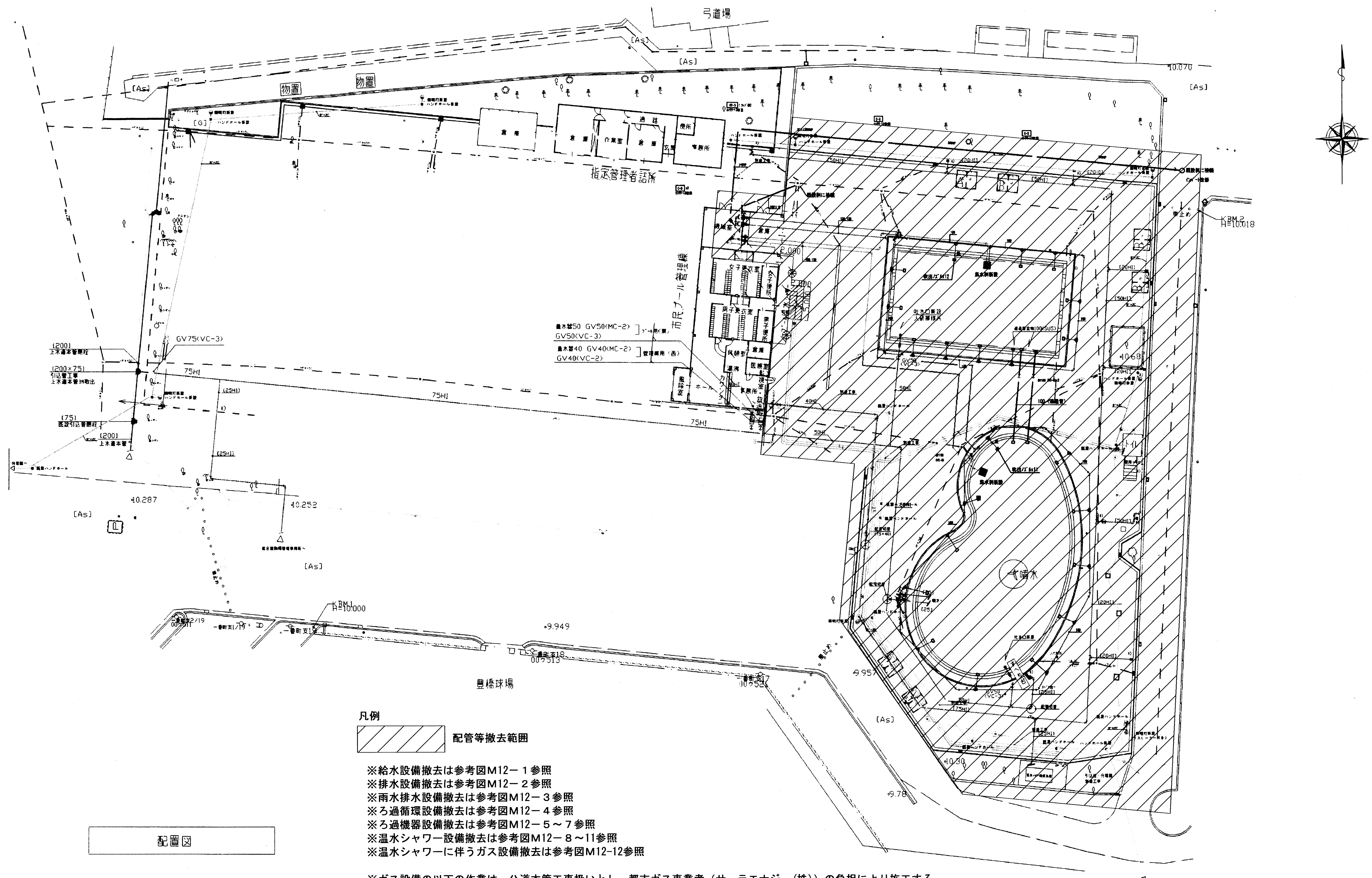
平面図　1/200

原図

令和 4年 6月

市民プール解体工事					
図面番号	A-04	縮尺	1/200	図面名称	平面図

豊橋市建設部建築課



凡例

配管等撤去範囲

※給水設備撤去は参考図M12－１参照
※排水設備撤去は参考図M12－２参照
※雨水排水設備撤去は参考図M12－３参照
※ろ過循環設備撤去は参考図M12－４参照
※ろ過機器設備撤去は参考図M12－５～７参照
※温水シャワー設備撤去は参考図M12－８～11参照
※温水シャワーに伴うガス設備撤去は参考図M12-12参照

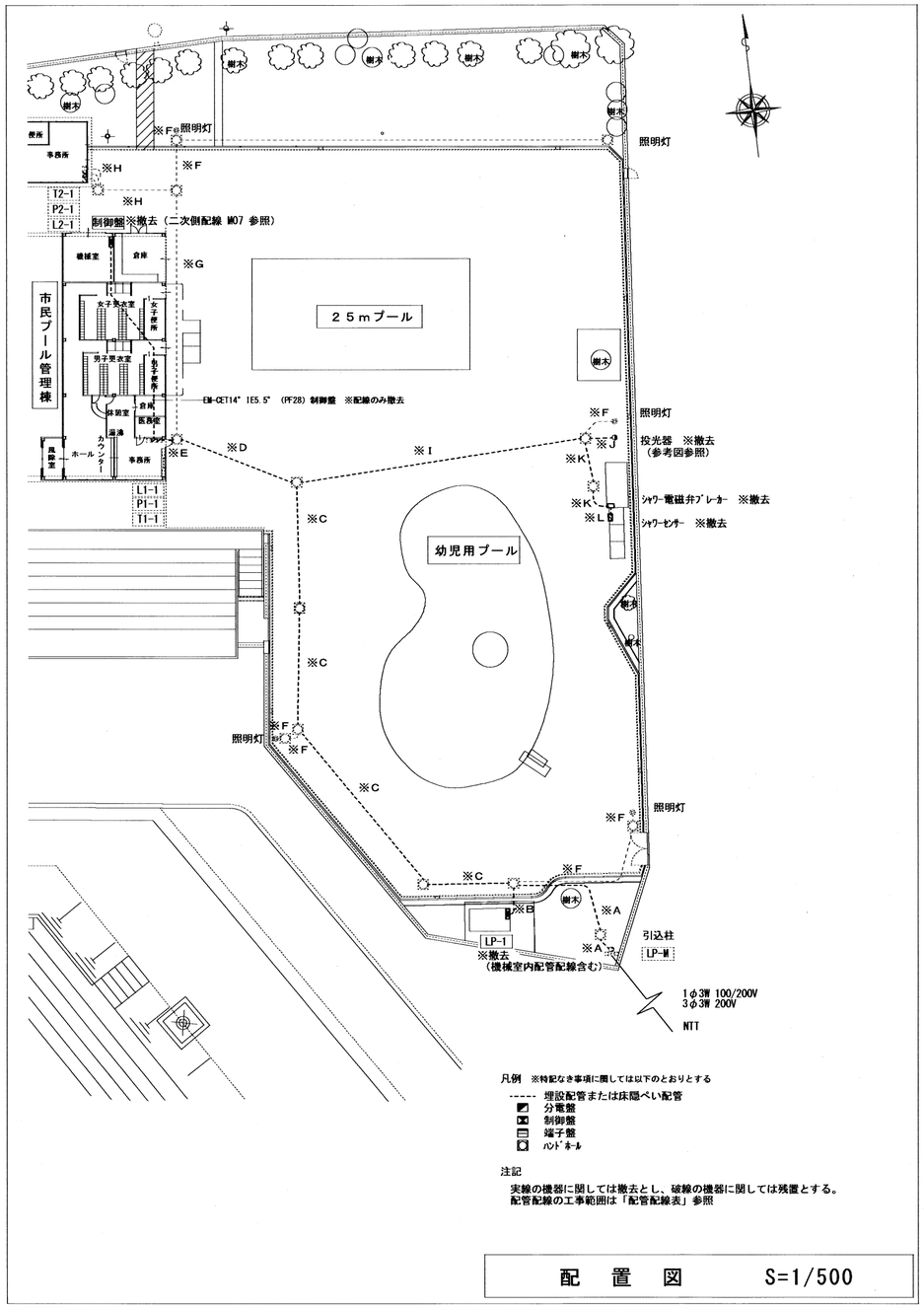
※ガス設備の以下の作業は、公道本管工事扱いとし、都市ガス事業者（サーラエナジー(株)）の負担により施工する。
- ・ガスメーター取外し作業
- ・ガス管切断作業
- ・ガス管閉管作業
- ・管内ガス抜き作業

本件について、都市ガス事業者と協議済み。
ガス管撤去予定日の1か月前に、都市ガス事業者へ連絡しガス管閉管作業の日程調整を行うこと。
ガス管閉管作業に必要な舗装はつり範囲の詳細について都市ガス事業者と調整すること。
ガス管閉管作業に伴う舗装のはつり補修は本工事で行う。

原図

令和４年　６月

市民プール解体工事					
図面番号	A-05 (M-01)	縮尺	1/400(A2)	図面名称	機械設備　配置図
豊橋市建設部建築課					



凡例 ※特記なき事項に関しては以下のとおりとする

- ----- 埋設配管または床隠ぺい配管
- 分電盤
- 制御盤
- 端子盤
- ハンドホール

注記

実線の機器に関しては撤去とし、破線の機器に関しては残置とする。
配管配線の工事範囲は「配管配線表」参照

配　置　図　　S=1/500

配管配線表

引込

			露出
3φ3w	EM-CET 38°	——	GPZ54
1φ3w	EM-CET 60°	——	GPZ54
TEL	NTT電話線	——	GPZ28
ヨビ	—CC—	——	GPZ28

※A

		地中	露出	
P1-1	EM-CET 60°	FEP65	GPZ54	
L1-1	EM-CET 100°	FEP80	GPZ70	
LP-1動力	EM-CE 14° -3c	FEP30	GPZ28	※配線のみ撤去
LP-1電灯	EM-CE 3.5° -3P	FEP30	GPZ28	※配線のみ撤去
TEL	NTT電話線	FEP30	GPZ28	
ヨビ	—CC—	FEP30	GPZ28	

※B

		地中	
LP-1動力	EM-CE 14° -3c	FEP30	※配線のみ撤去
LP-1電灯	EM-CE 3.5° -3P	FEP30	※配線のみ撤去

※C

		地中
P1-1	EM-CET 60°	FEP65
L1-1	EM-CET 100°	FEP80
TEL	NTT電話線	FEP30
ヨビ	—CC—	FEP30
照明灯	EM-CE 5.5° -2C	FEP30

※D

		地中	
P1-1	EM-CET 60°	FEP65	
L1-1	EM-CET 100°	FEP80	
TEL	NTT電話線	FEP30	
ヨビ	—CC—	FEP30	
照明灯	EM-CE 5.5° -2C	FEP30	
投光器	EM-CE 14° -2c	FEP30	※配線のみ撤去
放送	EM-AE 1.2-2c	FEP30	※配線のみ撤去
シャワー	EM-CE 3.5° -2P	FEP30	※配線のみ撤去

※E

		地中	
P1-1	EM-CET 60°	FEP65	
L1-1	EM-CET 100°	FEP80	
P2-1	EM-CET 14°	FEP30	
L2-1	EM-CET 38°	FEP65	
TEL	NTT電話線	FEP30	
TEL	EM-CPEE0.65-5P	FEP30	
ヨビ	—CC—	FEP30	
ヨビ	—CC—	FEP30	
照明灯	EM-CE 5.5° -2C	FEP30	※配線のみ撤去（ハンドホール内切断後、絶縁処理）
投光器	EM-CE 14° -2c	FEP30	※配線のみ撤去
放送	EM-AE 1.2-2c	FEP30	※配線のみ撤去
シャワー	EM-CE 3.5° -2P	FEP30	※配線のみ撤去

※F

		地中
照明灯	EM-CE 5.5° -2C	FEP30

※G

		地中	
P2-1	EM-CET 14°	FEP30	
L2-1	EM-CET 38°	FEP65	
照明灯	EM-CE 5.5° -2C	FEP30	
TEL	EM-CPEE0.65-5P	FEP30	
ヨビ	—CC—	FEP30	

※H

		地中	
P2-1	EM-CET 14°	FEP30	
L2-1	EM-CET 38°	FEP65	
照明灯	EM-CE 5.5° -2C	FEP30	
TEL	EM-CPEE0.65-5P	FEP30	
ヨビ	—CC—	FEP30	

※I

		地中	
照明灯	EM-CE 5.5° -2C	FEP30	
投光器	EM-CE 14° -2c	FEP30	※配線のみ撤去
放送	EM-AE 1.2-2c	FEP30	※配線のみ撤去
シャワー	EM-CE 3.5° -2P	FEP30	※配線のみ撤去
ヨビ	—CC—	FEP30	

※J

		地中	露出	
投光器	EM-CE 14° -2c	FEP30	GPZ28	※配線のみ撤去
放送	EM-AE 1.2-2c	FEP30	GPZ28	※配線のみ撤去

※K

		地中	埋込	
シャワー	EM-CE 3.5° -2P	FEP30	C19	※撤去

※L

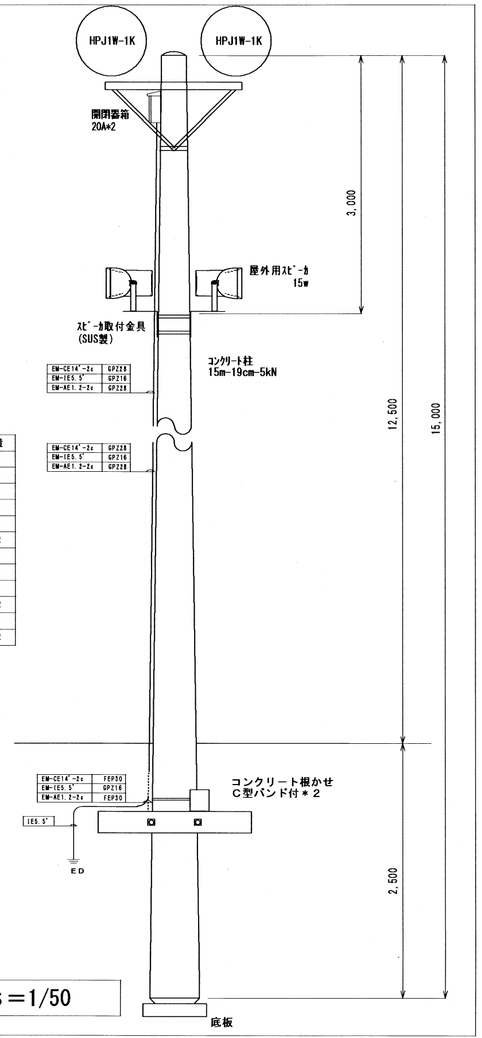
			埋込	
シャワーセンサー	EM-AE 1.2-2c		C19	※撤去

凡例

施工範囲

投光器



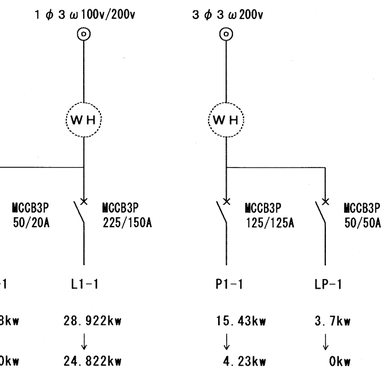


投光器部品リスト

名　称　・　仕　様	数量
灯具　　ＨＰＪ１Ｗ－１Ｋ	1
ランプ　　Ｍ－１０００	1
安定器　　一般型高力率200v	1
2灯用投光器台	1
投光器台バンド	1
電力柱取付バンド	2
安定器取付台	1
安定器取付架台支持金具	1
斜めサポート	1
安全ブレーカー　2P2E20A200v	2
ブレーカーボックス（SUSWP）	1
ボックス取付バンド	2

参　考　図　　S＝1/50

ＬＰ－Ｍ



	LP-1	L1-1	P1-1	LP-1
改修前	0.98kw	28.922kw	15.43kw	3.7kw
改修後	0kw	24.822kw	4.23kw	0kw

※電力供給者（中部電力ミライズ）に対し、契約容量変更手続を行うこと。

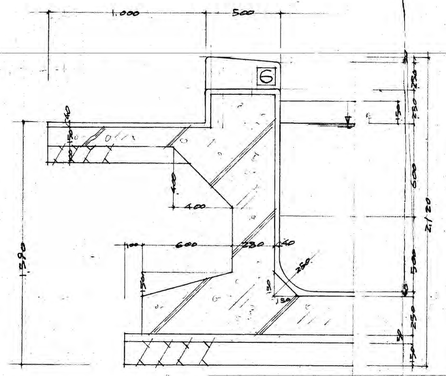
引込盤単線結線図　　S＝NS

原図

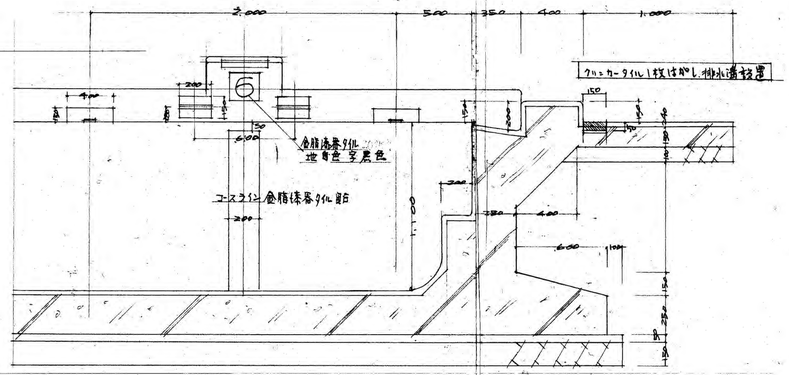
令和　4年　6月

市民プール解体工事					
図面番号	A-06 (E-01)	縮尺	1/400(A2) 1/50(A2) NS	図面名称	電気設備 配置図　参考図 引込盤単線結線図

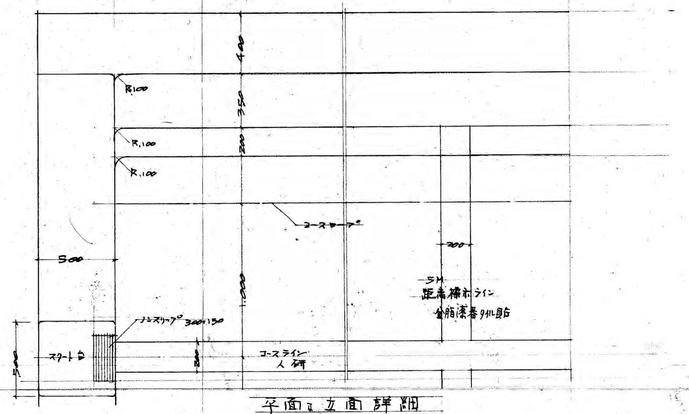
豊橋市建設部建築課



スタート台詳細

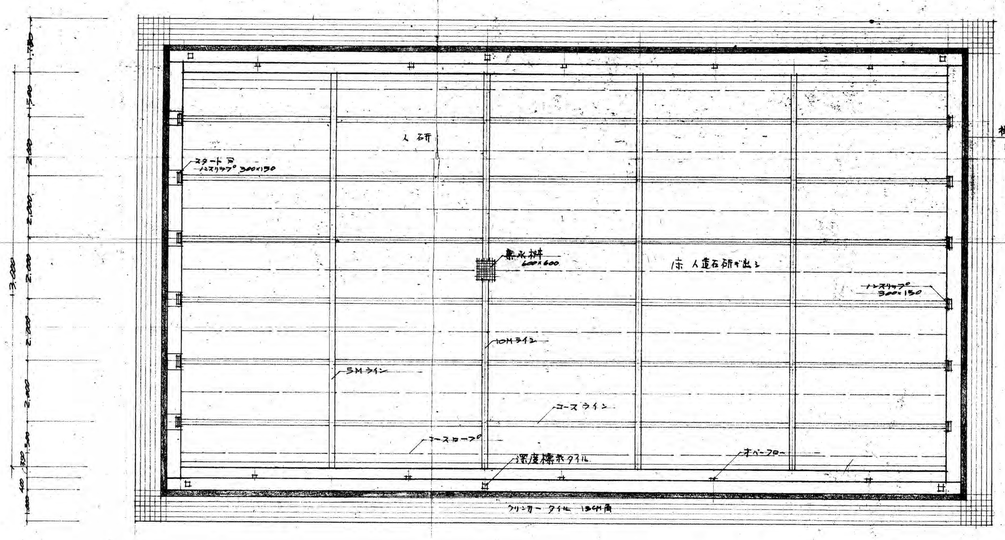


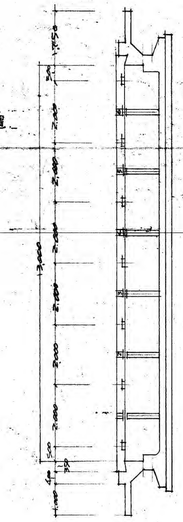
正面 側壁断面詳細 1/20

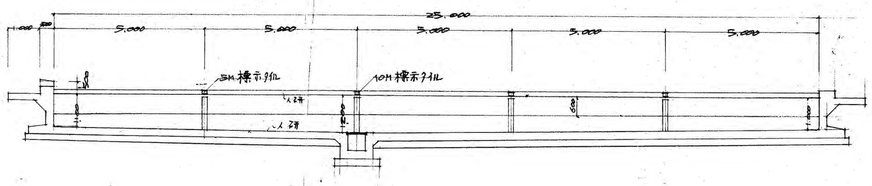


平面及立面詳細

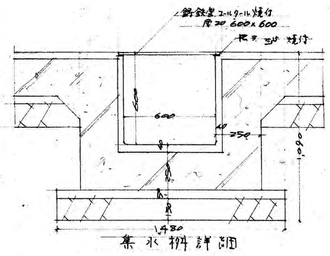




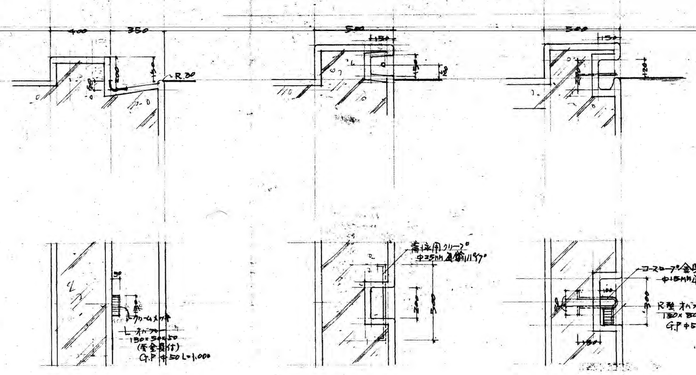




平面、断面図 S1:100



集水桝詳細



オーバフロー目皿　背泳用グリップ詳細　コースロープ錘金具詳細 1/20

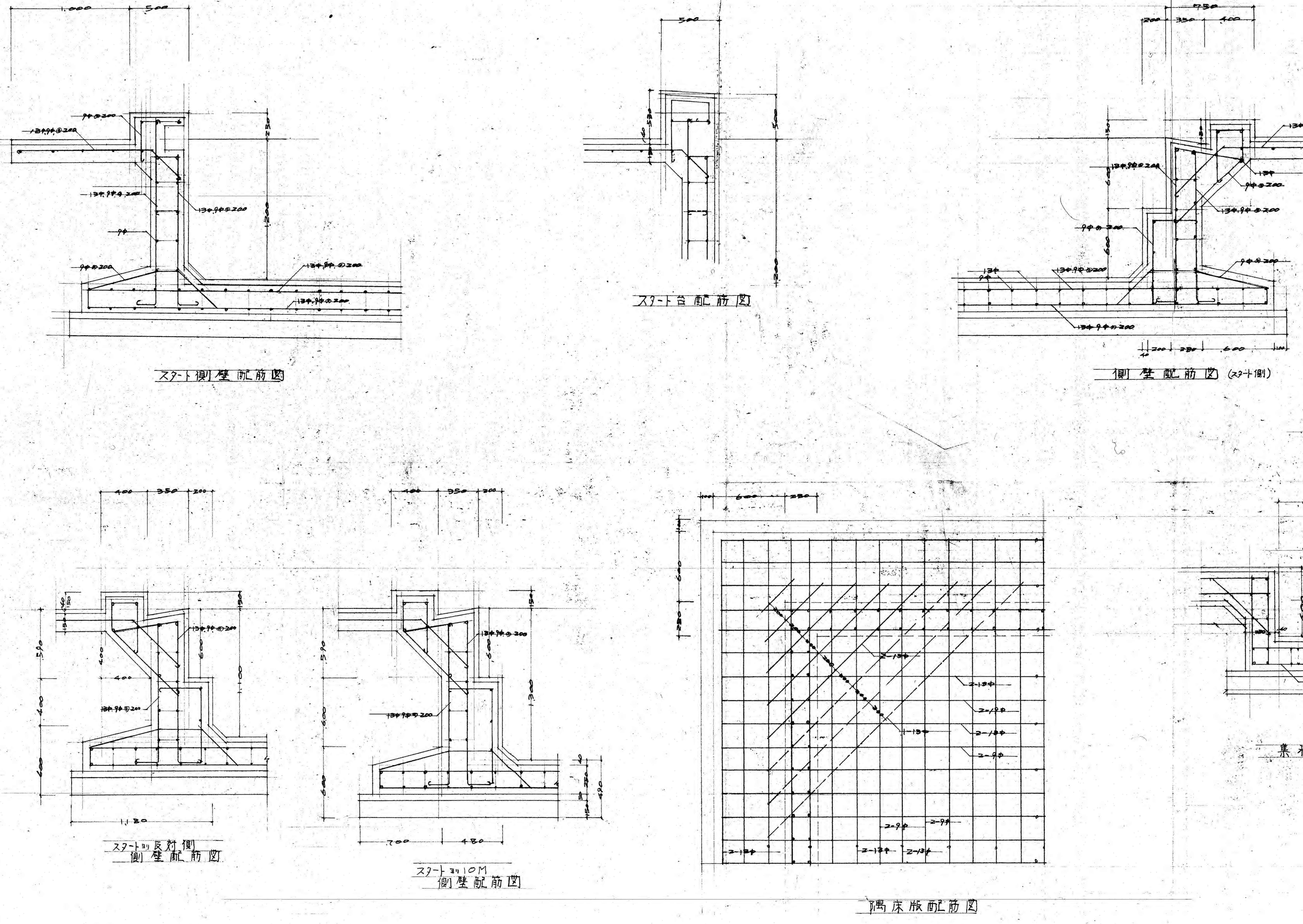


深度標示タイル S1:10

5

豊橋市市民プール新設工事								
昭和37年12月	図面名称	25mプール	一般図					
起工 37 — 5	決裁	課長	課長補佐	係長	主任	設計		
縮尺	1:100 1:20 1:10							
豊橋市建築課								

参考図A-1



参考図A-2

6

豊橋市 市民プール新設工事

昭和 39年 12月

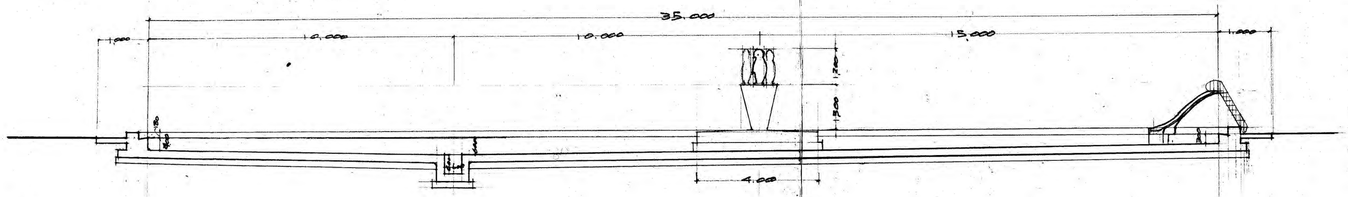
32―― 6

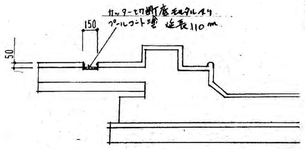
図面名称: 25M プール 配筋図

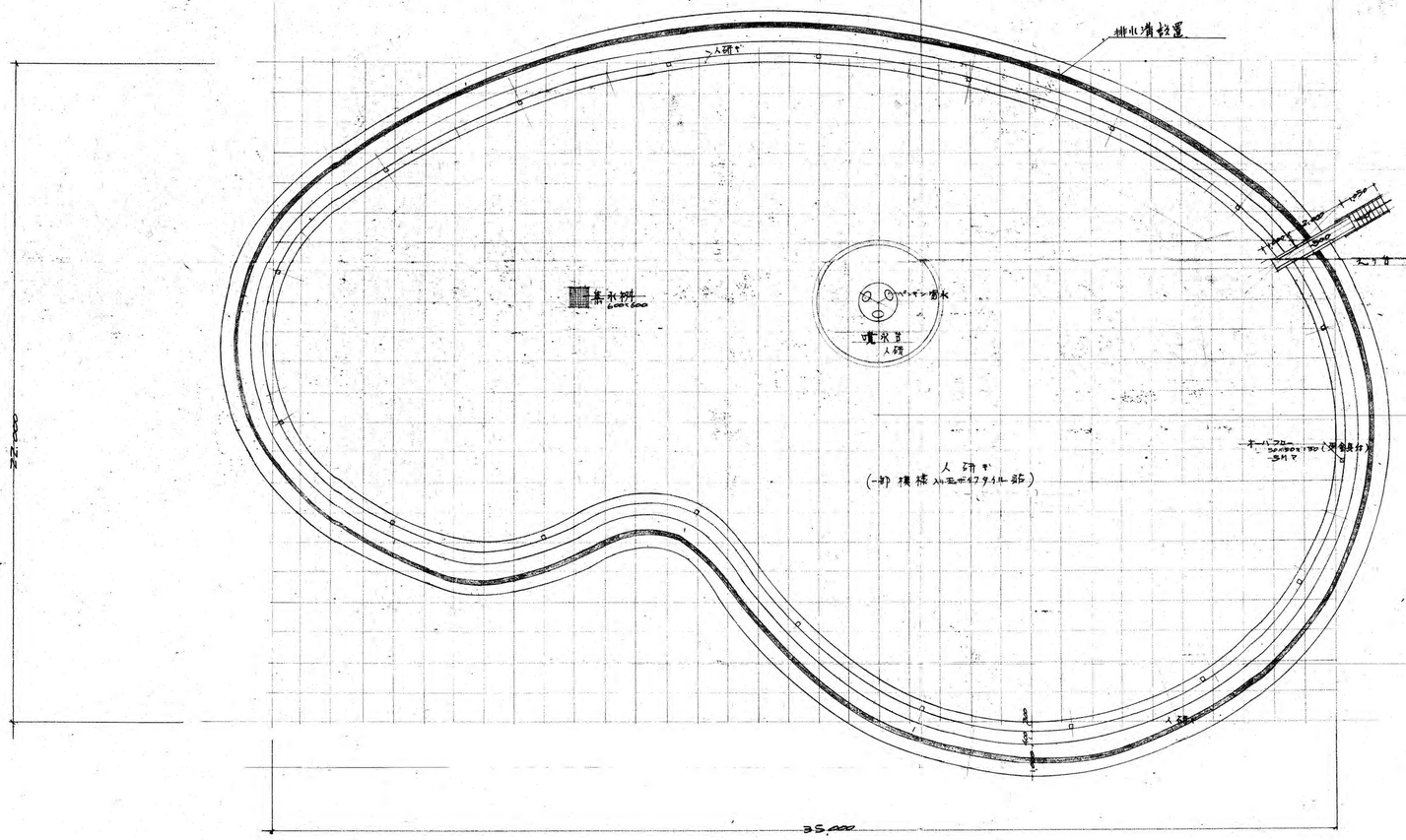
縮尺 1:20

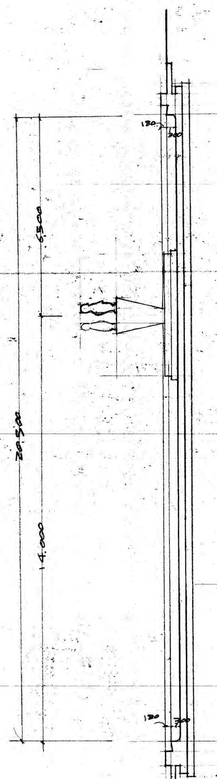
課長 / 課長補佐 / 係長 / 設計

豊 橋 市 建 築 課







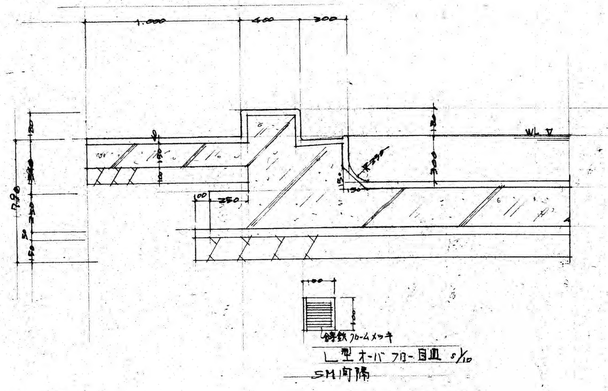


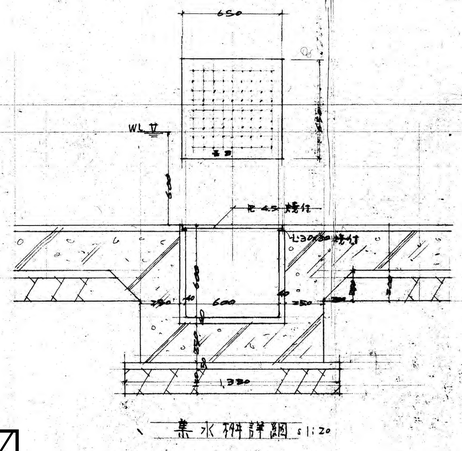
徒渉池平面図 1:100

参考図A-3

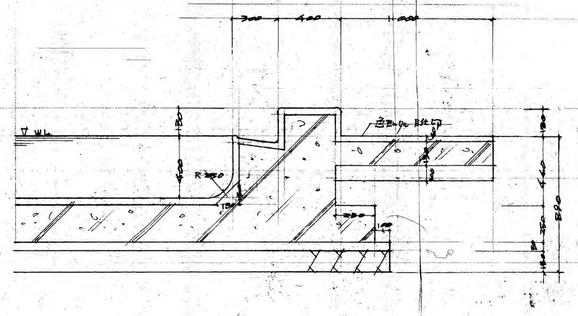
7

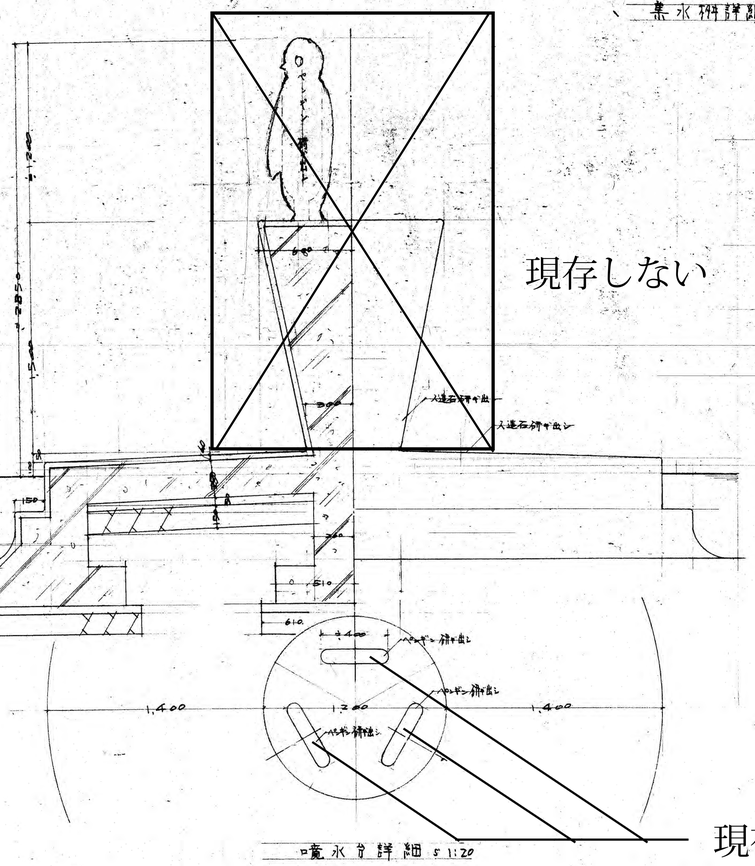
豊橋市市民プール新設工事					
昭和 39年 12月	図面	徒渉池			
A3 — 7	名称	平面図	断面図		
縮尺 1:100	課長	係長	係	設計	
豊橋市建築課					



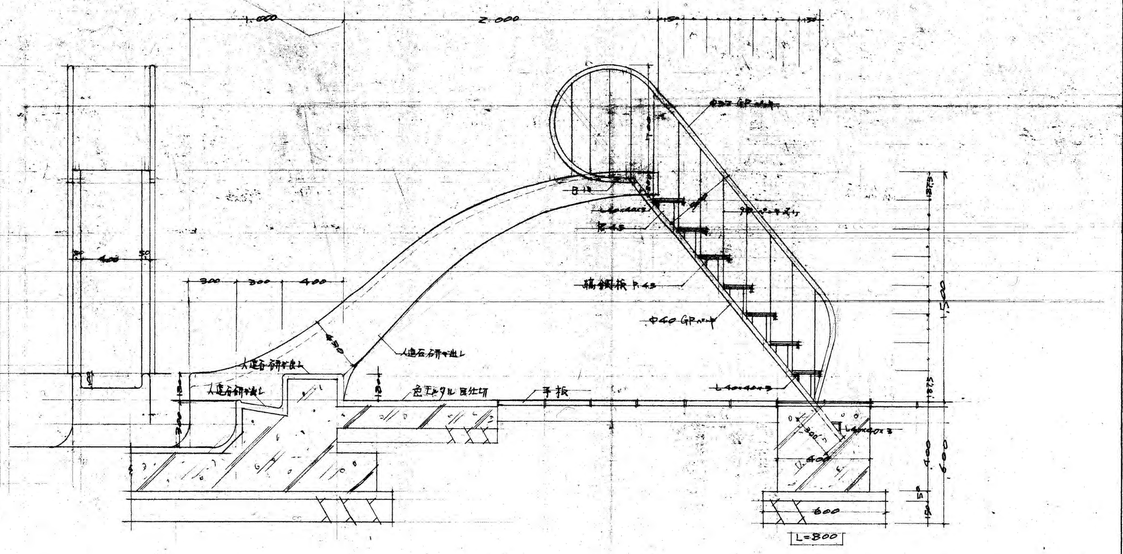


集水桝詳細 S=1:20





現存しない



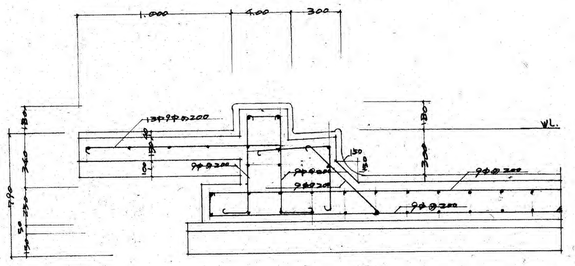
辺り台詳細 S=1:20

現存しない

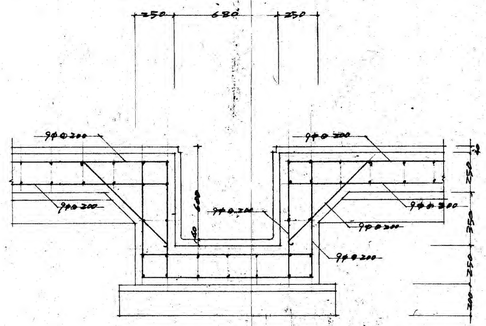
参考図A-4

8

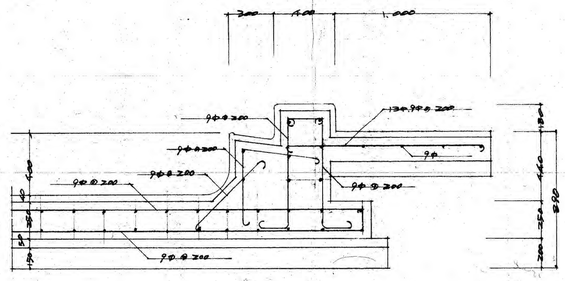
豊橋市市民プール新設工事					
昭和 39年 12月	図番名称	建物配置図			
図番 32—— 8	縮尺	1:20	課長	係長	設計
豊橋市建築課					



側壁配筋図

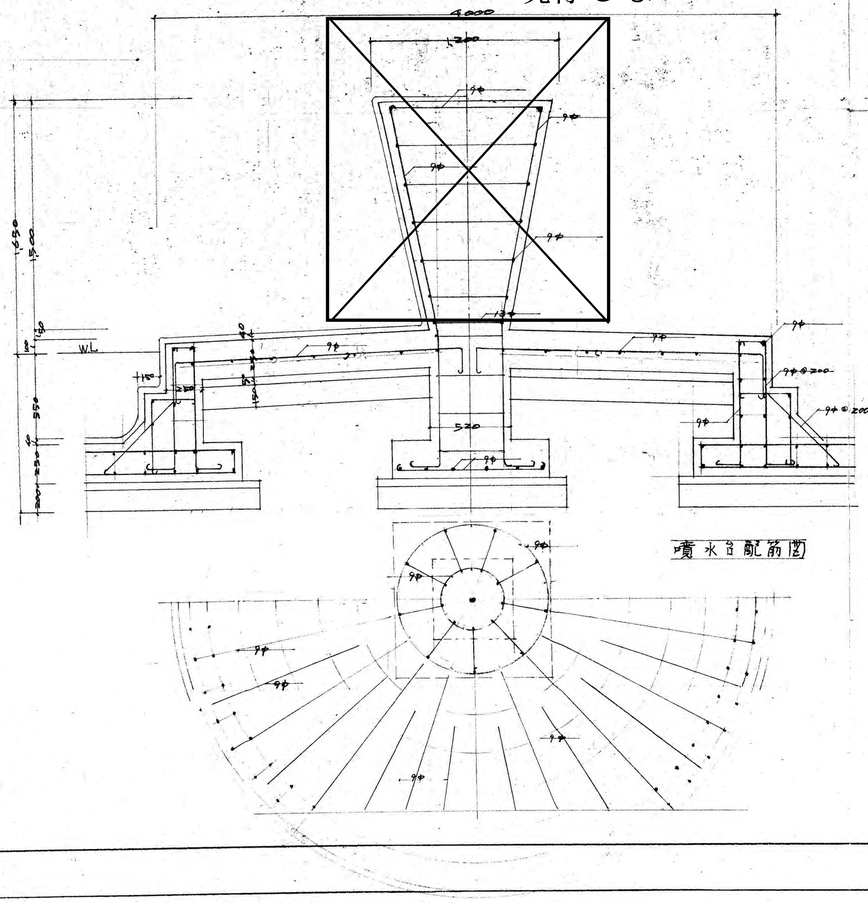


集水桝配筋図 S1:20

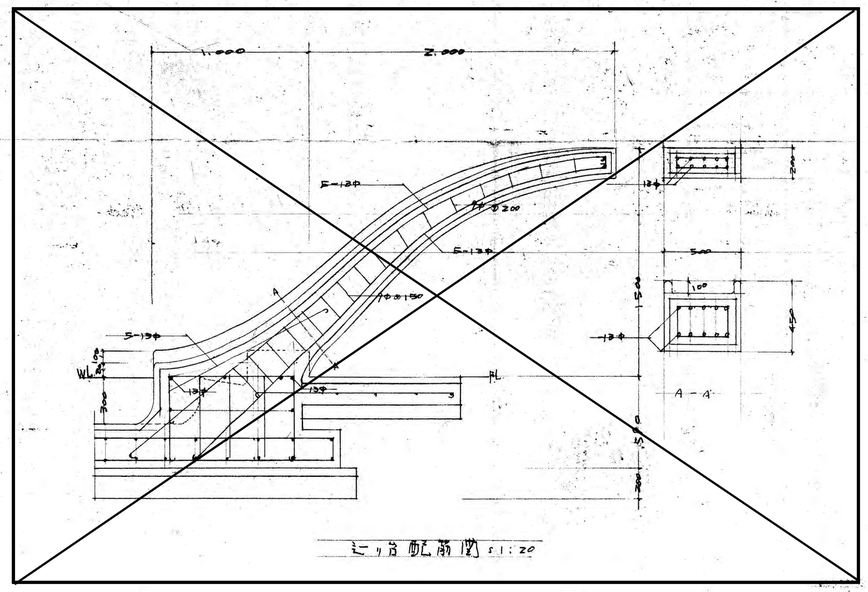


側壁配筋図

現存しない



噴水台配筋図



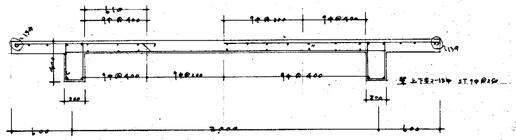
ミニ台配筋図 S1:20

現存しない

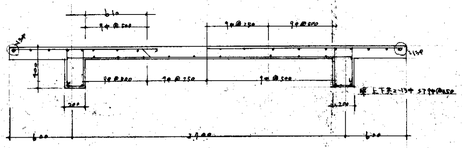
参考図A-5

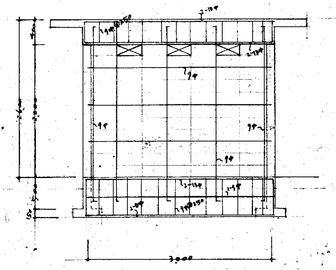
9

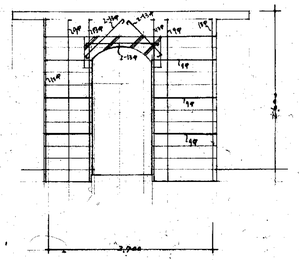
豊橋市市民プール新設工事					
昭和 37年 12月	図面名称	往来池			
A2 — 9		配筋図			
縮尺 1:20	課長	係長	設計	検印	
豊橋市建築課					



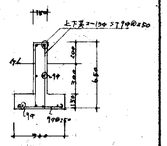
スラブ配筋図　1:30



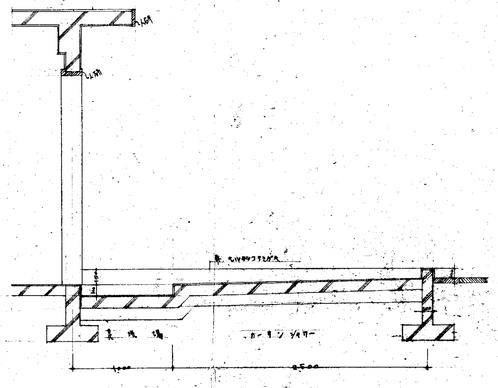


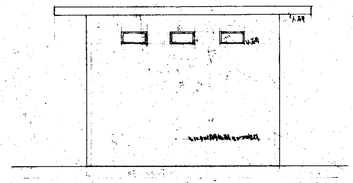


ブロック配筋図　1:50

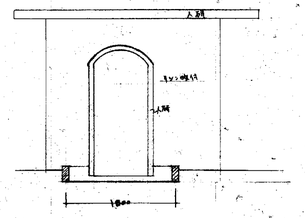


ヘリ壁筋図

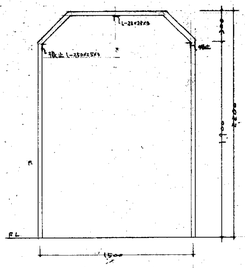


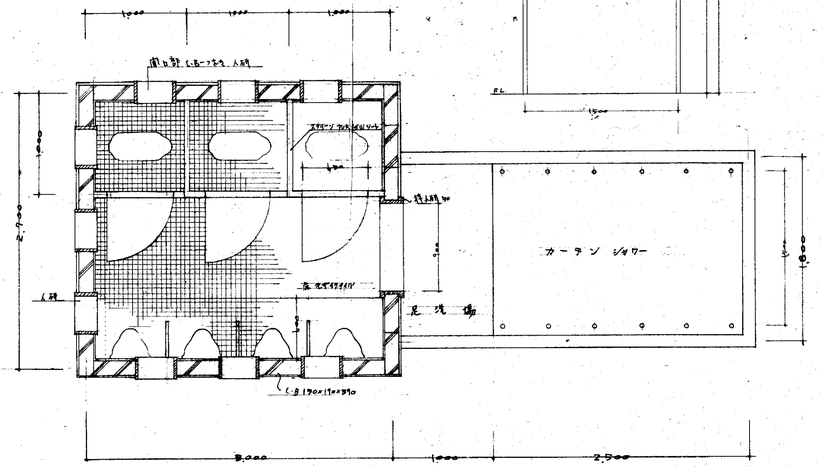


立面図 1:50

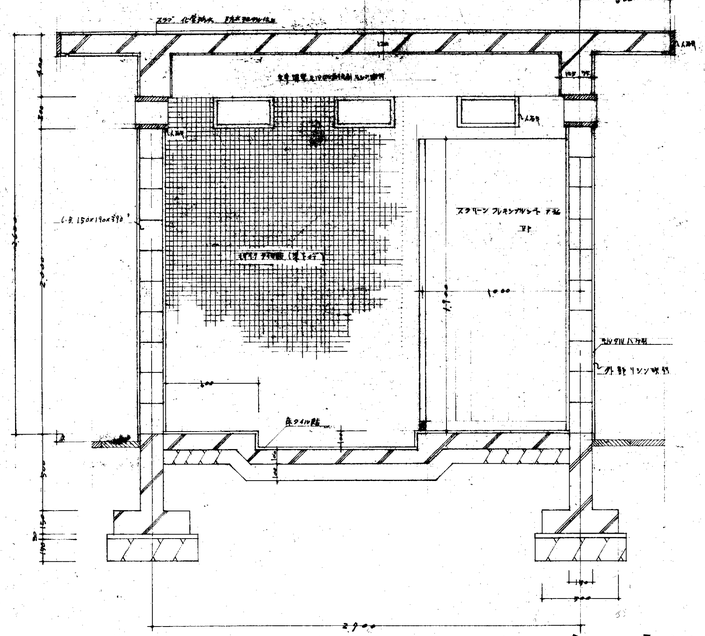


立面図

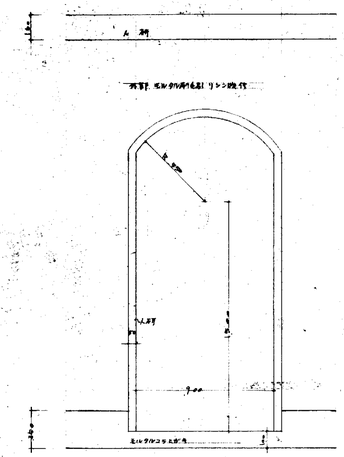




便　所平面図1:30



詳細図1:20



入口詳細図

豊橋市市民プール新設工事

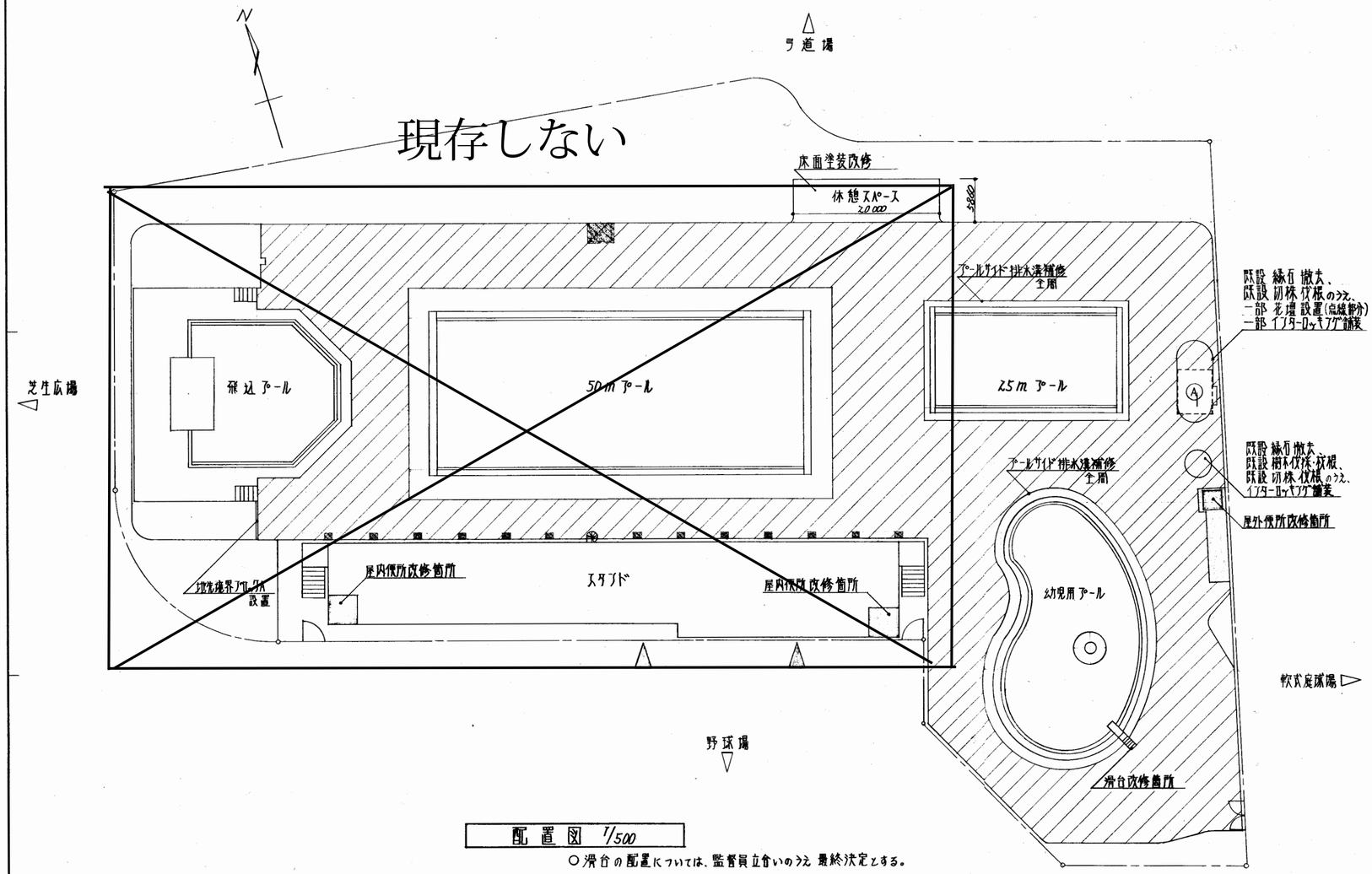
昭和39年12月	図面名称	屋外便所一般図				
A 12 — 31						
縮尺 1:30 1:20	縁長	たし	課長	係長	設計	

豊橋市建築課

31

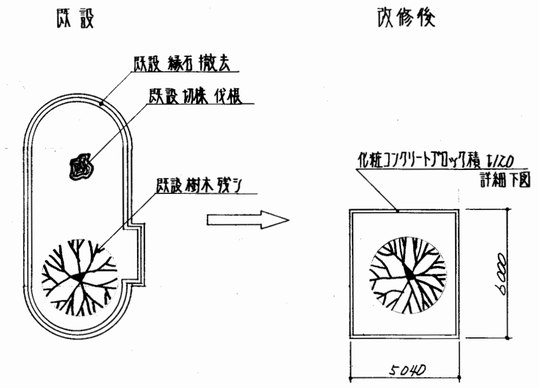
参考図A-6

現存しない

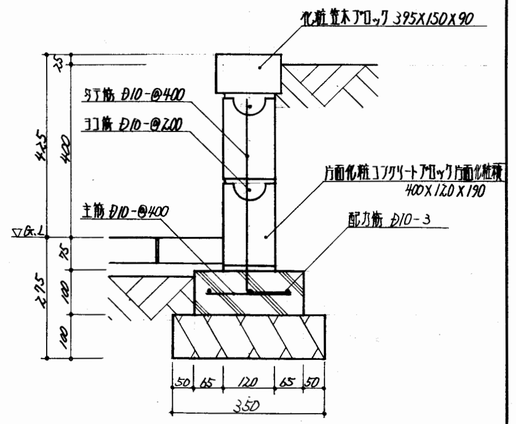


配置図 1/500

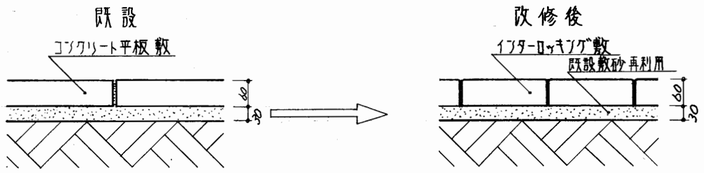
○滑台の配置については、監督員立合いのうえ 最終決定とする。



Ⓐ部分平面図 1/200

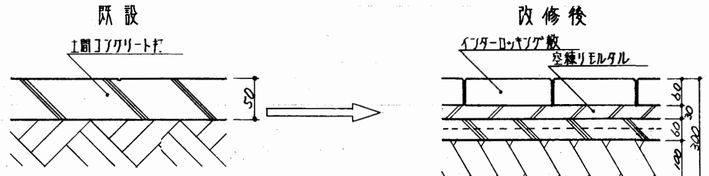


花壇詳細図 1/10



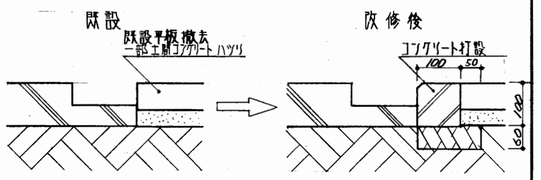
既設コンクリート平板撤去のうえ、不陸調整の後 インターロッキング舗装

部分 詳細図 1/10



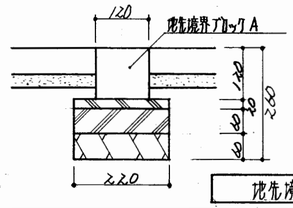
既設土間コンクリート撤去のうえ、スキ取りの後 砂利地業 t=100・土間コンクリート(Fc=150 x150配筋 打設 t=60・空練りモルタル敷 t=30・インターロッキング舗装

部分 詳細図 1/10



改修時、プールコート塗装がない箇所・今回打設部分は塗装のこと。

プールサイド排水溝補修詳細図 1/10



境界ブロック詳細図 1/10

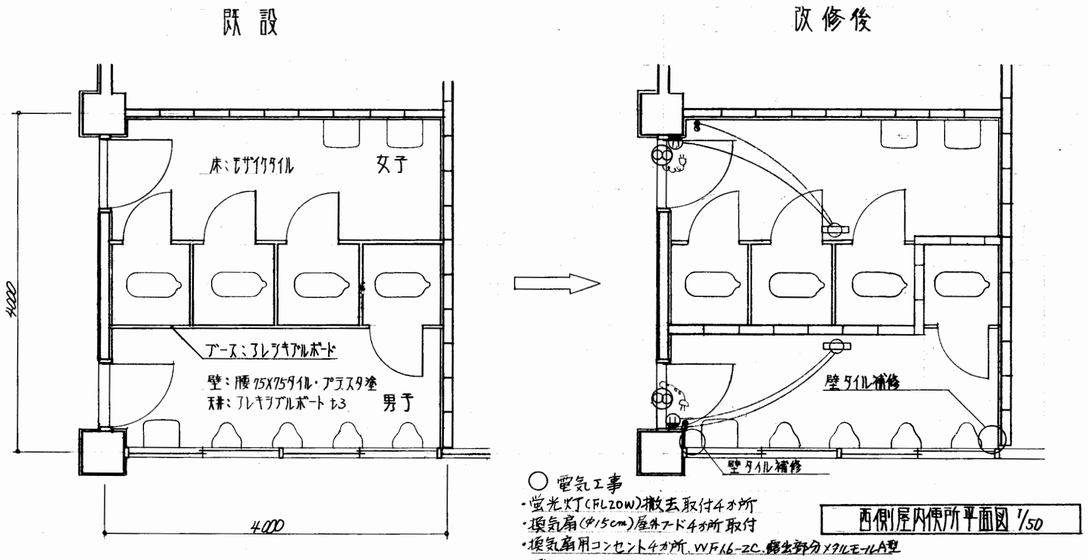
○注記
- インターロッキング舗装の目地砂は、散水後凍害5物を使用のこと。
- 撤去平板のうち5200枚を集積のうえ現場仮置のこと。
- 幼児用プールサイドの舗装には、タイプ・色類の4図案を入れて舗装のこと。
- インターロッキング舗装は、3色色合せとする。

○使用材料
鉄筋 SD295A
コンクリート Fc=18 N/mm²
コンクリートブロック JIS規格品 C種
化粧ブロック除く

参考図A-7

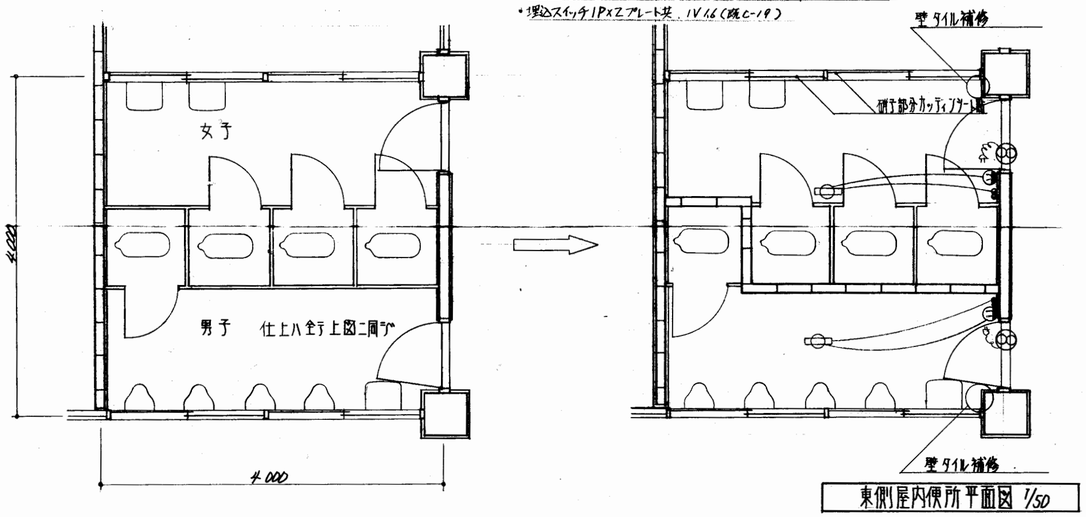
市民プール 改修工事						
平成 10 年 4 月	図面名称	配置図・各部詳細図				
1 — 3						
縮尺	課長	技監	課長補佐	係長	設計	
1/10 1/200・1/500						

豊橋市建築部建築課



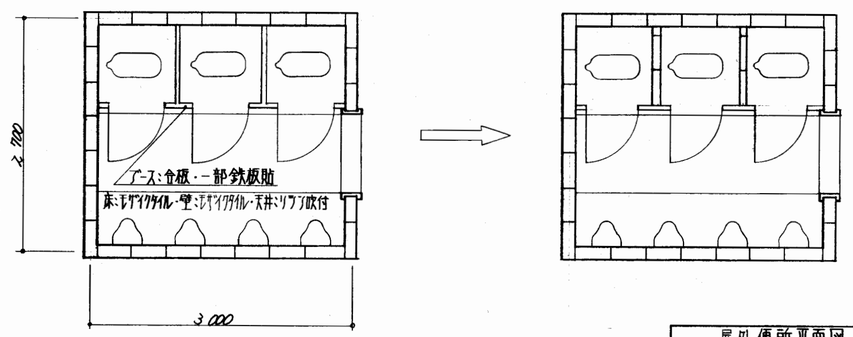
西側屋内便所平面図 1/50

○ 電気工事
- 蛍光灯(FL20W)撒去取付4ヵ所
- 換気扇(φ15cm)屋外フード4ヵ所取付
- 換気扇用コンセント4ヵ所 WF16-2C 露出野分メタルモールA型
- 埋込スイッチ1P×2プレート共 1V16(既C-19)



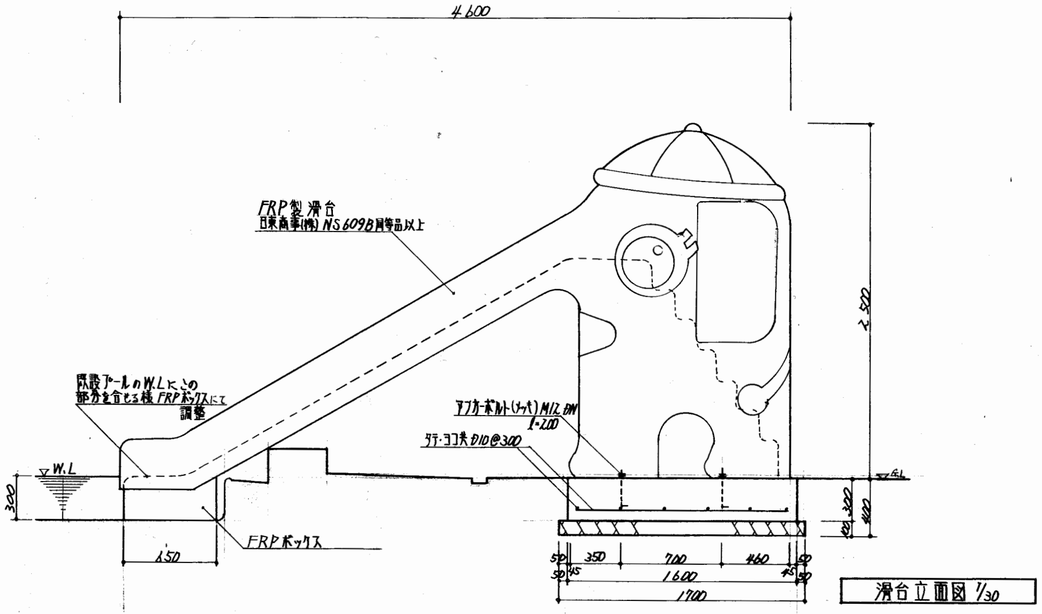
東側屋内便所平面図 1/50

○改修概要 (特記以外 東側・西側共通):
- 既設天井(一部木下地共)撤去
- 既設トイレブース撤去
- ブロック配筋部ケミカルアンカー・アンカーボルト打(D10-M10)タテ・ヨコ共@400
- ブロック・床取合部 コンクリート打(W120・H100)
- 男女間仕切壁 コンクリートブロック(C種・t120)化粧積(東側はスラブまで↗ H3300・西側 H3000)
- ブース・通路間 トイレブース(高圧メラミン・木太タイプ・H1900)設置
- コンクリートブロック面 弾性吹付タイル(ユズハダ模様)
- 天井点検口(アルミ・450□)男・女各1ヵ所設置
- 出入口扉 DC取替
- 内壁タイル貼上部 EP塗

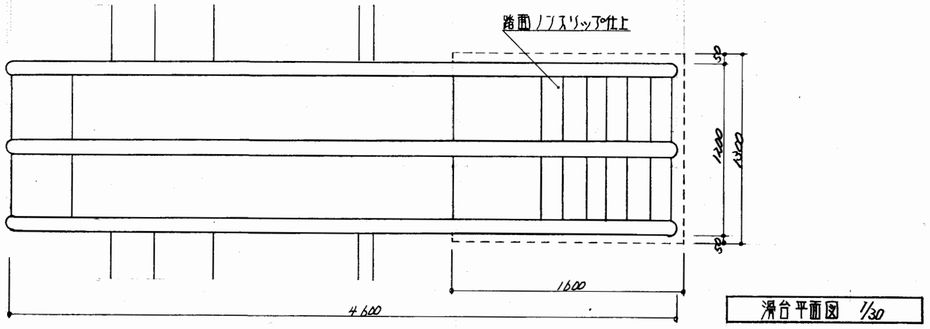


屋外便所平面図 1/50

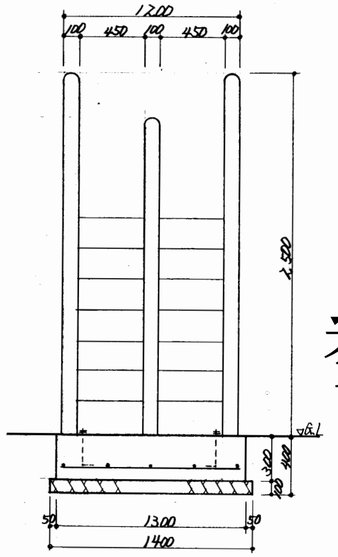
○改修概要
- 既設トイレブース撤去
- ブロック配筋部ケミカルアンカー打(D10)タテ@400・ヨコ@400
- 各ブース間 コンクリートブロック(C種・t100)化粧積(スラブまでH2570)
- ブース・通路間 トイレブース(高圧メラミン木太タイプ・H1900)設置
- コンクリートブロック面 弾性吹付タイル(ユズハダ模様)
- 天井面 高圧洗浄のうえ 外装塗材吹付



滑台立面図 1/30



滑台平面図 1/30

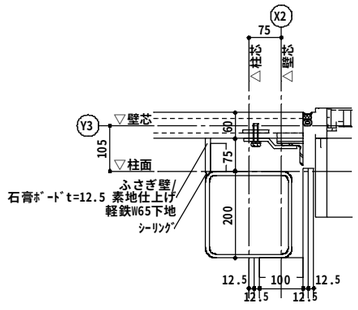


滑台立面図 1/30

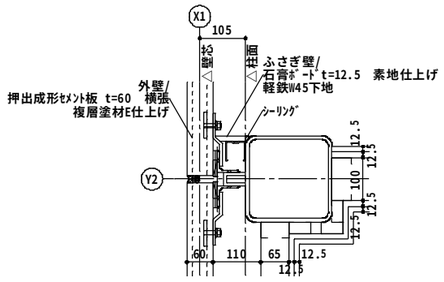
参考図A-8

市民プール 改修工事						
平成 10 年 4 月	図面名称	便所平面図・滑台外図				
縮尺	課長	技術	課長補佐	係長	設計	
1/50 , 1/30						

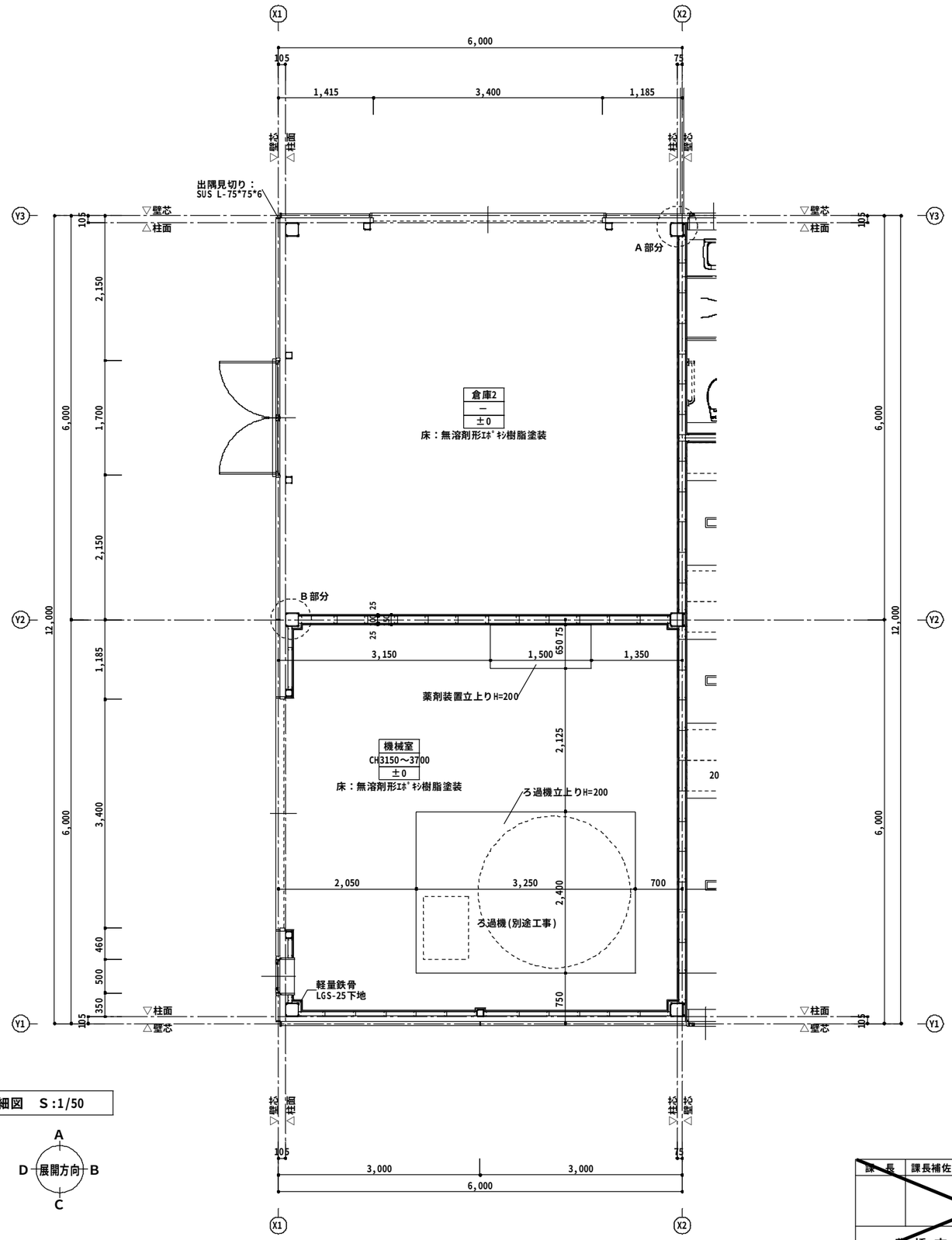
豊橋市建築部建築課



A部分詳細図　S:1/10



B部分詳細図　S:1/10



平面詳細図　S:1/50

特記事項
・内部鉄部は2-UE塗りとする

参考図A-9

課長	課長補佐	課長補佐	主査	担当

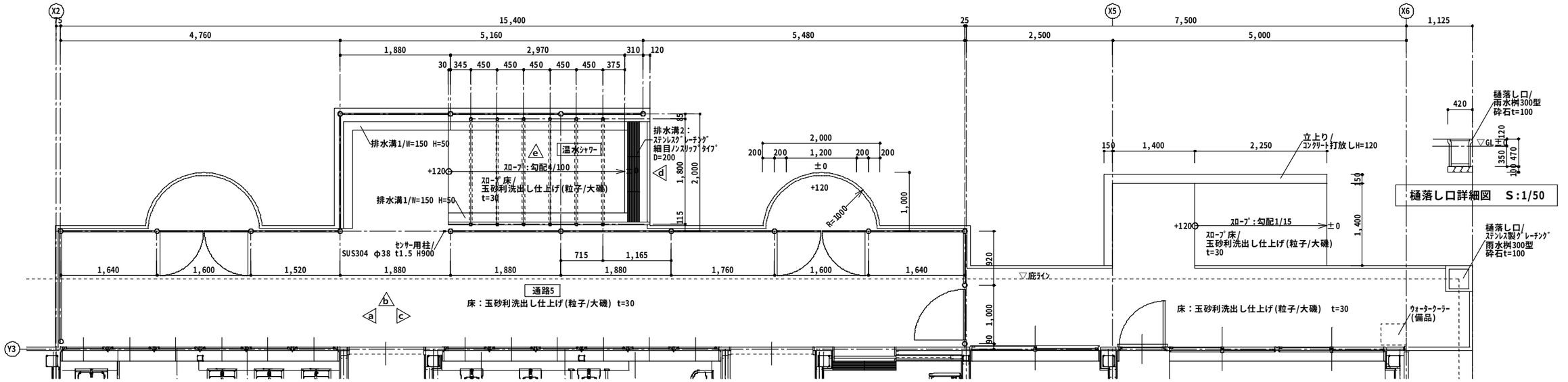
豊橋市建設部建築課

市民プール管理棟等　建設工事

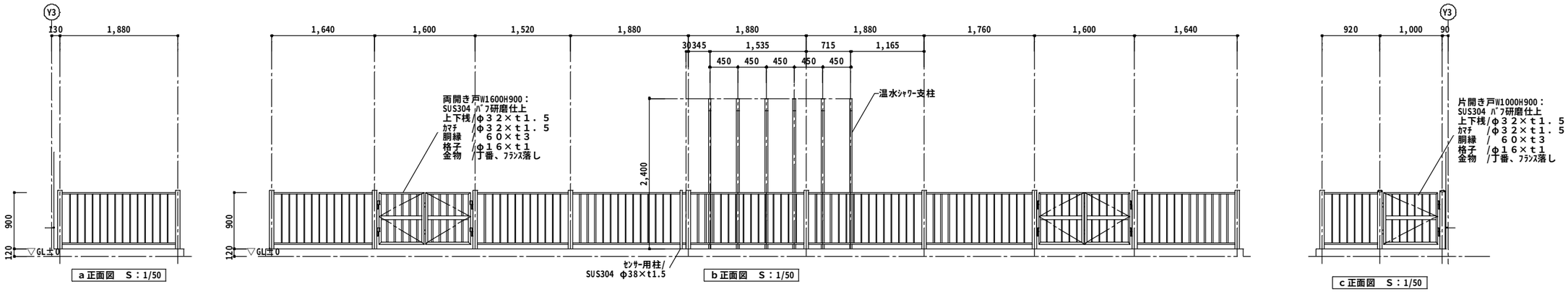
TITLE　平面詳細図4　倉庫2・機械室

DRAW	CHECK	SCALE S=1/50	
		DATE 平成19年 9月	A-17/37

(有)エイシロダクツ
〒441-8013 豊橋市花田一番町16 事務所登録／愛知県知事登録（ ）第 9741号
Phone0532-31-6589 Fax0532-31-2778 一級建築士登録／第103132号 富田正行



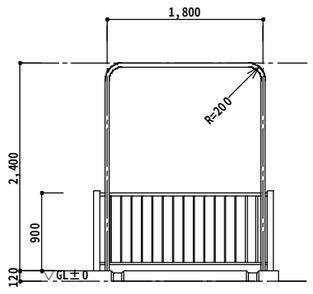
外構図　S:1/50



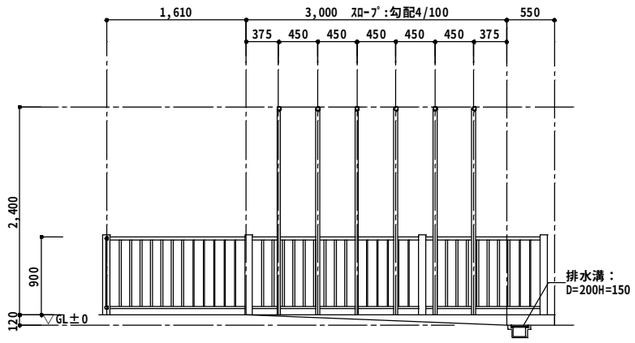
a 正面図　S：1/50

b 正面図　S：1/50

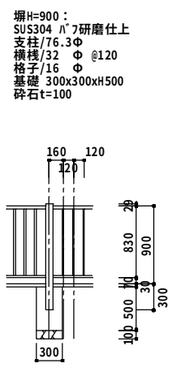
c 正面図　S：1/50



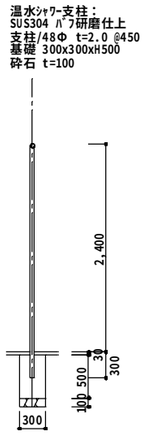
d 正面図　S：1/50



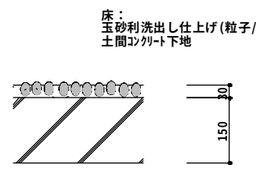
e 正面図　S：1/50



塀詳細図　S：1/50



温水ｼｬﾜｰ支柱詳細図　S：1/50



床仕上詳細図　S：1/10

参考図A-10

課長	課長補佐	課長補佐	主査	担当

豊橋市建設部建築課

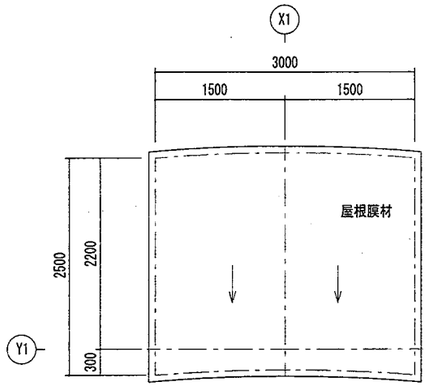
市民プール管理棟等　建設工事

TITLE 外構図

DRAW	CHECK	SCALE S=1/10、50	
		DATE 平成19年 9月	A-37/37

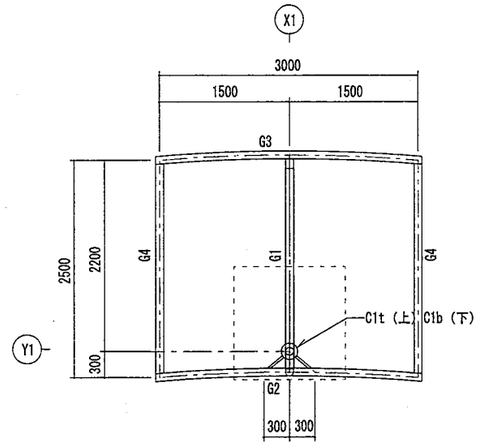
㈱エムプロタクツ
〒441-8013 豊橋市花田一番町16 事務所登録／愛知県知事登録（ハ）9741号
Phone0532-31-6589 Fax0532-31-2778 一級建築士登録／第103132号 富田正彦

Aタイプ

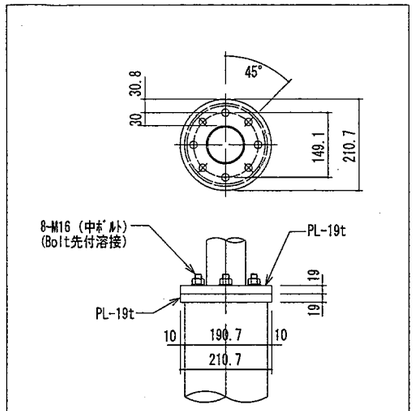


※ ⟵ 雨水の流れ方向を示す。

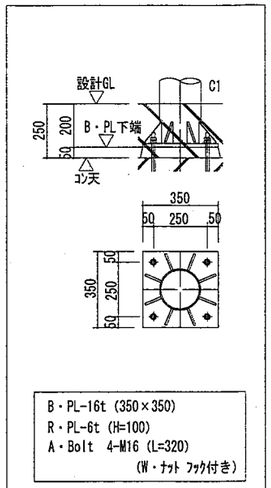
屋根伏図　S=1:50



小屋伏図　S=1:50



柱頭詳細図　S=1:10

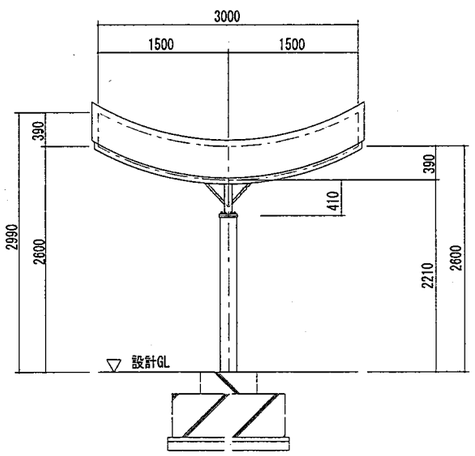


B・PL-16t (350×350)
R・PL-6t (H=100)
A・Bolt 4-M16 (L=320)
(W・ナット フック付き)

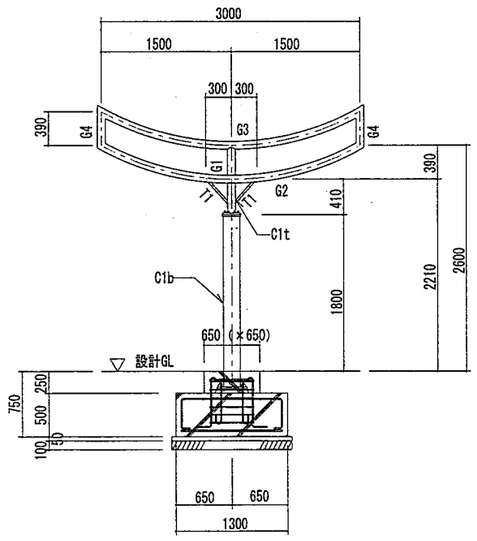
柱脚詳細図　S=1:20

MEMBER LIST		
C1b	P-190.7φ×5.3t	STK400
C1t	P-89.1φ×5.5t	STK400
G1	P-89.1φ×5.5t	STK400
G2	□-90×90×3.2t	STKR400
G3	□-90×90×3.2t	STKR400
G4	□-90×90×3.2t	STKR400
T1	P-27.2φ×1.9t	STK400
屋根膜材	SCC125-J	
	(酸化ﾁﾀﾝ光触媒ｺｰﾃｨﾝｸﾞ品)	
	認定番号 建築基準法第37条第二号 MMEM-9035	
	認定番号 建築基準法施行令第109条の5第一号 UW-9018	

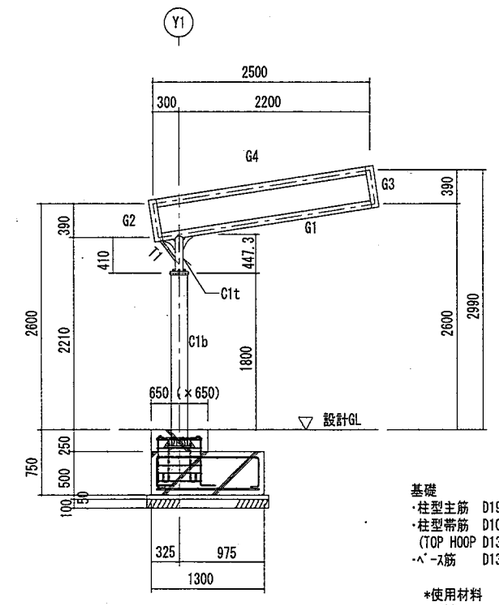
鋼材塗装仕様
2液型ポリウレタン樹脂エナメル塗　2回塗



立面図　S=1:50



軸組図　S=1:50



断面図　S=1:50

基礎
・柱型主筋　D19 4本
・柱型帯筋　D10 @100
(TOP HOOP D13 2本)
・ﾍﾞｰｽ筋　D13 @200

*使用材料
鉄筋……SD295A
コンクリート…Fc=21N

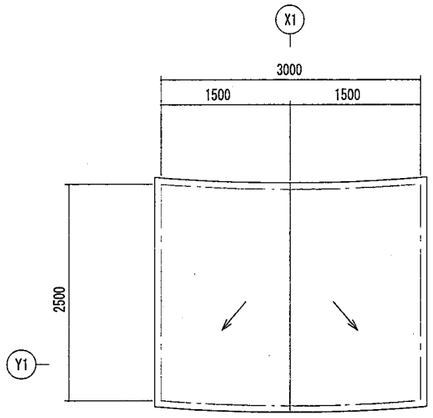
設計条件	
設計風速	地表面粗度区分 Ⅲ 基準風速　34m／sec
設計積雪荷重	垂直積雪深　d=30cm 単位体積重量　20N／m／cm²

〈膜材　概要〉
使用膜材　SCC125-J　(酸化ﾁﾀﾝ光触媒ｺｰﾃｨﾝｸﾞ品)
酸化ﾁﾀﾝ光触媒層 (TiO)
中間層
基布 (ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ繊維)
PVC層

参考図A-11

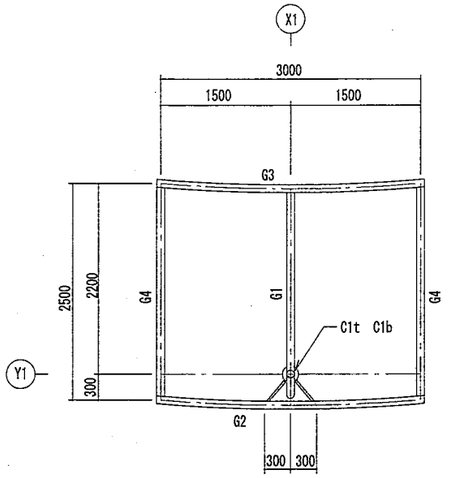
豊橋市今橋町地内	
図面名称	休憩所(Aタイプ)詳細図
番号	15/16
縮尺	1/50 1/20、1/10
工事名	市民プール改修工事
豊橋市都市計画部公園緑地課	

Bタイプ

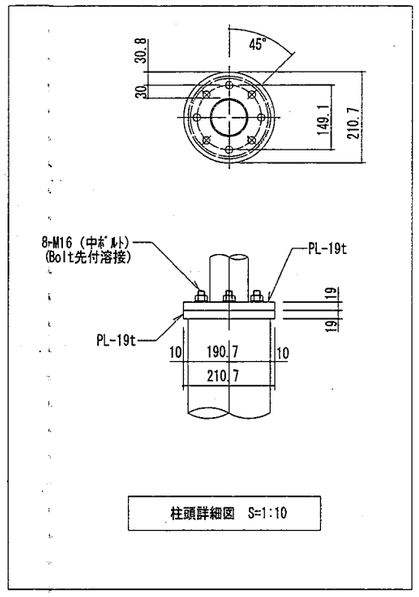


※⟵ 雨水の流れ方向を示す。

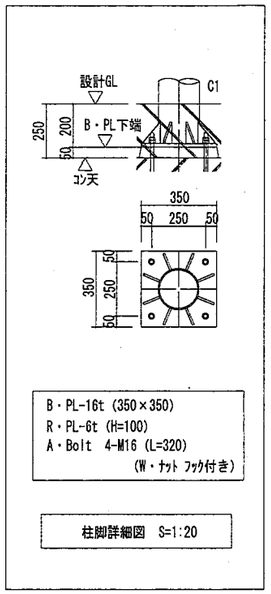
屋根伏図　S=1:50



小屋伏図　S=1:50



柱頭詳細図　S=1:10

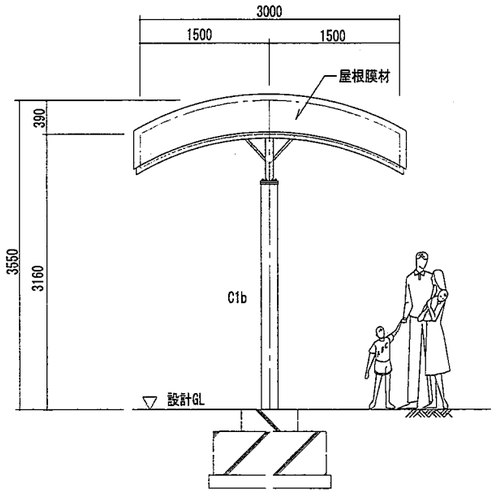


B・PL-16t (350×350)
R・PL-6t (H=100)
A・Bolt 4-M16 (L=320)
(W・ナット フック付き)

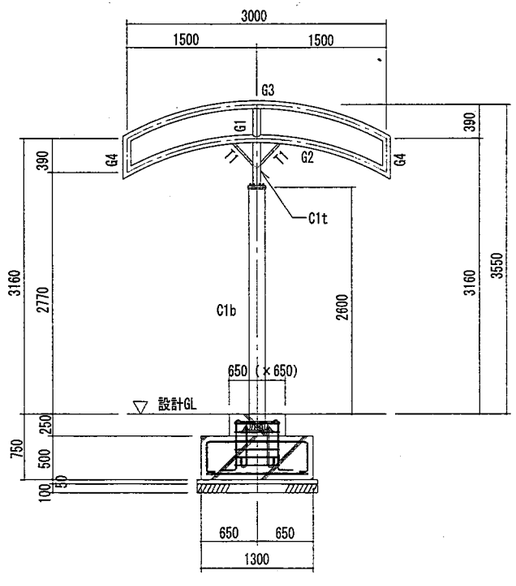
柱脚詳細図　S=1:20

MEMBER LIST		
C1b	P-190.7φ×5.3t	STK400
C1t	P-89.1φ×5.5t	STK400
G1	P-89.1φ×5.5t	STK400
G2	□-90×90×3.2t	STKR400
G3	□-90×90×3.2t	STKR400
G4	□-90×90×3.2t	STKR400
T1	P-27.2φ×1.9t	STK400
屋根膜材	SCC125-J	
	(酸化ﾁﾀﾝ光触媒ｺｰﾃｨﾝｸﾞ品)	
	認定番号 建築基準法第37条第二号 MMEM-9035	
	建築基準法施行令第109条の5第一号 UW-9018	

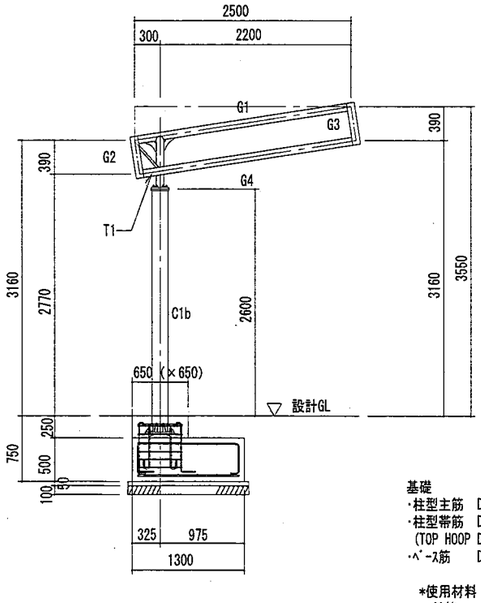
鋼材塗装仕様
2液型ポリウレタン樹脂エナメル塗　2回塗



立面図　S=1:50



軸組図　S=1:50



断面図　S=1:50

基礎
・柱型主筋　D19 4本
・柱型帯筋　D10 @100
(TOP HOOP D13 2本)
・ﾍﾞｰｽ筋　D13 @200

*使用材料
鉄筋……SD295A
コンクリート…Fc=21N

設計条件	
設計風速	地表面粗度区分　Ⅲ 基準風速　34m／sec
設計積雪荷重	垂直積雪深　d=30cm 単位体積重量　20N／m／cm^2

〈膜材　概要〉
使用膜材　SCC125-J　(酸化ﾁﾀﾝ光触媒ｺｰﾃｨﾝｸﾞ品)
酸化ﾁﾀﾝ光触媒層 (TiO)
中間層
基布 (ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ繊維)
PVC層

豊橋市今橋町地内

図面名称	休憩所(B型タイプ)詳細図	番号	16/16
縮尺	1/50 1/20, 1/10	工事名	市民プール改修工事

豊橋市都市計画部公園緑地課

参考図A-12

温水シャワー用給湯機撤去
温水シャワー用受水槽撤去

プール側給水設備撤去
既設管閉管

プール用水道メーター取り外し
分岐以降給水設備撤去
※局に返却および休止手続き
（栓番12255）

管理棟側給水設備は撤去対象外

凡例
配管等撤去範囲
給水管
給水管

参考図M12－１
市民プール給水設備配置図
SCALE=1/200(A2)

排水桝際で切断
閉管(閉孔)処理

屋外便所撤去に伴う
給排水衛生器具撤去

撤去対象外

管理棟排水系統は撤去対象外

SCALE=1/100(A2)

凡例

配管等撤去範囲

排水管

排水管

参考図M12－２
市民プール排水設備配置図
SCALE=1/200(A2)

主要な雨水排水配管は撤去対象外とする。

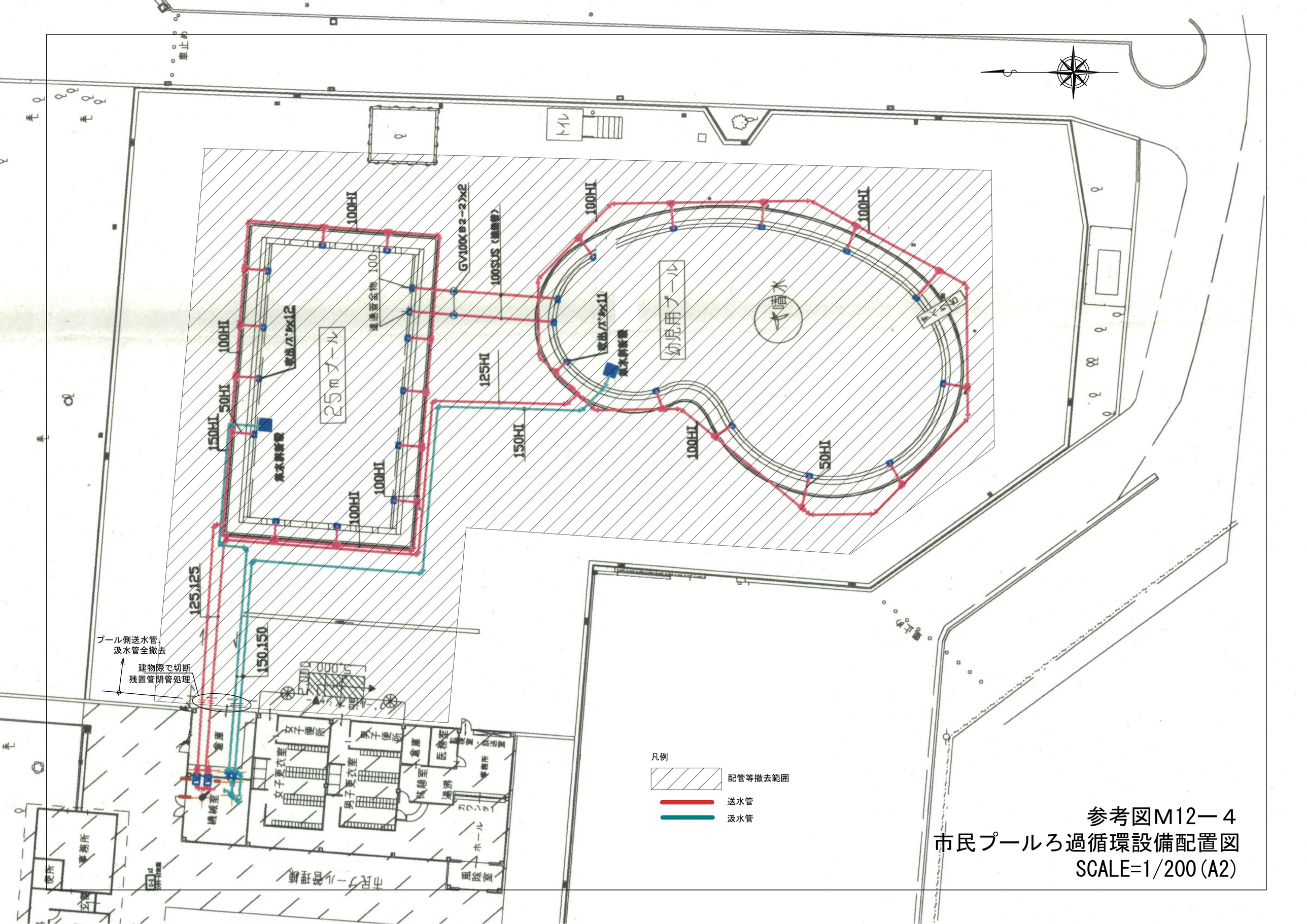
プールオーバーフロー配管をすべて撤去する。
撤去配管途中の中間桝共
既設排水桝際で切断し、閉管(閉孔)処理

プールサイド排水管撤去
排水桝際で切断し、閉管(閉孔)処理

凡例

- 配管等撤去範囲
- 既設雨水排水管
- 既設雨水排水管
- 撤去雨水排水管

参考図M12－3
市民プール雨水排水設備配置図
SCALE=1/200(A2)



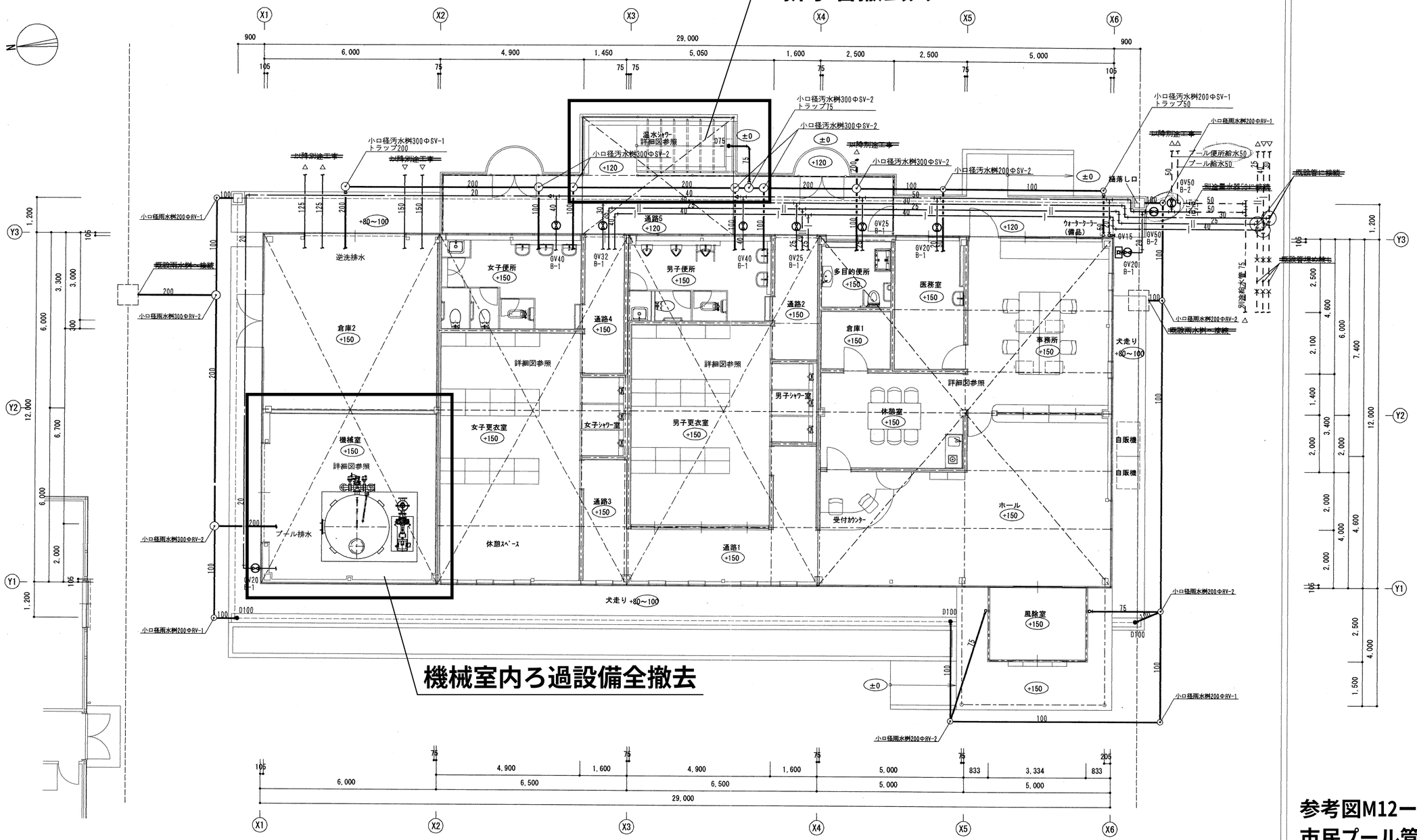
参考図M12－４

市民プールろ過循環設備配置図

SCALE=1/200(A2)

管理棟屋外温水シャワー設備撤去

排水管撤去共



機械室内ろ過設備全撤去

管理棟平面図　S:1/100

※飛散工事(公園緑地課)との接続は、それぞれから1m付近の管とは接続する。

参考図M12－5

市民プール管理棟平面図

課長	課長補佐	課長補佐	主査	担当

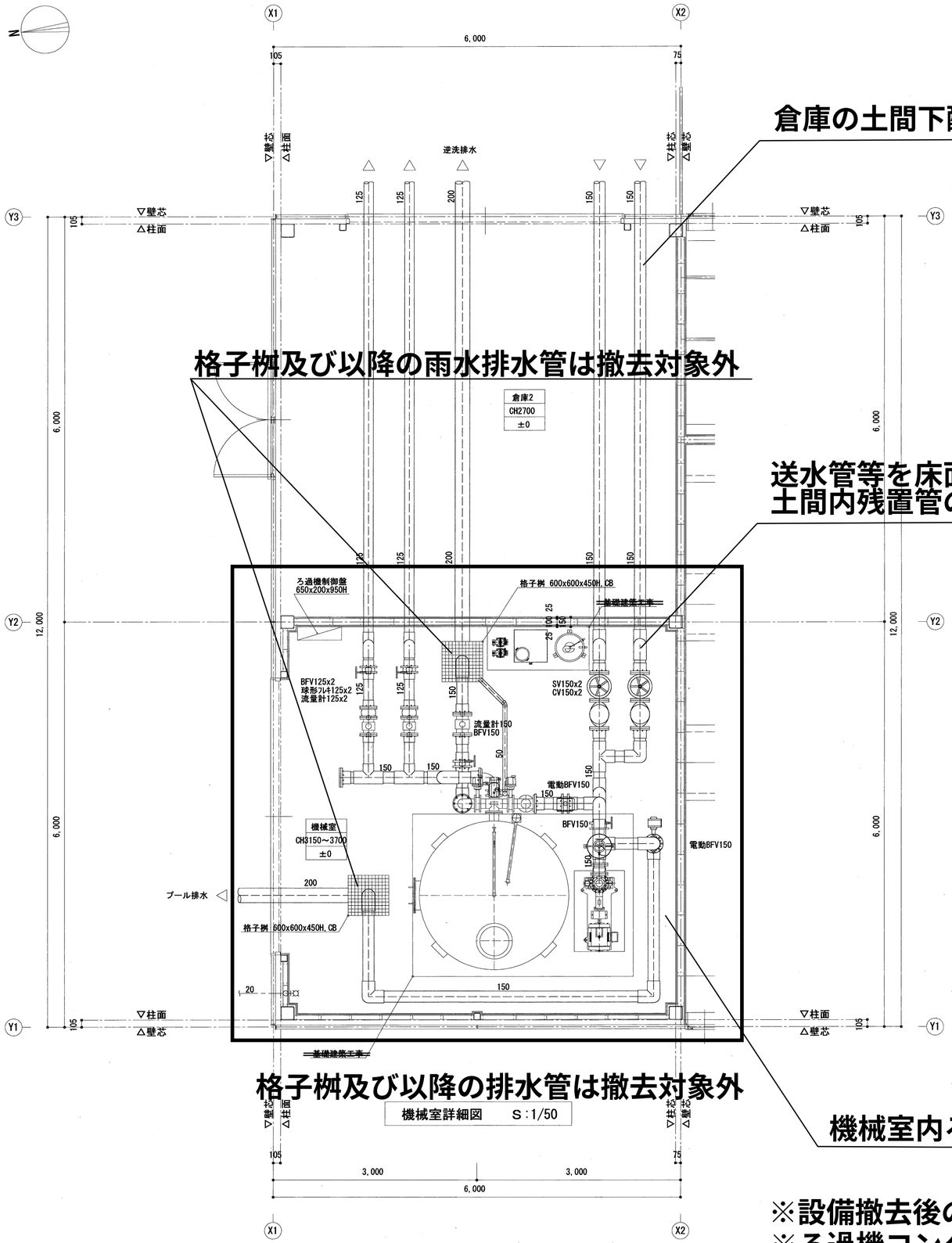
豊橋市建設部建築課

市民プール管理棟等　建設　に伴う管工事

TITLE　管理棟平面図

DRAW	CHECK	SCALE S=1/100	
		DATE 平成19年9月	13-05

㈱エムプロダクツ
〒441-8013　豊橋市花田一番町16　事務所登録／愛知県知事登録（い）9741号
Phone0532-31-6589　Fax0532-31-2778　1級建築士登録／第103132号　富田正行



倉庫の土間下配管は残置管とする

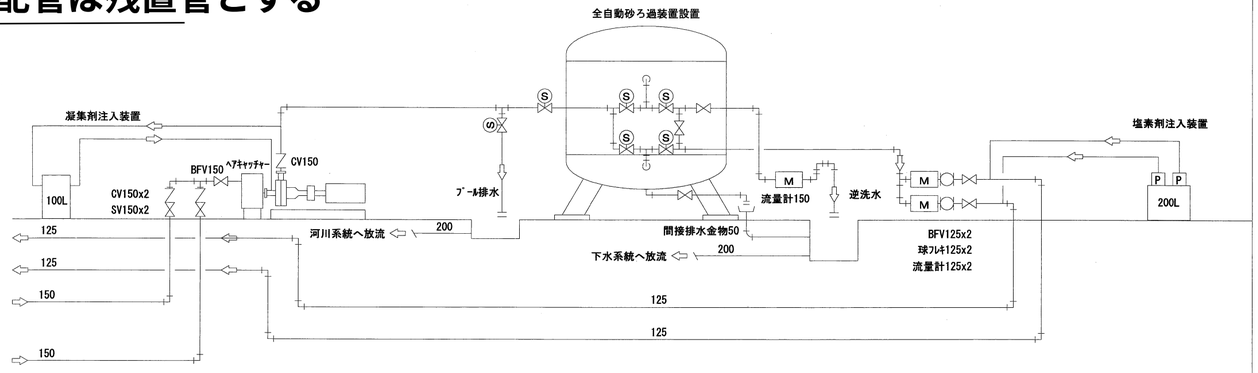
格子桝及び以降の雨水排水管は撤去対象外

送水管等を床面で切断
土間内残置管の閉管処理

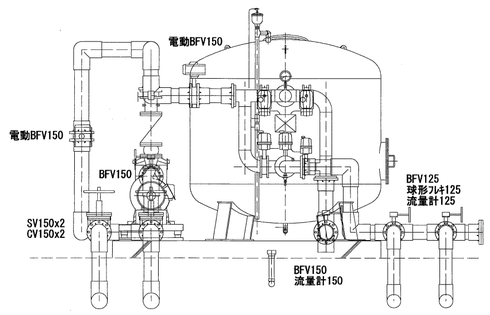
機械室内ろ過設備全撤去

格子桝及び以降の排水管は撤去対象外

機械室詳細図　S:1/50



系統図



機械室立面図　S:1/50

装置機器表

名　称	仕　様	数量
ろ過本体	処理能力 150m /H φ2200 x 1220H x 150A SS製	1
ろ過水濁度計	90° 散乱光方式　サンプリング電磁弁共	1
ろ過ポンプ	片吸込渦巻形 2.5m /mH x 18m x 125/100A x 11kW	1
除塵器	150/125A x φ360 x 510H　本体，スクリーン共　SUS製	1
凝集剤注入装置	100L（PE製）　自動循環式	1
塩素剤注入装置	ダイヤフラム式定量ポンプ x2　タンク 200L(PVC製)共	1
積算流量計	電磁式 150A x1,125A x2　現地表示	3
自動制御盤	屋内壁取付形 週間タイマ，薬注，強制排水制御　ELB付	1
プール強制排水電動弁	電動バタフライ弁 150A	2

※設備撤去後の床壁面の補修を行う
※ろ過機コンクリート基礎は撤去対象外

参考図M12－6
市民プール管理棟機械室詳細図

市民プール管理棟等　建設に伴う管工事

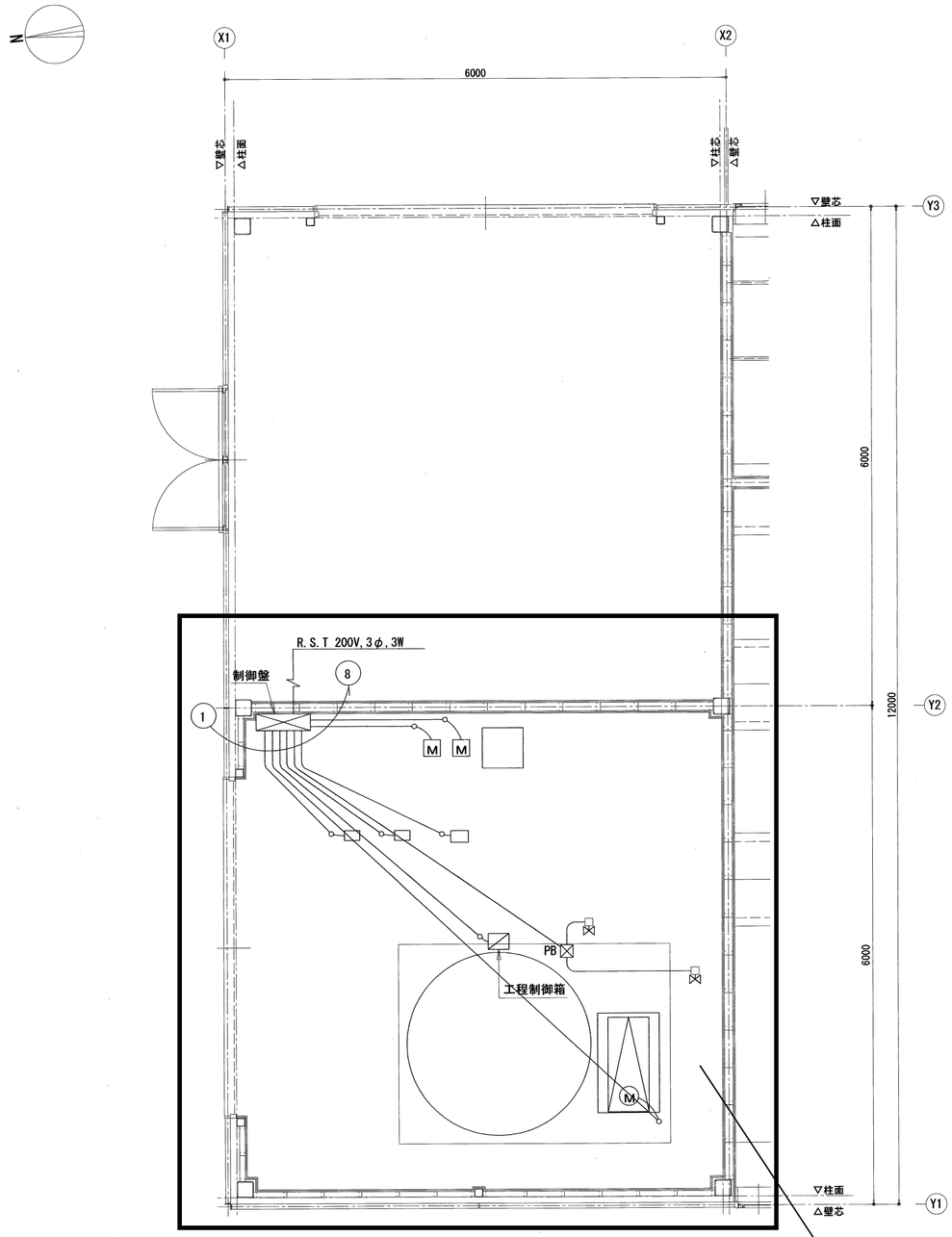
TITLE　管理棟機械室詳細図

課長	課長補佐	課長補佐	主査	担当

豊橋市建設部建築課

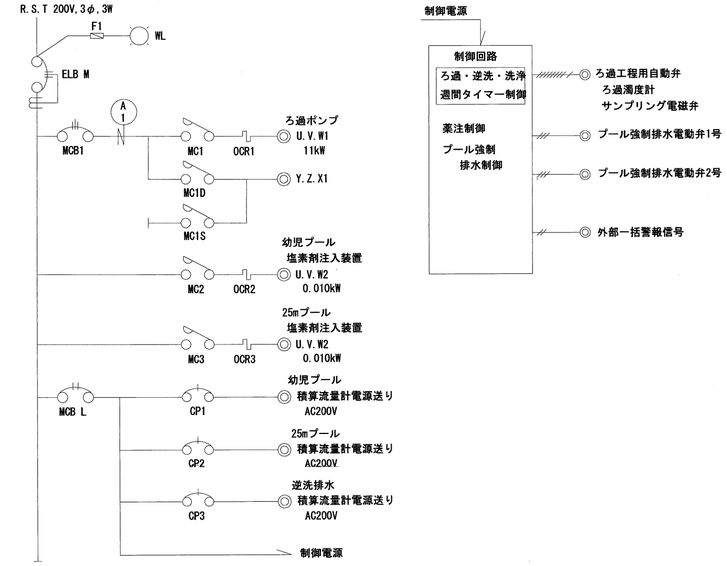
DRAW	CHECK	SCALE　S=1/50	
		DATE　平成19年 9月	13-10

㈱エムプロダクツ
〒441-8013　豊橋市花田一番町16　事務所登録／愛知県知事登録（い）9741号
Phone0532-31-6589　Fax0532-31-2778　1級建築士登録／第103132号　冨田正行



二次側配線図1/50

制御盤姿図



ろ過設備配線表　電線管：埋設部はPF管、露出部はHI管とする。

1	CVV1.25 x3C	16	流量計電源送り
2	CV8.0 x3Cx2 E8.0	42	ろ過ポンプ 11kW
3	CVV1.25 x10C	28	ろ過工程自動弁
4	CVV1.25 x3C	16	流量計電源送り
5	CVV1.25 x4Cx2	28	プール強制排水電動弁x2
6	CVV1.25 x3C	16	流量計電源送り
7	CVV1.25 x4C	16	塩素剤注入装置
8	CVV1.25 x4C	16	塩素剤注入装置

機械室内ろ過設備全撤去

参考図M12－7
市民ﾌﾟｰﾙ管理棟機械室
ろ過装置二次側配線図

課長	課長補佐	課長補佐	主査	担当

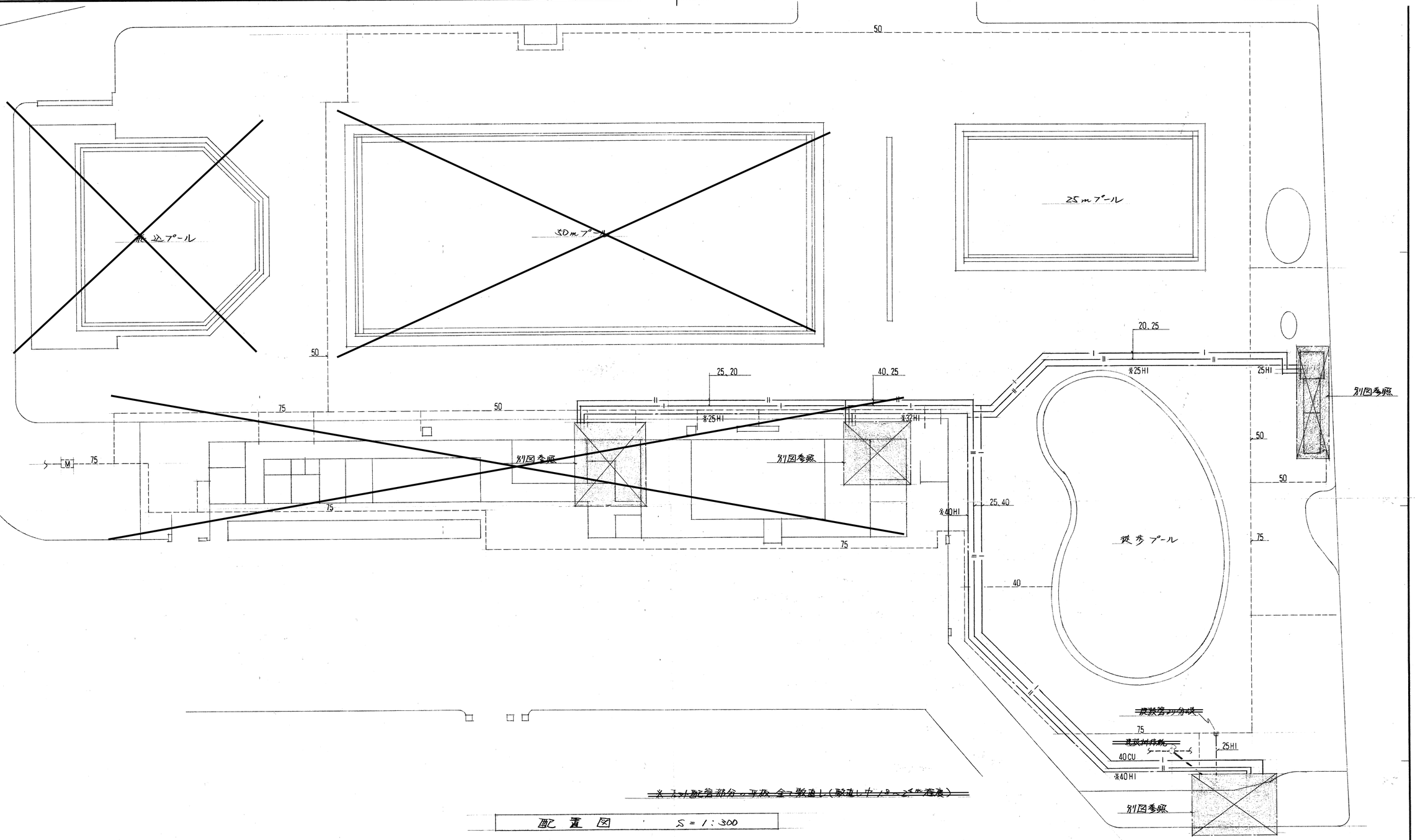
豊橋市建設部建築課

市民プール管理棟等　建設に伴う管工事

TITLE　管理棟機械室ろ過装置二次側配線図

DRAW	CHECK	SCALE	8=1/50	
		DATE	平成19年 9月	13-11

㈱エムプロダクツ
〒441-8013　豊橋市花田一番町16　事務所登録／愛知県知事登録（い）9741号
Phone0532-31-6589　Fax0532-31-2778　1級建築士登録／第103132号　富田正行



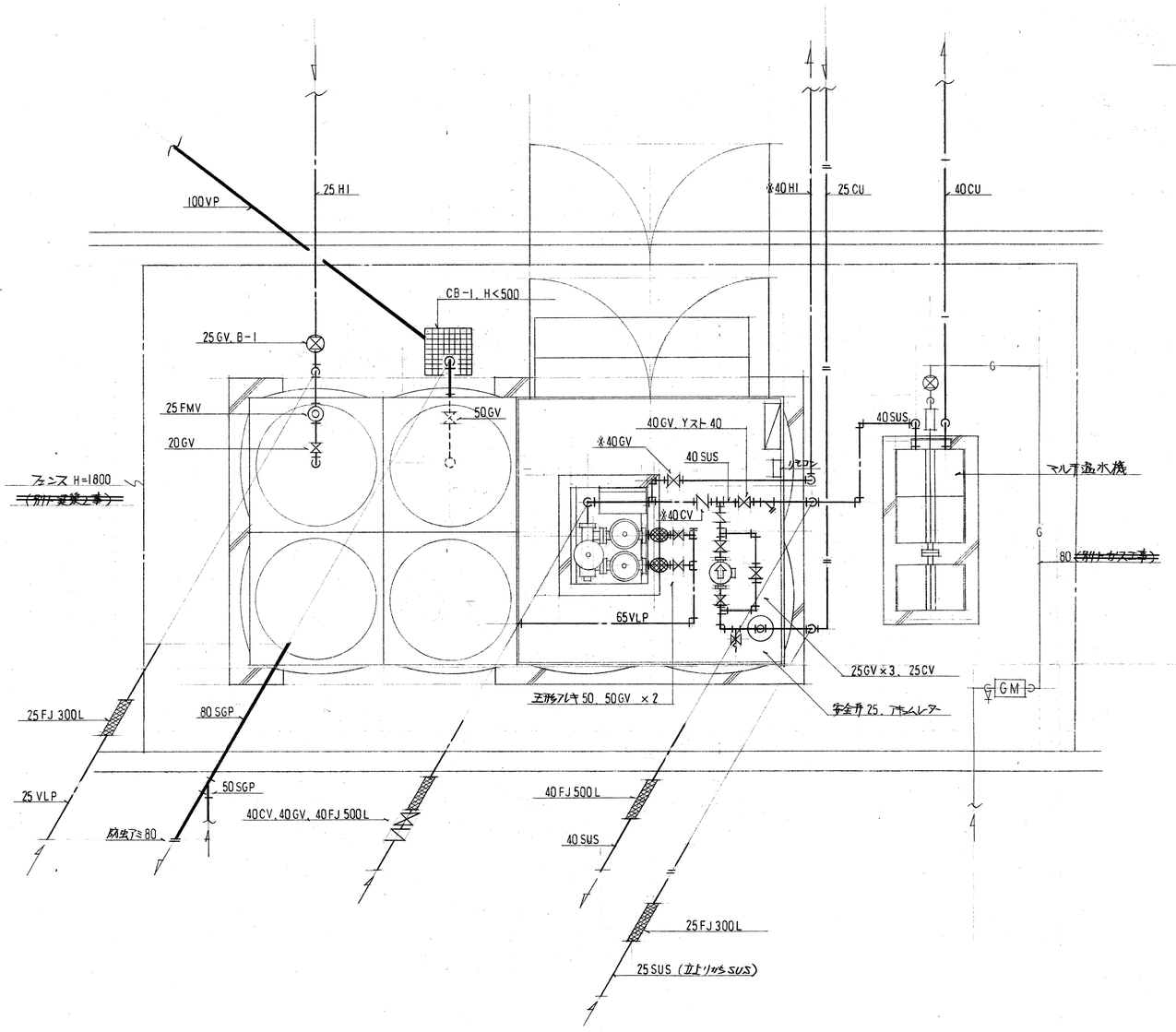
配置図　S=1:300

※屋外温水循環系（ポンプ共）全撤去
※屋外シャワー撤去
※温水シャワー用受水槽撤去
※給湯器撤去

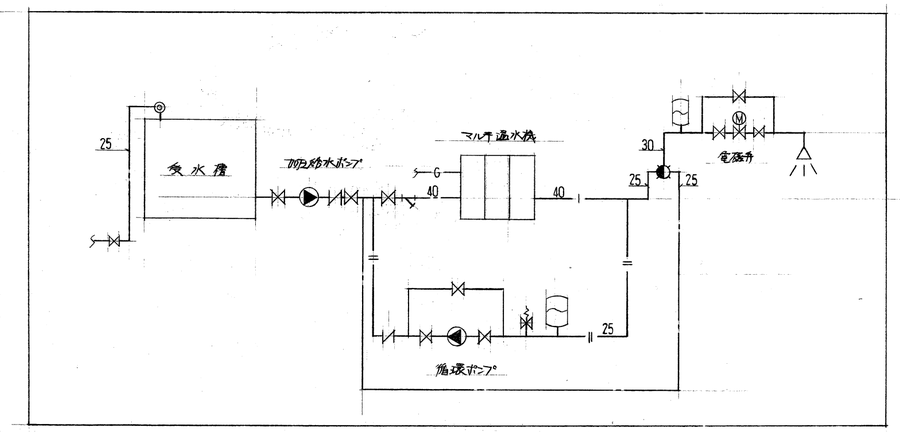
参考図M12－8
市民プールシャワー設備図１

※	市民プール給水管布設替工事
	豊橋市 市民プール シャワー設備改修工事
平成 5 年 4 月	図面名称：配置図
縮尺：1:300	課長 / 課長補佐 / 係長 / 設計

豊橋市建築部建築課



受水槽廻り平面図　S=1:30



配管系統図

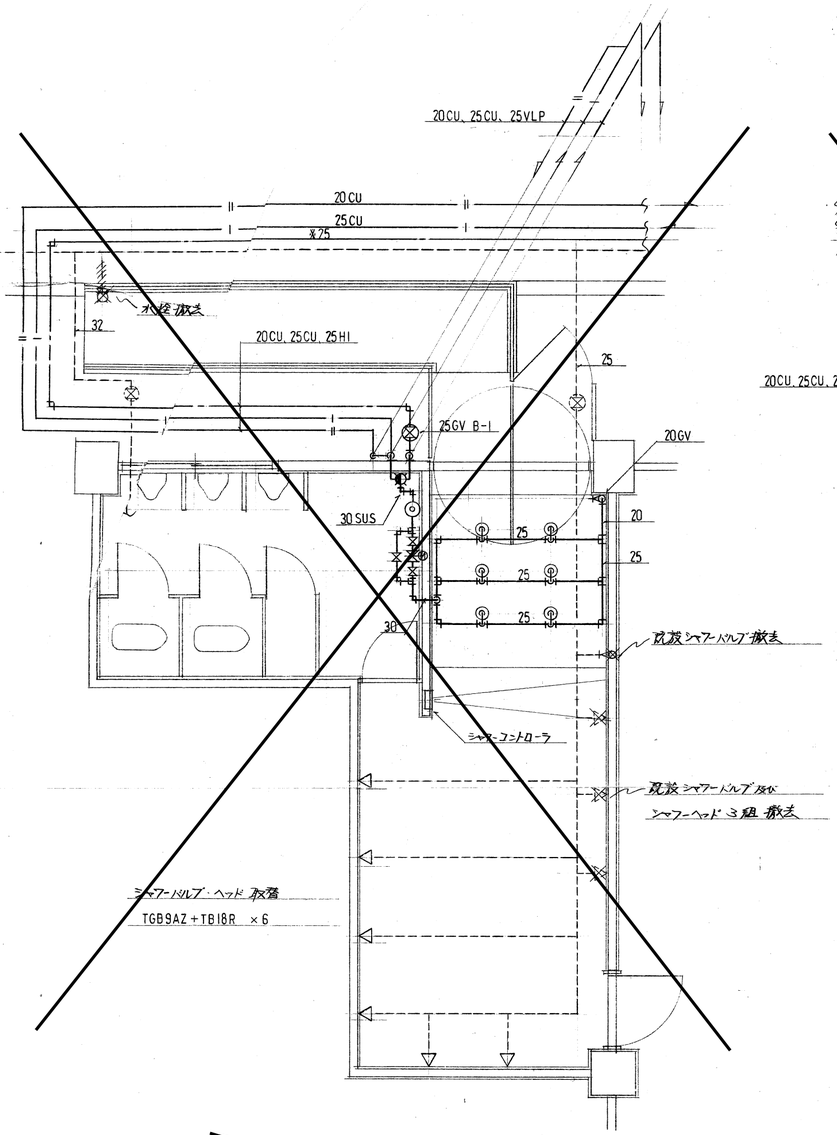
機器表

名称	仕様	数量
ポンプ室付受水槽	ステンレスパネルタンク 4°×2.°×2.°H　トビラ、タラップ付 (水槽 2.°×2.°×2.°H　平架台(亜鉛溶融メッキ)共 ポンプ室 2.°×2.°×2.°H　基礎：別途建築工事	1
マルチ温水機	給湯用屋外設置型 6台ユニット　メインコントローラ 卓台 共 工場組立品 (熱出力 270.000 kcal/h　参考品番：TP-WQ300MR×6 出湯量 81.8 ℓ/min (60℃)　基礎：本工事 (1400×700×200H)	1
加圧給水ポンプユニット	吐出圧一定給水ユニット　制御盤付(警報付) φ50×φ40×0.12 m³/min×4.5 kg/cm²×3φ200V×3.7 kW　参考品番：AV-PCL503-637D 自動交互運転型　基礎：本工事(900×750×200H)	1
給湯用循環ポンプ	温水機連動 φ25×0.06 m³/min×10 m×1φ100V×0.25 kW 参考品番：UP25A6.25S	1

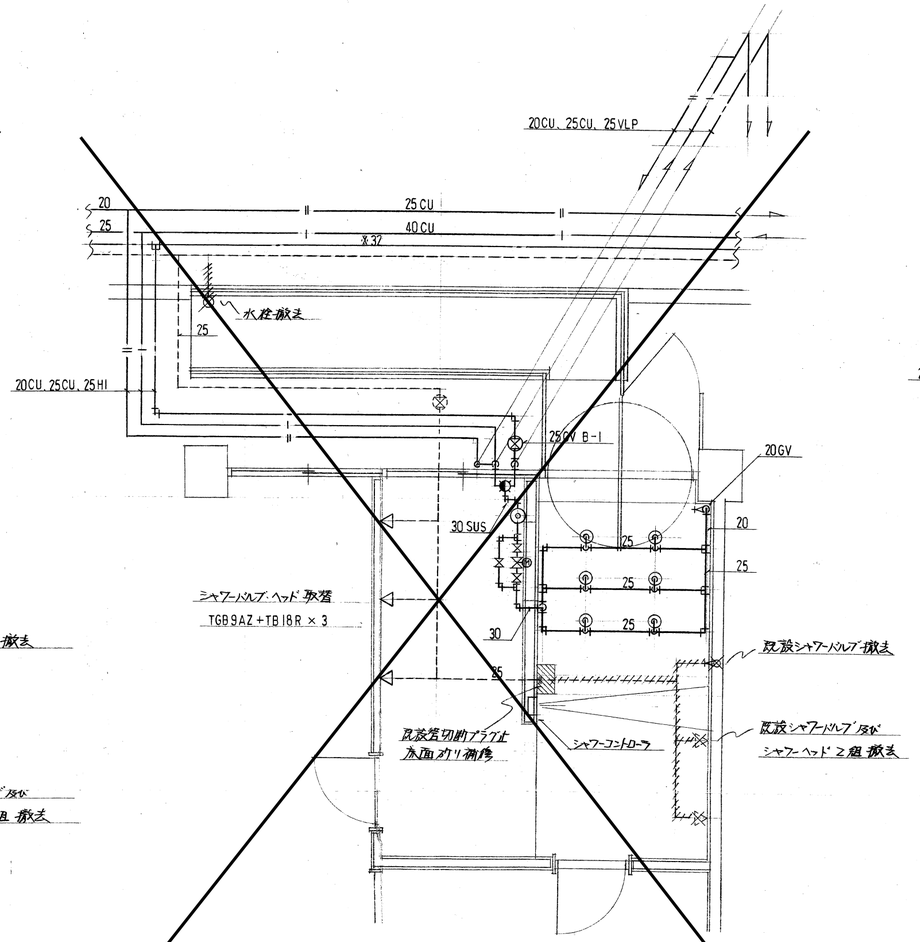
※受水槽、マルチ温水器、加圧給水ポンプユニット、給湯用循環ポンプ、その他付属品等すべて撤去

参考図M12－9
市民プールシャワー設備図2

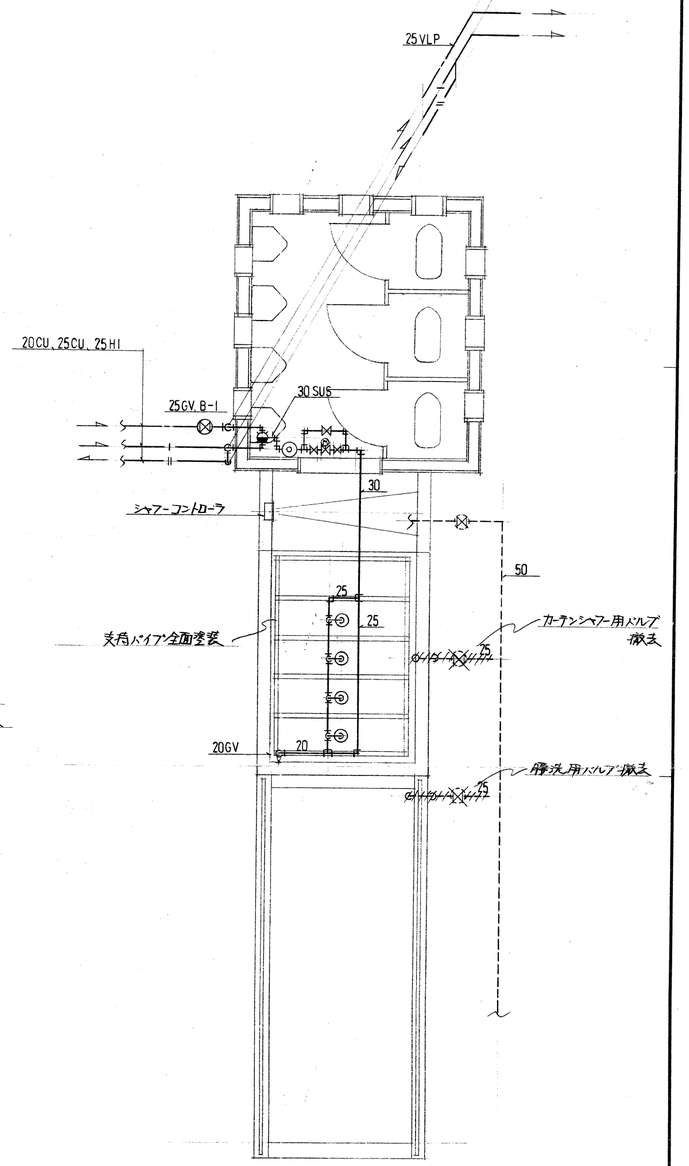
~~H5·5~~ 3-2　市民プール給水管布設替工事
~~豊橋市~~ 市民プール シャワー設備改修工事
平成 5 年 4 月
3 — 2
図面名称：設備設備図 系統図
縮尺：1:30
課長 / 係長 / 設計
豊橋市建築部建築課



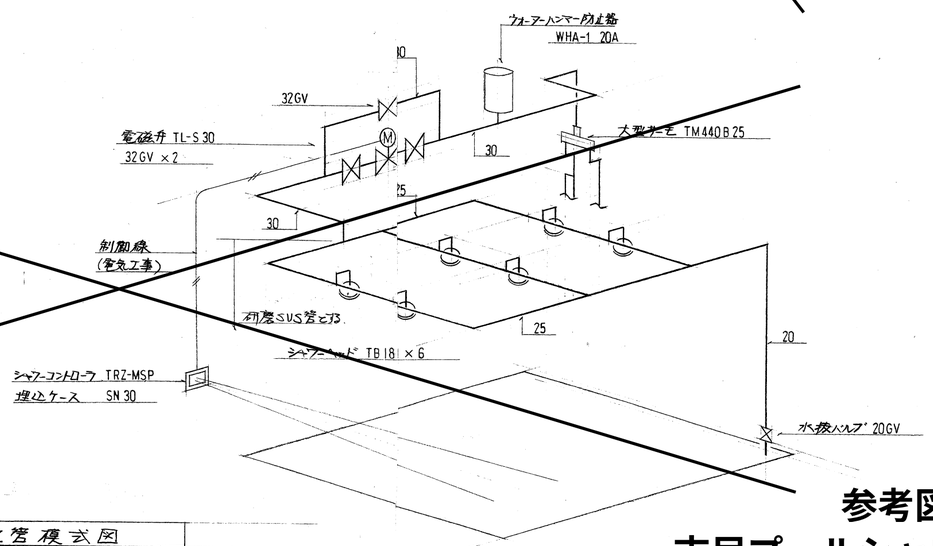
男子シャワー室平面図　S=1:50



女子シャワー室平面図　S=1:50



屋外便所平面図　S=1:50



シャワー室配管模式図

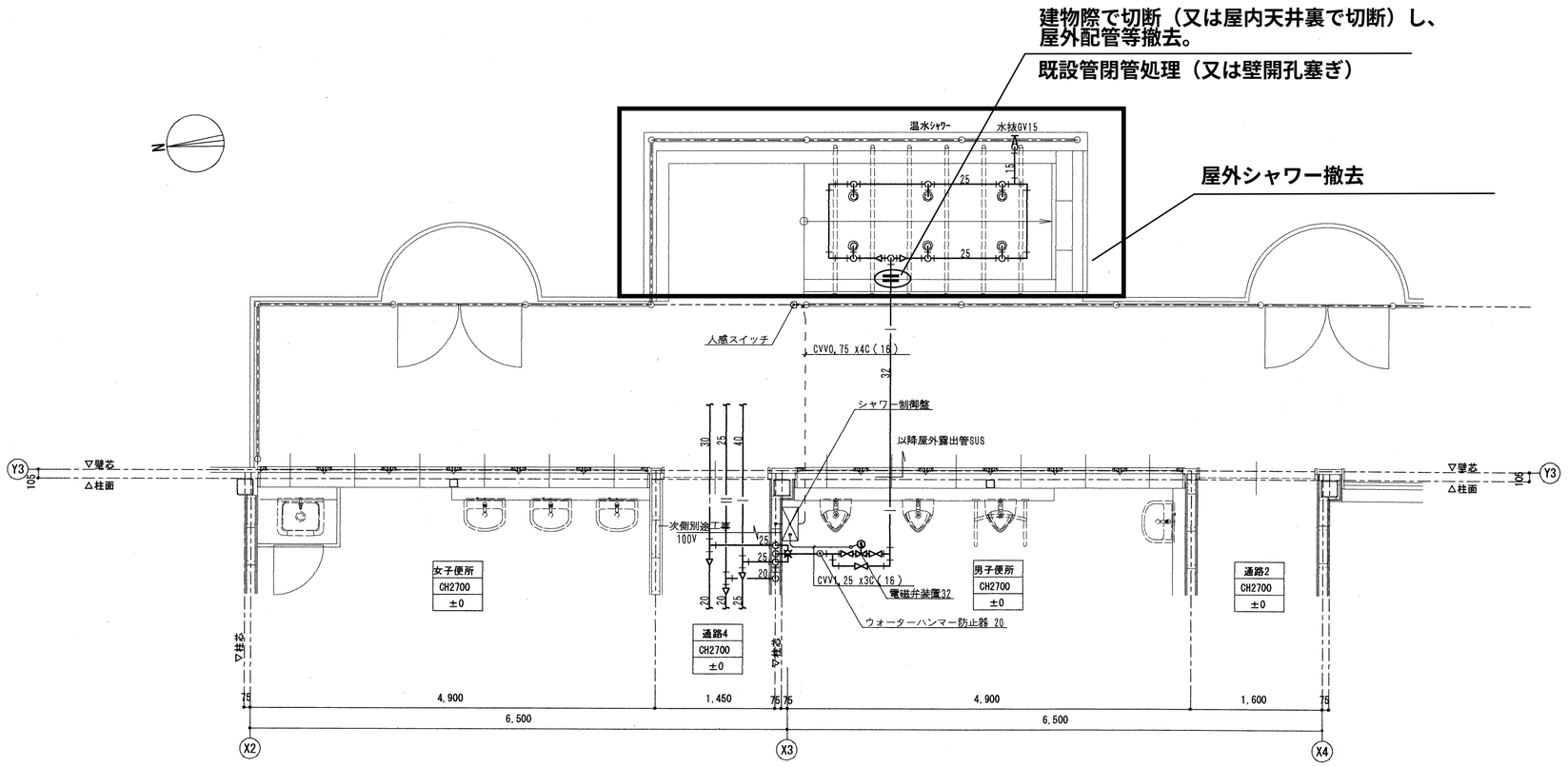
- 全て屋内露出架空配管とする.
- 屋内露出部分の保温は施さないものとする.
- 既設カーテンシャワー露出配管は全て撤去する.
- 屋外便所もシャワー室配管に準ずるものとする.

参考図M12－10

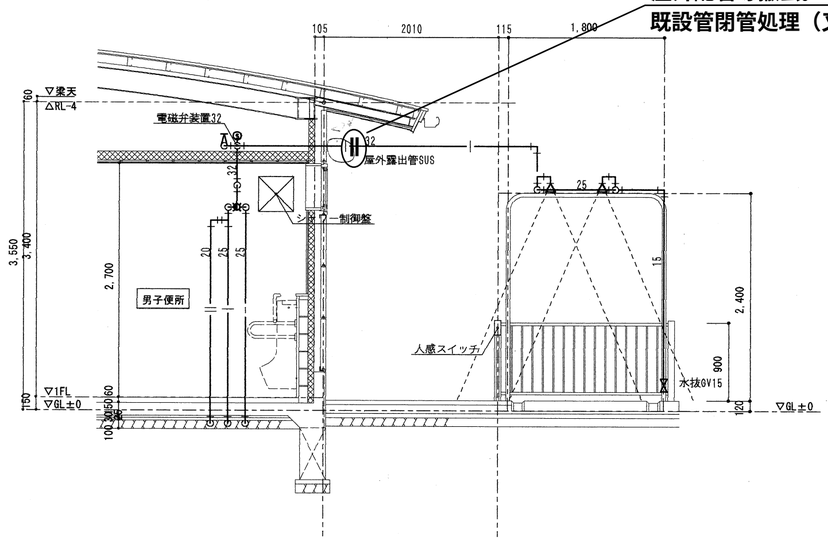
市民プールシャワー設備図３

H5・5 3 3	市民プール給水管布設替工事 豊橋市 市民プール シャワー設備改修工事
平成 5 年 4 月 3 ——— 3	図面名称：シャワー設備配管図
縮尺 1：50	課長 / 課長補佐 / 係長 / 設計

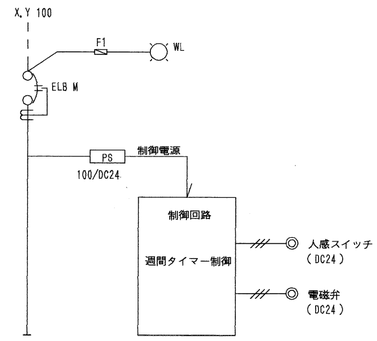
豊橋市建築部建築課



温水シャワー平面詳細図　　S:1/50



温水シャワー立面詳細図　　S:1/50



シャワー制御盤姿図

参考図M12−11
市民プール管理棟屋外温水シャワー詳細図

課長	課長補佐	課長補佐	主査	担当

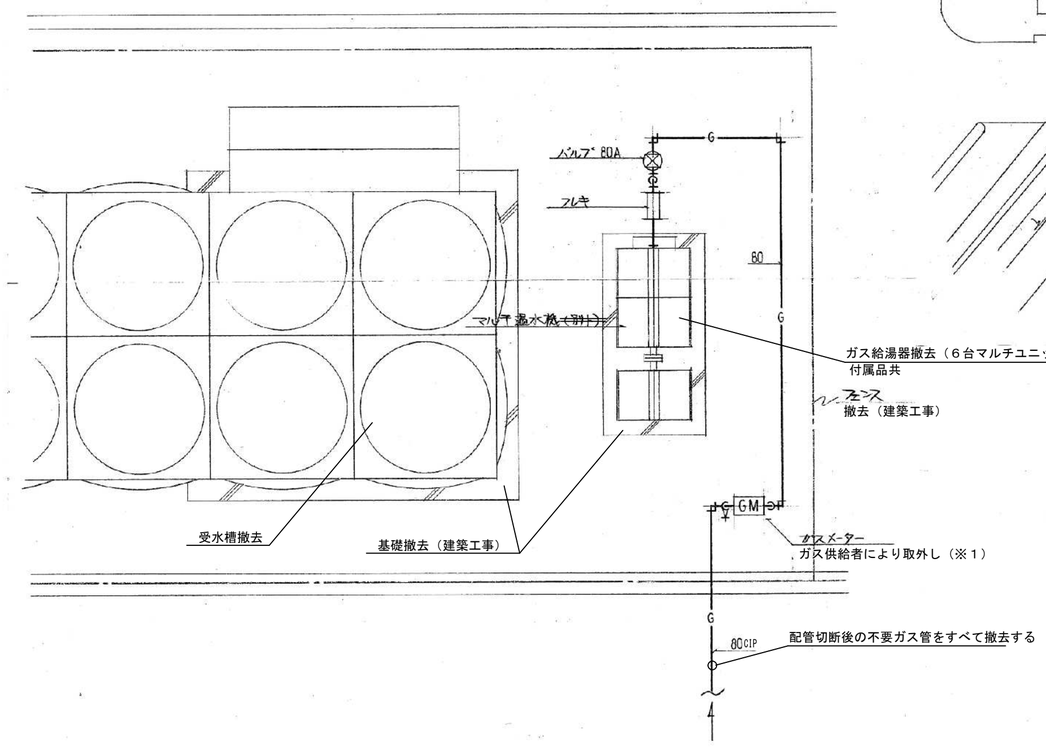
豊橋市建設部建築課

市民プール管理棟等　建設　　に伴う管工事

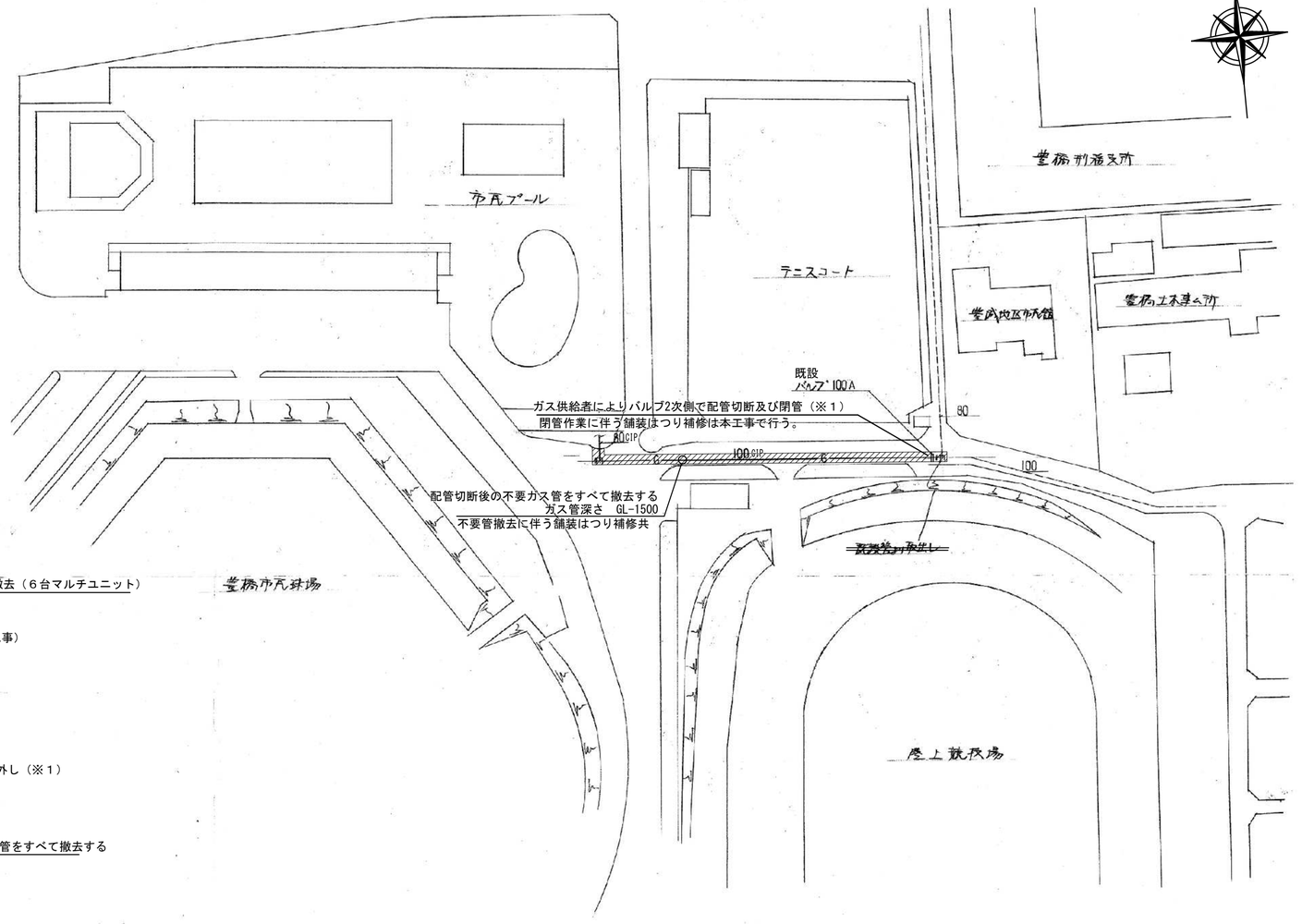
TITLE　管理棟温水シャワー詳細図

DRAW	CHECK	SCALE S=1/50	
		DATE 平成19年3月	13-09

㈱エムプロダクツ
〒441-8013　豊橋市花田一番町16　事務所登録／愛知県知事登録（い）5744号
Phone0532-31-6589　Fax0532-31-2778　1級建築士登録／第103132号　富田正行



平面図 S=1:30 (A2)



※ 屋外埋設配管深度 1500 以上とする。

配置図 S=1:1000 (A2)

凡例

配管撤去に伴う舗装はつり補修範囲

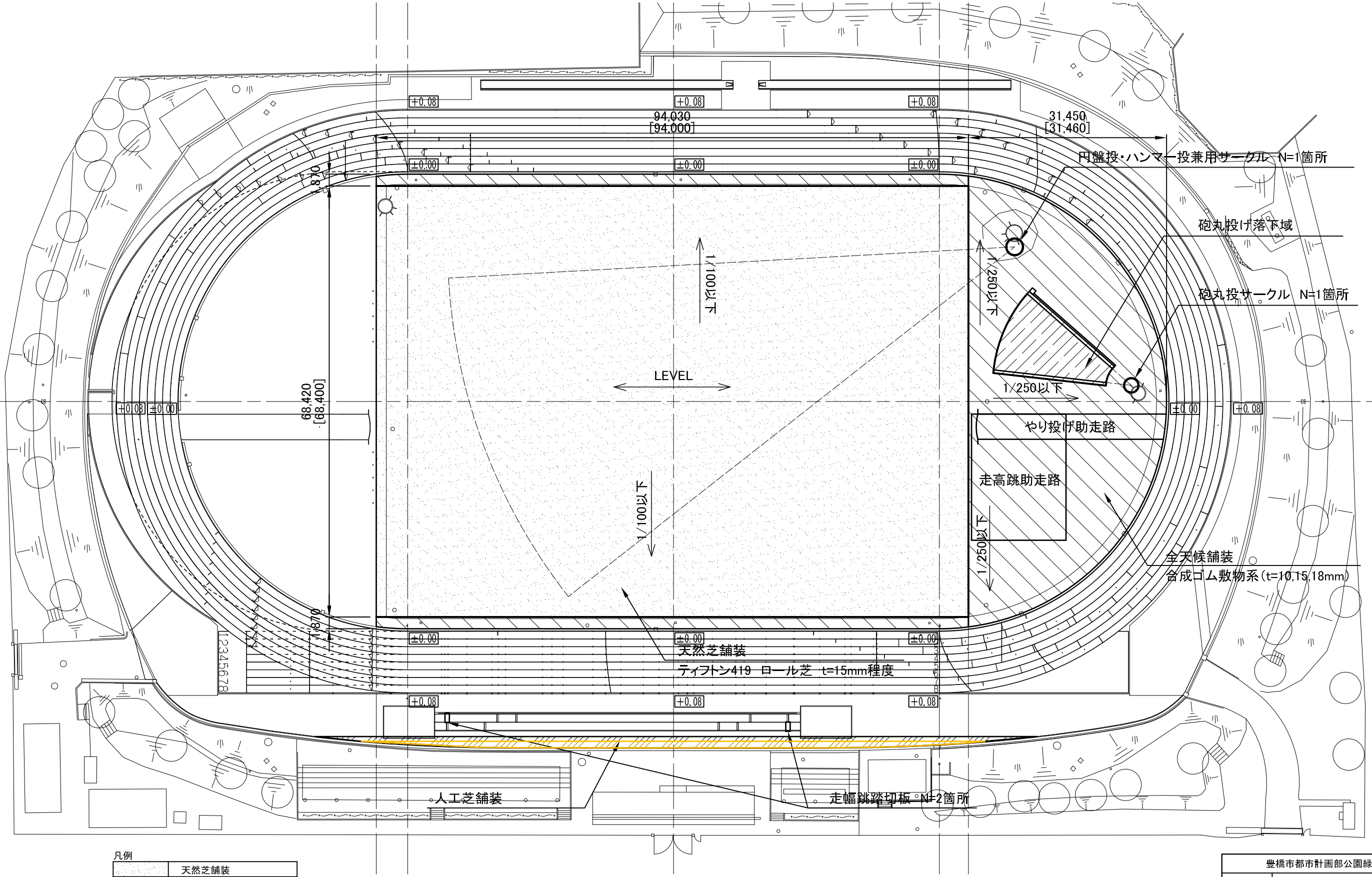
——G—— ガス管

※1　以下の作業は、公道本管工事扱いとし、都市ガス事業者（サーラエナジー(株)）の負担により施工する。
- ガスメーター取外し作業
- ガス管切断作業
- ガス管閉管作業
- 管内ガス抜き作業

本件について、都市ガス事業者と協議済み。
ガス管撤去予定日の1か月前に、都市ガス事業者へ連絡しガス管閉管作業の日程調整を行うこと。
ガス管閉管作業に必要な舗装はつり範囲の詳細について都市ガス事業者と調整すること。
ガス管閉管作業に伴う舗装のはつり補修は本工事で行う。

参考図M12―１２
市民プール温水シャワーに伴うガス設備図

計 画 平 面 図

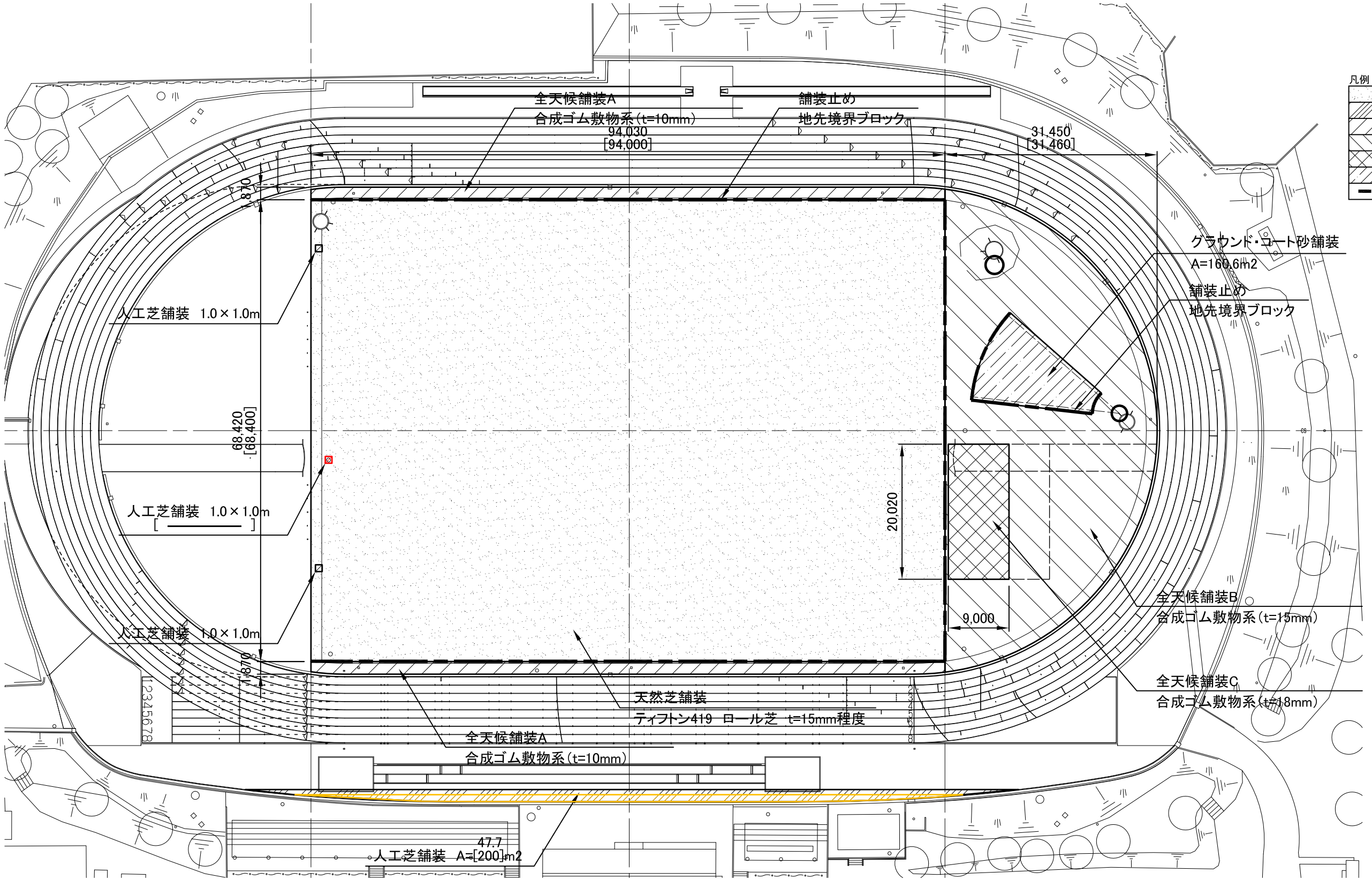


凡例

	天然芝舗装
	人工芝舗装
	全天候舗装
	ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・ｺｰﾄ砂舗装

豊橋市都市計画部公園緑地課			
工 事 名	陸上競技場フィールド改修工事		
工事場所	豊橋市今橋町地内　豊橋公園		
図面名称	計画平面図	番　号	2/8
		縮　尺	1:600
		設計年月	平成29年6月

ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・ｺｰﾄ舗装工　平面図

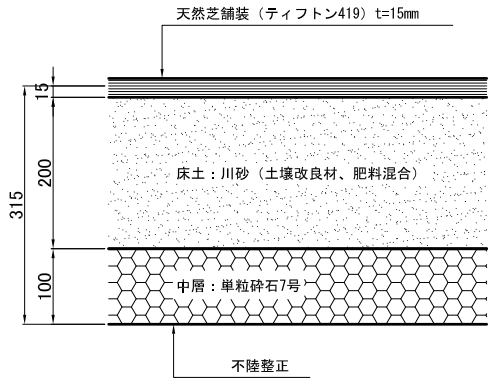


豊橋市都市計画部公園緑地課			
工 事 名	陸上競技場フィールド改修工事		
工事場所	豊橋市今橋町地内　豊橋公園		
図面名称	ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・ｺｰﾄ舗装工 平面図	番　号	4/8
		縮　尺	1:600
		設計年月	平成29年6月

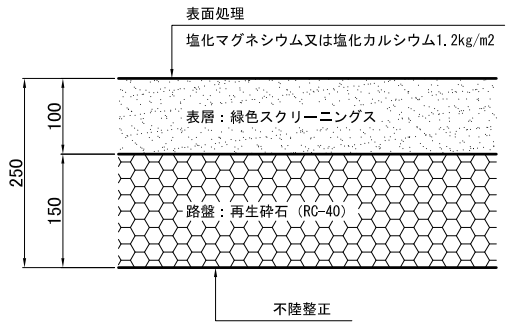
グラウンド・コート舗装工　構造図

標準断面図 s=1：10

天然芝舗装

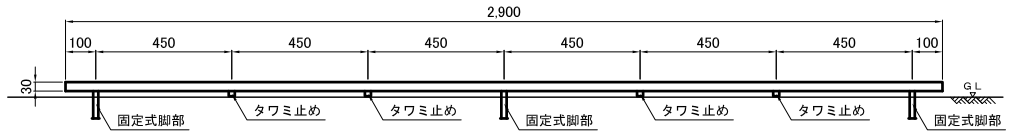


グラウンド・コート砂舗装

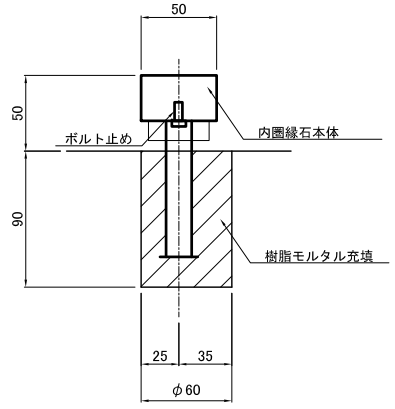


内圏縁石改良工

側面図　s=1：25

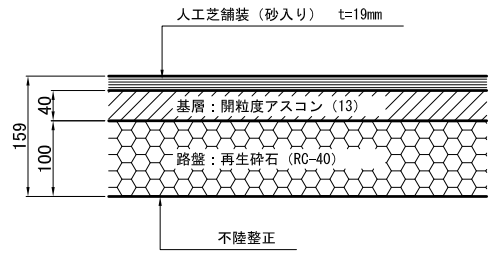


断面図　s=1：5

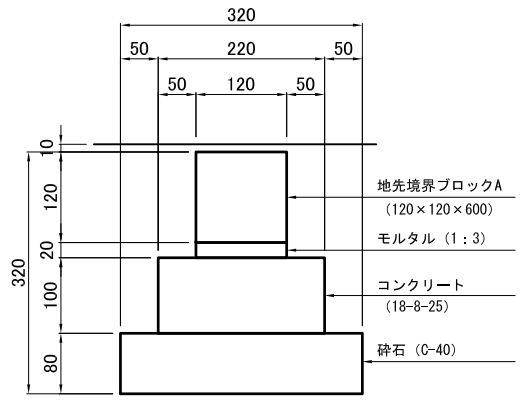


※固定式脚部を脱着式の脚部に取替え、
内圏縁石を脱着式に改良し槍投げ助走路を確保すること。

人工芝舗装



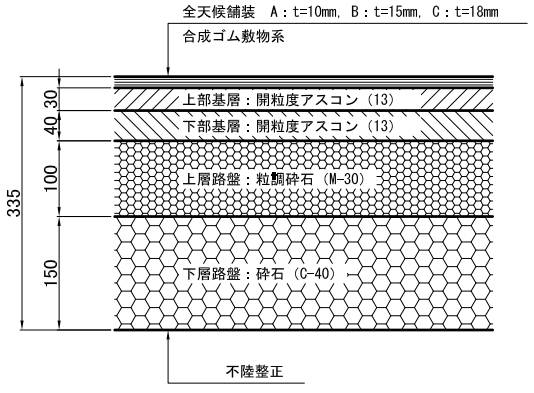
舗装止め



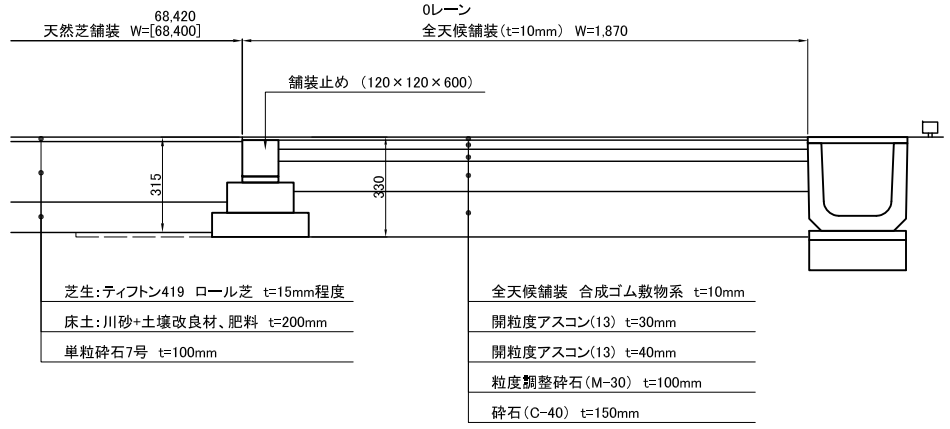
舗装止め　数量表　　100m当り

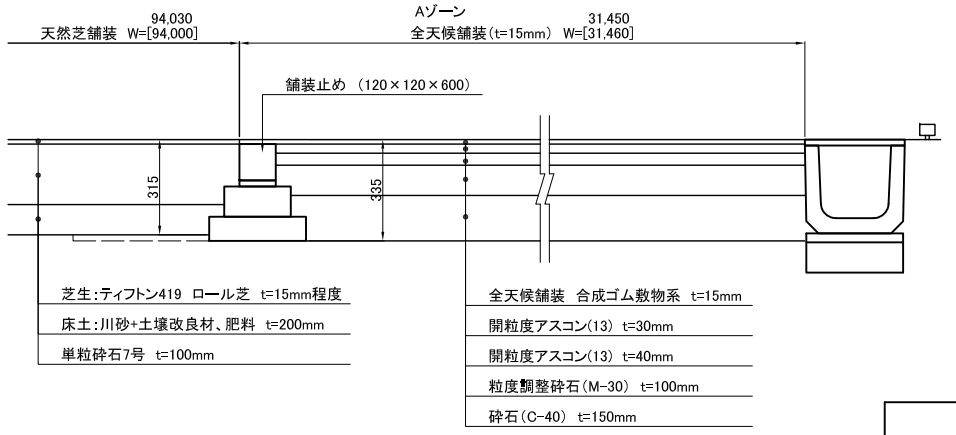
名称	規格	単位	数量	備考
地先境界ブロックA	120×120×600	個	165	
モルタル	1：3	m3	0.2	
コンクリート	18-8-25	m3	2.2	
型わく		m2	20	
基礎砕石	砕石C-40　t=80	m2	32	

全天候舗装A,B,C



標準横断図 s=1：25

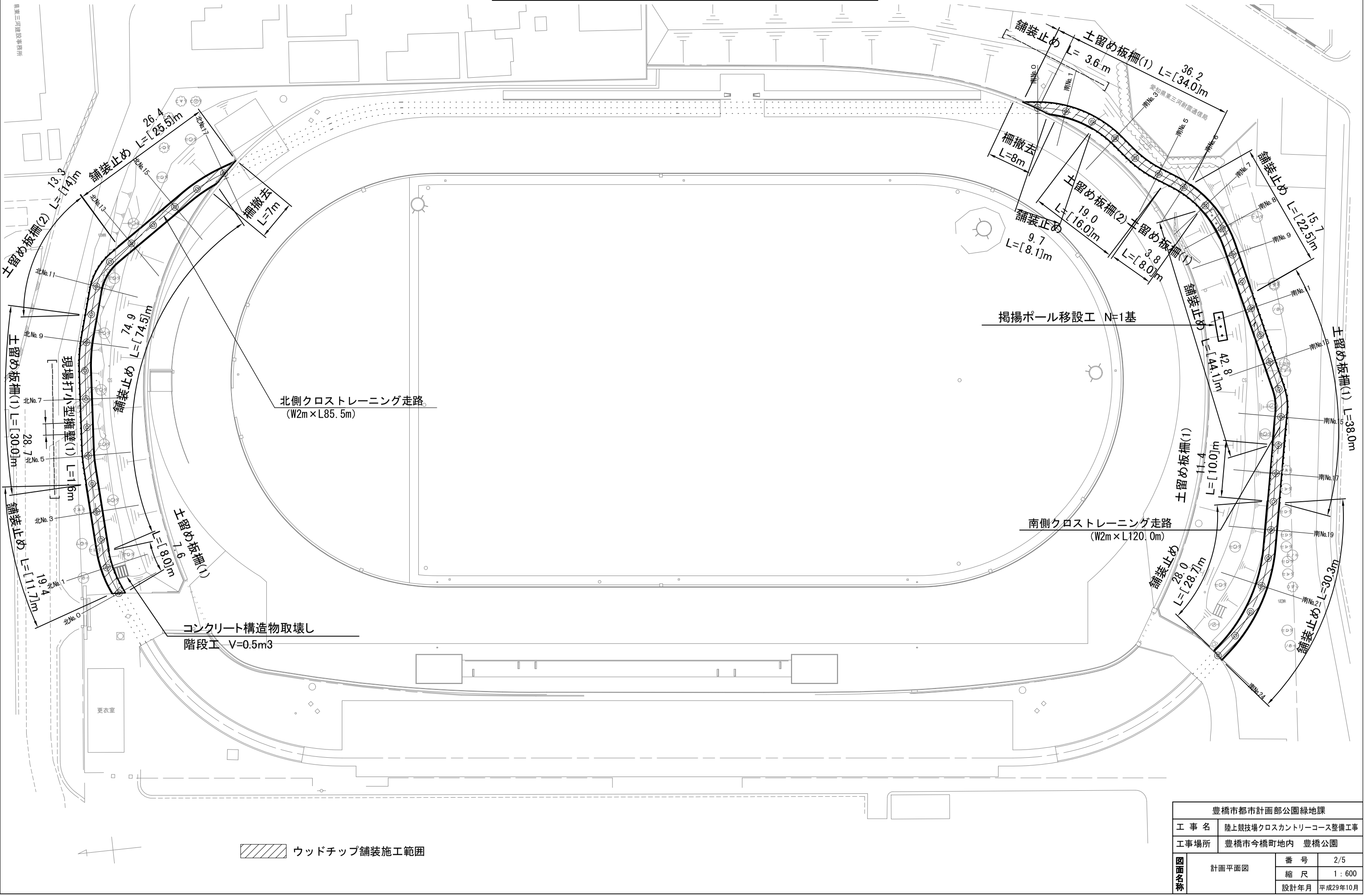




豊橋市都市計画部公園緑地課			
工事名	陸上競技場フィールド改修工事		
工事場所	豊橋市今橋町地内　豊橋公園		
図面名称	ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・ｺｰﾄ舗装工 構造図	番号	5/8
		縮尺	図示
		設計年月	平成29年6月

【令和５年11月28日追加】別紙2-1-4　陸上競技場クロスカントリーコース整備工事

計画平面図



ウッドチップ舗装施工範囲

豊橋市都市計画部公園緑地課			
工事名	陸上競技場クロスカントリーコース整備工事		
工事場所	豊橋市今橋町地内　豊橋公園		
図面名称	計画平面図	番号	2/5
		縮尺	1：600
		設計年月	平成29年10月

標準構造図

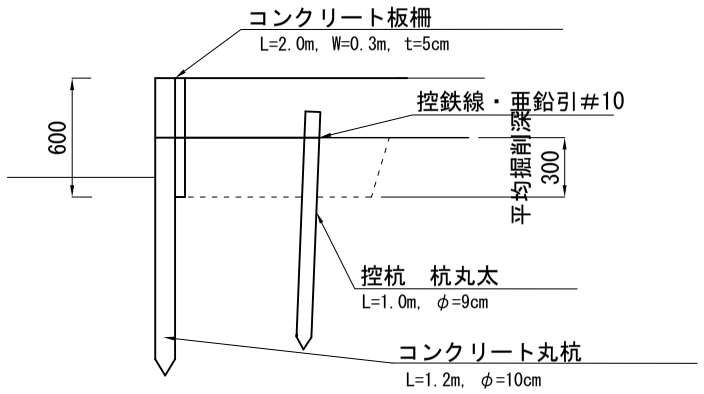
チップ舗装 s=1：10



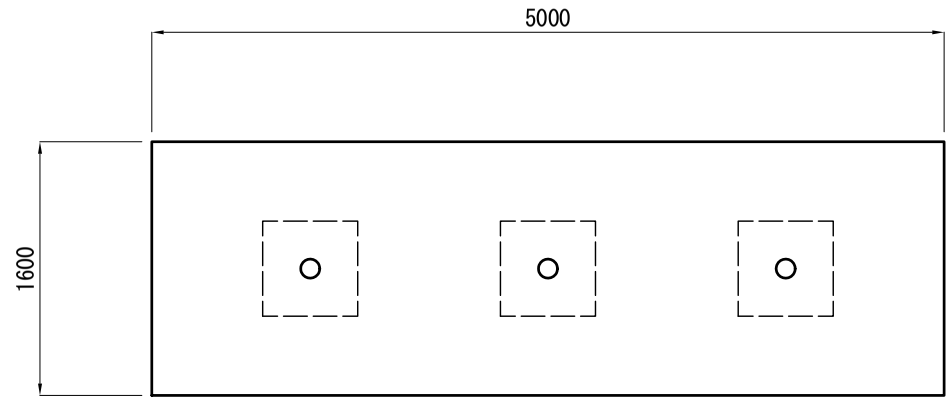
チップ舗装　数量表　　100m2当り

名称	規格	単位	数量	備考
表層	木系園路工　チップ舗装　t=50mm （あいち認証材　P-185登録品）	m2	100.0	
路盤	砕石　C-20　　t=100mm	m2	100.0	

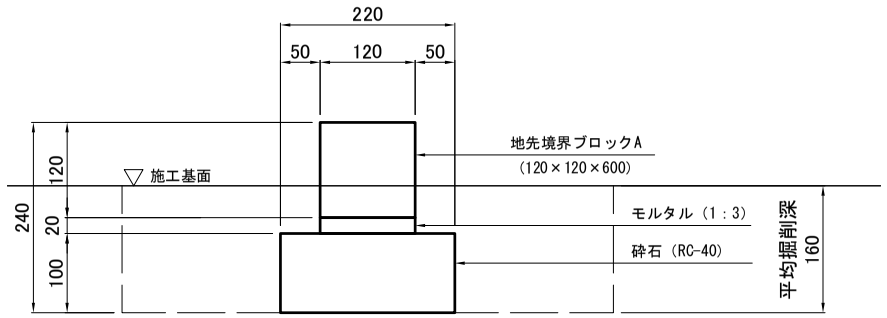
土留め板柵（2段） s=1：40



掲揚ポール移設工 s=1：50



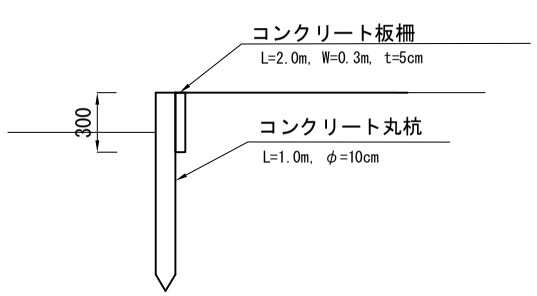
舗装止め s=1：10



舗装止め　数量表　　100m当り

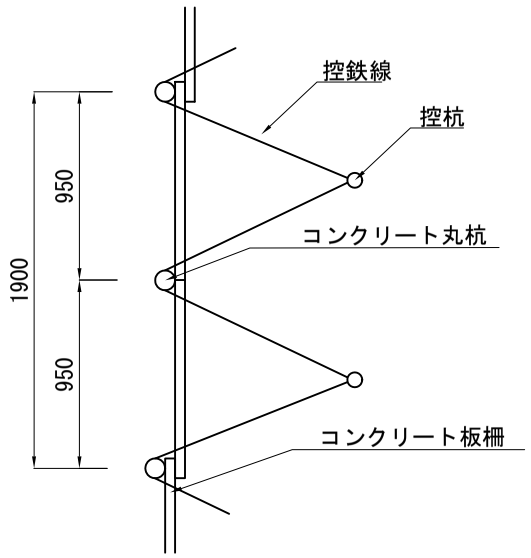
名称	規格	単位	数量	備考
地先境界ブロックA	120×120×600	個	165	
モルタル	1：3	m3	0.2	
基礎砕石	砕石RC-40　t=100	m2	22	
床掘		m3	9.9	
埋戻		m3	7.0	

土留め板柵（1段） s=1：40



コンクリート板柵　数量表　　9.5m当り

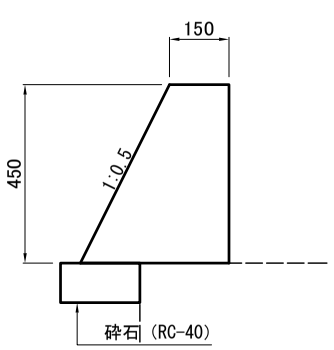
名　称	規　格	単　位	数　量
コンクリート丸杭	L=1.0m，φ=10cm	本	10
コンクリート板柵	L=2.0m，W=0.3m，t=5cm	枚	5



コンクリート板柵　数量表　　9.5m当り

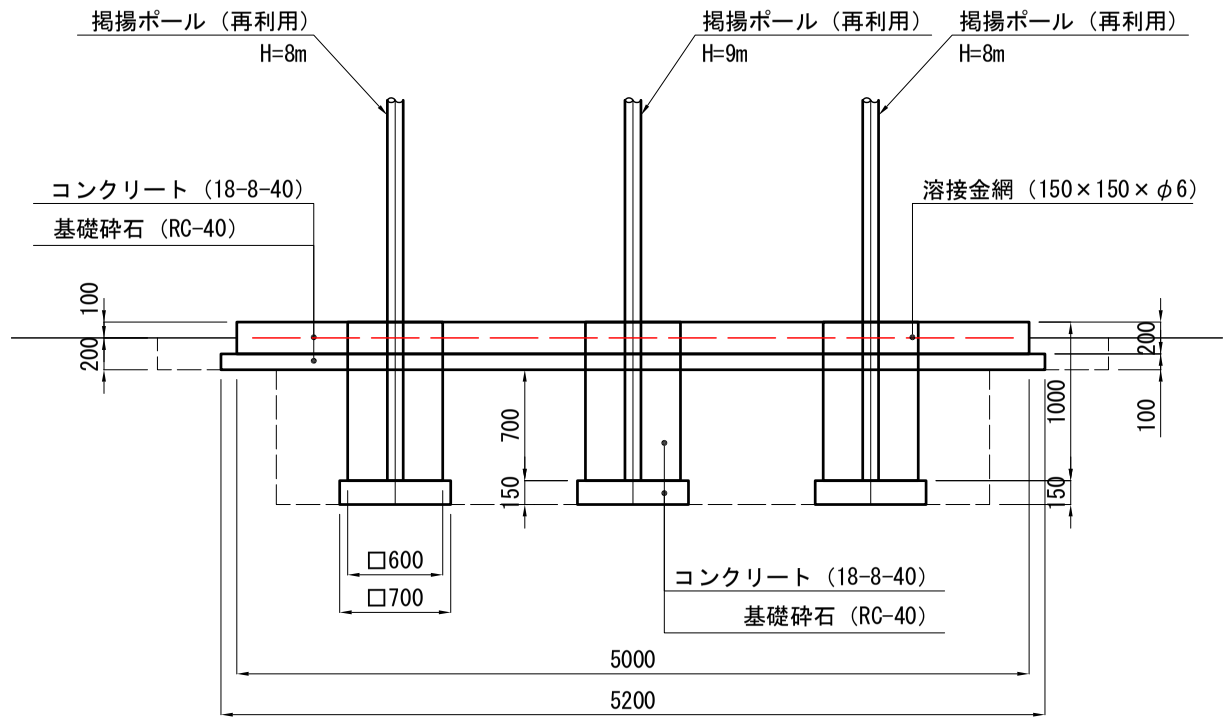
名　称	規　格	単　位	数　量
コンクリート丸杭	L=1.2m，φ=10cm	本	10
コンクリート板柵	L=2.0m，W=0.3m，t=5cm	枚	10
控　杭	杭丸太　L=1.0m，φ=9cm	本	10
控　鉄　線	亜鉛引　#10	kg	2.6
床　堀		m3	3.1
埋　戻		m3	3.1

現場打小型擁壁(1) s=1：20



現場打小型擁壁(1)　数量表　　1.6m当り

名称	規格	単位	数量	備考
コンクリート	18-8-40BB	m3	0.2	
型枠	一般型枠	m2	1.6	
基礎砕石	砕石RC-40　t=100	m2	0.33	

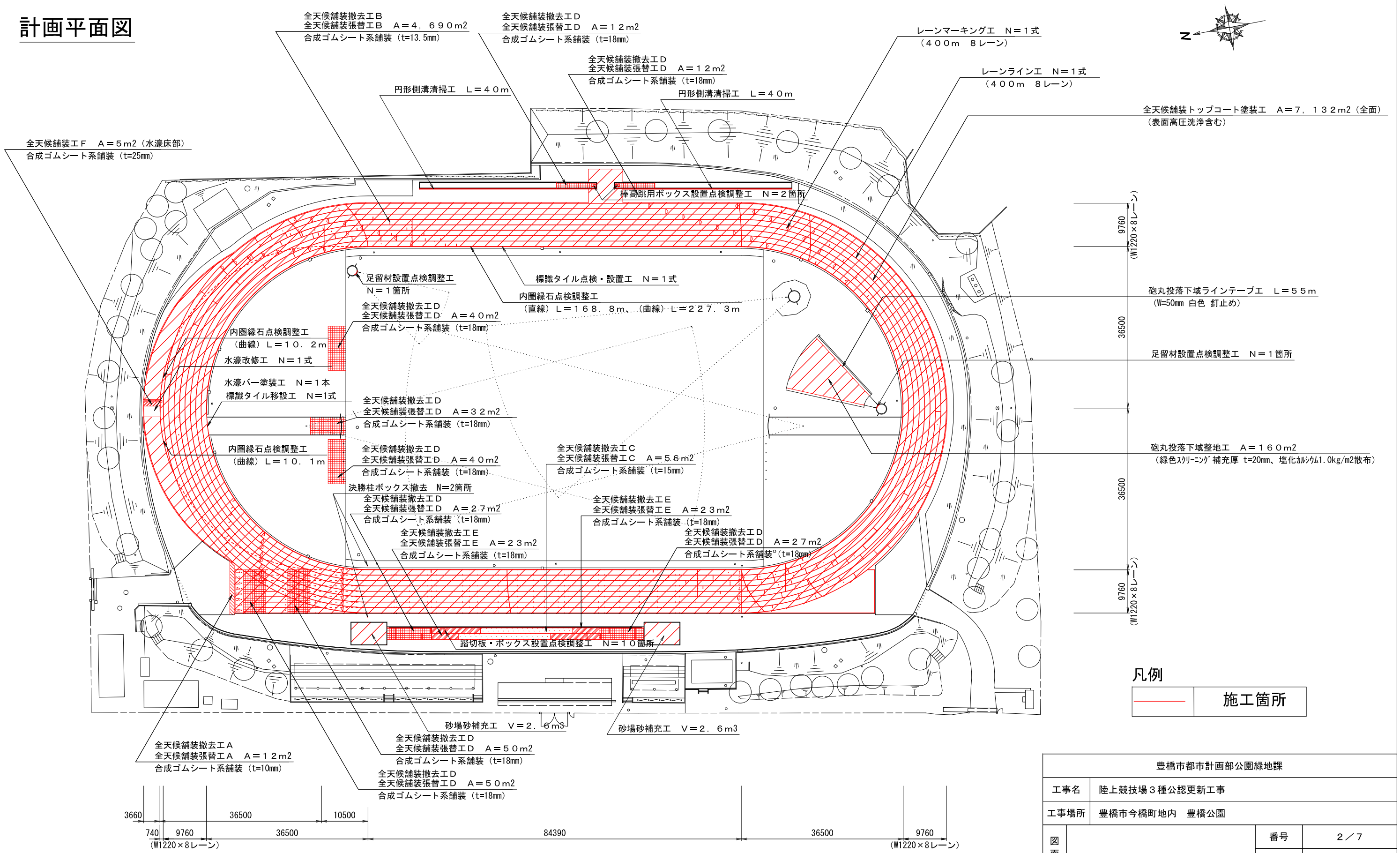


掲揚ポール移設工　数量表　　1式当り

名　称	規　格	単　位	数　量
構造物取壊し	無筋コンクリート	m3	1.1 [2.5]
	鉄筋コンクリート　[----------]	m3	3.46 [---]
排水管撤去・復旧 [-------]	硬質塩化ビニル管φ200 [----------]	m	2.0 [---]
掲揚ポール撤去、移設	H=8m:2本，H=9m:1本	本	3
コンクリート	18-8-40	m3	2.5
型枠		m2	9.8
溶接金網 [----------]	150×150×φ6　[----------]	m2	6.7 [---]
基礎砕石	再生砕石（RC-40）　t=100mm	m2	8.3
基礎砕石	再生砕石（RC-40）　t=150mm	m2	1.5
床　掘	5.6 [7.0]+9.6	m3	15 [17]
埋　戻	10.1[9.6]+7.0	m3	17

豊橋市都市計画部公園緑地課			
工事名	陸上競技場クロスカントリーコース整備工事		
工事場所	豊橋市今橋町地内　豊橋公園		
図面名称	標準構造図	番号	5/5
		縮尺	図示
		設計年月	平成29年10月

計画平面図



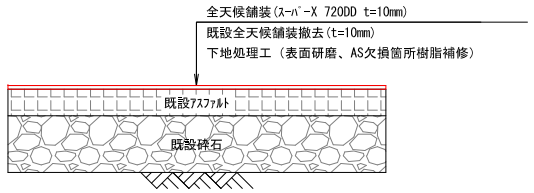
凡例

――	施工箇所

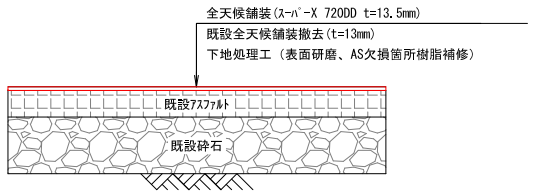
豊橋市都市計画部公園緑地課						
工事名	陸上競技場３種公認更新工事					
工事場所	豊橋市今橋町地内　豊橋公園					
図面名称	計画平面図	番号	２／７			
		縮尺	1／800			
		設計月	令和2年6月			
決裁	課長	主幹	課長補佐	主査	検算者	設計者

舗装構成図　撤去図

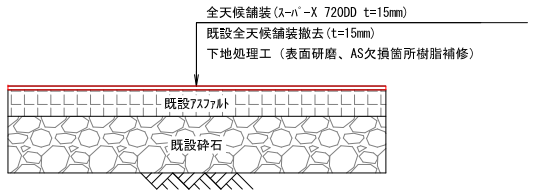
全天候舗装張替工Ａ　Ｓ＝１／２０



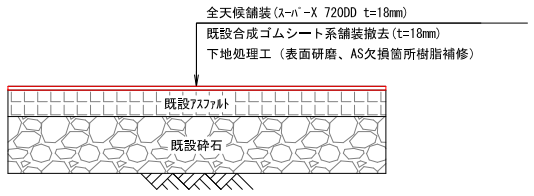
全天候舗装張替工Ｂ　Ｓ＝１／２０



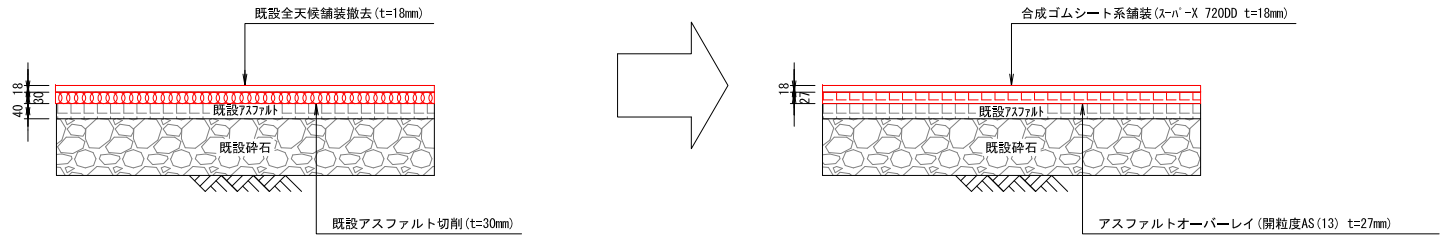
全天候舗装張替工Ｃ　Ｓ＝１／２０



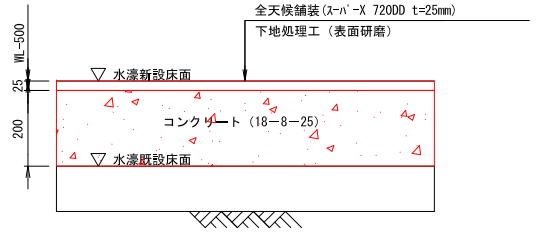
全天候舗装張替工Ｄ　Ｓ＝１／２０



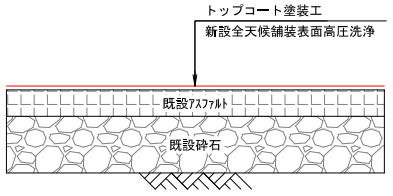
全天候舗装張替工Ｅ　Ｓ＝１／２０



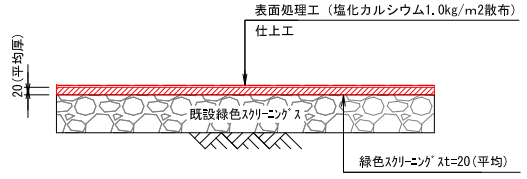
全天候舗装Ｆ　Ｓ＝１／２０



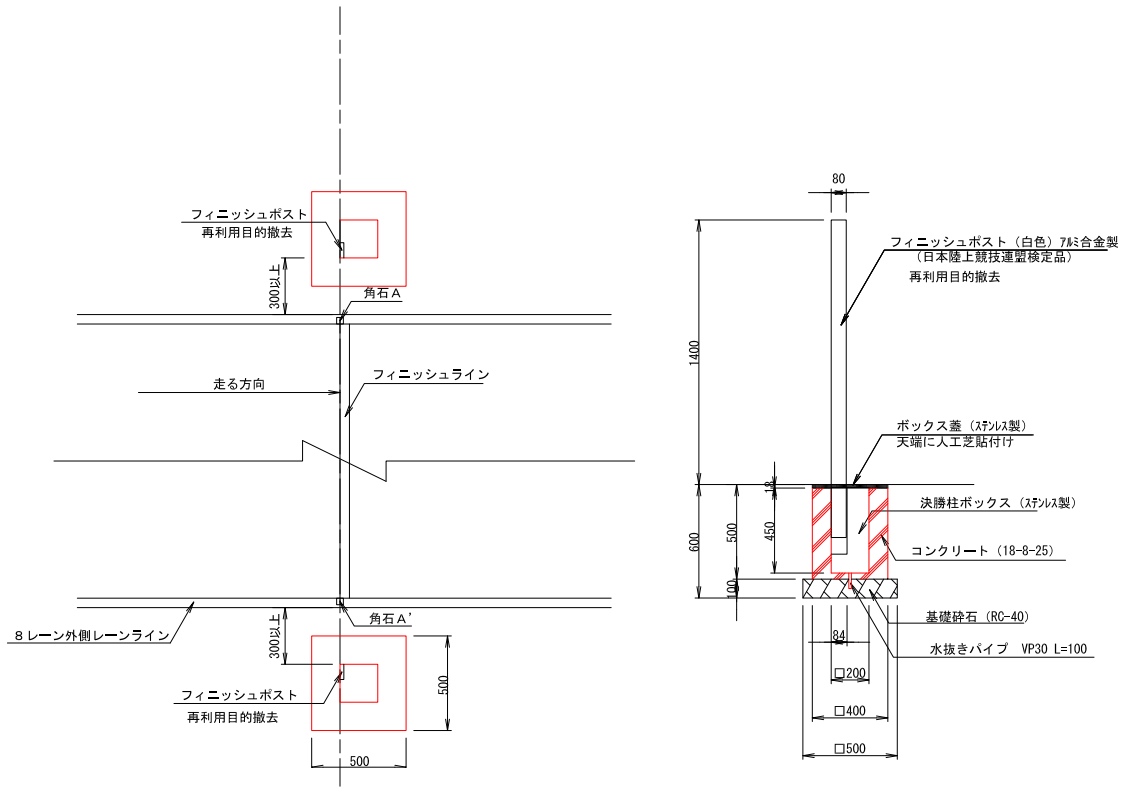
全天候舗装トップコート塗装工　Ｓ＝１／２０



砲丸投落下域整地工　Ｓ＝１／２０



決勝柱ボックス　撤去図　Ｓ＝１／４０



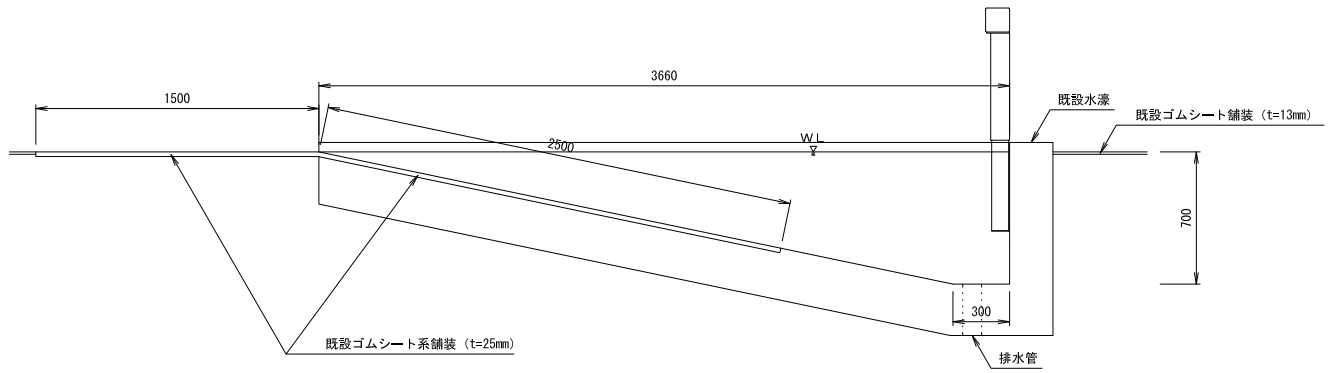
凡例

――――	施工箇所

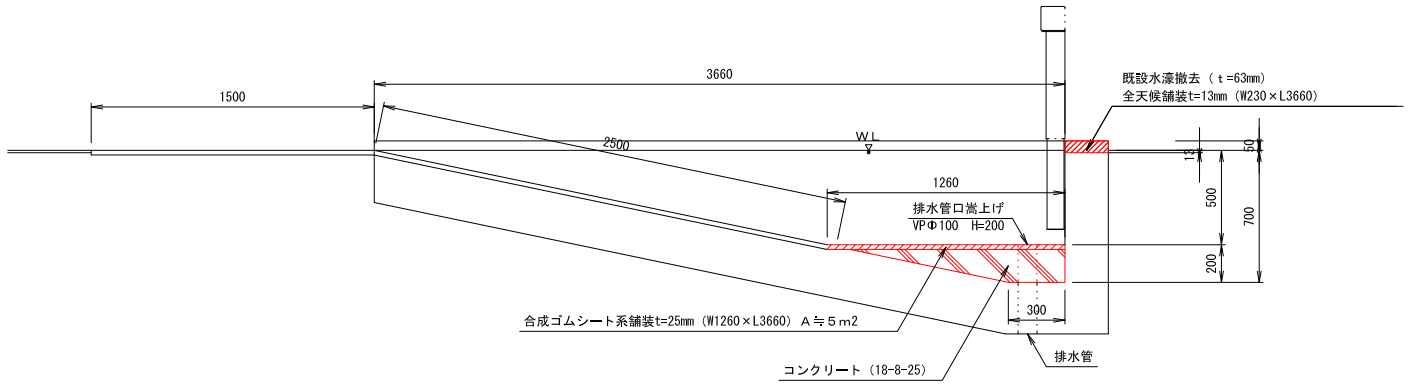
豊橋市都市計画部公園緑地課						
工事名	陸上競技場３種公認更新工事					
工事場所	豊橋市今橋町地内　豊橋公園					
図面名称	舗装構成図　撤去図			番号	３／７	
				縮尺	図示	
				設計月	令和2年6月	
決裁	課長	主幹	課長補佐	主査	検算者	設計者

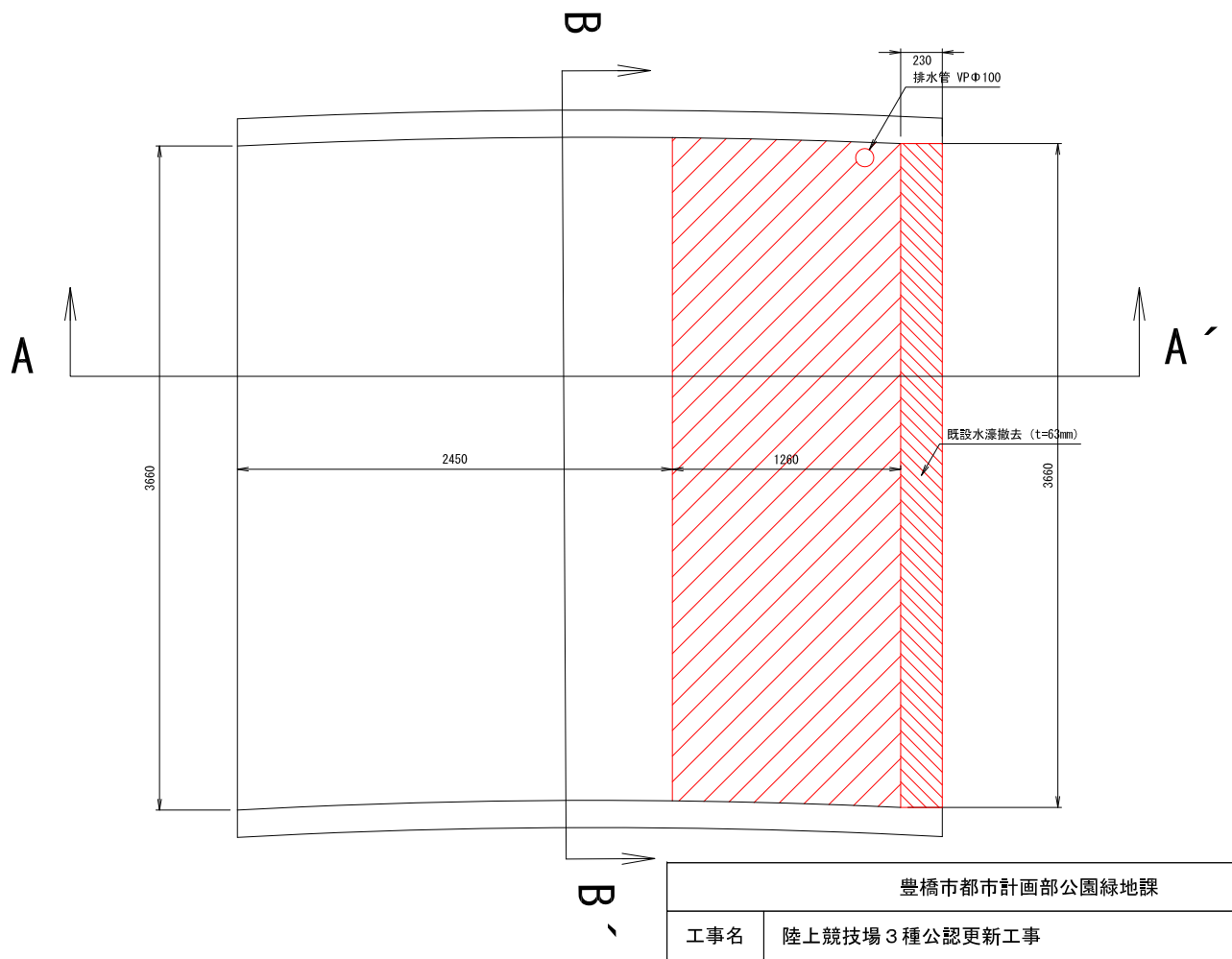
水濠部詳細図

既設水濠部　詳細図　　S＝１／４０



水濠部嵩上　A-A’断面図　　S＝１／４０





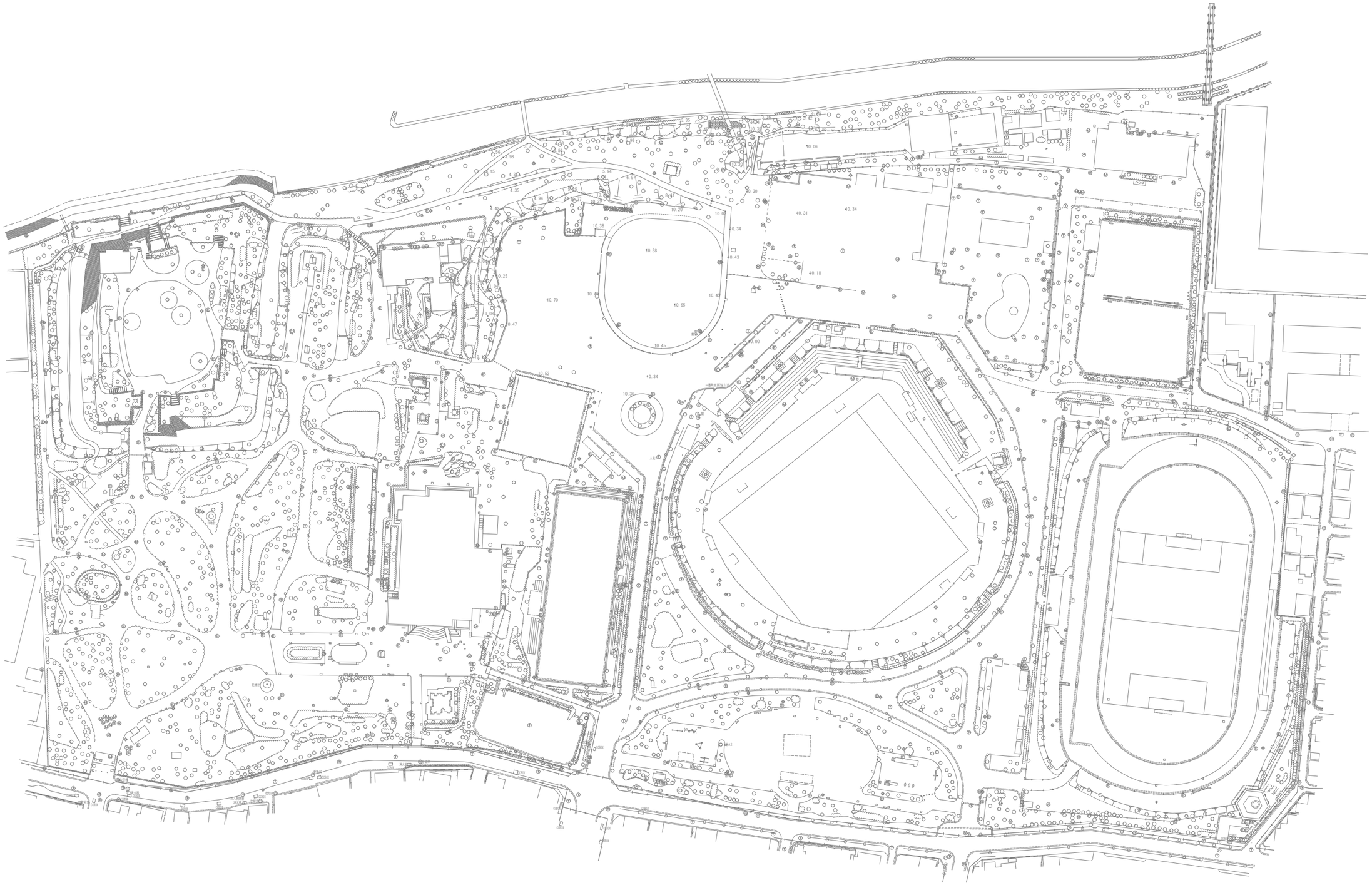
凡例

――	施工箇所

豊橋市都市計画部公園緑地課						
工事名	陸上競技場３種公認更新工事					
工事場所	豊橋市今橋町地内　豊橋公園					
図面名称	水濠部詳細図			番号	４／７	
				縮尺	図示	
				設計月	令和2年6月	
決裁	課長	主幹	課長補佐	主査	検算者	設計者

別紙2-2 現況平面図（都市公園台帳）

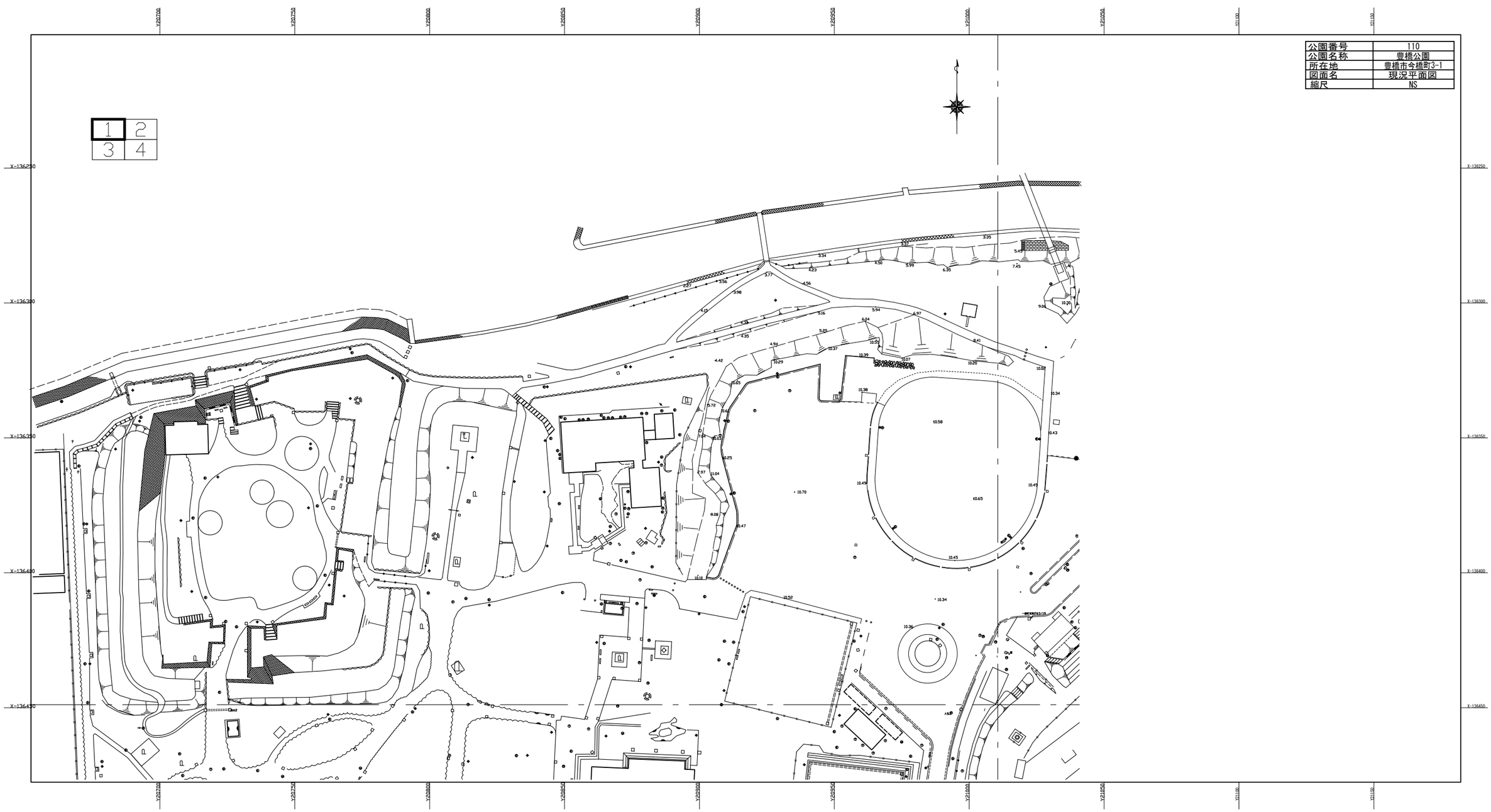
公園番号	110
公園名称	豊橋公園
所在地	豊橋市今橋町3-1
図面名	現況平面図
縮尺	1:2000



別紙2-2-1 現況平面図（都市公園台帳）①

公園番号	110
公園名称	豊橋公園
所在地	豊橋市今橋町3-1
図面名	現況平面図
縮尺	NS

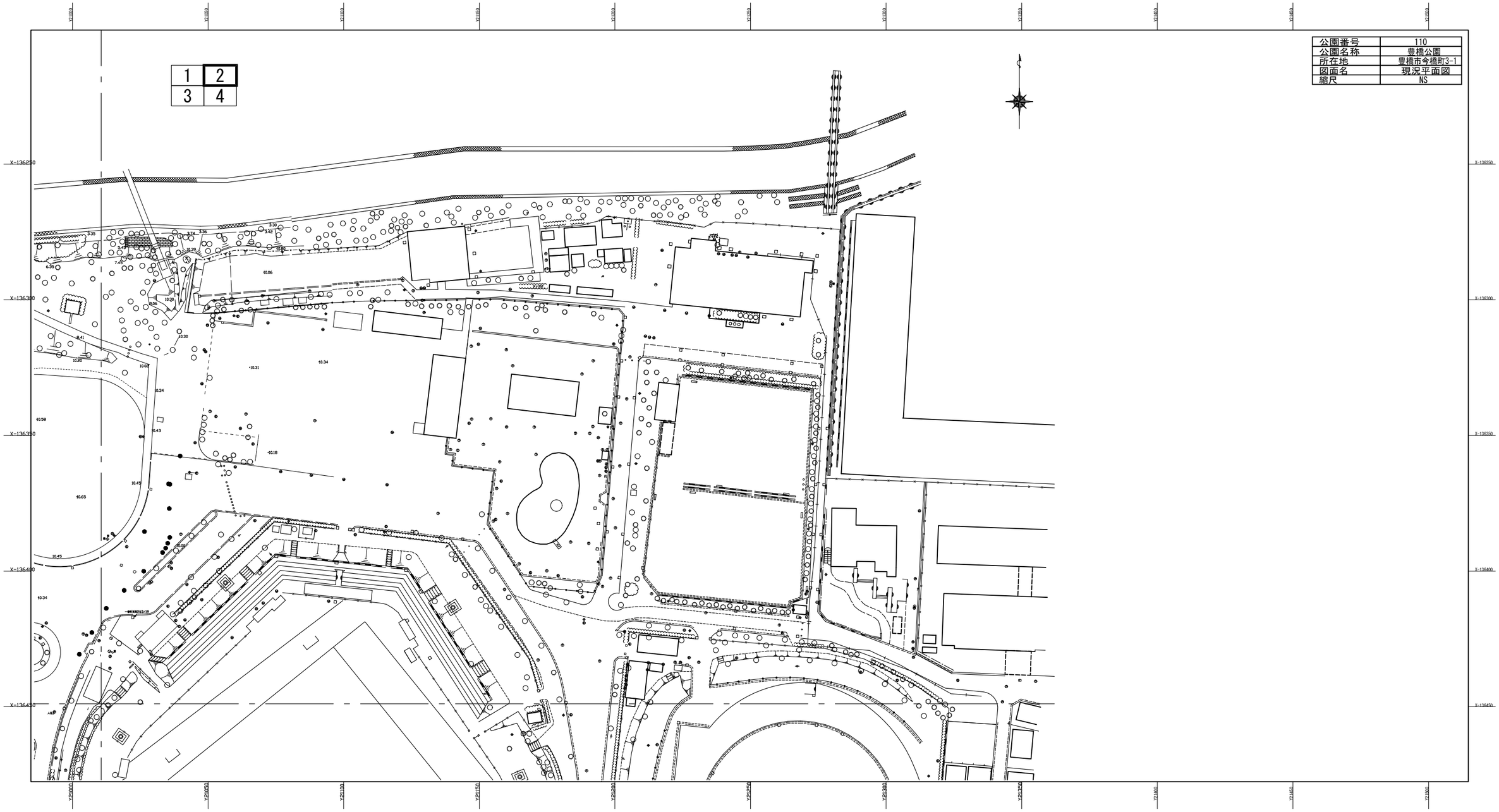
1 2
3 4

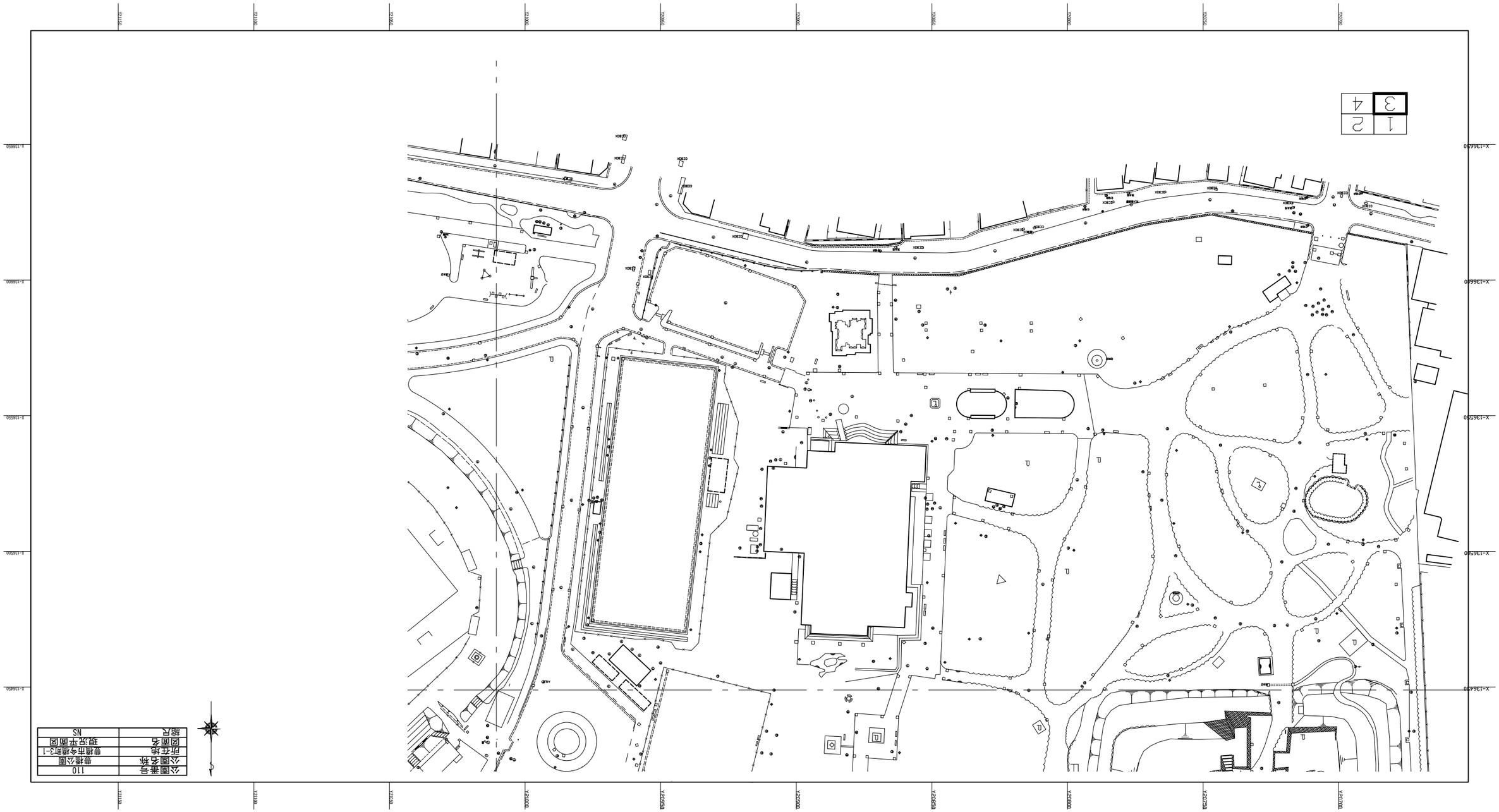


別紙2-2-2 現況平面図（都市公園台帳）②

公園番号	110
公園名称	豊橋公園
所在地	豊橋市今橋町3-1
図面名	現況平面図
縮尺	NS

1	2
3	4

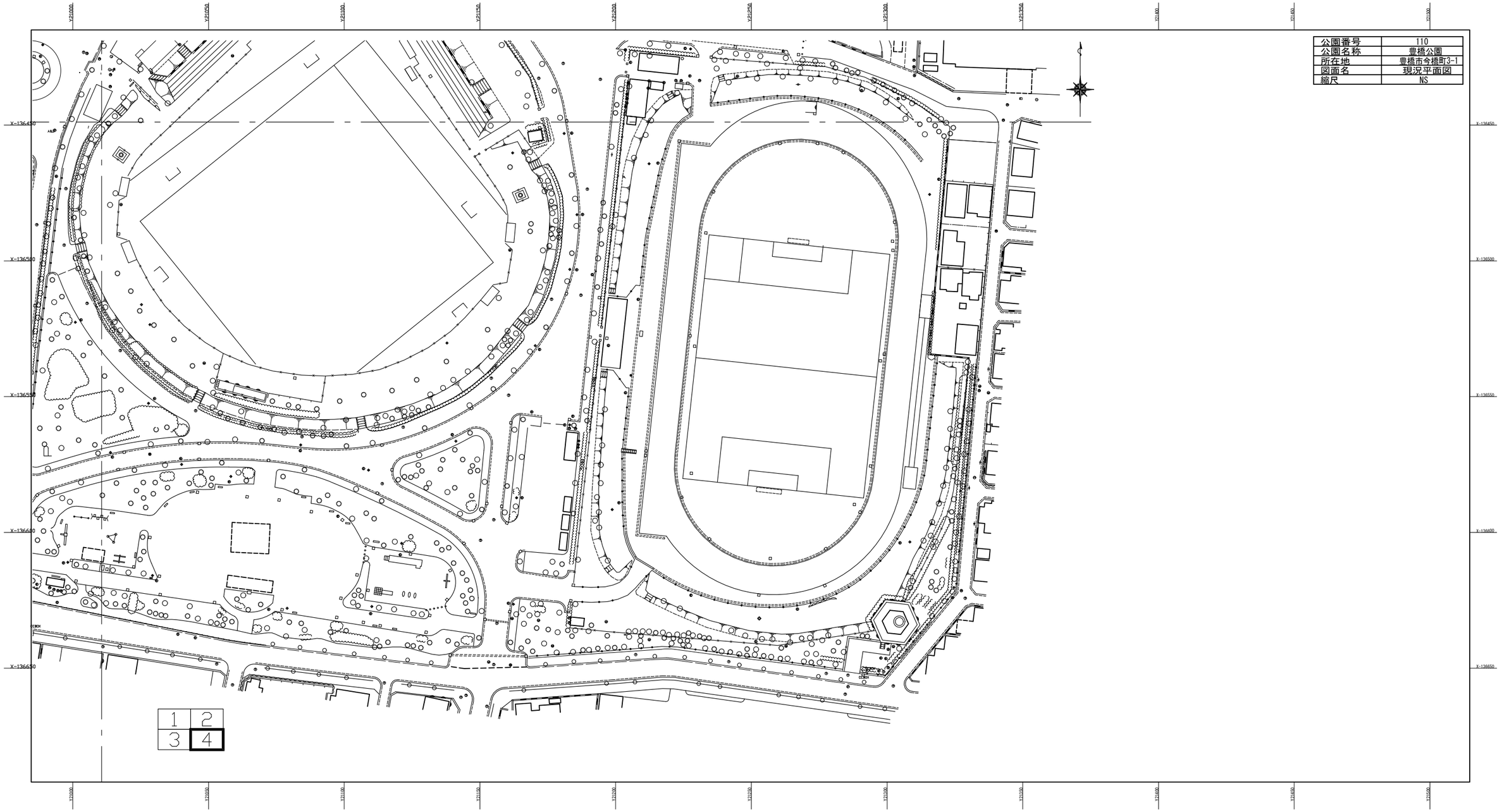




別紙2-2-3 現況平面図（都市公園台帳）③

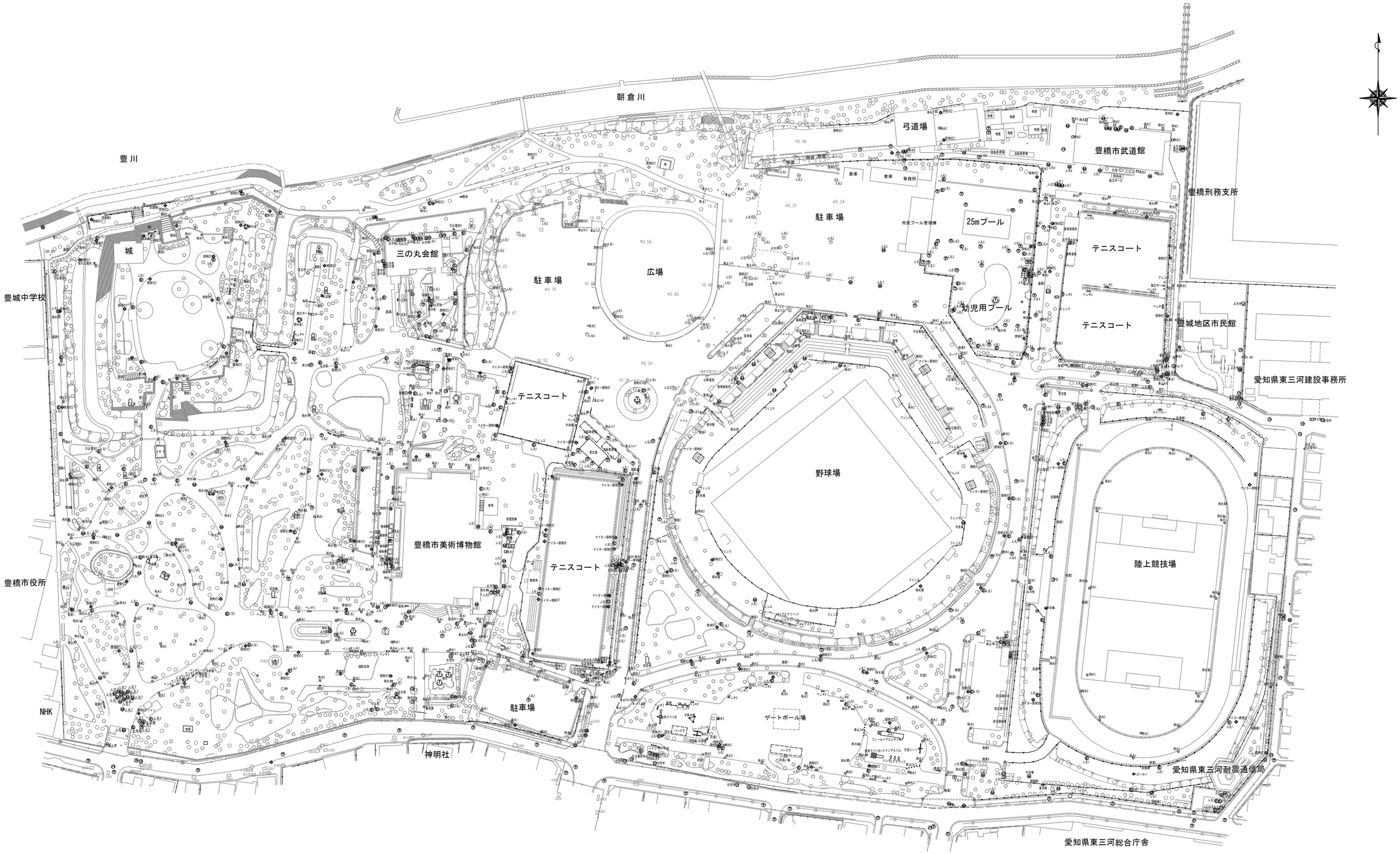
別紙2-2-4 現況平面図（都市公園台帳）④

公園番号	110
公園名称	豊橋公園
所在地	豊橋市今橋町3-1
図面名	現況平面図
縮尺	NS



別紙2-3 施設平面図（都市公園台帳）

公園番号	110
公園名称	豊橋公園
所在地	豊橋市今橋町3-1
図面名	施設平面図
縮尺	1:2000



別紙2-3-1 施設平面図（都市公園台帳）①

公園番号	110
公園名称	豊橋公園
所在地	豊橋市今橋町3-1
図面名	施設平面図
縮尺	NS

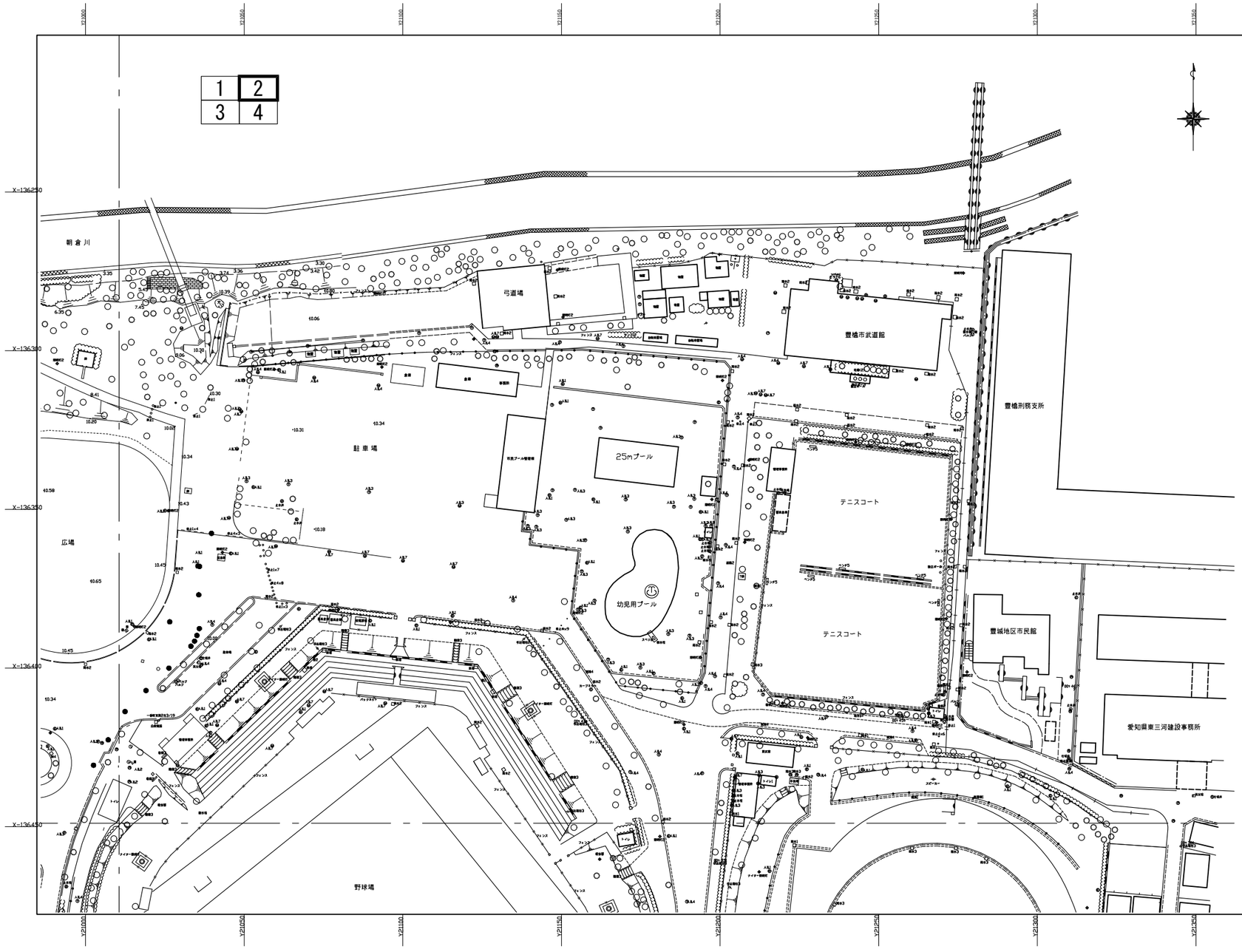


施設名	種別	構造	数量
遊戯施設	フィールドアスレチック	木橋	1
	複流スベリ台+ワンダフルS/A	一連型（鉄）	1
	シーソー	木製単列 L=3.6	3
	子供の城	コンクリート	1
	ブランコ	四人用	1
	鉄棒	2段	1
	複流スベリ台	放射型	1
	弓型シーソー	ベンチ式（鉄）	1
	直流スベリ台	プール用	1
休養施設	ベンチ(1)	背もたれ無 L=1.5~1.8	17
	(2)	背もたれ無 L=1.2~1.8	72
	(3)	背もたれ無 L=1.3	18
	(4)	背もたれ無 L=0.9~3.6	6
	(5)	背もたれ付 L=1.2~1.5	8
	パーゴラ	柱=コンクリート,屋根=木	2
	四阿		1
	野外卓(1)	コンクリート	3
	(2)	石	1
修景施設	花壇(1)	レンガ	4
	(2)	コンクリート	8
管理施設	駐車場	アスファルト	3
	車止(1)	固定式（鉄）	97
	(2)	固定式（コンクリート）	3
	(3)	固定式（木柱）	24
	(4)	可動式	54
	引込電柱(1)	電気（配電柱付）	1
	(2)	電気（支柱付）	2
	(3)	電気	29
	(4)	電話	6
	(5)	共用	6
	看板(1)	注意（木）	2
	(2)	注意（鉄）	21
	(3)	標示	4
	(4)	案内（鉄）	4
	(5)	案内（木）	1
	(6)	説明	1
	標示板	豊橋市長岡埠衛館	1
	照明灯(1)	コンクリート	2
	(2)	塗装型	134
	周囲柵(1)	柱－鉄	420.0m
	(2)	柱－コンクリート	630.0m
	(3)	柱－鉄（移動式）	12.0m
	フェンス	柱－鉄	1998.0m
	防護柵(1)	柱－鉄	526.0m
	(2)	柱－コンクリート	52.0m
	(3)	有刺鉄線付	18.0m
	自転車置場	鉄骨,ビニール波板	4
	入場ゲート	鉄パイプ	2
	駐車場ゲート	ポール	2
	独立ポール	鉄パイプ,コンクリート	14
	通路(1)	砂利	1260.0m²
	(2)	アスファルト舗装	920.0m²
	(3)	敷石	160.4m²
	(4)	自然石透水舗装	624.0m²
	(5)	砂利石透水舗装	140.0m²
	防護柵(4)	擬木	22.5m
	腰掛兼用	鉄骨プレハブ	3
	門柱	無目門柱	7
	更衣室	コンクリート	2
	制御盤	噴水用	1
	噴水	石・コンクリート	3
	時計(1)	日時計	1
	(2)	日時塔	2
	配電盤	鉄板	3
	ポンプ室	鉄板	1
	階段(1)	タタキ－木	1
	(2)	タタキ－石	10
	(3)	タタキ－コンクリート	13
	(4)	タタキ－自然石透水舗装	1
	給食棟	鉄	4
	ゴミ箱	移動式	5
	ゴミ置場	コンクリート 板	1
	壁(1)	ブロック壁 H=1.3	185.0m
	(2)	擁壁 H=1.0~1.7	156.0m
	(3)	石積壁 H=0.8~14.0	676.0m
	スピーカー	鉄	7
	演台	鉄	1
	ポール	鉄パイプ	1
	ムヘキ	鉄骨	1
	管理事務所	コンクリート	3
	引張柱	木	2

施設名	種別	構造	数量
運動施設	野球場		1
	弓道場	コンクリート	1
	武道館	コンクリート	1
	ゲートボール場		1
	陸上競技場		1
	プール		1
	テニスコート		3
	バックネット		51.0m
	ナイター照明灯	コンクリート・鉄	24
	バックスクリーン(1)	ボード	32.0m
	(2)	土台－コンクリート	17.0m
	鉄塔	鉄	5
便益施設	屋水器	鉄	12
	手洗場	(プール場洗付3ヶ所含む)	15
	トイレ(1)	(大小別)	5
	(2)	(男女別)	5
	(3)	(簡易式)	1
	飼	(1) 雨水(鉄)	131
	(2)	雨水(コンクリート)	174
	(3)	雨水(グレーチング)	46
	(4)	鉄	4
	栓	止水	77
		散水	34
		制水	3
		ガス	2
		仕切	7
		消火	2
	水飲場	蛇－3	2
	水浴み場	石	1
	足洗場	プール用	3
その他	側溝(1)	フタU-400	668.0m
	(2)	フタU-300	460.0m
	(3)	フタU-200	165.0m
	(4)	L型	2155.0m
	擁(1)	コンクリート	127.0m
	(2)	生垣	144.0m
	公衆電話	鉄板・ガラス	1
	変電設備	フェンス付	4
	カーブミラー	2コ付	1
	物置	木造・鉄骨・レンガ	10
	百葉箱	木	1
	防災器材庫	鉄板	2
	境界柱	コンクリート	2
	水槽	コンクリート	1
	縁石	コンクリート	
	敷石	石	1
	銅像	石・銅巻	3
	水路	石積	90.0m
	倉庫	鉄骨プレハブ	1
	表札板	コンクリート	1
	空調	クーリングタワー	2
	観音	石	1
	水屋	コンクリート	1
	ポリスBOX	コンクリート	1
	燈石	石	5
	城	木造	1
	鳥居	石	1
	三ノ丸会館	コンクリート・木造	1
	構造物跡	コンクリート	1
	碑	石	13
	シ碑	石	1
	記念碑	石	7
	人孔(1)	電気	161
	(2)	汚水(コンクリート)	2
	(3)	汚水(鉄)	138
	(4)	雨水	41
	(5)	電話	8
	(6)	ガス	1
	(7)		53
	柱		2

別紙2-3-2 施設平面図（都市公園台帳）②

公園番号	110
公園名称	豊橋公園
所在地	豊橋市今橋町3-1
図面名	施設平面図
縮尺	NS



施設名	種別	構造	数量
遊戯施設	フィールドアスレチック	木 橋	1
	複合遊具	一 流 型 (鉄)	1
	シ ー ソ ー	木製単列 L=3.6	3
	子 供 の 城	コンクリート	1
	ブ ラ ン コ	四 人 用	1
	鉄 棒	2 間	1
	遊具スベリ台	放 射 型	1
	弓型シーソー	ベ ン チ 式 (鉄)	1
	遊具スベリ台	プ ー ル 用	1
休養施設	ベ ン チ (1)	背もたれ無 L=1.5~1.8	17
	(2)	背もたれ無 L=1.2~1.8	72
	(3)	背もたれ無 L=1.3	18
	(4)	背もたれ無 L=0.9~3.6	6
	(5)	背もたれ付 L=1.2~1.5	8
	パ ー ゴ ラ	柱ーコンクリート,屋根ー木	2
	四 阿		1
	野 外 卓 (1)	コンクリート	3
	(2)	石	1
修景施設	石 壁 (1)	レ ン ガ	4
	(2)	コンクリート	8
管理施設	駐 車 場	アスファルト	3
	車 止 (1)	固 定 式 (鉄)	97
	(2)	固定式 (コンクリート)	3
	(3)	固 定 式 (木柱)	24
	(4)	可 動 式	54
	引込電柱 (1)	電気 (配電柱付)	1
	(2)	電気 (支柱付)	2
	(3)	電 気	29
	(4)	電 話	6
	(5)	共 用	6
	看 板 (1)	注 意 (木)	2
	(2)	注 意 (鉄)	21
	(3)	掲 示	4
	(4)	案 内 (鉄)	4
	(5)	案 内 (木)	1
	(6)	説 明	1
	標 示 板	豊橋市美術博物館	1
	照 明 灯 (1)	コンクリート	2
	(2)	連 鉄 型	134
	周 囲 柵 (1)	柱 ー 鉄	420.0m
	(2)	柱 ー コンクリート	630.0m
	(3)	柱 ー 鉄 (移動式)	12.0m
	フ ェ ン ス	柱 ー 鉄	1998.0m
	防 護 柵 (1)	柱 ー 鉄	526.0m
	(2)	柱 ー コンクリート	52.0m
	(3)	有 刺 鉄 線 付	18.0m
	自転車置場	鉄骨ビニール張根	4
	入場ゲート	鉄 パ イ プ	2
	駐車場ゲート	ポ ー ル	2
	独立ポール	鉄パイプ,コンクリート	14
	通 路 (1)	砂 利	1260.0m²
	(2)	アスファルト 舗 装	920.0m²
	(3)	敷 石	160.4m²
	(4)	自然石透水舗装	624.0m²
	(5)	砂利石透水舗装	140.0m²
	防 護 柵 (4)	擬 木	22.5m
	器 具 倉 庫	鉄 骨 プレハブ	3
	門 柱	鉄 印 門 柱	7
	更 衣 室	コンクリート	2
	制 御 盤	噴 水 用	1
	噴 水	石・コンクリート	3
	時 計 (1)	日 時 計	1
	(2)	日 時 塔	2
	配 電 盤	鉄 板	3
	ポ ン プ 槽	鉄 板	1
	階 段 (1)	タ タ キ ー 木	1
	(2)	タ タ キ ー 石	10
	(3)	タタキーコンクリート	13
	(4)	タタキー自然石透水舗装	1
	樹 名 板	鉄	4
	ゴ ミ 箱	移 動 式	5
	ゴ ミ 置 場	コンクリート 造	1
	壁 (1)	ブロック壁 H=1.3	185.0m
	(2)	擁 壁 H=1.0~1.7	156.0m
	(3)	石積壁 H=0.8~14.0	676.0m
	スピーカー	鉄	7
	演 台	鉄	1
	ポ ー ル	鉄 パ イ プ	1
	ムクヒキ	鉄 骨	1
	管理事務所	コンクリート	3
	引 張 柱	木	2

施設名	種別	構造	数量
運動施設	野 球 場		1
	弓 道 場	コンクリート	1
	武 道 館	コンクリート	1
	ゲートボール場		1
	陸上競技場		1
	プ ー ル		1
	テニスコート		3
	バックネット		51.0m
	ナイター照明塔	コンクリート ・鉄	24
	バックスクリーン(1)	ボ ー ド	32.0m
	(2)	土台ーコンクリート	17.0m
	鉄 塔	鉄	5
便益施設	量 水 器	鉄	12
	手 洗 場	(プール棟含む3ヶ所含む)	15
	ト イ レ (1)	(大 小 別)	5
	(2)	(男 女 別)	5
	(3)	(個 室 式)	1
	例 (1)	雨 水 (鉄)	131
	(2)	雨水(コンクリート)	174
	(3)	雨水(グレーチング)	46
	(4)	鉄	4
	栓	止 水	77
		散 水	34
		制 水	3
		ガ ス	2
		仕 切	7
		消 火	2
	水 飲 場	蛇 ー 3	2
	水 遊 み 場	石	1
	足 洗 場	プ ー ル 用	3
その他	側 溝 (1)	フタU-400	668.0m
	(2)	フタU-300	460.0m
	(3)	フタU-200	165.0m
	(4)	L 型	2155.0m
	擁 (1)	コンクリート	127.0m
	(2)	生 垣	144.0m
	公 衆 電 話	鉄 板・ガラス	1
	変 電 設 備	フ ェ ン ス 付	4
	カーブミラー	2 ヨ 付	1
	看 板	木造・鉄骨・レンガ	10
	百 葉 箱	木	1
	防災器材庫	鉄 板	2
	境 界 杭	コンクリート	2
	水 槽	コンクリート	1
	縁 石	コンクリート	
	飛 石	石	1
	園 標	石 ・ 園 標	3
	水 路	石 積	90.0m
	倉 庫	鉄 骨 プレハブ	1
	美 術 館	コンクリート	1
	空 調	クーリングタワー	2
	観 音	石	1
	水 溜	コンクリート	1
	ポリスBOX	コンクリート	1
	標 石	石	5
	城	木 造	1
	鳥 居	石	1
	三ノ丸会館	コンクリート ・木造	1
	構 造 物 跡	コンクリート	1
	碑	石	13
	シ 碑	石	1
	記 念 碑	石	7
	人 孔 (1)	電 気	161
	(2)	汚水(コンクリート)	2
	(3)	汚 水 (鉄)	138
	(4)	雨 水	41
	(5)	電 話	8
	(6)	ガ ス	1
	(7)		53
	柱		2

別紙2-3-3 施設平面図（都市公園台帳）③

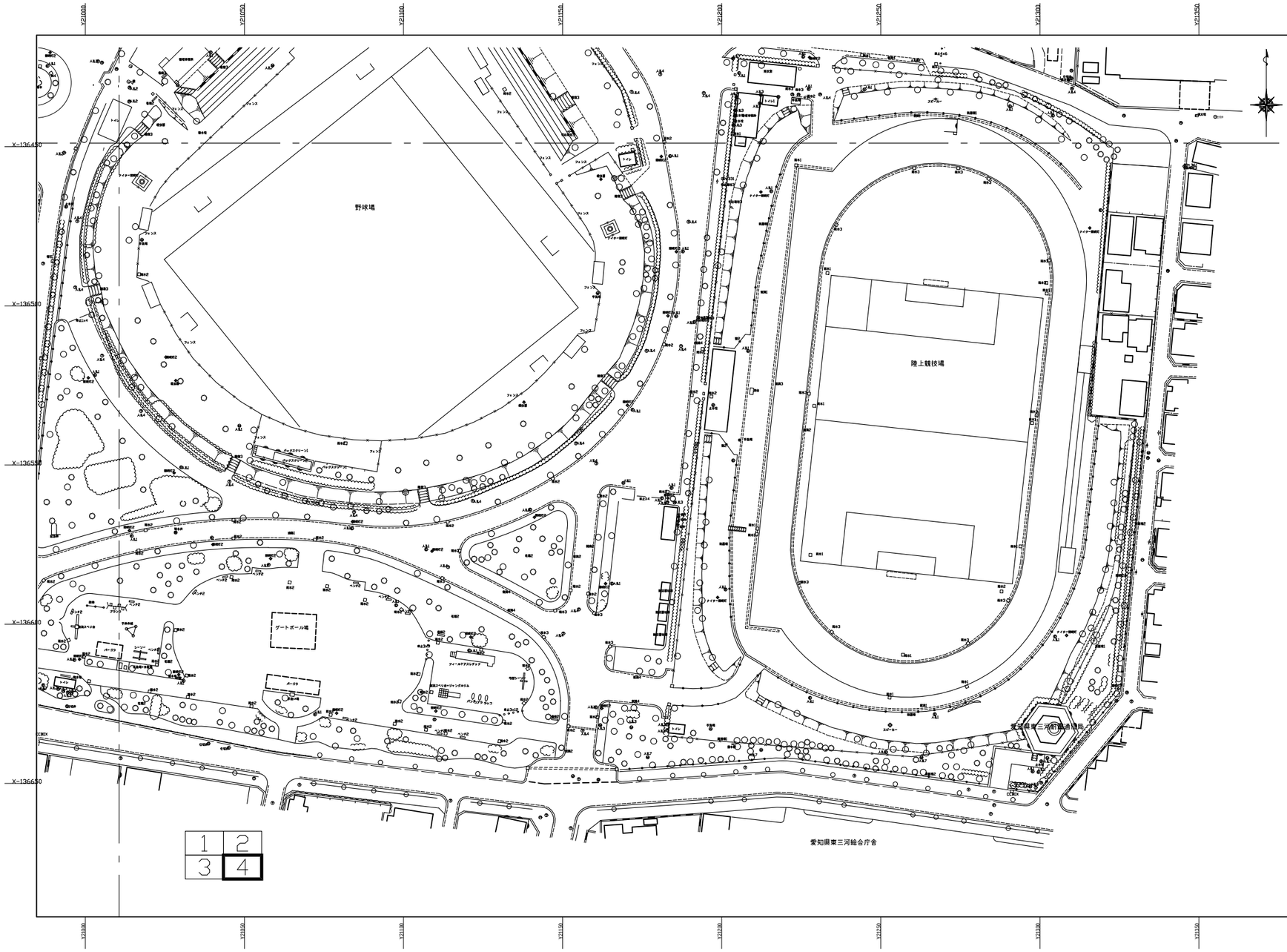


公園番号	110
公園名称	豊橋公園
所在地	豊橋市今橋町3-1
図面名	施設平面図
縮尺	NS

施設名	種別	構造	数量
遊戯施設	フィールドアスレチック	木 造	1
	複流スライダー	一 流 型（鉄）	1
	シーソー	木製単列 L=3.6	3
	子供の城	コンクリート	1
	ブランコ	四 人 用	1
	鉄 棒	2 段	1
	複流スベリ台	直 射 型	1
	弓型シーソー	ベンチ式（鉄）	1
	複流スベリ台	プール用	1
休養施設	ベンチ	(1) 両もたれ無 L=1.5~1.8	17
		(2) 両もたれ無 L=1.2~1.8	72
		(3) 両もたれ無 L=1.3	18
		(4) 両もたれ無 L=0.9~3.6	6
		(5) 両もたれ付 L=1.2~1.5	8
	パーゴラ	柱-コンクリート,屋根-木	2
	四 阿		1
	野外卓	(1) コンクリート	3
		(2) 石	1
修景施設	花 壇	(1) レンガ	4
		(2) コンクリート	8
管理施設	駐車場	アスファルト	3
	車止	(1) 固定式（鉄）	97
		(2) 固定式（コンクリート）	3
		(3) 固定式（木柱）	24
		(4) 可動式	54
	引込電柱	(1) 電気（起電標付）	1
		(2) 電気（支柱付）	2
		(3) 電 気	29
		(4) 電 話	6
		(5) 共 用	6
	看 板	(1) 注 意（木）	2
		(2) 注 意（鉄）	21
		(3) 地 名	4
		(4) 案 内（鉄）	4
		(5) 案 内（木）	1
		(6) 説 明	1
	標示板	豊橋市美術博物館	1
	照明灯	(1) コンクリート	2
		(2) 直 接 型	134
	周囲柵	(1) 柱－鉄	420.0m
		(2) 柱－コンクリート	630.0m
		(3) 柱－鉄（移動式）	12.0m
	フェンス	柱－鉄	1998.0m
	防護柵	(1) 柱－鉄	526.0m
		(2) 柱－コンクリート	52.0m
		(3) 有刺鉄線付	18.0m
	自転車置場	鉄骨,ビニール葺板	4
	入場ゲート	鉄パイプ	2
	駐車場ゲート	ポール	2
	独立ポール	鉄パイプ,コンクリート	14
	通路	(1) 砂 利	1260.0㎡
		(2) アスファルト 舗装	920.0㎡
		(3) 敷 石	160.4㎡
		(4) 自然石透水舗装	624.0㎡
		(5) 砂利石透水舗装	140.0㎡
	防護柵	(4) 擬 木	22.5m
	器具倉庫	鉄骨プレハブ	3
	門 柱	親印門柱	7
	更衣室	コンクリート	2
	制御盤	噴水用	1
	噴 水	石・コンクリート	3
	時 計	(1) 日時計	1
		(2) 日時標	2
	配電盤	鉄 板	3
	ポンプ盤	鉄 板	1
	階 段	(1) タタキ－木	1
		(2) タタキ－石	10
		(3) タタキ－コンクリート	13
		(4) タタキ－自然石透水舗装	1
	吸虫管	鉄	4
	ばく籠	移動式	5
	ゴミ置場	コンクリート 板	1
	壁	(1) ブロック壁 H=1.3	185.0m
		(2) 擁 壁 H=1.0~1.7	156.0m
		(3) 石積壁 H=0.8~14.0	676.0m
	スピーカー	鉄	7
	扉 付	鉄	1
	ポール	鉄パイプ	1
	ムベキ	鉄 骨	1
	管理事務所	コンクリート	3
	引張柱	木	2

施設名	種別	構造	数量
運動施設	野球場		1
	弓道場	コンクリート	1
	武道館	コンクリート	1
	ゲートボール場		1
	陸上競技場		1
	プール		1
	テニスコート		3
	バックネット		51.0m
	ナイター照明灯	コンクリート・鉄	24
	バックスクリーン(1)	ボード	32.0m
	(2)	土台－コンクリート	17.0m
	鉄塔	鉄	5
便益施設	量水器	鉄	12
	手洗場	(プール控え付3ヶ所含む)	15
	トイレ (1)	(大小別)	5
	(2)	(男女別)	5
	(3)	(簡易式)	1
	例 (1)	雨水(鉄)	131
	(2)	雨水(コンクリート)	174
	(3)	雨水(グレーチング)	46
	(4)	鉄	4
	栓	止水	77
		散水	34
		制水	3
		ガス	2
		仕切	7
		消火	2
	水飲場	縦－3	2
	水浴み場	石	1
	足洗場	プール用	3
その他	側溝 (1)	フタU-400	668.0m
	(2)	フタU-300	460.0m
	(3)	フタU-200	165.0m
	(4)	L 型	2155.0m
	塀 (1)	コンクリート	127.0m
	(2)	生 垣	144.0m
	公衆電話	鉄板・ガラス	1
	変電設備	フェンス付	4
	カーブミラー	2コ付	1
	物置	木造・鉄骨・レンガ	10
	百葉箱	木	1
	防災器材庫	鉄 板	2
	境界柱	コンクリート	2
	水槽	コンクリート	1
	縁石	コンクリート	
	他	石	1
	銅像	石・銅像	3
	水路	石 積	90.0m
	倉庫	鉄骨プレハブ	1
	美術館	コンクリート	1
	室 調	クーリングタワー	2
	観音	石	1
	水屋	コンクリート	1
	ポリスBOX	コンクリート	1
	燈 石	石	5
	城	木 造	1
	鳥 居	石	1
	三ノ丸会館	コンクリート・木造	1
	構造物 跡	コンクリート	1
	碑	石	13
	シ 碑	石	1
	記念碑	石	7
	人 孔 (1)	電 気	161
	(2)	汚水(コンクリート)	2
	(3)	汚 水(鉄)	138
	(4)	雨 水	41
	(5)	電 話	8
	(6)	ガ ス	1
	(7)		53
	柱		2

別紙2-3-4 施設平面図（都市公園台帳）④

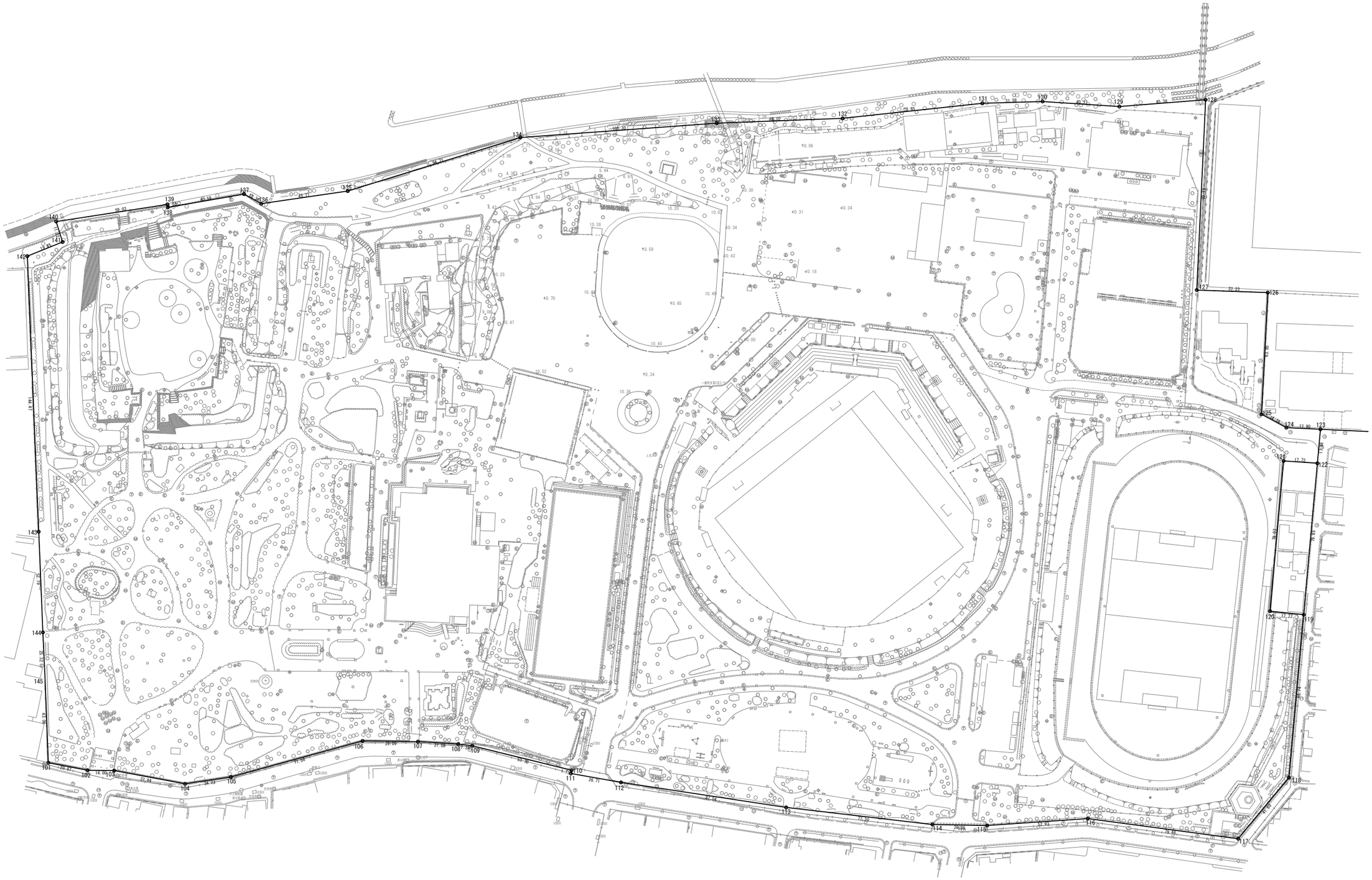


公園番号	110
公園名称	豊橋公園
所在地	豊橋市今橋町3-1
図面名	施設平面図
縮尺	NS

施設名	種別	構造	数量
遊戯施設	フィールドアスレチック	木 造	1
	遊具スプリング付	一 体 型 （鉄）	1
	シ ー ソ ー	木製単列 L=3.6	3
	子 供 の 城	コンクリート	1
	ブ ラ ン コ	四 人 用	1
	鉄 棒	2 段	1
	遊具スベリ台	放 射 型	1
	弓型シーソー	ベ ン チ 式（鉄）	1
	遊具スベリ台	プ ー ル 用	1
休養施設	ベ ン チ (1)	背もたれ無 L=1.5~1.8	17
	(2)	背もたれ無 L=1.2~1.8	72
	(3)	背もたれ無 L=1.3	18
	(4)	背もたれ無 L=0.9~3.6	6
	(5)	背もたれ付 L=1.2~1.5	8
	パ ー ゴ ラ	柱ーコンクリート,屋根ー木	2
	四 阿		1
	野 外 卓 (1)	コンクリート	3
	(2)	石	1
修景施設	花 壇 (1)	レ ン ガ	4
	(2)	コンクリート	8
管理施設	駐 車 場	アスファルト	3
	車 止 (1)	固 定 式（鉄）	97
	(2)	固定式（コンクリート）	3
	(3)	固 定 式（木柱）	24
	(4)	可 動 式	54
	引込電柱 (1)	電気 （配電板付）	1
	(2)	電気 （支柱付）	2
	(3)	電 気	29
	(4)	電 話	6
	(5)	共 用	6
	看 板 (1)	注 意（木）	2
	(2)	注 意（鉄）	21
	(3)	掲 示	4
	(4)	案 内 （鉄）	4
	(5)	案 内 （木）	1
	(6)	説 明	1
	標 示 板	豊橋市美術博物館	1
	照 明 灯 (1)	コンクリート	2
	(2)	建 築 型	134
	周 囲 柵 (1)	柱 ー 鉄	420.0m
	(2)	柱 ー コンクリート	630.0m
	(3)	柱 ー 鉄 （移動式）	12.0m
	フ ェ ン ス	柱 ー 鉄	1998.0m
	防 護 柵 (1)	柱 ー 鉄	526.0m
	(2)	柱 ー コンクリート	52.0m
	(3)	有 刺 鉄 線 付	18.0m
	自転車置場	鉄骨,ビニール屋根	4
	入場ゲート	鉄 パ イ プ	2
	駐車場ゲート	ポ ー ル	2
	独立ポール	鉄パイプ,コンクリート	14
	通 路 (1)	砂 利	1260.0㎡
	(2)	アスファルト 舗 装	920.0㎡
	(3)	敷 石	160.4㎡
	(4)	自然石透水舗装	624.0㎡
	(5)	砂利石透水舗装	140.0㎡
	防 護 柵 (4)	擬 木	22.5m
	器 具 倉 庫	鉄 骨 プレハブ	3
	門 柱	無 印 門 柱	7
	更 衣 室	コンクリート	2
	制 御 盤	噴 水 用	1
	噴 水	石・コンクリート	3
	時 計 (1)	日 時 計	1
	(2)	日 時 塔	2
	配 電 盤	鉄 板	3
	ポ ン プ 槽	鉄 板	1
	階 段 (1)	タ タ キ ー 木	1
	(2)	タ タ キ ー 石	10
	(3)	タタキーコンクリート	13
	(4)	タタキー自然石透水舗装	1
	殺 虫 器	鉄	4
	ゴ ミ 箱	移 動 式	5
	ゴ ミ 置 場	コンクリート 造	1
	壁 (1)	ブロック壁 H=1.3	185.0m
	(2)	擁 壁 H=1.0~1.7	156.0m
	(3)	石積壁 H=0.8~14.0	676.0m
	スピーカー	鉄	7
	滝 石	鉄	1
	ポ ー ル	鉄 パ イ プ	1
	ム ヘ ラ	鉄 骨	1
	管理事務所	コンクリート	3
	引 落 柱	木	2

施設名	種別	構造	数量
運動施設	野 球 場		1
	弓 道 場	コンクリート	1
	武 道 館	コンクリート	1
	ゲートボール場		1
	陸上競技場		1
	プ ー ル		1
	テニスコート		3
	バッタネット		51.0m
	ナイター照明塔	コンクリート ・鉄	24
	バックスクリーン(1) ボ ー ド		32.0m
	(2) 土台ーコンクリート		17.0m
	鉄 塔	鉄	5
管理施設	量 水 器	鉄	12
	手 洗 場	(プール硬質付3ヶ所含む)	15
	ト イ レ (1)	(大 小 別)	5
	(2)	(男 女 別)	5
	(3)	(簡 易 式)	1
	側 (1)	雨 水（鉄）	131
	(2)	雨水（コンクリート）	174
	(3)	雨水（グレーチング）	46
	(4)	鉄	4
	桝	止 水	77
		散 水	34
		制 水	3
		ガ ス	2
		仕 切	7
		消 火	2
	水 飲 場	蛇 ー 3	2
	水 浴 み 場	石	1
	足 洗 場	プ ー ル 用	3
その他	側 溝 (1)	フタU-400	668.0m
	(2)	フタU-300	460.0m
	(3)	フタU-200	165.0m
	(4)	L 型	2155.0m
	擁 (1)	コンクリート	127.0m
	(2)	生 垣	144.0m
	公 衆 電 話	鉄 板・ガラス	1
	変 電 設 備	フ ェ ン ス 付	4
	カーブミラー	2 コ 付	1
	物 置	木造・鉄骨・レンガ	10
	百 葉 箱	木	1
	防災器材庫	鉄 板	2
	境 界 杭	コンクリート	2
	水 槽	コンクリート	1
	縁 石	コンクリート	
	境 界	石	1
	銅 像	石・銅 像	3
	水 路	石 積	90.0m
	倉 庫	鉄 骨 プレハブ	1
	表 明 板	コンクリート	1
	空 調	クーリングタワー	2
	銘 板	石	1
	水 溜	コンクリート	1
	ポリスBOX	コンクリート	1
	燈 石	石	5
	城	木 造	1
	鳥 居	石	1
	三ノ丸会館	コンクリート ・木造	1
	構造物 跡	コンクリート	1
	碑	石	13
	シ 碑	石	1
	記 念 碑	石	7
	人 孔 (1)	電 気	161
	(2)	汚水（コンクリート）	2
	(3)	汚 水（鉄）	138
	(4)	雨 水	41
	(5)	電 話	8
	(6)	ガ ス	1
	(7)		53
	柱		2

別紙2-4 丈量図（都市公園台帳）	
公園番号	110
公園名称	豊橋公園
所在地	豊橋市今橋町3-1
図面名	丈量図
縮尺	1:2000



公園番号	110
公園名称	豊橋公園
所在地	豊橋市今橋町3-1
図面名	文量図
縮尺	NS

凡 例	
記 号	種 別
⊕	基 準 点
⊞	コンクリート界
☒	フェンス界
○	木 界
◎	金 属 界
⊡	金 属 標
⊙	計 測 点

点 名	Xn	Yn	図 長
101	-136613.463	20675.291	20.871
102	-136617.370	20695.753	14.000
104	-136624.492	20746.962	24.238
103	-136617.564	20709.758	37.849
105	-136620.882	20770.938	71.560
106	-136602.018	20839.559	29.090
107	-136602.382	20869.047	21.080
108	-136603.676	20890.087	7.390
109	-136604.608	20897.418	13.700
110	-136617.354	20949.583	1.750
111	-136619.057	20949.180	26.712
112	-136623.727	20975.481	87.548
113	-136636.843	21062.041	77.205
114	-136645.769	21138.729	28.731
115	-136646.352	21167.474	52.930
116	-136642.673	21220.276	79.461
117	-136653.243	21299.031	41.606
118	-136621.236	21325.638	85.746
119	-136535.843	21333.419	17.770
120	-136534.009	21315.737	79.037
121	-136455.296	21322.882	17.729
122	-136456.528	21340.568	17.887
123	-136438.717	21342.175	17.908
124	-136437.856	21324.288	14.794
125	-136430.873	21311.246	63.858
126	-136367.101	21314.556	37.236
127	-136365.780	21277.243	39.790
128	-136266.099	21282.005	45.384
129	-136269.645	21236.760	40.379
130	-136266.978	21196.469	31.582
131	-136267.353	21164.902	2.851
132	-136275.843	21091.673	66.022
133	-136278.360	21025.701	103.303
134	-136285.871	20922.671	94.712
135	-136313.999	20832.214	45.777
136	-136320.535	20786.915	10.345
137	-136315.516	20777.869	40.596
138	-136322.471	20737.873	1.598
139	-136320.924	20737.685	59.033
140	-136329.883	20679.336	11.226
141	-136340.591	20682.707	19.911
142	-136348.040	20664.242	144.476
143	-136492.392	20670.222	52.791
144	-136545.138	20672.406	23.322
145	-136570.435	20673.534	43.062

216689.618994S ㎡

図番	216401 ㎡

別紙2-4-1 文量図（都市公園台帳）①

別紙2-4-2 丈量図（都市公園台帳）②

公園番号	110
公園名称	豊橋公園
所在地	豊橋市今橋町3-1
図面名	丈量図
縮尺	NS

1	2
3	4

凡　例

記号	種　別
⊕	基　準　点
⊞	コンクリート杭
⊠	プラスチック杭
○	木　　杭
◎	金　属　鋲
⊡	金　属　標
⊙	計　算　点

点　名	Xn	Yn	辺　長
101	-136613.463	20675.251	20.871
102	-136617.370	20695.753	14.000
103	-136617.564	20709.752	37.849
104	-136624.492	20746.962	24.238
105	-136620.882	20770.930	71.560
106	-136602.018	20839.959	29.090
107	-136602.382	20869.047	21.080
108	-136603.676	20890.087	7.390
109	-136604.608	20897.418	53.700
110	-136617.354	20949.583	1.750
111	-136619.057	20949.180	26.712
112	-136623.727	20975.481	87.548
113	-136636.845	21062.041	77.205
114	-136645.769	21138.729	28.751
115	-136646.352	21167.474	52.930
116	-136642.673	21220.276	79.461
117	-136653.243	21299.031	41.606
118	-136621.256	21325.638	85.746
119	-136535.863	21333.410	17.770
120	-136534.009	21315.737	79.037
121	-136455.296	21322.882	17.729
122	-136456.532	21340.568	17.887
123	-136438.717	21342.175	17.908
124	-136437.856	21324.288	14.794
125	-136430.873	21311.246	63.858
126	-136367.101	21314.556	37.236
127	-136365.780	21277.343	99.790
128	-136266.099	21282.005	45.384
129	-136269.645	21236.760	40.379
130	-136266.978	21196.469	31.582
131	-136267.953	21164.902	73.651
132	-136275.845	21091.675	66.022
133	-136278.360	21025.701	103.303
134	-136285.871	20922.671	94.712
135	-136313.939	20832.214	45.777
136	-136320.535	20786.915	10.345
137	-136315.516	20777.869	40.596
138	-136322.471	20737.873	1.558
139	-136320.924	20737.685	59.033
140	-136329.883	20679.336	11.226
141	-136340.591	20682.707	19.911
142	-136348.040	20664.242	144.476
143	-136492.392	20670.222	52.791
144	-136545.138	20672.406	25.322
145	-136570.435	20673.534	43.062
面　積		216689.6189945	㎡
台帳面積		216401	㎡

点名	Xn	Yn	図 高
101	-136613463	20675251	20.871
102	-136617370	20695753	14.000
103	-136617364	20709752	37.849
104	-136624492	20746962	24.238
105	-136628882	20770930	71.560
106	-136602108	20839269	29.090
107	-136602382	20869047	21.080
108	-136603676	20890087	7.390
109	-136604608	20897418	53.720
110	-136617254	20949583	1.750
111	-136619257	20949180	26.712
112	-136623727	20975481	87.548
113	-136636845	21062041	77.205
114	-136644769	21138729	28.751
115	-136646752	21167474	52.930
116	-136646973	21220276	79.461
117	-136653243	21299031	41.606
118	-136621236	21325438	85.746
119	-136559863	21333418	17.770
120	-136534009	21315737	79.037
121	-136455296	21322882	17.729
122	-136456532	21340568	17.887
123	-136438717	21342175	17.908
124	-136437856	21324288	14.794
125	-136430873	21311246	63.858
126	-136367101	21314556	37.236
127	-136365780	21377243	99.790
128	-136566099	21282005	45.384
129	-136569645	21236760	40.379
130	-136566978	21196469	31.582
131	-136567593	21164902	74.651
132	-136575845	21091675	66.022
133	-136578360	21025701	103.303
134	-136285871	20922671	94.712
135	-136313939	20832214	45.777
136	-136320525	20786915	10.345
137	-136319516	20777869	40.396
138	-136322471	20737873	1.558
139	-136320924	20737685	59.033
140	-136329883	20679736	11.256
141	-136340591	20682707	19.911
142	-136348040	20664242	144.476
143	-136492392	20670222	52.791
144	-136545138	20672406	25.322
145	-136570435	20673234	4.306

総 計	216689.618999945 ㎡		
合筆面積	21640	㎡	

凡 例		
図 号	種 別	備 考
⊕	基 準 点	
⊞	コンクリート杭	
☒	プラスチック杭	
○	木 杭	
◎	金 属 標	
□	金 属 標	
⊙	計 算 点	

公園番号	110
公園名称	豊橋公園
所在地	豊橋市今橋町3-1
図面名	丈量図
縮尺	NS

北

別紙2-4-3 丈量図（都市公園台帳）③

別紙2-4-4 丈量図（都市公園台帳）④

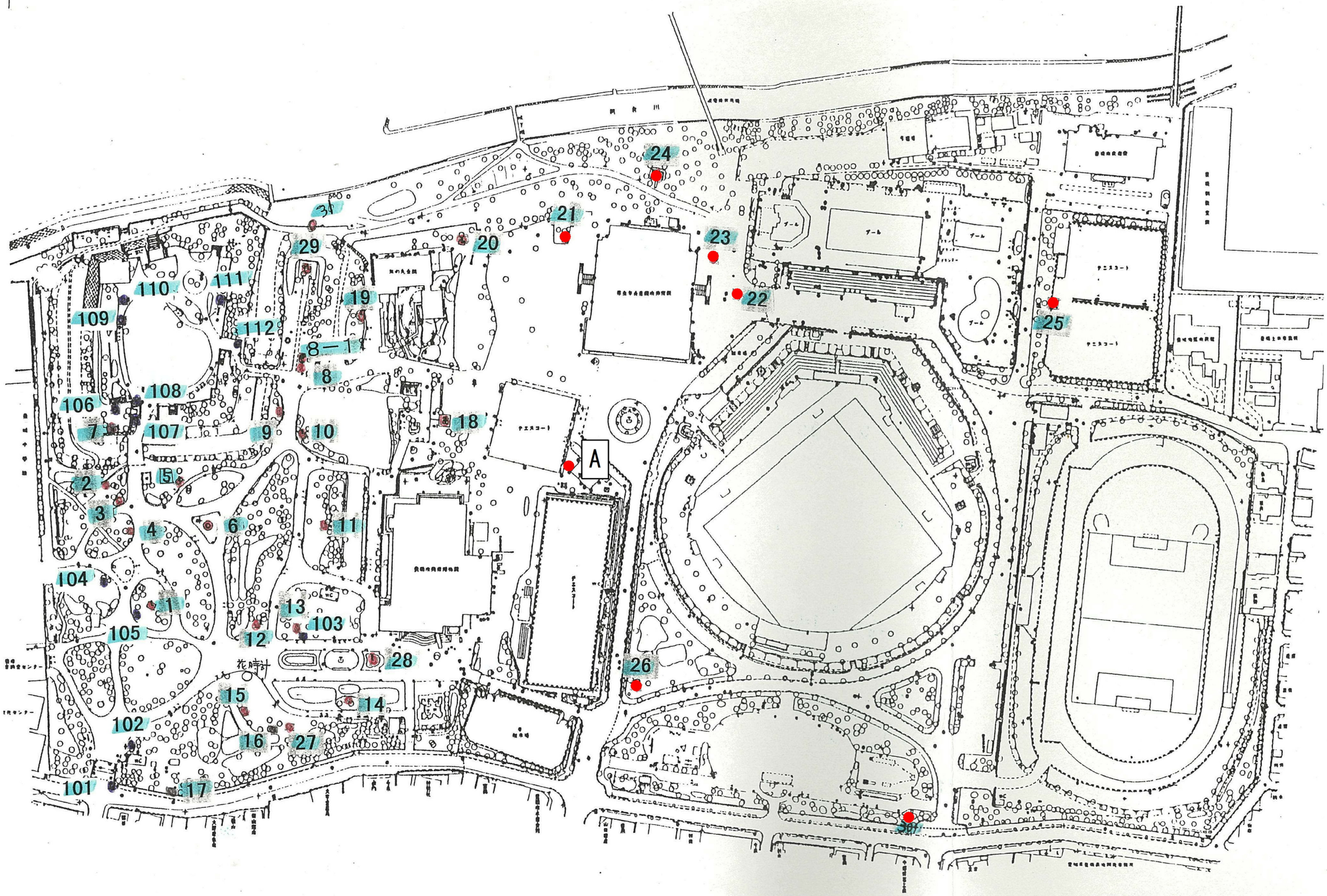
公園番号	110
公園名称	豊橋公園
所在地	豊橋市今橋町3-1
図面名	丈量図
縮尺	NS

凡 例	
記号	種別
⊕	基準点
⊞	コンクリート杭
⊠	プラスチック杭
○	鉄
◎	金属標
□	金属鋲
⊙	計算点

点名	Xm	Ym	引用
101	-136611.463	206,75.251	20871
102	-136617.370	206,95.753	14.000
103	-136617.354	207,09.758	37.849
104	-136624.492	207,46.962	24.238
105	-136620.882	207,70.930	71.560
106	-136602.018	208,39.999	29.090
107	-136602.382	208,59.047	21.080
108	-136603.676	208,90.087	7.390
109	-136604.608	208,97.418	53.700
110	-136611.354	209,49.583	1.750
111	-136615.957	209,49.180	26.712
112	-136623.727	209,75.481	87.548
113	-136636.845	210,62.041	77.205
114	-136645.769	211,38.729	28.751
115	-136646.352	211,67.474	92.930
116	-136646.673	212,02.976	79.461
117	-136632.243	212,99.031	41.606
118	-136621.256	213,25.638	85.746
119	-136535.863	213,33.410	17.770
120	-136534.009	213,15.737	79.037
121	-136455.296	213,22.882	17.729
122	-136456.532	213,40.568	17.887
123	-136438.717	213,42.173	17.908
124	-136437.856	213,24.288	14.794
125	-136430.873	213,12.246	63.858
126	-136367.101	213,14.556	37.236
127	-136365.780	212,77.343	99.790
128	-136426.099	212,82.005	45.384
129	-136426.445	212,36.760	40.379
130	-136426.978	211,96.469	31.582
131	-136426.795	211,64.902	73.651
132	-136427.584	210,91.679	64.022
133	-136427.360	210,25.701	103.303
134	-136428.871	209,22.671	94.712
135	-136413.939	208,32.214	45.777
136	-136420.535	207,86.915	10.345
137	-136415.516	207,77.869	40.596
138	-136422.471	207,37.873	1.558
139	-136420.924	207,37.685	59.033
140	-136429.883	206,79.336	11.226
141	-136430.591	206,82.707	19.911
142	-136348.040	206,64.242	144.476
143	-136492.392	206,70.222	92.791
144	-136454.138	206,72.406	25.322
145	-136570.435	206,73.534	43.062
面積	216689.6189945 ㎡		
合筆面積	216401 ㎡		

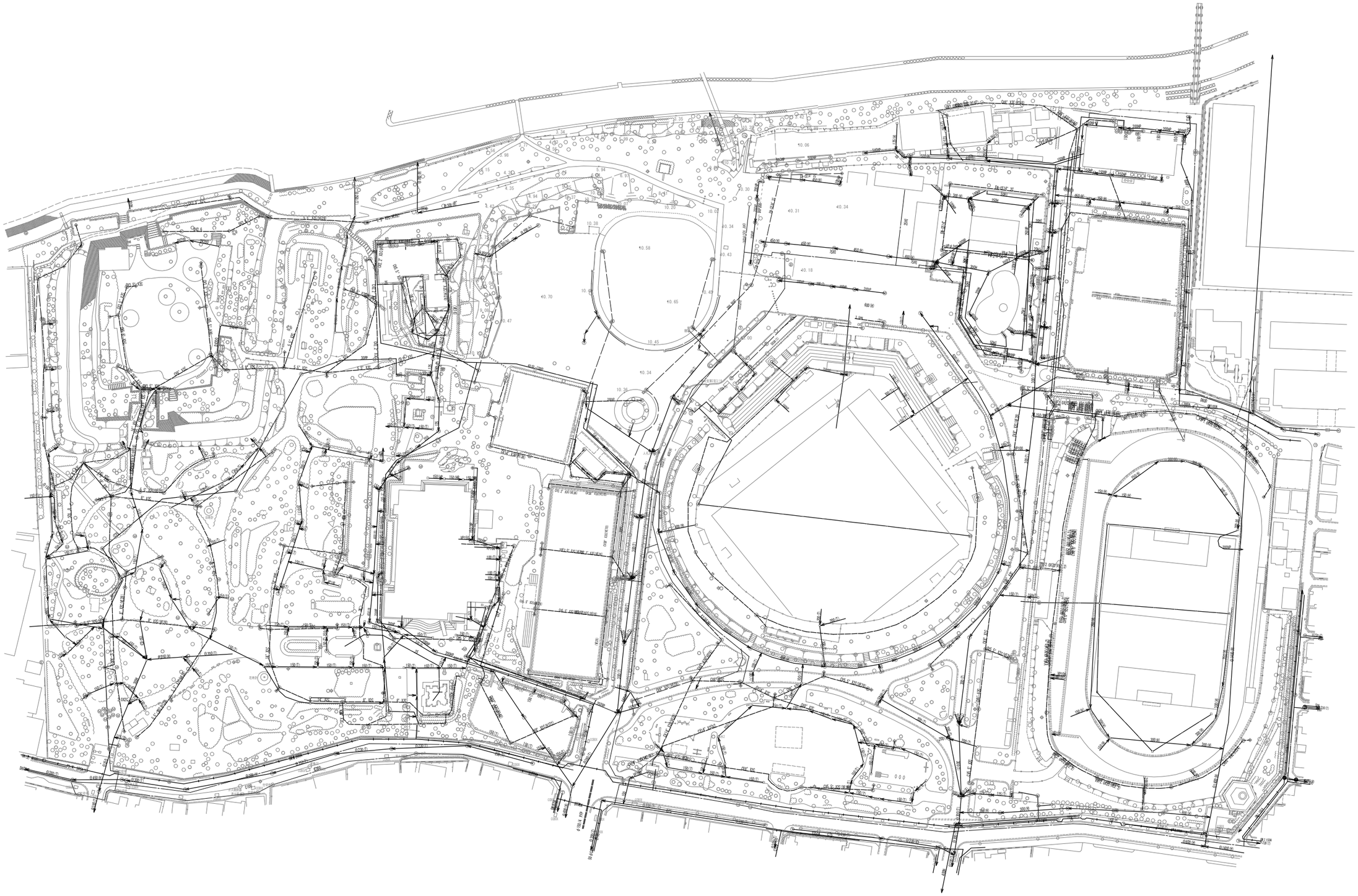
別紙２－５　石碑位置図

番号	名称
21	史蹟　場内秋葉神社旧址
22	史蹟　安久美神戸神明宮旧址
23	「徳川家康公腰掛松旧址」石碑
24	警察殉職の碑
25	史蹟　場内八幡宮旧址
26	1971年６月再建　四つのテスト
30	山田　宗徧　邸址
A	「明治大帝崩御　遥拝の松」石碑


24
21
23
22
25
31
29
20
110
111
19
109
112
8－1
8
108
106
18
7
107
9
10
A
2
5
3
4
6
11
104
1
13
103
105
12
28
花時計
26
15
14
102
16
27
101
17
3ff

別紙3-3 地下埋設図（都市公園台帳）

公園番号	110
公園名称	豊橋公園
所在地	豊橋市今橋町3-1
図面名	地下埋設図
縮尺	1:2000



別紙3-3-1 地下埋設図（都市公園台帳）①

公園番号	110
公園名称	豊橋公園
所在地	豊橋市今橋町3-1
図面名	地下埋設平面図
縮尺	NS

凡例

上水道	管	
	バルブ	V
	量水器	量
	散水栓	散
	消火栓	F
下水道	管	
	雨水	雨
	汚水	汚
電気		E
電話		T
ガス		G
埋設物		

1 2
3 4

X=136250
X=136300
X=136350
X=136400
X=136450

Y=20700
Y=20750
Y=20800
Y=20850
Y=20900
Y=20950
Y=21000
Y=21050
Y=21100
Y=21150

別紙3-3-2 地下埋設図（都市公園台帳）②

公園番号	110
公園名称	豊橋公園
所在地	豊橋市今橋町3-1
図面名	地下埋設平面図
縮尺	NS

1	2
3	4

凡例

上水道	管	
	バルブ	V
	量水器	量
	散水栓	散
	消火栓	F
下水道	管	
	雨水 表示幅広	雨
	汚水	汚
電気		EC 分岐BOX EC
電話		T
ガス		GP
埋設物		

X=136250
X=136300
X=136350
X=136400
X=136450
Y=21900
Y=21950
Y=22000
Y=22050
Y=22100
Y=22150
Y=22200
Y=22250
Y=22300
Y=22350
Y=22400
Y=22450
Y=22500

別紙3-3-3 地下埋設図（都市公園台帳）③

公園番号	110
公園名称	豊橋公園
所在地	豊橋市今橋町3-1
図面名	地下埋設平面図
縮尺	NS

凡例

上水道	管	
	バルブ	V
	量水器	
	散水栓	
	消火栓	F
下水道	管	
	雨水	
	汚水	
電気		引込柱 E
電話		T
ガス		G
排水溝		

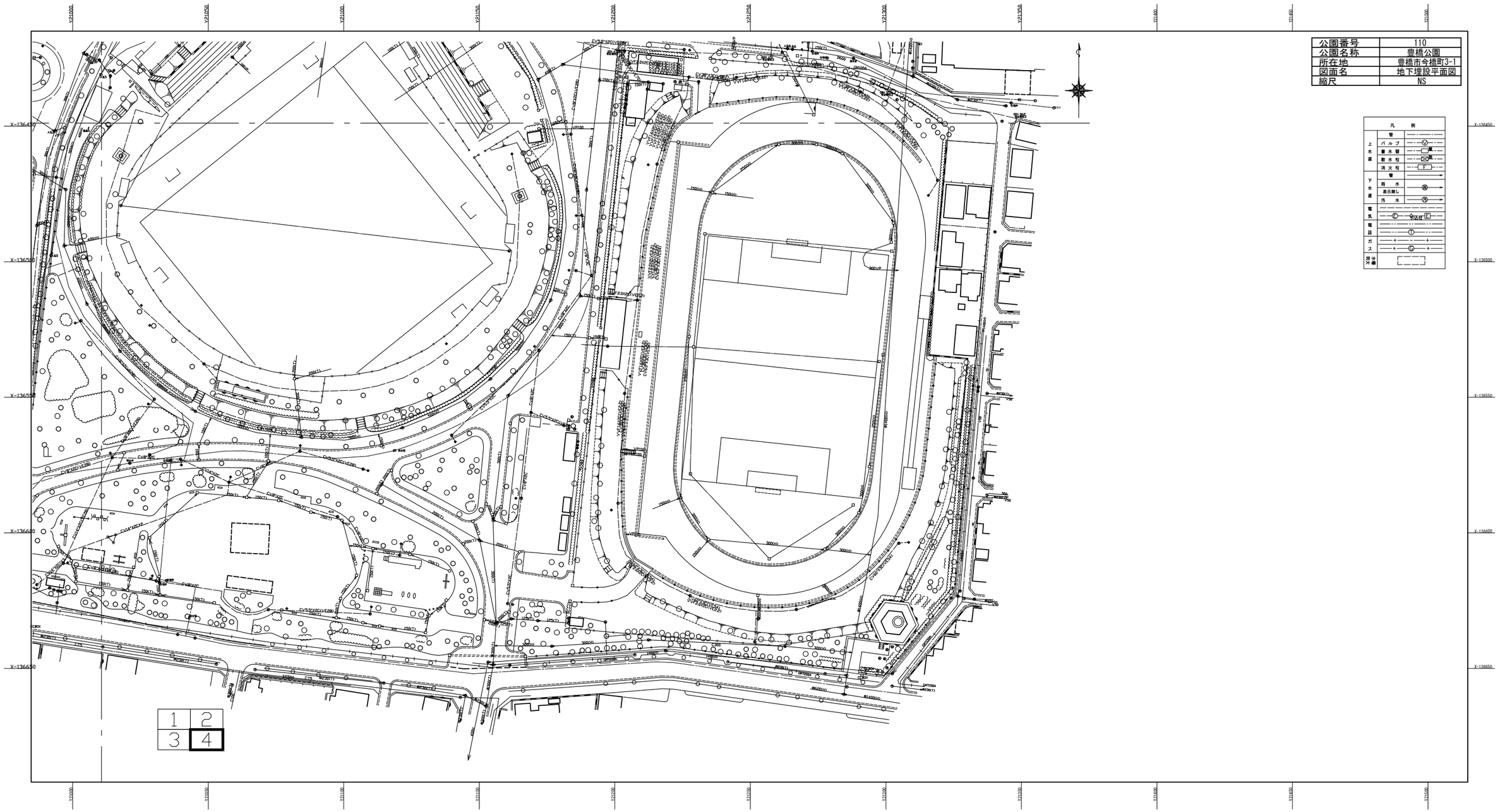
1	2
3	4

別紙3-3-4 地下埋設図（都市公園台帳）④

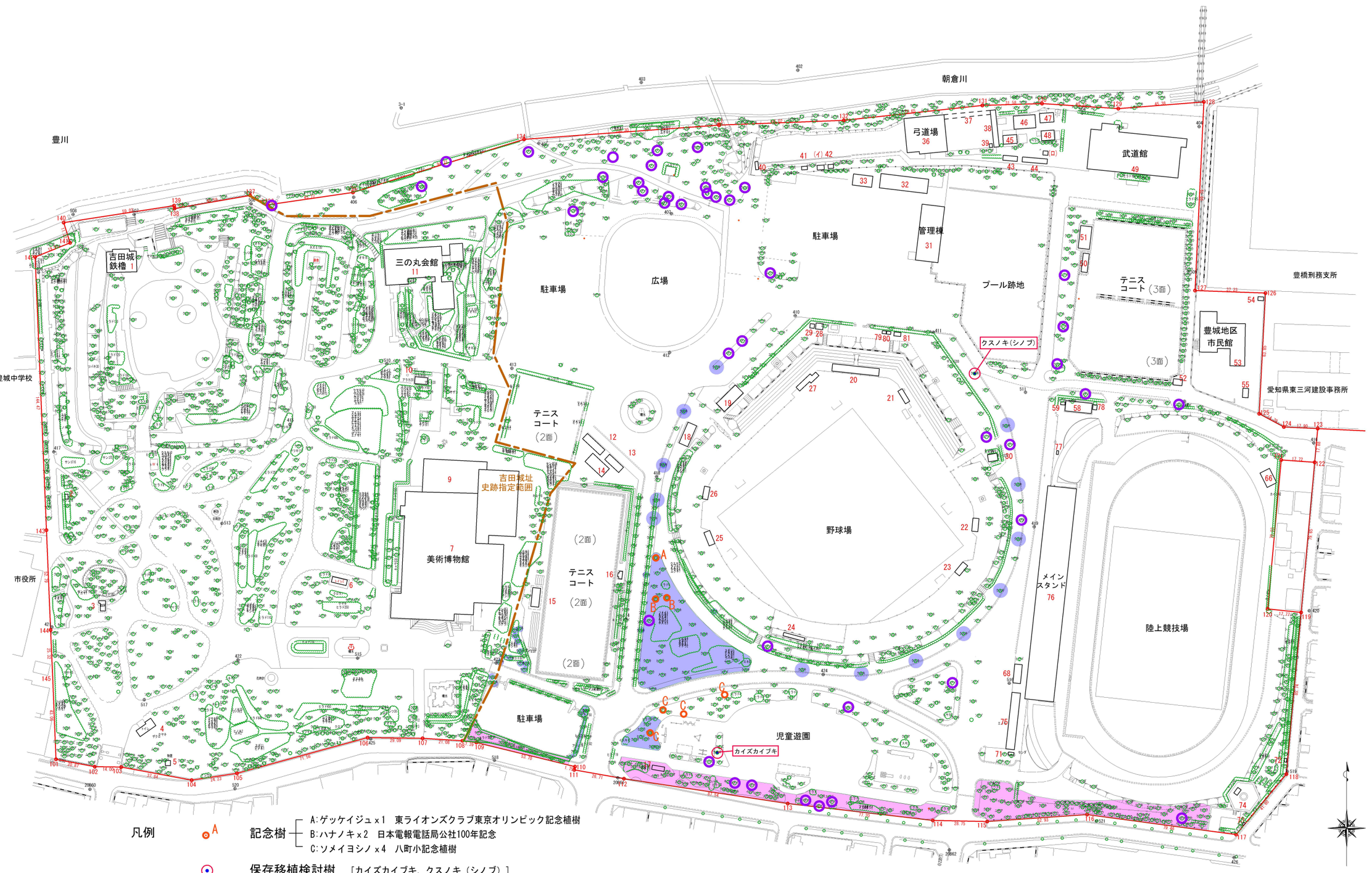
公園番号	110
公園名称	豊橋公園
所在地	豊橋市今橋町3-1
図面名	地下埋設平面図
縮尺	NS

凡例

上水道	管	
	バルブ	
	量水器	
	散水栓	
	消火栓	F
下水道	管	
	雨水	
	表示無し	
	汚水	
電気		
電話		
ガス		
区画		



別紙5-2　樹木管理図



凡例

- 記念樹（A）
  - A:ゲッケイジュ x1　東ライオンズクラブ東京オリンピック記念植樹
  - B:ハナノキ x2　日本電報電話局公社100年記念
  - C:ソメイヨシノ x4　八町小記念植樹
- 保存移植検討樹　［カイズカイブキ、クスノキ（シノブ）］
- 緩衝帯となる植樹帯
- できる限り保全するよう配慮する樹木
- 緊急伐採業務で伐採する樹木

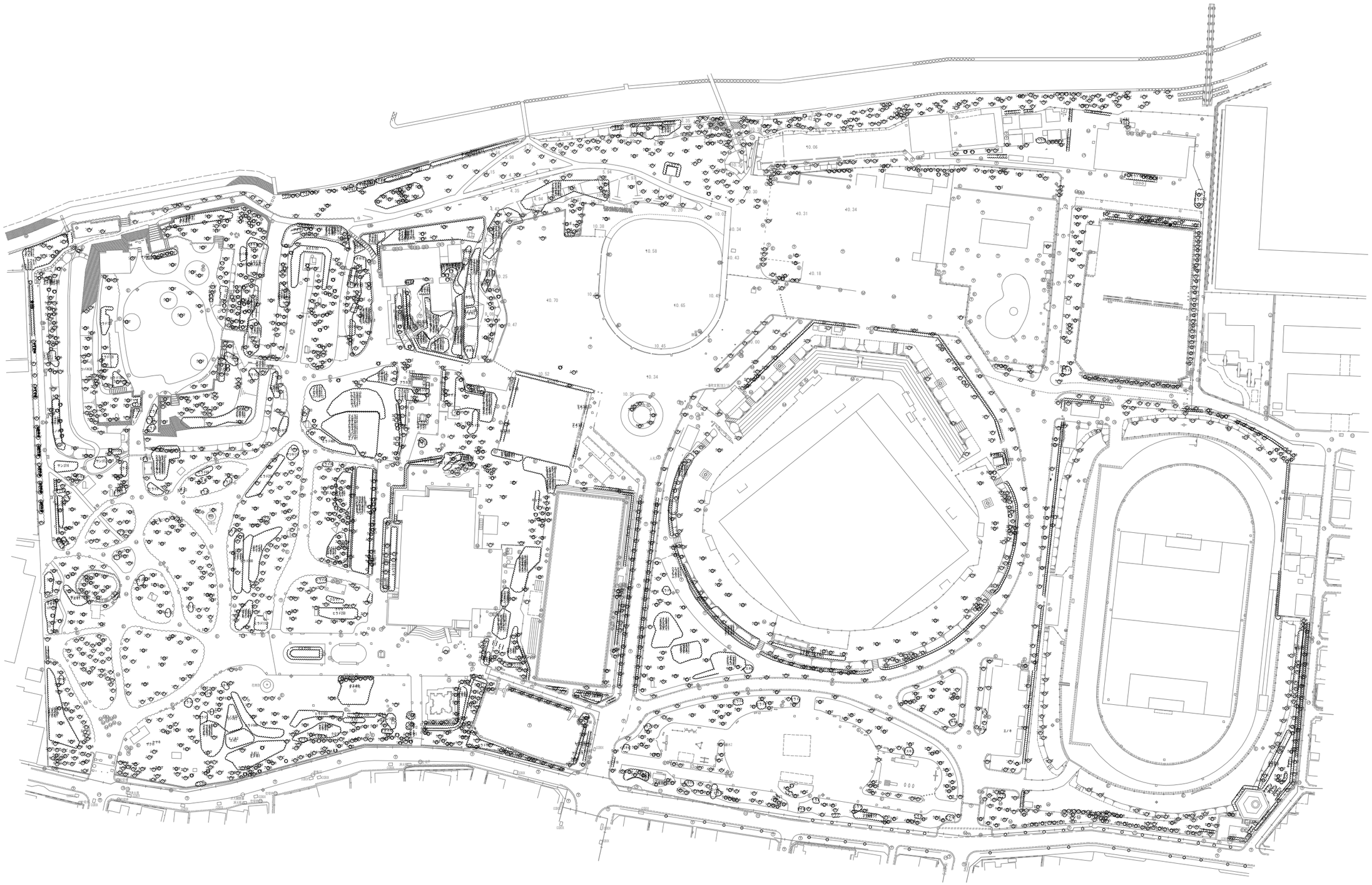
0　10　50　100m

※）本図は豊橋市「都市公園台帳更新委託業務」において作成した図面をもとに陸上競技場スタンド建替、プール解体を反映しているもの。
（詳細については　別紙2－2－1陸上競技場スタンド図面、別紙2－2－2プール解体工事図面参照）

（A3）S=1:2000

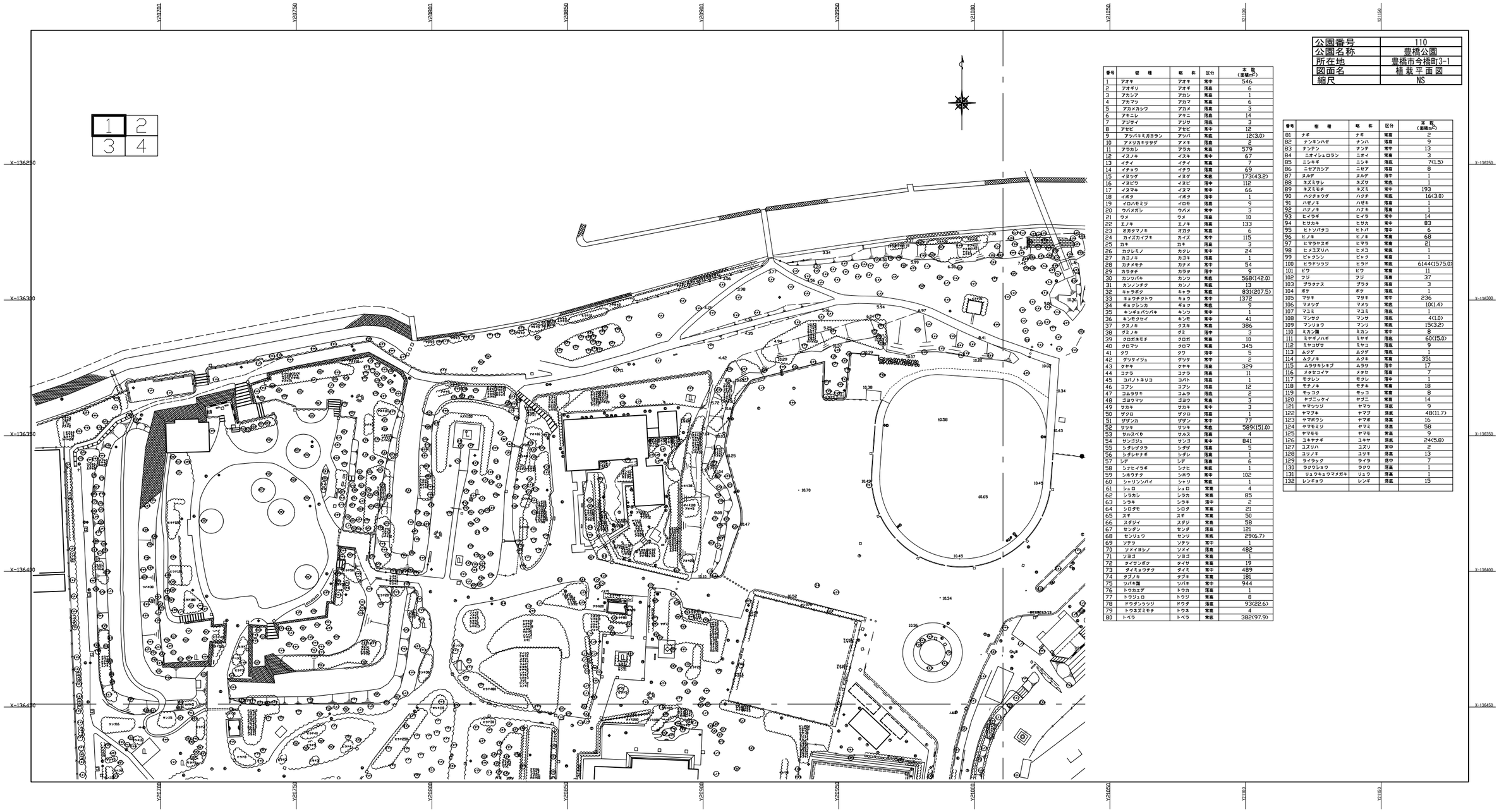
別紙5-4 植栽平面図（都市公園台帳）

公園番号	110
公園名称	豊橋公園
所在地	豊橋市今橋町3-1
図面名	植栽平面図
縮尺	1:2000



別紙5-4-1 植栽平面図（都市公園台帳）①

公園番号	110
公園名称	豊橋公園
所在地	豊橋市今橋町3-1
図面名	植栽平面図
縮尺	NS



番号	樹種	略称	区分	本数（面積㎡）
1	アオキ	アオキ	常中	546
2	アオギリ	アオギ	落高	6
3	アカシア	アカシ	常高	1
4	アカマツ	アカマ	常高	6
5	アカメカシワ	アカメ	落高	3
6	アキニレ	アキニ	落高	14
7	アジサイ	アジサ	落低	3
8	アセビ	アセビ	常中	12
9	アラバキミガヨラン	アラバ	常底	12(3.0)
10	アメリカキササゲ	アメキ	落高	2
11	アラカシ	アラカ	常高	579
12	イスノキ	イスキ	常中	67
13	イチイ	イチイ	常高	7
14	イチョウ	イチウ	落高	69
15	イヌツゲ	イヌツ	常低	173(43.2)
16	イヌビワ	イヌビ	落中	112
17	イヌマキ	イヌマ	常中	66
18	イボタ	イボタ	落中	1
19	イロハモミジ	イロモ	落高	9
20	ウバメガシ	ウバメ	常中	3
21	ウメ	ウメ	落高	10
22	エノキ	エノキ	落高	133
23	オガタマノキ	オガタ	常高	6
24	カイズカイブキ	カイズ	常中	115
25	カキ	カキ	落高	3
26	カクレミノ	カクレ	常中	24
27	カゴノキ	カゴキ	落高	1
28	カナメモチ	カナメ	常中	54
29	カラタチ	カラタ	落中	9
30	カンツバキ	カンツ	常底	568(142.0)
31	カンノンチク	カンノ	常底	13
32	キャラボク	キャラ	常底	831(207.5)
33	キョウチクトウ	キョウ	常中	1372
34	ギョクシンカ	ギョク	常低	9
35	キンギョバツバキ	キンツ	常中	1
36	キンモクセイ	キンモ	常中	41
37	クスノキ	クスキ	常高	386
38	グミノキ	グミ	落中	3
39	クロガネモチ	クロガ	常高	10
40	クロマツ	クロマ	常高	345
41	クワ	クワ	落中	5
42	グワタイジュ	グワタ	常中	2
43	ケヤキ	ケヤキ	落高	329
44	コナラ	コナラ	落高	11
45	コバノトネリコ	コバト	落高	1
46	コブシ	コブシ	落高	12
47	コムラサキ	コムラ	落低	2
48	ゴヨウマツ	ゴヨウ	常高	3
49	サカキ	サカキ	常中	3
50	ザクロ	ザクロ	落高	1
51	ザザンカ	ザザン	常中	77
52	サツキ	サツキ	常底	589(151.0)
53	サルスベリ	サルス	落高	4
54	サンゴジュ	サンゴ	常中	841
55	シダレザクラ	シダザ	落高	5
56	シダレヤナギ	シダレ	落高	1
57	シデ	シデ	落高	6
58	シナヒイラギ	シナヒ	常底	1
59	シホウチク	シホウ	常中	182
60	シャリンバイ	シャリ	常低	1
61	シュロ	シュロ	常高	4
62	シラカシ	シラカ	常高	85
63	シラキ	シラキ	落中	2
64	シロダモ	シロダ	常高	21
65	スギ	スギ	常高	50
66	スダジイ	スダジ	常高	58
67	センダン	センダ	落高	121
68	センリョウ	センリ	常低	29(6.7)
69	ソテツ	ソテツ	常中	1
70	ソメイヨシノ	ソメイ	落高	482
71	ソヨゴ	ソヨゴ	常高	1
72	タイサンボク	タイサ	常高	19
73	ダイミョウチク	ダイミ	常中	489
74	タブノキ	タブキ	常高	181
75	ツバキ類	ツバキ	常中	944
76	トウカエデ	トウカ	落高	1
77	トウショウ	トウシ	常高	8
78	ドウダンツツジ	ドウダ	落低	93(22.6)
79	トウネズミモチ	トウネ	常高	4
80	トベラ	トベラ	常低	382(97.9)

番号	樹種	略称	区分	本数（面積㎡）
81	ナギ	ナギ	常高	2
82	ナンキンハゼ	ナンハ	落高	9
83	ナンテン	ナンテ	常中	13
84	ニオイシュロラン	ニオイ	常高	3
85	ニシキギ	ニシキ	落低	7(1.5)
86	ニセアカシア	ニセア	落高	8
87	ヌルデ	ヌルデ	落中	1
88	ネズミサシ	ネズサ	常高	1
89	ネズミモチ	ネズミ	常中	193
90	ハクチョウゲ	ハクチ	常底	16(3.0)
91	ハゼノキ	ハゼキ	落高	1
92	ハナノキ	ハナキ	落高	1
93	ヒイラギ	ヒイラ	常中	14
94	ヒサカキ	ヒサカ	常中	83
95	ヒトツバタゴ	ヒトバ	落中	6
96	ヒノキ	ヒノキ	常高	68
97	ヒマラヤスギ	ヒマラ	常高	21
98	ヒメユズリハ	ヒメユ	常底	1
99	ビャクシン	ビャク	常高	1
100	ヒラドツツジ	ヒラド	常底	6144(1575.0)
101	ビワ	ビワ	常高	11
102	フジ	フジ	落高	37
103	プラタナス	プラタ	落高	3
104	ボケ	ボケ	落低	1
105	マサキ	マサキ	常中	236
106	マメツゲ	マメツ	常底	10(1.4)
107	マユミ	マユミ	落低	1
108	マンサク	マンサ	落低	4(1.0)
109	マンリョウ	マンリ	常底	15(3.2)
110	ミカン類	ミカン	常中	8
111	ミヤギノハギ	ミヤギ	落低	60(15.0)
112	ミヤコザサ	ミヤコ	落低	9
113	ムクゲ	ムクゲ	落低	1
114	ムクノキ	ムクキ	常高	351
115	ムラサキシキブ	ムラサ	落中	17
116	メタセコイヤ	メタセ	落高	7
117	モクレン	モクレ	落中	1
118	モチノキ	モチキ	常高	18
119	モッコク	モッコ	常高	8
120	ヤブニッケイ	ヤブニ	常高	14
121	ヤマツツジ	ヤマツ	落低	9
122	ヤマブキ	ヤマブ	落低	48(11.7)
123	ヤマボウシ	ヤマボ	落高	16
124	ヤマモミジ	ヤマミ	落高	58
125	ヤマモモ	ヤマモ	常高	9
126	ユキヤナギ	ユキヤ	落低	24(5.8)
127	ユズリハ	ユズリ	常中	2
128	ユリノキ	ユリキ	落高	13
129	ライラック	ライラ	落中	7
130	ラクウショウ	ラクウ	落高	1
131	リュウキュウマメガキ	リュウ	落高	1
132	レンギョウ	レンギ	落低	15

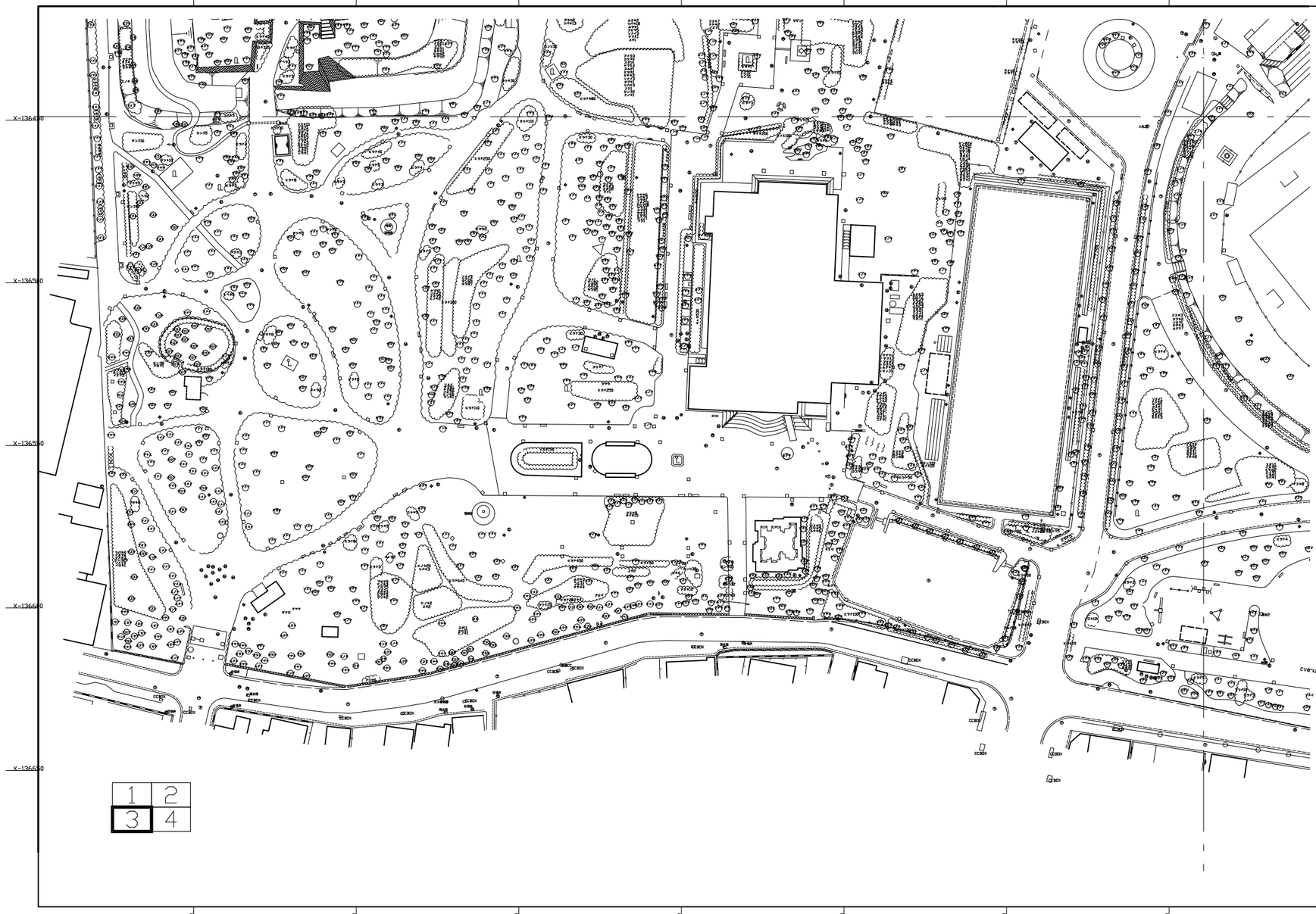
別紙5-4-2 植栽平面図（都市公園台帳）②

公園番号	110
公園名称	豊橋公園
所在地	豊橋市今橋町3-1
図面名	植栽平面図
縮尺	NS

番号	樹　種	略　称	区分	本　数 （面積㎡）
1	アオキ	アオキ	常中	546
2	アオギリ	アオギ	落高	6
3	アカシア	アカシ	常高	1
4	アカマツ	アカマ	常高	6
5	アカメカシワ	アカメ	落高	3
6	アキニレ	アキニ	落高	14
7	アジサイ	アジサ	落低	3
8	アセビ	アセビ	常中	12
9	アツバキミガヨラン	アツバ	常低	12(3.0)
10	アメリカキササゲ	アメキ	落高	2
11	アラカシ	アラカ	常高	579
12	イスノキ	イスキ	常中	67
13	イチイ	イチイ	常高	7
14	イチョウ	イチウ	落高	69
15	イヌツゲ	イヌゲ	常低	173(43.2)
16	イヌビワ	イヌビ	落中	112
17	イヌマキ	イヌマ	常中	66
18	イボタ	イボタ	落中	1
19	イロハモミジ	イロモ	落高	9
20	ウバメガシ	ウバメ	常中	3
21	ウメ	ウメ	落高	10
22	エノキ	エノキ	落高	133
23	オガタマノキ	オガタ	常高	6
24	カイズカイブキ	カイズ	常中	115
25	カキ	カキ	落高	3
26	カクレミノ	カクレ	常中	24
27	カゴノキ	カゴキ	落高	1
28	カナメモチ	カナメ	常中	54
29	カラタチ	カラタ	落中	9
30	カンツバキ	カンツ	常低	568(142.0)
31	カンノンチク	カンノ	常低	13
32	キャラボク	キャラ	常低	831(207.5)
33	キョウチクトウ	キョウ	常中	1372
34	ギョクシンカ	ギョク	常低	9
35	キンギョバツバキ	キンツ	常中	1
36	キンモクセイ	キンモ	常中	41
37	クスノキ	クスキ	常高	386
38	クチナシ	クチ	落中	3
39	クロガネモチ	クロガ	常高	10
40	クロマツ	クロマ	常高	345
41	クワ	クワ	落中	5
42	ゲッケイジュ	ゲッケ	常中	2
43	ケヤキ	ケヤキ	落高	329
44	コナラ	コナラ	落高	11
45	コバノトネリコ	コバト	落高	1
46	コブシ	コブシ	落高	12
47	コムラサキ	コムラ	落低	2
48	コヨウマツ	コヨウ	常高	3
49	サカキ	サカキ	常中	3
50	ザクロ	ザクロ	落高	1
51	ザザンカ	ザザン	常中	77
52	サツキ	サツキ	常低	589(151.0)
53	サルスベリ	サルス	落高	4
54	サンゴジュ	サンゴ	常中	841
55	シダレザクラ	シダザ	落高	5
56	シダレヤナギ	シダレ	落高	1
57	シデ	シデ	落高	6
58	シナヒイラギ	シナヒ	常低	1
59	シホウチク	シホウ	常中	102
60	シャリンバイ	シャリ	常低	1
61	シュロ	シュロ	常高	4
62	シラカシ	シラカ	常高	85
63	シラキ	シラキ	落中	2
64	シロダモ	シロダ	常高	21
65	スギ	スギ	常高	50
66	スダジイ	スダジ	常高	58
67	センダン	センダ	落高	121
68	センリョウ	センリ	常低	29(6.7)
69	ソテツ	ソテツ	常中	1
70	ソメイヨシノ	ソメイ	落高	482
71	ソヨゴ	ソヨゴ	常高	1
72	タイサンボク	タイサ	常高	19
73	ダイミョウチク	ダイミ	常中	489
74	タブノキ	タブキ	常高	181
75	ツバキ類	ツバキ	常中	944
76	トウカエデ	トウカ	落高	1
77	トウジュロ	トウジ	常高	8
78	ドウダンツツジ	ドウダ	落低	93(22.6)
79	トウネズミモチ	トウネ	常高	4
80	トベラ	トベラ	常低	382(97.9)

番号	樹　種	略　称	区分	本　数 （面積㎡）
81	ナギ	ナギ	常高	2
82	ナンキンハゼ	ナンハ	落高	9
83	ナンテン	ナンテ	常中	13
84	ニオイシュロラン	ニオイ	常高	3
85	ニシキギ	ニシキ	落低	7(1.5)
86	ニセアカシア	ニセア	落高	8
87	ヌルデ	ヌルデ	落中	1
88	ネズミサシ	ネズサ	常低	1
89	ネズミモチ	ネズミ	常中	193
90	ハクチョウゲ	ハクチ	常低	16(3.0)
91	ハゼノキ	ハゼキ	落高	1
92	ハナノキ	ハナキ	落高	1
93	ヒイラギ	ヒイラ	常中	14
94	ヒサカキ	ヒサカ	常中	83
95	ヒトツバタゴ	ヒトバ	落中	6
96	ヒノキ	ヒノキ	常高	68
97	ヒマラヤスギ	ヒマラ	常高	21
98	ヒメユズリハ	ヒメユ	常低	1
99	ビャクシン	ビャク	常高	1
100	ヒラドツツジ	ヒラド	常低	6144(1575.0)
101	ビワ	ビワ	常高	11
102	フジ	フジ	落高	37
103	プラタナス	プラタ	落高	3
104	ボケ	ボケ	落低	1
105	マサキ	マサキ	常中	236
106	マメツゲ	マメツ	常低	10(1.4)
107	マユミ	マユミ	落低	1
108	マンサク	マンサ	落低	4(1.0)
109	マンリョウ	マンリ	常低	15(3.2)
110	ミカン類	ミカン	常中	8
111	ミヤギノハギ	ミヤギ	落低	60(15.0)
112	ミヤコザサ	ミヤコ	落低	9
113	ムクゲ	ムクゲ	落低	1
114	ムクノキ	ムクキ	常高	351
115	ムラサキシキブ	ムラサ	落中	17
116	メタセコイヤ	メタセ	落高	7
117	モクレン	モクレ	落中	1
118	モチノキ	モチキ	常高	18
119	モッコク	モッコ	常高	8
120	ヤブニッケイ	ヤブニ	常高	14
121	ヤマツツジ	ヤマツ	落低	9
122	ヤマブキ	ヤマブ	落低	48(11.7)
123	ヤマボウシ	ヤマボ	落高	16
124	ヤマモミジ	ヤマミ	落高	58
125	ヤマモモ	ヤマモ	常高	9
126	ユキヤナギ	ユキヤ	落低	24(5.8)
127	ユズリハ	ユズリ	常中	2
128	ユソノキ	ユソキ	落高	13
129	ライラック	ライラ	落中	7
130	ラクウショウ	ラクウ	落高	1
131	リュウキュウマメガキ	リュウ	落高	1
132	レンギョウ	レンギ	落低	15

別紙5-4-3 植栽平面図（都市公園台帳）③

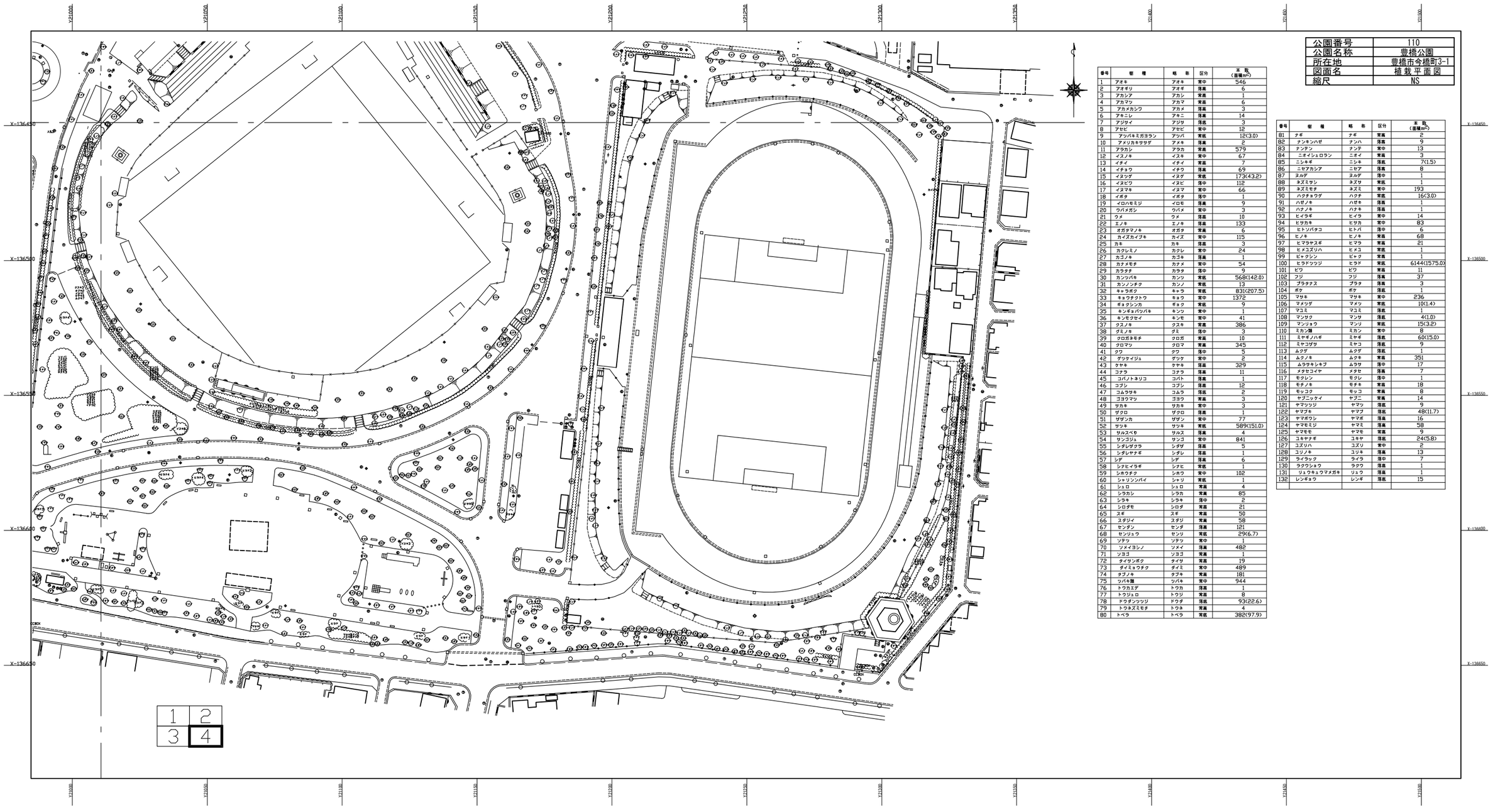


公園番号	110
公園名称	豊橋公園
所在地	豊橋市今橋町3-1
図面名	植栽平面図
縮尺	NS

番号	樹　種	略　称	区分	本　数（面積㎡）
1	アオキ	アオキ	常中	546
2	アオギリ	アオギ	落高	6
3	アカシア	アカシ	常高	1
4	アカマツ	アカマ	常高	6
5	アカメカシワ	アカメ	落高	3
6	アキニレ	アキニ	落高	14
7	アジサイ	アジサ	落底	3
8	アセビ	アセビ	常中	12
9	アンパキミガヨラン	アンパ	常底	12(3.0)
10	アメリカキササゲ	アメキ	落高	2
11	アラカシ	アラカ	常高	579
12	イスノキ	イスキ	常中	67
13	イチイ	イチイ	常高	7
14	イチョウ	イチウ	落高	69
15	イヌツゲ	イヌゲ	常底	173(43.2)
16	イヌビワ	イヌビ	落中	112
17	イヌマキ	イヌマ	常中	66
18	イボタ	イボタ	落中	1
19	イロハモミジ	イロモ	落高	9
20	ウバメガシ	ウバメ	常中	3
21	ウメ	ウメ	落高	10
22	エノキ	エノキ	落高	133
23	オガタマノキ	オガタ	常高	6
24	カイズカイブキ	カイズ	常中	115
25	カキ	カキ	落高	3
26	カクレミノ	カクレ	常中	24
27	カゴノキ	カゴキ	落高	1
28	カクメモチ	カクメ	常中	54
29	カラタチ	カラタ	落中	9
30	カンツバキ	カンツ	常底	568(142.0)
31	カンノンチク	カンノ	常底	13
32	キャラボク	キャラ	常底	831(207.5)
33	キョウチクトウ	キョウ	常中	1372
34	ギョクシンカ	ギョク	常底	9
35	キンギョバツバキ	キンツ	常中	1
36	キンモクセイ	キンモ	常中	41
37	クスノキ	クスキ	常高	386
38	クヌノキ	クヌ	落中	3
39	クロガネモチ	クロガ	常高	10
40	クロマツ	クロマ	常高	345
41	クワ	クワ	落中	5
42	グンゲイジュ	グンク	常中	2
43	ケヤキ	ケヤキ	落高	329
44	コナラ	コナラ	落高	11
45	コバノトネリコ	コバト	落高	1
46	コブシ	コブシ	落高	12
47	コムラサキ	コムラ	落底	2
48	コヨウマツ	コヨウ	常高	3
49	サカキ	サカキ	常中	3
50	ザクロ	ザクロ	落高	1
51	ザザンカ	ザザン	常中	77
52	ササキ	ササキ	常底	589(151.0)
53	サルスベり	サルス	落高	4
54	サンゴジュ	サンゴ	常中	841
55	シダレザクラ	シダザ	落高	5
56	シダレヤナギ	シダレ	落高	1
57	シデ	シデ	落高	6
58	シナヒイラギ	シナヒ	常底	1
59	シホウチク	シホウ	常中	102
60	シャリンバイ	シャリ	常底	1
61	シュロ	シュロ	常高	4
62	シラカシ	シラカ	常高	85
63	シラキ	シラキ	落中	2
64	シロダモ	シロダ	常高	21
65	スギ	スギ	常高	50
66	スダジイ	スダジ	常高	38
67	センダン	センダ	落高	121
68	センリョウ	センリ	常底	296(6.7)
69	ソテツ	ソテツ	常中	1
70	ソメイヨシノ	ソメイ	落高	482
71	ソヨゴ	ソヨゴ	常高	1
72	タイサンボク	タイサ	常高	19
73	タイミョウチク	タイミ	常中	489
74	タブノキ	タブキ	常高	181
75	ツバキ類	ツバキ	常中	944
76	トウカエデ	トウカ	落高	1
77	トウジュロ	トウジ	常高	8
78	ドウダンツツジ	ドウダ	落底	93(22.6)
79	トウネズミモチ	トウネ	常高	4
80	トベラ	トベラ	常底	382(97.9)

番号	樹　種	略　称	区分	本　数（面積㎡）
81	ナギ	ナギ	常高	2
82	ナンキンハゼ	ナンハ	落高	9
83	ナンテン	ナンテ	常中	13
84	ニオイシュロラン	ニオイ	常高	3
85	ニシキギ	ニシキ	落底	7(1.5)
86	ニセアカシア	ニセア	落高	8
87	ヌルデ	ヌルデ	落中	1
88	ネズミサシ	ネズサ	常高	1
89	ネズミモチ	ネズミ	常中	193
90	ハクチョウゲ	ハクチ	常底	16(3.0)
91	ハゼノキ	ハゼキ	落高	1
92	ハナノキ	ハナキ	落高	1
93	ヒイラギ	ヒイラ	常中	14
94	ヒサカキ	ヒサカ	常中	83
95	ヒトツバタコ	ヒトバ	落中	6
96	ヒノキ	ヒノキ	常高	68
97	ヒマラヤスギ	ヒマラ	常高	21
98	ヒメユズリハ	ヒメユ	常底	1
99	ビャクシン	ビャク	常高	1
100	ヒラドツツジ	ヒラド	常底	6144(1575.0)
101	ビワ	ビワ	常高	11
102	フジ	フジ	落高	37
103	プラタナス	プラタ	落高	3
104	ボケ	ボケ	落底	1
105	マサキ	マサキ	常中	236
106	マメツゲ	マメツ	常底	10(1.4)
107	マユミ	マユミ	落底	1
108	マンサク	マンサ	落底	4(1.0)
109	マンリョウ	マンリ	常底	15(3.2)
110	ミカン類	ミカン	常中	8
111	ミヤギノハギ	ミヤギ	落底	60(15.0)
112	ミヤコザサ	ミヤコ	落底	9
113	ムクゲ	ムクゲ	落底	1
114	ムクノキ	ムクキ	常高	351
115	ムラサキシキブ	ムラサ	落中	17
116	メタセコイヤ	メタセ	落高	7
117	モクレン	モクレ	落中	1
118	モチノキ	モチキ	常高	18
119	モッコク	モッコ	常高	8
120	ヤブニッケイ	ヤブニ	常高	14
121	ヤマツツジ	ヤマツ	落底	9
122	ヤマブキ	ヤマブ	落底	48(11.7)
123	ヤマボウシ	ヤマボ	落高	16
124	ヤマモミジ	ヤマミ	落高	58
125	ヤマモモ	ヤマモ	常高	9
126	ユキヤナギ	ユキヤ	落底	24(5.8)
127	ユズリハ	ユズリ	常中	2
128	ユリノキ	ユリキ	落高	13
129	ライラック	ライラ	落中	7
130	ラクウショウ	ラクウ	落高	1
131	リュウキュウマメガキ	リュウ	落高	1
132	レンギョウ	レンギ	落底	15

別紙5-4-4 植栽平面図（都市公園台帳）④



公園番号	110
公園名称	豊橋公園
所在地	豊橋市今橋町3-1
図面名	植栽平面図
縮尺	NS

番号	樹種	略称	区分	本数（面積㎡）
1	アオキ	アオキ	常中	546
2	アオギリ	アオギ	落高	6
3	アカシア	アカシ	常高	1
4	アカマツ	アカマ	常高	6
5	アカメカシワ	アカメ	落高	3
6	アキニレ	アキニ	落高	14
7	アジサイ	アジサ	落底	3
8	アセビ	アセビ	常中	12
9	アツバキミガヨラン	アツバ	常底	12(3.0)
10	アメリカキササゲ	アメキ	落高	2
11	アラカシ	アラカ	常高	579
12	イスノキ	イスキ	常中	67
13	イチイ	イチイ	常高	7
14	イチョウ	イチウ	落高	69
15	イヌツゲ	イヌゲ	常底	173(43.2)
16	イヌビワ	イヌビ	落中	112
17	イヌマキ	イヌマ	常中	66
18	イボタ	イボタ	落中	1
19	イロハモミジ	イロモ	落高	9
20	ウバメガシ	ウバメ	常中	3
21	ウメ	ウメ	落高	10
22	エノキ	エノキ	落高	133
23	オガタマノキ	オガタ	常高	6
24	カイズカイブキ	カイズ	常中	115
25	カキ	カキ	落高	3
26	カクレミノ	カクレ	常中	24
27	カゴノキ	カゴキ	落高	1
28	カナメモチ	カナメ	常中	54
29	カラタチ	カラタ	落中	9
30	カンツバキ	カンツ	常底	568(142.0)
31	カンノンチク	カンノ	常底	13
32	キャラボク	キャラ	常底	831(207.5)
33	キョウチクトウ	キョウ	常中	1372
34	ギョクシンカ	ギョク	常底	9
35	キンギョバツバキ	キンツ	常中	1
36	キンモクセイ	キンモ	常中	41
37	クスノキ	クスキ	常高	386
38	グミノキ	グミ	落中	3
39	クロガネモチ	クロガ	常高	10
40	クロマツ	クロマ	落高	345
41	クワ	クワ	落中	5
42	グンゲイジュ	グンゲ	常中	2
43	ケヤキ	ケヤキ	落高	329
44	コナラ	コナラ	落高	11
45	コバノトネリコ	コバト	落高	1
46	コブシ	コブシ	落高	12
47	コムラサキ	コムラ	落底	2
48	コヨウマツ	コヨウ	常高	3
49	サカキ	サカキ	常中	3
50	ザクロ	ザクロ	落高	1
51	ザザンカ	ザザン	常中	77
52	サツキ	サツキ	常底	589(151.0)
53	サルスベリ	サルス	落高	4
54	サンゴジュ	サンゴ	常中	841
55	シダレザクラ	シダザ	落高	5
56	シダレヤナギ	シダレ	落高	1
57	シデ	シデ	落高	6
58	シナヒイラギ	シナヒ	常底	1
59	シホウチク	シホウ	常中	102
60	シャリンバイ	シャリ	常底	1
61	シュロ	シュロ	常高	4
62	シラカシ	シラカ	常高	85
63	シラキ	シラキ	落中	2
64	シロダモ	シロダ	常高	21
65	スギ	スギ	常高	50
66	スダジイ	スダジ	常高	58
67	センダン	センダ	落高	121
68	センリョウ	センリ	常底	29(6.7)
69	ソテツ	ソテツ	常中	1
70	ソメイヨシノ	ソメイ	落高	482
71	ソヨゴ	ソヨゴ	常高	1
72	タイサンボク	タイサ	常高	19
73	ダイミョウチク	ダイミ	常中	489
74	タブノキ	タブキ	常高	181
75	ツバキ類	ツバキ	常中	944
76	トウカエデ	トウカ	落高	1
77	トウジュロ	トウジ	常高	9
78	ドウダンツツジ	ドウダ	落底	93(22.6)
79	トウネズミモチ	トウネ	常高	4
80	トベラ	トベラ	常底	382(97.9)

番号	樹種	略称	区分	本数（面積㎡）
81	ナギ	ナギ	常高	2
82	ナンキンハゼ	ナンハ	落高	9
83	ナンテン	ナンテ	常中	13
84	ニオイシュロラン	ニオイ	常高	3
85	ニシキギ	ニシキ	落底	7(1.5)
86	ニセアカシア	ニセア	落高	8
87	ヌルデ	ヌルデ	落中	1
88	ネズミサシ	ネズサ	常底	1
89	ネズミモチ	ネズミ	常中	193
90	ハクチョウゲ	ハクチ	常底	16(3.0)
91	ハゼノキ	ハゼキ	落高	1
92	ハナノキ	ハナキ	落高	1
93	ヒイラギ	ヒイラ	常中	14
94	ヒサカキ	ヒサカ	常中	83
95	ヒトツバタゴ	ヒトバ	落中	6
96	ヒノキ	ヒノキ	常高	68
97	ヒマラヤスギ	ヒマラ	常高	21
98	ヒメコヌリハ	ヒメコ	常底	1
99	ビャクシン	ビャク	常高	1
100	ヒラドツツジ	ヒラド	常底	6144(1575.0)
101	ビワ	ビワ	常高	11
102	フジ	フジ	落高	37
103	プラタナス	プラタ	落高	3
104	ボケ	ボケ	落底	1
105	マサキ	マサキ	常中	236
106	マメツゲ	マメツ	常底	10(1.4)
107	マユミ	マユミ	落底	1
108	マンサク	マンサ	落底	4(1.0)
109	マンリョウ	マンリ	常底	15(3.2)
110	ミカン類	ミカン	常中	8
111	ミヤギノハギ	ミヤギ	落底	60(15.0)
112	ミヤコザサ	ミヤコ	落底	9
113	ムクゲ	ムクゲ	落底	1
114	ムクノキ	ムクキ	常高	351
115	ムラサキシキブ	ムラサ	落中	17
116	メタセコイヤ	メタセ	落高	7
117	モクレン	モクレ	落中	1
118	モチノキ	モチキ	常高	18
119	モッコク	モッコ	常高	8
120	ヤブニッケイ	ヤブニ	常高	14
121	ヤマハッジ	ヤマツ	落底	9
122	ヤマブキ	ヤマブ	落底	48(11.7)
123	ヤマボウシ	ヤマボ	落高	16
124	ヤマモミジ	ヤマミ	落高	58
125	ヤマモモ	ヤマモ	常高	9
126	ユキヤナギ	ユキヤ	落底	24(5.8)
127	ユズリハ	ユズリ	常中	2
128	ユリノキ	ユリキ	落高	13
129	ライラック	ライラ	落中	7
130	ラクウショウ	ラクウ	落高	1
131	リュウキュウマメガキ	リュウ	落高	1
132	レンギョウ	レンギ	落底	15

別紙6-1　地盤高さ網図

4級基準点測量　網図

S=1:2500

△：既知点（基準点）
⊡：既知点（水準点）
⊙：4級基準点
●：節点（512は偏心点）

作業年度	作業種類	座標系番号	測量計画機関	測量作業機関
平成30年度	4級基準点	7系	豊橋市役所	株式会社　葵設計事務所

別紙6-2　地盤高さデータ

世界測地系(測地成果2011)
ｼﾞｵｲﾄﾞ・ﾓﾃﾞﾙ：日本のジオイド2011 ver2.0
調製　　2019 年　3 月　8 日

基 準 点 成 果 表

(AREA　7)

401

			m
B	34° 46′ 18.7013″	X	-136220.986
L	137° 23′ 54.8539″	Y	21226.567
			m
N	-0° 07′ 56.13″	H	7.386
		柱石長	
		縮尺係数	0.999906

視準点の名称	平均方向角	距離	備考
	° ′ ″	m	

埋標形式	地上	~~地下~~	~~屋上~~	標識番号	~~標石~~ ~~金属標~~	合成樹脂杭401

世界測地系(測地成果2011)
ｼﾞｵｲﾄﾞ・ﾓﾃﾞﾙ：日本のジオイド2011 ver2.0
調製　　2019 年　3 月　8 日

基 準 点 成 果 表

(AREA　7)

402

			m
B	34° 46′ 17.7931″	X	-136249.338
L	137° 23′ 48.5897″	Y	21067.360
			m
N	-0° 07′ 52.55″	H	3.432
		柱石長	
		縮尺係数	0.999905

視準点の名称	平均方向角	距離	備考
	° ′ ″	m	

埋標形式	地上	~~地下~~	~~屋上~~	標識番号	~~標石~~ ~~金属標~~	金属鋲402

世界測地系(測地成果2011)
ｼﾞｵｲﾄﾞ・ﾓﾃﾞﾙ：日本のジオイド2011 ver2.0
調製　　2019 年　3 月　8 日

基準点成果表

(AREA　7)

403

B	34° 46′ 17.5897″	X	m -136255.794
L	137° 23′ 45.3355″	Y	20984.634
N	-0° 07′ 50.70″	H	m 3.307
		柱石長	
		縮尺係数	0.999905

視準点の名称	平均方向角	距離	備考
	° ′ ″	m	

埋標形式	地上	~~地下~~	~~屋上~~	標識番号	~~標石~~ ~~金属標~~	金属鋲403

標高は直接水準による

世界測地系(測地成果2011)
ｼﾞｵｲﾄﾞ・ﾓﾃﾞﾙ：日本のジオイド2011 ver2.0
調製　　2019 年　3 月　8 日

基 準 点 成 果 表

(AREA　7)

404

B	34° 46′ 16.8098″	X	m -136279.147
L	137° 23′ 56.9301″	Y	21279.488
N	-0° 07′ 57.31″	H	m 10.021
		柱石長	
		縮尺係数	0.999906

視準点の名称	平均方向角	距離	備考
	° ′ ″	m	

埋標形式	地上	~~地下~~	~~屋上~~	標識番号	~~標石~~ ~~金属標~~	合成樹脂杭404

世界測地系(測地成果2011)
ｼﾞｵｲﾄﾞ・ﾓﾃﾞﾙ：日本のジオイド2011 ver2.0
調製　　2019 年　3 月　8 日

基準点成果表

(AREA　7)

405

			m
B	34° 46′ 16.5495″	X	-136287.967
L	137° 23′ 43.2014″	Y	20930.446
			m
N	-0° 07′ 49.47″	H	3.966
		柱石長	
		縮尺係数	0.999905

視準点の名称	平均方向角	距離	備考
	° ′ ″	m	

埋標形式	地上	~~地下~~	~~屋上~~	標識番号	~~標石~~ ~~金属標~~	合成樹脂杭405

世界測地系(測地成果2011)
ｼﾞｵｲﾄﾞ・ﾓﾃﾞﾙ：日本のジオイド2011 ver2.0
調製　　2019 年　3 月　8 日

基 準 点 成 果 表

(AREA　7)

406

B	34° 46′ 15.6320″	X	m -136316.463
L	137° 23′ 39.3505″	Y	20832.597
N	-0° 07′ 47.28″	H	m 3.278
		柱石長	
		縮尺係数	0.999905

視準点の名称	平均方向角	距離	備考
	° ′ ″	m	

埋標形式	地上	~~地下~~	~~屋上~~	標識番号	~~標石~~ ~~金属標~~	合成樹脂杭406

世界測地系(測地成果2011)
ｼﾞｵｲﾄﾞ・ﾓﾃﾞﾙ：日本のジオイド2011 ver2.0
調製　　2019 年　3 月　8 日

基 準 点 成 果 表

(AREA　7)

407

B	34° 46′ 15.3386″	X	m -136325.121
L	137° 23′ 45.9567″	Y	21000.587
N	-0° 07′ 51.04″	H	m 10.447
		柱石長	
		縮尺係数	0.999905

視準点の名称	平均方向角	距離	備考
	° ′ ″	m	

埋標形式	地上	~~地下~~	~~屋上~~	標識番号	~~標石~~ ~~金属標~~	合成樹脂杭407

世界測地系(測地成果2011)
ｼﾞｵｲﾄﾞ・ﾓﾃﾞﾙ：日本のジオイド2011 ver2.0
調製　　2019 年　3 月　8 日

基 準 点 成 果 表

(AREA　7)

408

B	34° 46′ 14.6724″	X	m -136346.529
L	137° 23′ 30.6638″	Y	20611.798
N	-0° 07′ 42.32″	H	m 2.518
		柱石長	
		縮尺係数	0.999905

視準点の名称	平均方向角	距離	備考
	° ′ ″	m	

埋標形式	地上	~~地下~~	~~屋上~~	標識番号	~~標石~~ ~~金属標~~	刻印408

世界測地系(測地成果2011)
ｼﾞｵｲﾄﾞ・ﾓﾃﾞﾙ：日本のジオイド2011 ver2.0
調製　　2019 年　3 月　8 日

基準点成果表

(AREA　7)

409

			m
B	34° 46′ 14.3550″	X	-136356.187
L	137° 23′ 32.7955″	Y	20666.020
			m
N	-0° 07′ 43.53″	H	10.053
		柱石長	
		縮尺係数	0.999905

視準点の名称	平均方向角	距離	備考
	° ′ ″	m	

埋標形式	地上	~~地下~~	~~屋上~~	標識番号	~~標石~~ ~~金属標~~	合成樹脂杭409

世界測地系(測地成果2011)
ｼﾞｵｲﾄﾞ・ﾓﾃﾞﾙ：日本のジオイド2011 ver2.0
調製　　2019 年 3 月 8 日

基準点成果表

(AREA 7)

410

B	34° 46′ 13.5830″	X	m -136379.066
L	137° 23′ 48.5248″	Y	21066.006
N	-0° 07′ 52.50″	H	m 9.766
		柱石長	
		縮尺係数	0.999905

視準点の名称	平均方向角	距離	備考
	° ′ ″	m	

埋標形式	地上	~~地下~~	~~屋上~~	標識番号	~~標石~~ ~~金属標~~	金属鋲410

標高は直接水準による

世界測地系(測地成果2011)
ｼﾞｵｲﾄﾞ・ﾓﾃﾞﾙ：日本のジオイド2011 ver2.0
調製　　2019 年　3 月　8 日

基 準 点 成 果 表

(AREA　7)

411

			m
B	34° 46′ 13.2944″	X	-136387.791
L	137° 23′ 51.3968″	Y	21139.050
			m
N	-0° 07′ 54.14″	H	9.727
		柱石長	
		縮尺係数	0.999906

視準点の名称	平均方向角	距離	備考
	° ′ ″	m	

埋標形式	地上	~~地下~~	~~屋上~~	標識番号	~~標石~~ ~~金属標~~	金属鋲411

世界測地系(測地成果2011)
ｼﾞｵｲﾄﾞ・ﾓﾃﾞﾙ：日本のジオイド2011 ver2.0
調製　　2019 年　3 月　8 日

基 準 点 成 果 表

(AREA　7)

412

B	34° 46′ 12.9585″	X	m -136398.461
L	137° 23′ 45.9127″	Y	20999.636
N	-0° 07′ 51.01″	H	m 10.402
		柱石長	
		縮尺係数	0.999905

視準点の名称	平均方向角	距離	備考
	° ′ ″	m	

埋標形式	地上	~~地下~~	~~屋上~~	標識番号	~~標石~~ ~~金属標~~	金属鋲412

標高は直接水準による

世界測地系(測地成果2011)
ｼﾞｵｲﾄﾞ・ﾓﾃﾞﾙ：日本のジオイド2011 ver2.0
調製　　2019 年 3 月 8 日

基準点成果表

(AREA 7)

413

			m
B	34° 46′ 12.6917″	X	-136406.870
L	137° 23′ 42.6325″	Y	20916.252
			m
N	-0° 07′ 49.14″	H	10.363
		柱石長	
		縮尺係数	0.999905

視準点の名称	平均方向角	距離	備考
	° ′ ″	m	

埋標形式	地上	~~地下~~	~~屋上~~	標識番号	~~標石~~ ~~金属標~~	金属鋲413

標高は直接水準による

世界測地系(測地成果2011)
ｼﾞｵｲﾄﾞ・ﾓﾃﾞﾙ：日本のジオイド2011 ver2.0
調製　　2019 年　3 月　8 日

基 準 点 成 果 表

(AREA　7)

414

			m
B	34° 46′ 12.0999″	X	-136424.291
L	137° 23′ 56.6117″	Y	21271.729
			m
N	-0° 07′ 57.11″	H	9.550

柱石長

縮尺係数　0.999906

視準点の名称	平均方向角	距離	備考
	° ′ ″	m	

埋標形式	地上	~~地下~~	~~屋上~~	標識番号	~~標石~~ ~~金属標~~	金属鋲414

世界測地系(測地成果2011)
ｼﾞｵｲﾄﾞ・ﾓﾃﾞﾙ：日本のジオイド2011 ver2.0
調製　　2019 年　3 月　8 日

基 準 点 成 果 表

(AREA　7)

415

			m
B	34° 46′ 11.7405″	X	-136436.445
L	137° 23′ 38.0143″	Y	20798.894
			m
N	-0° 07′ 46.50″	H	10.587
		柱石長	
		縮尺係数	0.999905

視準点の名称	平均方向角	距離	備考
	° ′ ″	m	

埋標形式	地上	~~地下~~	~~屋上~~	標識番号	~~標石~~ ~~金属標~~	金属鋲415

世界測地系(測地成果2011)
ｼﾞｵｲﾄﾞ・ﾓﾃﾞﾙ：日本のジオイド2011 ver2.0
調製　　2019 年　3 月　8 日

基 準 点 成 果 表

(AREA　7)

416

			m
B	34° 46′ 11.3811″	X	-136446.281
L	137° 23′ 59.2977″	Y	21340.077
			m
N	-0° 07′ 58.64″	H	9.453
		柱石長	
		縮尺係数	0.999906

視準点の名称	平均方向角	距離	備考
	° ′ ″	m	

埋標形式	地上	~~地下~~	~~屋上~~	標識番号	~~標石~~ ~~金属標~~	金属鋲416

世界測地系(測地成果2011)
ｼﾞｵｲﾄﾞ・ﾓﾃﾞﾙ：日本のジオイド2011 ver2.0
調製　　2019 年　3 月　8 日

基 準 点 成 果 表

(AREA　7)

417

			m
B	34° 46′ 11.2771″	X	-136451.005
L	137° 23′ 33.1057″	Y	20674.120
			m
N	-0° 07′ 43.70″	H	10.200
		柱石長	
		縮尺係数	0.999905

視準点の名称	平均方向角	距離	備考
	° ′ ″	m	

埋標形式	地上	~~地下~~	~~屋上~~	標識番号	~~標石~~ ~~金属標~~	金属鋲417

世界測地系(測地成果2011)
ｼﾞｵｲﾄﾞ・ﾓﾃﾞﾙ：日本のジオイド2011 ver2.0
調製　　2019 年　3 月　8 日

基準点成果表

(AREA　7)

418

			m
B	34° 46′ 10.8275″	X	-136464.137
L	137° 23′ 45.6326″	Y	20992.663
			m
N	-0° 07′ 50.84″	H	10.015
		柱石長	
		縮尺係数	0.999905

視準点の名称	平均方向角	距離	備考
	° ′ ″	m	

埋標形式	地上	~~地下~~	~~屋上~~	標識番号	~~標石~~ ~~金属標~~	金属鋲418

標高は直接水準による

世界測地系(測地成果2011)
ｼﾞｵｲﾄﾞ・ﾓﾃﾞﾙ：日本のジオイド2011 ver2.0
調製　　2019 年　3 月　8 日

基 準 点 成 果 表

(AREA　7)

419

			m
B	34° 46′ 09.9535″	X	-136490.611
L	137° 23′ 53.4815″	Y	21192.294
			m
N	-0° 07′ 55.32″	H	9.543

柱石長

縮尺係数　0.999906

視準点の名称	平均方向角	距離	備考
	° ′ ″	m	

埋標形式	地上	~~地下~~	~~屋上~~	標識番号	~~標石~~ ~~金属標~~	金属鋲419

世界測地系(測地成果2011)
ｼﾞｵｲﾄﾞ・ﾓﾃﾞﾙ：日本のジオイド2011 ver2.0
調製　　2019 年　3 月　8 日

基準点成果表

(AREA　7)

420

			m
B	34° 46′ 08.5028″	X	-136534.973
L	137° 23′ 59.1959″	Y	21337.693
			m
N	-0° 07′ 58.57″	H	9.016
		柱石長	
		縮尺係数	0.999906

視準点の名称	平均方向角	距離	備考
	° ′ ″	m	

埋標形式	地上	~~地下~~	~~屋上~~	標識番号	~~標石~~ ~~金属標~~	金属鋲420

世界測地系(測地成果2011)
ｼﾞｵｲﾄﾞ・ﾓﾃﾞﾙ：日本のジオイド2011 ver2.0
調製　　2019 年　3 月　8 日

基 準 点 成 果 表

(AREA　7)

421

			m
B	34° 46′ 08.2739″	X	-136543.545
L	137° 23′ 33.0581″	Y	20673.118
			m
N	-0° 07′ 43.66″	H	10.746
		柱石長	
		縮尺係数	0.999905

視準点の名称	平均方向角	距離	備考
	° ′ ″	m	

埋標形式	地上	~~地下~~	~~屋上~~	標識番号	~~標石~~ ~~金属標~~	金属鋲421

世界測地系(測地成果2011)
ｼﾞｵｲﾄﾞ・ﾓﾃﾞﾙ：日本のジオイド2011 ver2.0
調製　　2019 年　3 月　8 日

基 準 点 成 果 表

(AREA　7)

422

B	34° 46′ 07.7019″	X	m -136560.949
L	137° 23′ 36.9235″	Y	20771.440
N	-0° 07′ 45.87″	H	m 10.460
		柱石長	
		縮尺係数	0.999905

視準点の名称	平均方向角	距離	備考
	° ′ ″	m	

埋標形式	地上	~~地下~~	~~屋上~~	標識番号	~~標石~~ ~~金属標~~	金属鋲422

世界測地系(測地成果2011)
ｼﾞｵｲﾄﾞ・ﾓﾃﾞﾙ：日本のジオイド2011 ver2.0
調製　　2019 年　3 月　8 日

基準点成果表

(AREA　7)

423

			m
B	34° 46′ 07.6405″	X	-136562.531
L	137° 23′ 42.2906″	Y	20907.912
			m
N	-0° 07′ 48.93″	H	10.202
		柱石長	
		縮尺係数	0.999905

視準点の名称	平均方向角	距離	備考
	° ′ ″	m	

埋標形式	地上	~~地下~~	~~屋上~~	標識番号	~~標石~~ 金属標	423

世界測地系(測地成果2011)
ｼﾞｵｲﾄﾞ・ﾓﾃﾞﾙ：日本のジオイド2011 ver2.0
調製　　2019 年　3 月　8 日

基 準 点 成 果 表

(AREA　7)

424

			m
B	34° 46′ 07.4286″	X	-136568.668
L	137° 23′ 49.0881″	Y	21080.765
			m
N	-0° 07′ 52.80″	H	9.433
		柱石長	
		縮尺係数	0.999905

視準点の名称	平均方向角	距離	備考
	° ′ ″	m	

埋標形式	地上	~~地下~~	~~屋上~~	標識番号	~~標石~~ ~~金属標~~	金属鋲424

世界測地系(測地成果2011)
ｼﾞｵｲﾄﾞ・ﾓﾃﾞﾙ：日本のジオイド2011 ver2.0
調製　　2019 年　3 月　8 日

基準点成果表

(AREA　7)

425

			m
B	34° 46′ 06.3427″	X	-136602.671
L	137° 23′ 39.6798″	Y	20841.619
			m
N	-0° 07′ 47.43″	H	9.552
		柱石長	
		縮尺係数	0.999905

視準点の名称	平均方向角	距離	備考
	° ′ ″	m	

埋標形式	地上	~~地下~~	~~屋上~~	標識番号	~~標石~~ 金属標	金属鋲425

世界測地系(測地成果2011)
ｼﾞｵｲﾄﾞ・ﾓﾃﾞﾙ：日本のジオイド2011 ver2.0
調製　　2019 年　3 月　8 日

基準点成果表

(AREA　7)

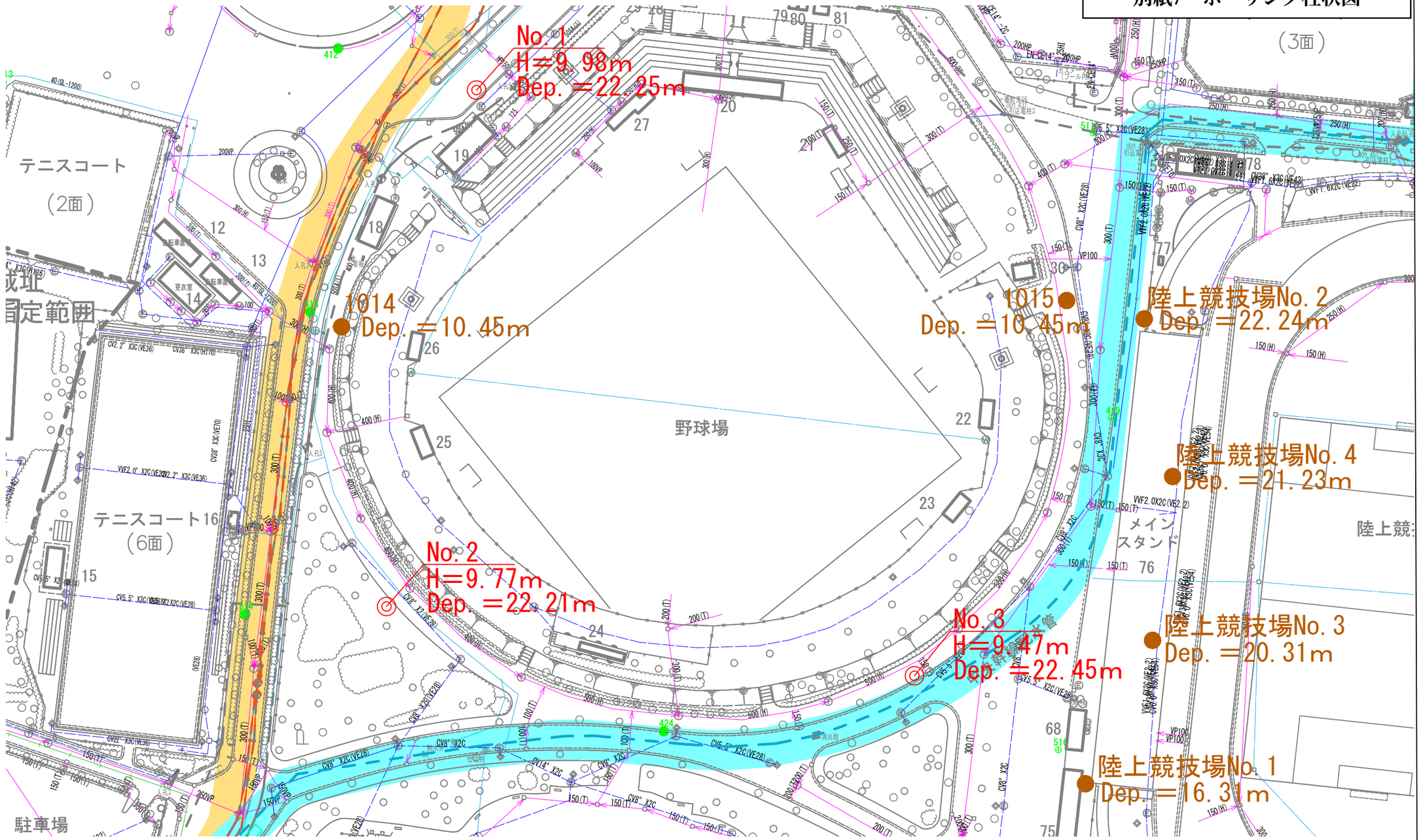
426

			m
B	34° 46′ 04.2719″	X	-136665.431
L	137° 23′ 57.6208″	Y	21297.945
			m
N	-0° 07′ 57.66″	H	8.779
		柱石長	
		縮尺係数	0.999906

視準点の名称	平均方向角	距離	備考
	° ′ ″	m	

埋標形式	地上	~~地下~~	~~屋上~~	標識番号	~~標石~~ ~~金属標~~	金属鋲426

別紙7　ボーリング柱状図



凡例

- ガス
- 給水
- 排水
- ◎ 地質調査位置
- ● 既存調査位置
- 電気
- 電気（占用）架空
- 電気（占用）埋設　※移設、建物建設不可
- 中央幹線配水管（占用）埋設　※移設、建物建設不可

0　10　50　100m

調査地点位置図（S＝1：1000）

土質ボーリング柱状図(標準貫入試験)

調査名　豊橋市多目的屋内施設基本計画策定及び要求水準書等作成委託業務地質調査

事業名または工事名　豊橋市多目的屋内施設基本計画策定及び要求水準書等作成委託業務

調査目的及び調査対象　建築 構造物基礎

ボーリング名	No.1	調査位置	愛知県豊橋市今橋町地内　豊橋公園			北緯	34°46'12.6184"
発注機関	豊橋市役所　多目的屋内施設整備推進室			調査期間	2023年6月28日～2023年6月29日	東経	137°23'47.2670"
調査業者名	株式会社　東建ジオテック TEL　052-824-1531	照査技術者	奥　一歩 地質調査技士 登録番号 21266	担当技術者	長谷川　亮典 地質調査技士 登録番号 23684	コア鑑定者	長谷川　亮典 地質調査技士 登録番号 23684
ボーリング責任者	松山　幸司 地質調査技士 登録番号 16776						
孔口標高	H= 9.98 m	角度	180° 上 90° 0° 下 0°	方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90°　水平 0° 0°
使用機種	試錐機	東邦D-OD					
総削孔長	22.25 m	エンジン	ヤンマーNFD-9	ポンプ	東邦BG-4		

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	現場土質名(模様)	現場土質名	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層・岩体区分	孔内水位m 測定月日	標準貫入試験 深度 m	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	N値	深度-N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 m	試験名及び結果	試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
	9.48	0.50	0.50		盛土(砂礫)	暗灰			上部0.05mアスファルト。0.05～0.50m礫主体。0.50～1.00mシルト主体。			1.15	13	14	13	40/300	40								
	8.98	0.50	1.00		盛土(礫混じりシルト)	暗褐灰						1.45													
1												2.15	12	13	14	39/300	39								
2							密な		φ2～30mm程度の亜円～亜角礫主体で、礫間を細砂が充填。			2.45													
3									最大礫径φ50mm程度。			3.15	5	7	9	21/300	21								
							中位		所々シルトが少量混入。			3.45													
4							密な		含水は概ね少なく、下部で中位。			4.15	9	11	18	38/300	38								
												4.45													
5							非常に密な				6/28	5.15	20	22	18/60	60/260	69.2								
											5.60 ▽	5.41													
6							密な				無水掘	6.15	17	15	13	45/300	45					6/28			
												6.45													
7							非常に密な					7.15	17	20	23/40	60/240	75								
												7.39													
8	1.38	7.60	8.60		砂礫	暗灰～褐灰	中位					8.15	10	6	12	28/300	28								
												8.45													
9							中位		細砂～中砂主体で、シルト少量混入。			9.15	5	7	15	27/300	27								
									所々シルトやや多く、シルト質砂状呈す。			9.45													
10												10.15	10	10	13	33/300	33								
									全体に細礫点在し、上部でやや多い。			10.45													
11						褐灰						11.15	12	12	16	40/300	40								
									含水やや少ない。			11.45													
12												12.15	12	13	16	41/300	41								
												12.45													
13												13.15	8	10	12	30/300	30								
												13.45													
14												14.15	11	11	13	35/300	35								
												14.45													
15												15.15	13	15	21	49/300	49								
												15.45													
16							密な					16.15	12	16	12	40/300	40								
												16.45													
17												17.15	17	24	19/60	60/260	69.2								
												17.41													
18												18.15	20	24	16/40	60/240	75								
												18.39													
19	-9.72	11.10	19.70		シルト混じり砂	暗灰	非常に密な					19.15	15	21	24/90	60/290	62.1								
									φ2～20mm程度の亜円礫主体で、礫間を細砂・少量のシルトが充填。			19.44	39	21/30		60/130	138.5								
20												20.05													
												20.18													
21							非常に密な		含水中位。			21.00	32	28/70		60/170	105.9								
	-11.82	2.10	21.80		シルト混じり砂礫	暗灰						21.17													
22	-12.27	0.45	22.25		礫混じり砂	暗灰	非常に密な		中砂主体で、φ2～5mm程度の礫少量混入。含水中位。			22.05	26	34		60/200	90					6/29			
												22.25													
23																									
24																									
25																									
26																									
27																									

株式会社　東建ジオテック

土質ボーリング柱状図(標準貫入試験)

調査名	豊橋市多目的屋内施設基本計画策定及び要求水準書等作成委託業務地質調査
事業名または工事名	豊橋市多目的屋内施設基本計画策定及び要求水準書等作成委託業務
調査目的及び調査対象	建築 構造物基礎

ボーリング名	No.2	調査位置	愛知県豊橋市今橋町地内　豊橋公園			北緯	34°46'08.4437"
発注機関	豊橋市役所　多目的屋内施設整備推進室			調査期間	2023年7月3日～2023年7月5日	東経	137°23'46.3736"
調査業者名	株式会社　東建ジオテック TEL　052-824-1531	照査技術者	奥　一歩 地質調査技士 登録番号 21266	担当技術者	長谷川　亮典 地質調査技士 登録番号 23684	コア鑑定者	長谷川　亮典 地質調査技士 登録番号 23684
ボーリング責任者	松山　幸司 地質調査技士 登録番号 16776						
孔口標高	H= 9.77 m	角度	180° 上 90° 0° 下 0°	方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90°　水平 0° 0°
使用機種	試錐機	東邦D-OD					
総削孔長	22.21 m	エンジン	ヤンマーNFD-9	ポンプ	東邦BG-4		

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	現場土質名(模様)	現場土質名	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層・岩体区分	孔内水位 m 測定月日	標準貫入試験 深度 m	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	N値	深度-N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 m	試験名及び結果	試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
	9.57	0.20	0.20		表土(礫混じりシルト)	暗灰			シルト主体で、腐植物混入。		7/3 0.65														
1									φ2～30mm程度の亜円～亜角礫主体で、礫間を細砂・少量のシルトが充填。		無水掘	1.15 2.15	14	13	14	41 300	41							
2							密な		最大礫径φ50mm程度。			1.45 2.15	11	13	14	38 300	38							
3									所々シルトが少なくなる。		7/4 3.60	2.45 3.15	5	7	13	25 300	25							
4							中位		含水は概ね少なく、下部で中位。		泥水位	3.45 4.15	5	8	8	21 300	21							
5							密な				7/5 4.70 泥水位	4.45 5.15	9	9	12	30 300	30							
6							非常に密な					5.45 6.15	12	20	21	53 300	53							
7							中位					6.45 7.15	6	12	10	28 300	28							
8	1.07	8.50	8.70		シルト混じり砂礫	暗灰～褐灰	非常に密な					7.45 8.15	30	17	9	56 300	56							
9							中位		細砂～中砂主体で、シルト少量混入。			8.45 9.15	6	7	8	21 300	21							
10									所々シルトやや多く、シルト質砂状呈す。			9.45 10.15	8	12	14	34 300	34							
11						褐灰			16m付近で礫やや多く、砂礫状を呈す。			10.45 11.15	12	16	18	46 300	46							
12							密な		含水やや少ない。			11.45 12.15	9	13	14	36 300	36							
13												12.45 13.15	4	7	13	24 300	24							7/3
14							中位					13.45 14.15	6	7	13	26 300	26							
15							密な					14.45 15.15 15.45	12	18	18	48 300	48							
16												16.05	23	20	12	55 300	55							
17												16.35 17.15	16	17	20	53 300	53							
18												17.45 18.15	12	19	27	58 300	58							
19	-9.93	11.00	19.70		シルト混じり砂	暗灰	非常に密な					18.45 19.15	13	19	24	56 300	56							
20									φ2～20mm程度の亜円礫主体で、礫間を細砂・少量のシルトが充填。			19.45 20.05	60 90			60 90	200							
21							非常に密な		含水中位。			20.14 21.05	31	29 80		60 180	100							
22	-12.03 -12.44	2.10 0.41	21.80 22.21		シルト混じり砂礫 礫混じり砂	暗灰 暗灰	非常に密な		中砂主体で、φ2～5mm程度の礫少量混入。含水中位。			21.23 22.05 22.21	28	32 60		60 160	112.5							7/4
23																									
24																									
25																									
26																									

株式会社　東建ジオテック

土質ボーリング柱状図(標準貫入試験)

調査名　豊橋市多目的屋内施設基本計画策定及び要求水準書等作成委託業務地質調査

事業名または工事名　豊橋市多目的屋内施設基本計画策定及び要求水準書等作成委託業務

調査目的及び調査対象　建築 構造物基礎

ボーリング名	No.3	調査位置	愛知県豊橋市今橋町地内　豊橋公園					北緯	34°46'07.8732"
発注機関	豊橋市役所　多目的屋内施設整備推進室			調査期間	2023年7月5日～2023年7月6日			東経	137°23'51.5460"
調査業者名	株式会社　東建ジオテック TEL　052-824-1531	照査技術者	奥　一歩 地質調査技士 登録番号 21266	担当技術者	長谷川　亮典 地質調査技士 登録番号 23684	コア鑑定者	長谷川　亮典 地質調査技士 登録番号 23684	ボーリング責任者	松山　幸司 地質調査技士 登録番号 16776
孔口標高	H= 9.47 m	角度	180° 上 90° 0° 下 0°	方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0°	使用機種	試錐機　東邦D-OD
総削孔長	22.45 m							エンジン	ヤンマーNFD-9　ポンプ　東邦BG-4

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	現場土質名(模様)	現場土質名	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層・岩体区分	孔内水位m 測定月日	標準貫入試験 深度 m	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	N値	深度-N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 m	試験名及び結果	試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
	9.17	0.30	0.30		砕石	灰			上部0.3m砕石。																
	8.67	0.50	0.80		盛土(礫混じりシルト質砂)	暗灰			0.30～0.80m、砂主体で、シルト・礫・腐植物を不均一に混在。																
1									φ2～30mm程度の亜円～亜角礫主体で、礫間を細砂・少量のシルトが充填。			1.15	9	6	10	25/300	25							
2												1.45 2.15	10	8	10	28/300	28							
3							中位		最大礫径φ50mm程度。 所々シルトが少なくなる。			2.45 3.15	6	7	7	20/300	20							
4									含水は概ね少なく、4m付近でやや多い。			3.45 4.15	12	13	15	40/300	40							
5											7/5 5.40 ▽	4.45 5.15	5	12	15	32/300	32							
6							密な				無水掘	5.45 6.15	17	17	10	44/300	44							
7					シルト混じり砂礫	暗灰～褐灰	中位					6.45 7.15	5	6	7	18/300	18							
	1.87	6.80	7.60									7.45 8.15	5	6	8	19/300	19							
8									細砂～中砂主体で、シルト少量混入。			8.45 9.15	7	8	8	23/300	23							
9							中位		所々シルトやや多く、シルト質砂状呈す。			9.45 10.15	9	11	13	33/300	33							
10									10m付近でφ50mm程度の礫混入。			10.45 11.15	7	12	11	30/300	30							
11						褐灰			含水概ねやや少なく、16m以深で中位。			11.45 12.15	9	11	16	36/300	36							
12												12.45 13.15	11	13	16	40/300	40							
13												13.45 14.15	10	15	18	43/300	43							
14												14.45 15.15	10	14	16	40/300	40							
15												15.45 16.15	9	10	16	35/300	35							
16												16.45 17.15	13	14	20	47/300	47							
17							密な					17.45 18.15	15	20	22	57/300	57							
18	-9.43	11.30	18.90		シルト混じり砂	暗灰	非常に密な					18.45 19.05	25	26	9 20	60 220	81.8							7/5
19									φ2～20mm程度の亜円礫主体で、礫間を細砂・少量のシルトが充填。			19.27 20.05	26	34 90		60 190	94.7							
20	-11.33	1.90	20.80		シルト混じり砂礫	暗灰	非常に密な		含水やや多い。			20.24 21.05	20	26	14 30	60 230	78.3							
21									中砂主体で、シルト少量混入。 22m付近で礫混じりシルト層を薄く挟む。			21.28 22.15	23	11	16	50/300	50							
22	-12.98	1.65	22.45		シルト混じり砂	暗灰	非常に密な					22.45													
23																									
24																									
25																									
26																									

別紙８－１　土地の履歴調査について

豊橋公園における土地の履歴調査として、以下の資料を参考として添付する。当該資料の内容については、事業者の責任において解釈し利用すること。

１　関連する文献

・吉田城址（ＸＶ）　豊橋町及び下地近傍図（明治 26 年発行）
・豊橋百科事典
・市内埋蔵文化財発掘調査Ⅲ　平成 24･25 年度（豊橋球場バックスクリーン改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査）

２　航空写真

・1959 年（昭和 34 年）、1965 年（昭和 40 年）、1977 年（昭和 52 年）、1988 年（昭和 63 年）、2000 年（平成 12 年）、2008 年（平成 20 年）、2020 年（令和２年）出典：国土地理院

３　登記簿

・豊橋公園（計画敷地）
　豊橋市今橋町３－１、９－２、10－１、12－１、12－２、16
・閉鎖地（豊橋公園内）
　豊橋市今橋町４
・豊橋公園隣接地
　豊橋市今橋町３－３、10－２、14

４　公図

・豊橋市今橋町３－１、３－３、４、９－２、10－１、10－２、12－１、12－2、14、16
・豊橋公園複合公図（参考図）

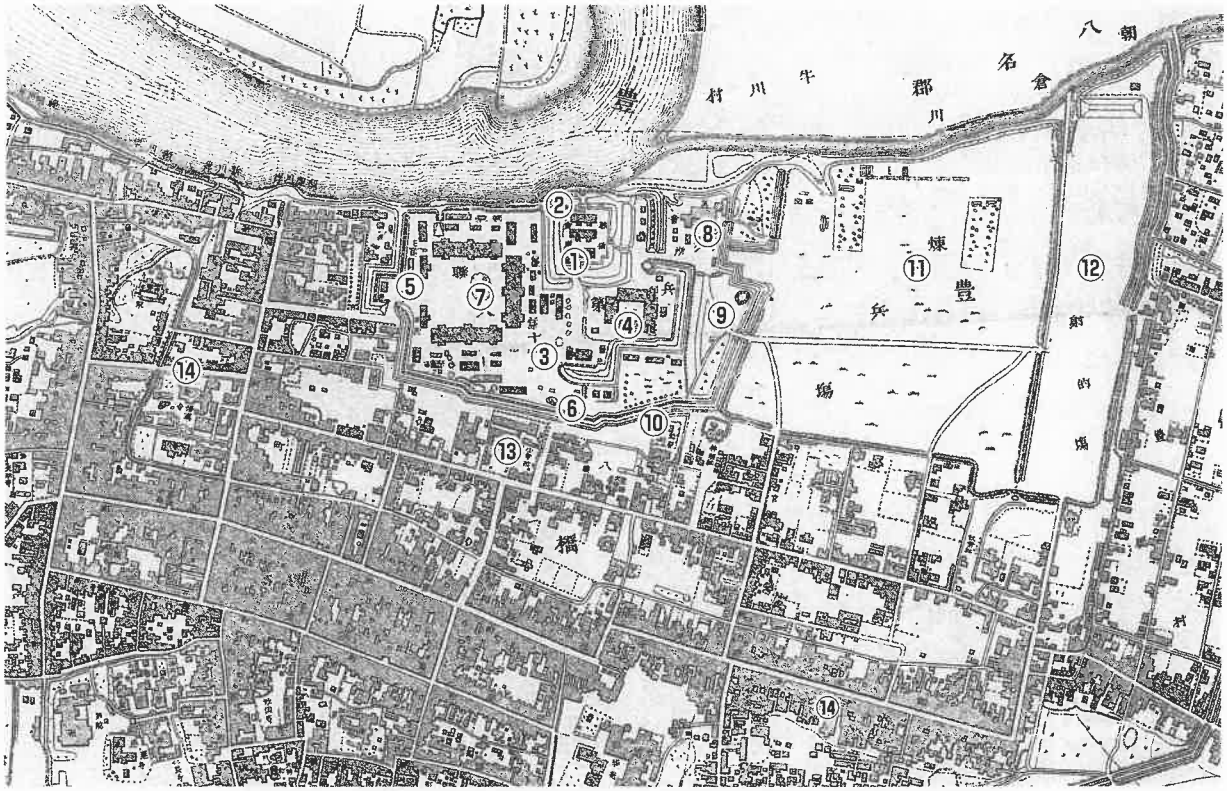
別紙８－２　土地の履歴調査（関連する文献）

豊橋市埋蔵文化財調査報告書第145集

吉田城址（XV）

2017年3月

豊橋市教育委員会



第36図　豊橋町及び下地近傍図（明治26年発行、抜粋・加筆）

表５　歩兵第十八聯隊による遺構の改変と再利用の状況（丸囲み数字は図36に対応）

◆本丸

① 江戸初期に本丸御殿が設けられたところ。石垣に囲まれた中央に３棟の倉庫（被服庫）を設置した。

② 豊川に沿った腰曲輪は、川手櫓台を削平して平坦にし、後に弾薬填替所を建設した。

◆二の丸

③ 西側の土塁（おおむね二の丸口から北）は削平され、堀は埋められた。

④ 東側の残された土塁と堀に囲まれた二の丸御殿の跡地には、病院（後の豊橋衛戍病院）が設けられた。

◆三の丸

⑤ 当初は城の旧天王口を営門（中央門）とし、その東側に聯隊本部を置いた。

⑥ 明治31年以降は旧三ノ丸口に営門を移設し、聯隊本部（聯大隊本部）も門のすぐ北側に建設した。

⑦ 二の丸の土塁を削平し、堀を埋めて設けた広大な敷地に、兵舎とそれに付随する施設（洗面洗濯所、厨房、厠、浴室、物干など）を設けた。

⑧ 三の丸の北東隅に（士官）集会所を設置した。

⑨ 三の丸の東端、旧川毛門付近に広い余剰地を設け、片隅には廃棄物処理を目的にした大型土坑が掘られた。その後この付近は士官集会所とともに兵の福利厚生スペースと見なされ、大型土坑が埋め戻された後、明治40年までには酒保（または下士集会所）や付随する庭園などが設けられた。

⑩ 十八聯隊の敷地の内外を区別するため、三の丸の土塁と堀はそのまま残された。

◆藩士屋敷地

⑪ 三の丸の東側、かつての藩士屋敷地を造成して広大な練兵場にし、さまざまな軍事教練が行われた。練兵場内の朝倉川に面した北側には３つの森林があり、西の森は秋葉社、中は神明社、東は八幡社の境内の名残である。

⑫ 明治19年、練兵場の東側の一角に、300ｍの近距離射撃場がつくられた。吉田城の外堀は東側が２重になっており、この土塁と堀に挟まれた部分を射撃場として利用したもの。

⑬ 練兵場以外は、かつての藩士屋敷地の区画がそのまま残された。三の丸口南の、家老たちが屋敷を構えた広い敷地には小学校が設けられ、明治40年には渥美郡役所や高等小学校、高等女学校などが設けられた公共用地になった。

⑭ 外堀の土塁は練兵場を除いてほぼ削平されたが、堀は幅を狭めながらも残されており、明治26年の時点では南側中央と南東隅の一部が埋め立てられただけだった。また明治40年の時点でも大きくは変わっていない。

豊橋百科事典

2006

豊　橋　市

コロジー工学課程を設置した。平成8(1996)年4月，エネルギー工学課程を機械システム工学課程と改称した。

豊橋技術科学大学は，33万5606㎡のキャンパスに附属図書館のほかに技術開発センター・分析計測センター・計算機センター(情報処理センターと改称)・マルチメディアセンター・工作センターなどのほか，語学センター・体育保健センターがあり，学生宿舎，留学生宿舎として国際交流会館が設置されている。平成16(2004)年4月1日，国立大学法人豊橋技術科学大学が発足した。

㊐ 豊橋技術科学大学開学10周年記念事業委員会年史編集部会「豊橋技術科学大学十年史」



豊橋技術科学大学(豊橋市天伯町)

豊橋キャピトル劇場→豊橋国際劇場

豊橋球場(豊橋市今橋町)　とよはしきゅうじょう　豊橋球場は，旧歩兵18聯隊練兵場跡に造成中の豊橋公園内に，昭和23(1948)年8月，完成して開場した。戦災復興事業の施設第1号で，工事費は840万円であった。焼野原となった市街地には膨大な瓦礫(がれき)がまだ堆積していた。豊橋市では瓦礫処分地として旧吉田城の空壕と，野球場のスタンド盛土に搬入した。

昭和25(1950)年10月，第5回国民体育大会愛知大会で，軟式野球競技は豊橋球場を主会場として開催した。開場時は，高校野球の試合が多かった。一般軟式野球や少年野球の広がり，ソフトボールの普及で，休日はほとんど大会が開催されている。また，1日中，早朝野球からナイターまで使用されている。昭和30(1955)年までは，プロ野球公式戦もしばしば行われた。敷地は2万7768㎡(内競技場1万2952㎡)で，両翼100m・中央116m，観覧席は内野3000・外野1万2000の計1万5000を収容できる。ナイター照明4基(昭和48年8月設置)がある。平成15(2003)年度の利用人員は，4万1400。周囲には，陸上競技場，テニスコート，市民プール，武道館，弓道場がある。

豊橋魚鳥→魚市場

豊橋銀行　とよはしぎんこう　豊橋銀行は，明治25(1892)年9月豊橋魚町に設立された。明治18(1885)年東本願寺系の豊橋真利宝会が豊橋本町に資本金5万円で開業したものが発展的に解散して豊橋銀行となったものである。初代頭取は杉田権次郎であった。豊橋銀行は，明治29(1896)年に設立された豊川鉄道を応援したため，豊川鉄道振り出しの約束手形の支払いができず，同34(01)年支払い停止に陥り，同36(03)年倒産した。

「豊橋近代芸能史」(芳賀信男)　とよはしきんだいげいのうし　「新聞広告から見た　豊橋近代芸能史」(芳賀信男　平成18年)は，豊橋で最初の芝居小屋・朝倉座から，明治・大正・昭和(第2次世界大戦前)の劇場・映画館で上演・上映された外題・演目や出演者などを「参陽新報」「新朝報」の広告・記事から抜き出したものである。明治初年の朝倉座・弥生座・東雲座・豊橋座などの開設から大正期の映画館への転換，昭和20(1945)年6月の空襲によって灰燼(かいじん)に帰したことまでが記されている。広告のコピーがふんだんに収録されており，芸能史とともに世相や風潮もうかがえる。

「豊橋空襲体験記」(豊橋空襲を語りつぐ会

豊橋市埋蔵文化財調査報告書第139集

市内埋蔵文化財発掘調査III

—平成24・25年度—

■林遺跡第1次発掘調査

■吉田城址第42次発掘調査

■吉田城址第45次発掘調査

2016年3月

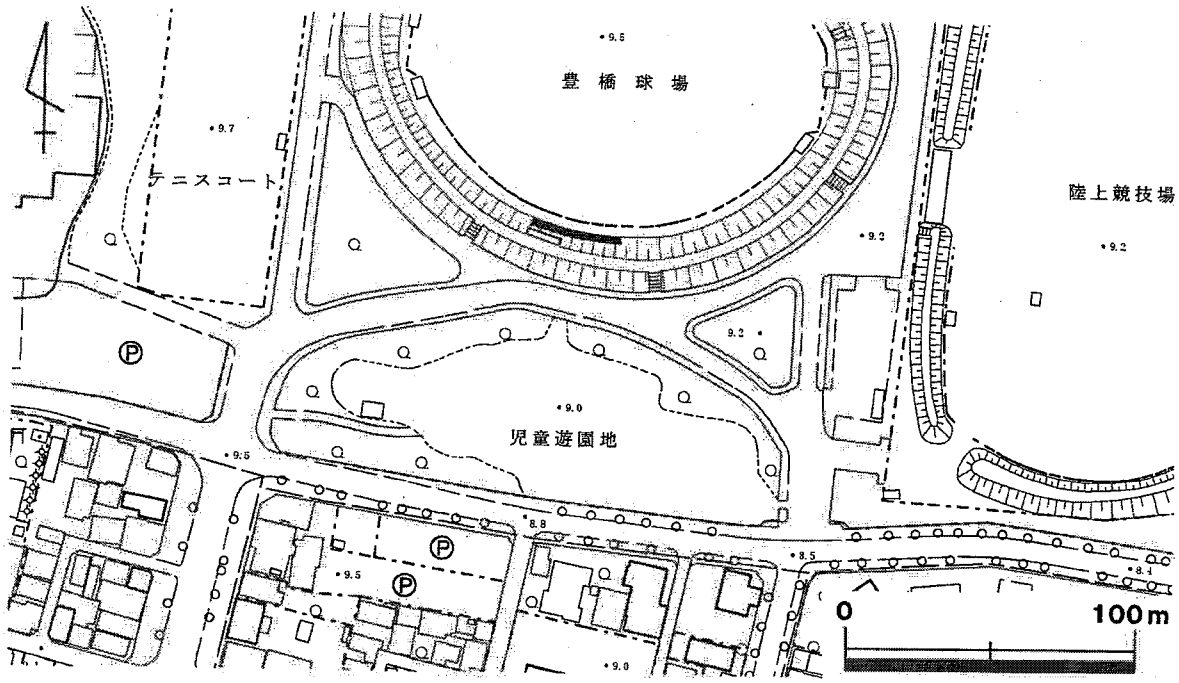
豊橋市教育委員会

第２章　調査にいたる経過と調査の方法

１．調査にいたる経過（第５図）

吉田城址は、豊橋市街地にある都市公園「豊橋公園」や豊橋市役所、市立豊城中学校など公共施設の用地に三の丸以内の主要部分が存在するほか、豊橋球場や豊橋市陸上競技場および住宅地等は武家屋敷地に該当する。今までに公共施設の建設や住宅の新築・改築に際して、地下の遺構に明らかに影響を与えるものについては事前の発掘調査による記録保存を行ってきた。豊橋市役所の庁舎や地下駐車所の建設、豊城中学校の校舎建設、豊橋警察署、東三河県庁、東三河土木事務所など各種公共施設の建設に際して、豊橋市教育委員会や愛知県埋蔵文化財センターによって、比較的規模の大きな発掘調査が行われている。また、公園内はさまざまな用途による小規模な施設の建設も行われており、トイレの新設・建て替えや防災用貯水槽、防災用アンテナの設置などに際しても発掘調査を実施している。

第42次調査は、市教育委員会スポーツ課より豊橋球場の改修工事に関する相談を受けたことに端を発する。改修工事は本部席、便所、バックスクリーン等の建て替えを行うもので、年度途中に補正による予算化がはかられたものである。本部席や便所については基礎の掘削深度が浅いこと、既存の施設の範囲内であることから地下の遺構に与える影響は少ないと判断したが、バックスクリーンは既存のものよりも規模が大きく、さらに基礎が深いものであった。そこで範囲が拡張する部分を対象に記録保存を目的とする発掘調査を行うこととなった。



第5図　調査区位置図（1／2,500）

第３章　調査の成果

１．遺　構

調査区は幅2.1～2.8m、長さ39.5mに渡る細長い形状である。野球場や終戦後に搬入された焼土を含む瓦礫、軍隊関連の造成土に厚く覆われていたが、遺構の残存状態は良好である。また、調査区の北壁において、厚さ５cm程度の砂利層（第７図の７層）が一面に見られたが、これは近世の道路遺構（川毛通）に伴う舗装面と判明している。

遺構として、平安時代後期の井戸、戦国時代の井戸、近世の道路遺構に伴う塀跡、近世の土坑や柱穴などが確認された。このうち特徴的なもの、あるいはおもな遺物が出土したものをとりあげて説明する。

Ａ．建物（第６・８図）

ＳＢ－１

竪穴建物である。調査区の中央付近で検出され、北側は近世の塀跡と土坑に切られ、南側は調査区外である。平面形は不明瞭だが方形あるいは隅丸方形を呈すると思われ、主軸方位はおおよそ南北軸である。規模は東西約4.6m、深さは検出面から0.3mを測る。埋土は黒褐色及び茶褐色砂質土ほかである。断面は箱形で、北から東側の一部に壁溝がわずかに遺存している。主柱穴は検出されていない。

出土遺物は須恵器の有台坏、無台坏、有台盤、鉄鉢、壺、皿、甕、土師器の壺など（第11図１～15）比較的豊富に出土しており、遺構の時期は奈良時代の８世紀である。

ＳＢ－２

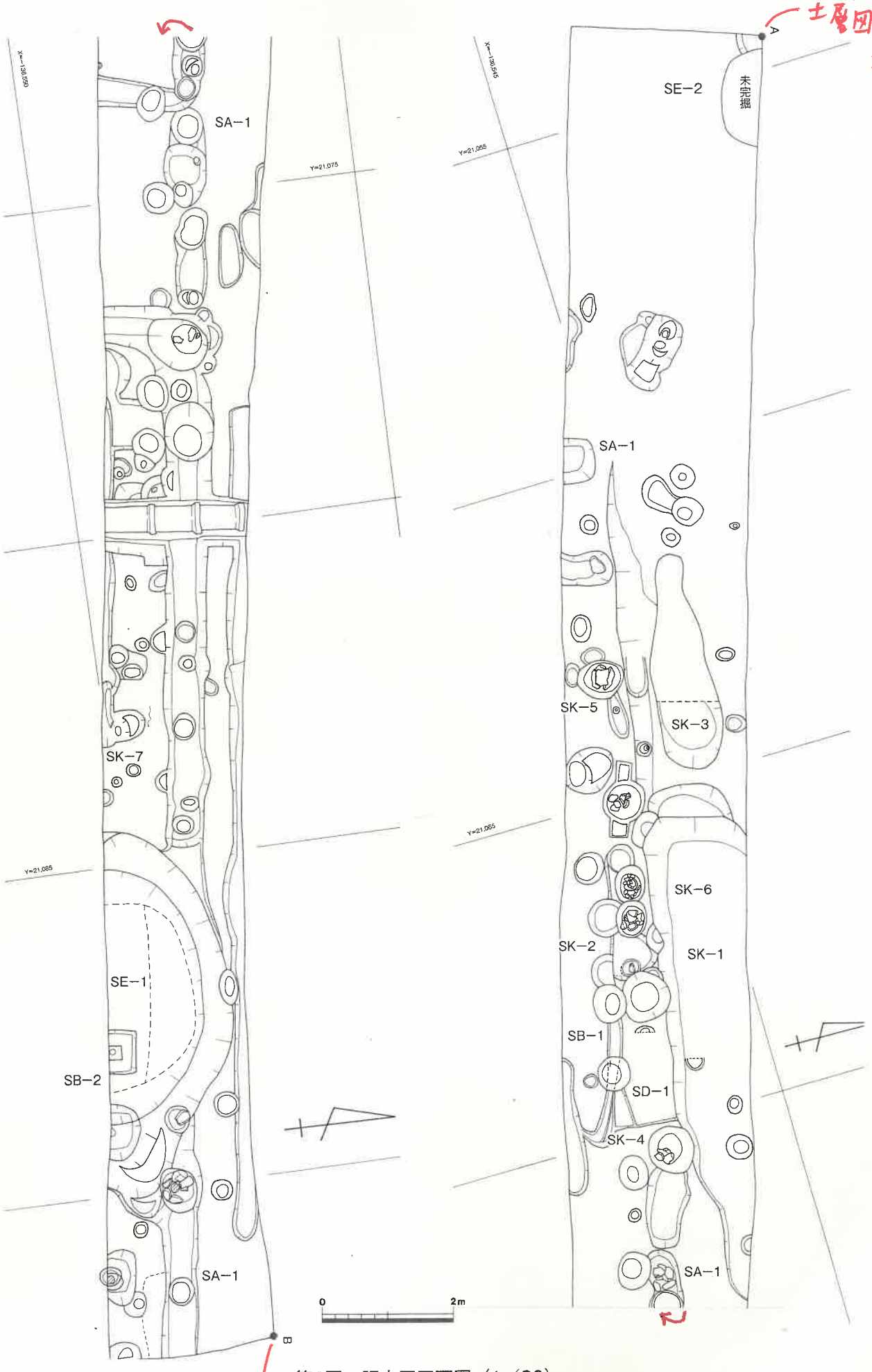
掘立柱建物で、調査区の東端付近で検出された。南壁に半分ほどがかかっており、古代の大型井戸ＳＥ－１の埋土を掘り込んでいる。建物の北辺のみが検出され、南側だけでなく、東側にもさらに柱穴が続く可能性がある。柱穴はいずれも平面形が方形を呈し、柱穴の規模は0.65～0.8mほど、深さは南壁で観察される断面から0.4～0.45mほどである。柱穴はすべて柱痕跡が明瞭である。

出土遺物には古代の須恵器や灰釉陶器、山茶碗などがあるが、すべて大型井戸ＳＥ－１からの混入品であろう。柱穴の形状や柱痕跡の状況から、遺構の時期は近世と考えられる。武家屋敷地を構成した建物の一部であろう。

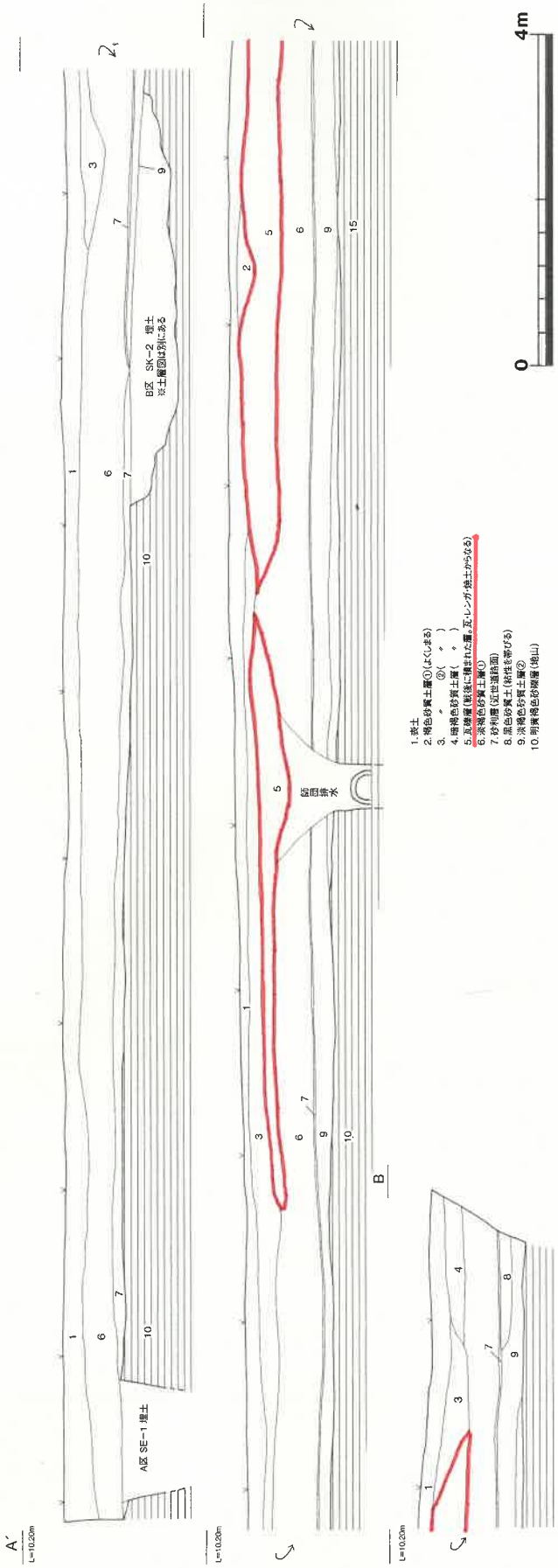
Ｂ．塀（第６・９図）

ＳＡ－１

調査区を東から西へ縦断する遺構で、調査区東壁の中央から始まり、南壁よりもさらに先に続いている。ほぼ直線上に伸びているが、調査区の形状が緩く彎曲するためこのような状況となる。溝状の遺構の中に柱穴が並ぶのを基本とするが、溝状の部分が途切れるところも見受けられる。また柱穴は間隔が不均等で、柱の根石や根固め石があるもの、ないものなど多様で、南側には並行して柱穴列が見られる



第6図　調査区平面図（1／80）



第7図　調査区北壁土層図（1／80）

ことから、この塀は複数回の建て替えが行われているものと思われる。規模は検出された長さが35m以上で、調査区の東寄りに見られる溝の幅は0.6～0.7mほどである。出土遺物のうち、図化できるものは塀の一部として示したＳＤ－１、ＳＫ－２・４・５・６で紹介している。古代から中世の遺物を含んでいるが、その構造や道路遺構に面していることから、遺構の時期は近世と考えられる。

C．溝（第６・９図）

ＳＤ－１

ＳＢ－１の北側で検出された。近世の塀ＳＡ－１の一部と思われるが、古代の遺物を含んでおり、ＳＢ－１を壊した際に混入した可能性がある。埋土は淡灰褐色砂質土である。出土遺物には須恵器の高盤（第14図92）がある。

D．土坑（第６・９図）

ＳＫ－１

ＳＢ－１の北側で検出された土坑で、道路遺構の下に存在したものである。北側は調査区外となる。規模は長さ6.4m以上、幅は最大2.4m、深さは最も深いところで検出面から0.75mである。断面は箱形を呈し、底は西に向かって深くなる。埋土は褐色系の砂質土である。

出土遺物は瀬戸・美濃窯産陶器の折縁皿（第14図93）、土師器の半球形鍋（同94）があり、遺構の時期は近世である。この上に川毛通が設けられていることから、道路は近世のある段階で造り替えられたようである。

ＳＫ－２

ＳＤ－１の内部に設けられた柱穴で、塀を構成する一部と考える。塀の建て替えにより



１．ＳＥ－１土層（北から）



２．ＳＥ－１遺物出土状況（上から）

■別紙 8-3 土地履歴調査（航空写真）



1959（昭和 34 年）



1965（昭和 40）



1977（昭和 52）



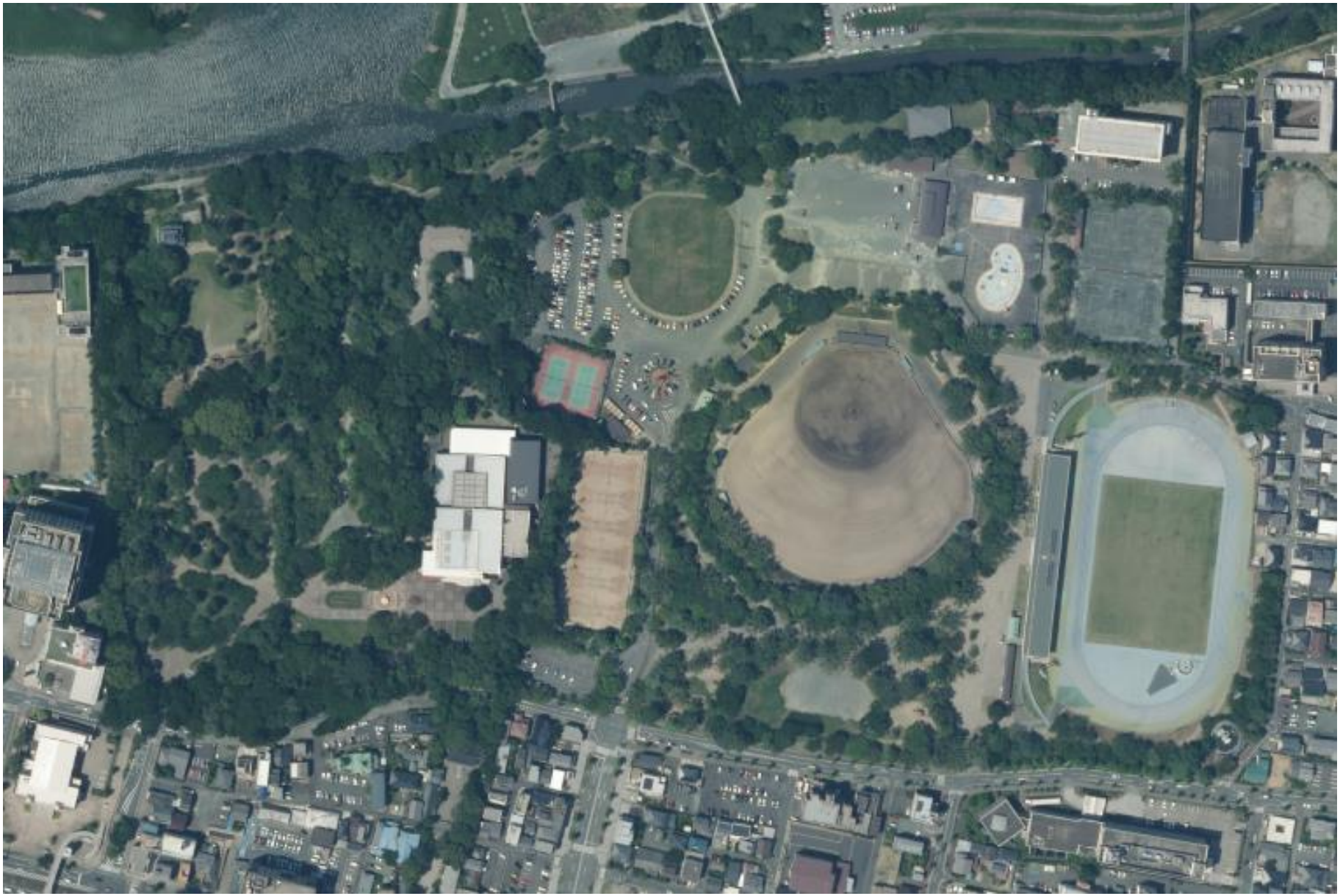
1988（昭和 63）



2000（平成 12）



2008（平成 20）



2020（令和 2）

出典：国土地理院撮影の空中写真

別紙８－４　土地の履歴調査（登記簿）

公用　愛知県豊橋市今橋町１２－１　　全部事項証明書　（土地）

表　題　部　（土地の表示）		調製	平成５年１１月２４日	不動産番号	１８０４０００７２４８８
地図番号	余　白	筆界特定	余　白		
所　在	豊橋市今橋町			余　白	

①　地　番	②地　目	③　地　積　㎡		原因及びその日付〔登記の日付〕
１２番	宅地	４７８６	１８	余　白
１２番１	余　白	４１３６	７６	①③１２番１ないし１２番３に分筆 〔昭和４８年９月１４日〕
余　白	余　白	４１９	６５	③１２番１、１２番４に分筆 〔昭和５２年７月７日〕
余　白	余　白	余　白		昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成５年１１月２４日

権　利　部　（甲区）　（所有権に関する事項）			
順位番号	登　記　の　目　的	受付年月日・受付番号	権　利　者　そ　の　他　の　事　項
１	所有権保存	昭和３９年１２月２３日 第２６３０６号	所有者　大　蔵　省 順位１番の登記を移記
	余　白	余　白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成５年１１月２４日

これは登記記録に記録されている事項の全部を証明した書面である。ただし、登記記録の乙区に記録されている事項はない。

令和５年７月７日
名古屋法務局豊橋支局　　登記官　　山　本　聡　顕

＊　下線のあるものは抹消事項であることを示す。　　整理番号　Ｄ４８８５０　（　６／１０）　　

公用 愛知県豊橋市今橋町１２－２　　全部事項証明書　　（土地）

表　題　部　（土地の表示）	調製	平成５年１１月２４日	不動産番号	１８０４０００７２４８９
地図番号	余　白	筆界特定	余　白	
所　在	豊橋市今橋町		余　白	

①　地　番	②地　目	③　地　積　㎡	原因及びその日付〔登記の日付〕
１２番２	宅地	１２０　７０	１２番から分筆 〔昭和４８年９月１４日〕
余　白	余　白	余　白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成５年１１月２４日

権　利　部　（甲区）　（所　有　権　に　関　す　る　事　項）			
順位番号	登　記　の　目　的	受付年月日・受付番号	権　利　者　そ　の　他　の　事　項
1	所有権保存	昭和３９年１２月２３日 第２６３０６号	所有者　大　蔵　省 順位１番の登記を移記
	余　白	余　白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成５年１１月２４日

これは登記記録に記録されている事項の全部を証明した書面である。ただし、登記記録の乙区に記録されている事項はない。

令和５年７月７日
名古屋法務局豊橋支局　　登記官　　山　本　聡　顕

＊　下線のあるものは抹消事項であることを示す。　　整理番号　Ｄ４８８５０　（　７／１０）　　

公用 愛知県豊橋市今橋町１４　　全部事項証明書　　（土地）

表題部　（土地の表示）	調製	平成５年１１月２４日	不動産番号	１８０４０００７２４９４
地図番号	余白	筆界特定	余白	
所在	豊橋市今橋町		余白	

①地番	②地目	③地積　㎡	原因及びその日付〔登記の日付〕
１４番	堤	３７４８	余白
余白	余白	余白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成５年１１月２４日

権利部（甲区）　（所有権に関する事項）			
順位番号	登記の目的	受付年月日・受付番号	権利者その他の事項
1	所有権移転	昭和４１年１２月９日 第２８５２４号	原因　昭和４１年１月３１日所管換 所有者　建設省 順位２番の登記を移記
	余白	余白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成５年１１月２４日

これは登記記録に記録されている事項の全部を証明した書面である。ただし、登記記録の乙区に記録されている事項はない。

令和５年７月７日
名古屋法務局豊橋支局　　登記官　　山本聡顕

＊　下線のあるものは抹消事項であることを示す。　　整理番号　Ｄ４８８５０　（８／１０）　　

公用 愛知県豊橋市今橋町１６　　全部事項証明書　　（土地）

表題部　（土地の表示）	調製	平成５年１１月２４日	不動産番号	１８０４０００７２４９７
地図番号	余白	筆界特定	余白	
所在	豊橋市今橋町		余白	

①地番	②地目	③地積　㎡	原因及びその日付〔登記の日付〕
１６番	宅地	２１３５　８０	余白
余白	余白	余白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成５年１１月２４日

権利部（甲区）　（所有権に関する事項）			
順位番号	登記の目的	受付年月日・受付番号	権利者その他の事項
1	所有権保存	昭和３９年１２月２３日 第２６３０６号	所有者　大蔵省 順位１番の登記を移記
	余白	余白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成５年１１月２４日

これは登記記録に記録されている事項の全部を証明した書面である。ただし、登記記録の乙区に記録されている事項はない。

令和５年７月７日
名古屋法務局豊橋支局　　登記官　　山本聡顕

＊　下線のあるものは抹消事項であることを示す。　　整理番号　Ｄ４８８５０　（　９／１０）　　

公用 愛知県豊橋市今橋町３－１　　全部事項証明書　　（土地）

表　題　部　（土地の表示）	調製	平成５年１１月２４日	不動産番号	１８０４０００７２４６４
地図番号	余　白	筆界特定	余　白	
所　在	豊橋市今橋町		余　白	

①　地　番	②地　目	③　地　積　㎡		原因及びその日付〔登記の日付〕
３番１	宅地	２１１６６８	８２	余　白
余　白	余　白	２１１３８２	９５	③３番１、３番３に分筆 〔昭和５０年５月９日〕
余　白	余　白	余　白		昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成５年１１月２４日

権　利　部　（甲区）　（所有権に関する事項）			
順位番号	登　記　の　目　的	受付年月日・受付番号	権　利　者　そ　の　他　の　事　項
１	所有権保存	昭和３９年１２月２３日 第２６３０６号	所有者　大　蔵　省 順位１番の登記を移記
	余　白	余　白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成５年１１月２４日

これは登記記録に記録されている事項の全部を証明した書面である。ただし、登記記録の乙区に記録されている事項はない。

令和５年７月７日
名古屋法務局豊橋支局　　登記官　　山　本　聡　顕

＊　下線のあるものは抹消事項であることを示す。　　整理番号　Ｄ４８８５０　（　１／１０）　　

公用 愛知県豊橋市今橋町３－３　　全部事項証明書　　（土地）

表題部　（土地の表示）	調製	平成５年１１月２４日	不動産番号	１８０４０００７２４６６
地図番号	余白	筆界特定	余白	
所在	豊橋市今橋町		余白	

①地番	②地目	③地積　㎡	原因及びその日付〔登記の日付〕
３番３	宅地	２８５　８６	３番１から分筆 〔昭和５０年５月９日〕
余白	余白	余白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成５年１１月２４日

権利部（甲区）　（所有権に関する事項）			
順位番号	登記の目的	受付年月日・受付番号	権利者その他の事項
１	所有権移転	昭和５０年５月２２日 第１５０７０号	原因　昭和４９年１２月２６日譲与 所有者　豊橋市 順位２番の登記を移記
	余白	余白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成５年１１月２４日

これは登記記録に記録されている事項の全部を証明した書面である。ただし、登記記録の乙区に記録されている事項はない。

令和５年７月７日
名古屋法務局豊橋支局　　登記官　　山本聡顕

＊　下線のあるものは抹消事項であることを示す。　　整理番号　Ｄ４８８５０　（２／１０）　　

公用 愛知県豊橋市今橋町４　　閉鎖事項証明書　　（土地）

表　題　部　（土地の表示）	調製	平成５年１１月２４日	不動産番号	１８０４０００７２４６７
地図番号	余　白	筆界特定	余　白	
所　在	豊橋市今橋町		余　白	

①　地　番	②地　目	③　地　積　㎡	原因及びその日付〔登記の日付〕
４番	宅地	１８４４４２　８０	余　白
余　白	余　白	余　白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成５年１１月２４日
余　白	余　白	余　白	不存在 〔平成３０年１２月１１日 同日閉鎖〕

権　利　部　（甲区）　（所有権に関する事項）			
順位番号	登　記　の　目　的	受付年月日・受付番号	権　利　者　そ　の　他　の　事　項
１	所有権保存	明治３７年６月９日 第４３８７号	所有者　陸　軍　省 順位１番の登記を移記
	余　白	余　白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成５年１１月２４日

これは閉鎖された登記記録に記録されている事項の全部を証明した書面である。ただし、閉鎖された登記記録の乙区に記録されている事項はない。

令和５年７月７日
名古屋法務局豊橋支局　　登記官　　山　本　聡　顕

＊　下線のあるものは抹消事項であることを示す。　　整理番号　Ｄ４８８５０　（１０／１０）　　

公用 愛知県豊橋市今橋町９－２　　全部事項証明書　（土地）

表　題　部　（土地の表示）	調製	平成５年１１月２４日	不動産番号	１８０４０００７２４７３
地図番号	余　白	筆界特定	余　白	
所　在	豊橋市今橋町		余　白	

①　地　番	②地　目	③　地　積　㎡	原因及びその日付〔登記の日付〕
９番２	公衆用道路	２０５	９番から分筆 〔昭和４１年１２月５日〕
余　白	余　白	余　白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成５年１１月２４日

権　利　部　（甲区）　（所　有　権　に　関　す　る　事　項）			
順位番号	登　記　の　目　的	受付年月日・受付番号	権　利　者　そ　の　他　の　事　項
１	所有権保存	昭和３９年１２月２３日 第２６３０６号	所有者　大　蔵　省 順位１番の登記を移記
	余　白	余　白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成５年１１月２４日

これは登記記録に記録されている事項の全部を証明した書面である。ただし、登記記録の乙区に記録されている事項はない。

令和５年７月７日
名古屋法務局豊橋支局　　登記官　　山　本　聡　顕

＊　下線のあるものは抹消事項であることを示す。　　整理番号　Ｄ４８８５０　（　３／１０）　　

公用 愛知県豊橋市今橋町１０－１　　全部事項証明書　　（土地）

表　題　部　（土地の表示）	調製	平成５年１１月２４日	不動産番号	１８０４０００７２４７４
地図番号	余　白	筆界特定	余　白	
所　在	豊橋市今橋町		余　白	

①　地　番	②地　目	③　地　積　㎡		原因及びその日付〔登記の日付〕
１０番	宅地	２１２０	２３	余　白
１０番１	余　白	２０２３	９６	①③１０番１、１０番２に分筆 〔昭和５０年５月９日〕
余　白	余　白	余　白		昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成５年１１月２４日

権　利　部　（甲区）　（所有権に関する事項）			
順位番号	登　記　の　目　的	受付年月日・受付番号	権　利　者　そ　の　他　の　事　項
１	所有権保存	昭和３９年１２月２３日 第２６３０６号	所有者　大　蔵　省 順位１番の登記を移記
	余　白	余　白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成５年１１月２４日

これは登記記録に記録されている事項の全部を証明した書面である。ただし、登記記録の乙区に記録されている事項はない。

令和５年７月７日
名古屋法務局豊橋支局　　登記官　　山　本　聡　顕

＊　下線のあるものは抹消事項であることを示す。　　整理番号　Ｄ４８８５０　（　４／１０）　　

公用 愛知県豊橋市今橋町１０－２　　全部事項証明書　（土地）

表　題　部　（土地の表示）		調製	平成５年１１月２４日	不動産番号	１８０４０００７２４７５
地図番号	余　白	筆界特定	余　白		
所　在	豊橋市今橋町			余　白	

①　地　番	②地　目	③　地　積　㎡		原因及びその日付〔登記の日付〕
１０番２	宅地	９６	２６	１０番から分筆 〔昭和５０年５月９日〕
余　白	余　白	余　白		昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成５年１１月２４日

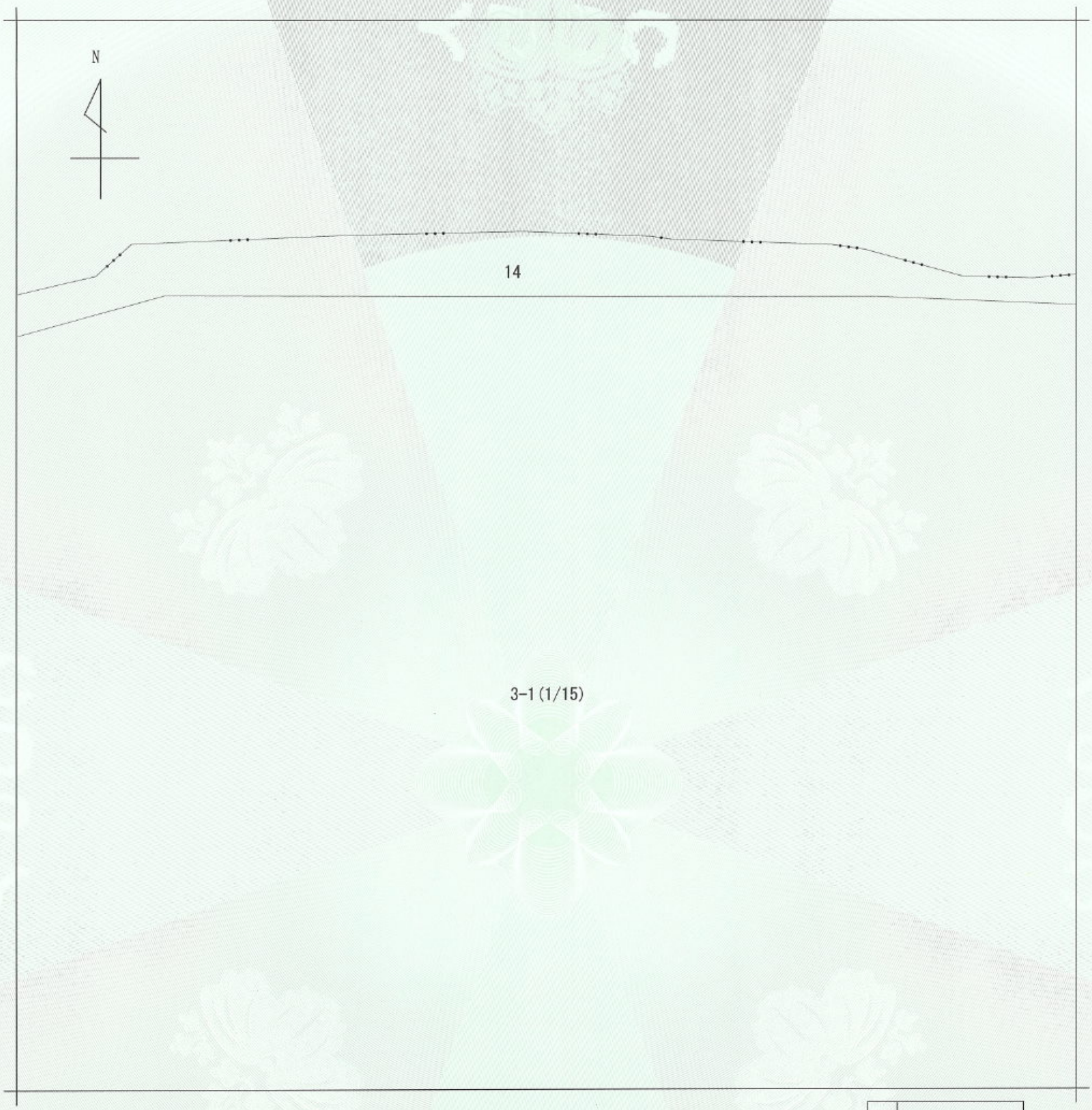
権　利　部　（甲区）　（所　有　権　に　関　す　る　事　項）			
順位番号	登　記　の　目　的	受付年月日・受付番号	権　利　者　そ　の　他　の　事　項
1	所有権移転	昭和５０年５月２２日 第１５０７０号	原因　昭和４９年１２月２６日譲与 所有者　豊　橋　市 順位２番の登記を移記
	余　白	余　白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成５年１１月２４日

これは登記記録に記録されている事項の全部を証明した書面である。ただし、登記記録の乙区に記録されている事項はない。

令和５年７月７日
名古屋法務局豊橋支局　　登記官　　山　本　聡　顕

＊　下線のあるものは抹消事項であることを示す。　　整理番号　Ｄ４８８５０　（　５／１０）　　

別紙８－５　土地の履歴調査（公図）



（注）地図に準ずる図面は，土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間，これに代わるものとして備え付けられている図面で，土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。

地番区域見出	今橋町

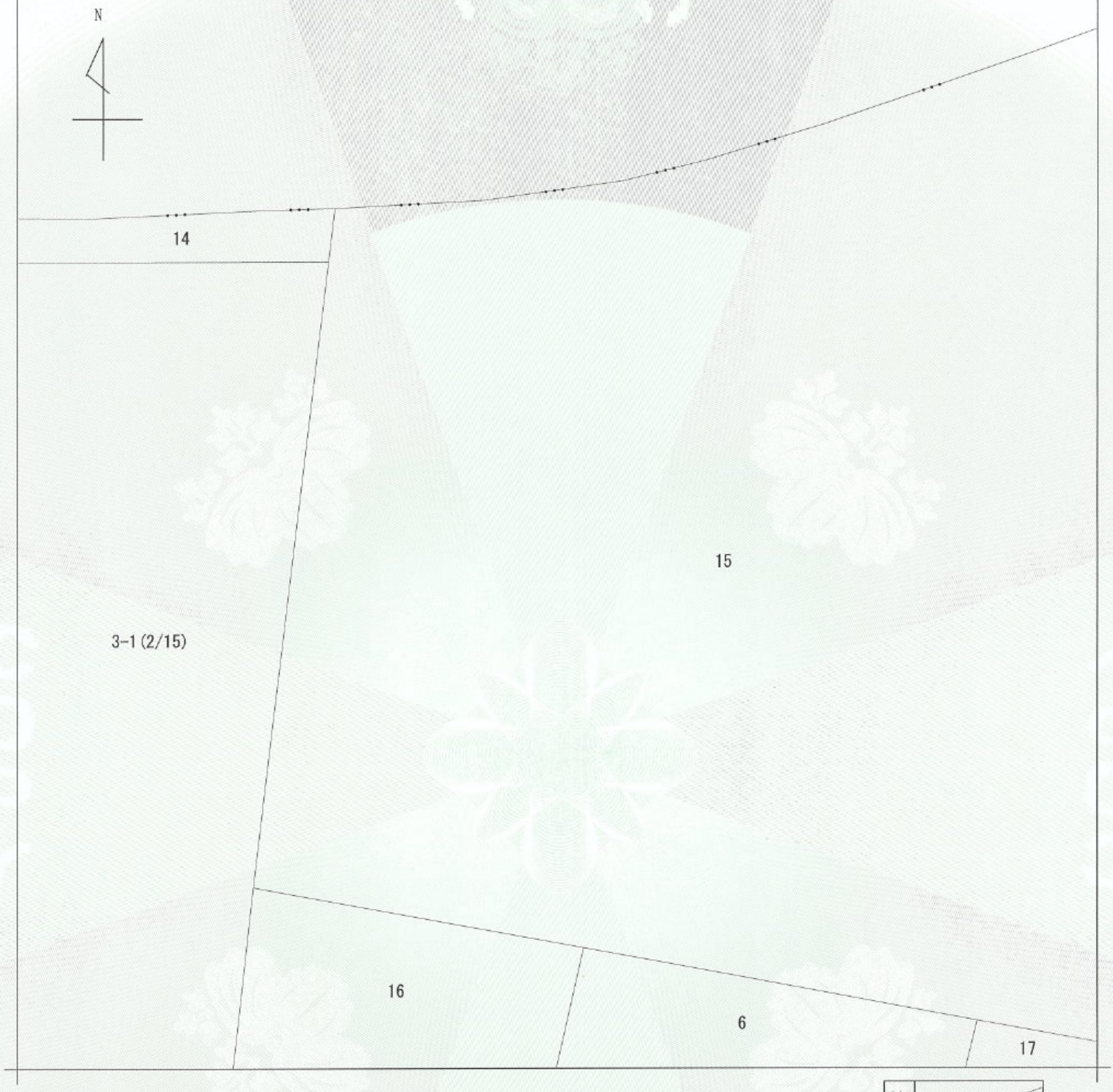
請求部分	所　在	豊橋市今橋町				地　番	3番1			
出力縮尺	1/600	精度区分		座標系番号又は記号		分類	地図に準ずる図面	種類	旧土地台帳附属地図	
作成年月日				備付年月日（原図）				補記事項		

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

令和5年7月7日
名古屋法務局豊橋支局
登記官　山本聡顕

請求番号：10-1
(3/15)

公用



（注）地図に準ずる図面は，土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間，これに代わるものとして備え付けられている図面で，土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。

地番区域見出	今橋町

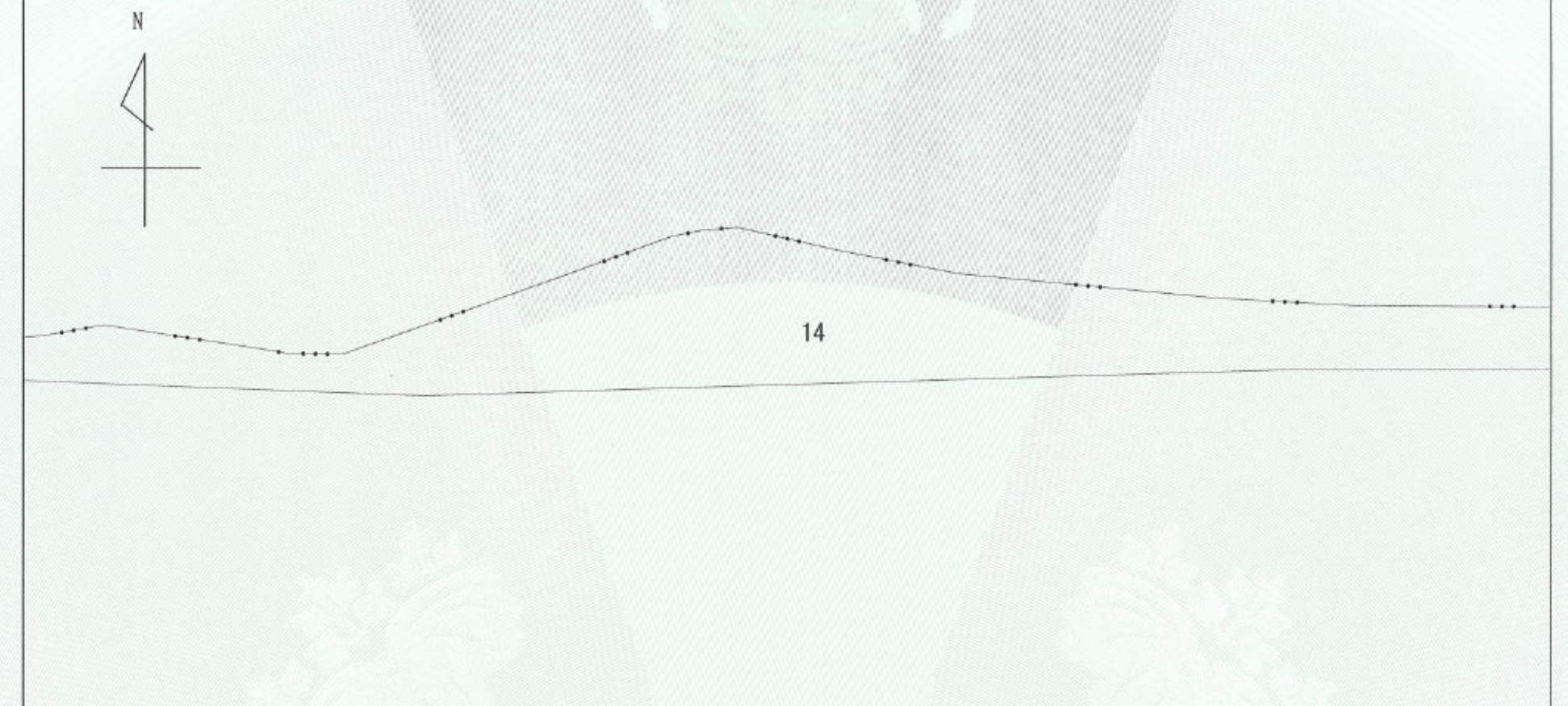
請求部分	所在	豊橋市今橋町				地番	3番1		
出力縮尺	1/600	精度区分		座標系番号又は記号		分類	地図に準ずる図面	種類	旧土地台帳附属地図
作成年月日				備付年月日（原図）				補記事項	

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

令和5年7月7日
名古屋法務局豊橋支局
登記官　山本聡顕

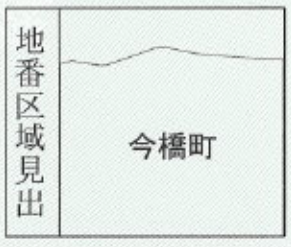
公用

請求番号：10-1
(5/15)



3-1(3/15)

（注）地図に準ずる図面は，土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間，これに代わるものとして備え付けられている図面で，土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。



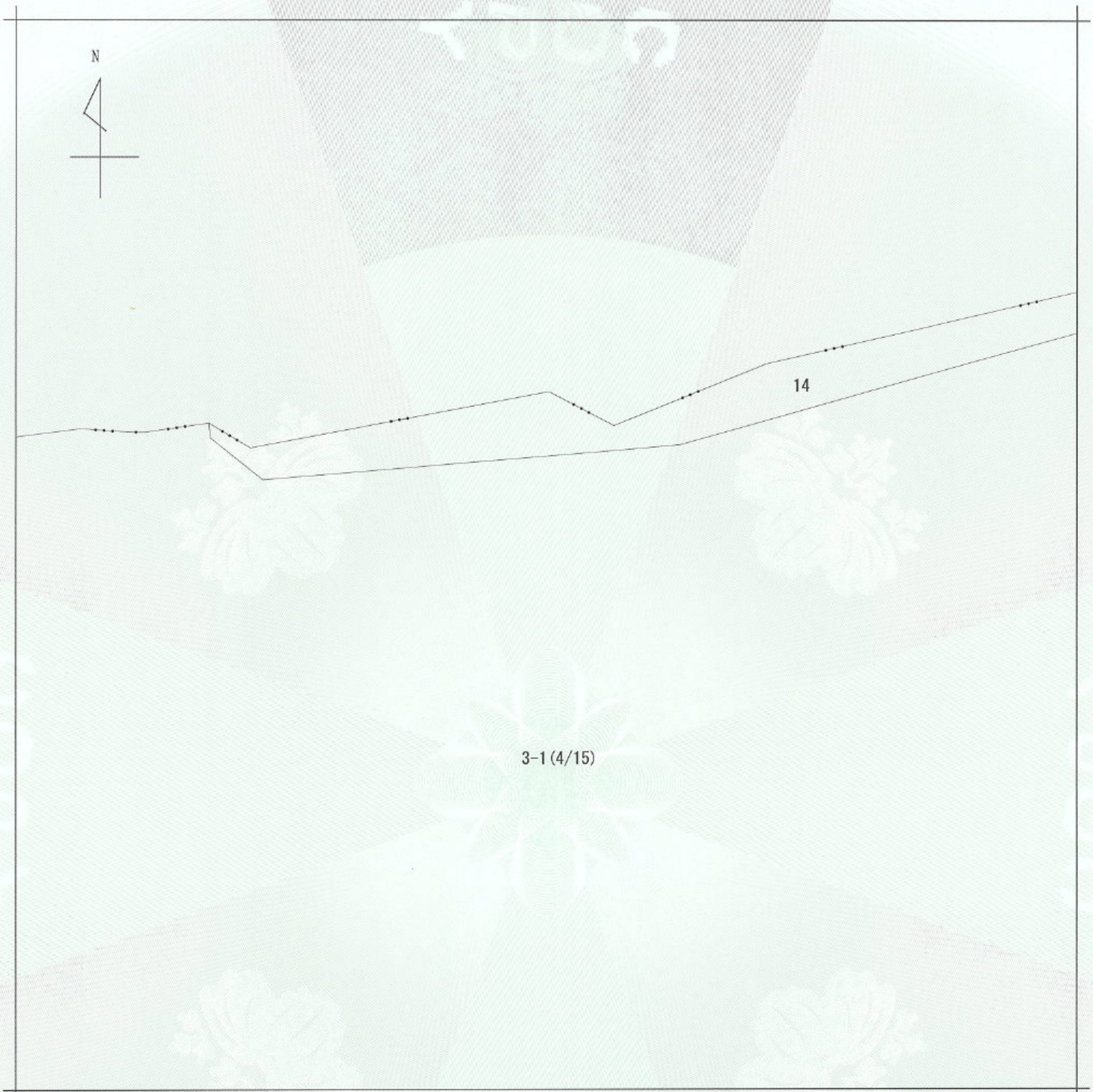
請求部分	所　在	豊橋市今橋町					地　番	3番1			
出力縮尺	1/600	精度区分		座標系番号又は記号		分類	地図に準ずる図面		種類	旧土地台帳附属地図	
作成年月日				備付年月日（原図）				補記事項			

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

令和5年7月7日
名古屋法務局豊橋支局
登記官　山本聡顕

公用

請求番号：10-1
(4/15)



（注）地図に準ずる図面は，土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間，これに代わるものとして備え付けられている図面で，土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。

地番区域見出	今橋町

請求部分	所　在	豊橋市今橋町				地　番	3番1			
出力縮尺	1/600	精度区分		座標系番号又は記号		分類	地図に準ずる図面	種類	旧土地台帳附属地図	
作成年月日				備付年月日（原図）				補記事項		

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

令和5年7月7日
名古屋法務局豊橋支局
登記官　山本聡顕

請求番号：10-1
(2/15)

公用



（注）地図に準ずる図面は，土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間，これに代わるものとして備え付けられている図面で，土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。

地番区域見出	今橋町

請求部分	所在	豊橋市今橋町			地番	3番1			
出力縮尺	1/600	精度区分		座標系番号又は記号		分類	地図に準ずる図面	種類	旧土地台帳附属地図
作成年月日				備付年月日（原図）			補記事項		

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

令和5年7月7日
名古屋法務局豊橋支局
登記官　山本聡顕

公用

請求番号：10-1
(1/15)



（注）地図に準ずる図面は，土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間，これに代わるものとして備え付けられている図面で，土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。

地番区域見出	今橋町

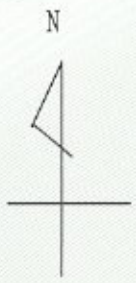
請求部分	所　在	豊橋市今橋町				地　番	3番1		
出力縮尺	1/600	精度区分		座標系番号又は記号		分類	地図に準ずる図面	種類	旧土地台帳附属地図
作成年月日				備付年月日（原図）				補記事項	

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

令和5年7月7日
名古屋法務局豊橋支局
登記官　山本聡顕

公用

請求番号：10-1
(6/15)



3-1 (7/15)

（注）地図に準ずる図面は，土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間，これに代わるものとして備え付けられている図面で，土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。

地番区域見出	今橋町

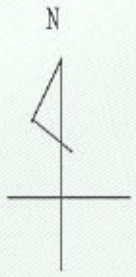
請求部分	所在	豊橋市今橋町				地番	3番1		
出力縮尺	1/600	精度区分		座標系番号又は記号		分類	地図に準ずる図面	種類	旧土地台帳附属地図
作成年月日				備付年月日（原図）		補記事項			

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

令和5年7月7日
名古屋法務局豊橋支局
登記官　山本聡顕

請求番号：10-1
(7/15)

公用



3-1 (8/15)

（注）地図に準ずる図面は，土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間，これに代わるものとして備え付けられている図面で，土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。

地番区域見出	今橋町

請求部分	所　在	豊橋市今橋町				地　番	3番1			
出力縮尺	1/600	精度区分		座標系番号又は記号		分類	地図に準ずる図面		種類	旧土地台帳附属地図
作成年月日				備付年月日（原図）				補記事項		

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

令和5年7月7日
名古屋法務局豊橋支局
登記官　山本聡顕

請求番号：10-1
(8/15)

公用



3-1 (9/15)

（注）地図に準ずる図面は，土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間，これに代わるものとして備え付けられている図面で，土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。

地番区域見出	今橋町

請求部分	所　在	豊橋市今橋町				地　番	3番1			
出力縮尺	1/600	精度区分		座標系番号又は記号		分類	地図に準ずる図面	種類	旧土地台帳附属地図	
作成年月日				備付年月日（原図）				補記事項		

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

令和5年7月7日
名古屋法務局豊橋支局
登記官　山本聡顕

請求番号：10-1
(9/15)

公用



（注）地図に準ずる図面は，土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間，これに代わるものとして備え付けられている図面で，土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。

地番区域見出	今橋町

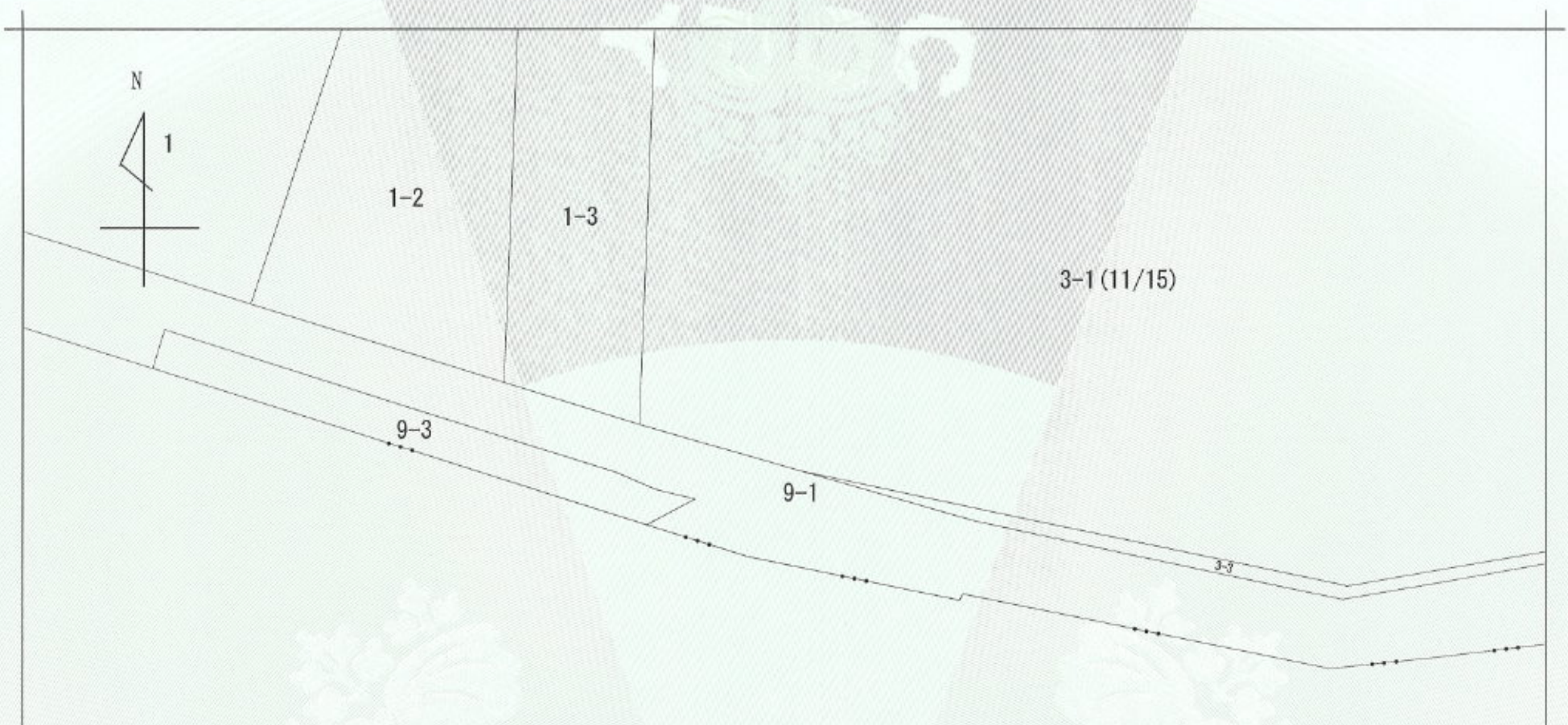
請求部分	所在	豊橋市今橋町				地番	3番1		
出力縮尺	1/600	精度区分		座標系番号又は記号		分類	地図に準ずる図面	種類	旧土地台帳附属地図
作成年月日				備付年月日（原図）				補記事項	

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

令和5年7月7日
名古屋法務局豊橋支局
登記官　山本聡顕

公用

請求番号：10-1
(10/15)



（注）地図に準ずる図面は，土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間，これに代わるものとして備え付けられている図面で，土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。

地番区域見出	今橋町

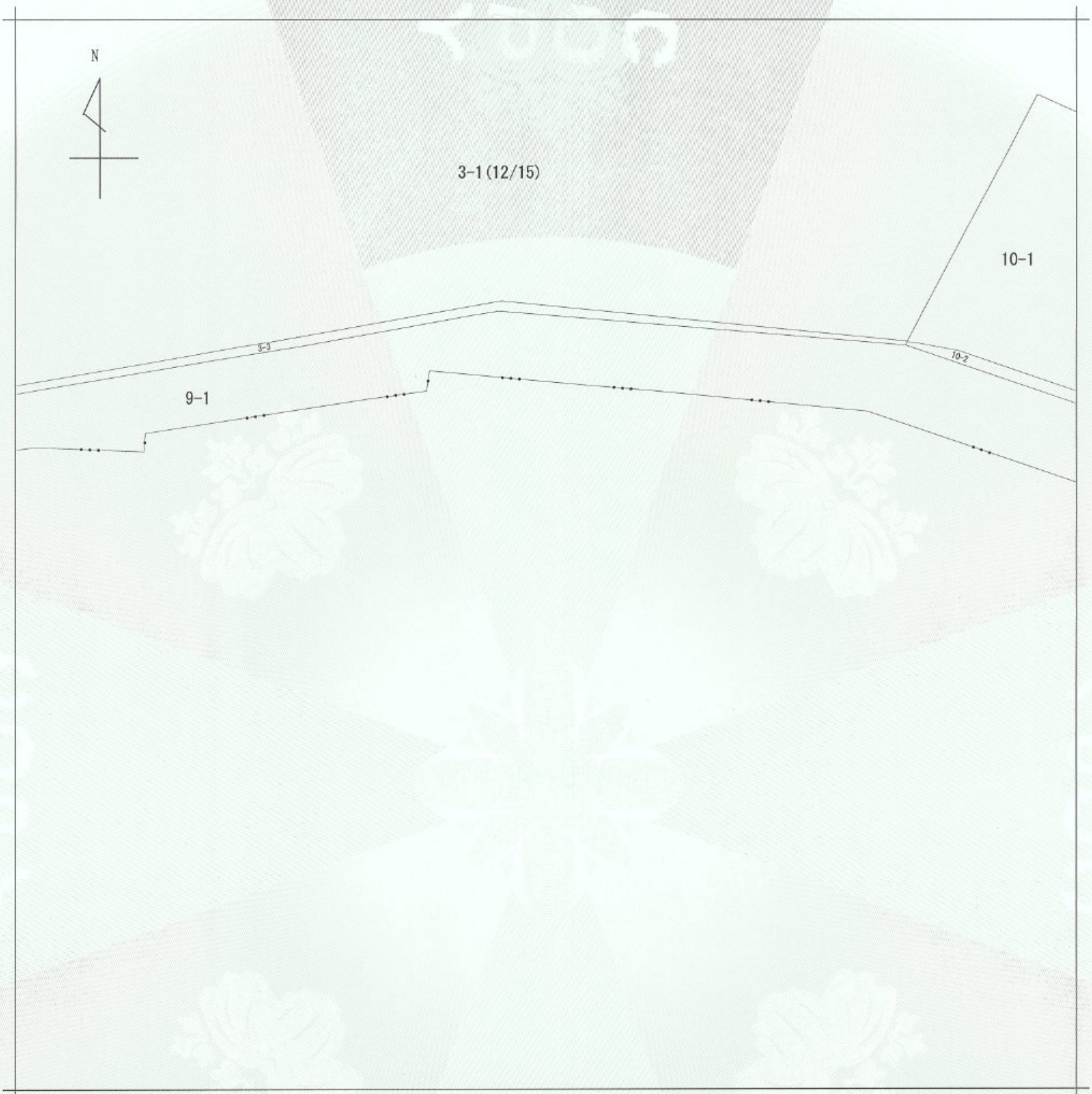
請求部分	所　在	豊橋市今橋町				地　番	3番1		
出力縮尺	1/600	精度区分		座標系番号又は記号		分類	地図に準ずる図面	種類	旧土地台帳附属地図
作成年月日				備付年月日（原図）		補記事項			

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

令和5年7月7日
名古屋法務局豊橋支局
登記官　山本聡顕

請求番号：10-1
(11/15)

公用



（注）地図に準ずる図面は，土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間，これに代わるものとして備え付けられている図面で，土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。

地番区域見出	今橋町

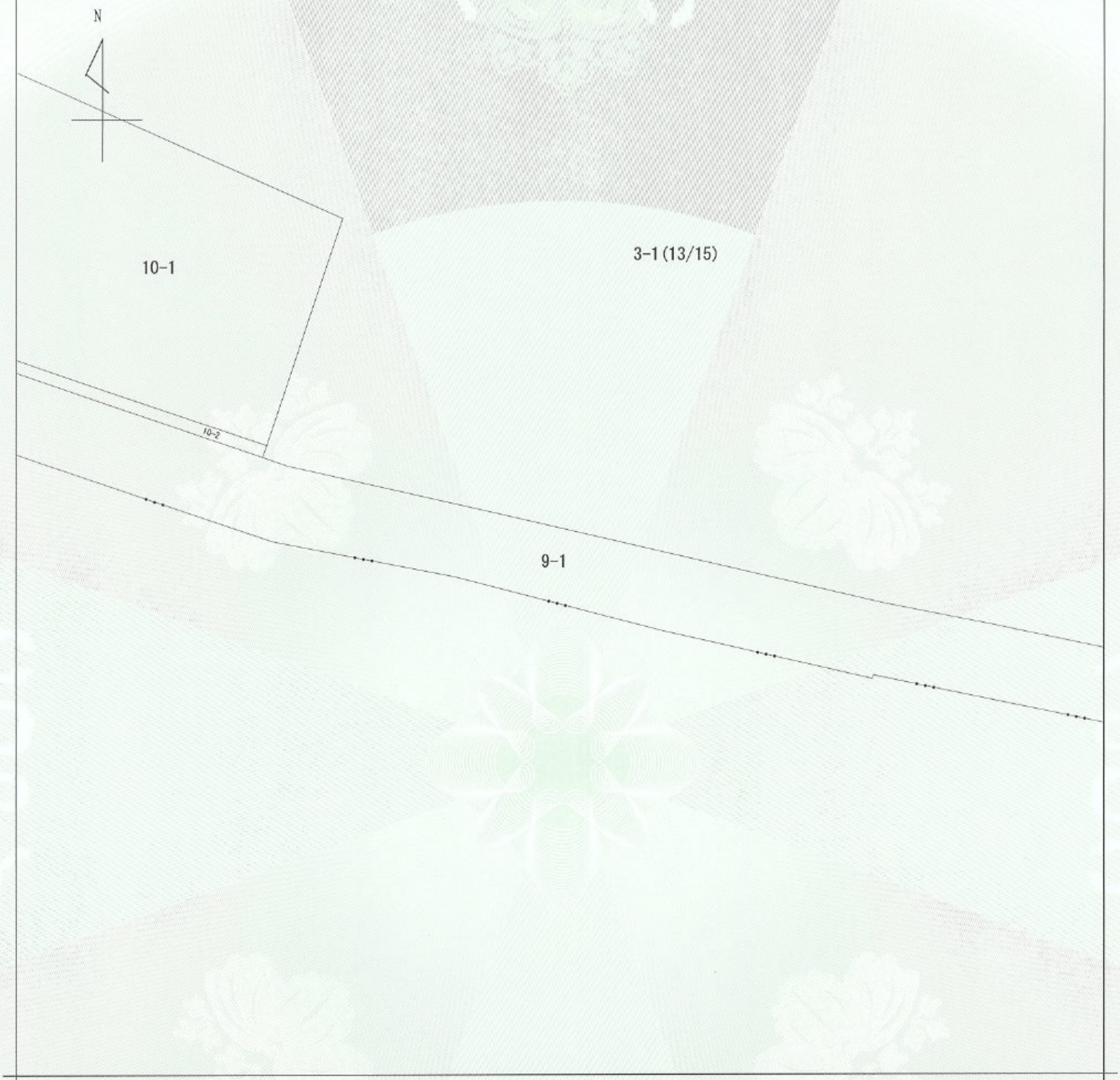
請求部分	所在	豊橋市今橋町					地番	3番1			
出力縮尺	1/600	精度区分		座標系番号又は記号		分類	地図に準ずる図面		種類	旧土地台帳附属地図	
作成年月日				備付年月日（原図）				補記事項			

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

令和5年7月7日
名古屋法務局豊橋支局
登記官　山本聡顕

公用

請求番号：10-1
(12/15)



（注）地図に準ずる図面は，土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間，これに代わるものとして備え付けられている図面で，土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。

地番区域見出	今橋町

請求部分	所在	豊橋市今橋町				地番	3番1		
出力縮尺	1/600	精度区分		座標系番号又は記号		分類	地図に準ずる図面	種類	旧土地台帳附属地図
作成年月日				備付年月日（原図）				補記事項	

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

令和5年7月7日
名古屋法務局豊橋支局
登記官　山本聡顕

公用

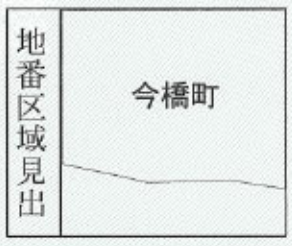
請求番号：10-1
(13/15)



3-1 (14/15)

9-1

（注）地図に準ずる図面は，土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間，これに代わるものとして備え付けられている図面で，土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。



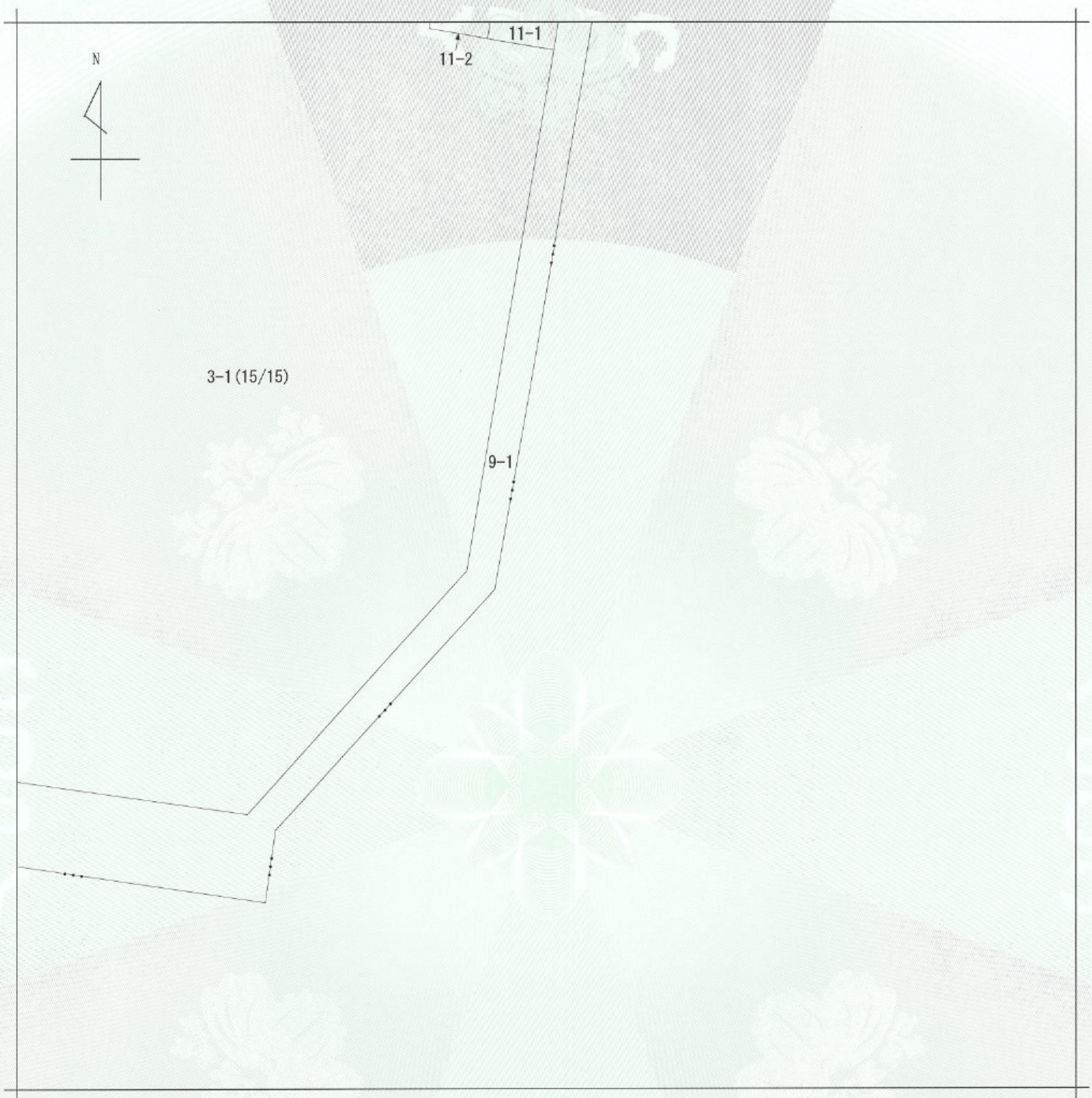
請求部分	所在	豊橋市今橋町				地番	3番1			
出力縮尺	1/600	精度区分		座標系番号又は記号		分類	地図に準ずる図面		種類	旧土地台帳附属地図
作成年月日				備付年月日（原図）				補記事項		

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

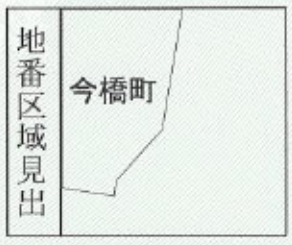
令和5年7月7日
名古屋法務局豊橋支局
登記官　山本聡顕

公用

請求番号：10-1
(14/15)



（注）地図に準ずる図面は，土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間，これに代わるものとして備え付けられている図面で，土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。



請求部分	所　在	豊橋市今橋町					地　番	3番1		
出力縮尺	1/600	精度区分		座標系番号又は記号		分類	地図に準ずる図面		種類	旧土地台帳附属地図
作成年月日				備付年月日（原図）				補記事項		

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

令和5年7月7日
名古屋法務局豊橋支局
登記官　山本聡顕

請求番号：10-1
(15/15)

公用



豊橋公園複合公図

豊 橋 市 綜 合 運 動 場 等

管理運営仕様書

令和３年７月

豊橋市文化・スポーツ部

「スポーツのまち」づくり課

目　　次

第１章　施設の概要
　　１－１　施設の名称及び設置条例等…… 1
　　１－２　施設概要 …… 1
　　１－３　開場・開館時間 …… 1
　　１－４　休場・休館日 …… 1
第２章　指定管理期間
　　２－１　指定管理期間 …… 1
　　２－２　事前準備 …… 1
第３章　管理運営の基本事項 …… 2
第４章　業務の範囲 …… 2
　　４－１　施設の利用承認等業務 …… 2
　　４－２　利用者の安全管理及び指導業務 …… 3
　　４－３　自主事業の実施 …… 3
　　４－４　案内・広報業務 …… 3
　　４－５　施設の維持管理業務 …… 4
　　４－６　施設別特記事項 …… 5
　　４－７　イベント等における業務…… 5
　　４－８　公園利用者等への指導…… 6
　　４－９　その他の業務 …… 6
第５章　業務の体制
　　５－１　組織及び体制 …… 7
　　５－２　職員の研修 …… 7
第６章　その他
　　６－１　再委託の禁止 …… 7
　　６－２　指定管理料 …… 7
　　６－３　収入・物品の帰属 …… 7
　　６－４　モニタリングの実施 …… 8
　　６－５　業務終了時の取扱い …… 8
　　６－６　協議事項 …… 8
〔業務要領１〕提案事業 …… 9
〔業務要領２〕施設の維持管理 …… １０

豊橋市綜合運動場等管理運営仕様書

豊橋市綜合運動場等の指定管理者が行う業務の内容及びその範囲は、この仕様書によるものとする。

この仕様書中、「設置条例」とは第１章１－１「施設の名称及び設置条例等」に記載の各条例等を、「設置規則等」とは同じく記載の各施行規則、規則、細則をいう。

第１章　施設の概要

１－１　施設の名称及び設置条例等

<table>
<tr><th colspan="2">指定管理施設名</th><th>設置条例及び規則等</th></tr>
<tr><td>豊橋市綜合運動場</td><td>豊橋市武道館</td><td>都市公園法、都市公園法施行令及び豊橋市都市公園条例
豊橋市武道館条例
豊橋市武道館条例施行規則</td></tr>
<tr><td></td><td>豊橋球場
陸上競技場
硬式庭球場
軟式庭球場</td><td rowspan="2">都市公園法、都市公園法施行令及び豊橋市都市公園条例
豊橋市営運動場利用に関する細則</td></tr>
<tr><td colspan="2">東田球場</td></tr>
<tr><td colspan="2">豊橋市高師緑地青少年広場</td><td rowspan="4">都市公園法、都市公園法施行令及び豊橋市都市公園条例
豊橋市運動広場の管理に関する規則</td></tr>
<tr><td colspan="2">豊橋市向山運動広場</td></tr>
<tr><td colspan="2">豊橋市明海広場</td></tr>
<tr><td colspan="2">豊橋市明海少年広場</td></tr>
</table>

１－２　施設概要

豊橋市綜合運動場等指定管理者募集要項（別紙１）「施設の概要」のとおり。

１－３　開場・開館時間

各施設の設置規則等のとおり。

１－４　休場・休館日

各施設の設置規則等のとおり。

第２章　指定管理期間

２－１　指定管理期間

指定管理期間は令和４年４月１日から令和９年３月３１日までとする。

２－２　事前準備

指定開始日以前に前指定管理者からの事務の引継ぎを行うとともに、必要な資格者及び人材の確保等、円滑に業務を開始できるよう準備をすること。打合せ等準備業務に要する費用は、指定管理者の負担とする。

第３章　管理運営の基本事項

豊橋市綜合運動場等を管理運営するに当たっては、次に掲げる項目により行うこと。

（１）関係法令、例規を遵守すること。
　法令、条例、規則に変更があった場合は、改正された内容に基づき、管理運営を行うこと。
（２）個人情報保護を徹底すること。
（３）公の施設として、公平な運営を行うこと。
（４）利用者の意見を管理運営に反映させ、利用者の満足度を高めること。
（５）予算の執行に当たっては、事業計画書、収支予算書に基づき適正かつ効率的な管理運営を行うこと。
（６）管理運営に当たっては、経費の節減に努めること。
（７）本施設を利用しようとする本市主催の行事に関して全面的に協力するとともに、関係団体や組織、事業者と良好な関係を維持すること。
（８）豊橋市のとよはしエコマネジメントシステム（以下、Ｔ－ＥＭＳ）及び豊橋市地産地消エネルギー指針の取組みに基づき、環境への配慮に留意すること。
（９）ＳＤＧｓに積極的に取り組むこと。
⑽ 事件、事故、災害等緊急時には、速やかに現場に赴き、適切な対応を取ること。
⑾ 管理業務に関して知り得た秘密を厳守すること。指定期間終了後又は指定解除後も同様とする。
⑿ 施設の管理運営に当たっては、市の指示、指導に従うこと。

第４章　業務の範囲

指定管理者が行う業務の範囲は次のとおりとする。

４－１施設の利用承認等業務

（１）個人利用券の交付並びに利用者の調整
　各施設の窓口において個人利用券を交付するとともに、利用者が安全に利用できる人数を超えた場合は、人数制限等の調整を行うこと。
（２）専用利用承認申請書の受付及び利用希望の調整
　豊橋市体育施設利用承認申請取扱要綱に従い申請書を受理するほか、市有体育施設利用調整会議を開催し、専用利用希望が重複した場合の調整を行うこと。
（３）利用の承認、制限、取り消し
　設置条例及び設置規則等に従い、利用承認を行うとともに、利用を制限し、利用の取り消し又は中止を命ずること。
（４）利用料金の減免
　利用料金の減免申請があったときは、豊橋市体育施設利用料金減免要綱に基づき利用料金の減免を行うこと。同要綱の取扱いに疑義が生じた場合は速やかに市と協議すること。
（５）利用料金の帰属
　利用料金は指定管理者の収入とする。
（６）施設予約システムの入力
　専用利用承認申請に対応し、申請状況を愛知県共同利用型施設予約システムに入力すること。

（7）附属設備の貸出し及びその取扱説明

附属設備を利用者に貸し出すにあたり、その取扱いについて必要に応じ説明又は指導すること。

4―2　利用者の安全管理及び指導業務

（1）共通監視業務

① 利用者等の怪我等に対応できるよう対応マニュアルを整備し、必要な薬品、用品等を用意すること。

② 高齢者及び障害者等で介助を必要とする利用者については、円滑な施設利用が可能なように適切な対応を行うこと。

③ ロッカーの使用状況を把握し、鍵の故障等への対応を随時行い、定期的にＢＯＸ内の清掃を行うこと。

④ 必要に応じ管理施設内外に整理人を置くこと。

（2）指導業務

① 設置規則等の「秩序の保持等」及び「遵守事項」の条項に基づき、利用者に対して必要な指導を行うこと。

② 管理施設及び附属設備の利用方法を利用者に説明すること。特にトレーニング室・コンディショニングルーム利用者には、必要に応じ機器の説明及び指導を行うこと。

③ 利用者の原状回復義務に基づき、利用後の片付け、清掃等について指導するとともに、ゴミは持ち帰るよう指導すること。また、利用後の点検を行うこと。

④ 行事開催時には、主催者に駐車場内の整理及び仮設駐車場の確保等を必要に応じ指導すること。

（3）災害時の対応

① 災害時には遅滞なく適切な措置を講じたうえ、市をはじめ関係機関に通報すること。

② 利用者等の安全確保のため、災害発生の対応マニュアルを整備し、従業員に周知し訓練を行う等緊急時の対応について十分な対策を講じること。

4－3　自主事業の実施

スポーツの振興、施設の利用促進及び利用者サービスを図るため、管理施設を活用した以下の自主事業を計画し、実施すること。自主事業の事業内容及び料金等の収入については市の承認を受けることとし、その収入は指定管理者に帰属するものとする。

（1）各種スポーツ教室の開催

① 参加者の募集にあたっては、公平を期すこと。

② 必要な資格、技量を有する指導者を確保すること。

（2）提案事業

指定管理者は、前記（1）の業務のほか、スポーツの振興、市民の健康づくり、施設の利用促進及び利用者サービスに寄与するため、自らの企画及び負担により指定管理区域内において、〔業務要領1〕提案事業により、業務を行うことができる。

4－4　案内・広報業務

（1）利用者案内の掲示

施設の利用方法、料金体系及び施設内の実施プログラム等の情報について利用

者に見易い場所に掲示すること。

（2）印刷物の作成

ポスター、パンフレット等を作成し、施設やイベントに関する情報を利用者に提供すること。

（3）ホームページの作成

施設の案内及び開催行事を掲載するホームページを開設し、随時、最新の内容に更新すること。

（4） 報道機関への情報提供

新聞、ラジオ、テレビ、雑誌等の広告媒体を利用するため、報道機関への積極的な情報提供を行うこと。

（5）問合せ・苦情・見学者への対応

電話での各種問い合わせ、利用者からの苦情、利用者間のトラブル、見学者などについても適切に対応すること。

（6）公共情報等の掲示

市から要請があった場合、無料で公共情報等を掲示すること。

４－５　施設の維持管理業務

（1）施設維持管理業務の基本方針

利用者が安全かつ快適に利用できるように、管理施設の機能及び性能を正常に発揮できる適正な状態に維持することを目的とし、以下の事項を基本方針として維持管理業務を実施すること。

① 管理施設が有する機能及び性能等を保つこと。

② 管理施設の環境を安全、快適かつ衛生的に保ち、利用者の健康被害を未然に防止すること。

③ 物理的劣化等による危険・障害等の発生を未然に防止すること。

④ 環境負荷を抑制し、環境汚染等の発生防止に努めるとともに、省資源、省エネルギーに努めること。

（2）維持管理業務の種別及び業務要領

管理施設の維持管理については〔業務要領２〕「施設の維持管理」により、以下の業務を行うものとする。

① 建築物保守管理業務（大規模修繕以外の修繕を含む。）

② 建築設備保守管理業務（大規模修繕以外の修繕を含む。）

③ 備品等維持管理業務

④ 清掃業務

⑤ 環境衛生管理業務

⑥ 警備業務

⑦ グラウンド維持管理業務

⑧ 植栽管理業務

⑨ その他付帯施設の保守管理業務（大規模修繕以外の修繕を含む。）

（3）修繕等の取扱い

管理施設並びにこれに付帯する設備及び備品に係る小規模（税抜き50 万円以下）の修繕等については、原則、指定管理者の判断により、指定管理者がその費用を負担し、実施するものとする。

４－６　施設別特記事項

（１）豊橋市綜合運動場（武道館を除く）、東田球場

① 競技会等の行事開催時には大会主催者と協議し、ライン引き、附属設備の設置及びテント設営等の事前準備を補助すること。

② 公式大会等の運営に支障をきたさないよう、グラウンドの整備、清掃を十分に行い、グラウンドコンディションの維持に万全を期すこと。

③ 陸上競技場は日本陸連第三種公認施設として必要な維持管理を行うこと。

④ 豊橋市綜合運動場管理事務所及び豊橋市綜合運動場詰所・倉庫、その他運動施設に附属する建物等の維持管理を行うこと。

⑤ 綜合運動場管理事務所前広場の噴水の維持管理を行うこと。

⑥　学校体育施設スポーツ開放業務

１．使用登録申請の受付等

使用登録申請書を受付け、使用登録証を発行する

【業務場所】

綜合運動場管理事務所

２．夜間照明施設使用申込の受付及び許可

（福岡小、東陵中、二川中の校庭に限る）

使用申請の受付及び許可書を発行し、使用決裁簿へ記帳

【業務場所】

綜合運動場管理事務所

３．小・中学校体育館使用券、中学校武道場使用券、小・中学校校庭照明設備使用券の販売（福岡小、東陵中、二川中の校庭を除く）

【業務場所】

綜合運動場管理事務所

４．小・中学校施設使用料（夜間照明設備使用料含む）の収納

施設利用者から徴収した施設使用料を、収納金出納簿へ記帳後現金払込書にて、収納の日から７日間以内（当該日が銀行休業日の場合はその翌営業日）に一括して豊橋市指定金融機関又は収納代理金融機関に払い込む

【業務場所】

綜合運動場管理事務所

⑦ 地域の総合型地域スポーツクラブの活動を支援すること。

（２）豊橋公園

豊橋公園内で異常を発見した場合、または利用者等から通報があった場合は、現場確認のうえ、豊橋市に報告すること。また、利用者安全確保のための応急措置や現場立ち合い等の必要な協力を行うこと。

４－７　イベント等における業務

（１）イベント等実施の問い合わせや申し出があった場合は、当該公園全体の競技大会・イベント等が集中しないよう内容確認をしたうえで、市の各所管課に取り次ぎを行うこと。

なお、都市公園法、豊橋市都市公園条例に基づく占用許可や行為許可等の許可行為、使用料の減免については、指定管理者の業務の範囲外であり、市が許可を行う。

（２）施設及び敷地内の広場等において、競技大会・イベント等の催しが開催される場合は、指定管理者はイベント主催者等と調整し、必要な措置・指導を行うこと。

４－８　公園利用者等への指導

（1）指定管理者は、市から占用許可等を得て事業・イベント等を行っているものに対して、適切に使用しているかを監視する。このとき、著しく不適切であると判断される場合には、速やかに豊橋市に連絡すること。

（2）指定管理者は、指定管理区域内におけるホームレスに対し、適正な指導を行うとともに、市と協力しながら必要な措置・指導を行うこと。

（3）指定管理者は、指定管理区域内における放置自動車、自転車を発見した場合は、警告書の貼付け、警察署への照会及び市への報告等を遅滞なく行うこと。

４－９　その他の業務

（1）事業計画書及び収支予算書の作成

毎年度の運営業務の実施に先立ち、実施体制、実施内容、実施スケジュール等を記載した事業計画書及び収支予算書を市に提出すること。

（2）事業報告書及び収支決算書の作成

毎年度終了後６０日以内に事業報告書及び収支決算書を市に提出すること。

（3）毎月の１０日又は市が指定した日までに、以下の前月実績を市に提出すること。

①管理業務の実施状況
②管理施設の利用状況
③管理経費等の収支状況

（4）事件・事故発生時の報告。

重大な事件や事故が発生したときは速やかに市に報告すること。

（5）利用者アンケート等の実施及び報告

利用者の利便性の向上等の観点から、アンケート等により利用者の意見・苦情等を聴取し、その結果及び業務改善への反映状況について市に報告すること。
なお、利用者アンケートは１年に１回以上実施すること。

（6）付随業務としての自動販売機等の取扱いについて

① 指定管理者は、利用者の利便性を図るため、指定管理区域内の適切な区画において、自動販売機やイベント等に伴う物品販売所を設置することができる。内容、位置等は事前に市と協議を行い、承認を得ること。

② 指定管理者は、自動販売機や物品の販売所の設置運営に係る全ての業務を自らの責任において行うこと。

③自動販売機や物品販売所の設置運営に当たっては、行政財産の目的外使用許可を受けることなく指定管理者の収入とし、指定管理料を減額すること。また、自動販売機や物品販売所の電気料（光熱水費）についても同様の取り扱いとする。自動販売機や物品販売所の収入については、収支予算、決算項目に計上し、自動販売機の売上げの一部を自主事業の財源にすること。

（7）当該施設が指定管理者により管理運営されていることを示すため、出入口など外部からでも確認ができる場所に指定管理者の名称、連絡先を表示すること。

（8）指定管理者は、施設・設備の劣化状況を踏まえた指定管理期間内を含む１５年の建物設備等の修繕計画を策定し、指定期間開始初年度終了後６０日以内に市へ提出すること。なお、計画提出後、変更が生じた場合はその都度提出すること。

第５章　業務の体制

５－１　組織及び体制

（１）総括責任者

① 指定管理業務全体の総括責任者を定め、市に報告すること。

② 総括責任者は、指定管理業務について、市への報告、協議等を行うことができるものとし、その行為の範囲は指定管理者が定める。

（２）施設管理責任者

① 指定管理者は指定管理施設ごとに施設管理責任者を置くことができる。施設管理責任者を置く場合は、市に報告すること。

② 施設管理責任者は、担当施設に関する市への簡易な報告を行うことができるものとする。

（３）業務の体制

業務を行う者は、その内容に応じ、必要な知識及び技能を有する者とし、市が設置した機器・備品等を円滑に操作できること。また、法令等により業務を行う者の資格が定められている場合は、当該資格を有する者が業務を行うこと。

５－２　職員の研修

職員に対して１年に１回以上、接遇、防災、救急救命、施設管理のほか必要な研修を実施すること。実施した研修日時、内容を市に報告すること。

第６章　その他

６―１　再委託の禁止

指定管理者は、本業務の全部を第三者に委託し、又は請け負わせてはならない。ただし、事前に市の承認を得たものについては、この限りではない。

６－２　指定管理料

市は、指定管理者の業務を実施するために必要な経費を、指定管理者が提示した額に基づき予算の範囲内で支払う。この場合の支払い時期や方法、管理口座等の細目的事項については、別途協議する。

【特記事項】指定管理料の変更

指定期間中に、市の条例等方針の変更や施設保全計画等に基づく施設の大規模改修等を実施する可能性があり、指定管理料を変更する必要があると認められる場合は、変更の要否や金額等を別途協議によって定めます。

６－３　収入・物品の帰属

① 指定管理者が実施する自主事業の参加費等については、指定管理者が事前に市の承認を得て定め、自らの収入とする。

② 施設の目的外使用料（光熱水費も含む）及び公衆電話使用料など施設運営に係る使用料については、市の収入とする。

③ 指定管理者が、指定期間中に指定管理料及び利用料金収入により購入した物品等については、豊橋市の所有に属するものとする。

④ 指定管理者は物品管理簿を備え、購入及び廃棄等の異動について市に報告すること。

６－４　モニタリングの実施

市は、指定管理者が行う業務の実施状況を把握し、良好な管理状況を確保するために、定期的及び随時にモニタリングを実施する。

モニタリングの結果、運営状況が適正でないと認められる場合は、市は指定管理者に対して業務の改善等必要な指導を行う。

６－５　業務終了時の取扱い

① 指定管理者は指定管理期間の終了時において、全ての施設が本仕様書で提示した性能を発揮できる機能を有し、著しい損傷が無い状態とすること。

② 他の指定管理者へ業務を引継ぐ場合、業務に支障が生じないように適切に引継ぎ業務を行うこと。

６－６　協議事項

① 仕様書に規定するものの他、指定管理者の業務の内容及び処理について疑義が生じた場合は市と別途協議する。

② 仕様書に定めがないものについては、市と別途協議する。

〔業務要領１〕提案事業

（１）「物品の販売、飲食の提供業務」

① 条件

ア）指定管理者は、利用者の利便を図るため、指定管理区域内の適切な区画において、物品の販売（以下「物販」という。）及び飲食の提供に要する機能（以下「飲食機能」という。）等の設置運営をすることができる。内容、位置等は指定管理者の提案事項とし、事前に市と協議を行い、承認を得ること。

イ）指定管理者は、販売商品の選択、仕入れ、販売及び飲食機能の運営にかかる全ての業務を自らの責任において行うこと。

ウ）指定管理者は、物販及び飲食機能の運営に係る営業時間を、施設の開館時間との整合性及び利用者の利便性を勘案し、適切に設定すること。

エ）物販及び飲食機能の設置運営に要する費用は、全て指定管理者の負担とする。また、収入については、全て指定管理者のものとする。

オ）指定管理者は、物販・飲食機能の内容を変更する場合は、あらかじめ本市に届け出て、物販・飲食機能に係る営業規模、営業内容の変更等をすることができるものとする。

カ）物販及び飲食機能の設置運営に当たっては、行政財産の目的外使用許可を受けることなく指定管理者の収入とし、指定管理料を軽減すること。また、自動販売機の電気料（光熱水費）についても同様の取扱いとする。

② 仕様・水準

適切な商品管理及び衛生管理を行うこと。

（２）「その他提案事業」

① 条件等

ア）提案業務の内容は、本施設設置の目的に適合するものとし、指定管理者はその具体的実施内容について提案し、事前に市の承諾を得ること。運営開始後に、内容の変更を行う場合も同様とする。

イ）提案業務の実施に要する費用は、全額指定管理者の負担とする。また、提案サービス業務の利用者より得られる収入は全額指定管理者の収入とすることができる。

ウ）広告の掲出を行う場合は、その内容が公序良俗に反するものでないことは勿論、公の施設に掲げるものとして相応しくないものでないこと。

〔業務要領２〕施設の維持管理

（１）建築物保守管理業務

① 業務の対象範囲・内容

建築物保守管理業務の対象範囲は、指定管理区域内の建築物の屋根、外壁、建具（内部・外部）、天井、内壁、床、階段、付属物等各部位とし、その点検、保守等を業務内容とする。

② 仕様・水準

ア）部材の劣化、破損、腐食、変形等について調査・診断・判定を行い、迅速に修繕等を行い、適正な性能及び機能が発揮できる状態に保つこと。

イ）結露やカビの発生の防止に努めること。

ウ）開閉・施錠装置、自動扉等が正常に作動する状態を保つこと。

エ）建築物内外の通行等を妨げず、運営業務に支障をきたさないこと。

オ）建築物において重大な破損、火災、事故等が発生し、緊急に対処する必要が生じた場合の被害拡大防止に備えること。

カ）建築基準法第12条に基づく特殊建築物等定期点検（３年ごと）を実施し、その結果を豊橋市へ報告すること。

キ）その他関連法令等の定めにより、点検等を実施すること。

（２）建築設備保守管理業務

① 業務の対象範囲・内容

指定管理区域内に設置される電気設備、空調設備、給排水衛生設備等の関連設備を業務の範囲とし、業務計画等のもとに行う運転・監視、点検、保守等を業務内容とする。

② 仕様・水準

ア）運転・監視

(ｱ) 利用者の快適性等を考慮に入れて、各設備を適正な操作によって効率よく運転・監視すること。

(ｲ) 各設備の運転中、操作・使用上の障害となるものの有無を点検し、発見した場合は除去もしくは適切な対応を図ること。

イ）法定点検

(ｱ) 各設備の関連法令の定めにより、点検を実施すること。

(ｲ) 点検により設備が正常に機能しないことが明らかになった場合、補修、調整等適切な方法により対応すること。

(ｳ) 保守規定を遵守し、電気主任技術者の指示に従うこと。

ウ）定期点検

(ｱ) 各設備について、常に正常な機能を維持できるよう、設備系統ごとに定期的に点検を行うこと。また、メーカーの仕様に基づく消耗品の取替え及び分解清掃を行うこと。

(ｲ) 非常用発電機は通常の保守点検に加え、３年毎の特別保守点検を行うこと。

(ｳ) 点検により設備が正常に機能しないことが明らかになった場合、又は何らかの悪影響を及ぼすと考えられる場合には、適切な方法により対応すること。

（3）備品等維持管理業務

① 業務の対象範囲・内容

指定管理区域内に設置される備品等について点検、保守等を実施する。

② 仕様・水準

ア）指定管理者は、施設運営に支障をきたさないよう施設運営上必要な備品等を適宜整備し、管理を行うこと。

イ）指定管理者は、豊橋市の所有に属する物品については、豊橋市予算決算会計規則及び豊橋市財産管理規則並びに関係例規に基づいて管理等を行うものとする。

ウ）指定管理者は、物品管理簿を備えてその保管に係る物品を整理し、購入及び廃棄等の異動について市に報告しなければならない。

（4）清掃業務

① 業務の対象範囲・内容

指定管理区域内を対象とし、業務の内容は、次のとおりとする。

ア）施設清掃業務

イ）貯水槽等清掃業務

ウ）害虫駆除業務

エ）外構等清掃業務

② 仕様・水準

ア）業務全般についての仕様・水準

(ｱ) 業務に使用する用具及び資材等は、常に整理整頓に努め、人体に有害な薬品等は関係法令に準拠し厳重に管理すること。

(ｲ) 作業においては電気、水道の節約に努めること。

(ｳ) 全ての清掃作業担当者は、勤務時間中は職務にふさわしい制服等を着用すること。

(ｴ) 業務に使用する資材・消耗品は、品質保証のあるもの（ＪＩＳマーク商品等）の使用に努めること。また、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12 年法律第100 号）の特定調達物品の使用等地球環境に配慮した物品の使用に努めること。

イ）施設清掃業務の仕様・水準

(ｱ) 建物内外の仕上げ面及び家具・備品等を適切な頻度・方法で清掃すること。

(ｲ) 仕上げ材の性質等を考慮しつつ、日常清掃、定期清掃及び特別清掃を適切に組合せた作業計画を立案し実施すること。

(ｳ) 日常清掃、定期清掃、特別清掃の内容、方法、頻度は、維持管理業務実施計画書の中で具体的に提案すること。

ウ）貯水槽等清掃業務の仕様・水準

(ｱ) 建築物における衛生的環境の確保に関する法律及び水道法等の関係法令に基づき、受水槽、貯湯槽及びその付属部の清掃・点検及び検査を行う。

(ｲ) また以下の点に努めること。

a 水槽内の作業については、十分な換気等を行い安全確保に努めること。

b 汚れた衣類・器具等で施設内を汚さないこと。

エ）害虫駆除業務の仕様・水準

(ｱ) 建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づき、害虫を駆除する。

(ｲ) 噴霧法、散布法その他の有効と認められる駆除方法・選択採用すること。

オ）外構等清掃業務の仕様・水準

(ｱ) 業務範囲の外構（園路及び駐車場等）に関して、施設の利用者が安全かつ快適に利用できるよう、落ち葉も含め清掃をすること。

（5）環境衛生管理業務

① 業務内容

建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づいて、施設の環境衛生管理を行う。

② 業務の対象範囲

環境衛生管理業務の対象範囲は、屋内施設内における一般諸室とする。

③ 仕様・水準

建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づき、建築物環境衛生管理技術者を選任し、環境衛生業務を適切に行うこと。

（6）警備業務

① 業務内容

指定管理区域内の秩序及び規律の維持、盗難・破壊等の犯罪の防止、火災等の災害の防止、財産の保全及び利用者の安全を目的とする警備業務を実施する。

② 業務の対象範囲

警備業務の対象範囲は、管理施設及び清掃業務範囲の駐車場とする。

③ 仕様・水準

業務の実施に当たっては、以下の仕様・水準を満たすものとする。

ア）管理施設の用途・規模・利用時間・利用状況等を勘案して適切な警備計画を立て、犯罪・災害等の未然防止に努めること。

イ）警備業法（昭和47 年法律第117 号）、消防法、労働安全衛生法等関連法令及び監督官庁の指示等を遵守すること。

ウ）定期的に巡回を行い施設の安全を確認すること。

エ）営業時間外の火災の発見に努め、通報を行うこと。

オ）不法侵入者、不審物を発見した場合は、警察への通報等適切な処置を行うこと。

カ）屋外便所等を除く建物の警備は24 時間、通年行うこと。夜間及び休日については機械警備でも可とする。

キ）利用時間外の不審者の侵入防止、侵入の発見及び通報を行うこと。

ク）駐車場の閉鎖時に緊急事態等が発生した場合は、関係機関と調整し、駐車場を開放するなど速やかに適切な対応を行うこと。

（7）植栽管理業務

① 業務の対象範囲及び内容

指定管理区域内の樹木の剪定・刈込及び除草、芝生の管理を行うこと。

② 仕様・水準

ア）植栽の美観を損なわぬよう、また、害虫等を発生させないよう、適切に管理を行うこと。

イ）植栽は安全面に十分配慮するとともに、高木等に異常が見られた場合、立ち入り制限等の緊急措置を講じるとともに豊橋市に報告すること。

ウ）グラウンド内の芝生は、養生期間を設ける等育成に必要な手段を講じること。

エ）病害虫発生の早期発見に努め、極力薬剤を使用しない方法により防除すること。

やむを得ず薬剤を使用する場合は農薬取締法等の通達等を遵守し、利用者及び付近住民に害の無いよう十分に注意を払うこと。

オ）高木剪定については、協議すること。

（８）その他付帯施設の保守管理業務

① 業務の対象範囲及び内容

指定管理区域内にある公園施設について点検、保守等を実施する。

② 仕様・水準

ア）日常管理

㈠利用者の安全性、快適性等を考慮に入れて、各施設を適切な状態で管理すること。

㈡利用者の安全に関わる異常を発見した場合には、立入制限や使用禁止等の緊急措置を含め、適切な方法により対応すること。

㈢施設に異常が認められた場合は、立入制限や使用禁止等の緊急措置を含め、適切な方法により対応し、結果を豊橋市へ報告すること。

別紙11-1　公園施設安全点検業務

※豊橋公園は本業務の対象公園の１つ

公園施設安全点検業務１　仕様書

（目的）

第１条　　本業務は、都市公園など本市管理の公園施設において適切な点検を行い、安全管理の強化、事故発生の未然防止及び安全な公園施設の使用確保を図るため、修繕計画を作成することを目的とする。

（業務範囲）

第２条　　点検対象箇所及び施設については、別表のとおりとする。

（業務期間）

第３条　　本業務期間は、契約日より令和５年12月15日限りとする。

（用語の定義）

第４条　　本業務に関わる用語の定義は下記のとおりとする。

（１）公園施設安全点検業務（以下「業務」という。）に関する事項は、この仕様書に基づき施行するものとする。なお、ここで示す「公園施設」とは、都市公園法第２条第２項で定める遊戯施設（ぶらんこ、滑り台、砂場等）、及び休養施設（東屋、パーゴラ、藤棚等）とする。

（２）「主任技術者」とは、当該業務における技術上の管理をつかさどるものとし、受託者と直接的かつ恒常的な雇用関係を有するとともに、「公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録規程（平成26年11月28日国土交通省告示第1107号）に定める公園施設点検管理士の資格を有する者とする。

（３）「現場代理人」とは、業務を総合的に把握し、円滑に実施する為に監督員との連絡調整を行う者で、本業務における受託者側の責任者であり、「公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録規程（平成26年11月28日国土交通省告示第1107号）に定める公園施設点検技師の資格を有する者とする。

（４）本業務設計書において、直接物品費とは、当該業務を従事することにより消費するウエス等消耗品及び点検工具類損料等の費用であり、業務管理費とは、業務を管理運営するために必要な人件費及び直接物品費以外の費用とする。

（業務内容）

第５条　　本業務は公園施設において、劣化診断（物理的，化学的，生物的要因により、その物の性能の低下を確認することをいう。但し地震などの災害に起因するものを除く。）及び規準診断（形状や配置などの物的ハザードについて確認することをいう。但し休憩施設を除く。）を実施するものである。

公園施設をその種類及び規模に応じ、遊戯施設６種（単体遊具（A），単体遊具（B），単体遊具（C），単体遊具（D），複合遊具（小），複合遊具（中））及び休憩施設の計７種へ分類し、それぞれ下記のとおり点検するものとする。

（１）　遊戯施設の点検方法は「都市公園における遊具の安全確保に関する指針（改訂第２版）」（平成26年６月国土交通省）及び「遊具の安全に関する規準 JPFA-SP-S：2014」（社団法人日本公園施設業協会（以下「協会」という。））が定める定期点検（劣化診断・規準診断）に準じて実施する。また公園施設の分類方法については、協会が定める「遊具等の定期点検業務標準積算基準令和２年度版」に準じて分類する。

（２）　休養施設の点検方法は、協会の定める定期点検（劣化診断）に準じて実施する。

（３）　点検業務は作業員Ｂが、点検表に基づく判定は作業員Ａがそれぞれ担当し、職務を兼務することはできないものとする。

（４）　点検業務は、貸与資料の内容を十分に考慮した上で実施するものとする。

（５）　点検の結果、使用禁止が妥当と判断された公園施設については、監督員に速やかに連絡するとともに臨機の措置を実施し、使用禁止の表示などを提示するものとする。

（資料の貸与）

第６条　本業務の実施にあたり下記資料を貸与するものとする。

（１）遊具履歴書　１式

（２）令和４年度公園施設安全点検業務報告書　１式

（報告）

第７条　点検結果等の報告は、下記のとおりとする。

（１） 遊戯施設は、協会が定める「定期点検総括表・定期点検表・特別定期点検表」及び写真帳（修繕を要する箇所の状況写真を含む。）を定期点検業務報告書として提出する。

（２） 休憩施設は、協会が定める「定期点検総括表・特別定期点検表」及び写真帳（修繕を要する箇所の状況写真を含む。）を定期点検業務報告書として提出する。

（３） 受託者は公園施設点検日の翌朝までに業務日報（点検箇所名，担当者名，点検日時，その他点検箇所内において異常が確認された事項などを記載したもの）を、メールまたはＦＡＸにて、監督員に提出すること。

（４） 点検の結果、特に詳細な点検（協会の定める精密点検）が必要であると判断された場合には、その旨及び点検方法等を監督員に書面にて提出すること。

（５） 点検の結果、修繕が必要と判定された公園施設について、その修繕方法及び見積を記載した書面（以下「公園施設修繕計画提案書」という。別添１参照）を令和５年 10 月２日までに提出すること。また使用禁止など臨機の措置を実施した施設、及び監督員の指示により早期に修繕対応が必要であると判断された施設については、その都度提出すること。

（６） 定期点検業務報告書、公園施設修繕計画提案書の報告形式は、電子ファイル一式とする。各報告書の電子ファイルについては、Excel 形式にて取りまとめること。

（保険）

第８条　受託者は業務対象となる公園施設において、点検報告の遅滞や利用に支障無いと判定した施設の利用に伴う事故が発生した場合など、業務瑕疵に起因する損害賠償に備え保険に付したとき、又は任意に保険に付しているときは、当該保険に係る証券、又はこれに代わるものを直ちに監督員に提示しなければならない。

（留意事項）

第９条　　点検時の留意事項は下記のとおりとする。

（１）点検業務においては、作業に適した服装にて実施し、作業中であることの掲示をして利用者の施設利用への影響が無いように十分な安全対策を講ずること。

（２）作業車は原則、公園敷地内へ駐車すること。これによりがたい場合は、通過交通に支障とならないよう配慮した上で駐車し、周辺住民からの苦情が無いようにすること。

（３）業務中に公園利用者から公園内における苦情要望等を確認した場合には、書面にて監督員に報告すること。

（４）業務箇所以外の施設についても、業務中に異常を発見したときには、速やかに監督員に連絡すること。

（守秘義務）

第１０条　本業務に係る関係者は、在職中及び退職後を問わず、本業務で得た内容及び施設情報などを第三者に漏らしてはならず、データの複製を行なうこともできないこととする。また業務上必要とし提供した各電子データも、その対象として取り扱うものとする。

（提出書類）

第１１条　　本業務に定める提出書類は下記のとおりである。

（１）　着手届
（２）　現場代理人及び主任技術者通知書（経歴書及び健康保険証等の写しを添付）
（３）　公園施設(遊具)の点検及び診断の資格証の写し
（４）　工程表
（５）　業務計画書
（６）　業務日報
（７）　定期点検業務報告書
（８）　業務記録
（９）　公園施設修繕計画提案書
（１０）　完了届
（１１）　その他 業務遂行上必要であると判断された書類

（その他）

第１２条　　その他業務遂行の上で疑義が生じた場合は、速やかに監督員と協議すること。また業務期間内に点検する公園施設において、業務内容を問わず緊急措置の必要が生じた場合は、監督員の指示に従い速やかに対応すること。

（参考図書）

国土交通省	都市公園における遊具の安全確保に関する指針（改訂第２版）
社団法人日本公園施設業協会	遊具の安全に関する規準　JPFA-SP-S：2014
	遊具等の定期点検業務標準積算基準　令和２年度版
愛知県建設局	土木工事標準仕様書及び土木工事現場必携

番号	公園名	所　　在	単体遊具Ａ										単体遊具Ｂ					単体遊具Ｃ								単体遊具Ｄ	複合遊具（小）	複合遊具（中）	休憩施設（東屋等）	規準・劣化点検対象公園	
			雲梯	太鼓梯子	鉄棒	象形遊具	単体スプリング遊具	シーソー	境界柵	平均台	砂場	その他	ジャングルジム	滑り台	２連ブランコ	はん登棒	その他	チェーンネットジャングル	ロープウェイ	４連ブランコ	２方向滑り台	回転滑り台	回転ジャングルジム	その他						
			基	基	基	基	基	基	基	基	基	基	基	基	基	基	基	基	基	基	基	基	基	基	m	基	基	基		
93	吾妻公園	吾妻町			1			1			1			1	1															
94	石巻川添公園	石巻町字川添				1	2							1																
95	井原公園	井原町			1				1					1	1															
96	飯村第二公園	飯村町字浜道上			1									1	1															
97	飯村高山公園	飯村町字高山									1			1	1															
98	飯村西山公園	飯村町字西山			1		1				1			1						1										
99	飯村西山第二公園	飯村町字西山			1									1																
100	飯村西山第三公園	飯村町字西山			1									1	1															
101	岩屋下公園	岩屋町字岩屋下													1															
102	岩屋下第二公園	岩屋町字岩屋下			1									1																
103	岩屋下第三公園	岩屋町字岩屋下															2													くもの巣，丸太越え
104	牛川郷道公園	牛川町字郷道			1			1						1																
105	雲谷公園	雲谷町字上ノ山			1		1																							
106	大岩北山公園	大岩町字北山					1																							
107	大岩第二公園	大岩町字東郷内			1				1					1	1															
108	大岩第三公園	大岩町字北山			1									1																
109	大岩第四公園	大岩町字北山					1	1						1																
110	大岩第五公園	大岩町字北山			1		1	1						1														1		
111	大村公園	大村町字勘太			1				1		1			1	1															
112	大脇公園	大脇町字大脇			1			1						1																
113	賀茂公園	賀茂町字比尼谷											1	1	1								1							
114	北池上公園	飯村町字北池上						1						1																
115	北裏北公園	二川町字北裏			1															1										
116	北裏西公園	二川町字北裏									1			1																
117	北裏東公園	二川町字北裏											1		1															
118	北島第二公園	北島町字北島			1						1			1	1															
119	北原公園	西口町字西ノ口			1		1																							
120	郷前公園	下条西町字郷前					2																							
121	西郷第一公園	牛川町字西郷			1						1			1	1															
122	西郷第二公園	牛川町字西郷			1			1						1																
123	西郷第三公園	牛川町字西郷									1			1																
124	下角庵公園	嵩山町字下角庵			1				1					1						1										
125	下川公園	牛川町字西側			1									1	1															
126	下地公園	下地町字野箱			1		1				1			1						1									1	
127	水神公園	東幸町字水神			1			1			1																			
128	水神第二公園	高師町字水神			1						1			1	1															
129	滝ノ谷公園	多米町字滝ノ谷			1			1						1																
130	忠興公園	忠興一丁目									1			1	1															
131	立岩公園	中原町字岩西			1		2				1			1	1															
132	寺門公園	多米町字寺門			1		1																							
133	東明公園	岩屋町字岩屋下			1			1	1		1			1	1															
134	土橋公園	西口町字土橋			1						1																			
135	長尾公園	岩崎町字長尾			1			1	1						1															
136	長山公園	東幸町字長山						1			1			1																
137	西ノ口公園	西口町字西ノ口					1		1					1	1															
138	乗小路公園	牛川町字乗小路						1			1				1															
139	乗小路第二公園	牛川町字乗小路						1						1	1															
140	乗小路第三公園	牛川町字乗小路												1																
141	乗小路第四公園	牛川町字乗小路			1			1							1															
142	乗小路第五公園	牛川町字乗小路			1			1						1																
143	火打坂公園	大岩町字火打坂									1																			
144	三ノ輪公園	三ノ輪町五丁目						1						1	1															
145	三ノ輪東公園	三ノ輪町二丁目	1		1						1									2	1									
146	向山東町公園	向山東町			1			1				1		1	1								1						1	
147	山神公園	岩崎町字山神					2								1															
148	和田辻公園	石巻本町字北市場									1				1											1				ﾀﾞﾌﾞﾙﾘﾝｸﾞｽﾗｲﾄﾞ
149	飯村公園	飯村南四丁目	1								1	2								1	1							3		健康遊具
150	小鷹野公園	西小鷹野二丁目	1					1	1		1	10					5			1	1		1					4		健康遊具
151	桜ケ丘公園	東田町字北蓮田			1		2								1													4		
152	三本松公園	東森岡二丁目	1		1	2	4		1		1	5					3			1	1						1	1		健康遊具
153	多米公園	多米中町一丁目	1		1	3		1	1		1	4								1	1					1		3		健康遊具
154	半ノ木公園	忠興三丁目	1		1	2	1	1	1		1	1		1						1	1		1			2		1		
155	東田公園	東田町									1									1						1		1		
156	牛川公園	牛川町			1		3		1				1							1						2		2		
157	牛川遊歩公園	南牛川二丁目ほか					2				1	3			1											3	2			健康器具、健康遊歩道
158	豊橋公園	今橋町			1	1	2	1			1	3	1							1	1					1		3		丸太杭、健康器具
159	幸公園	佐藤町字池下ほか							2		1	1			1			1	1							2	1	33		乱杭
160	向山緑地	向山町字池下ほか			1	14					1									1					4	1		8		
161	岩田運動公園	岩田町			1		2	1	1		1	3								1	1	1	1			1		5		ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾝ
162	岩屋緑地	大岩町字火打坂					3							1	1												1	1		
163	高山緑地	飯村北五丁目ほか	1		1						1									1		1	1			1		6		
164	大口公園	仁連木町１３６						1	1			1		1	1													1		
165	賀茂緑地	賀茂町字神山																1										2		
166	北島河川敷広場	三ツ相町三ツ相				2	2				1															1		2		
167	利兵池公園	岩田町字曽銀																										2		
168	福東緑地	山田町、牧野町																										2		
169	乗小路第六公園	牛川町字乗小路					1	1						1																
170	北部児童広場	大村町字仲川原			1										1											1				太鼓梯子付滑台
171	賀茂しょうぶ園	賀茂町字鎌田																										9		
172	鍵田児童遊園	東小池町					1		1		1			1						1										
173	忠興児童遊園	牛川町字乗小路			1		2		1					1	1															
174	東山児童遊園	大岩町字北山		1	1		1							1	1															
175	東田遊園	東田町			1			1			1			1	1															
176	石巻遊園	石巻町字金割												1						1			1							
177	石巻金田遊園	石巻町字宮裏			1			1						1	1															
178	石巻玉川遊園	石巻本町字若宮						1			1			1	1															
179	石巻中山遊園	石巻中山町字田中			1									1	1															
180	石巻西川遊園	石巻西川町字東			1									1	1															
181	石巻平野遊園	石巻平野町字炭焼		1	1									1	1								1							
182	岩屋下遊園	岩屋町字岩屋下						1						1	1															
183	上地遊園	上地町			1		2	1						1	1														1	
184	上ノ山遊園	雲谷町字上ノ山						1						1	1															

別紙11-2　安全剪定伐採業務

※豊橋公園は本業務の対象公園の１つ

仕様書

１．　業 務 名　安全剪定伐採業務１

２．　業務場所　豊橋市明海町地内　明海公園ほか

３．　業務内容　・別紙業務設計書（数量調書、特記仕様書、図面含む）のとおり
・各業務の業務場所や数量は、発注者の指示に従うこと。

４．業務期間　　令和５年１０月３１日限り

５．支払方法等　・業務完了後、一括払いとする。業務完了実績に応じて、業務設計書の概算数量を置き換えて算出の上、発注者の指示した数量による実績払いとする。
・実績報告書に基づき検査し、合格後、適法な請求に基づき、支払うものとする。
・なお、契約額を超える場合は、協議し、変更契約を行うものとする。

６．建設工事保険　請負業者賠償責任保険に加入すること。
保険契約後は証券の写しを発注者に提出すること。

７．建設業退職金共済制度
受託者は、建設業退職金共済制度に該当する場合は同組合に加入し、その掛金収納書（発注者用）を発注者に提出すること。ただし、期間内に収納書を提出できない事情がある場合においては、あらかじめその理由を書面により提出すること。

安全剪定伐採業務1　数量調書

公園名	高木伐採							軽剪定				
	60＜C	60≦C＜120	120≦C＜150	150≦C＜180	180≦C＜210	210≦C＜240	240≦C＜270	180≦C＜210	210≦C＜240	240≦C＜270	270≦C＜300	300≦C＜330
明海公園ほか	10	20	6	8	1	2	2	6	5	1	1	1
計	10	20	6	8	1	2	2	6	5	1	1	1

想定処分量　43.0t

想定木材売却量（広葉樹）　23.0t

想定木材売却量（針葉樹）　18.0t

交通誘導員A　4人

安全剪定伐採業務特記仕様書

1　業務内容

・市内の公園における生理的原因等による枯木の伐採、また、公園内の民地沿いにある樹木や込み合って植わっており安全・安心面で支障となっている樹木を剪定及び伐採し、速やかに資源化センターへ運搬・処理する。ただし木材売却を行う場合は市と協議して行うこと。

・広葉樹でφ=10～20cm 程度の枝は豊橋市で販売するため、120cm 程度に小割し、指定場所に運搬すること。なお積込箇所等について別途監督員と協議すること。

・作業の際には第三者に対する安全対策には十分配慮すること。

・作業後の切りくずの清掃は、丁寧に行うこと。

・高所作業車の運転及びチェーンソーの作業は、技能講習及び特別教育を受けた者が作業すること。

・作業に先立ち、公園内に作業予告看板を設置し、作業の際には業務看板を設置すること。終了した場合はすみやかに取り除くこと。

・以上仕様書以外のものは、愛知県工事標準仕様書を添付したものとして遵守しなければならない。

・必要に応じて、交通の安全について、関係官公庁と協議し、道路使用許可を取ること。また作業にあたっては、市民、通行者及び自動車に危険が及ばないように十分に安全対策を講じるものとし、必要に応じて交通誘導員を配置すること。

2　提出書類

・着手届
・現場代理人及び主任技術者通知書
・再委託承諾申出書（クレーン）
・再委託承諾申出書（交通誘導員）
・業務計画書

・請負業者賠償責任保険証券写し
・建設業退職金共済制度掛金収納書（発注者用）
・業務記録及び写真
・実績報告書（完了時）
・資源化センター伝票の写し
・木材売却伝票の写し
・交通誘導員の伝票の写し
・完了届

安全剪定伐採業務1位置図



別紙11-3　公園樹等管理業務

※豊橋公園は本業務の対象公園の１つ

仕様書

１．　業　務　名　公園樹等管理業務７

２．　業務場所　豊橋市今橋町地内　豊橋公園ほか

３．　業務内容　・別紙業務設計書（概算数量調書、標準仕様書、図面含む）のとおり

・各業務の業務場所や数量は、発注者の指示に従うこと。

４．　業務期間　令和６年３月１５日限り

５．　支　払　方　法　等

・上期・下期の年２回払いとする。業務完了実績に応じて、業務設計書の概算数量を置き換えて算出の上、発注者の指示した数量による実績払いとする。

・実績報告書に基づき検査し、合格後、適法な請求に基づき、支払うものとする。

・なお、契約額を超える場合は、協議し、変更契約を行うものとする。

６．　建　設　工　事　保　険

請負業者賠償責任保険に加入すること。保険契約後は証券の写しを発注者に提出すること。

７．　建設業退職金共済制度

受託者は、建設業退職金共済制度に該当する場合は同組合に加入し、その掛金収納書（発注者用）を発注者に提出すること。ただし、期間内に収納書を提出できない事情がある場合においては、あらかじめその理由を書面により提出すること。

公園樹等管理業務７　　数量調書

公園名	高木軽剪定											支障枝剪定１	支障枝剪定２	低木刈込	害虫駆除	害虫駆除（夜間）	生垣等刈込	藤剪定			公園樹積込運搬	公園樹調査
	樹高180cm以上210cm未満	樹高150cm以上180cm未満	樹高120cm以上150cm未満	樹高90cm以上120cm未満	樹高60cm以上90cm未満	樹高30cm以上60cm未満	樹高150cm以上180cm未満	樹高120cm以上150cm未満	樹高90cm以上120cm未満	樹高60cm以上90cm未満	樹高30cm以上60cm未満							夏期	冬期	施肥		
	数量（本）	数量（本）	数量（本）	数量（本）	数量（本）	数量（本）	数量（本）	数量（本）	数量（本）	数量（本）	数量（本）	数量（本）	数量（本）	数量（㎡）	数量（L）	数量（L）	数量（m）	数量（本）	数量（本）	数量（本）	数量（回）	数量（箇所）
豊橋公園																						
万場緑地																						
岩田運動公園																						
幸公園	1	1	1	2	2	2	1	1	1	2	2	15	15	200	10	10	岩田運動公園 30m	75	75	75	1	豊橋総合スポーツ公園 1箇所
高師緑地																						
豊橋総合スポーツ公園																						
ほか																						
合計	1	1	1	2	2	2	1	1	1	2	2	15	15	200	10	10	30	75	75	75	1	1

想定処分量　12.00t

公園樹等管理業務標準仕様書

１．適用

（１）この仕様書は、豊橋市都市計画部公園緑地課が発注する公園樹に関する委託業務に適用する。

（２）委託業務は、それぞれの作業に応じ、本仕様書に定める仕様に従い施行する。

（３）この仕様書に定めのない事項は、県工事標準仕様書を添付したものとして遵守しなければならない。

２．樹木管理業務内容

（１） 整姿剪定、軽剪定

① 樹形を整え、混みすぎによる病害虫の発生防止等を目的とする。

② 剪定後は清掃を行い、枝等については速やかに資源化センターへ運搬・処理すること。ただし、広葉樹でφ=10～20cm 程度の枝は豊橋市で販売するため、120cm 程度に切断し、指定場所に運搬すること。なお積込箇所等について別途監督員と協議すること。

（２） 支障枝剪定

① 樹形を整えるとともに、民地等への侵入、建築限界を侵している枝の剪定を行う。

② 受注をした範囲の公園に十分注意をはかり、除草清掃業務中に害虫を発見した場合は早急に害虫のついた枝を剪定すること。また、住民からの報告等で連絡があった場合、早急に対応すること。

③ サクラについては、太い枝を剪定しないこと。太い枝に害虫がついた場合は、かきおとしを行うこと。

④ 剪定後は清掃を行い、枝等については速やかに資源化センターへ運搬・処理すること。

（３） 低木刈込

① 公園内の見通しや防犯面を考慮し、特に道路に面している箇所については安全面に十分配慮すること。

② むやみに花芽を取ること等のないよう、樹種により刈込み時期を考慮しながら行うこと。

③ 刈込み後は清掃を行い、枝等については速やかに資源化センターへ運搬・処理すること。

（４） 藤剪定

① 剪定（夏期）

フジ棚から垂れた枝をフジ棚の端まで切り戻すこと。

業務時期：6～7 月

② 剪定（冬期）

フジ棚から垂れた枝をフジ棚の端まで切り戻すこと。

上に向いた枝をフジ棚と平行になるように誘引すること。

花芽を考慮しながら込みすぎた枝の剪定を行うこと

業務時期：1～2 月

③ 施肥

樹木の周辺に穴を掘り施肥(固形肥料 N:P:K=3:6:4)をしてから埋め戻すこと。

業務時期：12～2 月

④ その他

剪定した枝等は、速やかに資源化センターへ運搬・処理すること。

（５） 高木害虫駆除

① 病害虫の発生状況を確認後、監督員に報告し、周辺住民や施設へ周知のうえ、早急に散布できるように対応すること。

② 愛知県農薬安全使用指針等により、希釈倍率、混合の可否等に十分に注意すること。

③ 農地に隣接する公園では、農作物への影響を考慮し、風向きなど収穫作物に農薬が飛散しないよう注意すること。

④ 薬剤の種類・濃度は、使用前に監督員と協議すること。

（６） 樹木診断

① 対象樹木

公園の外周（道路沿い、民地沿い）及び園路から５ｍの範囲で、樹高５ｍ程度もしくは幹周１００ｃｍ以上の樹木は対象とする。

② 診断方法

目視にて対象樹木の幹周、部位、状態を確認する。

③ 記録方法

診断結果は、以下の記録様式に取りまとめる。

・公園樹簡易診断結果一覧表（様式―１）

④ 診断者

２人１組で行い、うち１人は樹木医、１級造園施工管理技士、２級造園施工管理技士、街路樹剪定士（一般社団法人日本造園建設業協会認定）のいずれかの資格を有する者が行う。

⑤ 作業時期

９月末まで

⑥ 緊急の措置

簡易診断において発見した構造的欠陥である「枯れ」、「亀裂」、もしくは「異常空洞」等により、緊急に措置が必要と判断される場合は、直ちに監督員へ連絡すること。

⑦ その他

①～⑥以外の作業方法については公園樹簡易診断マニュアル（豊橋市）を参照すること。

３．提出書類

（１） 着手届

（２） 現場代理人及び主任技術者通知書

（３） 農薬管理指導士に類する資格証の写し

（４） 業務計画書

（５） 請負業者賠償責任保険証券写し

（６） 建設業退職金共済制度掛金収納書（発注者用）

（７） 業務記録及び写真

（８） 資源化センター搬入伝票写し

（９） 上期実績報告書

(10) 実績報告書（完了届）

(11) 薬剤散布出来高調書

(12)　完了届

(13)　公園樹簡易診断結果一覧表

４．その他

（１）　ヤゴ(ヒコバエ)については、業務作業中に気がついた際、その都度除去すること。概ね地上から目線の範囲を対象とし、特に樹木の見た目、公園内の見通し等を考慮して除去すること。

（２）　業務内容において疑義が生じたときは、その都度、監督員と協議し、その指示に従うこと。

（３）　搬入伝票は毎月まとめて提出すること。

（４）　業務スケジュール（剪定等）は、監督員と協議し、その指示に従うこと。

（５）　業務（剪定等）の開始及び終了時は、監督員に必ず連絡すること。

（６）　監督員が指示した場合は、エリア外についても対応すること。

（７）　業務に先立ち、公園内に作業予告看板を設置し、作業の際には業務看板を設置すること。また、終了した場合は速やかに取り除くものとする。

【改訂】公園樹簡易診断マニュアル

平 成 28 年 4 月

豊橋市公園緑地課

第１章 公園樹診断概要

1―1　はじめに

本市は全国でも有数の緑あふれる街となっている。その一方で、街路樹や公園樹による事故は全国各地で後を絶たず、本市においても平成 26 年度に入り、公園樹の倒木及び枯れ枝の落下による物損事故があった。こうした樹木の事故を未然に防ぐための診断や措置は不可欠となっており、今後、公園樹の機能や効果に配慮した上で、適切な措置を行い、より安全に維持管理を行っていく必要がある。

このような状況を踏まえ、この【改訂】公園樹簡易診断マニュアル（案）は、本市が管理する公園樹について、まず、その健康状態を概括的に把握し、樹木による事故を防ぐ基礎資料とするためのものである。

1―2　目的

従来の公園樹の点検については、剪定業務などの日常業務範囲内で発見できる異常について対応してきた。しかし、公園樹の老朽化や大径木化により、事故が起こった場合大事故に至る可能性が高く、定期的な診断が必要になっている。また、近年、樹体内部の腐朽の影響による倒木事故が発生しており、腐朽病を調べる必要性が高まっている。

この様な状況を踏まえ、この公園樹診断は、樹木の構造的な欠陥及び腐朽病の感染を見つけ出し、樹木の事故を未然に防ぐための伐採等の緊急措置や今後の維持管理の基礎資料を収集することを目的として実施する。

1―3　公園樹簡易診断の位置付け

公園樹簡易診断は、樹体の欠陥を外観からの調査により、主に構造的欠陥と腐朽病の感染について診断するものである。

構造的欠陥については枯れや亀裂などを把握するものとし、腐朽病についてはキノコ（子実体）の確認などにより感染の有無を把握するものとする。

また、診断の結果により緊急に措置が必要な場合は、伐採等の措置を含め、すみやかに安全確保の措置を実施する。

第２章 公園樹簡易診断の実施

２－１　簡易診断の実施

簡易診断は、公園管理業務の担当範囲の都市公園及び遊園等とする。

２－２　簡易診断の方法

簡易診断は、全点検対象樹木について欠陥の有無を点検するものとする。

まず、各部位ごとに構造的欠陥や腐朽病の感染の有無を確認し、欠陥があった場合はその項目に×をつけ、診断結果を○×で記入する。中でも樹幹、根株の欠陥については欠陥部位の写真撮影を行う。

また、倒木、枝折れなどによる被害が予測され、早急な措置が必要と判断されるものについては、緊急性の項目に○をつけるとともに２－７に示す措置を実施するものとする。

別途、簡易診断で欠陥のあった樹木で、巨木・名木に準ずる来歴のある樹木については、樹木医による診断を検討する。

２－３　簡易診断の診断者

簡易診断は２人１組で行い、うち１人は樹木医、１級造園施工管理技士、２級造園施工管理技士、街路樹剪定士（一般社団法人日本造園建設業協会認定）いずれかの資格を有する者が行う。

２－４　簡易診断の実施時期

簡易診断は、キノコ（子実体）の発生する梅雨の時期が明けたころから枯れる秋までに年１回実施する。

２－５　診断結果の記録様式

診断結果は、以下の記録様式に取りまとめる。欠陥部位の写真については樹木番号を記載し、データにて提出する。

- 公園樹簡易診断結果一覧表（様式－１）

樹木医による診断については別途様式を定めるものとする。

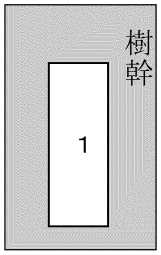
２－６　簡易診断における緊急の措置

公園樹の簡易診断において発見した構造的欠陥である「枯れ」、「亀裂」、もしくは腐朽の末期の「開口空洞」により、緊急に措置が必要と判断される場合は、直ちに監督員へ連絡し、監督員の指示により欠陥箇所の除去や伐採、もしくは保護等の措置を実施するものとする。

ただし、枝の欠陥については支障枝剪定等の通常業務内で早急に対応する。

第３章 公園樹簡易診断結果の記録方法

- 公園樹簡易診断結果一覧表（様式－１）



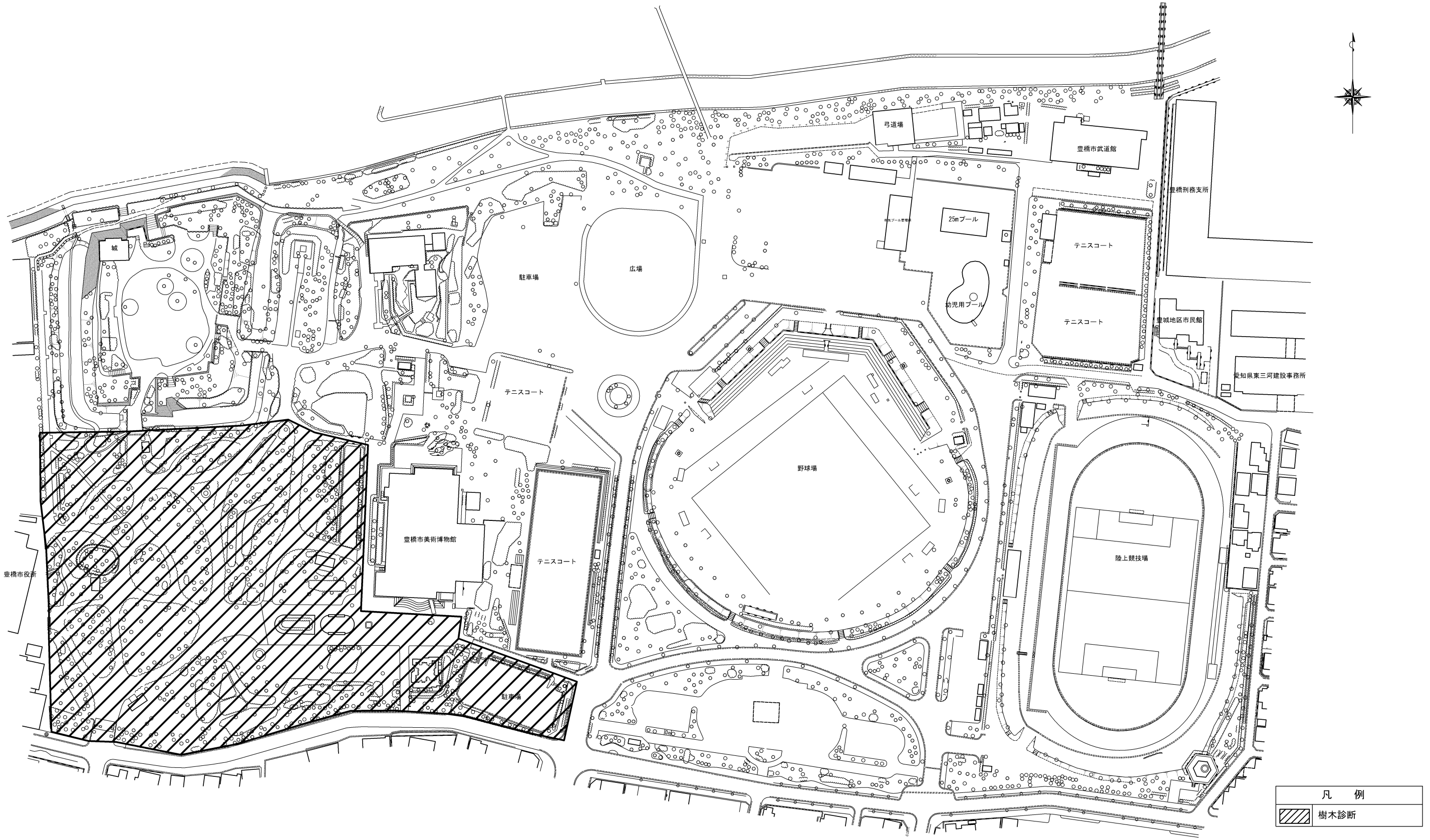
1. 樹木番号を付加し、現地の公園樹に貼り付ける。樹木番号は腐食することのない標識テープ（幅 2cm 程度）に耐光性のあるペイントマーカー相当品で樹木番号を記入した後、樹幹部分（高さ 1.5m 程度）に縦方向に貼り付ける。（右図参照）
2. 樹幹、根株に欠陥があった樹木については、欠陥部位の写真撮影を行い、データのファイル名に樹木番号を記載する。
3. 樹木番号を付加した公園樹については、様式－１に必要事項を記入する。

公園樹簡易診断結果一覧表

（様式－1）

樹木番号	公園名	診断日	診断者	樹木名	診断結果	緊急性	幹周（cm）	簡易診断																		備考
								枝						樹幹						根株						
								枯れ	亀裂	キノコ		開口空洞		枯れ	亀裂	キノコ		開口空洞		枯れ	亀裂	キノコ		開口空洞		
										コフキタケ	他キノコ	1/3未満	1/3以上			コフキタケ	他キノコ	1/3未満	1/3以上			ベッコウタケ	コフキタケ	他キノコ	1/3未満	1/3以上	
32	○○公園	H27.8.20	公園樹太郎	ケヤキ	×	○	102	×			×		×		×	×						×	×		×		※記入例
欠陥樹木数								0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

1. 枝、樹幹、根株に、枯れ、亀裂、キノコ、開口空洞の1つでも欠陥等があった場合はその項目を×とし、診断結果にも×を記入すること。
2. 欠陥等がなかった場合は、診断結果を○に記入すること。



凡　例	
	樹木診断

豊橋市今橋町地内　豊橋公園ほか

図面名称	豊橋公園 樹木診断区域平面図(1)	番号	1／3
縮尺	1/2,000	業務名	公園樹等管理業務７

豊橋市　都市計画部　公園緑地課

位置図



豊橋市都市計画部公園緑地課			
業務名	公園樹等管理業務７		
業務場所	豊橋今橋町地内　豊橋公園ほか		
図面名称	位置図	番号	１／２
		縮尺	1／50,000

別紙11-4　公園除草清掃業務

仕様書

１．　業　務　名　公園除草清掃業務７

２．　業務場所　豊橋市今橋町地内　豊橋公園

３．　業務内容　業務内容

・別紙（数量調書、特記仕様書、図面）のとおり

・各業務の業務場所や数量は、発注者の指示に従うこと。

４．　支払方法等

・上期・下期の年２回払いとする。

（ただし、上期の支払いについては、実績払いとする。）

・変更がある場合は協議し、変更契約を行い、支払うものとする。

５．　業務期間　令和６年３月１５日限り

６．　建 設 工 事 保 険

請負業者賠償責任保険に加入すること。保険契約後は証券の写しを発注者に提出すること。

公園除草清掃業務7（豊橋公園） 数量調書

月 作業内容	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備　　考
除　草（1） （2）	花交流直前						豊橋まつり直前						年６回（10，680㎡） 年４回（29，070㎡） 年３回（6，000㎡） 計 198,360㎡
除　草（3）							豊橋まつり直前						年１回（2，000㎡）
清　掃１ （ゴミ拾い）	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	年12回（68，200㎡） 計 818,400㎡
清　掃２ （ゴミ拾い） （ほうき）	1回	1回			1回	1回	1回 豊橋まつり直前	1回	1回			1回 さくらまつり 直前	年８回（46，820㎡） 計 374,560㎡
ベンチ清掃 ・看板清掃	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	年１２回

備考：　除草工（１）、（２）における除草は、肩掛式、ハンドガイド式等の草刈機と人力除草を併用する。
除草工（３）における除草は、人力除草を主とする。

想定草刈等処分量　　61,700kg

公園除草清掃業務７　特記仕様書

１．除草及び清掃業務内容

（１） 除草

① 公園内の草の状況を把握し抜き取り、刈取り、刈込み等の作業を行い、良好な状態を保つようにしなければならない。

② 抜き取り、刈取り、刈込みの雑草は、すみやかに資源化センターに運搬処理すると共に除草跡は、きれいに清掃すること。

③ 刈込みは、樹木、草花、施設等を機械で損傷しないよう注意し、刈むら、刈残しのないよう均一に刈込むこと。

④ 樹木の根際、柵のまわりなど刈込み不適当、又は不能の場所は手刈り等にて樹木及び施設を損傷しないように行うこと。

⑤ 刈込み等により、ベンチ等周辺施設が汚れた場合は、拭き取りを行うこと。

⑥ 機械刈については地区によって機械を監督員と協議すること。

⑦ 作業の際には、周辺の公園利用者、通行者、住民に対して十分に気を配り、飛び石等の安全対策を講じること。

⑧ 資源化センターへの投入に当たり、廃棄物対策課にて事業系一般廃棄物の投入許可を取ること。

⑨ 除草３は、人力の除草を主体とする。

（２） 清掃

① 清掃１は、紙屑、空き缶、枯枝、落葉、その他の不用物を除去、清掃し、すみやかに運搬処分すること。

② 清掃２は、園路及び周辺を対象とし、落ち葉等の掃き清掃も行うこと。

③ 公園内のゴミは、枯れ枝、落ち葉等散乱ゴミ（ビンカンやプラスチック類）に分別し、すみやかに資源化センターに運搬処理する。

④ それ以外のゴミについては、すみやかに監督員に報告すること。

（３） 業務時期

① 別紙のとおり

２．提出書類

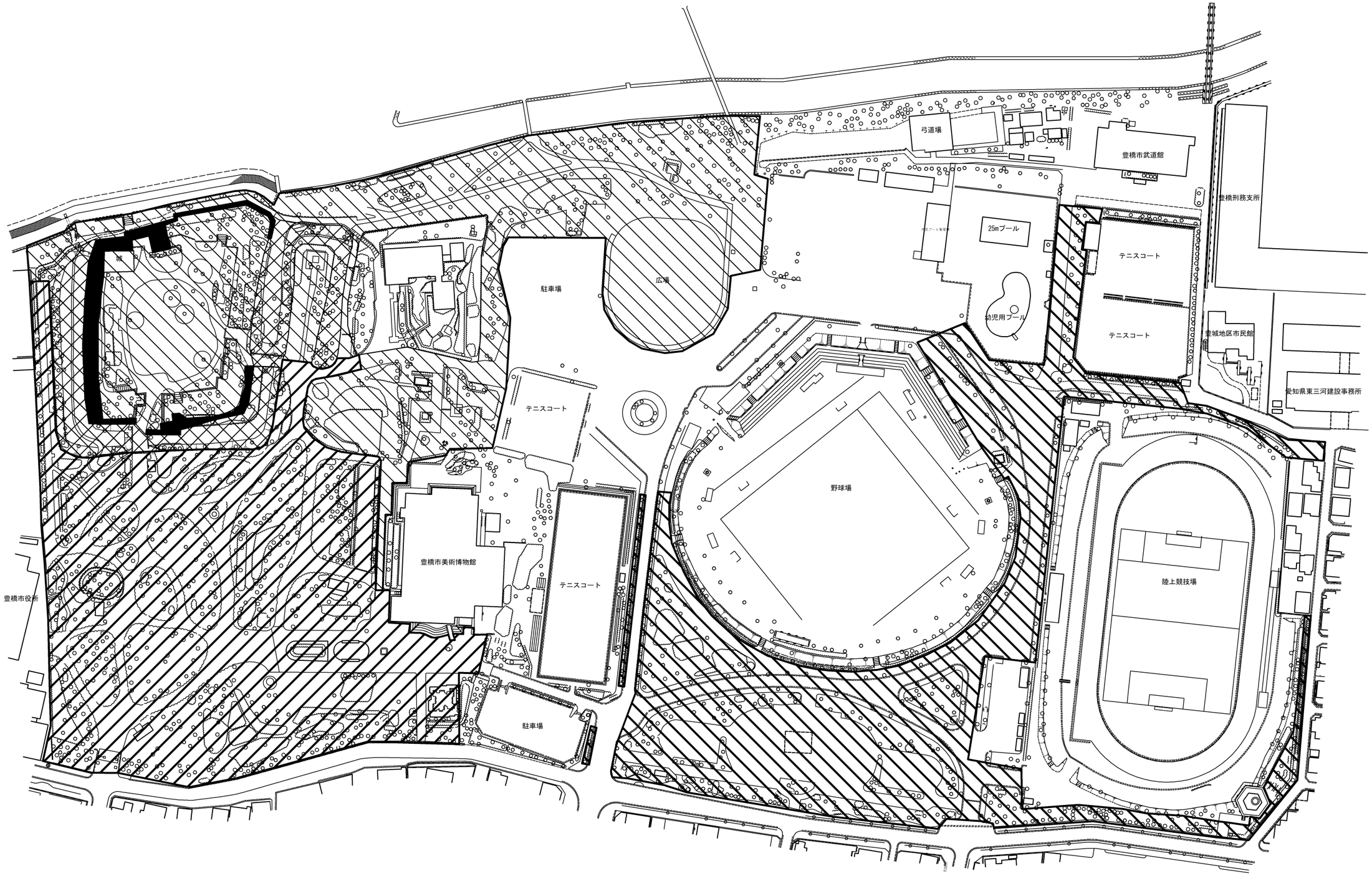
（１）　着手届
（２）　現場代理人及び主任技術者通知書
（３）　業務計画書
（４）　請負業者賠償責任保険証券写し
（５）　業務記録及び写真
（６）　資源化センター搬入伝票写し
（７）　上期実績報告書
（８）　実績報告書（完了届）
（９）　完了届

３．その他

（１）　業務(除草・清掃）に先立ち関係する自治会及び団体等と業務日程の打合せは必ずすること。
（２）　業務期間内のスケジュール（除草・清掃）を公園の出入口のフェンス等に設置し周知すること。
（３）　業務内容において疑義が生じたときは、その都度、監督員と協議し、その指示に従うこと。
（４）　業務スケジュール（除草等）は、監督員と協議し、その指示に従うこと。
（５）　業務（除草等）の開始及び終了時は、監督員に必ず連絡すること。
（６）　業務に先立ち、公園内に作業予告看板を設置し、作業の際には業務看板を設置すること。また、終了した場合は速やかに取り除くものとする。
（７）　本業務に必要な機械、器具、資材等は契約金額に含まれるものとする。
ただし､処理費については､豊橋市廃棄物の処理及び再利用に関する条例(平成５年条例２０号)第２０条により､豊橋市資源化センターに搬出することとし､実績に基づき同条例３０条に定める１５０円/１０ｋｇを支払うものとする。業務委託金額は、投入予定量分の投入料金を含めて算出すること。

想定草刈処分量　　６１，７００ｋｇ

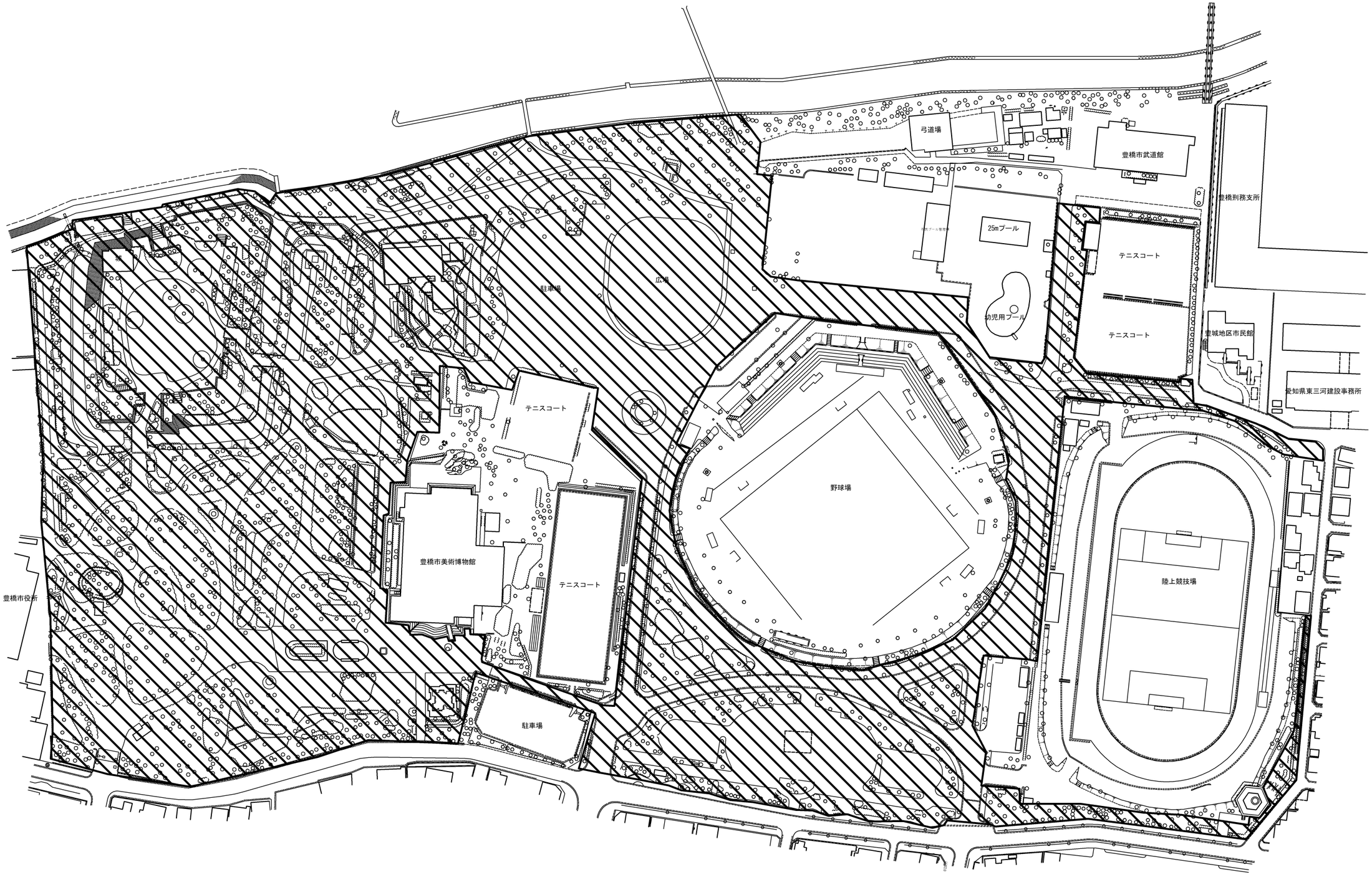
（８）　以上の内容以外のものは､愛知県工事標準仕様書を添付したものとして遵守しなければならない。



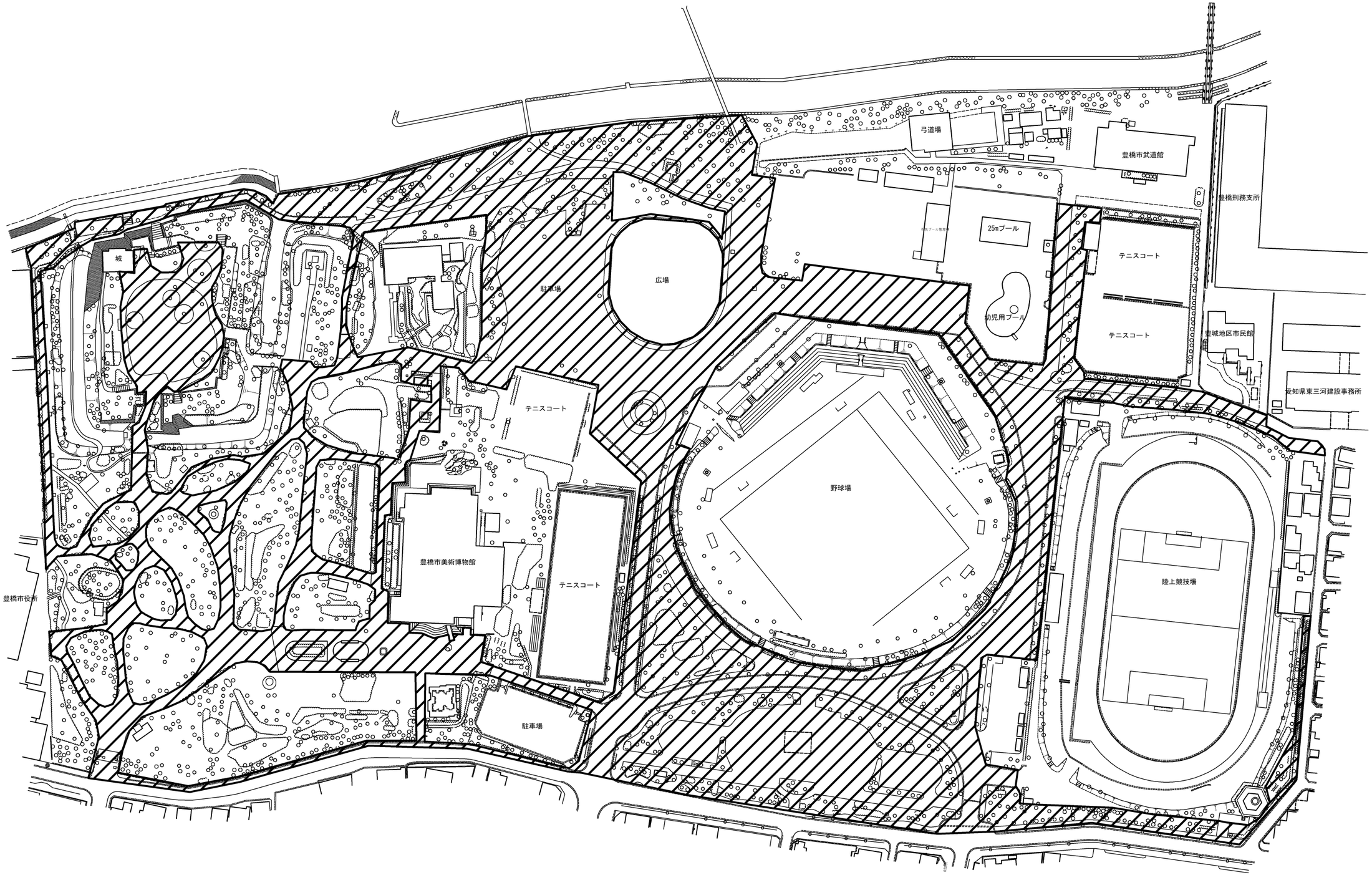
凡　例	
	除草工（１）年６回
	除草工（２）年４回
	除草工（２）年３回
	除草工（３）年１回

0　50　100m

豊橋市今橋町地内　豊橋公園			
図面名称	除草区域平面図	番号	1／3
縮尺	1/2,000	業務名	公園除草清掃業務７
豊橋市　都市計画部　公園緑地課			



豊橋市今橋町地内　豊橋公園			
図面名称	清掃（１）区域平面図	番号	2／3
縮尺	1/2,000	業務名	公園除草清掃業務７
豊橋市　都市計画部　公園緑地課			



豊橋市今橋町地内　豊橋公園			
図面名称	清掃（２）区域平面図	番号	3／3
縮尺	1/2,000	業務名	公園除草清掃業務７
豊橋市　都市計画部　公園緑地課			

別紙11-5　公園便所清掃業務

※豊橋公園は本業務の対象公園の１つ

公園便所清掃業務２
仕様書

１．業　務　名　　公園便所清掃業務２

２．業 務 場 所　　豊橋市今橋町地内　豊橋公園ほか

３．業 務 内 容　　別紙仕様書のとおり

４．業 務 期 間　　2023 年 5 月 1 日から 2024 年 4 月 30 日まで

５．支 払 方 法　　上期（5 月～10 月）と下期（11 月～3 月）と４月とする。

公園便所清掃業務２仕様書

１．目的

公園便所の衛生的な環境を確保し、また、異常箇所について早期に発見することにより、施設利用者に安全で快適な環境を提供する。

２．業務場所

別紙箇所一覧表による。

３．一般事項

・受託者は、業務の実施にあたって、現場責任者を定めること。
・現場責任者は、受託者と直接的かつ恒常的な雇用関係があることとし、受託者は、現場責任者届にこれを確認するための書類を添付して提出すること。
・受託者は、業務の実施にあたって業務計画書を作成し、監督員の承諾を得るものとする。なお、業務計画の内容を変更する場合は、監督員と協議の上、変更箇所について再提出すること。
・受託者は、作業員を必要な人数配置すること。
・作業中は、公園利用者及び周辺住民に迷惑をかけることや危険の及ぶことがないように配慮すること。
・作業中は、便所の出入り口付近等に清掃中であることを看板等で表示すること。
・薬品の使用時は、利用者が立ち入れない様にすると共に、看板等により表示すること。
・業務箇所間の移動の際は、安全に配慮し交通法規を遵守すること。なお、作業中、移動中に関わらず、万が一業務中に事故等が生じた場合は、速やかに警察、消防等に連絡し必ず監督員に報告すること。
・毎月、月締めで、業務実績報告書、業務実施報告書及び業務写真帳（日常清掃については、各便所につき清掃前・清掃後を月１回以上、重点清掃については毎回、撮影してまとめたもの）を作成し、翌月 10 日までに提出すること。写真の撮影箇所については以下のとおりとする。

① 日常清掃
・小便器、大便器を問わず代表箇所１箇所

② 重点清掃
・小便器の着脱トラップ、目皿
・小便器周りの床
・床や壁、天井等、日常清掃で撮影しない箇所

・土、日曜日、祝日の作業における連絡先は市役所夜間休日窓口とする。

４．業務内容

○日常清掃

（１）清掃内容
・以下の項目に留意し、日常的な利用に耐えうる清掃を行うことである。

（２）清掃日及び回数
・別紙箇所一覧表に示した便所について、同表に掲げる週１回～３回の通常清掃及び指定日の清掃を行うこと。

・指定日はなるべく午後に清掃をおこなうこと。
・通常清掃の予定日は、各公園とも土・日曜日を除いた曜日に固定して計画し、連続した日には清掃しないこと。
・公園内での行事等により、監督員から清掃日時の指定がある場合は、これに従うこと。

（３）清掃方法

以下の項目に留意して清掃すること。

①便器等

・便器用のブラシ類と必要に応じて洗剤を使用して洗浄し水洗いすること。
・便器の外側については水洗い後、便器用の雑巾等で拭きとりすること。
・便座については洗剤を吹き付けて雑巾等で拭き掃除すること。

②洗面台

・必要に応じて洗剤とブラシ等で洗浄した後、雑巾等で拭き取りすること。
・鏡がある場合は濡れた雑巾等で汚れをとり空拭きで仕上げること。

③壁、扉、窓

・必要に応じて洗剤を使い、雑巾等で拭き掃除すること。

④床

・ホウキ等でごみを掃除した後、デッキブラシ等により水拭きし、最後にモップ等で十分に水を拭き取ること。
・掃除道具入れの床も清掃すること。

⑤天井・外部

・天井や外壁の他、照明灯、窓などに汚れや蜘蛛の巣等がある場合には除去すること。
・犬走上や便所の直近にごみがある場合には回収すること。

（４）その他

・使用する洗剤は人体への影響や環境に配慮したものであり、便器並びに浄化槽（微生物含む）等に損傷等を与えないものを使用すること。

〇重点清掃

（１）清掃内容

・薬品等を用いて、主に臭いの元となる強固に付着した汚れ（尿石や黒ずみ）を除去することにより、快適な利用が可能な様に入念に清掃をすること。

（２）清掃時期及び回数

・別紙箇所一覧表に示した便所について同表に掲げる回数を行うこと。ただし、２回以上回数がある箇所については、前回から２カ月程度開けること。
・予定日は、日常清掃とは別日とし、土・日曜日を除いた曜日に清掃すること。
・公園内での行事等により、監督員から清掃日時の指定がある場合は、これに従うこと。

（３）清掃方法

①便器、床等

・小便器の着脱トラップ、目皿、小便器周りの床に付着した尿石を、薬品等を用いて除去すること。
・浄化槽の便所については、薬品の使用量を可能な限り抑えること。また、十分に洗浄水で流すこと。

②洗面台

・洗剤とブラシ等で洗浄した後、雑巾等で拭き取りすること。

③壁、扉、窓

・洗剤を使い付着した汚れを除去し、雑巾等で拭き掃除すること。

④天井・外部

・洗剤を使い天井や外壁の他、照明灯、窓等の汚れを除去すること。

〇指定日

下記については指定日とするので、監督員からの指示がない限り、その日に清掃を行うこと。

①高師緑地

2023年　５月　８，１５，２２，２９
　　６月　５，１２，１９，２６
　　７月　３，１０，１７，２４，３１
　　８月　７，１４，２１，２８
　　９月　４，１１，１８
　１０月　２，１６，３０
　１１月　１３，２７
　１２月　１１，２５
2024年　１月　８，２２
　　２月　５，１９
　　３月　４，１８
　　４月　８，１５，２２，２９

②松葉公園

2023年　１０月　１５，１６

③神明公園

2023年　１０月　１５，１６

④豊橋公園

2023年　５月　３，４、５、８，１５，２２，２９
　　６月　５，１１，１２，１８，１９，２５，２６
　　７月　３，１０，１７，２４，３１
　　８月　７，１４，２１，２８
　　９月　４，１８
　１０月　２，９，１５，１６，２３，３０
　１１月　１３，２７
　１２月　１１，２５
2024年　１月　８，２２
　　２月　５，１９
　　３月　１１，２５
　　４月　８，１５，２２，２９

５．報告、その他

・洗剤及び薬品の使用や廃棄物処理については、法令を遵守すること。

・使用する薬品は便器等に損傷等を与えないものを使用すること。

※薬品例　酸性製品、アルカリ性製品、フッ化水素製品等
　　参考製品名：中性マルチクリーナー（シーバイエス㈱）

ＳＲ＃２００（㈱ユーホーニイタカ）
アシッド（㈱スマート）
ドメスト（ユニリーバ・ジャパン㈱）
デオライト-L（和協産業㈱）
ピーピースルー（和協産業㈱）

・清掃作業には業務実施報告書を携帯すること。清掃完了後の良好な状態を確認し、必要事項を記入すること。
・清掃作業確認表を各便所の利用者から見やすい場所に掲げ、清掃完了後、必要事項を記入すること。なお、いたずら等により紛失・破損した場合は、速やかに新しい確認表を掲げること。
・清掃作業で使用する資材・消耗品（トイレットペーパーを含む）は受託者の負担とする。トイレットペーパーに関して、箇所一覧表に記載されている数量以上を補充すること。
・清掃作業時に使用する水道水及び照明は、便所内の水栓及び電源を利用してよいものとするが、節水及び節電に十分に配慮すること。
・箇所一覧表のトイレットペーパー欄に印のある箇所については、トイレットペーパーを補充すること。ただし、いたずらの多発など公園の利用状況によっては、監督員からの指示により変更することがある。
・トイレットペーパーはシングルロール５５ｍ、幅１１４ｍｍ、芯付きを使用すること。

６．点検

（１）点検作業

各業務箇所において、毎回の清掃を行う前に施設点検を行うこと。

（２）報告

・点検結果に問題がなければ、業務実施報告書にチェックすること。
・建物及び器具等に異常が認められた場合は、簡単な管詰まりなど軽微なものはその場で対応し、対応できないものは速やかに監督員に連絡し指示に従うこと。なお、軽微なものも含め、その内容・経過について業務実施報告書に記載すること。
・便器の詰まりが抜けない、施錠できないなど、使用に耐えないと判断できる場合は、便房あるいは便所の入口等に公園緑地課から支給された使用禁止の張り紙を貼り封鎖すること。
・業務箇所内の便所以外の施設についても、業務中に異常を発見したときには、速やかに監督員に連絡すること。

７．提出書類

① 着手届
② 現場責任者届
③ 業務計画書
④ 業務実績報告書
⑤ 業務実施報告書
⑥ 業務写真帳
⑦ 完了届

（協議）

この仕様書に定めなき事項、または本業務の履行にあたり疑義が生じた場合は、監督員と協議すること。

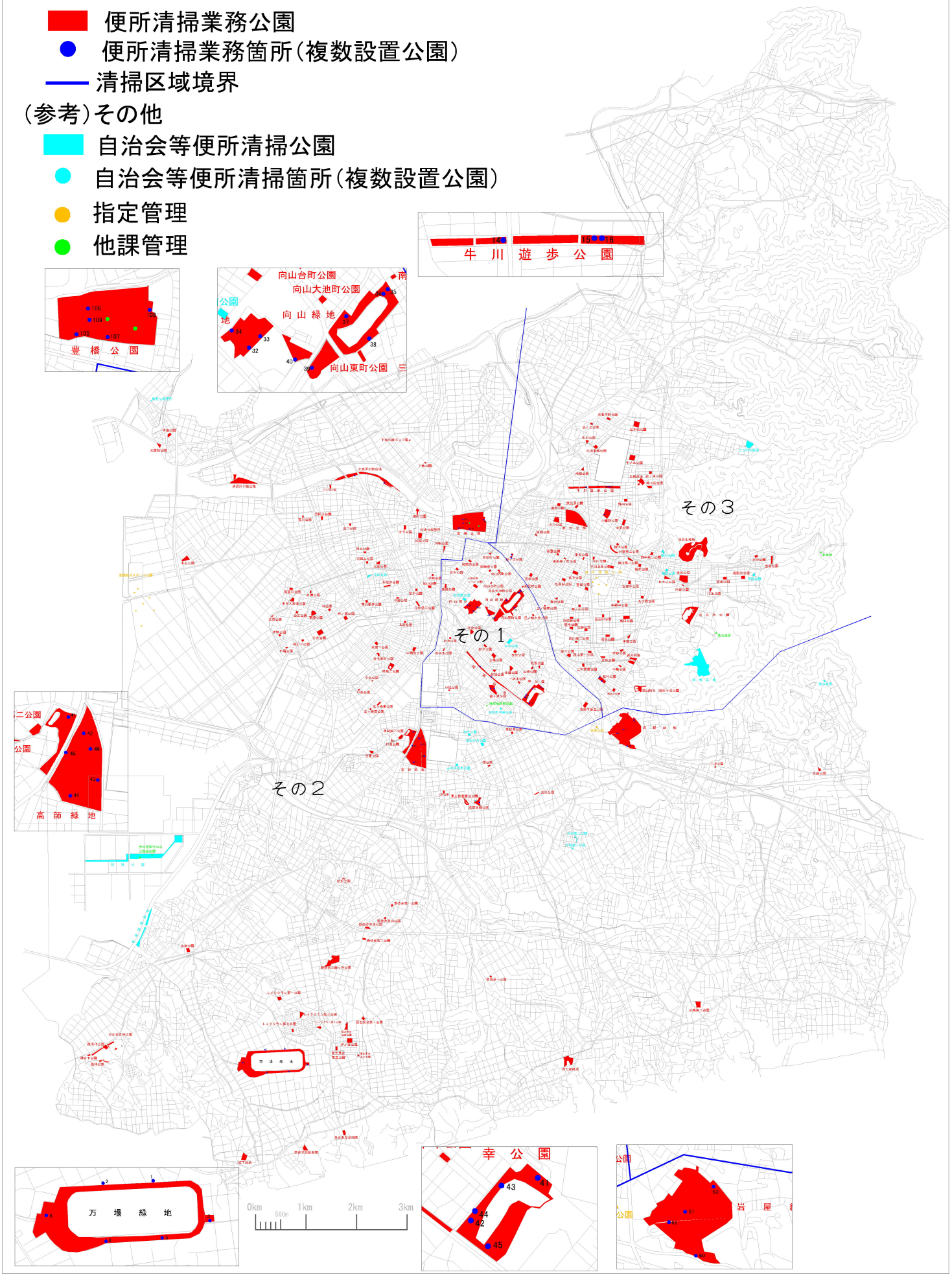
公園便所清掃業務２　　箇所一覧表

番号	公　園　名	浄化槽	多機能便房	ﾄｲﾚｯﾄﾍﾟｰﾊﾟｰ	大便器数	小便器数	規模	通常清掃回数/週	指定日回数/年	重点清掃
1	万場緑地（北東）	○		○	2	1	小	2		
2	万場緑地（北西）	○		○	2	1	小	2		
3	万場緑地（東）	○		○	2	1	小	2		
4	万場緑地（南西）	○	○	○	2	1	中	2		
5	万場緑地（南東）	○		○	2	1	小	2		
6	万場緑地（西）	○		○	2	1	小	2		
7	東赤沢児童遊園	○		○	1	1	小	1		
8	西赤沢児童遊園				1	1	小	1		
9	城下緑地				1	1	小	1		
10	野依台第一公園				1	1	小	1		
11	野依台西山公園				1	1	小	1		
12	野依台中央公園				3	1	中	1		
13	野依台第二公園				1	1	小	1		
14	野依台上藤ケ谷公園				3	1	中	1		
15	蛸沢公園	○		○	1	1	小	1		
16	レイクタウン第一公園				1	1	小	1		
17	レイクタウン第三公園				3	1	中	1		
18	レイクタウン第七公園				1	1	小	1		
19	レイクタウン第十公園				1	1	小	1		
20	富士見台第一公園				1	1	小	1		
21	富士見台第二公園				1	1	小	1		
22	富士見台第三公園				1	1	小	1		
23	富士見台第四公園				1	1	小	1		
24	坪ノ谷公園			○	3	1	中	1		
25	豊美第一公園				2	1	小	1		
26	西南代公園				2	1	小	1		
27	西林公園				2	1	小	1		
28	神吉下公園				2	1	小	1		
29	杉山多目的広場		○		4	1	大	1		
30	老津公園	○		○	1	1	小	1		
31	中央公園				1	2	小	1		
32	下地公園				1	1	小	1		
33	下地中継ポンプ場				1	1	小	1		
34	宇塚公園				2	1	小	1		
35	元屋敷公園				2	1	小	1		
36	清渕河川敷広場	○		○	3	2	中	1		
37	雲谷遊園				1	1	小			1
38	二川公園	○		○	1	1	小	1		
39	立岩公園				2	1	小			1
40	西七根緑地				1	1	小	1		
41	小島第二遊園	○		○	2	1	小	1		
42	高師緑地（空港側）		○	○	6	2	大	2	37	
43	高師緑地（丸便所）		○	○	8	4	大	2	37	
44	高師緑地（東南側）			○	5	2	大	2	37	
45	高師緑地（老人ｾﾝﾀｰ側）		○	○	6	2	大	2	37	
46	高師緑地（潮美線側）		○	○	6	2	大	2	37	
47	高師緑地（家庭館南）		○	○	6	2	大	2	37	
48	天伯第三公園				1	1	小			1
49	浜池公園	○	○	○	2	1	中	1		
50	笠松北公園				1	1	小	1		
51	弥生公園		○		1	1	小			1
52	畑公園				1	1	小	1		
53	東上紫雲尾池公園		○		3	1	中	2		
54	上野公園				2	1	小	1		
55	高師本郷公園（東）			○	1	1	小	1		
56	川西公園				1	1	小	1		
57	寺東公園				1	1	小	1		
58	草間第二公園				1	1	小	1		
59	岩屋緑地（南駐車場）	○	○	○	6	2	大	2		
60	岩屋緑地（頂　上）	○		○	3	1	中	2		
61	岩屋緑地（花見広場）	○	○	○	5	2	大	2		
62	岩屋緑地（北駐車場）			○	2	1	小	1		
63	湊町公園				3	3	中	1		
64	守下公園				2	1	小	1		
65	中柴公園				1	1	小	1		
66	松山公園				1	1	小	1		
67	礼木公衆便所				2	1	小	3		
68	松葉公園		○	○	7	4	大	3	2	1
69	神明公園				3	2	中	3	2	
70	百北公園				1	1	小	1		
71	大塚公園				3	2	中	2		
72	羽田上公園				2	1	小	2		
73	花田公園				1	1	小	1		
74	羽根井公園				3	2	中	2		
75	南羽根井公園				1	1	小	2		
76	吉川公園				1	1	小	1		
77	三ツ相公園				1	1	小	1		
78	苗口公園				1	1	小	1		
79	吉田方公園		○		1	1	小	1		
80	大西公園				2	1	小	1		
81	橋口下公園				2	1	小	1		
82	外神公園				2	1	小	1		
83	作神公園				2	1	小	1		
84	公文公園				2	1	小	1		
85	市場公園				2	1	小	1		
86	真宮口公園				2	1	小	1		
87	牟呂大海津公園		○	○	4	2	大	2		
88	入船公園				1	1	小	1		
89	花中公園				1	1	小	1		
90	花中第二公園				2	1	小	1		
91	小浜公園				1	1	小	1		
92	柱第一公園				1	1	小	1		
93	柱第二公園				1	1	小	2		
94	柱七番町公園				2	1	小	1		
95	中浜公園				1	1	小	1		
96	中郷公園				2	1	小	1		
97	中輝良公園				2	1	小	1		
98	王ケ崎西公園				2	1	小	1		
99	王ケ崎東公園				2	1	小	1		
100	北島河川敷広場（東）				2	1	小	1		
101	北島河川敷広場（西）				2	1	小	1		
102	東脇公園				1	1	小	2		
103	林公園				2	1	小	1		
104	井ノ瀬公園				1	1	小	1		
105	豊橋公園（正面）		○	○	7	3	大	1	45	1
106	豊橋公園（三ノ丸）			○	3	1	中	2	45	1
107	豊橋公園（児童広場）			○	3	3	中	2	45	1
108	豊橋公園（武道館入口）			○	2	1	小	2	45	1
109	豊橋公園（美博西）			○	6	3	大	2	45	1
110	行者公園				1	1	小	2		

合計	便所（大）	1614	回/年
	便所（中）	1340	回/年
	便所（小）	4777	回/年
	ﾄｲﾚｯﾄﾍﾟｰﾊﾟｰ	5500	ロール
	重点清掃（大）	3	箇所
	重点清掃（中）	2	箇所
	重点清掃（小）	5	箇所

公園便所清掃業務箇所位置図

便所清掃業務公園
便所清掃業務箇所（複数設置公園）
清掃区域境界
（参考）その他
自治会等便所清掃公園
自治会等便所清掃箇所（複数設置公園）
指定管理
他課管理



別紙13　施設の利用状況

	令和元年度	令和２年度	令和３年度
開館日数	307日	271日	305日
利用者数			
a.市民プール	12,140人	8,890人	12,625人
b.武道館	81,287人	45,308人	55,199人
c.豊橋球場	60,863人	18,822人	20,522人
d.陸上競技場	83,457人	37,190人	64,849人
e.硬式庭球場	9,906人	9,110人	10,929人
f.軟式庭球場	35,600人	22,985人	30,901人

豊橋市総合体育館の興行等利用状況

	利用月日	利用日数	行事名	興行日数
令和元年度	4月4日～6日	3	2018-19　B1リーグ戦	2
	4月9日～11日	3	2018-19　B1リーグ戦	1
	4月23日～27日	5	ゴールボール　リトアニア代表合宿及び親善試合	1
	4月29日	1	ゴールボール　リトアニア代表合宿及び親善試合	
	5月3日～4日	2	ゴールボール　リトアニア代表合宿及び親善試合	
	6月23日	1	武道祭	1
	9月18日～20日	3	ドイツテコンドー代表合宿	
	10月15日～17日	3	2019-20　B1リーグ戦	1
	11月1日～3日	3	2019-20　B1リーグ戦	2
	12月10日～12日	3	2019-20　B1リーグ戦	1
	12月14日～17日	4	2019-20　B1リーグ戦	2
	12月28日～30日	3	2019-20　B1リーグ戦	2
	1月14日～16日	3	2019-20　B1リーグ戦	1
	1月24日～26日	3	2019-20　B1リーグ戦	2
	2月14日～16日	3	2019-20　B1リーグ戦	2
	3月13日～15日	3	2019-20　B1リーグ戦（無観客試合）	2
	合計	46		20
令和2年度	10月9日～11日	3	2020-21　B1リーグ戦	2
	10月20日～22日	3	2020-21　B1リーグ戦	1
	10月27日～29日	3	2020-21　B1リーグ戦	1
	10月30日～11月1日	3	第22回Wリーグ（女子バスケットボール）　豊橋大会	2
	11月10日～12日	3	2020-21　B1リーグ戦	1
	12月18日～20日	3	2020-21　B1リーグ戦	2
	1月22日～24日	3	2020-21　B1リーグ戦	2
	1月26日～31日	6	2020-21　B1リーグ戦	2
	2月12日～14日	3	2020-21　B1リーグ戦	2
	2月26日～28日	3	2020-21　B1リーグ戦	2
	3月2日～4日	3	2020-21　B1リーグ戦	1
	3月19日～21日	3	2020-21　B1リーグ戦	2
	3月23日～25日	3	2020-21　B1リーグ戦	1
	合計	42		21
令和3年度	4月2日～4日	3	2020-21　B1リーグ戦	2
	4月13日～15日	3	2020-21　B1リーグ戦	1
	4月23日～25日	3	2020-21　B1リーグ戦	2
	10月26日～28日	3	2021-22　B1リーグ戦	1
	11月9日～11日	3	2021-22　B1リーグ戦	1
	12月3日～5日	3	2021-22　B1リーグ戦	2
	12月10日～12日	3	2021-22　B1リーグ戦	2
	12月17日～19日	3	2021-22　B1リーグ戦	2
	12月24日～26日	3	第23回Wリーグ（女子バスケットボール）　豊橋大会	2
	12月28日～30日	3	2021-22　B1リーグ戦	1
	2月1日～3日	3	2021-22　B1リーグ戦	1
	2月4日～7日	4	Tリーグ（女子卓球）	3
	3月4日～6日	3	2021-22　B1リーグ戦	2
	3月18日～20日	3	2021-22　B1リーグ戦	2
	3月22日～24日	3	2021-22　B1リーグ戦	中止
	3月29日～31日	3	2021-22　B1リーグ戦	1
	合計	49		25

別紙15　委託業務一覧（綜合運動場）、陸上競技場修繕履歴

委託業務一覧（綜合運動場）

番号	委　託　業　務　名	委　　託　　の　　内　　容
1	清掃業務	武道館塩ビシート床ワックス他年4回、屋外トイレ（豊橋球場東側１か所週1回年間52回、軟式庭球場1か所週1回年間52回）、綜合運動場噴水年1回
2	清掃業務	豊橋球場西側トイレ週2回(年間104回)、陸上競技場西側トイレ週２回（年間104回）、陸上競技場屋内トイレ２週に1回（年26回）
3	清掃業務	東田球場西側トイレ週１回(年５２回)
4	草刈等業務	東田球場　スタンド（草刈・刈込年3回）本部席周り（樹木刈込年1回・除草年3回）運動広場２施設（薬剤散布年3回）
5	草刈業務	陸上競技場　豊橋球場　年２回
6	自家用電気工作物保安管理業務	武道館　　Ａ点検隔月、　Ｂ点検年１回
7	自家用電気工作物保安管理業務	陸上競技場　　Ａ点検月１回　　Ｂ点検年１回
8	自家用電気工作物保安管理業務	豊橋球場　　Ａ点検月１回　　Ｂ点検年１回
9	自家用電気工作物保安管理業務	軟式庭球場　　Ａ点検隔月、　　Ｂ点検年１回
10	自家用電気工作物保安管理業務	東田球場　Ａ点検月１回　　Ｂ点検年１回
11	防火対象物点検業務	陸上競技場　　消防法８条２の２に定める点検業務
12	綜合運動場警備委託業務	ＳＰアラームシステム（毎日午後１０時～翌朝６時、月曜・休日・年末年始２４時間、火災警備２４時間）
13	武道館警備委託業務	ＳＰアラームシステム（毎日午後１０時～翌朝６時、月曜・休日・年末年始２４時間、火災警備２４時間）
14	陸上競技場警備委託業務	ＳＰアラームシステム（毎日午後６時半～翌朝７時、月曜・休日・年末年始２４時間、火災警備２４時間）
15	事業系一般廃棄物収集運搬業務	綜合運動場　年15回
16	スコアボード保守点検業務	豊橋球場　各種機器の保守点検　年１回
17	芝生管理業務	陸上競技場　薬剤散布、除草、殺虫、殺菌、施肥化成、緩効性他
18	陸上競技場備品保守点検業務	日本陸上競技連盟の「陸上競技場公認に関する細則」で定められた対象機器（写真判定装置、超音波風速計等）の保守点検　年１回
19	貯水槽清掃業務	武道館清掃、消毒、点検　年１回
20	消防用設備等保守点検業務	武道館・弓道場、陸上競技場　消防法施行規則第３１条第４項に定める保守点検　年２回（９月、３月）
21	低酸素制御装置保守点検業務	陸上競技場
22	公共建築物等定期点検 （建築基準法１２条の規定に基づく定期調査）	各対象施設　　建築物１回/３年（前回R１実施）、建築設備等１回/年

陸上競技場関連

修繕履歴

番号	年　　度	修　繕　内　容
1	平成29年度	陸上競技場スタンド改築、フィールド改修、クロスカントリーコース整備
2	令和元年度	フィールド内フェンス補修
3	令和２年度	陸上競技場走路張替（約10年に1回張替が目安） 備品更新（棒高跳び用マットほか）
4	令和２年度	陸上競技場汚水排水ポンプ取替修繕

今後想定される工事等

1	令和８年度（以後５年ごと予定）	第３種公認検定
2	令和15年度	陸上競技場スタンド　予防保全工事

別紙 16
豊橋公園文化・運動・社会教育施設特別用途地区建築条例の基本的な考え方

豊橋公園文化・運動・社会教育施設特別用途地区建築条例の基本的な考え方

目　次

１．はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

２．豊橋公園文化・運動・社会教育施設特別用途地区
　　建築条例（仮称）の骨子・・・・・・・・・・・・・４

３．参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

1.　はじめに

豊橋公園は、昭和 22 年５月に都市計画決定され、昭和 23 年８月には豊橋球場（野球場）が、昭和 24 年 11 月には陸上競技場が建設され、その他にもテニスコート、武道館、美術博物館などが整備されてきました。令和４年５月にはこの豊橋公園を多目的屋内施設の整備計画地として選定し、多目的屋内施設整備基本計画においては、整備に向けての基本的な考え方をまとめています。

現在の用途地域は、第一種住居地域であり、観覧場や一定規模以上の公園施設の建築が制限されています。

こうした制限があるなかで、周辺の住環境に与える影響を抑えながら、文化・運動・社会教育機能を充実していくにあたり、この用途の利便の増進や環境の保護等を図るため特別用途地区を定めることが妥当であると考えています。

また、この都市計画と併せ、建築基準法に基づく、建築物の用途に係る制限の緩和とこれに伴う建築物の制限を定める建築条例の制定が必要です。

このように特別用途地区を定め建築条例を制定することにより、文化・運動・社会教育施設の集約が進み、にぎわいと活気に満ちた東三河の中心にふさわしい拠点の形成につながるものと考えています。

２．　豊橋公園文化・運動・社会教育施設特別用途地区建築条例(仮称)の骨子

（１）目的

建築基準法第 49 条第２項及び第 50 条に基づき、豊橋公園の特別用途地区における建築物の用途の制限を緩和し、これに伴う当該建築物の制限に関し必要な事項を定め、その地区の指定の目的を実現することを目的とする。

（２）適用区域

都市計画法第 20 条第 1 項の規定により告示された豊橋公園の特別用途地区。

（３）建築物に対する用途制限の緩和

①(２)の区域内のうち家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）を除く区域は、次の用途の建築物を対象として緩和する。

観覧席を有する運動施設、劇場、音楽堂、演芸場、展示場、集会場（市民館を除く。）及び美術館又は博物館

②(２)の区域内は、次の用途の建築物を対象として緩和する。

屋外運動場に付属する観覧席

③(２)の区域内における観覧席の用途に供する部分の床面積の合計は、10,000 ㎡以下とする。

（４）建築物の構造等に関する制限

特別用途地区内において、（３）に掲げる用途の建築物の建築制限の緩和に際して制限する事項。

①建築物の構造等

ア．建築物の外壁、屋根、開口部の構造について、遮音性能を有するものとすること。

イ．建築設備のうち、屋外に影響する照明設備及び音響設備は、当該建築物以外への影響を抑制した設備とすること。

②建築物の壁面の位置

ア．特別用途地区の境界線より 20m以上を確保すること。

（５）施行時期

この条例は、特別用途地区に関する都市計画の決定の告示の日と同日の施行を予定。

３．参考資料

（１）特別用途地区の種類

文化・運動・社会教育施設特別用途地区（案）

（２）特別用途地区の区域設定

特別用途地区の区域は、都市計画公園（総合公園）として定めた豊橋公園の区域（約２２．４ｈａ）を予定しています。（下図参照）

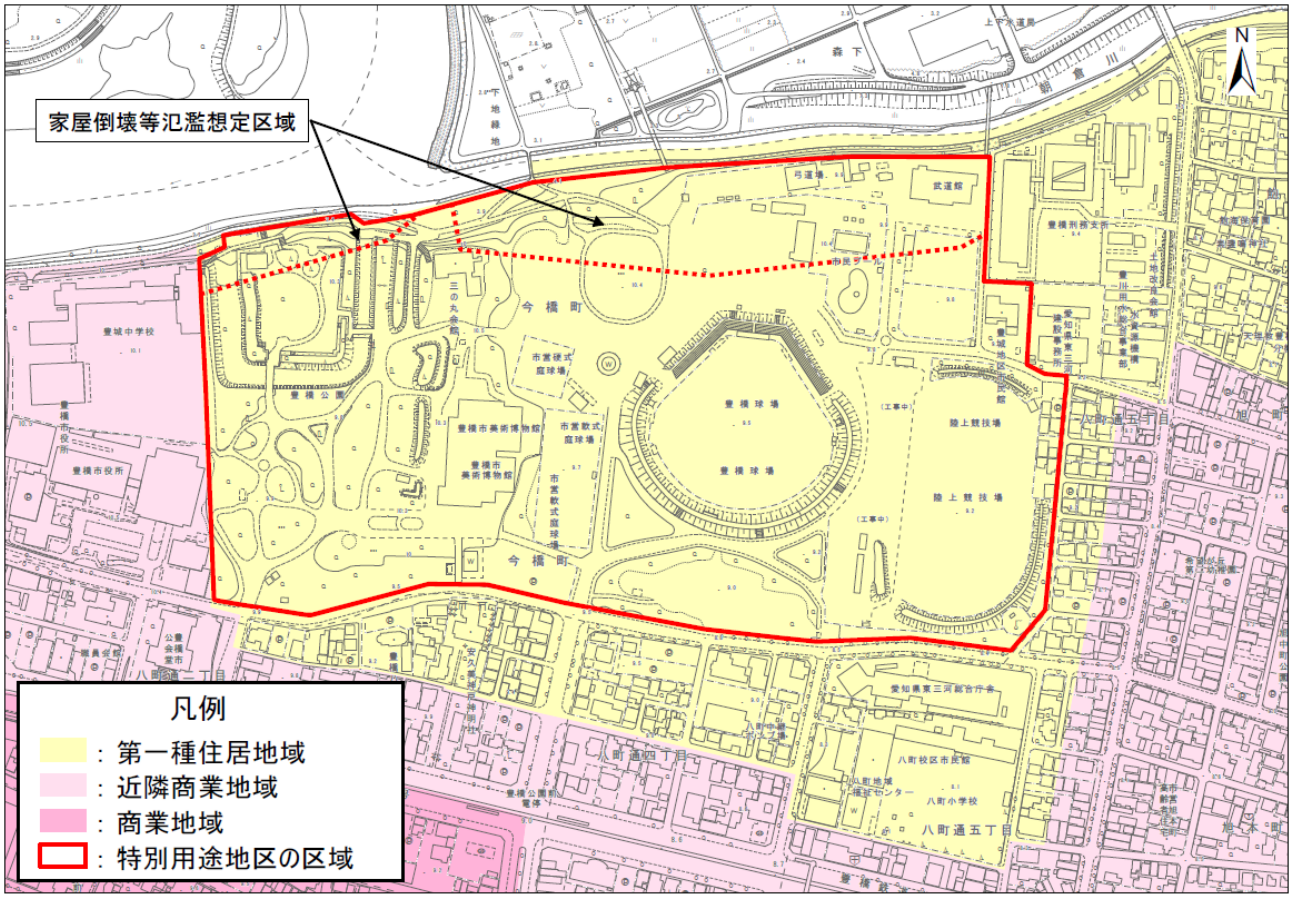


図　特別用途地区の区域

（３）特別用途地区及び建築条例のスケジュール（予定）

項　目		令和5年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特別用途地区	県協議						―		―				
	都市計画案の縦覧							―					
	都市計画審議会								●				
	告示									●			
建築条例	パブリックコメント						―						
	大臣承認手続き							―	―				
	議決・公布									●			

※建築条例（案）の上程は、令和５年 12 月の議会を予定しています。

別紙 17　公園基盤施設の防災に関する資料

豊橋公園は地域・地区防災活動拠点として位置づけている。

災害時には、受援のための自衛隊、警察、消防などの応援部隊や救援物資等を受け入れる防災活動拠点として、豊橋公園内の各施設にはその役割がある。（下記　※既存施設　参照）

豊橋公園を防災活動拠点として使用する範囲は被災状況等により判断することとなるが、再整備にあたり、次のことに留意すること。

1．公園内の施設やオープンスペースは、応援部隊や救援物資等を受け入れるため、施設への車両の乗り付けや荷物の積み下ろしを想定し原則バリアフリーとする
2．公園内は大型の車両や重機が往来するため、公園内の車道や施設周辺には、その往来を妨げる構造物や樹木などは設置しない
3．車道の幅員は歩道を含め余裕をもった配置とする
4．大雨時には、公園内が冠水するため、排水計画や維持管理に関する考え方を示すこと
5．豊橋公園内利用者向けに情報伝達する放送設備を検討すること
6．公園内に災害時に応援部隊等が使用するための散水栓や電源設備を設置すること
7．周辺地域住民が多目的屋内施設などを一時避難場所として使用することを想定し、周辺地域住民と防災関係機関が連携した防災訓練を定期的に実施すること

※既存施設

地域防災計画上の位置づけ	場所
防災活動拠点（地域・地区）	豊橋公園
救援部隊活動拠点 （ボランティア活動拠点や応急仮設住宅建設用地を兼ねている）	陸上競技場
	野球場
	陸上競技場北テニスコート
	北西駐車場
	プール西側駐車場
	南西テニスコート
	野球場北西芝生帯
	西テニスコート
	児童遊園
	武道館
	武道館駐車場
備蓄場所	防災備蓄倉庫
ヘリコプター発着可能場所	陸上競技場
緊急時ヘリコプター発着可能場所	野球場
	陸上競技場
救援物資の受け入れ基地 救援物資の一次集積場所 集積場所至近ヘリポート	陸上競技場（本部スタンド） 陸上競技場

別紙 18　基本設計業務提出図書一覧

事業者は、基本設計業務完了時において、以下に示す書類を市に提出すること。なお、以下の書類の内、不必要と考えられるものについては、市との協議のうえ除くことができる。

１．共通

- 要求水準書との整合性の確認結果報告書
- 事業提案書との整合性の確認結果報告書
- 参考見積を徴収した場合は参考見積書（PDF データ及び印刷物）
- その他必要と思われる技術資料等
- 打合せ記録

２．多目的屋内施設

１）図面（CAD データを含む）

（イ）共通図

- 表紙
- 案内図
- 基本計画説明図

（ロ）建築

- 建築概要書
- 面積表及び求積表
- 配置図
- 平面図（各階）
- 立面図（各面）
- 断面図（主要部）
- 仕様概要書
- 仕上表
- 外観パース
- 内観パース

（ハ）構造

- 構造概要書
- 構造基本設計図

（ニ）電気設備

- 電気設備概要書
- 電気設備基本設計図

（ホ）機械設備

- 空気調和設備概要書
- 空気調和設備基本設計図
- 給排水衛生設備基本設計説明書
- 給排水衛生設備基本設計図

（ヘ）外構

- 外構計画図

２）説明資料

- 建築基本設計説明書
- 構造基本設計説明書
- 設備基本設計説明書
- 昇降機設備基本設計説明書
- 法的検討書
- 工事計画書（仮設計画、建設計画、工程計画）
- ランニングコスト計算書
- CASBEE あいち検討表
- ZEB Oriented 検討表
- その他説明において必要な資料

３．公園基盤施設

１）図面

- 表紙
- 目次
- 現況図
- 配置計画図
- 基本設計平面図
- 主要施設平面図
- 造成計画平面図
- 給排水系統計画図
- 電気系統計画図
- 基本設計報告書
- 公園全体の鳥瞰パース図

２）説明資料

- 基本設計報告書
- 基本設計説明書
- 調査業務計画書

・ ランニングコスト計算書
・ 設計諸元資料
・ その他説明において必要な資料

事業者は、上記１～３の書類を提出する際に、以下の事項に留意すること。

１．提出時の体裁、部数等は、別途、市の指示するところによる。

２．書類等に併せて、CAD ソフトで作成した電子データ（AUTO CAD、JW CAD のオリジナルデータと、DXF 又は SXF とする）を提出すること。

別紙 19　実施設計業務提出図書一覧

事業者は、基本設計業務完了時において、以下に示す書類を市に提出すること。なお、以下の書類の内、不必要と考えられるものについては、市との協議の上除くことができる。

１．共通

- 要求水準書との整合性の確認結果報告書
- 事業提案書との整合性の確認結果報告書
- その他必要と思われる技術資料等
- 打合せ記録

２．建築

１）図面

（イ）共通図

- 表紙
- 目次

（ロ）建築

- 図面リスト
- 設計概要・案内図
- 特記仕様書
- 配置図
- 面積表
- 仕上表
- 平面図
- 立面図
- 断面図
- 矩計図
- 天井伏図
- 各部詳細図
- 展開図
- 建具表
- サイン計画図
- 外構図
- 日影図
- 法規チェック図
- 構造図

・ 諸室毎の面積表
・ 工程表
・ 外観パース
・ 内観パース
・ その他必要図面

（ハ）電気設備（設置しない設備の図面は不要）

・ 図面リスト
・ 特記仕様書
・ 屋外配線図
・ 受変電設備図
・ 非常用発電機設備図
・ 幹線動力設備配線図
・ 電灯コンセント設備配線図
・ 弱電設備配線図
・ 各種系統図
・ 機器参考図
・ 防災設備配線図
・ その他必要図面

（ニ）機械設備

・ 図面リスト
・ 特記仕様書
・ 屋外配管図
・ 機器及び器具表
・ 配管系統図
・ 各階配管平面図
・ 詳細図（トイレ他）
・ 特記仕様書
・ 図面リスト
・ 機器及び器具表
・ 各種系統図
・ 機械室平面図、断面図
・ 各階配管平面図
・ 各階ダクト平面図
・ 換気設備平面図
・ 排煙設備平面図
・ 部分詳細図

・ 機器詳細参考図
・ 中央監視関係図
・ 自動制御系統図
・ 制御システム図
・ 制御機器表
・ 盤結線図
・ 計装配線図
・ 昇降路平面図
・ 昇降路断面図
・ その他必要図面

（ホ）外構

・ 外構計画図
・ 外構断面図
・ 外構仕上げ表

２）資料

・ 設計及び申請に必要な計算書
・ 建築工事工程表
・ 確認申請関係必要図書
・ CASBEE あいち届出必要図書
・ ZEB Oriented 届出必要図書
・ 官公庁打合せ記録簿
・ 各種技術資料
・ 設計条件整理資料
・ その他必要図書

３．公園基盤施設

１）図面

・ 表紙
・ 目次
・ 位置図
・ 現況図
・ 撤去平面図
・ 実施設計平面図
・ 造成平面図
・ 造成断面図
・ 縦断図

・ 各施設平面図、立面図、断面図
・ 部分拡大図
・ 給水平面図
・ 排水平面図
・ 排水縦断図
・ 電気平面図
・ 給排水、電気設備詳細図
・ 施設毎のパース図

２）資料

・ 設計及び申請に必要な計算書
・ 公園基盤工事工程表
・ 雨水排水計画、雨水流出抑制等に関する計画
・ 整備段階ごとにおける各種インフラの切り回しや仮設駐車場の設置等、施設利用者用駐車場を確保した計画
・ 整備段階ごとにおける施設利用者の安全に配慮した仮設計画
・ 官公庁打合せ記録簿
・ 各種技術資料
・ 設計条件整理資料
・ その他必要図書

事業者は、上記１～３の書類を提出する際に、以下の事項に留意すること。

１．提出時の体裁、部数等は、別途、市の指示するところによる。

２．書類等に併せて、CAD ソフトで作成した電子データ（AUTO CAD、JW CAD のオリジナルデータと、DXF 又は SXF とする）を提出すること。

別紙 20　建設業務提出図書一覧

事業者は、建設業務完了時において、市による完工確認の通知に必要な、次の書類を提出すること。

１．共通

- 工事完成届
- 工事記録写真
- 完工写真（アルバム）
- 工事打合簿
- 調達・設置した施設備品台帳
- 要求水準書との整合性の確認結果報告書
- 事業提案書との整合性の確認結果報告書

２．建築

- 完工図（建築）　：一式（製本図、原図、縮小版製本）
- 完工図（電気設備）　：一式（製本図、原図、縮小版製本、取扱説明書）
- 完工図（空調設備）　：一式（製本図、原図、縮小版製本、取扱説明書）
- 完工図（衛生設備）　：一式（製本図、原図、縮小版製本、取扱説明書）
- 完工図（昇降機設備）　：一式（製本図、原図、縮小版製本、取扱説明書）
- 完工図（什器備品配置表）　：一式（製本図、原図、縮小版製本）
- 施工図　：一式（製本図、縮小版製本）
- 完工検査調書（選定事業者によるもの）
- 検査書（確認申請、消防等行政対応のもの）
- 揮発性有機化合物の測定結果
- 建物利用マニュアル（建物の使い方が分かりやすくまとめられた資料）
- その他完工確認に必要な届出等

３．公園基盤施設

- 完工図（土木）　：一式（製本図、原図、縮小版製本）
- 完工図（設備）　：一式（製本図、原図、縮小版製本）
- 施工図　：一式（製本図、縮小版製本）
- 完工検査調書（選定事業者によるもの）
- 検査書（確認申請、消防等行政対応のもの）
- その他完工確認に必要な届出等

４．解体・撤去工事

- 工事打合簿
- 完成写真
- 工事記録写真（解体前の写真も含む）
- 配電系統図―撤去箇所を示したもの
- 給水系統図―撤去箇所を示したもの
- 排水系統図―撤去箇所を示したもの
- 竣工図―仕上げ高さ等を示したもの
- 産業廃棄物処理報告書
- 処理及び収集運搬業者との委託契約書（写し）
- 収集運搬及び処理のフローチャート及び運搬経路の地図（現場―中間処理―最終処分地）並びに各施設の写真

事業者は、上記１～４の書類を提出する際に、以下の事項に留意すること。

１．提出時の体裁、部数等は、別途、市の指示するところによる。

２．書類等に併せて、CAD ソフトで作成した電子データ（AUTO CAD、JW CAD のオリジナルデータと、DXF 又は SXF とする）を提出すること。

３．完工写真の著作権は次のとおりとすること。

１）選定事業者は、市による完工写真の使用が、第三者の有する著作権等を侵害するものでないことを市に対して保証すること。選定事業者は、完工写真の使用が、第三者の有する著作権等を侵害し、第三者に対して損害の賠償を行い、又は必要な措置を講じなければならないときは、選定事業者がその賠償額を負担し、又は必要な措置を講ずること。

２）選定事業者は、完工写真の使用について次の事項を保証すること。

- 完工写真は、市が行う事務及び市が認めた公的機関の広報等に、無償で使用することができる。この場合において、著作者名を表示しないことができる。
- 選定事業者は、あらかじめ市の承諾を得た場合を除き、完工写真が公表されないように、かつ完工写真が市の承諾しない第三者に閲覧、複写又は譲渡されないようにすること。

別紙 21　多目的屋内施設整備基本計画

多目的屋内施設整備基本計画

令和5年8月

豊橋市

目次

第1章 多目的屋内施設整備の基本計画策定について 6
１．１ 背景 6
１．２ 多目的屋内施設の整備に向けて 6
１．３ 計画策定の趣旨・目的 7
第2章 計画条件の整理 8
２．１ 関連計画等の整理 8
２．２ 近年の関連計画等の動向 9
２．２．１ 本市における関連計画 9
（1） 豊橋市立地適正化計画 9
7(2) 豊橋市産業戦略プラン 9
（3） 豊橋市環境基本計画 9
２．２．２ アリーナ整備を取り巻く国と他都市の動向 10
（1） 国の動向 10
（2） 国が進めるスタジアム・アリーナ改革に関連する他都市の動向 11
２．３ 整備計画地の概要・敷地条件 13
（1） 位置・概況 13
（2） 関連法令及び現況の整理 14
２．４ 事業を推進する上での課題 17
（1） 多目的な利用・運営を行う上での様々なニーズへの対応 17
（2） 財政負担の軽減 17
（3） 公園施設整備に対する周辺環境へ与える影響 17
（4） 公園施設整備における管理運営 17
（5） まちなかの賑わい創出への取り組み 18
第3章 意向調査 19
３．１ 調査概要 19
３．２ 市民アンケート 19
（1） 調査概要 19
（2） アンケート結果 20
（3） アンケート結果からの示唆 28
３．３ 関係団体ヒアリング 29
（1） 調査概要 29
（2） ヒアリング調査結果（総括） 30
（3） 関係団体ヒアリング結果からの示唆 35
３．４ 市民ワークショップ 36
（1） 実施概要 36

（2） 発表内容 36
第4章 関連施設の利用実態整理 37
4．1 関連施設の利用状況等の実態整理 37
（1） 関連施設の概要 37
（2） 対象スポーツ施設における利用状況等の実態整理 38
（3） 文化施設における利用状況等の実態整理 46
第5章 整備方針 48
5．1 整備・運営基本方針 48
5．2 施設規模・機能 50
5．2．1 多目的な利用とするための諸室・機能の整理 50
（1） プロスポーツ利用 50
（2） プロスポーツ以外の利用 51
5．2．2 複合化・集約化の検討 52
（1） 複合化・集約化の検討の考え方 52
（2） 複合化・集約化の検討 53
（3） 複合化・集約化の方向性 57
5．3 各諸室の整備方針 58
5．4 機能相関図 64
第6章 整備計画 65
6．1 施設計画 65
6．2 平面・ゾーニング計画（ブロックプラン） 66
6．3 階層構成・断面計画 67
6．4 公園ゾーニング計画 68
6．4．1 基本的な考え方 68
6．4．2 配置計画 69
（1） 各公園施設整備の方向性 69
（2） 配置計画 70
6．4．3 各公園施設計画 71
（1） 広場・園路等の公園施設 71
（2） スポーツ施設 71
6．5 動線計画 72
6．6 防災活動拠点 72
6．7 都市計画への対応 73
（1） 用途地域内の建築物の用途制限への対応 73
（2） 景観・風致地区への対応 74
（3） 都市公園法への対応 75

（4） 文化財保護法への対応 76
（5） 国有地への対応 76
6．8 その他整備にあたっての取り組み 77
（1） 新型コロナウイルス感染症による社会情勢変化への対応 77
（2） ユニバーサルデザイン・バリアフリーへの配慮 78
（3） 地球環境への配慮 78
（4） 周辺交通対策 79
（5） 賑わい創出への取り組み 82
（6） 愛知県との連携方策 84
6．9 施設イメージ 85
6．10 整備スケジュール 86
第7章 事業費等 87
7．1 事業範囲の整理 87
7．2 概算事業費の整理 88
（1） 施設整備費 88
（2） 収入 89
（3） 支出 90
（4） 収支予測 91
第8章 整備及び維持管理・運営方式 92
8．1 前提条件の整理 92
（1） 法制度の整理 92
（2） 補助制度の整理 96
8．2 事業スキームの検討 99
（1） 事業方式の検討の考え方 99
（2） 施設整備方式の整理 99
（3） 維持管理・運営方式の整理 101
（4） 民間提案施設について 103
8．3 民間事業者の参入意向の把握 107
（1） マーケットサウンディング調査概要 107
（2） 調査結果 107
（3） 調査結果からの示唆 109
8．4 PFI 方式導入の適性評価及び課題の抽出 110
（1） 事業スキームの検討情報の整理 110
（2） 定量評価 110
（3） 定性評価 110
（4） 総合評価 112

（5） 事業期間について 112
（6） BT コンセッション方式の留意事項 112
（7） 課題の抽出 113
8．5 官民リスク分担の検討 114
（1） 官民リスク分担の基本的な考え方 114
（2） コンセッション事業における官民リスク分担の検討事項 115
（3） 想定されるリスク項目の抽出 117
8．6 事業スケジュール 119
参 考 資 料 120
参考資料1 多目的屋内施設整備に関する有識者会議 121
参考資料2 市民アンケート調査票 124
参考資料3 他都市類似施設 128
参考資料4 交通手段別来場者予測の詳細 136
参考資料5 中心市街地の駐車場利用状況調査結果 137
参考資料6 パブリックコメント 138

第１章　多目的屋内施設整備の基本計画策定について

１．１　背景

豊橋市（以下「本市」という。）では、平成 23 年度に策定した「豊橋市生涯スポーツ推進計画」に基づき、市民一人ひとりが生涯にわたりスポーツを楽しむことができるよう、「いつでも・どこでも・誰でも」スポーツに親しむことができる環境づくりを進め、スポーツ振興を支える基盤となるスポーツ施設の充実に努めてきました。

そのような中、平成 28 年度には男子プロバスケットボールリーグ「B.LEAGUE」の最高峰である B1 リーグに所属する「三遠ネオフェニックス」が豊橋市総合体育館（以下「総合体育館」という。）をホームアリーナとして試合を開催するなど、新しい要素が加わり、スポーツを観て楽しむ機会が増えてきている状況にあります。

また、令和２年度には「豊橋市『スポーツのまち』づくり推進計画」を策定し、スポーツへの参加促進や環境の充実だけではなく、スポーツによるまちの魅力と活力の創出にもつなげていけるよう取り組みを進めてきました。

こうした様々な取り組みを進める一方で、昭和 40 年代以降多様化する市民ニーズに対応するために一斉に整備した市内の公共施設の多くは老朽化しており、更新時期を迎えています。

本市のスポーツ施設の中核を担う総合体育館についても、建設から 30 年以上が経過し、老朽化が進んでいることから大規模改修等を行う必要性が生じていることのほか、三遠ネオフェニックスが総合体育館をホームアリーナとしたことで、利用の過密化により施設の利用予約が難しくなっていること、本市の縁辺部に位置していることから、総合体育館の利用者や三遠ネオフェニックスのホームゲームの来場者による経済効果を充分に享受できていないといった状況にあります。

１．２　多目的屋内施設の整備に向けて

本市では、このような背景を踏まえ、総合体育館を補完する新たな施設について検討を進めてきました。（図表　１－１）

これまでの検討の結果、新たな施設は、主にスポーツ活動を行う場所として使用される体育館要素だけでなく、プロスポーツやエンターテインメントなどを観る機能や防災活動拠点としての機能の強化・充実という点に加え、コンベンションなどの集客による経済効果、まちづくりへの寄与といった観点から、本市にとって多目的に利用が可能な施設となる多目的屋内施設（以下「本施設」という。）としての整備が必要である、という考えに至り、令和４年５月 30 日に豊橋公園を整備計画地として選定し、整備に向けての基本的な考え方をまとめました。

基本的な考え方（令和４年５月 30 日公表）

・武道館など他の公共施設との集約・複合化も視野に入れた整備とする。
・市民利用のほか B1 リーグをはじめとするプロスポーツや若者が魅力を感じるコンサート興行、コンベンション機能など多目的利用が可能な 5,000 人規模のアリーナを目指すものとする。
・スポーツ・エンタメで街に賑わいをもたらすものとする。
・防災活動の拠点としての活用も想定した整備とする。
・整備手法は、PFI 手法の「BT コンセッション方式」も視野に入れるものとする。
・愛知県新体育館のサテライトとして位置づけ連携できるものとする。
・スタートアップに対するインキュベーション機能等も視野に入れたものとする。

図表 1－1　過年度の調査・計画等

名称	年度	検討概要
多目的屋内施設整備調査	2016 年（H28）	多目的屋内施設を取り巻く状況、他都市の整備事例、豊橋公園と豊橋総合スポーツ公園との立地比較、事業方式などの調査・分析・整理を実施しました。
新アリーナを核としたまちづくり基本計画 2019-2023	2018 年（H30）	市内全域を対象に健康で明るく元気な「スポーツのまち」を実現するための羅針盤として、新アリーナを核としたまちづくりの基本的な考え方を定めるとともに、豊橋公園内の施設等の整備や来場者の動線計画を明らかにしました。
多目的屋内施設の基本計画策定に向けた基礎調査（以下「基礎調査」という。）	2020 年（R２）	多目的屋内施設に関連する計画及び調査結果、関連施設の利用状況等の把握・整理・分析を行った上で、施設の基本コンセプト、目指すべき施設規模・機能の検討、整備の方向性などをまとめました。
多目的屋内施設関連市場調査（以下「市場調査」という。）	2022 年（R４）	多目的利用が可能な施設整備・運営の実績を有する民間事業者等に対してヒアリングを行い、興行などの需要規模の把握、建設候補地の検討、事業方式の検討・収支予測シミュレーションなど、事業化の可能性について整理しました。なお、建設候補地の検討を終えた時点で、整備計画地として「豊橋公園」を選定し、上記「基本的な考え方」をまとめました。

１．３　計画策定の趣旨・目的

本施設整備の基本計画（以下「本計画」という。）は、「基本的な考え方」（上記参照）を踏まえ、本施設の規模・機能の整理、並びに PFI 方式による事業スキームの整理を行うことを目的とします。

本施設の規模・機能については、これまでの検討経緯や現状の課題、意向調査などを踏まえ、基本・実施設計に向けたレイアウトや配置計画等について整理すること、また PFI 方式による事業スキームについては、事業方式及び事業の進め方などについて、民間活力活用の観点から PFI 方式により実施する場合の適性について評価を行い、最適な事業方式を検討することとします。

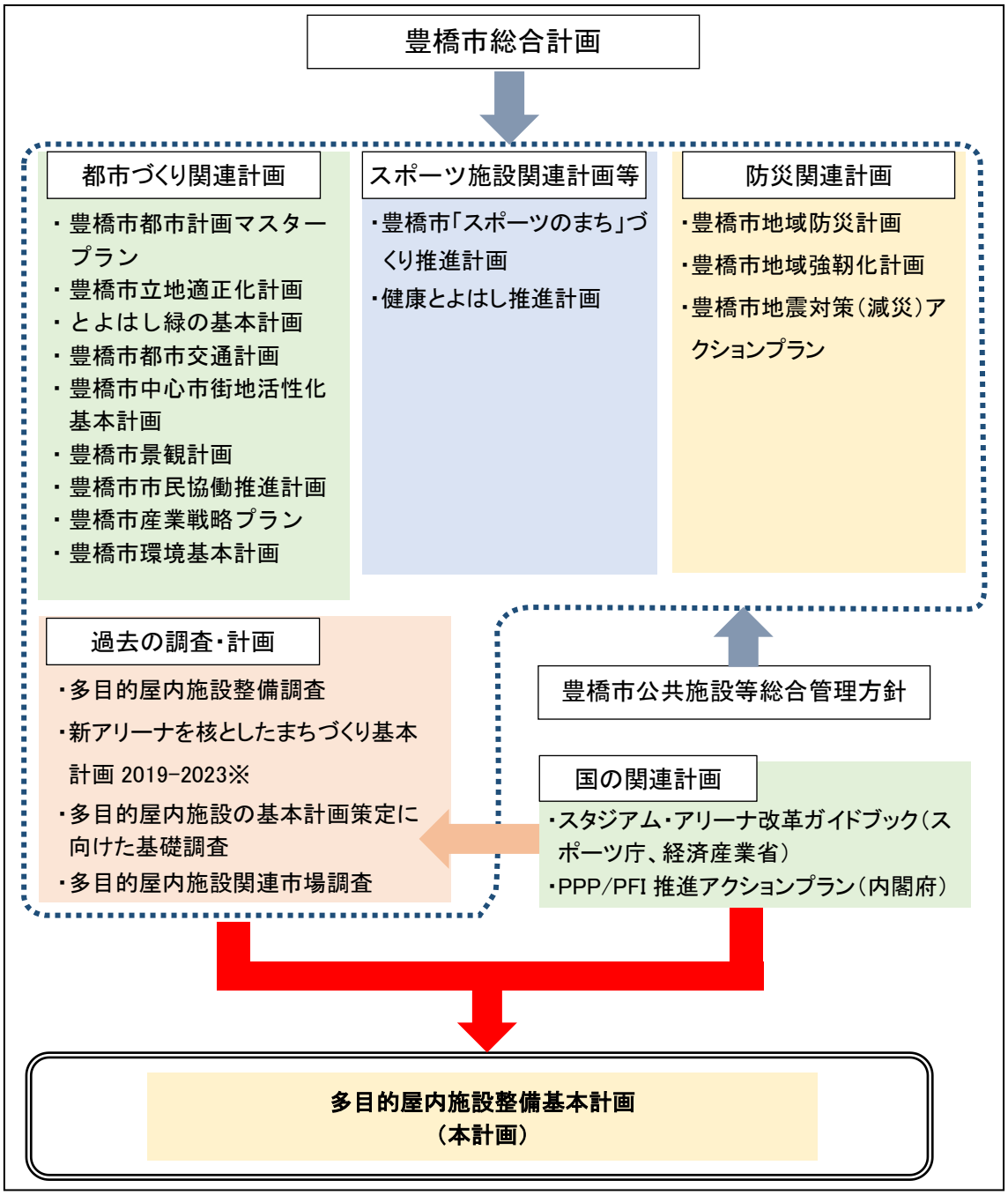
なお、本計画の策定においては、専門的な知見から助言を行う７名の学識者などからなる「多目的屋内施設整備に関する有識者会議」（参考資料１多目的屋内施設整備に関する有識者会議参照）での意見も参考としながら検討を進めます。

第２章 計画条件の整理

２．１　関連計画等の整理

本計画は、関連計画等との関係性を図表 ２－１のとおりに位置づけ、これまでの調査・計画を基礎としながら、更新された計画等を踏まえ、新たな計画とします。

図表 ２－１　本計画と主な関連計画等との関係



※本計画は「新アリーナを核としたまちづくり基本計画」の改定内容を含めたものとしています。

２．２　近年の関連計画等の動向

近年の関連計画等の動向を踏まえた上で、本施設の整備を行うこととします。本市における計画のうち、本計画に関連する主な改定の動向について、以下のとおり整理しました。

２．２．１　本市における関連計画

（１）豊橋市立地適正化計画

○　令和２年９月の改正都市再生特別措置法の施行に伴い、利便性の高いエリアに都市機能や居住の誘導を図るにあたって、災害リスクに対しどのように安全を確保するかを示す指針である防災指針を定め、安全・安心なまちづくりを推進していきます。

（２）豊橋市産業戦略プラン

○　本市産業の活性化のためには、既存の事業者の成長はもとより、スタートアップの創出や新たなビジネスを生み出す事業者の輩出・育成を進めることが重要となります。主な取り組みとして、事業化への支援などによるスタートアップの創出・育成や地域内外の起業家・事業者の交流や連携、新ビジネス創出の場づくりを行っていきます。

○　本市が持つ魅力の引き上げや発掘を進めていくためには、人やサービスの新たな流れや交流の創出が重要となります。主な取り組みとして、まちなかのにぎわい創出の観点から、消費喚起事業などを通じたまちなか店舗などへの誘客やTMO（株式会社豊橋まちなか活性化センター）などとの連携による官民が一体となった事業を推進します。

（３）豊橋市環境基本計画

○　低炭素で持続可能な地域をつくるため、市域の温室効果ガスの総排出量を2030年度に46%削減（2015年度比）を目指します。

○　再生可能エネルギー利用100%のまちの実現を目指し、市内事業者や団体、市民等と連携した取り組みを進めるとともに、積極的な普及、啓発を行い、まち全体の脱炭素化へつなげていきます。具体的な取り組みとして、太陽光発電システムの導入などを推進し、公共施設における再生可能エネルギー利用100%化に向け取り組みます。

２．２．２　アリーナ整備を取り巻く国と他都市の動向

（１）国の動向

本計画と関連する近年の国の動向として、公共施設の事業方式のあり方に関連するものとして「経済財政運営と改革の基本方針 2022」（内閣府）、「PPP/PFI 推進アクションプラン」（内閣府）について整理しました。

①　「経済財政運営と改革の基本方針 2022」（内閣府）

民間による社会的価値の創造として、PPP/PFI の活用等による官民連携の推進が示されており、令和４年度から８年度までの５年間を「重点実施期間」として関連施策を集中投入し、スタジアム・アリーナ等へのコンセッション方式の導入も目標として掲げられています。また、デジタル田園都市国家構想の推進力として活用し、地域交流の場である公園・公民館等の身近な施設への新しい活用モデルを形成することも目標となっています。

②　「PPP/PFI 推進アクションプラン」（内閣府）

令和４年度から 13 年度までの 10 年間の事業規模目標が設定され、スポーツ施設も重点分野として位置づけられており、図表 ２－２のとおりに文部科学省をはじめとした各省庁から取り組み内容が示されています。

図表 ２－２　「PPP/PFI 推進アクションプラン」（令和４年改定版）（抜粋）

⑤スポーツ施設（スタジアム・アリーナ等）

令和４年３月末時点で、実施契約を締結済の案件が３件ある。令和４年度から公共施設等運営事業の活用に向けた取組を抜本的に強化し、令和８年度までに 10 件の具体化を目標として以下の施策等に取り組む。＜文部科学省＞

・公共施設等運営事業の導入に関するガイドラインを作成し、周知する。（令和４年度開始）＜内閣府、文部科学省＞
・地方公共団体の意向を踏まえつつ公共施設等運営事業の候補案件をリストアップし、トップセールスをはじめとする案件候補の掘り起こしを重点的に実施する。（令和４年度開始）＜文部科学省＞
・地方公共団体によるスポーツ施設（スタジアム・アリーナ等）等の整備等における公共施設等運営事業の導入に関して、課題や導入可能性調査やアドバイザリーの活用などの現状の支援策の点検を行い、必要な支援等の検討を行う。（令和４年度開始）＜文部科学省＞
・スポーツ施設（スタジアム・アリーナ等）における公共施設等運営事業の活用拡大に向け、導入可能性調査や整備等に活用が可能な交付金等（地方創生推進交付金、地方創生拠点整備交付金、デジタル田園都市国家構想推進交付金、社会資本整備総合交付金、都市構造再編集中支援事業等）において、スポーツ施設（スタジアム・アリーナ等）を重点対象に定める等、必要な支援等を行う。（令和４年度開始）＜内閣府、国土交通省＞
・スポーツ施設（スタジアム・アリーナ等）の具体の案件形成を推進するため、関係府省と連携しながら、支援パッケージや事例集の周知を図るなど、説明会等において地方公共団体等への働きかけを積極的に実施する。（平成 28 年度開始、令和４年度強化）＜文部科学省＞

（２）国が進めるスタジアム・アリーナ改革に関連する他都市の動向

経済産業省、スポーツ庁による「スタジアム・アリーナ改革ガイドブック」では、「スタジアム・アリーナ改革指針」（平成 28 年 11 月）、「スタジアム・アリーナ整備に係る資金調達手法・民間資金活用プロセスガイド」（平成 29 年５月）、「スタジアム・アリーナ運営・管理計画検討ガイドライン」（平成 30 年７月）に加えて、国内外のスタジアム・アリーナ事例、スタジアム・アリーナに関する技術事例が示されています。

また、経済産業省、スポーツ庁では、これらの方針に則って計画・整備されたスタジアム・アリーナの選定を行っており、多様な世代が集う交流拠点として現在までに 14 施設が選定されています。選定されるメリットとして、経済産業省からは、関連施策における予算申請時に対する重点サポートが実施されることなどが挙げられます。

①　多様な世代が集う交流拠点としてのスタジアム・アリーナ選定に係る評価項目

図表　２－３　選定に係る評価項目

構想・計画段階、設計・建設段階又は運営・管理段階における評価項目をそれぞれ以下のとおりとし、申請者の事業進捗段階に応じて、いずれかの段階の評価項目を適用する。

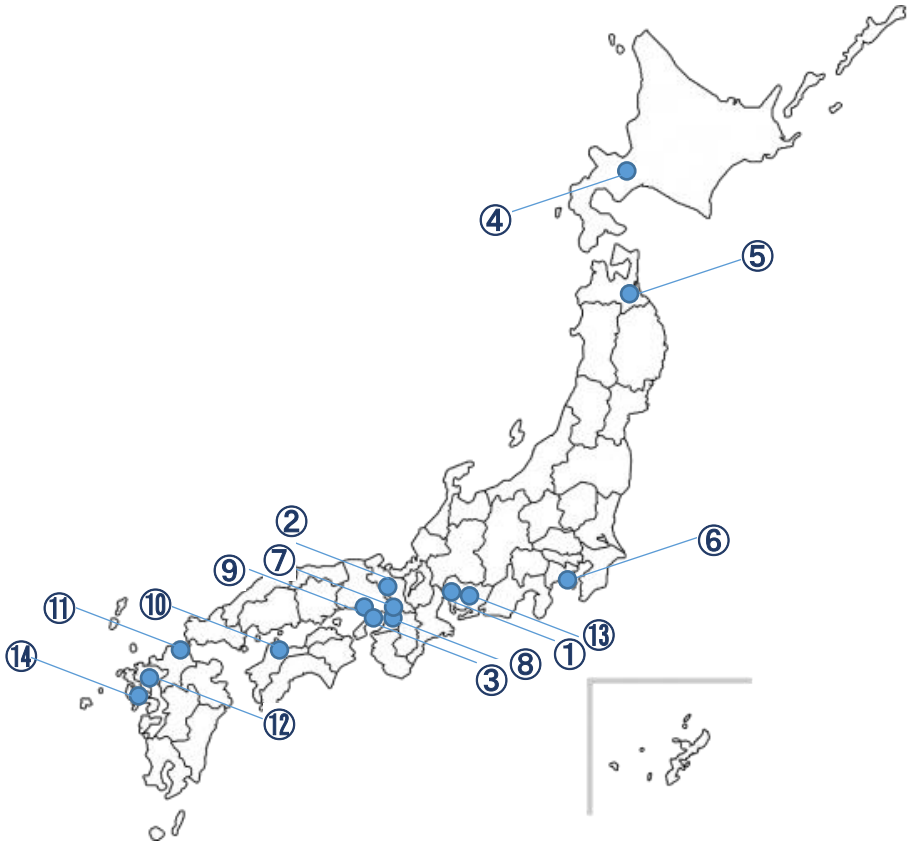
構想・計画	**Ⅰ．構想・計画策定段階** ステークホルダーの確認と検討・連携体制の構築 スタジアム・アリーナ経営人材の活用 顧客・利用者の把握と情報提供 運営・管理に係る検討 収益性の検証と設計等への反映 コンプライアンスとリスク管理
設計・建設	**Ⅱ．設計・建設段階（Ⅰ.を含む）** 顧客経験価値の向上 収益モデルの確立とプロフィットセンターへの変革 まちづくりの中核となるスタジアム・アリーナの実現 多様な利用方法や用途の実装 民間活力を活用した手法の採用 多様な資金調達の実現
運営・管理	**Ⅲ．運営・管理段階（Ⅰ.及びⅡ.を含む）** PDCAサイクルの実践 IT・データ活用

（出所）【概要版】多様な世代が集う交流拠点としてのスタジアム・アリーナ選定要領について（令和３年、スポーツ庁、経済産業省）

②　選定されたスタジアム・アリーナ

図表　2-4　選定されたスタジアム・アリーナ一覧

＜令和３年度に選定された３拠点＞
➢「運営・管理段階」又は「設計・建設段階」の施設
①愛知県新体育館【愛知県名古屋市】
②京都府立京都スタジアム【京都府亀岡市】
➢「構想・計画段階」の施設
③神戸アリーナ（仮称）【兵庫県神戸市】
＜令和２年度に選定された 11 拠点＞
➢「運営・管理段階」又は「設計・建設段階」の施設
④ES CON FIELD HOKKAIDO（エスコンフィールド HOKKAIDO）【北海道北広島市】
⑤FLAT HACHINOHE【青森県八戸市】
⑥横浜文化体育館再整備事業【神奈川県横浜市】
⑦桜スタジアム（大阪市立長居球技場）【大阪府大阪市】
⑧東大阪市花園ラグビー場【大阪府東大阪市】
⑨ノエビアスタジアム神戸（神戸市御崎公園球技場）【兵庫県神戸市】
⑩FC 今治新スタジアム【愛媛県今治市】
⑪ミクニワールドスタジアム北九州（北九州スタジアム）【福岡県北九州市】
⑫SAGA アリーナ【佐賀県佐賀市】
➢「構想・計画段階」の施設
⑬アイシンアリーナ（仮称）【愛知県安城市】
⑭長崎スタジアムシティプロジェクト【長崎県長崎市】



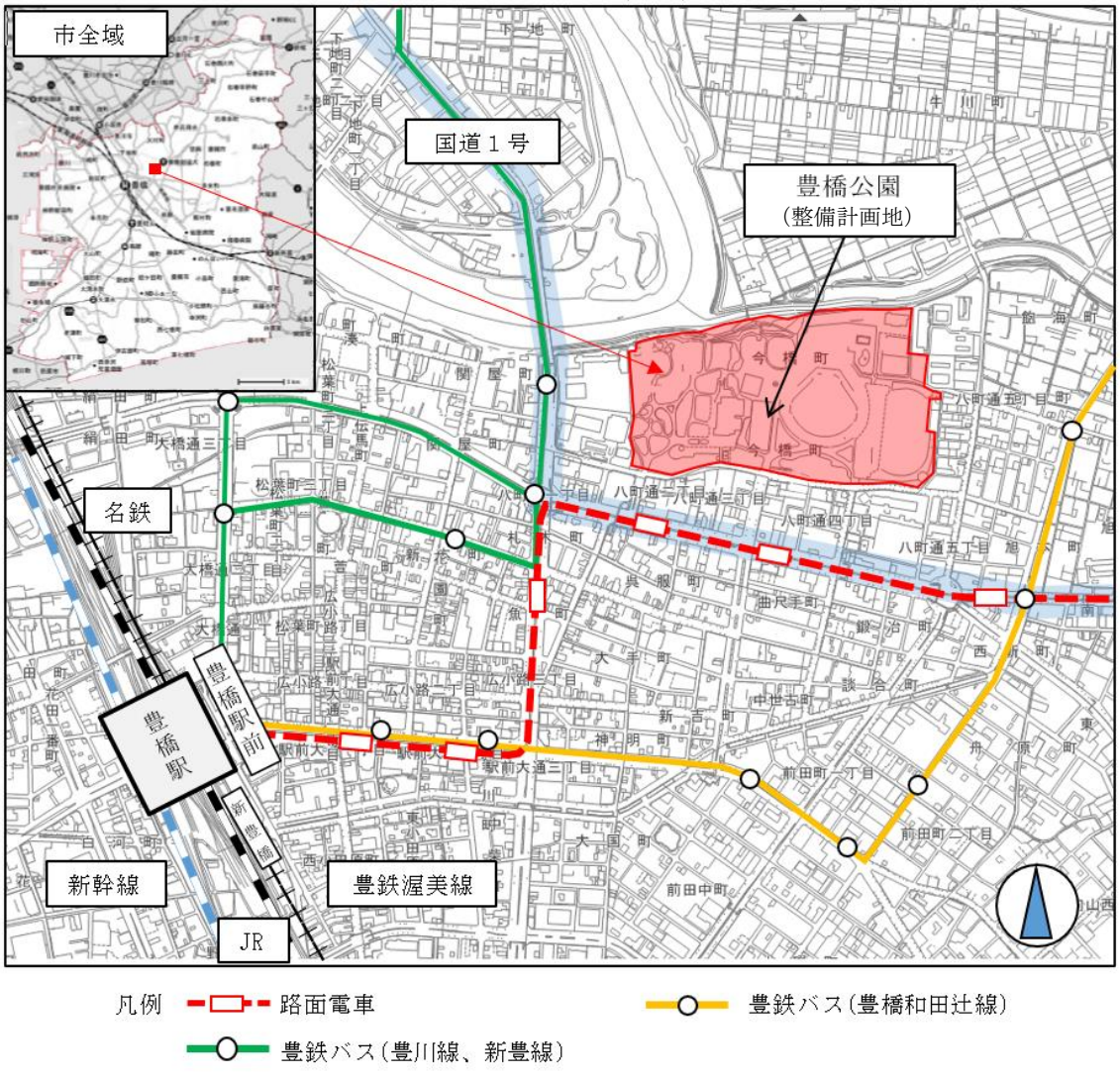
２．３　整備計画地の概要・敷地条件

（１）位置・概況

本施設の整備計画地である豊橋公園は、新幹線や JR、私鉄など東三河地域の交通結節点である豊橋駅から北東に約 1.8km の場所に位置し、豊橋市民のシンボル的公園となっています。公園内の東側には、陸上競技場、豊橋球場、武道館、テニスコート等のスポーツ施設が整備されています。また、公園内の西側には、市指定史跡吉田城址、美術博物館、三の丸会館といった指定文化財や文化施設もあり、幅広い目的で利用ができる公園として広く市民に親しまれています。周辺の公共交通機関は、豊橋鉄道市内線東田本線（以下「路面電車」という。）や豊鉄バスがあります。

所在地	愛知県豊橋市今橋町地内	敷地面積	21.64ha

図表　2－5　位置図



（２）関連法令及び現況の整理

整備計画地である豊橋公園は、都市計画公園として、都市計画決定（昭和 22 年５月）された公園であり、用途地域は第一種住居地域です。また、豊橋公園の北側の一部は、豊川と朝倉川の家屋倒壊等氾濫想定区域となっています。

①　主な法令条件等の整理

豊橋公園における本施設の整備に関連する主な法令等は、図表 ２－６のとおりです。

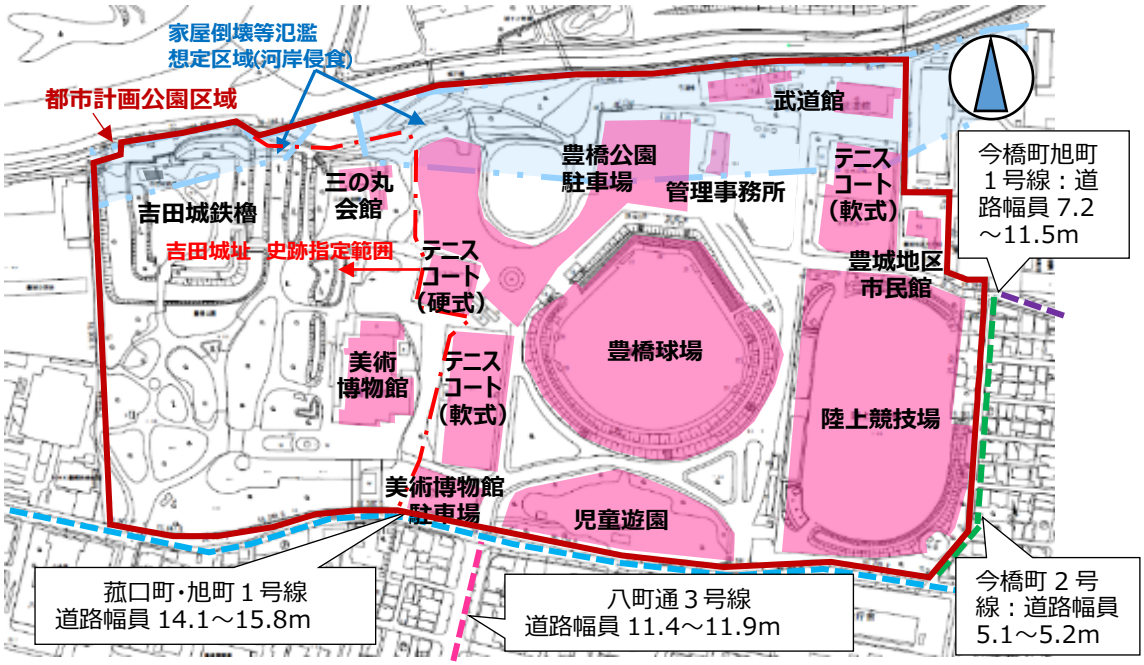
図表 ２－６　関連法令等

項　目	内　容	関係法令・条例等
用途地域	第一種住居地域 建ぺい率 60%、容積率 200% 観覧場建築不可、公園施設（一部除外）の床面積の合計が 3,000 ㎡を超えるものは建築不可、建築する場合は建築許可若しくは特別用途地区や特定用途誘導地区の設定等による用途規制緩和の対応が必要。	都市計画法 建築基準法
風致地区	地区名：今橋風致地区 区分：第３種風致地区 都市公園法による都市公園又は公園施設の設置又は管理に係る行為は許可を受けることは要しないが、通知は必要。 ※許可基準（参考） 建築物の高さ：15m 以下 建ぺい率：40%以下など	都市計画法 豊橋市風致地区内における建築等の規制に関する条例
景観計画	地域：まちの景観 エリア：豊橋駅周辺エリア 石巻山眺望保全区域：一部区域内 豊川水辺景観育成区域：一部区域内	景観法 豊橋市まちづくり景観条例
都市公園	公園種別：総合公園　都市計画公園 都市計画決定（S22.5） 公園施設の建ぺい率２％まで（法第４条）、運動施設や教養施設等を建築する場合に限り 10%まで可能（施行令第６条）	都市公園法 豊橋市都市公園条例
埋蔵文化財包蔵地	遺跡名：吉田城址・飽海遺跡（豊橋公園全域を含む約 84ha） 掘削を伴う工事を行う場合、記録保存を目的とする発掘調査等が必要。	文化財保護法
公園施設使用上の制限	東海財務局との無償借地契約により、公園施設は営利を目的とする用途については、協議が必要。	国有財産法 国有財産無償貸付契約書
防災関係	敷地北側の一部が豊川の洪水浸水想定区域や家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）、朝倉川の家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）として公表されており、公園施設の配置に留意が必要。	水防法

②　既存施設の概要

豊橋公園における既存施設の配置や概要は、図表　2－7 と図表　2－8 のとおりです。

図表　2－7　既存施設の配置



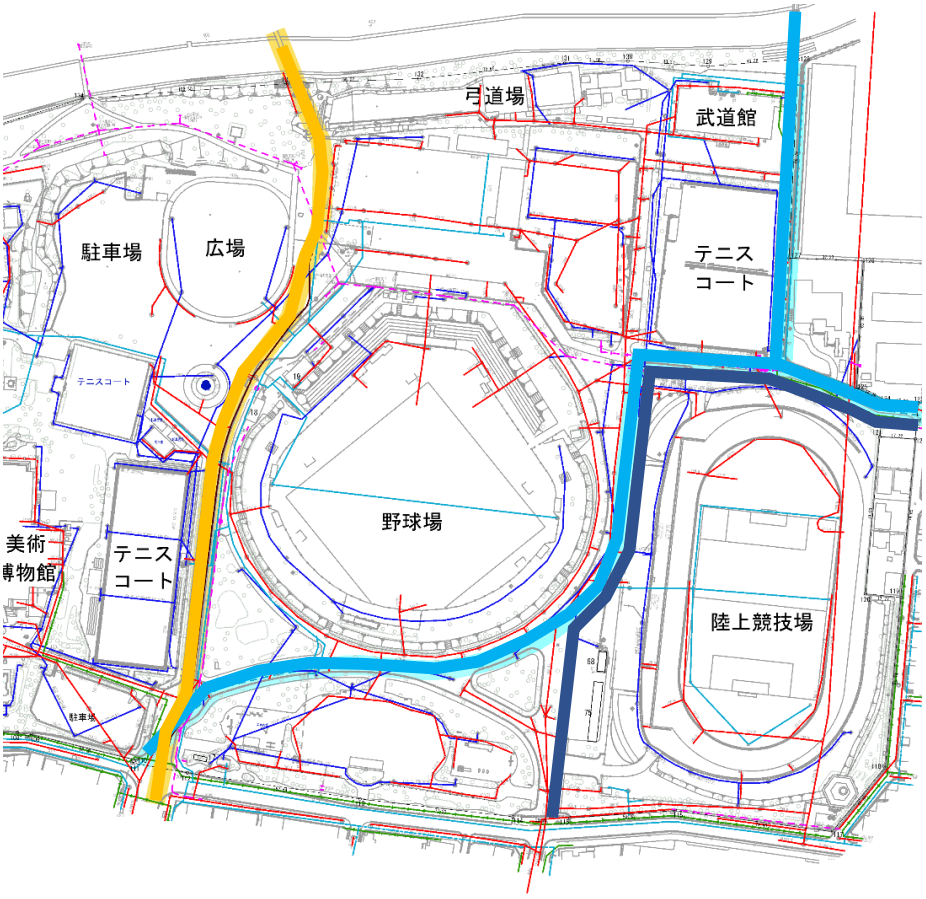
図表　2－8　既存施設の概要

名　称	概要・面積	管理方法
陸上競技場	第３種公認全天候型トラック型　１周 400m　８レーン RC+S 造、３階建、建築面積 1,523.76 ㎡、延べ面積 2,353.46 ㎡	指定管理者による民間管理（同一管理者）※
豊橋球場	両翼 100m、中央 116m、ナイター照明有 軟式野球、硬式野球、ソフトボール	
武道館	柔道場（３面）、剣道場（３面）、相撲場、トレーニング室 RC 造、３階建、建築面積 1,005.03 ㎡、延べ面積 2,706.40 ㎡	
	弓道場（近的・遠的） S 造、１階建、建築面積 401.30 ㎡、延べ面積 348.18 ㎡	
硬式テニスコート	全天候型コート２面、ナイター照明有	
軟式テニスコート	クレーコート 12 面、ナイター照明有（６面）	
管理事務所	S 造、１階建、建築面積 378.04 ㎡、延べ面積 356.34 ㎡	
吉田城鉄櫓	復興鉄櫓、RC 造、地下１階、地上３階建 建築面積 96.07 ㎡、延べ面積 304.93 ㎡	公営管理
美術博物館	RC+S 造、２階建、建築面積 4,005.42 ㎡、延べ面積 5,430.78 ㎡	公営管理
三の丸会館	和室、茶室、立礼茶席 RC 造+木造、１階建、建築面積 575.07 ㎡、延べ面積 405.99 ㎡	指定管理者による民間管理（※とは別管理）
豊城地区市民館	RC 造、２階建、建築面積 490.77 ㎡、延べ面積 813.58 ㎡	指定管理者による民間管理（※とは別管理）
その他公園施設等	児童遊園、無料平面駐車場、トイレ、照明灯、樹木　等	公営管理

③　インフラの整理

豊橋公園のインフラ（ガス・給水・排水・電力）敷設状況は図表　2－9のとおりです。また、令和６年度から 11 年度にかけ新しい配水管（新中央幹線配水管）の工事が予定されています。

図表　2－9　豊橋公園のインフラ状況図



２．４　事業を推進する上での課題

（１）多目的な利用・運営を行う上での様々なニーズへの対応

市民利用やプロスポーツ等の興行といった多目的な利用を行うにあたっては、効率的な施設運営が求められます。

効率的な利用・運営を行うために、稼働率を高くするとともに、市民への意向調査や関係団体へのヒアリングにより施設に求められるニーズを把握し、総合体育館をはじめとした関連施設の利用状況を加味しながら検討することが重要になります。

（２）財政負担の軽減

「豊橋市公共施設等総合管理方針」では、市有資産の適正管理の具体的な取り組みとして、既存施設の見直しと統合や複合化などにより維持管理コストを抑制することが、財政負担の軽減につながるものとしています。施設の規模・機能の検討の際には、このことに留意する必要があります。

本施設の事業方式については、「豊橋市 PPP/PFI 手法導入優先的検討方針」を踏まえ、従来から行われている設計・施工・維持管理分離発注方式と比較して、本市の財政負担の軽減が最も期待できる事業方式の検討を行うとともに、最も効果的な事業方式とする必要があります。

（３）公園施設整備に対する周辺環境へ与える影響

観覧機能を有する本施設の整備は、周辺の道路交通に影響を及ぼすことが懸念されます。基礎調査においては、現状の駐車場台数程度であれば周辺交通環境への影響は少ないという結果が得られていますが、事業を進めるにあたっては、周辺交通環境への負荷を増大させないよう配慮する必要があります。

また、豊橋公園周辺が住宅地であることから、騒音、振動、光害などについて、周辺住環境への配慮が必要になります。

（４）公園施設整備における管理運営

豊橋公園全体としての利用者の利便性向上や、効率的な施設の管理運営を実施するには、これら公園内の複数施設を一体的に管理運営することにより、施設間の連携を図ることが効果的であると見込まれます。

加えて、公園内の賑わい創出やブランディングを高める観点からも、本施設の事業方式の検討と合わせて、公園の施設整備及び管理運営における適切な官民連携等についても検討が必要です。

また、現状では公園利用者以外の駐車場利用も多くあることから、今後、公園施設整備と併せて駐車場の適切な運用についても検討する必要があります。

（５）まちなかの賑わい創出への取り組み

本施設は、豊橋公園内での整備となることから、今後、交流人口の拡大によるまちなかの賑わい創出への寄与が期待されます。このため、本施設の運営のみならず、地域の商店街や市民などと連携し、魅力あるまちづくりを進めることが重要になります。

第３章 意向調査

３．１　調査概要

本施設に必要とされる施設規模・機能やプロスポーツ・コンサート興行等の需要規模を把握することを目的に、本施設の利用が想定される市民やアマチュア、プロスポーツ団体、プロモーター等に対してヒアリングやアンケート等による調査を行いました。

３．２　市民アンケート

（１）調査概要

本施設や豊橋公園におけるニーズを確認するために市民に対して、アンケート調査を行いました。概要は以下のとおりです。

調査期間：令和４年 10 月 12 日から 10 月 31 日まで
調査対象：3,000 人（市内在住者のうち、16 歳以上の者。無作為による抽出。）
実施方法：アンケート調査票（参考資料２市民アンケート調査票参照）を自宅に送付の上、WEB 又は調査票用紙のどちらかでの回答
回答者数：1,160 人（回答率：38.7%　WEB 回答：412 件　調査票用紙回答：748 件）
属　　性：年代・職業の内訳は図表　３－１と図表　３－２のとおり

※集計結果は全て小数点以下第２位を四捨五入していることから、比率の合計は 100%にならないことがあります。
※複数回答を依頼した設問では、集計結果の回答比率（%）の合計が 100%を超えます。
※回答比率（%）は、その設問の有効回答者数（n）を母数として算出しています。
※各設問の図表において、全体の集計結果と年代別の集計結果ではそれぞれ有効回答者数（n）が異なるため、比率の値が異なります。

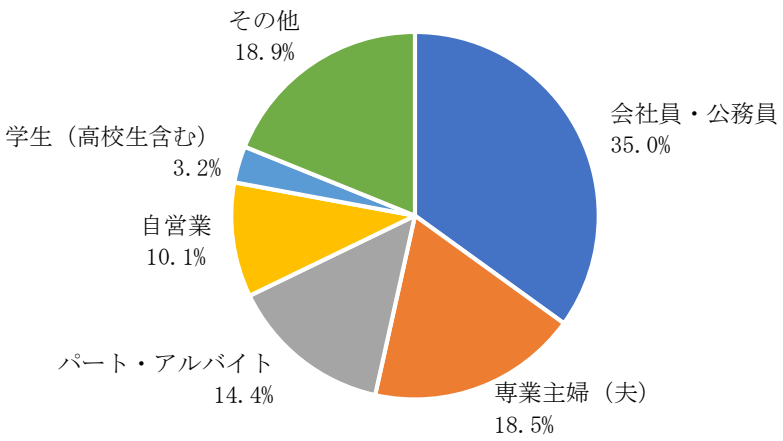
図表　３－１　年代別回答

（n＝1,154（人））

年代別	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代以上	合計
合計	27	70	132	186	206	233	300	1,154
	2.3%	6.1%	11.4%	16.1%	17.9%	20.2%	26.0%	100.0%

図表　３－２　職業別回答

（n＝1,149（人））



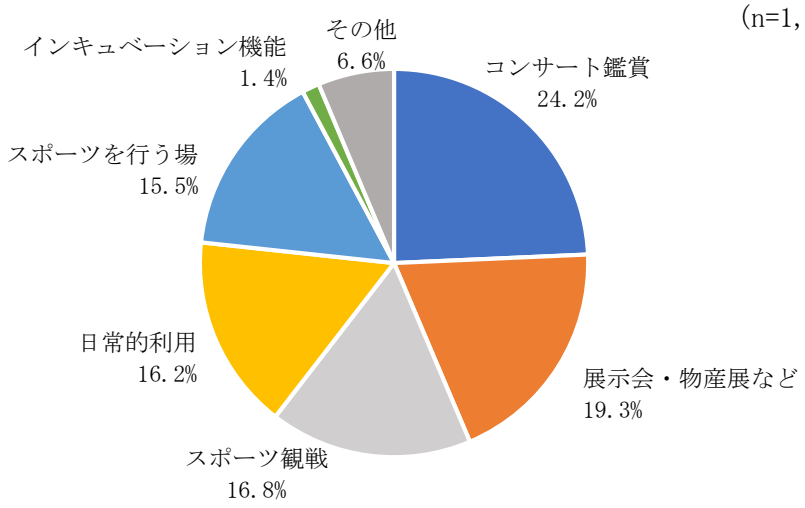
（２）アンケート結果

■本施設に期待する利用形態（単一回答）

全体としては、「コンサート鑑賞」が最も多く 24.2%であり、次いで、「展示会・物産展など」が多く 19.3%を占めています。その他にも「スポーツ観戦（16.8%）」や「日常的利用（トレーニングジム、各種教室など）（16.2%）」といった意見がありました。年代別で見ると、10 代では「スポーツを行う場」が 40.7%と多くを占めています。また、70 代以上では他の選択肢に比べ、「展示会・物産展など」が 27.5%と最多となっています。

図表　３－３　本施設に最も期待する利用形態

（n=1,106（人））



図表　３－４　本施設に最も期待する利用形態（年代別）

（n=1,103（人））

	回答者数（n）	コンサート鑑賞	展示会・物産展など	スポーツ観戦	日常的利用（トレーニングジム、各種教室など）	スポーツを行う場	インキュベーション機能（起業・創業支援）	その他
合計	1,103	268	213	186	179	171	16	70
		24.3%	19.3%	16.9%	16.2%	15.5%	1.5%	6.3%
10 代	27	7	1	3	4	11	0	1
		25.9%	3.7%	11.1%	14.8%	40.7%	0.0%	3.7%
20 代	69	18	14	10	11	11	3	2
		26.1%	20.3%	14.5%	15.9%	15.9%	4.3%	2.9%
30 代	126	36	15	13	24	27	0	11
		28.6%	11.9%	10.3%	19.0%	21.4%	0.0%	8.7%
40 代	181	45	27	38	30	31	3	7
		24.9%	14.9%	21.0%	16.6%	17.1%	1.7%	3.9%
50 代	202	60	34	34	32	30	2	10
		29.7%	16.8%	16.8%	15.8%	14.9%	1.0%	5.0%
60 代	222	59	46	35	33	31	3	15
		26.6%	20.7%	15.8%	14.9%	14.0%	1.4%	6.8%
70 代以上	276	43	76	53	45	30	5	24
		15.6%	27.5%	19.2%	16.3%	10.9%	1.8%	8.7%

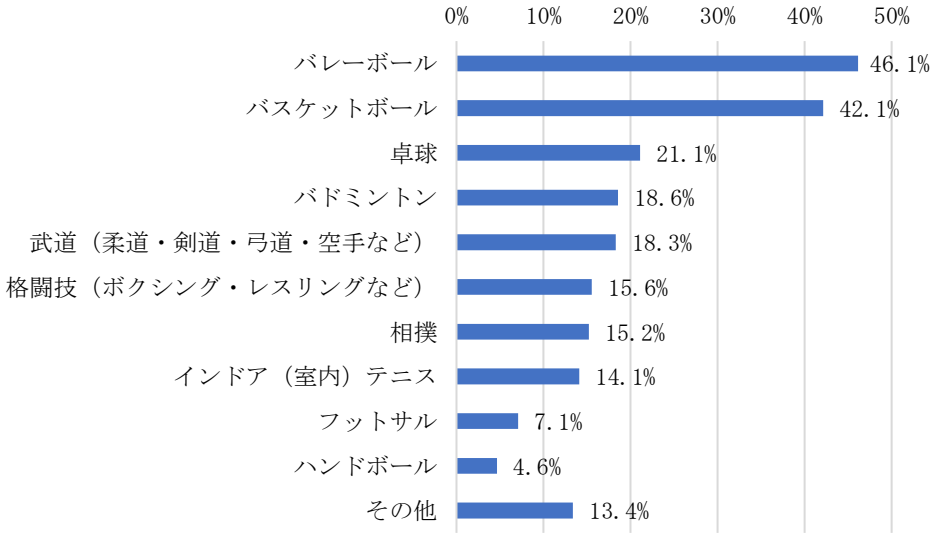
1 位：　　2 位：　　3 位：

■本施設で観戦したいスポーツ（複数回答（３つまで））

「バレーボール」が最も多く 46.1%であり、次いで、「バスケットボール（42.1%）」、「卓球（21.1%）」、「バドミントン（18.6%）」と続いています。年代別で見ると、20 代から 50 代では「バスケットボール」が多く、10 代、60 代、70 代以上では、「バレーボール」が最多となっています。

図表 ３－５　本施設で観戦したいスポーツ

（n=1,099（人））



図表 ３－６　本施設で観戦したいスポーツ（年代別）

（n=1,099（人））

	回答者数(n)	バレーボール	バスケットボール	卓球	バドミントン	武道	格闘技	相撲	インドア（室内）テニス	フットサル	ハンドボール	その他
合計	1,099	507	463	232	204	201	171	167	155	78	51	147
		46.1%	42.1%	21.1%	18.6%	18.3%	15.6%	15.2%	14.1%	7.1%	4.6%	13.4%
10 代	27	14	9	4	8	8	4	1	7	1	1	4
		51.9%	33.3%	14.8%	29.6%	29.6%	14.8%	3.7%	25.9%	3.7%	3.7%	14.8%
20 代	70	32	37	10	10	14	10	2	7	11	9	8
		45.7%	52.9%	14.3%	14.3%	20.0%	14.3%	2.9%	10.0%	15.7%	12.9%	11.4%
30 代	130	54	55	8	23	24	24	18	15	17	8	22
		41.5%	42.3%	6.2%	17.7%	18.5%	18.5%	13.8%	11.5%	13.1%	6.2%	16.9%
40 代	178	75	85	23	31	35	37	21	29	11	8	24
		42.1%	47.8%	12.9%	17.4%	19.7%	20.8%	11.8%	16.3%	6.2%	4.5%	13.5%
50 代	203	85	91	42	39	31	42	22	27	16	7	25
		41.9%	44.8%	20.7%	19.2%	15.3%	20.7%	10.8%	13.3%	7.9%	3.4%	12.3%
60 代	221	107	83	57	46	35	31	43	27	12	12	34
		48.4%	37.6%	25.8%	20.8%	15.8%	14.0%	19.5%	12.2%	5.4%	5.4%	15.4%
70 代以上	270	140	103	88	47	54	23	60	43	10	6	30
		51.9%	38.1%	32.6%	17.4%	20.0%	8.5%	22.2%	15.9%	3.7%	2.2%	11.1%

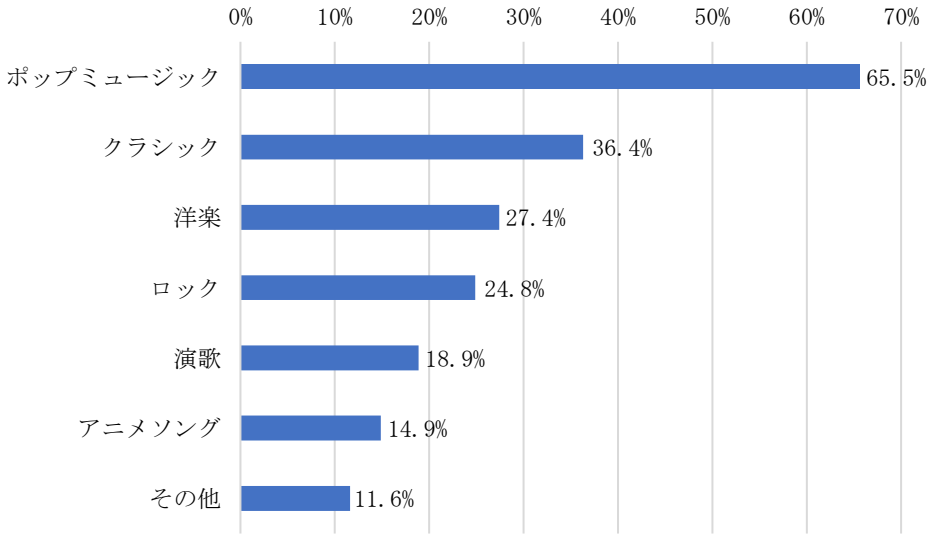
1位：　2位：　3位：

■本施設で参加したいコンサート（複数回答（３つまで））

「ポップミュージック」が最も多く 65.5%であり、次いで、「クラシック」が 36.4%と続いています。その他にも「洋楽（27.4%）」や「ロック（24.8%）」といった意見がありました。年代別で見ると、他の年代と比較し 10 代や 20 代では「アニメソング」が、70 代以上では「演歌」が多くなっています。

図表 ３－７　本施設で参加したいコンサート

（n＝1,102（人））



図表 ３－８　本施設で参加したいコンサート（年代別）

（n=1,102（人））

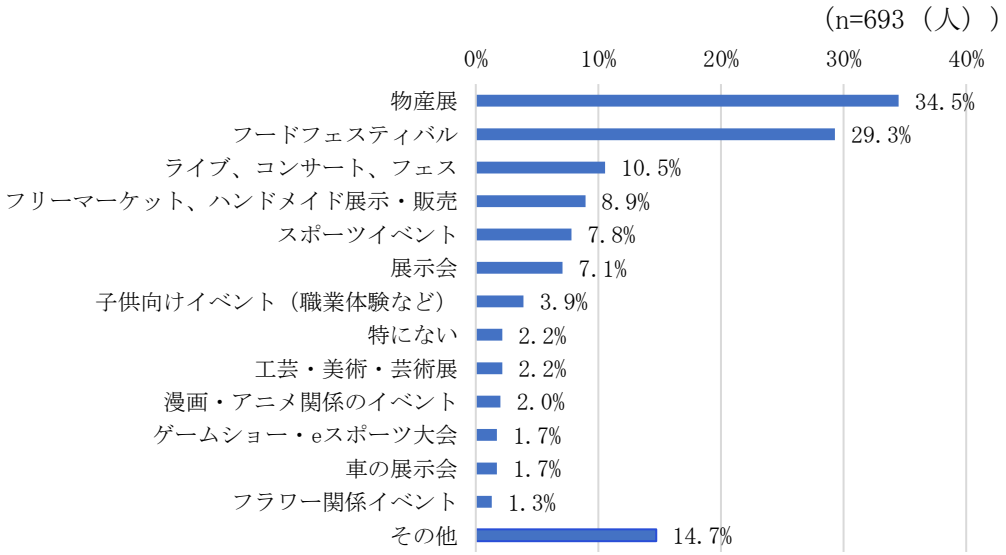
	回答者数（n）	ポップミュージック	クラシック	洋楽	ロック	演歌	アニメソング	その他
合計	1,102	722	401	302	273	208	164	128
		65.5%	36.4%	27.4%	24.8%	18.9%	14.9%	11.6%
10 代	27	18	10	7	6	1	14	2
		66.7%	37.0%	25.9%	22.2%	3.7%	51.9%	7.4%
20 代	69	57	9	23	28	1	25	6
		82.6%	13.0%	33.3%	40.6%	1.4%	36.2%	8.7%
30 代	132	95	44	44	53	1	40	12
		72.0%	33.3%	33.3%	40.2%	0.8%	30.3%	9.1%
40 代	183	136	57	53	67	3	25	20
		74.3%	31.1%	29.0%	36.6%	1.6%	13.7%	10.9%
50 代	204	156	78	56	69	12	26	19
		76.5%	38.2%	27.5%	33.8%	5.9%	12.7%	9.3%
60 代	222	157	87	57	34	48	16	30
		70.7%	39.2%	25.7%	15.3%	21.6%	7.2%	13.5%
70 代以上	265	103	116	62	16	142	18	39
		38.9%	43.8%	23.4%	6.0%	53.6%	6.8%	14.7%

1位：　2位：　3位：

■本施設で参加したいイベント（自由意見）

「物産展」が最も多く、次いで、「フードフェスティバル（B 級グルメ、うまいもの市）」、「ライブ」、「コンサート」、「フェス（アイドル・アーティストとの交流含む）」、「フリーマーケット」、「ハンドメイド展示・販売」と続きました。その他に含まれる回答としては、「映画会」、「ライブビューイング」などがありました。

図表 3－9　本施設で参加したいイベント



図表 3－10　本施設で参加したいイベント（年代別・上位５項目）

（n=692（人））

	回答者数（n）	物産展	フードフェスティバル	ライブコンサート	フリーマーケット	スポーツイベント	その他
合計	692	238	203	72	62	54	254
		34.4%	29.3%	10.4%	9.0%	7.8%	36.7%
10 代	18	1	8	1	0	2	9
		5.6%	44.4%	5.6%	0%	11.1%	50.0%
20 代	46	10	18	7	3	4	14
		21.7%	39.1%	15.2%	6.5%	8.7%	30.4%
30 代	96	23	30	15	11	11	39
		24.0%	31.3%	15.6%	11.5%	11.5%	40.6%
40 代	119	33	44	15	15	8	38
		27.5%	37.0%	12.6%	12.6%	6.7%	31.9%
50 代	129	46	41	16	15	9	43
		35.7%	31.8%	12.4%	11.6%	7.0%	33.3%
60 代	141	55	40	7	8	11	53
		39.0%	28.4%	5.0%	5.7%	7.8%	37.6%
70 代以上	143	70	22	11	10	9	58
		49.0%	15.4%	7.7%	7.0%	6.3%	40.6%

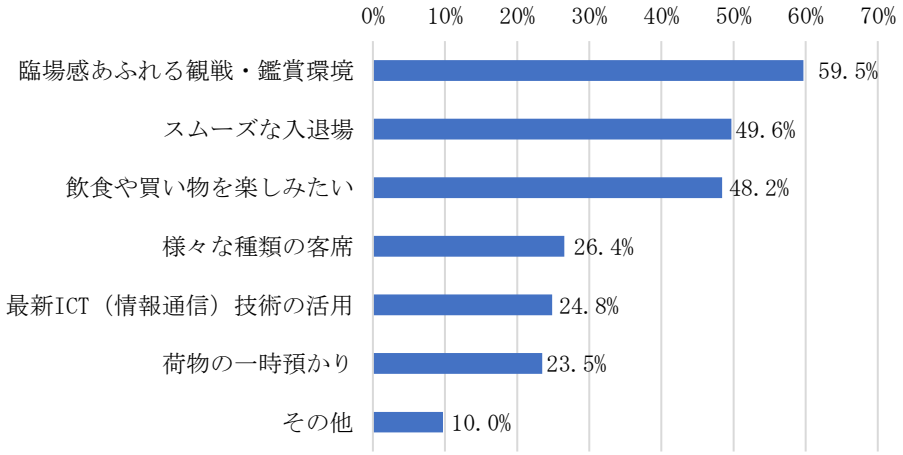
１位：　　２位：　　３位：

■快適な利用に求める機能・規模（複数回答（３つまで））

「臨場感あふれる観戦・鑑賞環境」が最も多く 59.5%であり、次いで、「スムーズな入退場」が 49.6%となっています。その他にも「飲食や買い物を楽しみたい（48.2%）」や「様々な種類の客席（26.4%）」といった意見がありました。年代別で見ると、20 代を除き、「臨場感あふれる観戦・鑑賞環境」が多くなっています。

図表 ３－１１　快適な利用に求める機能・規模

（n=1,114（人））



図表 ３－１２　快適な利用に求める機能・規模（年代別）

（n=1,111（人））

	回答者数(n)	臨場感あふれる観戦・鑑賞環境	スムーズな入退場	飲食や買い物を楽しみたい	様々な種類の客席	最新 ICT（情報通信）技術の活用	荷物の一時預かり	その他
合計	1,111	663	552	538	294	276	262	108
		59.7%	49.7%	48.4%	26.5%	24.8%	23.6%	9.7%
10 代	27	19	12	14	5	9	8	2
		70.4%	44.4%	51.9%	18.5%	33.3%	29.6%	7.4%
20 代	70	39	31	40	21	24	17	4
		55.7%	44.3%	57.1%	30.0%	34.3%	24.3%	5.7%
30 代	131	77	68	67	48	39	36	9
		58.8%	51.9%	51.1%	36.6%	29.8%	27.5%	6.9%
40 代	184	105	88	87	51	60	34	18
		57.1%	47.8%	47.3%	27.7%	32.6%	18.5%	9.8%
50 代	204	126	108	89	46	60	48	26
		61.8%	52.9%	43.6%	22.5%	29.4%	23.5%	12.7%
60 代	225	150	116	105	57	45	49	24
		66.7%	51.6%	46.7%	25.3%	20.0%	21.8%	10.7%
70 代以上	270	147	129	136	66	39	70	25
		54.4%	47.8%	50.4%	24.4%	14.4%	25.9%	9.3%

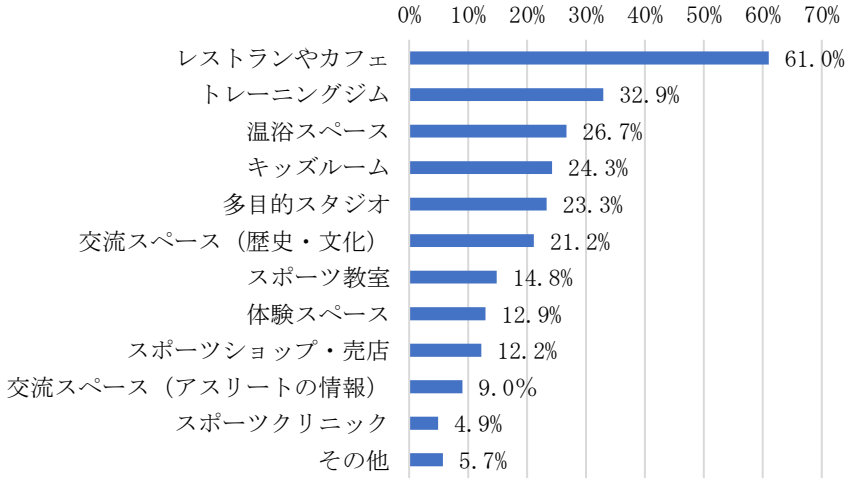
１位：　　２位：　　３位：

■日常生活における魅力的なコンテンツ（複数回答（３つまで））

「レストランやカフェ」が最も多く 61.0%であり、次いで、「トレーニングジム」が 32.9%と続いています。その他にも「温浴スペース(26.7%)」や「キッズルーム(24.3%)」といった意見がありました。年代別で見ると、30 代では「キッズルーム」が 57.7%で最多となっており、60 代や 70 代以上では「交流スペース（歴史・文化)」がそれぞれ 25.1%、44.2%と他の年代と比較し多くなっています。

図表 ３-１３　日常生活における魅力的なコンテンツ

（n=1,105（人））



図表 ３-１４　日常生活における魅力的なコンテンツ（年代別）

（n=1,104（人））

	回答者数（n）	レストランやカフェ	トレーニングジム	温浴スペース	キッズルーム	多目的スタジオ	交流スペース（歴史・文化）	スポーツ教室	体験スペース	スポーツショップ売店	交流スペース（アスリートの情報）	スポーツクリニック	その他
合計	1,104	674	364	295	268	258	234	164	143	135	100	54	62
		61.1%	33.0%	26.7%	24.3%	23.4%	21.2%	14.9%	13.0%	12.2%	9.1%	4.9%	5.6%
10 代	27	17	11	12	3	2	2	3	5	5	1	4	2
		63.0%	40.7%	44.4%	11.1%	7.4%	7.4%	11.1%	18.5%	18.5%	3.7%	14.8%	7.4%
20 代	69	35	25	25	20	13	6	14	13	18	7	2	1
		50.7%	36.2%	36.2%	29.0%	18.8%	8.7%	20.3%	18.8%	26.1%	10.1%	2.9%	1.4%
30 代	130	72	40	29	75	36	7	31	29	4	6	5	8
		55.4%	30.8%	22.3%	57.7%	27.7%	5.4%	23.8%	22.3%	3.1%	4.6%	3.8%	6.2%
40 代	184	93	60	49	52	53	16	35	42	22	14	12	10
		50.5%	32.6%	26.6%	28.3%	28.8%	8.7%	19.0%	22.8%	12.0%	7.6%	6.5%	5.4%
50 代	202	128	75	69	28	69	28	25	26	22	16	13	11
		63.4%	37.1%	34.2%	13.9%	34.2%	13.9%	12.4%	12.9%	10.9%	7.9%	6.4%	5.4%
60 代	223	149	73	56	42	48	56	31	21	31	26	8	9
		66.8%	32.7%	25.1%	18.8%	21.5%	25.1%	13.9%	9.4%	13.9%	11.7%	3.6%	4.0%
70 代以上	269	180	80	55	48	37	119	25	7	33	30	10	21
		66.9%	29.7%	20.4%	17.8%	13.8%	44.2%	9.3%	2.6%	12.3%	11.2%	3.7%	7.8%

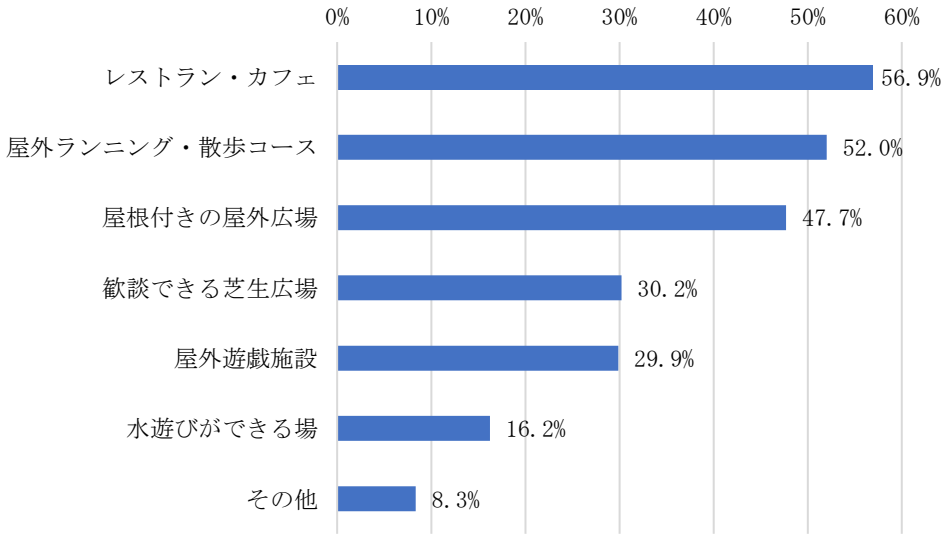
1位：　2位：　3位：

■豊橋公園に求める機能（複数回答（３つまで））

「レストラン・カフェ」が最も多く 56.9%であり、次いで、「屋外ランニング・散歩コース」が多く 52.0%を占めています。その他にも「屋根付きの屋外広場（47.7%）」や「歓談できる芝生広場（30.2%）」、「屋外遊戯施設（29.9%）」との意見がありました。年代別で見ると、30 代では「屋外遊戯施設」が 55.0%と最多となっています。

図表 ３-１５　豊橋公園に求める機能

（n=1,115（人））



図表 ３-１６　豊橋公園に求める機能（年代別）

（n=1,115（人））

	回答者数（n）	レストラン・カフェ	屋外ランニング・散歩コース	屋根付きの屋外広場	歓談できる芝生広場	屋外遊戯施設	水遊びができる場	その他
合計	1,115	634	580	532	337	333	181	93
		56.9%	52.0%	47.7%	30.2%	29.9%	16.2%	8.3%
10 代	27	17	10	8	8	10	6	3
		63.0%	37.0%	29.6%	29.6%	37.0%	22.2%	11.1%
20 代	66	37	31	30	17	25	18	3
		56.1%	47.0%	45.5%	25.8%	37.9%	27.3%	4.5%
30 代	129	62	42	57	32	71	60	12
		48.1%	32.6%	44.2%	24.8%	55.0%	46.5%	9.3%
40 代	183	102	95	67	43	74	31	15
		55.7%	51.9%	36.6%	23.5%	40.4%	16.9%	8.2%
50 代	200	118	115	85	56	53	25	22
		59.0%	57.5%	42.5%	28.0%	26.5%	12.5%	11.0%
60 代	227	131	135	124	68	59	25	14
		57.7%	59.5%	54.6%	30.0%	26.0%	11.0%	6.2%
70 代以上	283	167	152	161	113	41	16	24
		59.0%	53.7%	56.9%	39.9%	14.5%	5.7%	8.5%

１位：　　２位：　　３位：

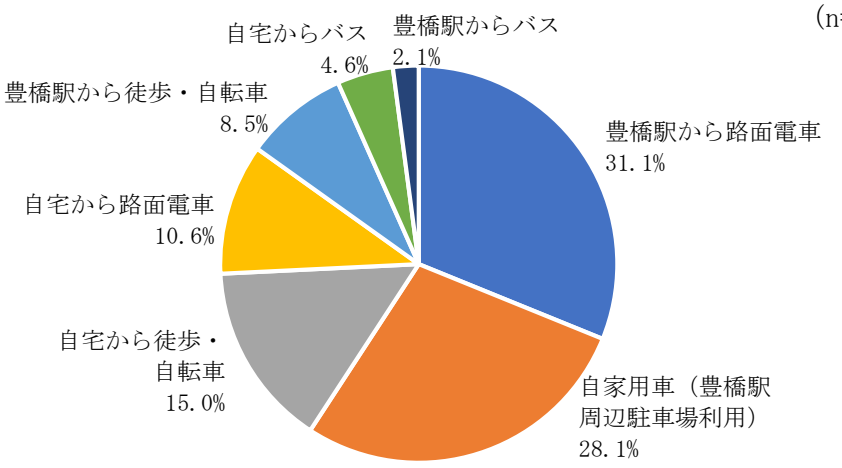
■本施設までの交通手段（豊橋公園内に本施設の興行時の利用者向け専用駐車場を整備しないものとして、交通手段の調査を実施）（単一回答）

「豊橋駅から路面電車」が最も多く 31.1%であり、次いで、「自家用車（豊橋駅周辺駐車場利用）」が多く 28.1%を占めています。その他にも「自宅から徒歩・自転車（15.0%）」や「自宅から路面電車（10.6%）」といった意見が見受けられました。年代別で見ると、20 代から 50 代が「自家用車（豊橋駅周辺駐車場利用）」との意見が多く、60 代、70 代以上では、「豊橋駅から路面電車」が多くなっています。

※アンケートでは、路面電車の愛称である「市電」を用いています。

図表 3-17 本施設までの交通手段傾向

（n=1,005（人））



図表 3-18 本施設までの交通手段傾向（年代別）

（n=1,004（人））

	回答者数（n）	豊橋駅から徒歩・自転車	豊橋駅からバス	豊橋駅から路面電車	自家用車（豊橋駅周辺駐車場利用）	自宅から徒歩・自転車	自宅からバス	自宅から路面電車
合計	1,004	85	21	312	282	151	46	107
		8.5%	2.1%	31.1%	28.1%	15.0%	4.6%	10.7%
10 代	27	7	2	3	1	12	1	1
		25.9%	7.4%	11.1%	3.7%	44.4%	3.7%	3.7%
20 代	67	10	3	16	26	11	0	1
		14.9%	4.5%	23.9%	38.8%	16.4%	0.0%	1.5%
30 代	111	13	2	27	45	9	3	12
		11.7%	1.8%	24.3%	40.5%	8.1%	2.7%	10.8%
40 代	161	17	2	41	61	21	4	15
		10.6%	1.2%	25.5%	37.9%	13.0%	2.5%	9.3%
50 代	184	12	0	58	60	29	8	17
		6.5%	0.0%	31.5%	32.6%	15.8%	4.3%	9.2%
60 代	204	17	6	70	47	34	9	21
		8.3%	2.9%	34.3%	23.0%	16.7%	4.4%	10.3%
70 代以上	250	9	6	97	42	35	21	40
		3.6%	2.4%	38.8%	16.8%	14.0%	8.4%	16.0%

1 位： 2 位： 3 位：

■本施設及び豊橋公園に関する意見要望（自由意見）

本施設及び豊橋公園に関する意見要望については、施設整備や災害時の利用に関するものが多く寄せられました。

図表 3-１９　本施設及び豊橋公園に関する意見要望

分類	主な意見
多目的屋内施設 (n=309(人))	・健康増進に使える施設としてほしい。 ・高齢者、障害者、小さな子ども等誰もが使える施設としてほしい。 ・駐車場の確保や本施設に行くまでのアクセス性を向上させてほしい。 ・災害時にも有効に利用できる施設としてほしい。 ・財政負担の軽減につながるよう、収益が見込める施設としてほしい。
豊橋公園 (n=265(人))	・子どもから大人まで楽しめる場所にしてほしい。 ・緑ある、憩いの場としての公園としてほしい。 ・気軽にアクセスできるよう駐車場等の整備をしてほしい。 ・防災拠点として活用できるよう整備してほしい。 ・トイレや授乳室、休憩所など、１日安心して利用できるような施設整備をしてほしい。

（３）アンケート結果からの示唆

アンケート結果において、市民から特に要望の多い機能は、図表 3-２０のとおりであり、これらを踏まえた上で、本計画において施設機能の充実を図る必要があります。

図表 3-２０　アンケート調査結果からの示唆

【多目的屋内施設・豊橋公園について】
・20 代から 60 代にわたって「コンサート鑑賞（ポップミュージックが主）」が最も期待する利用形態となり、また「臨場感あふれる観戦・鑑賞環境」が幅広い年代から望まれている機能となったことから、エンターテインメント性に富む「観る」機能を備え、また体験できる施設が望まれている結果となった。 ・本施設を日常的に利用する上で、豊橋公園に求める機能としては、「レストラン・カフェ」が最も求められているものとなり、公園を含めた賑わい創出に向けては、飲食・娯楽関係の需要が高い結果となった。 ・自由意見からは本施設及び豊橋公園ともに幅広い世代が利用できるような空間が求められている結果が得られたほか、災害時の施設の活用・防災拠点としての公園の活用への期待も高い結果となった。
【交通手段について】
・交通手段については、豊橋公園内に本施設の興行時の利用者向け専用駐車場を整備しない場合には、豊橋駅周辺駐車場の利用状況を把握し、対応の検討や駅からの経路確保が必要であると考えられる。

３．３　関係団体ヒアリング

（１）調査概要

本施設に必要とされる施設規模・機能について検討を進めるにあたり、関連する団体にヒアリング調査を実施しました。調査の実施概要は図表 ３-２１のとおりです。

調　査　期　間：令和４年 10 月から５年３月
実　施　方　法：対面や電話、アンケートにてヒアリング項目を中心に聞き取り
ヒアリング対象：図表 ３-２１のとおり

図表 ３-２１　調査の実施概要

種別	主なヒアリング項目
アマチュアスポーツ団体 （豊橋市スポーツ協会加盟）	各種大会開催要望・必要面数（フロア規模）、施設・豊橋公園において求められる機能
プロスポーツ団体	興行開催する上で施設に求められる仕様・機能、施設利用需要
音楽関連事業者	興行開催する上で施設に求められる附帯設備・機能、施設利用需要
MICE 関連事業者	MICE 開催する上で施設に求められる附帯設備・機能、施設利用需要
インキュベーション関連事業者	スタートアップ事業との関係、施設に求められる附帯設備・機能
障害者関連団体	ユニバーサルデザイン・バリアフリー関連について、施設に求められる機能
外国籍市民関係団体	施設・豊橋公園において求められる機能
近隣校区自治会	近隣住環境への配慮、施設・豊橋公園において求められる機能
まちなか関連団体	まちなか駐車場の利用状況、まちなかの賑わい創出

（２）ヒアリング調査結果（総括）

① アマチュアスポーツ団体

■多目的屋内施設において求められる機能
・Ｖリーグ（バレーボール）、Ｗリーグ（バスケットボール）のほか、東三河大会から全国大会等広域的な大会の開催を希望している意見がある一方で、多くの競技団体は総合体育館での大会の開催を希望する結果となった。 ・他競技、イベントと日程が重なった場合、競技に支障がないような運営を行ってほしいとの意見があった。 ・利用しやすいよう、総合体育館と同程度の利用料金を希望するとの意見があった。 ・現在の武道館の剣道場、柔道場、弓道場では、競技上必要な離隔距離が取れていないこと、観覧席、更衣室、控えスペース等がないことから、そのような機能を確保してほしいとの意見があった。 ・相撲場は、屋内施設で整備してほしいとの意見があった。
■豊橋公園において求められる機能
・公園利用者や競技団体の荷物搬入等を考慮した駐車場の整備をしてほしいとの意見があった。 ・大会が開催しやすくなるよう、今よりもテニスのコート数を増やしてほしいとの意見があった。

■多目的屋内施設で開催希望があった主な大会等		
競技種目	各種大会開催希望	希望面数
バレーボール	・Ｖリーグ ・全日本小学生バレーボール　愛知県大会　混合の部 ・全日本高等学校選手権 ・高等学校総合体育大会　東三河大会	２～４面
バスケットボール	・Ｗリーグ	１面
剣道※	・豊橋武道館開館記念剣道大会 ・豊橋南ライオンズクラブ剣道大会 ・東三河剣道実技審査会	６面
柔道※	・中学校総合体育大会（市内・東三河） ・東三河高校選手権大会 ・昇級・昇段試験	４面
空手道※	・東三河少年少女空手道錬成大会（形のみ） ・東三河空手道技術研修会 ・豊橋空手道連盟練習	２～３面
日本拳法※	・東三河大会	３面
相撲※	・西島杯小中学生相撲大会 ・豊橋こども相撲大会 ・中体連　東三河大会	本土俵：１面 サブ土俵：１面
弓道※	・道場記念弓道大会 ・市民スポーツ祭弓道大会 ・中学生弓道実技講習会	12 人立：近的１面（28m） ６人立：遠的１面（60m）
アーチェリー※	・会長杯争奪大会 ・豊橋オープン大会 ・初心者教室	幅 30m×奥行 100m（70m）

※武道場機能を取り込んだ施設を想定し、ヒアリングを実施。

② プロスポーツ団体（４団体）

■興行開催する上で施設に求められる仕様・機能
・興行・リーグ開催のためには、規定上必要となる観覧席数、選手控室、医務室、検査室等の各諸室が必要。 ・床仕上げの仕様については、木製を希望する意見が多い。コンクリート床下地に木製仕上げだと身体的な負担が懸念されるとの声あり。 ・演出面を考慮した構造にしてほしい。 ・競技の特性や基準上、一定程度の天井高さは必要。 ・選手と観客の動線が交差しないよう配慮してほしい。 ・諸室としては控室を多くしてほしい。
■施設利用需要
・各種プロスポーツの開催の可能性はあるとの意見あり。 ・各団体利用について、一定程度見込まれるものと思われるが、一方で、利用するには利用料金次第との声もあり。

③ 音楽関連事業者（３団体）

■興行開催する上で施設に求められる附帯設備・機能
・天井面について、一定程度の吊荷重（下限は全体で 50t）に耐え得るだけの構造、高さ（最低 20m）が求められる。 ・コンサート利用だとエンドステージが多いため、その場合の観覧席配置・座席数を把握しておく必要がある。 ・アーティストの楽屋以外に運営スタッフの控室も一定規模のものが必要。 ・仮設の舞台セットがあると多様な興行に対応しやすい。 ・演出方法が多岐にわたるため、十分な電力容量の確保、ケーブルの位置への配慮が求められる。 ・大型トラックが直接搬出入できる状態だと使い勝手がよい。搬出入口は、複数あることや間口が広いことが求められる。 ・そのほか、暗転可能なこと、物販スペース等が必要となる。
■施設利用需要
・アリーナコンサートであれば、観客規模としては 7,000～8,000 人程度あった方が採算面で誘致の可能性が高まるとの意見あり。 ・中小規模のステージやコンサートだと設備が取り揃えられたホールが利用されることが多いとの意見あり。

④ MICE 関連事業者（２団体）

■市内の MICE 開催の現状

・新型コロナウイルス感染症の影響で、近年需要・開催が減少しており、東京、大阪、名古屋等の大都市圏に集中している。
・ネットワークビジネスや自己啓発系のセミナーが増えている。

■MICE を誘致する上で施設に求められる附帯設備・機能

・大型車両が直接アリーナフロアへ搬出入することが可能で、複数出入口があると使い勝手がよい。
・会場内で調理・飲食可能であると物産展等にも対応しやすく、多くの事業者を集めることができる。
・最先端の照明や映像装置などの演出機材が充実していると、多様なイベントを呼び込める可能性が高まる。

■施設利用需要

・講演会等はプロモーション次第で一定程度開催できる可能性がある。
・展示会等は搬出入、演出機材等使い勝手がよければ誘致できる可能性がある。

■MICE を誘致する上での課題

・MICE は、一般的に宿泊、食事、駐車場がセットで誘致するものである。利用者用駐車場が多くあった方がよい。

⑤ インキュベーション関連事業者（２団体）

■スタートアップ事業との関連

・本施設にインキュベーション機能を取り込むとすると、スポーツ科学を研究できる実証実験の場としての活用の可能性はある。

■施設に求められる附帯設備・機能

・実証実験は多種多様であるため、その対応に特化した専用施設である必要はない。
・オンライン配信等のデジタル環境、少人数から大人数までフレキシブルに対応できる機能など多目的に利用できるスペースは欲しい。
・施設運営側も実証実験を行う場合は、協力体制が求められる。

⑥ 障害者関連団体（３団体）

■ユニバーサルデザイン・バリアフリー関連について、施設に求められる機能
・コンサート開催にあたり、バリアフリー字幕、ヒアリングループの導入等、高齢者や障害者が観覧しやすくなるような配慮をしてもらいたい。 ・視覚、聴覚等感覚過敏の症状がある人に考慮したセンサリールームの設置等を配慮してもらいたい。 ・車いす利用者が自由に観覧席を選べるよう、観覧場所を固定せずに自由度を持たせた配席にしてもらいたい。
■多目的屋内施設の利用想定や開催希望の大会
・いずれはパラリンピックを目指す拠点になってもらいたい。 ・新しい障害者スポーツの紹介や体験ができる場になるとよい。 ・あいち障害者フライングディスク競技大会等、誰もが一緒に参加できる大会を開催したい。

⑦ 外国籍市民関係団体（２団体）

■多目的屋内施設に求められる機能
・スポーツ観戦やイベント終了後に、友人や家族とその余韻に浸れるようなスペースを作ってほしい。 ・ダンス教室等で利用が可能で、防音・音響設備が整ったスタジオを作ってほしい。
■豊橋公園に求められる機能
・朝倉川の景観を生かしたカフェや喫茶店等があるとよい。 ・家族での移動が多いことから、自動車を使用する場合がほとんどであり、駐車場がないと行きにくい。 ・バーベキューができるスペースがないかとの相談もあることから、豊橋公園内でそういった設備・スペースを設置してほしい。
■施設利用需要・開催希望
・市役所で税務勉強会等を開催しているため、可能ならアリーナでの開催もしたい。 ・海外のインフルエンサーをゲストに呼ぶイベント等があれば、市外からも多くの集客が見込まれる。

⑧ 近隣校区自治会

■近隣住環境への配慮事項
・周辺の道路は狭いため、交通渋滞・事故への対策を徹底してほしい。 ・特に朝夕の交通渋滞がある地域であるため、渋滞による市民生活への負担に配慮してほしい。 ・周辺が子どもたちの通学路であることへの配慮をしてほしい。 ・緊急車両への対応のための道路整備を検討してほしい。 ・周辺生活道路での違法駐停車への対策をしてほしい。 ・騒音や光害、ごみのポイ捨てなどといった問題への対策を徹底してほしい。 ・住環境の急激な変化を伴わない対策の検討をしてほしい。
■近隣校区住民として多目的屋内施設やそれに伴い再整備される公園に望むこと
・災害時に逃げ込めるような施設が必要。 ・豊橋公園について、ラジオ体操や朝夕の散歩、子どもの遊び場で利用しており、広場など緑地部分は減らさないようにしてほしい。 ・利用料金や利用日数などの面で市民が利用しやすい施設にしてほしい。 ・公園利用者以外の駐車が見受けられるため、公園内の駐車場の有料化を考えた方がよい。

⑨ まちなか関連団体

■まちなか駐車場の利用状況
・豊橋駅周辺駐車場の利用促進には、サービスの向上をはじめ様々な面からの検討が求められる。
■まちなかの賑わい創出
・継続的にまちなかに賑わいをもたらすには、イベント時において、どのような人がどれくらい来るのかなど、もっと人の流れを把握する必要がある。 ・まちなかの賑わい創出には商店街との連携が必要。その連携のためには官民一体となって行う必要がある。
■多目的屋内施設へのアクセスについて
・広小路通りや駅前大通り等の通りについて、もっと歩きたくなる環境づくりが必要。

（３）関係団体ヒアリング結果からの示唆

関係団体ヒアリング結果の中で、計画を進める上で特に配慮すべき事項を、図表３-２２に示します。

図表 ３-２２　ヒアリング結果からの示唆

【ヒアリング結果からの示唆】
・各アマチュアスポーツの競技団体は、団体主催の大会会場として主に総合体育館での開催を希望しているが、東三河大会から全国大会等の開催需要はあるため、その施設整備・運営が求められている。 ・多目的な利用を実現するために、利用用途に対する利用諸室の選択・諸室規模（フロア・観覧席規模）・附帯設備の有無などの検討を深める必要がある。 ・「観る」スポーツの場として、複数のプロリーグが開催できる仕様とすることが望ましく、その場合の施設利用料金については、利用者ニーズ、施設運営の経済性を鑑みて適切に設定されることが求められる。 ・公園整備について、自然環境・周辺環境の保全や調和、憩いの場や賑わいの場など、市民の交流の場としての整備が求められている。 ・公園内の駐車場の運営のあり方や豊橋駅周辺駐車場との連携等を考える必要がある。 ・近隣に住宅があることから、整備から運営まで住環境への配慮が必要である。

３．４　市民ワークショップ

（１）実施概要

市民目線の様々なニーズやアイデア、施設に求める機能等を本施設の整備の参考とするため、応募のあった市内在住・在学・在勤の高校生以上の方と「できたらいいな、こんなこと！」をテーマに全３回にわたりワークショップを実施しました。

図表　3-２３　実施概要

	第１回	第２回	第３回
開催日程	令和４年７月 31 日	令和４年９月 11 日	令和４年 10 月 23 日
参加者	19 名	16 名	14 名
テーマ	とよはしについて語ろう	多目的屋内施設を考えよう	イメージ図を作ろう
実施方法	各回２～４人のグループに分かれ、テーマに沿って話し合い、出し合ったアイデアや意見を発表しました。第３回には全３回のワークショップの総まとめとして、発表を行いました。		

（２）発表内容

図表　3-２４　発表内容

	意見
多目的屋内施設に関するアイデア等	■必要な諸室・機能 ・公園利用者も利用可能なジムや長時間滞在可能な広い休憩スペース ・日常的に利用が可能なスポーツスペース ■施設の外観 ・アリーナ１階部分をガラス張りとし施設内の賑わいを可視化させる ・木材を活かした建物とし、豊橋公園の自然と調和させる
豊橋公園の整備に関するアイデア等	■必要な施設について ・多世代・ペットが交流できる憩いの場となる芝生広場 ・児童遊園は整備内容・位置について様々な声あり（現在位置を希望する意見、市民プール跡地や武道館のエリア全体を児童遊園としフィールドアスレチック等を提案する意見） ・沖野地区に立体駐車場を整備し豊橋公園から行けるようにする ■公園全体について ・自然を保存する形でのアイデアが多数（景観を楽しめるウォーキング・ランニングコース、くすのき通の並木道を活かしたアプローチ等） ・利用目的、ターゲット層に分かれて公園全体をゾーニングする（自然あふれるゾーン、観光者向けゾーン、子育てゾーン、交流スペース（スポーツ利用）等）
その他	■アクセス面について ・市電輸送量の増大やシャトルバスの活用等 ■多目的屋内施設周辺について ・プロスポーツを体感しながら公園に向かって歩いて行ける仕掛け ・住環境への配慮

第４章　関連施設の利用実態整理

４．１　関連施設の利用状況等の実態整理

本施設は、各種スポーツ競技の利用のほかにも、コンサートや展示会等の利用にも対応した施設を想定しています。また、整備にあたっては、既存施設との利用の棲み分けや複合化・集約化による維持管理費の抑制により、施設の効率化、最適化につなげることが重要になります。

「豊橋市公共施設等総合管理方針」では、稼働率が低い施設において改善が見込めないと判断した場合や、機能の類似する施設が近接している場合は、複合化・集約化を選択することも考えとしていますので、ここでは本施設に関連する類似施設（以下「関連施設」という。）の利用実態の整理を行います。

（１）関連施設の概要

スポーツ施設については、総合体育館をはじめ、各種屋内競技が可能な地区体育館、武道館を利用実態整理の対象（以下「対象スポーツ施設」という。）とします。また、文化施設については、多目的な利用がされているホールが含まれている施設を整理対象とします。各施設の概要は図表 ４－１のとおりです。

図表 ４－１　関連施設の概要一覧

施設名	主な施設内容	開設年	延べ面積	駐車台数
総合体育館	屋内スポーツ全般（第１競技場：バスケットボール４面、第２競技場：バスケットボール２面、卓球室）	1989 年	12,584.49 ㎡	410 台
前田南地区体育館	屋内スポーツ全般（バスケットボール２面）	1974 年	1,224.00 ㎡	12 台
新栄地区体育館		1975 年	1,116.50 ㎡	65 台
牛川地区体育館		1982 年	1,313.86 ㎡	28 台
草間地区体育館		1984 年	1,301.88 ㎡	25 台
飯村地区体育館		1985 年	1,350.03 ㎡	60 台
下五井地区体育館		1989 年	1,441.50 ㎡	88 台
浜道地区体育館		1990 年	1,413.07 ㎡	80 台
二川地区体育館		1991 年	1,443.86 ㎡	39 台
石巻地区体育館		1992 年	1,444.81 ㎡	91 台
大清水地区体育館		1994 年	1,537.03 ㎡	83 台
武道館	柔道場、剣道場、弓道場（近的・遠的）、相撲場、トレーニング室	1973 年	3,038.56 ㎡	40 台
豊橋市民文化会館	ホール（490 席）	1967 年	6,065.68 ㎡	158 台
ライフポートとよはし	コンサートホール（1,000 席）、中ホール（306 席）	1994 年	11,017.28 ㎡	720 台
アイプラザ豊橋	講堂（1,469 席）、小ホール（250 席）	1976 年	13,298.84 ㎡	323 台
穂の国とよはし芸術劇場「プラット」	主ホール（778 席）、アートスペース（266 席）	2013 年	8,036.59 ㎡	36 台

（２）対象スポーツ施設における利用状況等の実態整理

①　稼働率の推移

対象スポーツ施設の稼働率を図表　４－２に年度別でまとめました。なお、令和２年度及び令和３年度は新型コロナウイルス感染症の影響から参考値となりますが、コロナ禍前の平成 27 年度、平成 30 年度の実績からは以下に示す傾向となっています。

・総合体育館における第１競技場の稼働率は、平日が 30～50%程度、土日・祝日が 80～90%程度で推移しています。
・地区体育館では、前田南地区体育館の稼働率が概ね 90%以上と最も高い水準で推移しています。また、地区体育館全体を通じても、稼働率は高い水準となっています。
・武道館では、柔道場の土日・祝日の稼働率が 60%前後で推移していますが、武道館全体を通じては概ね 30%前後の水準で推移しています。

図表　４－２　各スポーツ施設の稼働率

屋内スポーツ施設名	平成 27 年度			平成 30 年度			令和 2 年度			令和 3 年度		
	平日（全日）	平日（夜間のみ）	土日・祝日	平日（全日）	平日（夜間のみ）	土日・祝日	平日（全日）	平日（夜間のみ）	土日・祝日	平日（全日）	平日（夜間のみ）	土日・祝日
総合体育館※	23.2%	33.9%	56.1%	33.7%	41.7%	59.7%	25.1%	38.8%	43.1%	28.2%	38.0%	51.7%
第１競技場	30.9%	39.3%	80.9%	45.8%	53.9%	87.5%	35.7%	39.1%	64.2%	34.0%	38.7%	75.3%
第２競技場	35.3%	65.4%	75.9%	43.6%	65.0%	72.9%	28.8%	61.2%	54.2%	37.5%	66.6%	62.6%
前田南地区体育館	94.6%	96.3%	91.6%	95.2%	95.9%	94.5%	90.5%	88.2%	84.9%	87.2%	79.7%	85.8%
新栄地区体育館	67.4%	95.0%	90.2%	65.6%	97.2%	89.4%	58.4%	86.4%	86.5%	57.6%	69.8%	89.4%
牛川地区体育館	81.2%	89.0%	88.0%	85.4%	88.6%	89.7%	70.5%	79.0%	79.9%	67.6%	74.2%	80.9%
草間地区体育館	86.8%	90.3%	89.9%	90.3%	95.9%	90.3%	74.2%	75.4%	71.0%	83.5%	87.0%	82.5%
飯村地区体育館	83.5%	96.6%	89.7%	75.6%	99.2%	94.8%	71.3%	87.9%	84.5%	63.0%	81.8%	84.3%
下五井地区体育館	51.8%	91.1%	88.9%	50.6%	94.0%	91.3%	47.1%	86.1%	75.2%	47.4%	79.7%	80.0%
二川地区体育館	58.6%	88.5%	89.0%	59.1%	86.0%	89.7%	87.4%	93.5%	88.9%	84.6%	78.4%	83.3%
浜道地区体育館	85.4%	90.6%	92.0%	88.7%	95.1%	92.3%	53.0%	66.0%	79.3%	42.5%	68.0%	78.9%
石巻地区体育館	50.6%	90.1%	86.5%	59.2%	83.9%	90.0%	55.2%	93.2%	95.7%	48.6%	82.0%	79.2%
大清水地区体育館	73.6%	85.1%	86.5%	64.0%	92.0%	91.9%	47.2%	65.6%	62.4%	56.9%	83.9%	82.6%
武道館	4.5%	6.0%	28.4%	3.8%	5.6%	28.7%	5.6%	4.5%	22.9%	6.0%	6.7%	23.9%
柔道場	10.3%	22.0%	66.1%	11.2%	21.8%	66.7%	13.2%	2.4%	28.4%	14.7%	15.0%	31.3%
剣道場	6.5%	1.6%	40.2%	3.1%	0.5%	31.6%	13.2%	20.1%	50.2%	11.7%	18.7%	56.5%
弓道場(近的・遠的)	2.4%	2.6%	16.1%	2.2%	2.6%	19.5%	1.3%	0.0%	15.2%	1.8%	0.0%	14.4%
相撲場	1.0%	1.0%	3.7%	0.5%	0.5%	6.2%	0.0%	0.0%	5.6%	0.2%	0.0%	2.9%

※総合体育館全体の稼働率は、第１競技場、第２競技場、第１会議室、第２会議室、研修室を対象にして算出しています。

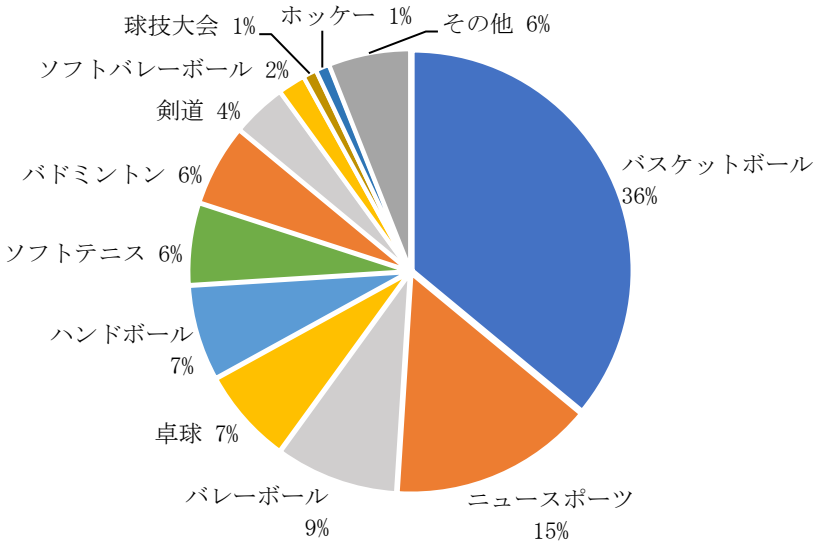
【関連施設における各項目の説明、計算方法】
開館日数・・・・・・休館日を除いた開館日の合計
施設の利用可能時間・・・・午前（9：00～12：00）、午後（13：00～17：00）、
夜間（17：00～21：00）の３区分
稼働率＝年間利用回数／年間利用可能回数
※施設予約システムによる団体利用のみの稼働率のため、各施設における個人利用実績は含まれていません。

②　利用目的（競技種目）

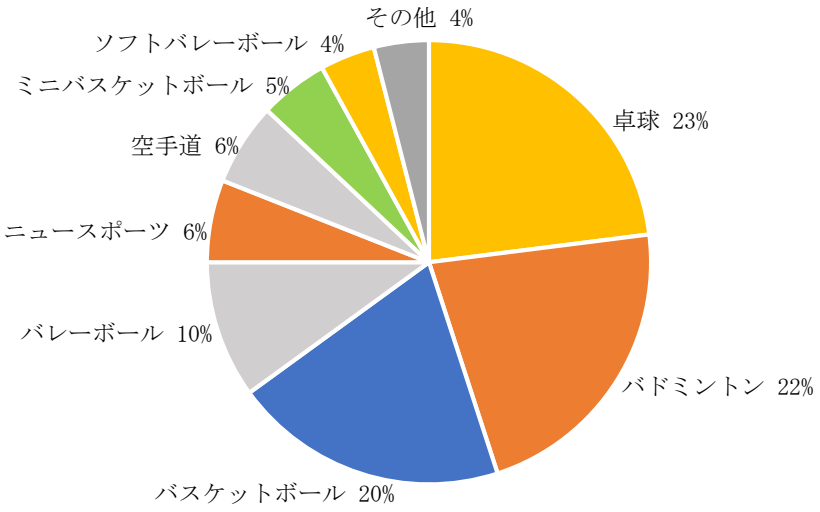
令和３年度の対象スポーツ施設の利用目的（競技種目）を整理しました。

総合体育館及び地区体育館では屋内競技全般、武道館では武道系の競技種目が主として行われています。

図表　４－３　総合体育館（第１競技場）

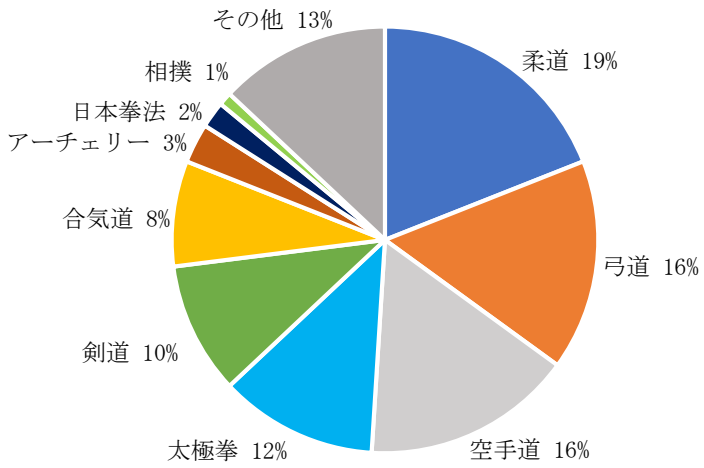


図表　４－４　地区体育館（10 施設）



※ニュースポーツとは、新しく考案されたスポーツ群（インディアカ、ドッジボール、フロアボール等）であり、レクリエーションの一環として楽しむスポーツの総称です。

図表　4－5　武道館



③　総合体育館の利用実態及び考察

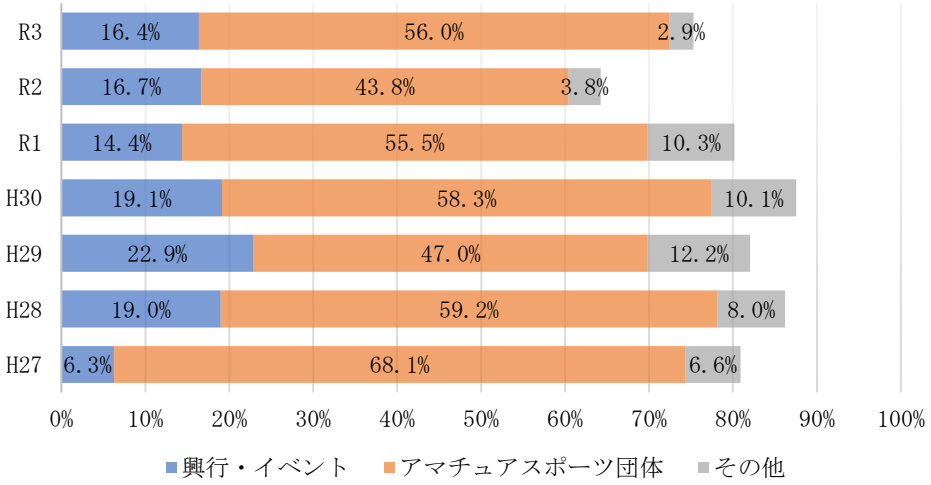
アマチュアスポーツ団体へのヒアリング（本計画第３章）の中で、多くの競技団体は総合体育館での土日・祝日での大会開催を希望している傾向がみられました。

そこで、令和３年度の総合体育館で利用されている各アマチュアスポーツ団体の利用状況を整理し考察を深めます。

（ア）稼働率（第１競技場の土日・祝日のみ）及び利用種別の整理

興行・イベント、アマチュアスポーツ団体の稼働率の推移を図表 ４－６にまとめました。

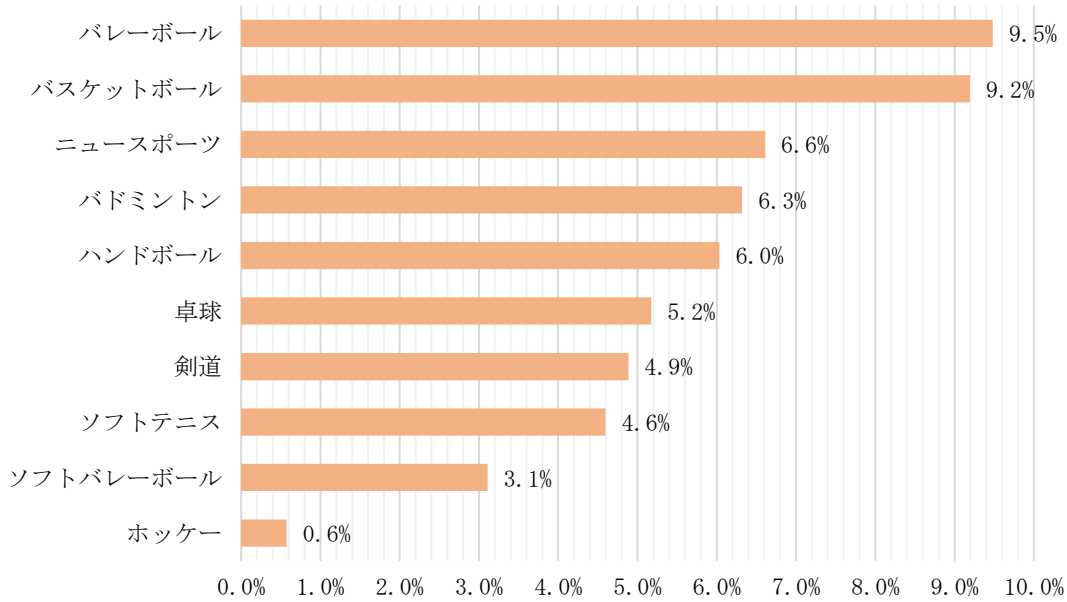
図表 ４－６　興行・イベント、アマチュアスポーツ団体の稼働率の推移



（イ）アマチュアスポーツ団体の利用目的（第１競技場の土日・祝日のみ）の整理

アマチュアスポーツ団体の利用目的の内容を図表 ４－７にまとめました。

図表 ４－７　アマチュアスポーツ団体の利用目的



（ウ）総合体育館で開催された主なアマチュアスポーツ団体の大会・イベント実績の整理

過去５年間において、総合体育館で開催された主なアマチュアスポーツ団体の大会・イベントを図表 4-8にまとめました。（第１競技場の土日・祝日開催のみ）

図表 4-8　総合体育館で開催された主なアマチュアスポーツ団体の大会・イベント

競技名	大　会・イベント名
ハンドボール	・中学スプリングカップ選手権大会　・愛知県高等学校総合体育大会 ・愛知県高等学校新人体育大会　・三河東西対抗総合室内ハンドボール大会
バレーボール	・バレー教室　・国盛杯　・全日本小学生バレーボール愛知県大会 ・豊橋バレーボールフェスティバル　・高等学校総合体育大会東三河大会 ・高等学校総合体育大会愛知県大会　・全日本高等学校選手権 ・愛知県高等学校新人体育大会　・小学生バレーボールフェスティバル
中小学校体育連盟	・東三河中学校総合体育大会（ハンドボール・バレーボール） ・愛知県中学校総合体育大会（ハンドボール） ・市内中学校総合体育大会（バレーボール・卓球・剣道） ・市内中学校新人総合体育大会（ハンドボール・バレーボール）
バドミントン	・市民スポーツ祭　・チーム対抗リーグ大会（前期） ・チーム対抗リーグ大会（後期）
バスケットボール	・サーラ杯サマーフェスティバル　・豊橋ジュニアバスケットボール交歓大会 ・豊橋バスケットボール協会長杯 U12 バスケットボール招待大会
卓球	・三遠新人大会　・全三河社会人大会 ・ニッタク杯三遠大会　・一万人豊橋大会 ・三遠選手権大会　・豊橋ラージボール大会 ・全三河選手権大会　・三遠大会 ・中日楯全三河大会
ソフトテニス	・全国選抜インドアソフトテニス大会 ・県選抜高校インドアソフトテニス大会 ・東海選抜高校インドアソフトテニス大会
剣道	・東三河武徳祭剣道大会　・市民スポーツ祭剣道大会 ・東三河剣道形講習会　・高校剣道錬成会
空手道	・東三河少年少女空手道錬成大会　・東三河空手道選手権大会 ・スポーツ少年団空手道交流大会　・市民スポーツ祭空手道大会

※上記以外の競技団体は大会・イベントの開催実績なし

（エ）総合体育館で開催したいアマチュアスポーツ団体の大会・イベント（現在開催している大会を除く）

総合体育館で開催希望の大会のニーズ調査を行いました。その結果を図表 4－9に示します。（土日・祝日開催のみ）

図表 4－9　総合体育館で開催したいアマチュアスポーツ団体の大会・イベント

競技名	大　会・イベント名 総合体育館で開催したい大会 （新たに開催したい大会、別のスポーツ施設で行われていた大会等）
ハンドボール	・中学市内総合体育大会 ・中学河合杯１・２年生大会 ・中学市内新人体育大会 ・市内中学校１年生 U-13 大会 ・愛知県高等学校ハンドボール選手権大会 ・愛知県高等学校総合体育大会 ・愛知県高等学校新人体育大会 ・東三河高等学校ハンドボール選手権大会
バレーボール	・新人戦東三河地区予選会 ・全日本小学生バレーボール東三河予選会 ・小学生バレーボール市内大会 ・全日本クラブカップ９人制男女選手権愛知県予選会 ・愛知県高等学校新人体育大会
バスケットボール	・愛知県 U12 バスケットボール前期リーグ ・愛知県 U12 バスケットボール後期リーグ ・愛知県高等学校総合体育大会 ・全国高等学校バスケットボール選手権大会愛知県大会 ・愛知県高等学校新人体育大会 ・高校東海ブロックリーグ戦 ・豊橋バスケットボール協会長杯 U12 バスケットボール招待大会

※上記以外の競技団体は大会・イベントの開催希望なし

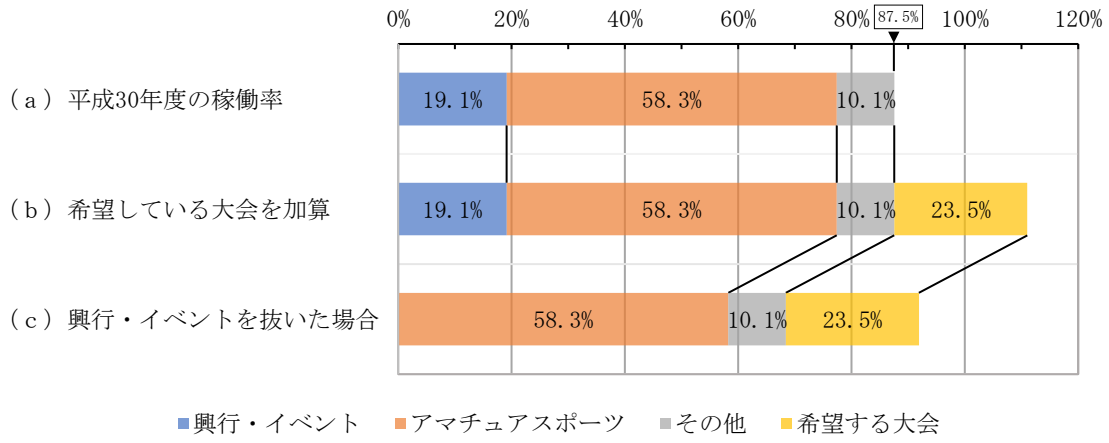
（オ）アマチュアスポーツ団体の希望する大会開催の可能性の検討

（ア）～（エ）の結果をもとに、各アマチュアスポーツ団体が希望している大会開催の可能性について、下記の条件のもとでシミュレーションを行いました。

（ａ）：過去７年間で最も高かった平成 30 年度の稼働率（第１競技場の土日・祝日のみ）
（ｂ）：（ａ）に各アマチュアスポーツ団体が希望している大会を加算
（ｃ）：（ｂ）から興行・イベントを抜いた場合

（ｂ）の結果では、稼働率が 100％を超えた状態となりますが、（ｃ）の結果から興行・イベントを抜いた状態であれば、希望する大会について、開催可能となる見込みとなりました。

図表　４－１０　総合体育館で希望する大会開催の可能性の検討結果



以上の結果から、数値上では興行・イベントを本施設で開催すれば、総合体育館にて各アマチュアスポーツ団体のニーズは満たすことになりますが、稼働率が 90％を超えることから、仮にアマチュアスポーツ団体のニーズに応える大会を総合体育館で開催すると、依然として過密状態となります。

今後はそうした状況も踏まえ、広域的な大会を本施設へ誘致するなどの取り組みを進めることが重要です。

④　武道館の利用実態

武道館は、本施設の整備計画地内に配置されており老朽化が進んでいることから、本施設に集約化することが有力な施設となっています。

そこで、武道館の利用実態を整理するとともに各アマチュアスポーツ団体の希望する大会を整理します。

（ア）利用状況の整理

武道館の利用状況については、図表 ４−２及び図表 ４−５で示したとおり稼働率としては低い状態となっており、特定のアマチュアスポーツ団体により利用されている傾向が見受けられます。

（イ）武道館で開催された主なアマチュアスポーツ団体の大会・イベント実績の整理

過去５年間において、武道館で開催された主なアマチュアスポーツ団体の大会・イベントを図表 ４−１１にまとめました。

主に市内大会や東三河の大会が開催されている状況となっています。

図表 ４−１１　武道館で開催された主なアマチュアスポーツ団体の大会・イベント

競技名	大　会・イベント名	
剣道	・武道館開館記念剣道大会	・東三河剣道実技審査会（段）
	・豊橋南ライオンズクラブ剣道大会	・東三河剣道連盟講習会・審査会
	・剣道実技審査会（級）	・豊橋市少年剣道大会
空手道	・東三河少年少女空手道練成大会	・東三河空手道技術研修会
	・空手道連盟練習	
柔道	・全三河高校体重別大会	・松本薫柔道教室
	・全三河少年柔道大会	・市内中学校新人体育大会
	・全三河高校選手権大会	・武道館竣工記念柔道大会
日本拳法	・東三河大会	
弓道	・道場記念弓道大会	・穂の国新年射会
	・市民スポーツ祭	・東三河弓道会対抗戦
	・愛知大学遠的大会	・東三河ねんりん弓道大会
アーチェリー	・月例会	・会長杯争奪大会
	・市民スポーツ祭	・初心者教室
相撲	・市民相撲選手権大会	・西島杯小中学生相撲大会
	・東三河中学校総合体育大会	・相撲道場相撲教室

（３）文化施設における利用状況等の実態整理

①　稼働率の整理

各文化施設の稼働率について、図表　４－１２にまとめました。

図表　４－１２　各文化施設の稼働率

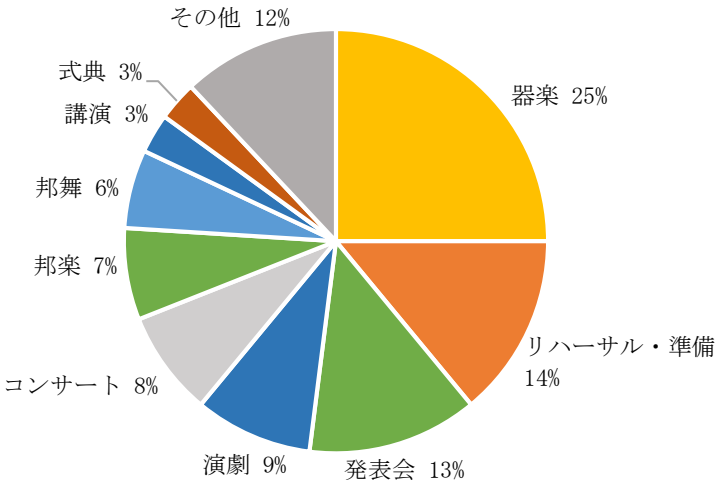
	H27	H28	H29	H30	R１	R２	R３
豊橋市民文化会館	47.8%	43.4%	45.0%	49.0%	33.8%	26.1%	35.0%
ライフポートとよはし	46.6%	52.4%	52.5%	48.9%	45.7%	30.0%	33.1%
アイプラザ豊橋	47.0%	47.5%	51.2%	53.7%	54.5%	45.5%	46.9%
穂の国とよはし芸術劇場	50.7%	55.2%	59.5%	59.3%	53.3%	37.0%	38.0%

②　利用目的の整理（ホール）

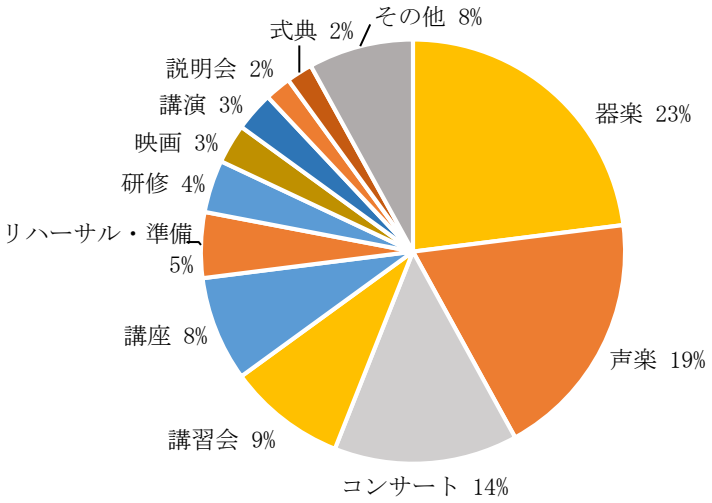
演目の内容について、図表　４－１３、図表　４－１４、図表　４－１５、図表　４－１６にまとめました。

これら①、②の状況も踏まえて、第５章以降において検討を深めていくものとします。

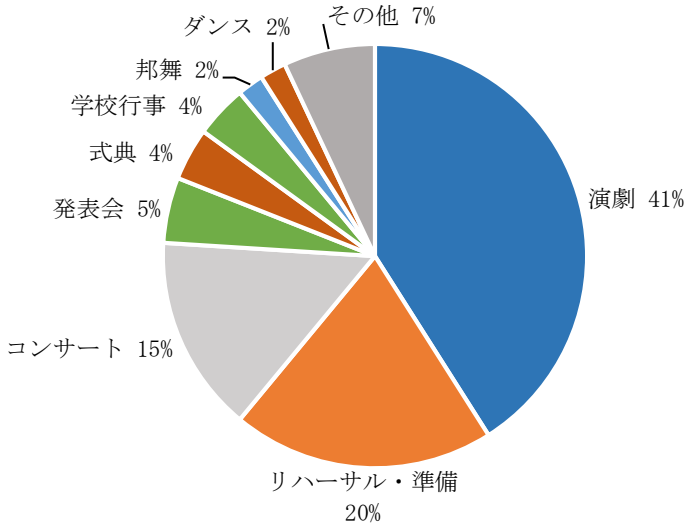
図表　４－１３　豊橋市民文化会館



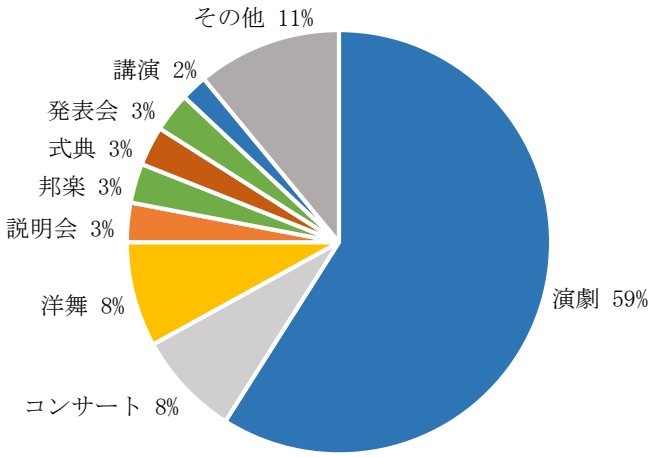
図表　４－１４　ライフポートとよはし



図表　４－１５　アイプラザ豊橋



図表　４－１６　穂の国とよはし芸術劇場



第５章　整備方針

５．１　整備・運営基本方針

本計画の前章までの内容を踏まえ、本施設の整備に向けた整備・運営基本方針を以下に示します。

①　多様な「観る」機能を備えた施設

・ハイレベルなプロスポーツ等の観戦において、スポーツの魅力を体感できるような機能の整備や、体験価値を高める運営に対応できる施設整備を行う。

・スポーツ以外にも、コンサートや大規模イベントの開催などの様々な利活用が可能となる施設として、機能の充実を図り、稼働率の向上や収益性が期待できる施設整備を行う。

②　広域的な大会開催や日常利用の機能を備えた施設

・東三河大会や、県大会、全国大会まで広域的な大会開催・運営に対応できる環境を整える。

・年齢や性別、競技レベルや障害の有無に関わらず快適・安全に利用でき、日常的な健康づくり・体力づくりも兼ね備えた施設整備を行う。

③　憩いと交流・まちなかの賑わいの創出につながる施設

・豊橋公園の自然や歴史・文化と調和したランドスケープとし、公園内の他施設とともに、スポーツや文化活動など多目的な利用を通じて、多様な世代が交流し憩いの場となる施設整備を行う。

・まちなかの施設やイベントとの連携による地域活性化や新たな賑わい創出に寄与する施設運営を行う。

④　地域の防災拠点機能を備えた施設

・災害時には受援のための活動拠点や支援物資の輸送拠点等として活用できるよう、地域の防災拠点機能を備えた施設整備を行う。

・豊橋公園内の他の施設や周辺の行政機関との連携により災害対応の強化が図られる施設整備を行う。

⑤　人にやさしく環境に配慮した施設

・ユニバーサルデザインやバリアフリーを意識し、利用しやすい環境を整える。
・太陽光発電システムなど再生可能エネルギーの活用を推進し、環境負荷の低減やランニングコストに配慮した施設整備・管理運営を行う。
・公園内の自然・歴史的景観との調和を意識した施設整備を行う。
・大規模イベント等の利用時においては、公共交通機関、自転車や徒歩等による来場を促すとともに、交通弱者も本施設へアクセスしやすい取り組みを行う。

⑥　民間活力を活かした公園一体での整備・運営

・民間ノウハウを活用し、施設と公園が一体となり、賑わいがある魅力的な空間を実現するとともに、財政負担の軽減が期待できる整備・運営を行う。

５．２　施設規模・機能

５．２．１　多目的な利用とするための諸室・機能の整理

（１）プロスポーツ利用

施設整備にあたって、必要な各種プロスポーツ等（新 B1 リーグ基準、V リーグ、T リーグなど）の利用における基準について整理しました。基本的に新 B1 リーグ基準を満たしていると、他の基準は包含されていることになり、これらの基準を満たすメインアリーナの整備が必要になります。

図表　5-1　各種プロスポーツ等利用基準

名称	基準	求められる主な機能
B リーグ (バスケットボール)	ホームアリーナ検査要項 2026－27 シーズン新 B1 用	・観客席数 5,000 席以上 ・スイート・ラウンジ対応 ・床材木製またはリーグ検査製品 ・照度 1,400 lx以上（将来的には 2,000 lx以上の確保が望ましい） ・冷暖房完備（冷房 26℃、暖房 21℃目安） ・飲食関連施設 ・駐車場（TV 中継車等） ・トイレ（入場可能数の３%）
V リーグ (バレーボール)	V リーグライセンス交付規則（令和５年３月） ホームアリーナ要件（2020 年６月 30 日）	・観客席数 3,000 席以上（S１ライセンス） ・フロア床面 50m×25m 以上 ・高さ 12.5m 以上 ・照度 1,000～1,500 lx ・室温 16～25℃
T リーグ （卓球）	T リーグ規約・規程集 （2021 年９月）	・観客席数 2,000 席以上 ・競技領域　縦 16.8m 以上×幅 8.4m 以上×高さ５m 以上 ・床面は公認マット ・照度 1,000 lx以上 ・冷暖房完備（温度 16℃目安） ・飲食関連施設 ・駐車場（TV 中継車等） ・トイレ（入場可能数の２%）
S/J リーグ (バドミントン)	バドミントン S/J リーグ競技運営規則	・高さ 12m 以上 ・床面はコートマットを望む ・1,200 lx以上
F リーグ （フットサル）	日本フットサルリーグ要項 （令和５年４月１日施行）	・観客席数 1,000 人以上 ・フロア大きさ 40m×20m ・高さ４m 以上
JHL (ハンドボール)	JHL 新規加盟要項(2022 年７月 20 日)	・観客席数 300 人以上 ・松やに利用可能 ・冷暖房完備、シャワー設備

（２）プロスポーツ以外の利用

施設整備にあたって、第３章の意向調査をもとにコンサート利用、MICE 利用、スタートアップ関連事業の利用、市民利用で求められる機能・諸室を整理しました。

図表 ５-２　施設機能の整理

種類	求められる機能・諸室
コンサート利用	【コンサート全般】 ・大型電源の確保 ・吊物に対する天井面の耐荷重及び天井高さ（20m 程度）の確保 ・大型車両が直接アリーナ面へ搬出入できる仕様で、複数の出入口の設置 ・舞台
MICE 各種イベント利用	【物産展、作品展】 ・大型車両が直接アリーナ面へ搬出入できる仕様で、複数の出入口の設置や会場内で調理・飲食が可能となる設備 ・照明や映像装置等の演出機材
スタートアップ関連事業利用	【実証実験の場としてのインキュベーション機能】 ・オンライン配信等のデジタル環境、少人数から大人数までフレキシブルに対応できるスペースの確保
市民利用	・各種大会が行える機能・諸室（全国大会や市民大会が開催可能な場としてのフロア規模や天井高さ） ・障害者スポーツの大会や日常的な利用ができる諸室 ・日常的利用ができる機能（トレーニングジム、各種教室開催が可能な場） ・災害時に対応できる機能

５．２．２　複合化・集約化の検討

（１）複合化・集約化の検討の考え方

本施設の整備にあたっては、「豊橋市公共施設等総合管理方針」に基づき、規模の適正化と他施設機能との複合化・集約化による機能整理を進めることで、効果的な整備・管理運営を図ります。

また、５．１整備・運営基本方針でも掲げているとおり、様々なスポーツ利用、コンサートやイベント開催などの多目的な利用により憩いと交流の場となることを目指すことから、利用実態調査を行った関連施設（対象スポーツ施設及び文化施設）のうち、類似機能を持つ施設の複合化・集約化の検討を行います。

図表　５－３　関連施設の位置図



（出所）国土地理院より作成

（２）複合化・集約化の検討

本施設への複合化・集約化にあたっては、利用実態調査を行ったスポーツ施設や文化施設のうち、類似機能を持つ施設であること、施設の老朽化が進んでいること、加えて、本施設の整備方針を鑑み、複合化・集約化によって効果が見込まれる施設を対象にします。

具体的には、豊橋公園内にある屋内スポーツ施設である武道館、市内に 10 箇所ある屋内スポーツ施設である地区体育館、コンサートや演劇などの興行が行われているアイプラザ豊橋についての検討を行います。

①　武道館

本施設の整備計画地が豊橋公園であり、本施設の整備に伴って武道館についても複合化・集約化して併設することが効率的となることから、集約化が可能な武道場機能を集約する方向で整備します。

図表　5－4　武道館の外観・内観

施設名称	武道館（昭和 47 年開館）
外観	
内観	 柔道場  弓道場  剣道場  相撲場

（ア）剣道場・柔道場

剣道場・柔道場は、剣道、柔道に限らず、空手道や日本拳法など武道系のアマチュアスポーツ団体の練習や大会の場として利用されています。個人利用が多く、団体利用が少ない傾向があり、地区体育館と比べると稼働率が低くなっています。また、施設利用者の声としては、観覧席や競技スペースが狭く、競技上必要な離隔距離が取れていないことのほか、観覧スペース、更衣室、控えスペース等が足りていないなどの意見があげられています。

一方で、他都市の事例をみると、剣道場・柔道場を同一フロア内に整備することで諸室を兼用利用したり、武道系を中心にしながら、他ジャンルの競技との共有利用を行っていることもあり、本施設においても、そのような事例を踏まえ、多様な利用を想定することで、建設費用の削減と効率的な運用を目指す必要があると考え、諸室の兼用など利用の集約化を含め、本施設への複合化・集約化を行う方向とします。

（イ）弓道場

弓道場は、弓道とアーチェリーを行うことが可能な施設であり、ここ数年の稼働率は 10%未満で推移しています。また、学生や一般利用者の活動場所が限られていることもあり、個人による利用が多い傾向にあります。しかしながら、施設の老朽化が進むとともに、競技大会を行う上で必要となる規模・機能を有していないことから、競技団体からは施設の再整備を望む声があがっています。

また、他都市の事例をみると、弓道場を屋内に整備し、更衣室や観覧席を併設することで、施設内で複合化・集約化されている事例があり、施設の効率的な運用による維持管理費の削減が図られています。本市においても、競技を行うために必要となる規模・機能を満たした上で、効率的な整備・管理運営を進める必要があると考え、諸室の兼用など利用の集約を含め、本施設への複合化・集約化を行う方向とします。

（ウ）相撲場

相撲場は、半屋外区間に土俵１面が整備されており、稼働率としては、３％未満の水準となっています。一方で、市内で相撲ができる施設は限られており、利用可能な代替施設等はありません。競技団体からの要望としては、季節に関係なく、利用が可能な屋内での整備を望む声があがっています。

相撲場については利用形態や競技団体の意見を踏まえ、本施設とは別棟の屋内施設として整備する方向とします。

（エ）トレーニング室

トレーニング室は、市民の日常の健康づくりや体力づくりの場として、また、スポーツ競技者の日常的なトレーニングの場として利用されていますが、機器や備品等の老朽化が進んでいます。これらの利用形態から本施設と密接に関連するものとなるので、本施設への複合化・集約化を図る方向とします。

②　地区体育館

地区体育館 10 施設は、アマチュアスポーツの利用が主で稼働率が高く安定的に利用されていますが、老朽化が進んでいる状況となっており、特に老朽化が進んでいる施設については複合化・集約化を視野に入れた検討をすることとしています。

本施設の整備にあたり、メインアリーナに加え、規模が小さい市民利用向けのサブアリーナの整備をする場合、本施設からの距離や老朽度などを勘案しながら、本施設へ集約化する方向で検討を進めます。その対象となる施設の具体的な検討については、「第３次施設廃止計画」（令和７年度末策定予定）を目途に進めます。

図表　5－5　地区体育館の外観・内観

施設名称	地区体育館
外観・内観	 

③　アイプラザ豊橋

アイプラザ豊橋のホール（講堂）は、コンサートをはじめ演劇、講演会など様々な演目が行われており、それらを開催できるだけの機能となる舞台や照明、映像装置等（以下「ホール機能」という。）が備えられ、いわゆるホールコンサートの開催の場となっています。

本施設では、アリーナ面を活用したコンサート、いわゆるアリーナコンサートの開催を想定していますが、本施設を整備することで、現在アイプラザ豊橋で備えられているホール機能を担い、ホールコンサートの開催の場も兼ねることが可能であれば、本市の財政負担の軽減につながることになるため、アイプラザ豊橋のホール機能を本施設へ複合化・集約化する可能性について検討を行いました。

図表　5－6　アイプラザ豊橋の外観・内観

施設名称	アイプラザ豊橋（昭和 51 年開館）
外観	
内観	 

（ア）アイプラザ豊橋のホール機能を本施設へ複合化・集約化する可能性の検討

本施設への複合化・集約化の検討については、下記に示す（ａ）～（ｃ）の方法で整理しました。

（ａ）　アイプラザ豊橋で整備されているホール機能や他都市の事例をもとに、本施設で整備するホール機能を想定する。（図表　5－7）

（ｂ）　本施設にホール機能を複合化・集約化させた場合の諸室を想定し、コンサート興行の開催の可能性について、イベントプロモーターを主とした民間事業者へヒアリングを行う。（図表　5－8）

（ｃ）　（ｂ）のヒアリング結果をもとに、複合化・集約化の方向性を考察する。

図表　5－7　想定するホール機能

種別	機能	
ホール	舞台、フライタワー	興行を行う上で、必要な舞台の広さ、フライタワーの高さを確保
	舞台形状	プロセニアム
	舞台機構	照明や映像装置は興行側で持ち込み、最低限の設備を常設、バトン設置、オーケストラピットなし
	舞台レベル	アリーナ面より高くする
	床仕様	フローリング仕上げ（スポーツ利用のライン）
客席	客席配置	１階：移動観覧席、移動席（スタッキングチェア） ２階：固定席
関連諸室	隣接部間仕切り・扉	二重扉や遮音壁により、周囲との音、光を遮断できるようにする（暗転も可能とする）
	楽屋	複数の部屋を整備
	ホワイエ	メインアリーナとは別で整備
	搬入口	舞台からレベル差なしで搬入できるように整備

図表 5-8　イベントプロモーターを主とした民間事業者ヒアリング結果

主な意見
・アリーナコンサートは収容規模が大きい方が誘致の可能性が高まるが、ホールコンサートでは 1,500～2,000 人程度が適している。 ・ステージ・舞台を見やすいよう、いかに席を配置できるかが重要。スポーツ利用も考えたときには、移動式観覧席も２階の固定席も正面を向いてしまうため、演劇系は難しい。 ・スポーツ利用とホールコンサート利用の兼用ホールを想定した場合、ホールコンサートの日数を確保できるのかが気になる。 ・ホール機能は定期的なメンテナンスが必要となり、高額の維持費がかかる。 ・専用ホールか兼用ホールかを選ぶのであれば、ホール機能が整っている専用ホールを選ぶ。

（イ）ヒアリング結果からの考察

（ア）（ａ）及び（ｂ）の結果からは、小規模コンサートから大規模コンサート、さらには演劇などまでをカバーするホール機能を本施設に整えることは難しく、また兼用ホールとすることで整備・管理コストが増大する割に利用されない可能性があるなどの意見がありました。

これらの結果から、本施設にホール機能を取り込むことは、ホールとして充分な役割が果たせないこと、それが維持管理費及び運営面などに与える影響としてリスクが高いことから困難と考えます。このため、アイプラザ豊橋は、本施設に合わせた複合化・集約化はしない方向で検討を進めます。

（３）複合化・集約化の方向性

本章におけるこれまでの検討から、本施設への複合化・集約化の方向性を図表 5-9 に示します。

図表 5-9　複合化・集約化の方向性

施設名	複合化・集約化の方向性
武道館	○剣道場・柔道場、弓道場、トレーニング室 本施設への複合化・集約化を行う方向とします。 ○相撲場 本施設とは別棟で豊橋公園内に整備する方向とします。
地区体育館	本施設からの距離や老朽度などを勘案しながら、集約化する方向で検討を進めます。
アイプラザ豊橋	○ホール 本施設の整備に合わせた複合化・集約化はしない方向で検討を進めます。

５．３　各諸室の整備方針

①　メインアリーナ

（ア）想定する用途、利用対象

・各種競技大会やプロスポーツ・コンサート・展示会などの多くの集客が見込まれるイベントに対応した、多目的な利用を想定します。

・フロアサイズは、各種スポーツ利用ができる約 2,700 ㎡の広さを確保します。

・天井高さは各競技種目に対応可能な 12.5m 以上を確保します。

・観覧席は、興行時に固定席・可動席・移動席・立見席含めて 5,000 席以上を確保し、スポーツ観戦やコンサート鑑賞において臨場感を味わえるような断面の構成とします。

・プロスポーツの興行を行うのに必要な貴賓席やスイート・ラウンジ、メディア対応スペース等の機能を確保し、アリーナに近接して更衣室、控室、器具庫、記録室、審判室、役員室等を設けます。

・MICE、興行等や災害時にも利用しやすいように地上外部より大型車両がアクセスできる搬入口を確保します。

・床は多様な利用が可能で、災害時の物資の集積場としての活用も考慮した仕様・構造とします。

（イ）施設整備方針

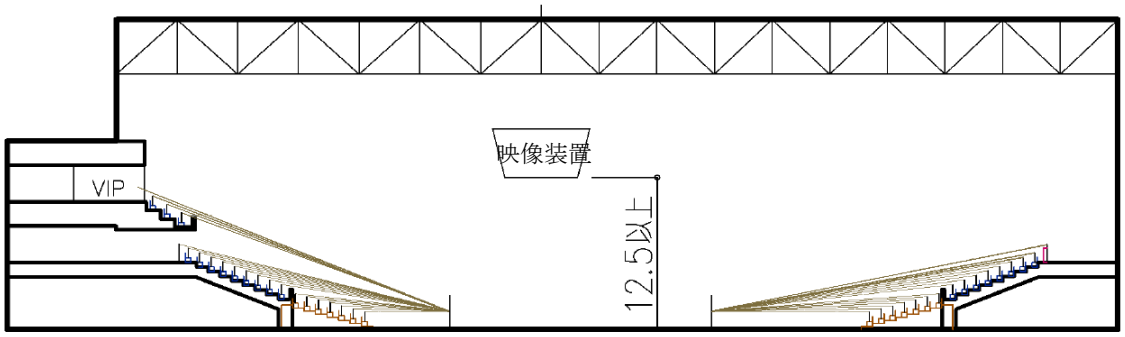
・アリーナ面積　　約 2,700 ㎡

・観覧席　　5,000 席以上

・主な仕様　　［天井高さ］12.5m 以上かつコンサート等の実施を想定した高さ

［搬入口］　地上外部より大型車両がアクセスできる搬入口

図表　５－１０　臨場感あふれる観覧席イメージ



（ウ）メインアリーナの客席計画

メインアリーナの客席計画の作成を図表　5－１１のとおり行いました。なお、ここでの客席計画は例示です。

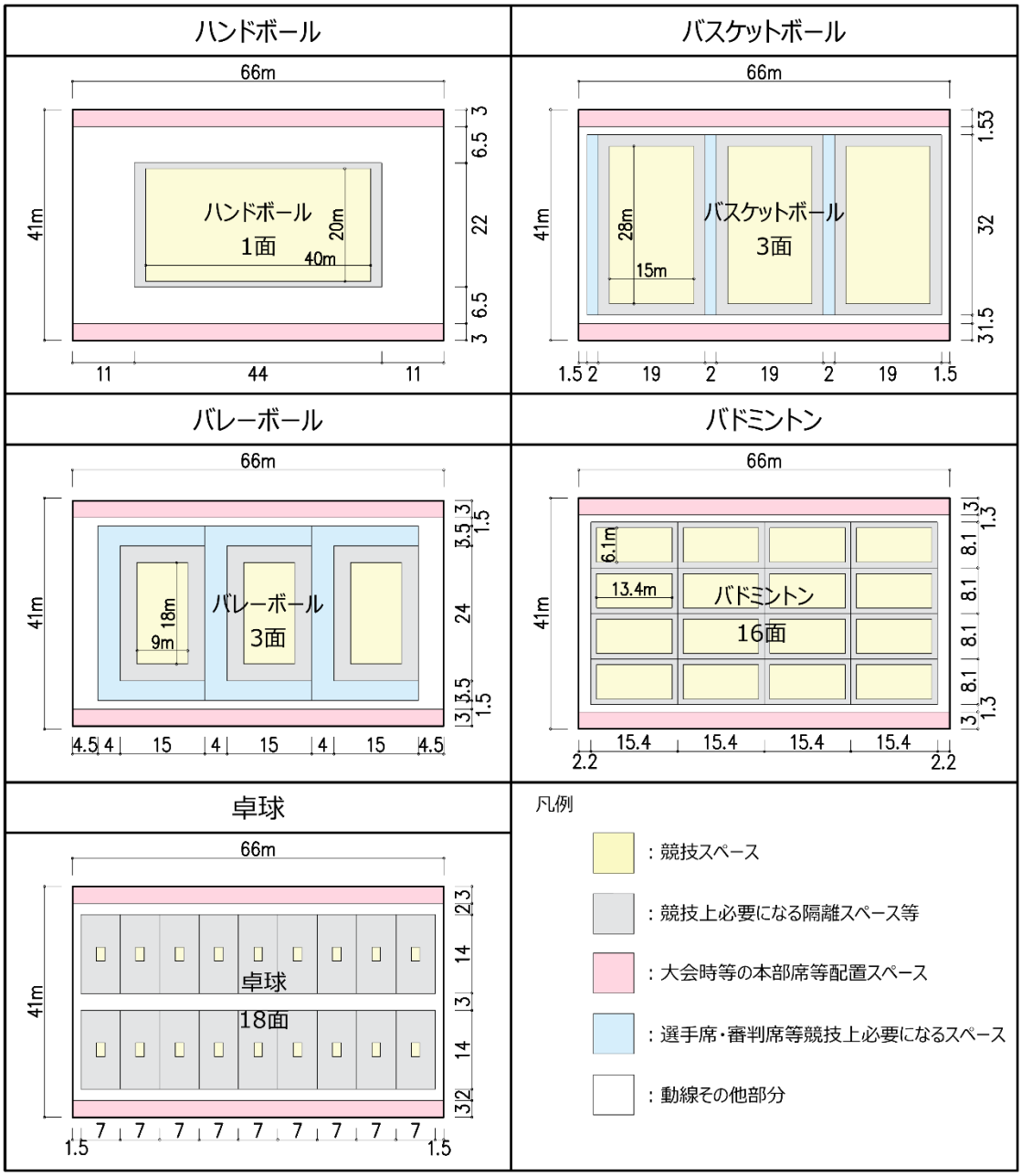
図表　5－１１　プロスポーツ及びコンサート開催時の客席平面計画例



（エ）広域的な大会開催を想定した競技面数

広域的な大会が開催された場合の想定される競技面数の平面計画を図表 ５－１２のとおり作成しました。

図表 ５－１２　メインアリーナ平面計画例



②　サブアリーナ

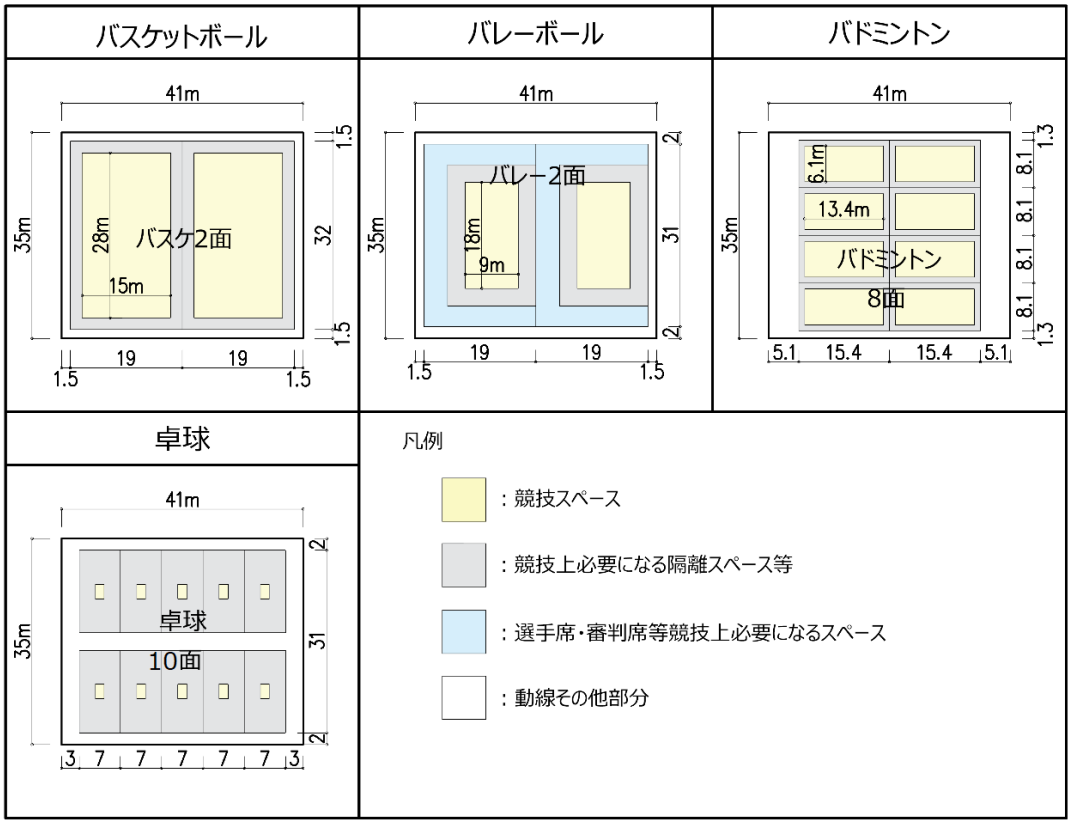
（ア）想定する用途、利用対象

・メインアリーナで行われる大規模大会を補完する諸室機能を整えます。
・日常では市民スポーツの場として、市民大会開催を想定した諸室としての機能を整え、メインアリーナでの大会開催時でも市民利用ができるものとします。
・災害時の物資の集積場、避難施設としての利用も可能とします。
・フロアサイズは、各種スポーツ利用ができる約 1,400 ㎡の広さを確保します。
・天井高さは各競技種目に対応可能な 12.5m 以上を確保します。
・近接して更衣室、器具庫等の設置を検討します。
・床は多様な利用が可能で、災害時の物資の集積場としての活用も考慮した仕様・構造とします。

（イ）施設整備方針

・アリーナ面積　　約 1,400 ㎡
・観覧席　　200 席程度
・主な仕様　　［天井高さ］12.5m 以上

図表　5－１３　サブアリーナ平面計画例



③　武道場

・主としては柔道や剣道など武道による利用を想定します。
・武道のほかにもダンスや卓球など多目的に利用することを可能とします。
・競技エリアは、柔道や剣道などが行える競技面を６面分確保し、大会での試合利用ができるものとします。また、防音性のある可動間仕切りにより分割利用も可能なものとします。
・床は全面木製フローリングとし、柔道利用のための置き敷畳を備えます。
・大会時の利用も想定し、本部席、審判席、観覧席等の設置、近接して更衣室、器具庫等を設置します。

④　多目的室兼会議室

・多目的な利用を見据えて、分割利用が可能な機能を整えます。
・床は全面木製フローリングとします。
・ダンス、エアロビクス、ヨガ、軽スポーツなどの利用に備え、音響設備や壁面鏡（姿見）を設置します。
・会議や研修等での利用が可能な機能を整えます。
・スタートアップに資するインキュベーション機能も視野に入れ、オンライン配信が可能な機能を整えます。
・災害時の応援部隊の活動拠点等としての利用を可能とします。

⑤　弓道・アーチェリー場

・現施設を利用している競技の利用を想定した施設とします。
・弓道の近的（28m）12 人立・遠的（60m）６人立及び、アーチェリー（50m）に対応可能な仕様とし、近接して更衣室、審判室、控室、巻藁室、器具庫等を設置します。
・競技種目のルール等を踏まえ、十分に安全が確保された機能を整えます。

⑥　トレーニングルーム

・現武道館のトレーニング室の代替機能として、アマチュアからプロまでトレーニングができる諸室とします。
・十分なトレーニング機器を設置できる規模を確保した上で、市民への開放性を考慮し、外部から見やすい位置に設置します。

⑦　共用部分（エントランスホール、ラウンジ、通路等）

・エントランスホール、ラウンジ等は、施設利用者が待ち合わせ等に利用できる十分な規模を確保します。

・通路部分は十分な広さを確保し、大規模な興行時にも利用者が遅滞なく移動できるような仕様とします。

・トイレは、大規模な興行時にも人々が長時間待つことなく利用できるように十分な数の便器等を設置します。

・施設利用者及び公園利用者が利用可能なキッズルームを設け、安全面を考慮しつつ、乳幼児やその親が楽しみながら過ごせるスペースとします。

⑧　その他利便機能

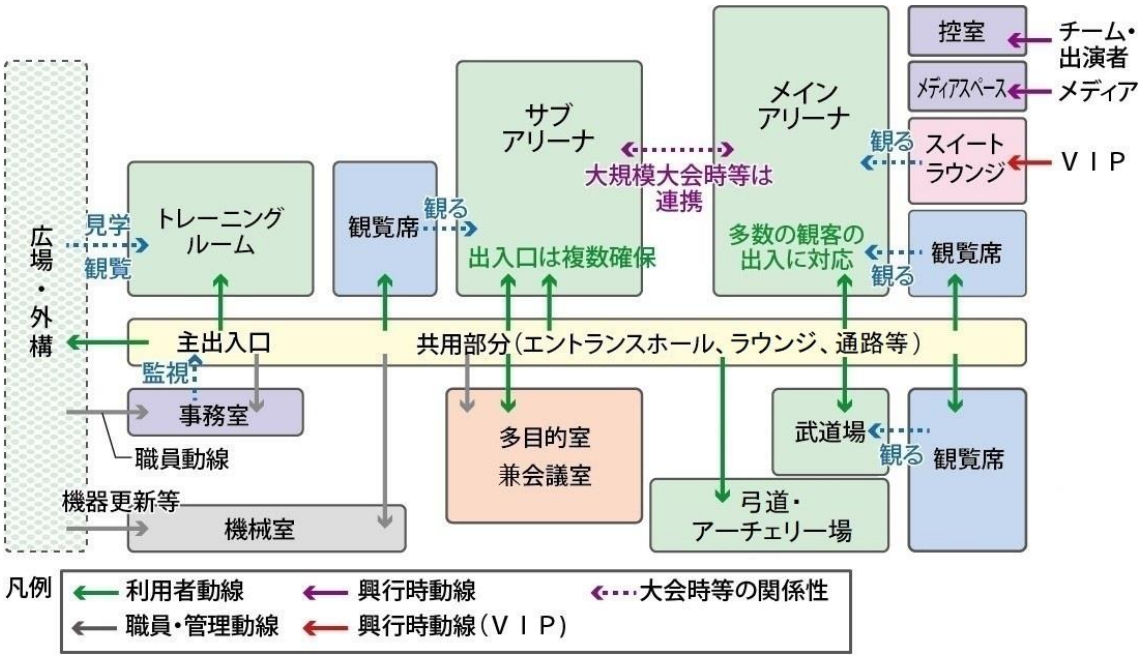
・市民アンケートにおいて、ニーズの高いレストラン・カフェ、温浴施設等の機能については民間活力を活かすことを想定します。

・レストラン・カフェについては施設利用者だけでなく、公園利用者も利用できるように、外部から直接入店できるアプローチも整えるなど、より魅力的な公園機能となるような工夫が求められます。

５．４　機能相関図

本施設に対する利用者、職員・管理者の動線を考慮し、図表 ５-１４のとおり機能相関図を作成しました。メインアリーナ稼働時においてもサブアリーナや武道場等の諸室が利用できるような動線への配慮をします。

図表 ５-１４　機能相関図



第６章　整備計画

６．１　施設計画

想定する諸室構成の概要を図表 ６－１に示します。

図表 ６－１　想定する諸室構成

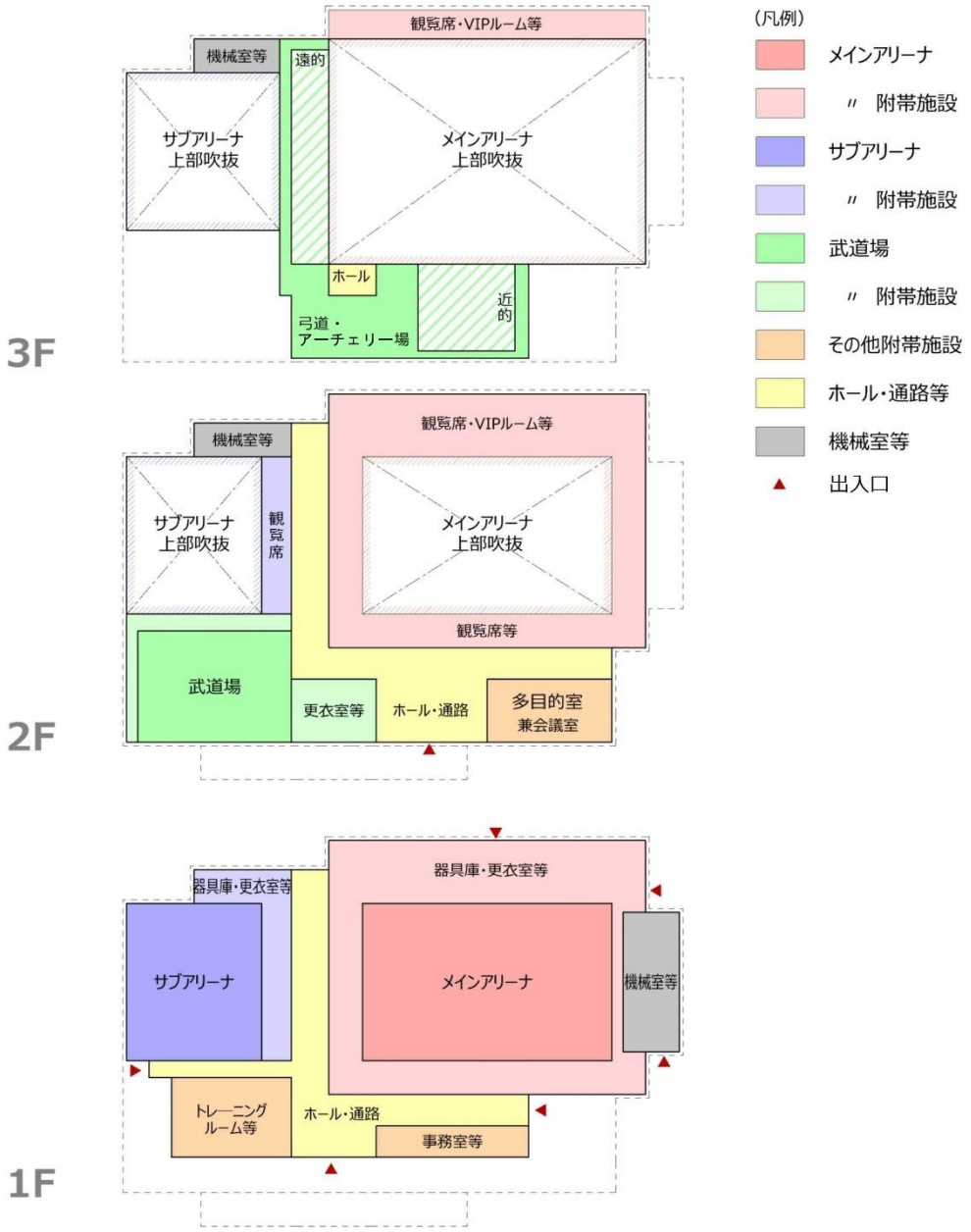
諸室等	必要規模諸室　延べ面積
メインアリーナ	○メインアリーナ 広さ 2,700 ㎡程度、高さ 12.5m 以上かつコンサート等の実施を想定した高さ ○附帯施設 ・観覧席・VIP 室・VIP ラウンジ ・更衣室・控室・器具庫・記録室・審判室・役員室等 ・メディアスペース・トイレ等 9,100 ㎡程度
サブアリーナ	○サブアリーナ　広さ 1,400 ㎡程度、高さ 12.5m 以上 ○附帯施設 ・観覧席・更衣室・控室・器具庫等 2,400 ㎡程度
武道関係諸室	○武道場　　競技面６面確保 ・観覧席・更衣室・器具庫・本部席・審判席等 ○弓道・アーチェリー場 近的（12 人立）、遠的（６人立）対応 ・更衣室、審判室、控室等 2,900 ㎡程度
附帯諸室	・多目的室兼会議室 ・事務室 ・トレーニングルーム・更衣室・キッズルーム 1,600 ㎡程度
共用部	・エントランスホール、ラウンジ、通路、トイレ等 ・機械室等
合計	20,000 ㎡程度

※本計画検討時の諸室構成及び想定面積であり、上記の図表においては民間活力を生かしたレストラン・カフェなどの利便機能は含まれていません。

６．２　平面・ゾーニング計画（ブロックプラン）

図表 ６－２のとおり本計画検討におけるブロックプランの作成を行ったところ、ブロックプラン上での想定する建築面積は約 12,700 ㎡程度となりました。なお、ブロックプランは、本計画検討における例示です。

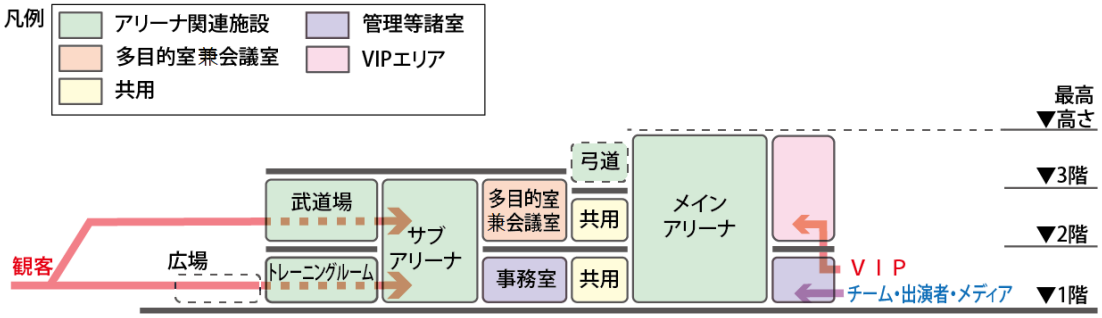
図表 ６－２　ブロックプラン



６．３　階層構成・断面計画

図表　６－３のとおり階層構成・断面計画図の作成を行いました。なお、階層構成・断面計画図は、図表　６－２ブロックプランをもとに作成したものです。

図表　６－３　階層構成・断面計画図(断面イメージ)



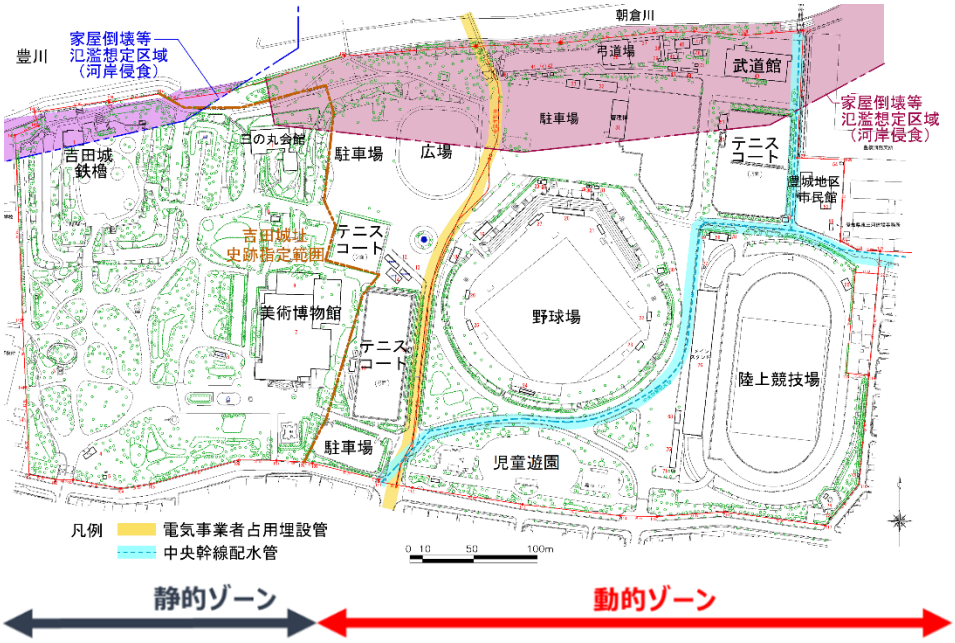
６．４　公園ゾーニング計画

６．４．１　基本的な考え方

本施設の整備対象範囲は、豊橋公園内の市指定史跡吉田城址の指定範囲を除く東側のスポーツ施設を含んだ部分である動的ゾーンとします。その整備範囲における基本的な考え方を以下のとおりとします。

- 豊橋公園内の周りの景観と調和させるとともに自然環境への配慮をした整備内容とし、極力既存樹木を保存した計画とします。
- 家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）は、想定最大規模の降雨による洪水時に、堤防が侵食され、その背後にある家屋が倒壊・流失するおそれのある範囲とされているため、災害時に利活用が想定される建築物は設置しないものとします。
- 動的ゾーン内の施設間を充分にとり、静的ゾーンへのアクセス性、公園内のサインに配慮します。
- 電気事業者の占用埋設管、既設中央幹線配水管は、移設に要する費用や期間を考慮し、原則移設しないものとしますが、検討結果により移設が必要となった場合には事業者と協議が必要になります。また、整備予定の新中央幹線配水管の位置を加味した計画にします。
- 整備範囲内のスポーツ施設は陸上競技場以外を解体・再整備対象とします。
- 再整備する施設及び新たに導入する施設については、屋根面等に太陽光パネルを設置するなど再生可能エネルギーの活用を推進します。
- 武道館内にある相撲場は、別棟で公園内に設置することを想定します。
- 公園利用者の駐車場は再整備する場合にも、原則既存と同等程度の規模で計画するものとします。

図表　6－4　配置現況図



６．４．２　配置計画

（１）各公園施設整備の方向性

本施設の豊橋公園内の配置にあたり、各公園施設整備の方向性を示します。

①　再整備する施設

・こども広場
・テニスコート
・相撲場（別棟で設置）
・園路（ランニングコース含む）
・芝生広場
・駐輪場
・駐車場
・その他公園施設（管理用倉庫、トイレ 等）

②　新たに導入する施設

・多目的屋内施設（武道館機能含む）
・多目的広場

③　既存のままとする施設

・陸上競技場
・豊城地区市民館
・防災備蓄倉庫　等

④　民間活力を活かした施設

民間活力を活かした施設は、第３章意向調査の結果を取り入れたものとします。また、本施設を含む豊橋公園の価値を高め、相乗効果が期待でき、周辺地域の環境や都市基盤への影響に配慮したものとします。集客性を考慮し、人の動線に配慮した配置とします。

⑤　解体・撤去する施設

・豊橋球場（豊橋総合スポーツ公園に移設することとし、その内容については本計画とは別で整理します。）
・管理用事務所（多目的屋内施設に集約）
・武道館（多目的屋内施設に集約）
・その他再整備に伴って解体・撤去が必要となる施設

（２）配置計画

各公園施設整備の方向性を踏まえ、想定される施設配置の例を図表 ６－５に示します。

図表 ６－５　配置計画例



※上記はあくまで配置イメージです。

６．４．３　各公園施設計画

（１）広場・園路等の公園施設

①　こども広場

親と子が安心して楽しく過ごせる遊び場（子どもの年齢などに合わせたゾーン設定を想定）、市民イベントや災害時にも利用できるスペースを想定します。また、有料の屋外遊戯施設の設置も視野に入れます。

②　多目的広場・芝生広場

市民の憩いの場のほか、多目的な利用ができるスペースを想定します。多様なイベントへの対応、防災面でも活用できる広場を想定します。

③　園路（ランニングコース含む）

自然豊かな豊橋公園の景観と調和する資材を用いた園路とします。また、ランニングコースとしての利用も想定します。

④　駐輪場

自転車での来園を想定し、公園出入口付近に駐輪場の整備を想定します。

⑤　駐車場

原則、既存と同等程度の規模で計画します。また、現在の豊橋公園の駐車場の利用状況を鑑み、適正な管理を行うため、駐車場の運用について検討します。

⑥　その他

公園利用者に必要なトイレや管理用倉庫等を整備します。

（２）スポーツ施設

①　テニスコート

テニスコートは、一箇所に集約し、軟式・硬式兼用の砂入り人工芝のコートを整備します。コートには屋根付き観覧席を整備します。

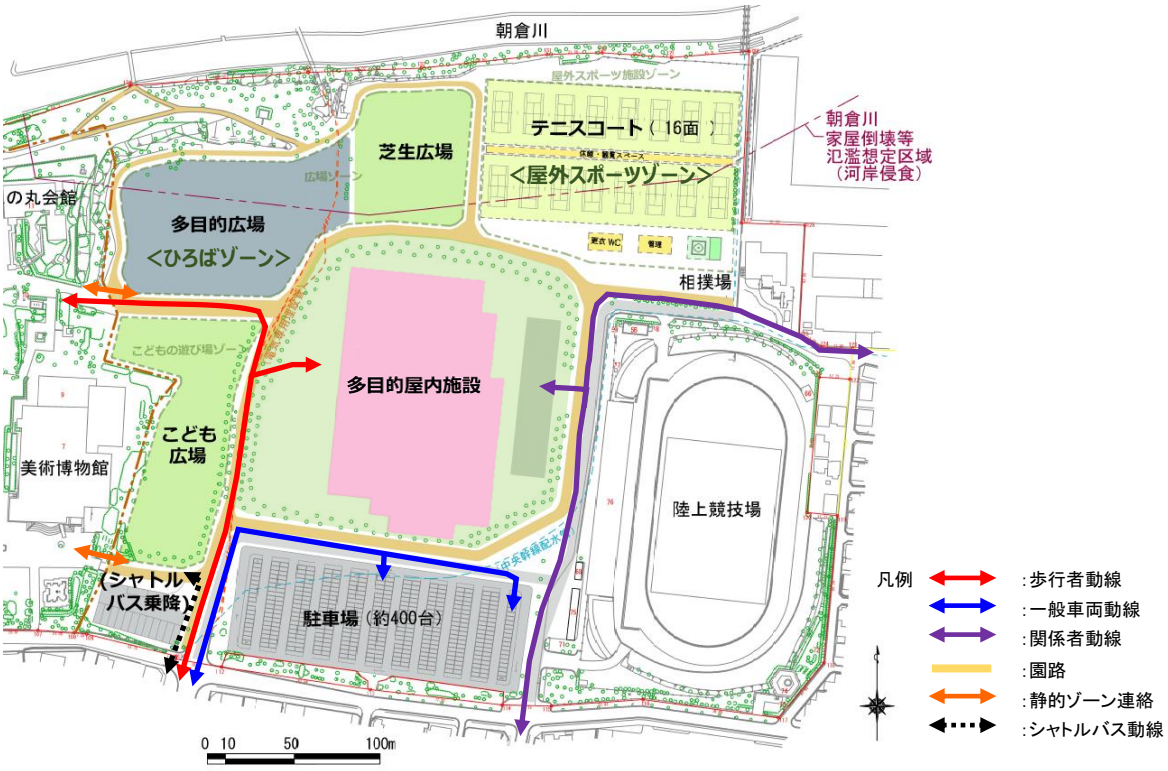
②　相撲場

相撲場は本施設と別棟での再整備を想定します。

６．５　動線計画

動線計画について、関係者車両、大型・緊急車両は敷地南東側からのアクセスとし、一般車両や歩行者動線とが極力分離できるように配慮する必要があります。また、図表６－６は図表　６－５の配置計画例に基づき、考えられる動線を示したものですが、今後は日常の送迎やタクシーの乗降場などについても、利便性と安全性を踏まえながら検討を進めます。

図表　６－６　アプローチ動線計画例



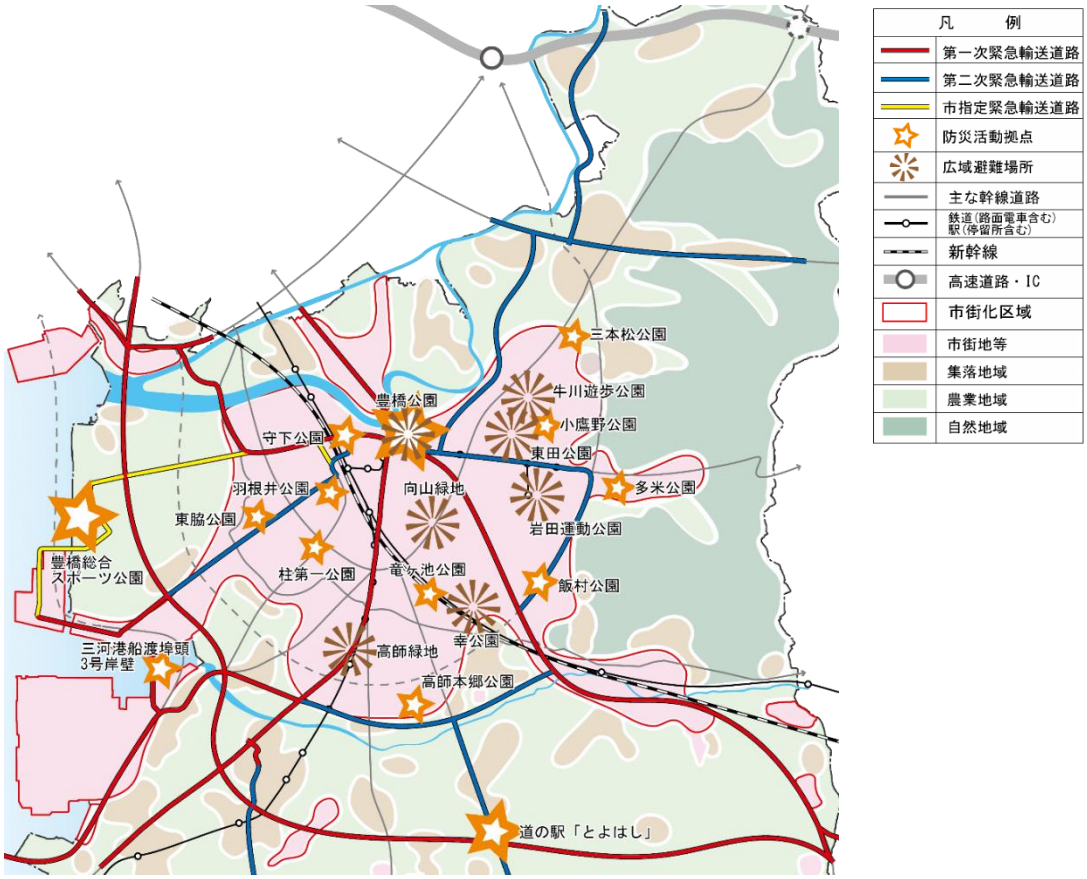
６．６　防災活動拠点

豊橋公園は、災害時に受援のための自衛隊、警察、消防等の応援部隊や救援物資等の受入拠点となる防災活動拠点（地域・地区）に指定されており、公園内の各施設にはその役割が与えられています。（図表　６－７）

本施設は、天候の影響を受けない屋根付きの大規模な屋内施設であり、災害時の活動に資することが期待されるとともに、再生可能エネルギー等による自立的な非常用電源設備や非常用照明設備などといった機能を整えることを想定しています。こうした新たな機能を活かし、救援物資の受入基地や応援部隊の活動拠点としての役割をより効果的に果たすことが可能になると考えます。

今後は本施設の整備に合わせ豊橋公園内における施設の役割を見直すなどの取り組みが必要になります。なお、豊橋公園及び本施設に防災活動拠点として必要となる主な機能・設備を図表　６－８に示します。

図表　6－7　緊急輸送道路・防災活動拠点・広域避難場所の配置図



図表　6－8　防災活動拠点として必要な主な機能・設備

■防災活動拠点（豊橋公園）に係る防災機能・設備 ・ヘリコプター発着可能場所 ・救援物資の受入基地 ・応援部隊の活動拠点 ・災害用マンホールトイレ ・飲料水兼用耐震性貯水槽 ・防災備蓄倉庫 ・防災無線・情報ステーション	■本施設に係る防災機能・設備 ・救援物資の受入基地 ・応援部隊の活動拠点 ・インフラ設備が停止した場合でも再生可能エネルギー等により、自立的な災害活動が可能な機能 非常用電源設備 非常用照明設備　など

６．７　都市計画への対応

（１）用途地域内の建築物の用途制限への対応

本施設のメインアリーナは、観覧席を有する建築物となるため、建築基準法上の建築用途は観覧場として取り扱われることとなり、第一種住居地域内では建築不可となります。

そのため、本施設の整備にあたっては、建築物の用途制限の緩和が必要であり、建築基準法第 48 条第５項ただし書きによる許可申請や、都市計画法第９条第 14 項及び建築基準法第 49 条第２項による特別用途地区に関する手続きなど様々な手法が考えられます。

また、本施設の整備による周辺住環境への影響を抑えるためには、建築物の用途制限の緩和を最小限の範囲で行うことや、その緩和と併せて周辺住環境に与える影響を抑えるよう建築物に制限をかけることが必要となります。

そこで、本計画における都市計画への対応としては、建築物の用途制限を緩和することで本施設の整備を図るとともに、周辺住環境へ与える影響を抑えるよう、緩和する用途の建築物に下記①～③に関する事項に対する制限の付加をかけることが可能なこと、また、用途制限の緩和する区域を限定することができることなどから特別用途地区を設定する方向で検討を進めます。なお、特別用途地区設定の具体的な内容については、本計画とは別で整理します。

① 騒音・振動　：建築物の構造・位置
② 光害　　：建築設備の性能
③ 道路交通環境：建物規模

（２）景観・風致地区への対応

本施設を含む豊橋公園内の各施設について、「豊橋市景観計画」及び「今橋風致地区の風致保全方針」に沿って景観配慮を行うものとし、豊橋公園の自然や吉田城址をはじめとした歴史的な環境に調和したものとします。

「豊橋市風致地区内における建築等の規制に関する条例」においては、建築物の建築等について、高さや形態及び意匠等の許可基準が定められています。

本施設は都市公園法による公園施設のため、許可を受けることを要しませんが、施設計画にあたっては、必要な機能を確保しつつできる限り施設の最高高さを抑えるとともに、吉田大橋や豊橋公園入口などの主要な視点場からの眺望に関する景観シミュレーション図などを作成し、高さや形態及び意匠等を周辺の風致と調和させる配慮が必要となります。

図表　6－9　吉田大橋からの見え方シミュレーション



（３）都市公園法への対応

豊橋公園は、都市計画決定された総合公園（都市計画公園）であり、都市公園法の規定が適用されます。その規定において、公園施設として設けられる建築物の建ぺい率の制限が設けられており、公園施設は２％まで（法第４条）と定められていますが、運動施設や教養施設等（以下「運動施設等」という。）を建築する場合に限り、10％まで（施行令第６条）制限の緩和を適用することができます。

本施設は、利用用途から公園施設の種類は「運動施設」または「教養施設」に分類され、再整備する施設は主には「運動施設」に分類されます。

これらの施設の立地可能となる面積を明らかにするためには、その他豊橋公園内に立地されている既存施設も含めて整理する必要があります。

①　既存施設の整理

豊橋公園内に立地する各既存施設について、都市公園法第２条に規定されている公園施設の種類別に建築面積、延べ面積の合計を図表　６－１０に示します。

図表　６－１０　公園施設の種類別面積集計表

公園施設の種類	主な建築物	建築面積（㎡）	延べ面積（㎡）	都市公園法施行令第６条における建ぺい率緩和規定の適用
休養施設（法第２条第三号）	東屋	16.15	16.15	○
運動施設（法第２条第五号）	陸上競技場、豊橋球場、武道館　等	3,738.85	6,185.66	○
教養施設（法第２条第六号）	美術博物館、三の丸会館　等	4,580.49	5,836.77	○
便益施設（法第２条第七号）	トイレ、駐輪場　等	326.50	344.63	×
管理施設（法第２条第八号）	管理事務所、倉庫等	849.61	824.53	×
その他（法第２条第九号）	防災備蓄倉庫　等	327.99	327.99	○
	豊城地区市民館　等	586.84	1,118.51	×
面積　合計		10,426.43	14,654.24	
内　都市公園法施行令第６条における建ぺい率緩和規定の適用　建築面積合計		8,663.48	－	

※上記に記載されている以外の法第２条に規定されている公園施設については、建ぺい率及び容積率に関わるものでないため除外しています。

② 建ぺい率及び容積率の整理

図表 6-１０に示す結果をもとに、建築基準法及び都市公園法ごとに建ぺい率及び容積率を整理しました。(図表 6-１１)

なお、建ぺい率の規定は整備計画地となる豊橋公園全域が適用範囲となります。

図表 6-１１ 建ぺい率と容積率

項目		算定値		上限値	
整備計画地面積（豊橋公園全域）		a	216,400.58 ㎡		－
建築面積	建築基準法施行令第２条による定義	b	10,426.43 ㎡		129,840.34 ㎡
	都市公園法第４条による定義	c	1,762.95 ㎡		4,328.01 ㎡
	都市公園法施行令第６条による定義	d	8,663.48 ㎡	e	21,640.05 ㎡
建ぺい率	建築基準法第 53 条(60%)	b／a	4.8%		60%
	都市公園法第４条(２%)	c／a	0.8%		2.0%
	都市公園法施行令第６条(10%)	d／a	4.0%		10%
延べ面積	建築基準法施行令第２条		14,654.24 ㎡		432,801.16 ㎡
容積率	建築基準法第 52 条		6.8%		200%

図表 6-５の配置計画例に基づき、武道館や管理事務所など既存施設を解体した場合の結果をもとに、本施設を含む運動施設等が立地可能となる建築面積の整理を行いました。

図表 6-１２ 建築面積の整理（都市公園法施行令第６条）

項目		値	
再整備に伴って解体・撤去が必要となる施設を除いた場合	建築面積	f	6,581.39 ㎡
	建ぺい率		3.1%
	運動施設等が立地可能となる建築面積	e－f	15,058.66 ㎡

図表 6-１２の結果からは、図表 6-２に示すプランは建築可能となりますが、施設計画にあたっては、立地可能となる建築面積を踏まえて進める必要があります。

（４）文化財保護法への対応

豊橋公園は周知の埋蔵文化財包蔵地である吉田城址及び飽海遺跡に含まれるため、文化財保護法に基づき、掘削を伴う工事を行う場合、記録保存を目的とする発掘調査等を行うことが必要になります。

（５）国有地への対応

豊橋公園は国有地であり、東海財務局と国有財産無償貸付契約により、豊橋公園の管理・運営を行っているため、民間事業者の事業運営に関する扱いについて、東海財務局と協議することが必要になります。

６．８　その他整備にあたっての取り組み

（１）新型コロナウイルス感染症による社会情勢変化への対応

本施設の諸室規模や配置の検討等において、新型コロナウイルス感染症による社会情勢の変化や国・他事例の動向などを踏まえ、施設計画や運用面について留意すべき事項とすることで、新しい生活様式へ対応した取り組みを進めます。具体的な取り組み事例を以下のとおり整理します。

①　緑とオープンスペース

新型コロナウイルス感染症を契機に、自宅で過ごす時間が増え、運動不足解消・ストレス緩和の効果が得られるものとして、グリーンインフラの取り組みが注目されています。その取り組みの一つとして、緑を活用したオープンスペースは、テレワーカーの作業場所、フィットネスの場所となる等利用形態が多様化しています。また、災害等の非常時に都市における柔軟な公共サービスの運用の場を確保する観点からも役割が増しています。

②　施設管理者の運用面

スポーツ庁が策定した「社会体育施設の再開に向けた感染拡大防止ガイドライン」では、スポーツ施設の利用者、施設管理者がそれぞれ留意すべき事項が示されています。本施設の施設管理者として、留意すべき基本的な事項を整理し、感染対策の徹底に努めることが求められます。

③　施設計画への反映

基礎調査で実施した意向調査では、新しい生活様式への対応について最も多かった要望・意見として空調・換気機能が挙げられました。また、３密（密集、密接、密閉）になる空間をできる限り作らないような諸室やコンコースの配置、利用動線に配慮することが求められます。

④　デジタル化の推進

DX 技術の導入や 5G/Wi-Fi などの通信機能の充実等、積極的にデジタル技術を活用することで、新しい生活様式に柔軟に対応できると考えられます。トイレや飲食スペースの混雑状況を可視化することで３密を防ぐ行動を促すことや、施設内におけるキャッシュレスの決済システムを導入すること等が事例からも見て取れます。また、近年では対面での催事開催だけではなく、スポーツ・音楽コンテンツを配信することによる興行者の収益機会の拡大についても重要視されており、エンターテインメント性を高める音と光による演出など、配信コンテンツの魅力向上を支えるような取り組みが求められます。



沖縄アリーナ　トイレ混雑状況の可視化

（２）ユニバーサルデザイン・バリアフリーへの配慮

子どもから高齢者、障害者、外国人など多様な利用者を想定し、誰もが使いやすいユニバーサルデザイン・バリアフリーを意識した取り組みが重要となります。

スポーツを「する」「みる」「ささえる」という視点から、「TOKYO2020 アクセシビリティガイドライン」を参考にし、「人にやさしい街づくりの推進に関する条例」（愛知県）などに則った施設計画とします。同条例第 11 条の二にあるように、設計・施工の段階ごとに高齢者、障害者等の意見を聞くよう努めます。

（ユニバーサルデザインの取り組み例）

・バリアフリー字幕、ヒアリングループの導入
・高齢者や障害者が観覧しやすくなるような座席の位置・性能
・聴覚・視覚など感覚過敏の症状のある方が安心して過ごせるセンサリールームの設置
・障害者エレベーター、スロープなど施設内での移動への配慮
・わかりやすい案内表示や音声・視覚による情報伝達への配慮
・多目的トイレ、授乳スペースなどの設置

（３）地球環境への配慮

①　ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組み

建物の建設時から管理運用、解体までに排出されるライフサイクル CO_2 の削減を進めます。また、再生可能エネルギーの利用を促進することにより光熱費を抑制するなど、ライフサイクルコストの縮減を図ります。

②　再生可能エネルギーの活用

本施設の整備に伴う豊橋公園内の施設の再整備にあたっては、太陽光発電設備や蓄電池の設置などにより、豊橋公園内の施設に再生可能エネルギーを供給していくことが考えられます。ここでは、再生可能エネルギーを活用した取り組み例を示します。

（再生可能エネルギー活用の取り組み例）

・太陽光により発電した電力を効率的に活用し、かつ防災活動拠点施設としての機能の強化に必要な蓄電池容量の設置

・太陽光パネルについて、今後も形状や設置工法等の技術革新が期待されており、実際の建物形状を踏まえた太陽光パネルの設置

（４）周辺交通対策

本施設は、興行利用から市民利用まで幅広い利用形態を想定しており、興行時においては、5,000 人規模の多数の来場者が本施設に訪れることになります。その際の来場手段としては、豊橋駅を経由して徒歩、路面電車、路線バスで来場することが想定されますが、本地域及び本施設の特性を考慮すると一定程度は自家用車での来場を希望する方がいると考えられます。本整備計画地の周辺が住宅街であることから、整備計画地周辺の交通負荷を高めないよう周辺住環境へ配慮した取り組みが必要となります。

（興行・大規模イベント時における周辺交通対策の取り組み例）

・徒歩や公共交通機関、自転車での来場を促すためのハード・ソフト対策を行う

・主催者にシャトルバスの運行を促す

・自家用車で来場する方には豊橋駅周辺駐車場の利用促進のためのソフト対策を行う

・ICT 技術を活用し、駐車場の事前予約や利用状況の可視化を行うほか、交通弱者向けに駐車場を確保するなど効果的な運用を図る

前述の取り組み例にもあげた駐車場の事前予約なども活用し、周辺道路の交通負荷を現状から高めないことを前提に考え、基本的には興行・大規模イベント利用者向けの駐車場は設けない方向で進めます。

今後、このような取り組みを進めていくための参考とするため、市民アンケート結果をもとに、来場者を「豊橋駅を経由せず直接会場へ」、「豊橋駅利用」、「自家用車（豊橋駅周辺駐車場利用）」の３つに分け、それらをアンケート結果の割合を用いて各交通手段別に来場者数を試算しました。その結果を図表 ６－１３に示します。（市民アンケート結果は図表 ３－１７参照、来場者予測の詳細は参考資料４交通手段別来場者予測の詳細参照）

図表 ６－１３　交通手段別来場者予測

	豊橋駅を経由せず直接会場へ	豊橋駅利用				自家用車（豊橋駅周辺駐車場利用）			
来場者（5,000 人想定）	1,500 人	2,100 人	徒歩・自転車	路面電車	路線バス	1,400 人	徒歩・自転車	路面電車	路線バス
			420 人	1,575 人	105 人		280 人	1,050 人	70 人

第３章３．２に示す市民アンケートでは、整備計画地に興行時の利用者向け専用駐車場を整備しないものとし、調査を行いました。その結果をもとに、豊橋駅周辺駐車場への自家用車の利用者の想定は 1,400 人との結果が得られましたが、自家用車１台に 1.79 人（「全国道路・街路交通情勢調査」（国土交通省）参照）が乗車すると想定した場合、783 台の駐車場を確保する必要があります。

そこで、本施設で興行が行われると想定される時間帯に、豊橋駅から豊橋公園に至るまちなかの公共駐車場並びに民間駐車場の利用状況を調査したところ、約 1,200 台程度の駐車余地があるという結果が得られたため（参考資料５中心市街地の駐車場利用状況調査結果参照）、自家用車でまちなかの公共・民間駐車場に停め、本施設に来場を促すことを対策の一つとします。

また、路面電車の利用を希望している方は、豊橋駅利用者と自家用車（豊橋駅周辺駐車場利用）の利用者を合わせると、路面電車の輸送処理能力を上回ることとなります。このため、徒歩で来場を促す対策を講じるとともに不足される路面電車の代替輸送も検討する必要があり、シャトルバスの運行を併用することなどが考えられます。

その他の輸送対応策としては、駅以外の場所からのシャトルバス輸送についても考えられます。その対応策を進めるにあたり、開催される興行やイベント主催者との連携を図るなど輸送量強化に努めることが重要になります。

（徒歩による来場促進の取り組み）

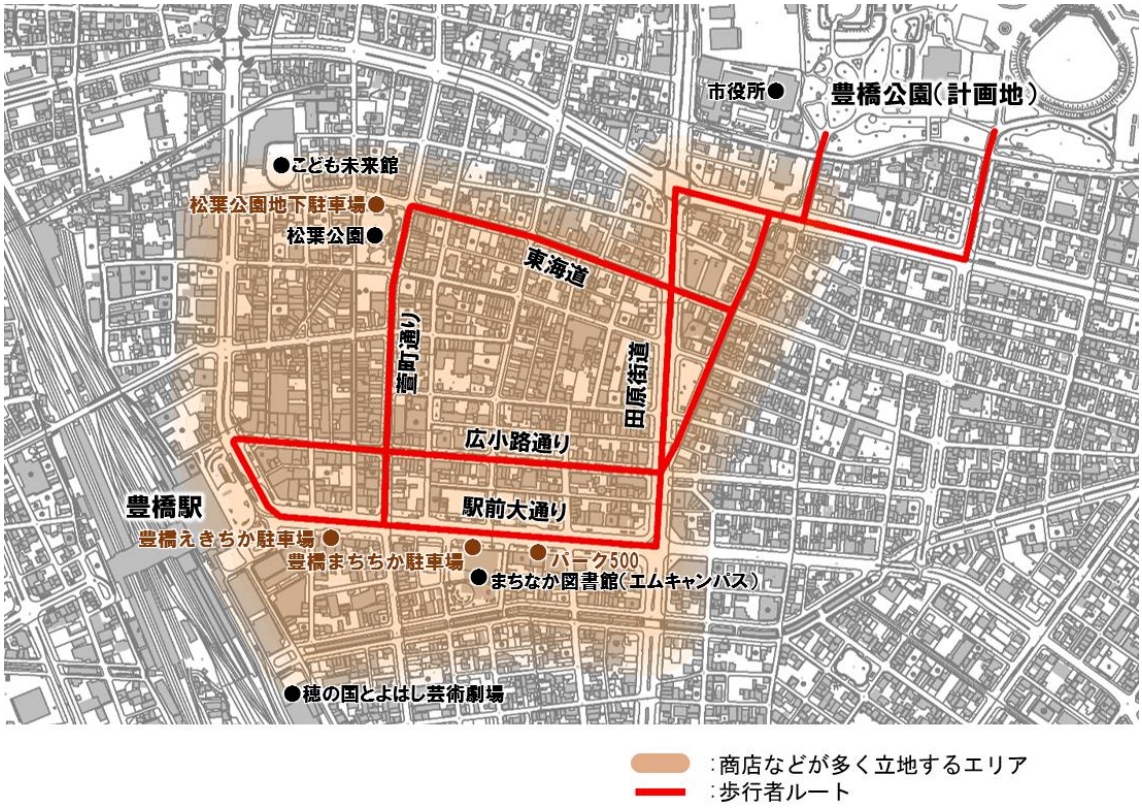
交通手段別来場者予測の結果では、約 700 人が徒歩により、まちなかを経由して本施設へ向かうことになりますが、路面電車やシャトルバスによる移動は混雑することも考えられるため、より多くの方に徒歩で来場してもらえる対応を促進する必要があります。そこで、豊橋駅前から本施設まで徒歩で来場したくなるように、以下の条件を満たす通りを動線として想定しました。（図表 ６－１４）

（条件）

・施設までの行き方がわかりやすく、安全で歩きやすい道であること
・周辺店舗等との連携が期待できること

今後、豊橋駅前から本施設まで歩きたくなるような官民連携の取り組みにより、徒歩による来場を促す対応を図ることが重要になります。

図表 ６－１４　想定される動線



（５）賑わい創出への取り組み

本施設を活用したまちなかの賑わいの創出には、民間事業者や市民と連携した取り組みが重要になります。以下に、今後考えられる取り組み内容や他都市のまちづくりの事例などを整理しました。

①　今後考えられる賑わい創出の取り組み

興行時に交通の起点となることが想定される豊橋駅から本施設までの道のりの中にある商店街を、プロスポーツチームのイメージカラーで染め上げ、まちなか全体で非日常を演出することや、商店街と連携し、本施設と同時にイベントを開催することで賑わいの相乗効果を図ることなどが考えられます。また、本施設の利用者にまちなかの飲食店等で利用できる割引券を配布し、興行後に消費を促すことなども考えられます。

②　他都市のまちづくり事例

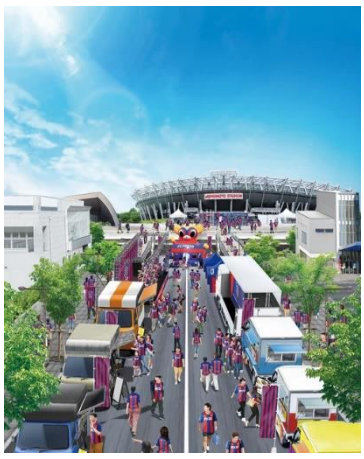
・新潟県長岡市（長岡駅～アオーレ長岡）

2016 年に「バスケットボールを核としたスポーツによる市民協働のまちづくり」を宣言し、B1 リーグの新潟アルビレックス BB・市民・地元企業・長岡市が一体となってまちづくりを行いました。長岡駅からアリーナまでの道のりをチームカラーで染め上げるなど、視覚的に来場者を楽しませるほか、地元の飲食店の紹介と試合後に使える割引券がついている「おもてなしサービスマップ」の配布を行うなど試合の興奮冷めやらぬまま、まちに繰り出し飲食を楽しむ仕掛けを作っています。



・東京都調布市（飛田給駅～味の素スタジアム）

2022 年、Ｊ１リーグ FC 東京 vs 川崎フロンターレ戦に伴い「調布市×FC 東京　まちづくり実行委員会」を設立しています。官民連携の下、まちの活性化に資する事業を実施することを目的に、飛田給駅から味の素スタジアムまでの「スタジアム通り」を歩行者専用道路とし、キッチンカーの出店やステージ、調布市ブースなどを設置することにより、まちの賑わいを創出しています。



③　賑わいの創出としての評価指標の検討

本施設を活かしたまちなかの賑わい創出への取り組みを進める上で、効果的に進められているかどうかの判断材料の一つとして、指標に基づく評価が効果的と考えます。

まちなかの賑わい創出に関係が深い指標として、図表 6-１５に示すものなどが挙げられますが、こうした指標をもとに今後評価していくことが考えられます。

図表 6-１５　まちなかの賑わい創出に関連する計画で掲載されている指標

計画	指標
第６次豊橋市総合計画	週１回以上スポーツを行っている市民の割合
	スポーツ環境への満足度
	市内スポーツイベント参加者数（プロスポーツ観戦含む）
	空き店舗数
	市内宿泊施設への宿泊者数
豊橋市「スポーツのまち」づくり推進計画	週１回以上スポーツを行っている市民の割合
	スポーツ環境への満足度
	市内スポーツイベント参加者数（プロスポーツ観戦含む）
豊橋市都市計画マスタープラン	休日歩行者通行量
豊橋市中心市街地活性化基本計画	空き店舗数
	休日歩行者通行量
豊橋市産業戦略プラン	市内宿泊施設への宿泊者数

（６）愛知県との連携方策

愛知県では、国際的なスポーツ大会などを誘致するとともに、大相撲名古屋場所の開催など現体育館が担ってきた伝統や歴史を更に発展させていく愛知・名古屋のシンボルとなる施設として、2025 年夏の開業を目指し、愛知県新体育館の整備を進めています。愛知県新体育館は世界レベルのアリーナを目指していることから、本施設と運営面で連携することで、双方がより良いものになる可能性があります。

ICT 技術を活用したパブリックビューイングや大会の同時開催などにより、スポーツ振興や競技力の向上等につながる取り組みが考えられます。

図表　６－１６　愛知県新体育館の概要



６．９　施設イメージ

これまでの検討を基にした配置例を参考に、眺望イメージ図を作成しました。なお、整備にあたっては、豊橋公園の自然や市指定史跡吉田城址の歴史・文化に調和したものとなるよう努めます。

図表　６－１７　鳥瞰イメージ（南西より）



図表　６－１８　鳥瞰イメージ（北西より）



６．１０　整備スケジュール

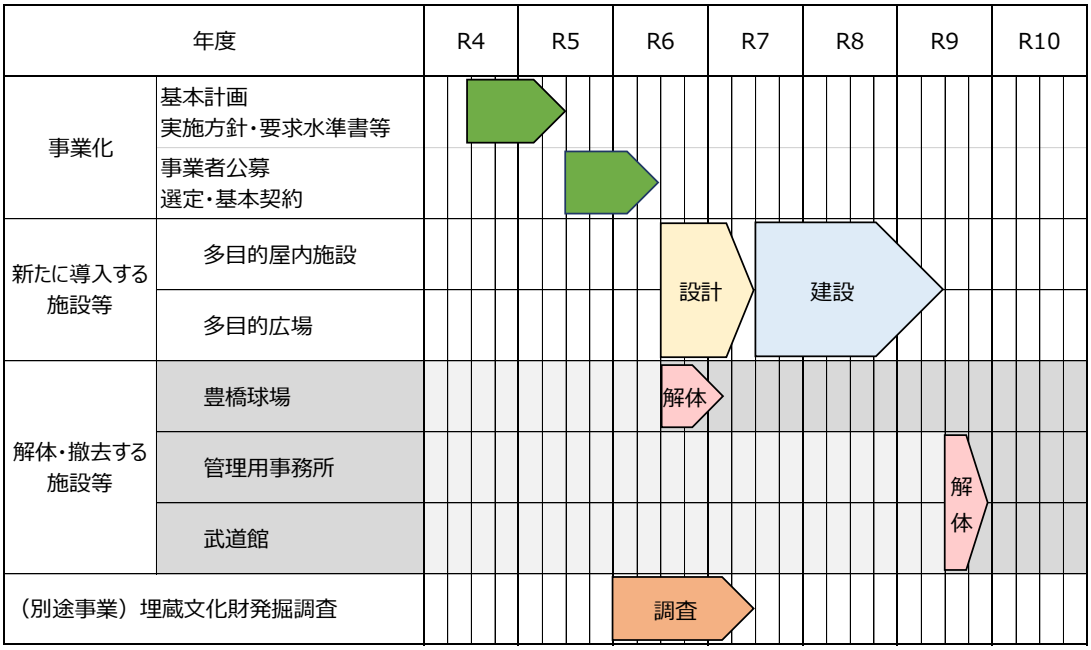
図表　６－５の配置計画とした場合の本施設を含む新たに導入する施設や解体・撤去する施設などの整備スケジュールの想定を図表　６－１９に示します。また、現時点で整備スケジュールにおいて留意すべき事項は以下のとおりです。

（留意事項）

・豊橋球場の解体は本施設の設計業務終了時までに完了することを想定。

・武道館の解体は本施設の開業後に着手することを想定。

図表　６－１９　整備スケジュールの想定

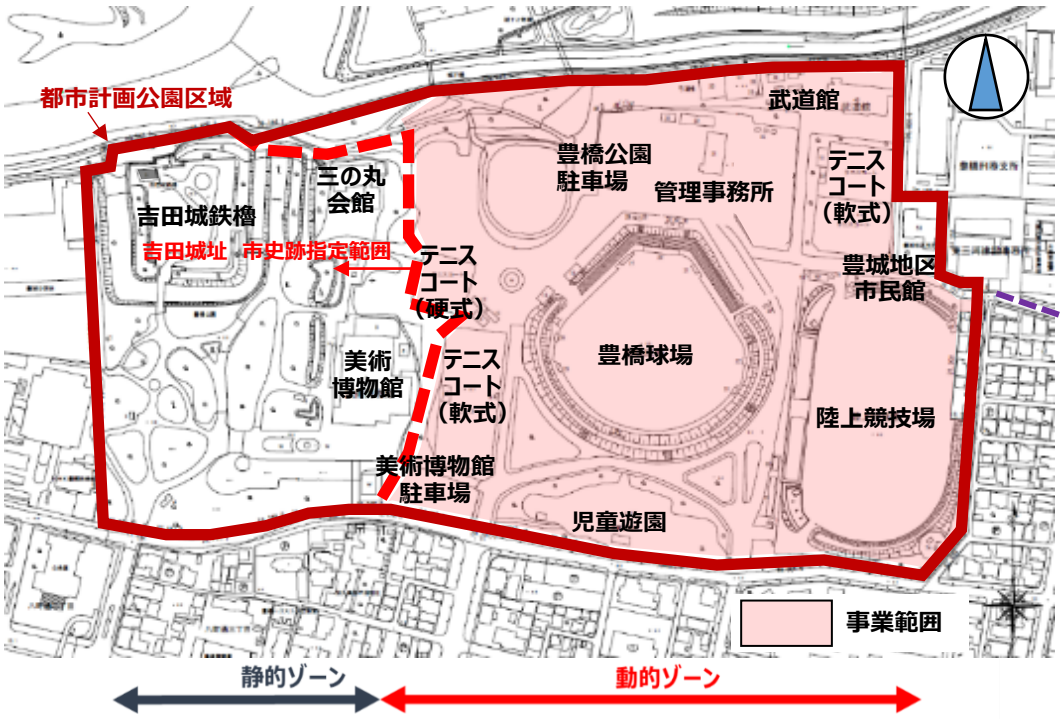


第７章　　事業費等

７．１　事業範囲の整理

本施設を含む公園施設整備に関する設計・建設・管理運営（以下「本事業」という。）の区域を図表　７－１に示します。整備予定の本施設やスポーツ施設を含んだ部分を動的ゾーン、市指定史跡吉田城址や美術博物館等を含んだ部分を静的ゾーンと区別した上で、本事業では動的ゾーンのみを対象とします。

図表　７－１　事業区域図



また、動的ゾーンにおける本事業の主たる対象事業は、図表　７－２のとおりです。

図表　７－２　主たる対象事業

主たる 対象事業	多目的屋内施設の設計・建設・管理運営
	その他公園施設（スポーツ施設等）の設計・建設・管理運営
	民間活力を活かした施設の設計・建設・管理運営

また、各公園施設の対象事業を図表 7－3のとおり整理しました。

図表 7－3　各公園施設の対象事業

公園施設	撤去・解体	建設	管理運営
多目的屋内施設	－	○	○
豊橋球場	○	－	－
武道館	○	－	－
陸上競技場	－	－	○
駐車場	○	○	○
テニスコート	○	○	○
こども広場（児童遊園）・芝生広場	○	○	○
その他公園施設（園路等）	○	○	○
水道管耐震化	市にて別途実施		

7．2　概算事業費の整理

本事業における施設整備費、維持管理・運営費を算出し、収支予測を行いました。なお、ここでの事業費の試算は他都市の類似事例や本市の過去の実績をもとに算出しているため、今後の資材・労務費の変動や設計内容により大きく変動する可能性があり、あくまで参考値となります。

（1）施設整備費

本施設の整備費及びその他公園施設の整備費について、他の類似事例などを参考に試算しました。その結果を図表 7－4及び図表 7－5に示します。

①　多目的屋内施設整備費

本施設の整備費の試算にあたっては、基礎調査時に試算した延べ面積あたりの概算工事費の中間値（55 万円/㎡）をもとに令和５年現在における建設費の上昇率を加味して算出しました。

図表 7－4　多目的屋内施設整備費

概算金額	備考
約 150 億円	75 万円/㎡×延べ面積※　20,000 ㎡

※「第６章６．１施設計画」参照

② その他の公園施設整備費

その他の公園施設整備の試算を行いました。なお、試算にあたっては公園施設の整備に伴う既設施設の解体・撤去費を含めて算出しました。

図表 7-5 その他の公園施設整備費

概算金額	備考
約 34 億円	こども広場、テニスコート、相撲場、園路、芝生広場、多目的広場、駐輪場、駐車場、その他公園施設（既存施設の解体撤去を含む）

なお、これら本施設及びその他の公園施設の整備に伴って、施設が立地する範囲の埋蔵文化財の発掘調査に要する費用も別途必要になります。

（2）収入

本事業に関する年間の事業収入について、興行日数などを想定し、試算しました。また、その他の公園施設においては、これまでの本市の過去の実績をもとに試算しています。

① 想定される興行日数について（年間利用日数）

利用が想定される団体へのヒアリング結果や過去の総合体育館の利用実績を踏まえ、想定される興行の年間利用日数を整理したものを図表 7-6 に示します。その結果から、総計は 118 日となり、年間の 1/3 程度の利用が想定されます。

また、民間事業者のノウハウを最大限に活かすことで、本施設に備えられる「観る」機能をより活かし、市民利用の日数を確保した上でさらなる興行利用日数の上乗せが期待されます。今後、それらのことも加味しつつ、興行利用及び市民利用の日数割合の整理を進めます。

図表 7-6 想定年間利用日数

種別	年間日数※
スポーツ興行	88 日
コンサート興行	18 日
MICE など多目的利用（展示会、博覧会、企業・国際会議等）	12 日

※設営・撤去に要する日数も加算しています。

② 事業収入シミュレーション

本施設の年間の事業収入について、想定される興行日数をもとにした興行利用に市民利用も加えた貸館収入とネーミングライツなどの非貸館収入により試算しました。なお、試算にあたり利用料金については、類似施設や本市並びに近隣都市の公共施設の利用料金を参考にしました。なお、これらの値は、シミュレーションをする上での参考値です。

図表 7-7 収入シミュレーション結果（多目的屋内施設）

項目	金額（年間）
貸館収入	1.52 億円
非貸館収入※	0.15 億円
合計	1.67 億円

※ ネーミングライツ収入、VIP ルーム使用料など

また、その他の公園施設の年間の事業収入について、本市の過去の実績等を参考に設定し、試算しました。

図表 7-8 収入シミュレーション結果（その他の公園施設）

施設	金額（年間）
テニスコート・陸上競技場	0.14 億円
合計	0.14 億円

（3）支出

本事業に関する年間の維持管理・運営費について、近年他都市で整備されているアリーナや公園整備の事例、本市の過去の実績等を参考に、図表 7-9 のとおり試算しました。

図表 7-9 維持管理・運営費

施設	項目	単価（円/㎡）	面積（㎡）	金額（年間）
多目的屋内施設	人件費	3.8 千円	20,000	2.26 億円
	維持管理・運営費	5.9 千円		
	その他経費	1.6 千円		
	小計	約 11.3 千円	-	
その他の公園施設	維持管理・運営費 合計			0.83 億円
合計				3.09 億円

（４）収支予測

本施設及びその他の公園施設の収支予測を図表 ７－１０のとおり試算しました。

図表 ７－１０　収支予測の結果

項目	金額（年間）	
	多目的屋内施設	その他の公園施設
収入	1.67 億円	0.14 億円
支出	2.26 億円	0.83 億円
差引収支	▲0.59 億円	▲0.69 億円

この結果、本施設の収支予測は年間収入 1.67 億円、年間支出 2.26 億円となり、年間の収支が▲0.59 億円となりました。

また、その他の公園施設の収支予測は、年間収入 0.14 億円、年間支出 0.83 億円となり、年間の収支が▲0.69 億円となりました。

指定管理者制度により維持管理や運営を行っている公共施設は、収支状況等を鑑みて、不足分を指定管理料として、運営事業者に支払うことで、利用しやすい施設利用料を維持することができています。

例示として、本市の総合体育館の指定管理料は、年間約 0.74 億円（令和元年度）となっています。また、武道館や陸上競技場といった豊橋公園内のスポーツ施設についても、指定管理者制度により維持管理や運営を行っています。それに加えて、豊橋公園内の指定管理区域以外の園路や駐車場などといったエリアについては、市の直営により樹木の剪定や清掃などの維持管理業務を行っています。

本計画では、プロスポーツ興行やコンサート興行などを想定しているメインアリーナのほか、サブアリーナや武道場など多様な市民利用を想定した多目的屋内施設を事業対象としていること、さらには様々な公園施設を含めた豊橋公園東側エリア全体の維持管理や運営を含んだ内容としているため、相応の費用（指定管理料）が必要になります。市による相応の費用負担を行いながら、民間事業者のノウハウを最大限生かす手法とすることで、本事業の収益性を向上させ、市の財政負担を軽減させることにつながります。

第８章 整備及び維持管理・運営方式

８．１　前提条件の整理

（１）法制度の整理

本事業は、都市公園において複数の公共施設の整備・維持管理・運営事業を進めることとなります。ここでは、民間活力の導入を視野に入れるにあたり、主な法制度について整理しました。

①　設置管理許可制度　（都市公園法）

設置管理許可制度は、都市公園法第５条に基づく制度であり、公園管理者以外の者でも公園管理者の許可を受けることで公園施設の設置・管理を行うことができるものです。

本制度により、民間事業者であっても都市公園内にレストラン、売店、自動販売機等を設置・管理することが可能となります。

設置管理許可の期間は最大 10 年となり、更新も可能です。

②　指定管理者制度　（地方自治法）

指定管理者制度は、平成 15 年の地方自治法改正により創設された公の施設の管理に関する制度で、地方公共団体が指定する者（指定管理者）が公の施設の管理を行うことが可能となるものです。

指定管理者の指定手続きや管理の基準、業務範囲は、条例によって規定する必要があり、指定にあたっては議会での議決が必要となります。公の施設管理において事業者の能力を活用してサービスの質の向上を図るとともに、管理の効率化により行政の経費節減を図ることが可能となります。

指定管理者は、施設の使用に係る許可を与えられるとともに、管理を行う公の施設の利用料金を自らの収入として収受することができます。

都市公園では、新たな公園施設の整備の有無に関わらず、都市公園全体の包括的な維持管理、運営を行う形態が一般的であり、導入を図っている都市公園は年々増加傾向にあります。地方自治法上、指定管理者の指定期間の上限は定められていませんが、都市公園においては５年程度の期間とする事例が多く見られます。

③　PFI 事業（PFI 法）

PFI（Private Finance Initiative）事業は、平成 11 年の「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」（PFI 法）の施行を契機に導入が開始されました。PFI 法の手続きに則り、選定された民間事業者が主体となり、民間資金等を活用し、主体的に事業推進を行います。従来では公共が設計・建設・維持管理・運営の各業務を別々に発注して公共サービスを提供していましたが、PFI 事業を導入す

ることにより、民間事業者に包括的に業務発注することができ、公共サービスの質の向上を図ることが可能となります。

都市公園における PFI 事業では、公園管理者と事業者との契約に基づき、公園施設の整備・維持管理・運営を事業者が行いますが、維持管理や運営においては、別途、設置管理許可制度や指定管理者制度等を適用することもあります。

なお、平成 29 年の都市公園法改正により、長期的な事業運営を安定して行うことができるように、PFI 法に基づく PFI 事業の設置管理許可期間を最大 30 年まで延伸できる措置が講じられています。

（ア）事業方式

PFI 法に基づく事業方式として、公共施設の整備・維持管理・運営を行う事業方式の概要を図表 8－1のとおり整理しました。

図表 8－1　事業方式の分類

BTO 方式 (Build-Transfer-Operate)	施設整備後、公共に施設の所有権を移転し、民間事業者等が運営等を行う方式
BOT 方式 (Build-Operate-Transfer)	施設整備後、民間事業者等が施設の所有権を保持しつつ運営等を行い、事業期間終了後、公共に所有権を移転する方式
BOO 方式 (Build-Operate-Own)	施設整備後、民間事業者等が施設の所有権を保持しつつ運営等を行い、事業期間終了後、施設を除去して更地返還する方式
BT コンセッション方式 (Build-Transfer-Concession)	施設整備後、公共に施設の所有権を移転するまでは、BTO 方式と同じ。管理運営について、公共が事業者に公共施設等運営権を設定する方式

（イ）事業形態

PFI 事業の事業形態について、図表 8－2のとおり整理しました。

図表 8－2　事業形態の分類

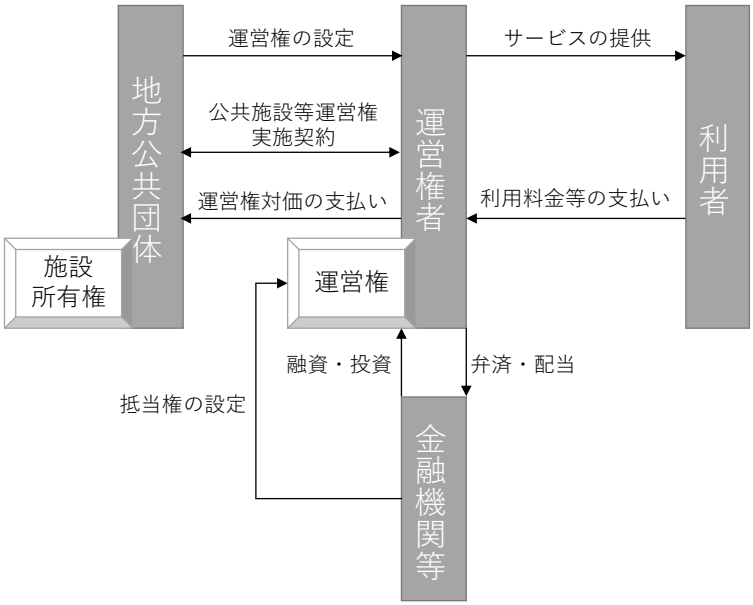
サービス購入型	施設の整備及び運営等の費用を公共からのサービス購入費のみによって回収する方式
独立採算型	運営等の費用を利用者から収受する利用料金のみによって回収する方式
混合型	施設の整備及び運営等の費用を公共からのサービス購入費及び利用者から収受する利用料金によって回収する方式

（ウ）公共施設等運営権制度（コンセッション方式）の動き

平成 23 年に PFI 法が改正され、利用料金の徴収を行う公共施設について、施設の所有権を公共が有したまま、施設の運営権を民間事業者に設定することが可能になりました。これにより、民間事業者自らの創意工夫による安定的で自由度の高い運営が可能となり、利用者ニーズを反映した質の高い公共サービスが提供されることが期待されます。

民間事業者が運営権を取得する際に、事業期間にわたって利用料金収入等から得られる収益をベースとして、運営権対価を地方公共団体へ支払う仕組みとなります。

図表 8-3　コンセッション方式のイメージ



第２章２．２．２に記載のとおり、令和４年６月「経済財政運営と改革の基本方針 2022」（内閣府）、さらに「PPP/PFI 推進アクションプラン」（令和４年改定版）において、スポーツ施設（スタジアム・アリーナ等）にコンセッション方式を積極的に導入する方向性が示されています。

また、令和４年 12 月には、PFI 法の改正により、PFI 事業の対象となる公共施設等の定義にスポーツ施設が追記されたことで、スポーツ施設に対するコンセッション方式の導入に向けた国の動きが活発になっており、本事業における事業方式の検討においてもこの動きを注視することが重要になります。

④　Park-PFI（公募設置管理制度）　（都市公園法）

平成 29 年５月に公布された「都市緑地法等の一部を改正する法律」において改正された都市公園法第５条の２により、新たに創設されたのが Park-PFI（公募設置管理制度）です。Park-PFI は、飲食店や売店等の公園利用者の利便に資する公募対象公園施設を設置すること、さらに、当該施設から生じる収益を活用する形でその周辺の園路や広場等の公共部分である特定公園施設を整備・改修すること、これらを一体的に行う事業方式です。

この方式の特徴としては、公募による事業者選定を必須とすることで事業の安定性を確保することや、PFI 事業に比べ議決を必要としないなど手続きが比較的簡易でありながら、指定管理者制度と同様の行政処分扱いとなることなどが挙げられます。

また、収益施設を設置できる期間が最長 20 年となり、長期的視野での投資、経営が可能となるほか、都市公園を活用して、自らが設置する収益施設に合った広場等を一体的にデザイン・整備できることで、収益の向上にもつながる質の高い空間を創出できます。

図表　８－４　Park-PFI のイメージ



（出所）都市公園の質の向上に向けた Park-PFI 活用ガイドライン

⑤ 法制度のまとめ

前述の（１）①～④にて整理した根拠となる法や想定される事業期間を図表　８－５のとおり整理しました。

図表　８－５　法制度のまとめ

法制度	根拠法	想定される事業期間
設置管理許可制度	都市公園法第５条	10 年（更新可）
指定管理者制度	地方自治法	３～５年程度
PFI 事業	PFI 法	10～30 年程度
Park-PFI	都市公園法第５条の２～９	20 年以内

（２）補助制度の整理

本事業における施設整備に活用の見込みがある税制や交付金制度について、図表８−６と図表 ８−７のとおり整理しました。

①　税制について

図表 ８−６　活用の見込みがある税制のまとめ

所管省庁等	制度名称	制度概要
内閣府	地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）	【内　容】地方公共団体が行う地方創生の取り組みに対する企業の寄付について法人関係税を税額控除する。 【対象者】民間事業者 【規　模】寄付額最大約９割の税の軽減 【要　件】地域再生法に基づく地域再生計画の認定を受けること、等。
経済産業省	地域未来投資促進税制	【内　容】地域の特性を生かして、高い付加価値を創出し、地域の事業者に対する相当の経済効果を及ぼす地域経済牽引事業を実施するにあたり建物・機械等の設備投資を行う場合には、法人税等を特別償却又は税額控除する。 【対象者】民間事業者 【規　模】 ・機械・装置等：40％特別償却又は４％税額控除 （上乗せ要件を満たす場合は、50％特別償却又は５％税額控除） ・建　物　等　：20％特別償却、２％税額控除 【要　件】地域経済牽引事業計画について都道府県からの承認を受けること、等。

② **交付金について**

図表 8－7　活用の見込みがある交付金のまとめ

所管省庁等	制度名称	制度概要
内閣府	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ）	【内　容】デジタルの活用などによる観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する取り組みや拠点施設の整備などを支援。地方創生拠点整備タイプは、主にハード事業を対象とし、官民一体となって地域の課題解決に取り組むことができる事業へ支援。 【対象者】地方公共団体 【規　模】中枢中核都市の上限額 10 億円、補助率 1/2 【要　件】地方版総合戦略に定められた地域再生計画に基づく事業並びにそれと一体となって整備される地方創生の推進に資する施設の新築、増築及び改築等の実施に要する経費に充てること、等。
国土交通省	社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金	【内　容】○社会資本整備総合交付金 地方公共団体が作成した社会資本総合整備計画に基づき、目標実現のための基幹的な社会資本整備事業のほか、関連する社会資本整備や効果促進事業を総合的・一体的に支援。 ○防災・安全交付金 地域住民の命と暮らしを守る総合的な老朽化対策や、事前防災・減災対策の取り組み、地域における総合的な生活空間の安全確保の取り組みを集中的に支援するため、平成 24 年度補正予算において創設。 【対象者】地方公共団体 【規　模】助成対象経費に 1/2 を乗じて得た額（施設費） 【要　件】社会資本総合整備計画に基づき実施すること、等。

環境省	地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する公共施設への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業	【内　容】災害・停電時に公共施設へエネルギー供給が可能な再生可能エネルギー設備等の導入を支援。平時の脱炭素化に加え、災害時にもエネルギー供給等の機能発揮を可能とする。 【対象者】地方公共団体（民間事業者） 【規　模】原則：1/3　間接補助事業 【要　件】地域防災計画において、避難施設又は防災施設として位置付けている公共施設又は業務継続計画により災害発生時に業務を維持するべき公共施設であること、等。
スポーツ庁	学校施設環境改善交付金（地域スポーツ施設整備）	【内　容】子どものスポーツ機会の場や地域住民がライフステージに応じたスポーツに親しむ場（スポーツ文化拠点）として地域経済にも貢献し、さらに、災害時には避難所として活用されるスポーツ施設の環境整備（耐震化及び空調設備の整備等含む）の促進を図る。 【対象者】地方公共団体 【規　模】原則助成対象経費に 1/3 を乗じて得た額 【要　件】施設整備計画を作成して国に提出すること、等。
スポーツ振興くじ助成金（独立行政法人日本スポーツ振興センター）	地域スポーツ施設整備助成（スポーツ競技施設等の整備）	【内　容】地域住民の身近なスポーツ活動の場となる競技施設等の新設（増改設を含む）、改修又は改造を行う事業に対して支援 【対象者】地方公共団体 【規　模】助成対象経費（上限額：３千万円）に 2/3 を乗じて得た額 【要　件】地域住民にとって身近で利用しやすい位置にあり、かつ楽しく安全にスポーツ活動に親しむことができるように整備されるものであること、等。（国又は公営競技等の収益による補助金・助成金を受ける事業は対象外）

８．２　事業スキームの検討

（１）事業方式の検討の考え方

本事業の事業方式については、第５章の整備方針で掲げたとおり、本施設の魅力が最大限発揮できる手法を前提にするとともに、「豊橋市 PPP/PFI 手法導入優先的検討方針」を踏まえ、従来から行われている設計・建設・維持管理・運営の分離発注方式と比較して、本市の財政負担の軽減が最も期待できる事業方式の検討を行います。

なお、市場調査においては、民間事業者のノウハウを最大限に発揮できる方式を選択することが財政負担の軽減につながるものと見込まれるため、PFI-BTO 方式の検討のほか、適度なリスクと運営の自由度を民間事業者に移転し、運営を民間事業者に委ねる先進的なコンセッション方式の検討も併せて行うことが望ましいという方向性を示し、PFI 方式の「BT コンセッション方式」を視野に入れ検討することとしました。

また、第５章５．１整備・運営基本方針⑥に基づき、公園一体事業を見据えた最適な事業方式の検討を行います。

（２）施設整備方式の整理

本事業の施設整備方式について、図表 ８-８のとおり従来方式と PFI 方式（BTO 又はは BT コンセッション）の比較検討を行いました。

図表 8-8　施設整備方式の比較

事業方式	従来方式	PFI 方式 (BTO 又は BT コンセッション)
概要	市が設計・建設・維持管理・運営を分離発注して実施する方式	民間事業者が設計・建設・維持管理・運営及び資金調達を一括で実施する方式
発注形態	【仕様発注】 施設等の詳細な仕様規定を示した仕様書により発注	【性能発注】 施設等の基本的な性能規定を示した要求水準書により発注
契約形態	分割	長期包括
財政面	×仕様、分割発注のためコスト低減があまり期待できない。 ×初期に多額の財源（起債）が必要になる。 ○低金利の資金調達が可能である。	○性能、一括発注によるコスト低減が期待できる。 ○民間事業者の資金調達により財政支出の平準化が可能である。
スケジュール面	×分割発注により設計･建設に要する期間は相対的に長くなる。	○一括発注により設計･建設に要する期間の短縮が図られる。
手続き面	×分割発注による発注手続きの手間が増える。 ×市側で仕様を細かく規定する必要がある。 ○専門ノウハウをあまり必要としない。	○入札手続きを１回に集約することが可能である。 ○個々の調整は民間事業者が行うため、市側の負担が小さくなる。 ×PFI 法に基づく手続きに専門ノウハウを要する。
サービス水準面	×仕様発注により民間事業者のノウハウや技術力を活用する余地が小さくなる。	○民間事業者のノウハウや技術力が包括的に活用され、設計・建設・維持管理・運営を一括実施することにより、サービス水準の向上が期待できる。 ○性能発注により民間事業者の創意工夫が期待できる。

PFI 方式では、性能発注によって民間のノウハウを活用できること、民間の資金調達により予算の平準化が図られることに加えて、公園一体事業の場合には複数施設一括の発注を図ることで発注業務の効率化やコスト低減が期待されること、またサービス水準の向上が期待できることなどから、PFI 方式が望ましいと考えられます。

（３）維持管理・運営方式の整理

本事業の維持管理・運営方式について、図表 ８−９のとおり従来方式（直営・委託）と指定管理者制度、コンセッション方式の比較検討を行いました。

図表 ８−９　維持管理・運営方式の比較

事業方式	従来方式 （直営・委託）	指定管理者制度	コンセッション方式
概要	市による直営又は業務ごとに委託する方式	施設の維持管理・運営を実施する民間事業者を市が指定する方式	市が民間事業者に公共施設等運営権を設定する方式
期間	単年度	３～５年程度が一般的	20～30 年程度の長期となることが一般的
サービス対価	全額負担	利用料金収入の不足分を負担	民間事業者の独立採算、又は一部利用料金収入の不足分を負担する混合型
利用料金単価の設定	条例で定める。	民間事業者の提案を市が承認し、条例で定める。	民間事業者との協議により、民間事業者からの届出を受けて、条例で定める。
財政面 と 収益性	・市による運営実施のため民間事業者のノウハウを活用できない。	・維持管理・運営を民間事業者が一括実施するため、コスト低減が期待できる。 ・一方で、あらかじめ業務仕様を規定することで、運営時の民間事業者のノウハウを引き出す自由度を妨げることになる。	・運営権が設定され、利用料金単価の柔軟な設定や追加投資など、民間事業者の自由度の高い運営が可能となり、収益性向上が期待できる。 ・独立採算又は混合型として、サービス対価の低減が期待できる。
公共 サービス	・市による運営実施	・民間事業者のノウハウによるサービス水準の向上が期待できる。	・指定管理者制度の二重適用により、サービス水準の向上が期待できる。

指定管理者制度及びコンセッション方式では、民間のノウハウに基づく効率的な運営が期待できます。

なお、令和５年１月に公表された「スタジアム・アリーナに係るコンセッション事業活用ガイドライン」（以下「内閣府ガイドライン」という。）においては、スポーツ施設に対するコンセッション方式の導入における実務的なメリットや課題が整理されてい

ます。この内閣府ガイドラインにおいて、公共施設等の運営に関する官民連携手法として、一般的にBTO方式の運営に採用される指定管理者制度と、コンセッション方式（指定管理者制度の二重適用を含む）との比較が図表 ８－１０のとおり行われています。

図表 ８－１０　公共施設等の運営に関する官民連携手法の比較
（内閣府ガイドラインより抜粋）

比較項目	指定管理者制度	コンセッション方式
根拠法（特性）	地方自治法（行政事務の代替）	PFI法（公共施設等の整備・運営）
官民の関係性	基本協定・実施協定による協定関係	実施計画による契約関係
期間	５年程度の場合が多い	20年以上が一般的
対象	公の施設 （利用料金の徴収有無は問わない）	利用料金の徴収を行う公共施設等 （公の施設以外も可）
建物の改築・更新	業務範囲に含まれないことが一般的	業務の一環として実施可能
利用料金 （変更に係る取扱い）	収受可能 （変更には首長の承認が必要）	収受可能 （届出により柔軟に変更が可能）
公の施設の使用許可	条例に基づき使用許可を与えることが可能	使用許可を与えることは不可
行政財産の利活用	設置目的の範囲外で収益性・サービス向上等に取り組む場合、目的外使用許可を受けること等で利活用が可能	左記の場合、目的外使用許可以外にPFI法に基づく私権の設定により利活用が可能
抵当権	抵当権の設定対象となる物権なし	運営権に対して設定可能
公共側の事由による取消に対する補償	地方自治法上の規定なし	取消に伴って発生する損失の補償が必要

図表 ８－１０で示したとおり、コンセッション方式の場合は指定管理者制度と比較して、利用料金設定の柔軟性やPFI法に基づく私権の設定による行政財産の利活用などにより収益性を高める運用が可能となります。また、事業期間が20年以上と長期にわたることが一般的であり十分な投資回収期間が設けられることから、追加投資による施設のバリューアップが図られることが期待されます。

なお、スタジアム・アリーナ改革ガイドブックでは、スタジアム・アリーナにおいて特定のプロスポーツ興行だけでなく、図表 ８－１１に示すような多様な収入機会を創出することにより、収益性を高めて財政負担の軽減に資することの重要性が示されており、コンセッション方式を導入することにより、本施設において民間事業者の柔軟な取り組みが期待されます。

図表 8-１１　多様な収入機会のイメージ
（スタジアム・アリーナ改革ガイドブックより抜粋）

高額な席・ラウンジ・企画席の導入	ラウンジ・クラブ
	レストラン
	スイート席・ボックス席（個室）
	企画シート
メイン競技以外のイベント開催	その他の競技
	コンサート・展示会
	スタジアム・アリーナツアー
施設活用	会議・セミナー
	結婚式・パーティー
複合化	バー・レストラン
	ショッピングモール
	スポーツクラブ
	大学・チア教室など各種スクール
	託児所・保育所
命名権の工夫	細かなネーミングライツ
	クラブ・ラウンジ・シートの命名権販売
その他の取り組み	ファンゾーンの活用
	スタジアム内飲食店の混雑状況管理システムの導入
	POS（Point of Sales）システムの導入
	有名店舗の導入

以上より、本事業の維持管理・運営に関しては、施設特性に応じて、指定管理者制度とコンセッション方式の併用が望ましいと考えます。

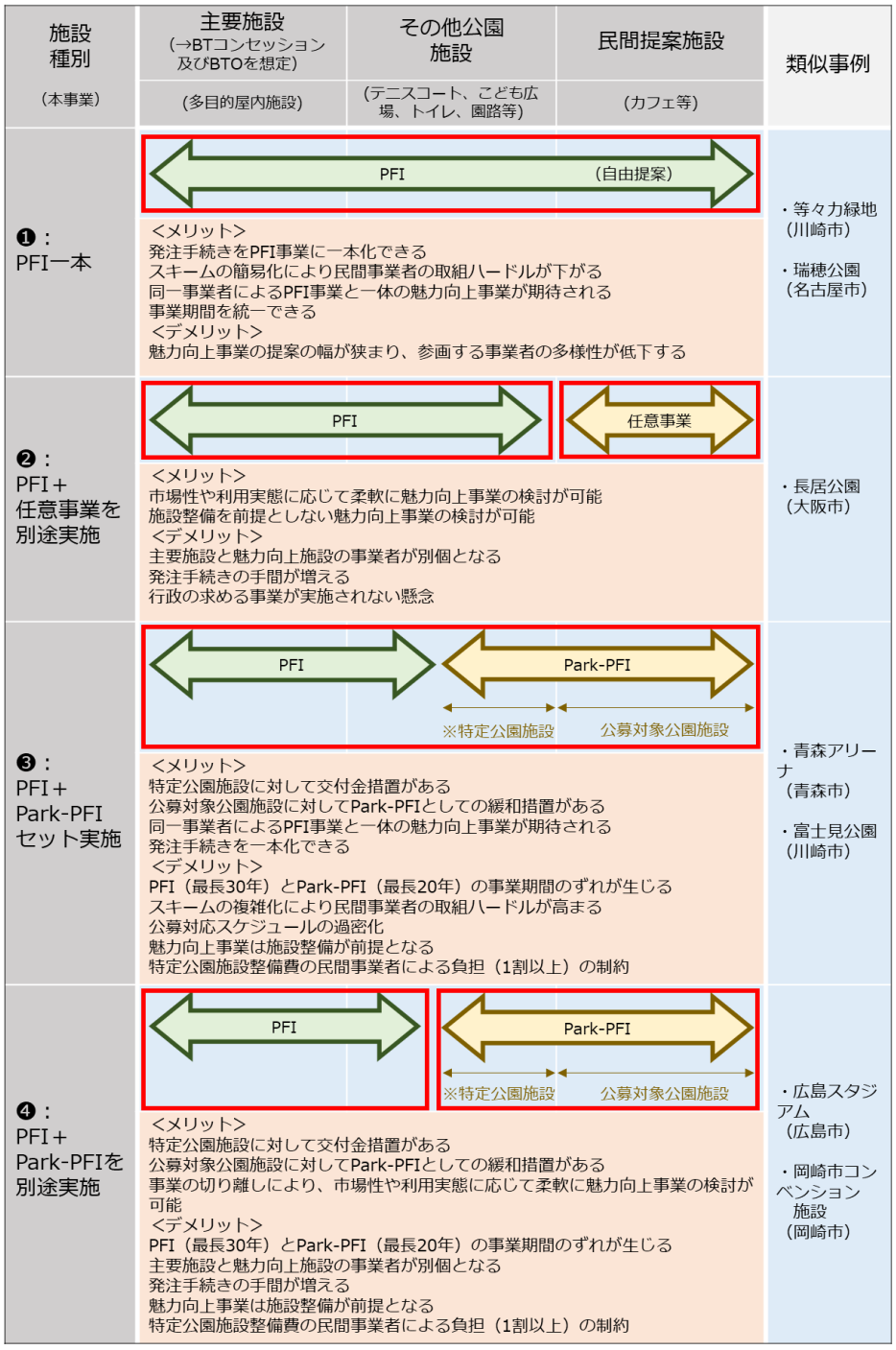
（４）民間提案施設について

第６章６．４．２（１）各公園施設整備の方向性で示した民間活力を活かした施設については、任意事業のほか、Park-PFI の活用も含めて整理を行います。

①　民間提案施設の整備について

公園一体事業における民間提案施設の整備について、事業方式及び事業単位の組合せを図表　8－１２のとおり整理しました。

図表　8－１２　公園一体事業の事業方式



本事業においては、本施設及び豊橋公園内の整備エリアの魅力を民間活力を活用しながら最大限引き出すとともに、一体的かつ効率的な整備・運営により、長期にわたり安定的な管理を行う視点が重要になります。

こうした点を踏まえると、図表 8-12の中の❶の PFI 一本であれば、事業方式及び発注手続きの簡素化や同一事業者による魅力向上事業の実施、さらには事業期間の統一など、多くの効果が期待できます。

（参考：類似事例）

図表 8-12に示す類似事例に関して、同じく事業単位について主な施設別に図表 8-13のとおり整理しました。複数の公園施設の整備及び管理運営を伴う事業として類似性の高い「等々力緑地再編整備・運営等事業（神奈川県川崎市）」と「名古屋市瑞穂公園陸上競技場整備等事業（愛知県名古屋市）」の事例については、❶の PFI 一本で事業が実施されています。

図表　8－１３　公園一体事業の類似事例

施設種別	類似事例	主要施設	その他公園施設	魅力向上施設
❶：PFI一本	等々力緑地（川崎市） ・スタジアムやアリーナなどのシンボリックな施設整備と公園緑地全体の再整備を一体のPFI事業としている。 ・公園施設の特性に応じて、適宜事業手法を柔軟に設定している。	球技専用スタジアム、とどろきアリーナ、駐車場 【PFI（BTコンセッション）】	陸上競技場、テニスコート、他 【PFI（BTO）及びPFI（RO）】	飲食、物販、他 【PFI付帯・自由提案】
	瑞穂公園（名古屋市） ・PFI-BTOの事業手法に一本化されている。	パロマ瑞穂スタジアム 【PFI（BTO）】	野球場、ラグビー場、他 【PFI（BTO）】	民間収益施設 【自由提案】
❷：任意事業を別途実施	長居公園（大阪市） ・施設整備を問わず、当初5年間で実施可能な計画を柔軟に求めている。 ・既存スポーツ施設の指定管理とセットで事業単位としている。	ヨドコウ桜スタジアム 【負担付き寄附＋指定管理】	陸上競技場、テニスコート、他 【指定管理】	フットサル場、遊具施設 【任意事業（魅力向上事業）】
❸：Park-PFIセット実施	青森アリーナ（青森市） ・アリーナはPFI事業ではなく従来型のDBOで整備し、Park-PFIとセットで実施している。	青森アリーナ 【DBO】	緑地、トイレ、遊戯施設、他 【Park-PFI：特定公園施設】	市民の健康づくり・スポーツ振興・にぎわい創出に資する施設 【Park-PFI：公募対象公園施設】
	富士見公園（川崎市） ・PFI-BTOをベースとしつつ、一部の公園施設をPark-PFI特定公園施設の対象としている。	なし	野球場、テニスコート、他 【PFI（BTO）】 アメニティ施設、太陽光発電、他 【Park-PFI：特定公園施設】	自由提案 【Park-PFI：公募対象公園施設】
❹：Park-PFIを別途実施	広島スタジアム（広島市） ・スタジアム整備とPark-PFI事業を切り離している。 ・ただし運営面の連携について条件設定している。	サッカースタジアム 【DB＋指定管理】	園路、広場、他 【Park-PFI：特定公園施設】	にぎわい施設 【Park-PFI：公募対象公園施設】
	岡崎市コンベンション施設（岡崎市） ・コンベンション施設整備とPark-PFI事業を切り離している。 ・ただし運営面の連携について条件設定している。	コンベンション施設 【PFI（BTO）】	河川緑地 【指定管理】	
			休憩所、広場、他 【Park-PFI：特定公園施設】	飲食店、売店、他 【Park-PFI：公募対象公園施設】

事業単位

８．３　民間事業者の参入意向の把握

（１）マーケットサウンディング調査概要

本施設の整備や管理運営、必要とされる規模や機能、豊橋公園の再整備について検討を進めるにあたり、民間事業者を対象にヒアリング調査を実施しました。調査概要は図表 ８-１４のとおりです。

図表 ８-１４　マーケットサウンディング調査概要

実施時期	令和４年 11 月から 12 月
ヒアリング事業者数	17 社
事業者業種	・　建設 ・　デベロッパー ・　スポーツ施設運営 ・　イベントプロモーター ・　金融機関 ・　MICE
実施方法	WEB 会議システムを使用
ヒアリング内容	ヒアリング項目は以下のとおり。 ◆　本事業への興味 ◆　多目的な利用（コンサート、MICE 等）を目指す上での留意事項 →マーケット状況、最適な施設規模･機能、事業費への影響、考慮すべき点 ◆　事業範囲について →メインアリーナ、サブアリーナ、武道場、既存スポーツ施設（管理運営のみ）、公園関連施設、魅力向上事業 ◆　事業方式について →BT コンセッション方式、BTO 方式、指定管理者制度、Park-PFI 等 ◆　駐車場について ◆　事業スケジュールについて ◆　その他

（２）調査結果

マーケットサウンディング調査の結果、得られた意見や要望について、図表 ８-１５のとおり整理しました。

図表 8-１５　マーケットサウンディング調査結果

【興行・イベントを行う上で最適な施設規模・機能について】
● Bリーグの利用を想定した5,000人のアリーナ計画は全国的に多い。 ● 収容規模は7,000～8,000人程度あった方がアリーナコンサートの需要がさらに高まる。 ● 劇場ホールと比較してアリーナは仮設ステージや照明音響設備などの準備コストが大きくなる。 ● ホールコンサートであれば、1,500～2,000人程度の収容規模でホール機能を有していれば需要が高い。
【BTコンセッションについて】
● コンセッションは一定の運営自由度があり、事業の進捗に応じて新しい企画や公園イベント開催等を柔軟に実施可能である。 ● 愛知県新体育館のような事業方式は成立可能性がある。 ● コンセッションの運営リスクから銀行がお金を貸してくれないという懸念がある。 ● 興行リスクの観点から、一定のプロフィット／ロスシェアの検討が必要である。 ● SPCとしての固定収入（指定管理料等）があれば、事業リスクが軽減されると考える。
【公園一体事業・Park-PFIについて】
● アリーナと公園については、賑わい創出の観点からも一体的な事業とすることが望ましい。 ● コンセッションは30年程度、Park-PFIは最大でも20年であり、期間設定が異なる点に注意が必要である。 ● 名古屋市瑞穂公園の事例では、既存スポーツ施設の管理運営を含めてPFI(BTO)1本で実施されており、シンプルで分かりやすい。 ● 広島市サッカースタジアムの事例ではPark-PFIが別事業となった。ただし、広島市が中心となり運営協議会の設立などを通して事業の一体性を担保している。 ● 岡崎市コンベンション施設のPFI事業では、隣接する緑地公園におけるPark-PFI事業を別途実施しているが、今後の連携のあり方を提案で求める内容であった。 ● 公園マネジメントを行う企業はビジネス領域が異なることもあり、一体となるとコンソーシアム内の調整が難航することが想定される。
【事業スケジュールについて】
● 入札公告～提案書提出までの期間については、６～７カ月程度が望ましい。 ● 設計建設期間については、鋼材不足や４週８閉所を目指す等の情勢から、2.5年は厳しくなる可能性がある。 ● 市との対話の機会が複数回あると提案がしやすくなる。

（３）調査結果からの示唆

マーケットサウンディング調査の結果から、示唆される点について、図表 ８−１６のとおり整理しました。

図表 ８−１６　調査結果からの示唆

【興行・イベントを行う上で最適な施設規模・機能について】
メインアリーナ 5,000 人以上という施設規模について、需要動向を精査しながら事業者の提案を求めることを前提とする。
【BT コンセッションについて】
コンセッション方式ならではの官民リスク分担について精査が必要である。 また、収益性を高める観点でのコンセッションのメリットを表現することで、事業会社の興味を引き出す努力が必要である。
【公園一体事業・Park-PFI について】
公募対応や提案調整の労力、短いスケジュール、スキーム複雑化の観点に注意しながら公園一体事業として整理する必要がある。 事業単位を分ける場合には、類似事例における別途事業との連携提案を求める条件設定や、運営時の協議会設置など、公園一体管理運営の基本方針を実現できるように工夫することが望まれる。
【事業スケジュールについて】
公募対応期間について、タイトなスケジュールだと対応ができないなどの意見が多くあった。（公告〜提出で最低でも６カ月は必要）

８．４　PFI 方式導入の適性評価及び課題の抽出

（１）事業スキームの検討情報の整理

本事業における事業方式は、公園一体事業を見据えた民間提案施設の整備の検討として、類似事例のメリットとデメリットの分析や、マーケットサウンディングの結果を受けて、PFI 方式一本による事業実施が望ましいという方向性を示しました。

（２）定量評価

PFI 方式による財政負担の軽減効果について、本施設が本事業の大部分を占めることから、概算事業費等をもとに本施設に PFI 方式（BTO）を導入した場合の VFM の算定を行いました。その結果、PFI 方式においては、約 7.7%の VFM が見込まれる結果となり、PFI 方式を導入した際に一定の費用削減効果が見込まれます。この結果から、本事業全体の VFM も充分に効果が見込まれるものと考えます。効果的に財政負担の軽減を図るために、本施設及び公園施設のどの部分にどの交付金を活用するのか、また、地方創生応援税制など民間資金活用の可能性も含めて検討することが重要です。

図表　８－１７　VFM 算出結果

項目	PFI 方式（BTO）
VFM	7.7%

（３）定性評価

内閣府ガイドラインでは、スタジアム・アリーナの目指す姿を実現するために、公共と民間それぞれが役割を明確にして、相互連携することが重要視されています。図表８－１８のとおり、公共と民間のそれぞれの役割について４点に分けて整理されており、それぞれにおけるスタジアム・アリーナの官民連携手法を選択するための論点が示されています。

図表 8-１８　官民連携手法選択の論点

（内閣府ガイドラインより抜粋）

官民に求められる要素・役割	【民間】 専門性の高いノウハウの発揮	【民間】 長期を見据えた投資判断	【公共】 施設の用途等における公益性の担保	【公共・民間】 地域課題解決や経済活性化につながる取組の実施
事業組成上の論点	・民間事業者が十分にノウハウを発揮できるだけの運営の自由度があるか	・民間側に投資に関する自由度があるか ・十分な投資の回収期間があるか	・公共が施設を適切に管理できるか ・公共施設等として広く市民に開放されているか	・施設が立地している地域に対してプラスの効果をもたらすような取組の実施が可能か
指定管理者制度	△ ・自主事業としてノウハウを活かした取組を実施することが可能 ・利用料金の変更は、首長の承認が必要 ・設置目的の範囲外の事業に取り組む場合、目的外使用許可を受けることで建物・設備の利活用が可能であるが、長期的な事業の場合、手続等が煩雑となる場合もある	△ ・指定管理期間は５年程度とする場合が多い ・追加投資を行うことは可能であるが、事業期間が５年以内等の短期間である場合は、投資回収が見込めないため、設備投資を行うことが困難	○ ・公の施設にのみ導入可能であり、設置管理条例、公募条件等に基づき施設の用途等について公共がコントロールすることができる	△ ・自主事業として、施設内でのイベントの開催等、地域に対してプラスの効果をもたらすような取組の実施が可能 ・事業期間が５年以内等の短期間である場合は、施設周辺地域のエリアマネジメント等の長期的な事業を実施することが困難
コンセッション方式	○ ・自主事業としてノウハウを活かした取組を実施することが可能 ・利用料金の変更は、届出によって柔軟に可能 ・設置目的の範囲外の事業に取り組む場合、目的外使用許可を受けるほか、PFI 法に基づく私権の設定により、建物・設備の転貸も含めた長期的かつ柔軟な利活用も可能	○ ・20 年以上に及ぶ長期契約が一般的 ・追加投資を行うことが可能であり、事業期間が長いことから、一定の投資回収が見込める ・運営権に抵当権を設定することで金融機関から融資が受けやすくなる	○ ・利用料金の徴収を行う公共施設等（公の施設以外も可）に導入可能であり、実施方針、要求水準書、事業契約書等の中で公益性の担保に制限を設けることが可能 ・公の施設の場合、指定管理者制度を二重適用することが可能で、施設設置条例の適用が可能	○ ・自主事業や運営権の範囲内で、施設内でのイベントの開催等、地域に対してプラスの効果をもたらすような取組の実施が可能 ・事業期間が長期にわたるため、施設敷地内の余剰部分の利活用や施設周辺地域のエリアマネジメント等の取組を実施することが可能

本事業では、第５章５．１整備・運営基本方針①に示すとおり、本施設においては多様な「観る」機能を兼ね備え様々な興行の開催を目指す上で、運営目線を重視したプランニングが実現可能な事業方式が望ましいと考えられます。

コンセッション方式の場合は利用料金設定の柔軟性や PFI 法に基づく私権の設定による行政財産の利活用など、収益性を高める運用が可能となります。また、長期の事業期間の設定により十分な投資回収期間が設けられることから、追加投資による施設のバリューアップが図られることが期待されます。

（４）総合評価

本章における検討より、本事業においては公園一体事業として PFI 方式を導入することが望ましいことが分かりました。また、具体的な事業方式については、施設特性に応じて BT コンセッション方式と BTO 方式の併用を目指すものとします。特に、多目的屋内施設については、収益性向上の観点から、BT コンセッション方式を採用し、テニスコートなどの公園施設は BTO 方式を採用する方針を基本とします。

なお、事業方式の詳細については、今後策定する実施方針において定めます。

（５）事業期間について

本事業の事業期間について、民間事業者のノウハウを最大限に活用し、公園一体事業として公園全体の魅力向上につながる効率的な施設の管理運営を実現するとともに、民間事業者の本事業における十分な投資回収の期間を考慮し、図表 ８－９のとおり事業期間は 30 年程度を想定します。

（６）BT コンセッション方式の留意事項

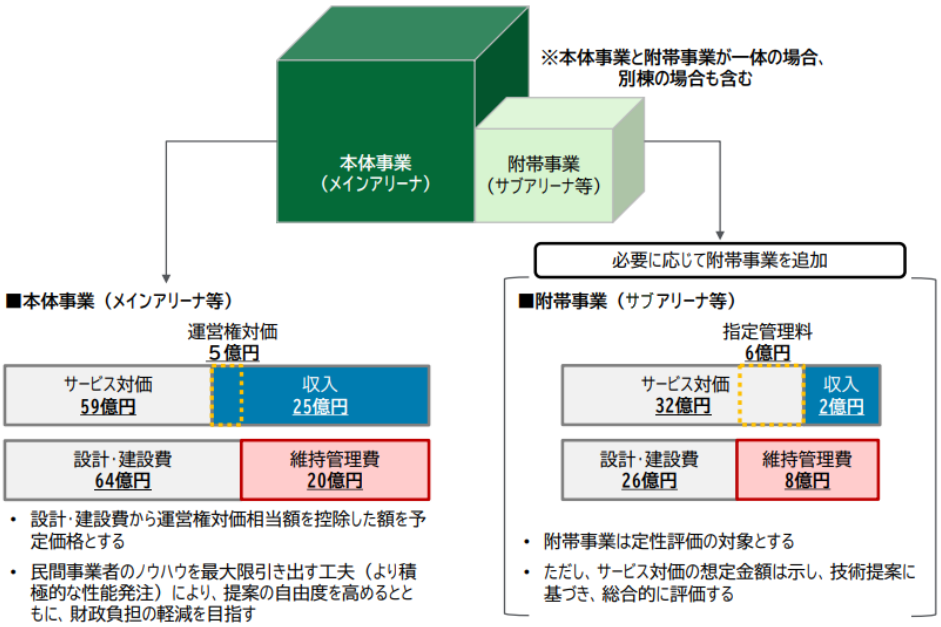
第７章における事業収支の試算から、本施設を管理運営していくには、独立採算では困難であると見込まれ、一定の指定管理料が必要となることから、混合型のコンセッション方式を導入するにあたっては、いかにして財政負担の軽減を図ることができるのかが重要となります。

その手法の一つとして、内閣府ガイドラインにおいては、同一施設のうち、収益性が高く独立採算が可能な事業と、収益性が低く独立採算が困難なその他事業を切り分けることで、コンセッションのメリットを活かし、運営権対価を導き出す工夫が示されています。（図表 ８－１９）

本事業においては、メインアリーナとその他諸室（サブアリーナ、武道場等）を切り分けることにより、混合型のコンセッション方式においても財政負担の軽減が期待できると考えています。

図表 8-１９　混合型の事業スキームの工夫

（内閣府ガイドラインより抜粋）



（７）課題の抽出

本事業の事業方式の検討にあたり、想定される主な課題について下記のとおり整理しました。本施設の BT コンセッション方式の成立要件として一定の収益性が必要となるため、市場性や民間事業者の動向を精査しながら、事業の経済性を確認する必要があります。

- サービス購入費の設定や、プロフィット／ロスシェア条項など、適切な官民リスク分担のバランスを保ちつつ、民間の収益性向上に向けた経営努力を引き出すような事業の建て付け
- PFI 法上の整理以外に、指定管理者制度や設置管理条例との調整
- 興行利用と市民利用の日数割合の設定
- 公園一帯で包括的な管理運営を行うため、公園の魅力向上につながるような条件整理

８．５　官民リスク分担の検討

（１）官民リスク分担の基本的な考え方

PFI 事業における官民リスク分担の考え方については、内閣府及び本市の PFI ガイドラインによると、リスクを最もよく管理することができる者が当該リスクを分担することが基本とされています。

図表 ８-２０　「PFI 事業におけるリスク分担等に関するガイドライン」（内閣府）（令和３年６月）【抜粋】

一　リスクの分担等の基本的留意点

１　協定等の締結の時点では、選定事業の事業期間中に発生する可能性のある事故、需要の変動、天災、物価の上昇等の経済状況の変化等一切の事由を正確には予測し得ず、これらの事由が顕在化した場合、事業に要する支出または事業から得られる収入が影響を受けることがある。選定事業の実施に当たり、協定等の締結の時点ではその影響を正確には想定できないこのような不確実性のある事由によって、損失が発生する可能性をリスクという。

２　選定事業の適正かつ確実な実施を確保する上で、リスクが顕在化した場合、当初想定していた支出以外の追加的な支出が現実に必要となると見込まれることがある。このため、公共施設等の管理者等と選定事業者は、協定等において、リスクが顕在化した場合の追加的支出の分担を含む措置について、できる限りあいまいさを避け、具体的かつ明確に規定することに留意する必要がある。

選定事業のリスク分担については、想定されるリスクをできる限り明確化した上で、「**リスクを最もよく管理することができる者が当該リスクを分担する**」との考え方に基づいて協定等で取り決めることに留意する必要がある。

図表 ８-２１　「豊橋市 PFI 基本指針」（令和４年３月）【抜粋】

１．３　PFI の仕組み

（４）官民のリスク分担

リスクとは、事業を実施することで様々な損失等が発生する可能性のことをいいます。従来型手法では、リスクのほとんどを公共側が分担していましたが、PFI 手法では、「**リスクを最もコントロールできるものが分担する**」との考え方に基づいて、協定等で取り決めることに留意する必要があります。

リスクの負担者を設定するにあたっては、市と民間事業者のどちらが以下の能力を有しているかを検討することになります。

・リスクの顕在化をより小さな費用でカバーできる対応能力

・リスクが顕在化する恐れが高い場合に追加的支出を極力小さくし得る対応能力

（２）コンセッション事業における官民リスク分担の検討事項

８．５（１）の基本的な考え方に加え、コンセッション方式でPFI事業を実施する場合（本事業におけるBTコンセッション方式を含む）においては、官民リスク分担について具体的かつ明確に設定する必要があります。

特に、需要変動リスク・不可抗力リスク・物価変動リスク・法令変更リスクの各項目については、事業期間中における施設整備・運営等の収支に直接的な影響を及ぼす可能性が高いため、民間事業者に対するリスク移転が過剰なものとならないような方策を検討する必要があります。具体的な方策の例としては、プロフィット／ロスシェア条項の設定（需要変動リスク・不可抗力リスク）、事業期間の延長オプションに基づく収益機会の回復（不可抗力リスク）、コスト上昇分の利用料金への適切な転嫁（物価変動リスク）、等が挙げられます。

また、本事業において、本施設及びその他の既存施設（陸上競技場等）をPFI事業として一体化する場合は、それらの既存施設に関する物理的な瑕疵（＝契約不適合）リスクや運営引継ぎに伴うリスク（例：各種マニュアルの不備、利用者とのトラブル）についても、リスク分担を合理的に設定する必要があります。

これらのリスク項目について、官民双方で適切なリスク分担を設定することは、民間事業者の責任負担の範囲を明確化しつつ創意工夫の発揮を促すことにつながり、ひいては、本市の財政負担の軽減にも寄与することが期待されます。

図表 8-２２　コンセッション事業における官民リスク分担の主な検討事項

主なリスク項目	内閣府ガイドラインにおける記載【抜粋】
需要変動リスク	・事業毎にその性質・内容やリスクの要因が異なることから、事業に応じて設定する。この場合、事業者の選定プロセスにおいて、民間の負担内容を評価することも考えられる。 ・また、需要減だけではなく需要増の場合の対応についても留意して検討する。 ・なお、事業の特性に応じて**実施契約の中にプロフィット／ロスシェア条項等を設けることで事業の安定性を確保する**ことも考えられる。
不可抗力リスク	・事業の特性に応じて官民間で協議し、そのリスクを分析した上で適切なリスク分担を図る。なお、保険でカバーできる範囲については、民間事業者の負担範囲とすることが考えられる。 ・また、不可抗力により運営権者に生じた増加費用又は損害（運営事業の前段階で実施される建設の遅延等により生じる逸失利益等を含む。）を回収する手段として、あらかじめ実施方針や運営権の設定において、**一定の範囲で契約変更により事業期間の延長ができるようにしておく**ことなども考えられる。 ・なお、不可抗力について実施契約等で規定していても、具体的な状況下で不可抗力該当性や収益減少分の扱いについて明確に判断できない場合があるが、**上記ロスシェアリング条項により、これらの判断を回避しつつ収益が減少した場合の対応を迅速に行うことが可能**と考えられる。
物価変動リスク	・事業の特性によっては、運営権者の効率化努力等の及ばない急激な物価変動が生じることもありうるため、そのような場合に**利用料金への転嫁を可能にする仕組みを定めておく**ことが考えられる。
法令変更リスク	・原則として管理者等及び運営権者との間で協議の上リスク分担を明確化する。 ・ただし、特定の運営権者に限定して適用されることによる法令等変更や、同じ事業を行っていても公共施設等運営事業によって行われているものが他の手法によって行われているものに対して差別的な取扱いを受けることになる法令等変更が行われた場合（管理者等自身による法令等の変更でない場合も含む。）には、管理者等による運営権者への救済措置が行われることが実施契約に規定されていることが望ましい。

運営権の 取消しリスク	・公益上の理由による運営権の取消しに伴う通常生ずべき損失の補償の規定は、当該規定による補償につき規定する。 ・公益上の理由による運営権の取消し以外の事由に起因するリスク分担について実施契約において定めることについて制約するものではない。
既存施設の 瑕疵リスク	・瑕疵が通常の注意では発見できないものであることを踏まえ、既存資料の十分な確認や施設等を実地に確認すること等により、その最小化を図る。 ・なお、当該瑕疵リスクについては、事業の性質等に応じて、管理者等が一定期間（瑕疵を発見するために必要な期間）責任を負うよう実施契約に規定することが望ましい（実施契約時点において予算措置は不要であり、支払い決定時までに予算措置がされていれば足りる）。また、地方公共団体においても同様の規定を実施契約に設けることが望ましい（予算措置についても同様）。 ・その際、損害賠償の額を定める場合には地方公共団体の議会の議決が必要である（地方自治法第 96 条第 1 項第 13 号。ただし、地方公営企業の業務に関するものについては条例で定めるものを除き同号は適用されない（地方公営企業法第 40 条第２項））。
既存事業の引継ぎ	・管理者等以外の有する既存事業の引継ぎを運営権者に求める場合には、運営権者に過度のリスクを負わせて引き継がせることとならないよう配慮する必要がある。 ・例えば、既存事業主体の株主と管理者等との間で株式譲渡予約契約を締結し、当該契約において、既存事業主体の株主の表明・保証責任や瑕疵担保責任を規定する方法が考えられる。

（３）想定されるリスク項目の抽出

リスク分担表については、対象事業を PFI 事業として実施する場合、PFI 法に基づく実施方針の策定段階で公表することが一般的です。事業期間中の各段階におけるそれぞれのリスク項目を抽出した上で、市及び事業者のリスク負担の主従関係を整理することが主な目的です。８．５(２)で例示した官民リスク分担の具体的な方策については、リスク分担表に対する民間事業者からの質問・意見を踏まえ、事業契約書において詳細を定めることとなります。

本事業では、８．５（１）及び（２）の内容を踏まえつつ、以下の PFI 事例等を参考に、BT コンセッション方式を採用した場合の想定されるリスク項目を抽出しました。

（参考とした PFI 事例等）
・新秩父宮ラグビー場（仮称）整備・運営等事業
・愛知県新体育館整備・運営等事業
・豊橋市 PFI 基本指針（豊橋市芸術文化交流施設整備等事業の例）

なお、本施設以外の事業範囲（陸上競技場等の既存施設、その他の公園施設）についても、それぞれの施設特性や事業方式に応じた官民リスク分担の考え方が本施設とは異なる点に留意し、各リスク項目における具体的な内容を整理する必要があります。

図表 ８-２３　本事業において想定されるリスク項目の例

段階	リスク項目
共通	計画リスク、募集要項等の内容リスク、許認可リスク、法令変更リスク、消費税変更リスク、税制変更リスク、住民対応リスク、第三者賠償リスク、環境保全リスク、安全確保リスク、保険リスク、資金調達リスク、業態悪化リスク、債務不履行リスク、不可抗力リスク
契約前	応募費用リスク、契約締結リスク、議会議決リスク
設計・建設	設計リスク、測量・調査リスク、建設着工遅延リスク、用地リスク、工事費増加リスク、工期遅延リスク、要求水準リスク、譲渡手続きリスク、物価変動リスク
維持管理・運営	業務開始遅延リスク、施設の契約不適合リスク、要求水準未達リスク、業務内容の変更リスク、運営費・維持管理費の変動リスク、物価変動リスク、需要変動リスク、施設損傷リスク、什器備品管理リスク、修繕リスク、情報漏洩リスク、公共施設等運営権の取消し
終了時	移管手続き、施設の状態

これらのリスク項目について、従来方式の場合は、市が個別に発注した業務の請負者や受託者の責めに帰すべき事由を除き、原則として市がリスクを負担することになります。一方で、PFI 方式の場合は、資金調達リスクや工事費増加リスク（物価変動など外的要因に関するものを除く）など、事業者が自らの責任と裁量に基づき適切にコントロールしうるリスクを事業者に移転することが想定されます。さらに、コンセッション方式を採用する場合は、需要変動リスクなど外的要因に関するリスクについても、事業契約書の規定に基づき、その一部を事業者に移転することが可能となります。ただし、

８．５（２）で述べたとおり、事業者に対するリスク移転が過剰なものとならないようにする必要があります。

例えば、共通段階の法令変更リスクについては、増加費用及び損害が発生した場合の協議手順及び官民リスク分担の具体的な方法を検討する必要があります。具体的には、市による追加費用の負担、事業期間の延長による収益機会の回復などが挙げられます。税制変更リスクや不可抗力リスクについても、同様の観点で検討が必要となります。

また、維持管理・運営段階の施設の契約不適合リスクについては、対象施設及び帰責事由（事業者が行う施設整備、市が行う施設整備、既存施設における過去の施設整備・維持管理、等）に応じた官民リスク分担の明確化が必要となります。

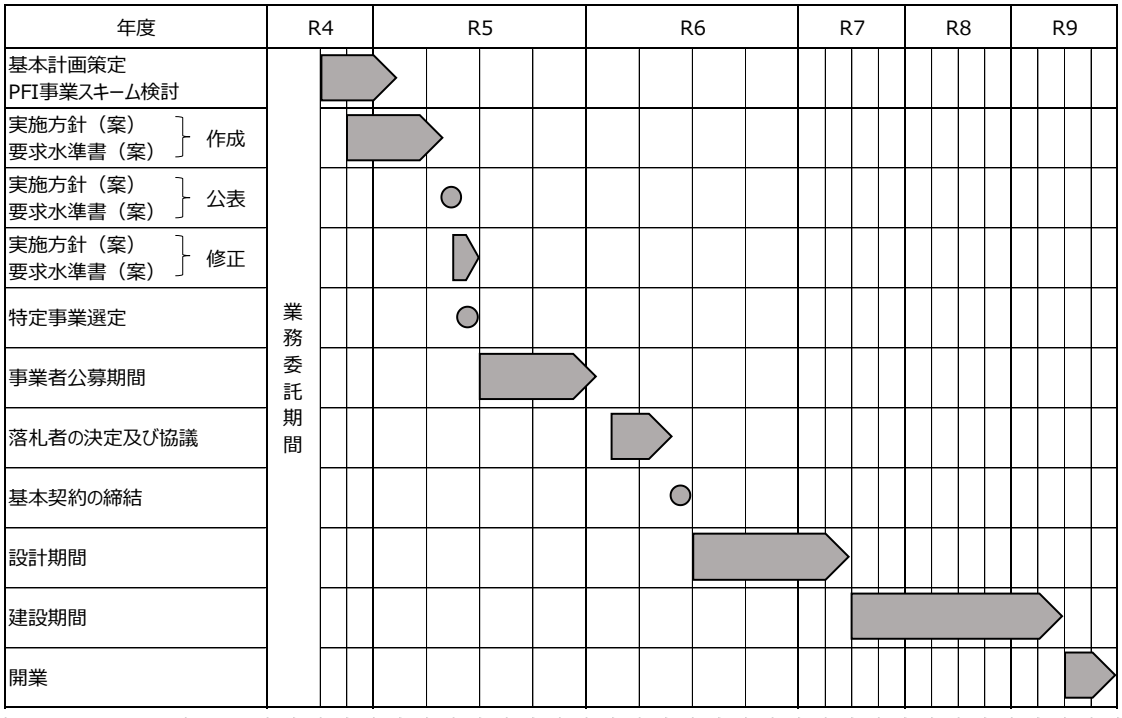
さらに、維持管理・運営段階の物価変動リスクについては、維持管理・運営費の増減の対象に応じた官民リスク分担の明確化が必要となります。具体的には、市がサービス対価の改定によって対応する部分と事業者が利用料金への適切な転嫁によって、対応する部分に分けて整理することが考えられます。

以上の点を含め、本事業の施設特性や事業方式に応じた官民リスク分担については、今後も検討が必要になります。

８．６　事業スケジュール

本事業における入札公告、基本契約の締結から開業までの想定スケジュールを図表８-２４のとおり示します。

図表 ８-２４　想定スケジュール



参　考　資　料

参考資料１　多目的屋内施設整備に関する有識者会議

【設置要綱】

（設置）
第１条　豊橋市が整備を進めている多目的屋内施設の基本計画の策定及び事業スキームの検討を行うため、多目的屋内施設整備に関する有識者会議（以下「有識者会議」という。）を設置する。

（所掌事項）
第２条　有識者会議は、次の事項を所掌する。
（１）豊橋市多目的屋内施設の基本計画策定にあたり助言を行う。
（２）豊橋市多目的屋内施設の事業スキーム検討にあたり助言を行う。
（３）そのほか市長が必要と認める事項について助言を行う。

（組織）
第３条　有識者会議は、別表に掲げる委員をもって構成する。

（議長及び副議長）
第４条　有識者会議には議長及び副議長を置く。
２　議長及び副議長は、委員の互選により定める。
３　議長は、有識者会議を代表し、会務を総理する。
４　副議長は、議長に事故があるとき、または議長が欠けたときにはその職務を代理する。

（有識者会議）
第５条　有識者会議は、議長が招集し、議長が有識者会議の議長を務める。
２　有識者会議は、委員の過半数が出席しなければ開催することができない。

（意見の聴取）
第６条　議長は、必要と認めるときは、有識者会議に関係者の出席を求め、その意見を聞くことができる。

（秘密の保持）
第７条　委員及び関係者は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。

（庶務）

第８条　有識者会議の庶務は、豊橋市文化・スポーツ部多目的屋内施設整備推進室において処理する。

（雑則）

第９条　この要綱に定めるもののほか必要な事項は、議長が有識者会議に諮って定める。

附　則

１　この要綱は、令和４年１０月１３日から施行する。

別表（第３条関係）

区分	氏名	職名
委員	大林　利光	スポーツ協会 常務理事
委員	小野　悠	豊橋技術科学大学 准教授
委員	加藤　義人	岐阜大学 客員教授
委員	内藤　正和	愛知学院大学 准教授
委員	長谷川　太一	EY 新日本有限責任監査法人
委員	原　仁志	弁護士法人　関西法律特許事務所
委員	脇坂　圭一	静岡理工科大学 教授

（敬称略、五十音順）

多目的屋内施設整備に関する有識者会議の主な意見のまとめ

多目的屋内施設整備基本計画の策定にあたり、計画の実効性を高めるために、学識、施設経営、競技スポーツなど、様々な分野で活躍される方を委員として構成する「多目的屋内施設整備に関する有識者会議」を設け、整備を進める上での課題、整備方針・計画、事業方式など計画を構成する主なテーマについて、助言を頂きながら計画づくりを進めてきました。有識者会議での主な意見は次のとおりです。

＜主な意見＞

○総合体育館、地区体育館の市民利用の実態を整理した上で、多目的屋内施設のあり方を検討した方がよい。

○複合化・集約化の検討について、ホール機能の併設の実現性やサブアリーナの必要性を整理した上で進めるべき。

○興行時の施設利用は公共交通によるアクセスが基本とされているが、アクセスしやすい配慮、対策を考えた方がよい。

（例）

・豊橋駅周辺にサテライト駐車場を指定し、ピストン輸送するなどの工夫。

・利用者の利便性確保のために、豊橋公園周辺の交通負荷を増大させないことを前提とできるのであれば、豊橋公園内の駐車場に対して予約システムを導入するなどの方法。

○公園一体での整備・運営について、バンドリング効果ができるか整理するとよい。

○民間側が参加しやすくするためには、事業範囲を明確化し、料金設定の自由度、興行利用の余地など経営自由度を高める方がよい。

○収益性があるものについては、コンセッション方式の採用の方法もある。

○事業スケジュールについて、民間提案を受けやすくするには現実的なスケジュールを策定することが重要である。

参考資料２　市民アンケート調査票

本施設や豊橋公園におけるニーズを確認するために、市民に対して、以下の調査票を配布しアンケート調査を行いました。

アンケート名：「多目的屋内施設」に関する市民アンケート

■あなたのことについて

問１　性別を教えてください。（○は１つ）

１　男性	２　女性	３　その他

問２　年代を教えてください。（○は１つ）

１　10 代	２　20 代	３　30 代	４　40 代
５　50 代	６　60 代	７　70 代以上	

問３　職業を教えてください。（○は１つ）

１　会社員・公務員	２　自営業	３　専業主婦（夫）
４　学生（高校生含む）	５　パート・アルバイト	６　その他

■多目的屋内施設におけるニーズについて

現在、本市で施設整備の計画を進めている多目的屋内施設（以下、本施設）は、市民の皆様の各種スポーツ競技利用のためだけでなく、スポーツ観戦やコンサート鑑賞、催し物・イベント、日常的な利用にも対応した多機能な施設を目指しています。本施設に望む機能・期待に関する以下の問いについて教えてください。

問４　あなたが本施設に最も期待する利用形態は何ですか。（○は１つ）

１　スポーツを行う場	２　スポーツ観戦	３　コンサート鑑賞
４　展示会・物産展など	５　日常的利用（トレーニングジム、各種教室など）	
６　インキュベーション機能（起業・創業支援）		
７　その他（　　）		

問５　あなたは、本施設でどんなスポーツを観戦したいですか。（〇は３つまで）

１	卓球　　２　ハンドボール　　３　バスケットボール　４　バレーボール
５	バドミントン　６　フットサル　　７　インドア（室内）テニス
８	相撲　　９　武道（柔道・剣道・弓道・空手など）
10	格闘技（ボクシング・レスリングなど）
11	その他（　　）

問６　あなたは、本施設でどんなジャンルのコンサートがあったら、参加したいと思いますか。（〇は３つまで）

１	ポップミュージック　　２　ロック　　３　演歌　　４　クラシック
５	洋楽　　６　アニメソング
７	その他（　　）

問７　あなたは、本施設でどんなイベントがあったら、参加したいと思いますか。（自由意見）

（例：物産展、フードフェスティバル）

問８　あなたは、本施設でスポーツ観戦やコンサート鑑賞などにあたり、快適に観戦・鑑賞するためにどんなことを期待したいですか。（〇は３つまで）

１	最新 ICT（情報通信）技術の活用を期待したい（VR 観戦体験、プロジェクションマッピングによる演出、携帯アプリとの連携など）
２	臨場感あふれる観戦・鑑賞環境（音響・映像システムの充実など）
３	来場にあたって、スムーズな入退場を期待したい（顔認証チケットなど）
４	様々な種類の客席が欲しい（家族で利用可能な大型スペース、VIP ルーム、ドリンクホルダー付きの客席など）
５	飲食や買い物を楽しみたい（飲食メニューやグッズ販売の充実など）
６	荷物を気にせず応援・観戦したい（ロッカーや荷物の一時預かりサービス）
７	その他（　　）

問９　あなたは、本施設でどのようなものがあれば、日常的に利用したいと思いますか。
（〇は３つまで）

１	競技力向上や健康促進が図れるトレーニングジム
２	トップアスリートと親しめる各種スポーツ教室
３	ヨガやピラティス、ダンスなどが利用可能な多目的スタジオ
４	クライミングウォール・ボルダリング体験スペース
５	子どもの運動プログラムの実施や親子が共に楽しむことができるキッズルーム
６	豊橋市出身のアスリートの情報などに触れることができる交流・休憩スペース
７	豊橋市の歴史・文化に触れることができる交流・休憩スペース
８	気軽に利用可能なレストランやカフェ
９	スポーツショップ・売店
10	温浴スペース
11	スポーツドクターが常駐するスポーツクリニック
12	その他（　　）

問１０　上記の設問以外に、ご意見・ご要望がありましたら教えてください。
（自由意見）

■豊橋公園におけるニーズについて

本施設の整備予定地である豊橋公園の東側エリアは、多目的屋内施設整備に伴い、テニスコートなど既存公園施設の再配置の検討を進めるとともに、より公園の魅力を向上させるための新たな機能についての検討も進めております。

豊橋公園に望む機能・期待に関する以下の問いについて教えてください。

問１１　あなたは、豊橋公園にどのような機能があれば利用したいと思いますか。
（〇は３つまで）

１	屋外ランニング・散歩コース
２	休憩できる屋根付きの屋外広場
３	遊具やアスレチックなど屋外遊戯施設
４	じゃぶじゃぶ池など水遊びができる場
５	一定の広がりがあり、歓談できる芝生広場
６	レストラン・カフェ
７	その他（　　）

問１２　上記の設問以外に、ご意見・ご要望がありましたら教えてください。
（自由意見）

■交通手段について

問１３　豊橋公園内に本施設の興行時の利用者向け専用駐車場を整備しない予定（身体障がい者用除く）ですが、その場合、本施設までどのような交通手段を用いますか。（〇は１つ）

１	豊橋駅から徒歩・自転車	２	豊橋駅からバス	３	豊橋駅から市電
４	自家用車（豊橋駅周辺駐車場利用）	５	自宅から徒歩・自転車		
６	自宅からバス	７	自宅から市電		
８	その他（　　）				

アンケートは以上です。ご協力いただきありがとうございました。

参考資料３　他都市類似施設

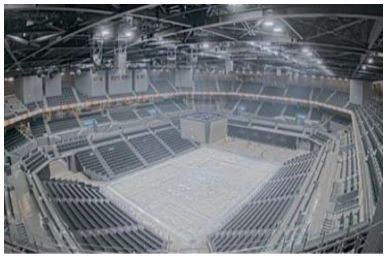
本施設の整備にあたり、他都市の類似施設の概要と本市において参考となる事例及び考え方をまとめました。

１．SAGA アリーナ

（１）施設概要

所在地		佐賀県佐賀市日の出２丁目１番 10 号 （SAGA サンライズパーク内）
しゅん工年月		令和５年１月
施設規模・機能	規模	建築面積：約 16,700 ㎡ 延べ面積：約 29,800 ㎡ 建築物の最高高さ：30.2m
	観覧席数	約 8,400 席（固定席約 6,300 席　可動席約 2,100 席）※メインアリーナ
	メイン アリーナ	面積：約 3,036 ㎡　天井高さ：約 22m フロア面：コンクリート床
	サブ アリーナ	面積：1,800 ㎡　天井高さ：約 17m フロア面：木製床
	その他の 諸室	更衣室（ロッカールーム）、多目的室、特別室、応接室、コンコース、カームルーム等
整備運営方式		従来方式+指定管理
アクセス環境		公共交通機関：JR 佐賀駅より徒歩約 13 分、JR 佐賀駅～路線バス「SAGA サンライズパーク（市文化会館前）」バス停下車 駐車場：約 1,350 台（SAGA サンライズパーク全体の台数、興行時は、徒歩や公共交通機関等での来場を呼びかけ） 興行時のシャトルバス：イベント興行者による







開放感があり、段差のない歩きやすい歩道

（２）参考となる事例及び考え方

・センターコートを意識した施設整備

各種スポーツの国際大会やプロスポーツの試合にも対応し、臨場感のある距離での観戦が可能。

・「歩くまち」を想定した土台づくり

駅から SAGA サンライズパークまでは徒歩 13 分程度であり、開業前から「歩くまち」をテーマとして歩道整備やイベントを仕掛けている。

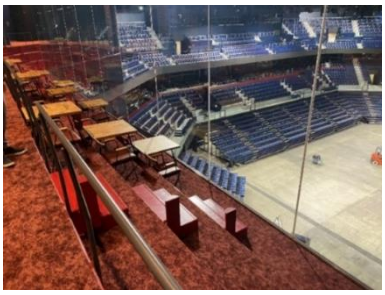
２．沖縄アリーナ

（１）施設概要

所在地		沖縄県沖縄市山内一丁目 16 番１号
しゅん工年月		令和３年２月
施設規模・機能	規模	建築面積：約 11,050 ㎡ 延べ面積：約 27,720 ㎡ 建築物の最高高さ：29.05m
	観覧席数	約 10,000 席（仮設席含む、固定席は約 8,000 席）※メインアリーナ
	メインアリーナ	面積：約 2,600 ㎡　天井高さ：22m フロア面：コンクリート下地+木製置床
	サブアリーナ	面積：約 860 ㎡　天井高さ：11.4m フロア面：木製床
	その他の諸室	ロッカールーム、ダンススタジオ、ラウンジ、売店、スイートルーム、ファミリーエリア、グッズショップ　等
整備運営方式		ECI 方式+指定管理
アクセス環境		公共交通機関：那覇空港～高速バス「沖縄南 IC」バス停より徒歩約 12 分 駐車場：約 2,500 台（施設のある運動公園の既存の駐車場含む、興行時の運用ルールは未定） 興行時のシャトルバス：15 分に１本程度、２ルート（B リーグ）







家族で楽しめるラウンジ

（２）参考となる事例及び考え方

・ICT 技術の活用

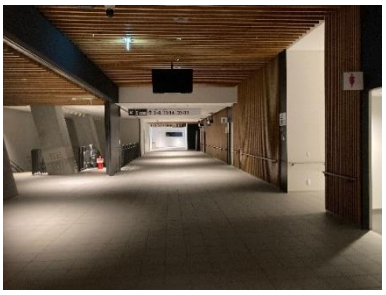
トイレの扉が閉まる際にセンサーが反応し、外のモニターにトイレの混雑状況がリアルタイムでわかるようにしている。また、観覧席から廊下に出る際の壁にも混雑状況がわかるモニターが設置されており、どの場所へ行けばスムーズにトイレが利用できるかなどの工夫がされている。

３．有明アリーナ

（１）施設概要

所在地		東京都江東区有明一丁目 11 番１号
しゅん工年月		令和元年 12 月
施設規模・機能	規模	建築面積：約 25,000 ㎡ 延べ面積：約 47,200 ㎡ 建築物の最高高さ：約 37m
	観覧席数	約 15,000 席（仮設席含む） ※メインアリーナ
	メインアリーナ	面積：約 4,100 ㎡　天井高さ：約 22m フロア面：土間コンクリートに必要に応じて木製置床等を設置
	サブアリーナ	面積：約 1,400 ㎡　天井高さ：約 13m フロア面：木製床
	その他の諸室	レストラン、売店、カフェ、トレーニングスタジオ　等
整備運営方式		コンセッション方式 ※スポーツ施設では国内初
アクセス環境		公共交通機関：東京臨海新交通ゆりかもめ「新豊洲駅」又は「有明テニスの森駅」より徒歩約８分、東京臨海高速鉄道りんかい線「国際展示場駅」又は「東雲駅」より徒歩約 17 分





機能別トイレ

（２）参考となる事例及び考え方

・国内初のスポーツ施設でのコンセッション方式の導入

　コンセッション方式の導入施設の先駆けとして、民間企業のノウハウを最大限に活用し、世界的なスポーツイベントやトップアーティストのコンサート等から都民参加イベントまで幅広く実施している。

・多様な利用者のニーズに対応

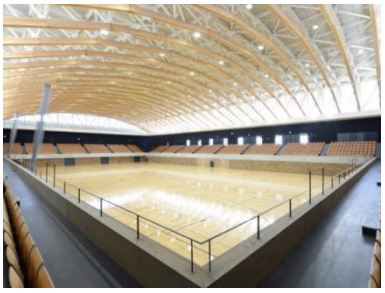
　様々なニーズに合わせて使えるよう、機能を分散させたトイレを複数配置している。

４．かみす防災アリーナ

（１）施設概要

所在地		茨城県神栖市木崎 1219 番地 7
しゅん工年月		平成 31 年３月
施設規模・機能	規模	建築面積：約 13,890 ㎡ 延べ面積：約 20,150 ㎡ 建築物の最高高さ：約 17m
	観覧席数	約 5,000 席（固定席約 2,500 席、仮設席約 2,500 席）※メインアリーナ
	メインアリーナ	面積：約 2,410 ㎡　天井高さ：約 12.5m フロア面：木製床
	サブアリーナ	面積：約 640 ㎡　天井高さ：約 12.5m フロア面：木製床
	その他の諸室	温水プール、温浴施設、トレーニング室、スタジオ、音楽ホール、会議室、カフェ、コミュニケーションコリドー、展望デッキ　等
整備運営方式		PFI（BTO 方式）
アクセス環境		公共交通機関：関鉄バス海岸線銚子駅行き又は利根川線銚子駅行き「神栖中央公園西」バス停より徒歩約 5 分 駐車場：神栖中央公園内全体約 1,470 台（アリーナ専用駐車場約 470 台、臨時駐車場約 350 台含む） 興行時のシャトルバス：なし







神栖中央公園内の防災備蓄倉庫

（２）参考となる事例及び考え方

・地域の防災拠点となる機能の整備

津波も考えて電気室は２階に設置している。電気室には非常用発電機を設置しており、３日間運転可能な燃料タンクを地下に整備している。

防災備蓄倉庫が公園内に別棟であり、その中には防災トイレなどの避難用品や各避難所に送る物資などが保管されている。

５．太田市総合体育館（OPEN HOUSE ARENA OTA）

（１）施設概要

所在地		群馬県太田市飯塚町 1059-１
しゅん工年月		令和５年４月
施設規模・機能	規模	建築面積：約 7,330 ㎡ 延べ面積：約 11,170 ㎡ 建築物の最高高さ：22.16m
	観覧席数	5,027 席（仮設席含む）※メインアリーナ
	メインアリーナ	面積：約 2,140 ㎡　天井高さ：12.5m フロア面：木製床
	サブアリーナ	面積：約 623 ㎡　天井高さ：12.5m フロア面：木製床
	その他の諸室	多目的室、更衣室、ラウンジ、控室、売店、貴賓室、BOX 室　等
整備運営方式		DB 方式+指定管理
アクセス環境		公共交通機関：東武小泉線「竜舞駅」から徒歩約 20 分 駐車場：1,200 台程度 （施設のある運動公園全体の台数） 興行時のシャトルバス：運行予定





（２）参考となる事例及び考え方

・B リーグチームのホームアリーナ

・補助金を活用した整備

企業版ふるさと納税、地方創生拠点整備交付金（国）合計 1,000,000 千円（２か年）、市町村競技別拠点スポーツ施設整備事業補助金（県）100,000 千円を活用し建設している。また、映像、音響設備にも補助金（地方創生拠点整備交付金）を活用し、整備している。

６．ゼビオアリーナ仙台

（１）施設概要

所在地		宮城県仙台市太白町あすと長町１丁目４－10
しゅん工年月		平成 24 年９月
施設規模・機能	規模	建築面積：約 6,120 ㎡ 延べ面積：約 11,710 ㎡ 建築物の最高高さ：24m
	観覧席数	約 5,000 席（仮設席含む） （可動席：1,232 席　固定席：2,777 席）
	アリーナ	面積：約 2,170 ㎡　天井高さ：約 20m フロア面：コンクリート下地+木製置床
	その他の諸室	ロイヤルボックス、売店、テナント（３箇所）　等
整備運営方式		民設民営
アクセス環境		公共交通機関：JR 長町駅より徒歩約５分、市営地下鉄南北線「長町駅」より徒歩約４分 駐車場：興行来場者用の駐車場なし 興行時のシャトルバス：なし







高さを変えることができ、多目的な利用が可能な映像ビジョン

（２）参考となる事例及び考え方

・興行時の演出の工夫

プロバスケットボールがメインで利用されている。音響システムと映像のリボンビジョンを連動して動かすことができ、演出上有効的に使用ができる。

７．墨田区総合体育館

（１）施設概要

所在地		東京都墨田区錦糸４丁目 15-１
しゅん工年月		平成 22 年３月
施設規模・機能	規模	建築面積：約 5,600 ㎡ 延べ面積：約 19,840 ㎡ 建築物の最高高さ：35.90m
	観覧席数	2,000 席　※メイン、サブアリーナ合わせて（一体利用が可能）
	メインアリーナ	面積：2,280 ㎡　天井高さ：13m フロア面：木製床
	サブアリーナ	面積：1,064 ㎡　天井高さ：13m フロア面：木製床
	その他の諸室	屋内プール、武道場、トレーニング室、スタジオ、更衣室、温浴施設、売店、会議室、カフェレストラン、多目的競技場、多目的広場　等
整備運営方式		PFI（BTO 方式）
アクセス環境		公共交通機関：JR 錦糸町駅より徒歩約３分、東京メトロ半蔵門線「錦糸町駅」より徒歩約２分、押上駅など～路線バス「錦糸公園」バス停より徒歩約２分 駐車場：100 台（個人利用者は２時間無料、大会参加者・観戦者は２時間無料サービスなし） 興行時のシャトルバス：なし







可動式の畳

（２）参考となる事例及び考え方

・PFI 方式でのアリーナ整備の先駆け

民間の資金とノウハウを活用し、アリーナ、武道場、トレーニングルーム、温浴施設など多様化するスポーツに対するニーズに対応した機能を整備している。

・多機能の武道場

武道場では、可動式の畳を活用し、すべての面（４面）で、床仕様・畳仕様の両方で利用できる。

また、目的に応じて面サイズを指定し、可動の間仕切りで仕切ることができる。なお、壁面鏡を設置しており、武道だけでなく、チアダンス、ジャグリングの競技者にも利用されている。

８．彦根市スポーツ・文化交流センター（プロシードアリーナ HIKONE）

（１）施設概要

所在地		滋賀県彦根市小泉町 640 番地
しゅん工年月		令和４年６月
施設規模・機能	規模	建築面積：約 9,980 ㎡ 延べ面積：約 13,850 ㎡ 建築物の最高高さ：18.43m
	観覧席数	2,752 席（可動席含む）※メインアリーナ
	メインアリーナ	面積：2,565 ㎡　天井高さ：12.5m フロア面：木製床
	サブアリーナ	面積：726 ㎡　天井高さ：7.9m フロア面：木製床
	その他の諸室	トレーニング室、ダンス室、控室、更衣室、弓道場、会議室、教養文化室、多目的ホール、スポーツラウンジ、まちなか交流ラウンジ、展示コーナー、お祭り広場　等
整備運営方式		従来方式+指定管理
アクセス環境		公共交通機関：JR 南彦根駅から徒歩約５分 駐車場：280 台整備予定（通常・興行時ともに利用は無料） 興行時のシャトルバス：イベント興行者による







屋内に整備された
弓道場（近的射場）

（２）参考となる事例及び考え方

・スポーツと文化の融合

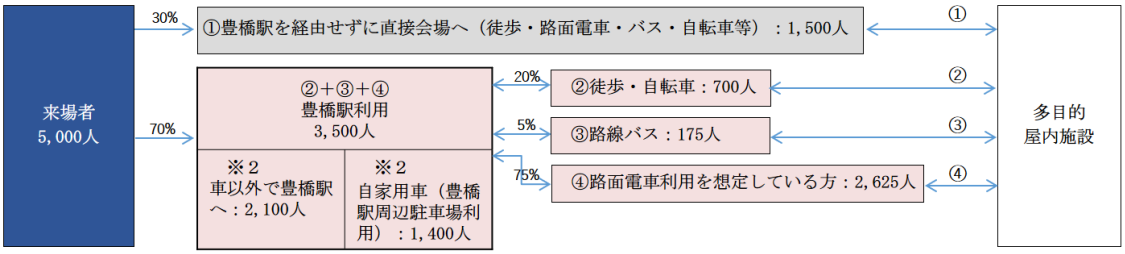
施設はアリーナや弓道場があるスポーツ棟と、多目的ホールや教養文化室（華道・茶道室）があるまちなか棟があり、文化や市民の交流・賑わいづくりができる。

・屋内弓道場

施設の屋上に弓道場が整備され（近的射場は３階、遠的射場は２階）、それぞれに控室、近的射場に隣接して観覧場や更衣室、巻藁室などが整備されている。

近的射場へは１階から直接エレベーターで入ることができる。

参考資料４　交通手段別来場者予測の詳細



		①	②	③	④
経由		豊橋駅を経由せずに直接会場へ	豊橋駅利用		
	人数（計算式）	1,500人 30% ※1 5,000人×30%=1,500人	3,500人 70% ※1 5,000人-1,500人=3,500人		
内訳		—	徒歩・自転車	路線バス	路面電車
	人数	1,500人	700人※3	175人※3	2,625人※3
	（計算式）	—	20% 3,500人×20%＝700人	5% 3,500人×5%＝175人	75% 3,500人×75%＝2,625人

＜条件の整理＞

●現在、施設規模で想定している収容人数5,000人が満員となるイベント開催時の交通手段別来場者予測とする。

●2022年10月12日から10月31日に実施した市民アンケート結果を基に検証
（市民アンケートの前提条件として、豊橋公園内に本施設の興行時の利用者向け専用駐車場を整備しないものとして、交通手段の調査を実施）

※1　市民アンケート結果から、「豊橋駅を経由せず直接会場へ」来場する方が30%程度いるものと想定。

※2　「車以外で豊橋駅へ」と「自家用車（豊橋駅周辺駐車場利用）」の割合は、①の人数を除きアンケート結果から6:4の割合と想定。

※3　豊橋駅利用の②徒歩・自転車、③路線バス、④路面電車を利用する割合は、市民アンケート結果に基づき、②徒歩・自転車20%、③路線バス５%、④路面電車75%とする。

参考資料５　中心市街地の駐車場利用状況調査結果

調査実施日：2022 年 11 月 26 日（土）15 時　天候：曇

本施設への来場者の利用が想定される豊橋駅周辺駐車場の駐車可能台数と実態調査に基づく稼働率より、本施設でイベントが開催される時間帯を想定した空き状況を試算しました。調査結果は、2018 年に実施した前回調査※と比較して、空き駐車台数に大きな変化はありませんでした。



エリア		
A		豊橋駅に近いエリアの駐車場
B		上記 A 以外のエリアの駐車場
C		中心市街地の駐車場（※豊橋駅西地区を除く）

【今回調査結果】

エリア	駐車場数	収容台数	稼働率	空き率	空き駐車台数
A	27 箇所	1,176 台	81.3%	18.7%	220 台(18.2%)
B	70 箇所	2,308 台	57.0%	43.0%	992 台(81.8%)
C	97 箇所	3,484 台	－	－	1,212 台(100.0%)

※参考：前回調査結果（調査実施日：2018 年 11 月 3 日（土）15 時　天候：晴）

エリア	駐車場数	収容台数	稼働率	空き率	空き駐車台数
A	24 箇所	1,142 台	81.3%	18.7%	213 台(16.2%)
B	57 箇所	2,326 台	52.5%	47.5%	1,104 台(83.8%)
C	81 箇所	3,468 台	－	－	1,317 台(100.0%)

参考資料６　パブリックコメント

本計画の策定に際し、計画の趣旨、内容等を公表し、市民等から意見を募集するため、パブリックコメントを実施しました。概要は以下のとおりです。

○意見募集期間　　令和５年６月 12 日（月）から７月 20 日（木）まで（39 日間）

○意見提出者数　　4,685 人（個人：4,679 人、法人その他団体：６団体）

○意見件数　　5,006 件

○意見提出方法内訳

持参	4,297 件
郵送	82 件
電子メール	29 件
ＦＡＸ	166 件
意見提出フォーム	432 件

○ホームページでの公表場所

https://www.city.toyohashi.lg.jp/53598.htm

多目的屋内施設整備基本計画

令和　５年　８月発行
豊橋市文化・スポーツ部　多目的屋内施設整備推進室
〒４４０－８５０１　豊橋市今橋町１番地
電話（０５３２）５１－２８６４

豊橋市指定史跡 吉田城址保存活用計画

令和５年３月

豊橋市教育委員会



対岸から望む吉田城本丸

豊川や三河湾方面を行き交う人々からの眺望を意識した総石垣が、江戸時代とほとんど変わらない姿で残されている。



源頼朝公京都より下向之図　東海道吉田駅豊川之長橋　文久３年（1863）二代歌川広重

江戸幕府将軍・徳川家茂の上洛を描いた浮世絵。将軍家を描くことは禁じられており、その姿を源頼朝に仮託した。

『吉田城・吉田橋・豊川』の景観は地域色豊かな画題として盛んに用いられ、東海道を代表する名所の１つになった。



吉田城復元鳥瞰図　江戸時代前期（元和８年から宝永４年／1622～1707 年）製作：香川元太郎

はじめに

豊橋市は、愛知県東三河地域の中核都市であり、海・山・川に囲まれた豊かな自然とともに、嵩山蛇穴、瓜郷遺跡、馬越長火塚古墳群、普門寺、二川宿本陣、豊橋ハリストス正教会など多くの文化財や史跡に恵まれた歴史豊かな地でもあります。なかでも史跡吉田城址は、本市を代表する文化財です。

豊橋平野を一望する台地上に築かれた吉田城は、東三河地域の政治経済、文化、交通、軍事の中心として栄えた城郭です。こうした重要性から、戦国時代には今川氏や松平（徳川）氏、武田氏等の名だたる戦国大名による争奪戦の舞台にもなりました。また、江戸時代には歴代の譜代大名が藩主になり、現在の豊橋市の礎を築いたことも、本市の歴史を語る上で重要です。

そうした中、本市では吉田城址の重要性を明らかにするための調査や、その成果の公開活用を近年進めてまいりました。展覧会や発掘調査の現地説明会、講演会、シンポジウムのほか、一般向けの分かりやすいガイドブックの刊行や、市内小学生を対象にしたオンライン授業などの取り組みを通して、市民のみなさまの吉田城址への関心と保存・活用への気運が高まったものととらえております。

本市教育委員会は、令和４年３月に吉田城址を市の史跡に指定しました。そして文化財指定に続き、城址を保護し、その価値を広く啓発していくため、令和４年度の１か年をかけて「豊橋市指定史跡 吉田城址保存活用計画」を策定しました。今後はこの計画にもとづき、史跡吉田城址の適切な保存と管理を行いつつ、活用整備を進めていきたいと考えております。

結びに、この計画の策定にあたりご指導やご意見をいただきました策定委員会、市民会議をはじめとする関係各位に厚くお礼を申し上げます。

令和５年３月

豊橋市教育委員会
教育長　山西　正泰

目　　次

第１章　計画策定の目的と経過
第１節　計画策定に至る経緯 ―――― 1
第２節　計画策定の目的 ―――― 2
第３節　計画策定の体制 ―――― 2
第４節　計画策定の経過 ―――― 2
第５節　上位計画及び関連する諸計画 ―――― 2
第６節　計画の実施期間 ―――― 7

第２章　史跡吉田城址の概要
第１節　指定に至る経緯 ―――― 8
第２節　指定の状況 ―――― 10
第３節　立地環境 ―――― 17

第３章　史跡吉田城址の本質的価値
第１節　史跡吉田城址の本質的価値 ―――― 27
第２節　史跡吉田城址を構成する諸要素 ―――― 27
第３節　史跡吉田城址周辺の諸要素 ―――― 28

第４章　史跡吉田城址の現状と課題
第１節　史跡吉田城址周辺の諸要素に関わること ―――― 29
第２節　史跡吉田城址の保存管理に関わること ―――― 30
第３節　史跡吉田城址の活用に関わること ―――― 31
第４節　史跡吉田城址の整備に関わること ―――― 32
第５節　史跡吉田城址の運営・体制に関わること ―――― 32

第５章　保存活用の大綱と基本方針
第１節　大綱（ヴィジョン） ―――― 34
第２節　基本方針 ―――― 35

第６章　保存管理
第１節　方向性 ―――― 36
第２節　方針 ―――― 37

第７章　活用
第１節　方向性 ―――― 46
第２節　方針 ―――― 47

第８章　整備
第１節　方向性 ―――― 51
第２節　方針 ―――― 52

第９章　運営・体制の整備
第１節　方向性 ―――― 59
第２節　方針 ―――― 60

第 10 章　施策の実施計画 ―――― 62

第 11 章　経過観察
第１節　方向性 ―――― 62
第２節　方針 ―――― 62

資料編
資料１　策定組織 ―――― 67
資料２　策定委員会及び各部会の経過 ―――― 68

第１章　計画策定の目的と経過

第１節　計画策定に至る経緯

豊橋市指定史跡 吉田城址（以下、史跡吉田城址）は、戦国時代に築かれた今橋城を基に発展し、東三河の中心として栄えた吉田城の城址である。学術的な関心は古く、昭和46年に郷土史家による発掘調査が行われている（高橋1972※1）。その後、昭和52年以降は開発事業に伴う緊急発掘調査が次々と行われることとなった。城址が豊橋市街地中心部に位置するために開発は続き、昭和から平成にかけて行われた発掘調査の大半が、遺跡の記録保存を目的とするものであった。

そうした中で、大きな転換点となったのが、平成29年度に実施された鉄櫓台西側堀底の発掘調査である。これは城址全体としては第51次に当たり、城址の本質的価値の把握に向けた初めての確認調査となった。この調査により、鉄櫓台の石垣が安土桃山時代としては東海地方屈指の規模を誇るとともに、全国的にも他に例を見ない工法で築かれていることが明らかになった※2。調査成果は、市内外から大きな注目を集め、吉田城が豊臣政権の全国支配における重要な城郭であったことが知られるようになり、関心が高まる大きな原動力ともなった。

また、時期を同じくして、平成29年度には財団法人日本城郭協会による「続日本 100 名城」に選定されるとともに、全国的な城ブームの後押しを受け、城址観光を目的とする来場者が増えていった。このように、吉田城址への注目は、近年着実に高まっている。

そして、市街地にありながら良好な遺構が残る吉田城址は、本市の歴史を象徴する重要遺跡であり、市の文化財として長く保存し活用すべきものとして、本市教育委員会は、令和４年３月30日に市の史跡に指定した。

しかし一方で、明治維新以来、150年以上にわたり文化財としての十分な管理が行われてこなかった遺構にはダメージが蓄積し、令和元年度から令和３年度にかけて本丸の石垣が立て続けに転落・崩落するなど、文化財保護のみならず、来場者の安全管理上でも重要な課題が次々と明らかになっていった。

以上のように、史跡吉田城址は、本市を代表する文化財である。その貴重な価値を市民の共有財産として後世に継承するために、本市では、城址の積極的な保存と整備活用を目指し、その具体的な指針と構想を定める「豊橋市指定史跡 吉田城址保存活用計画」を策定することとなった。

※１　高橋延年・柳史朗 1972『三州吉田城の石垣と刻印』

※２　豊橋市教育委員会 2020「市内遺跡発掘調査－平成29年度－」『豊橋市埋蔵文化財調査報告書』第152集

第２節　計画策定の目的

史跡吉田城址の位置する地域的特性を踏まえ、史跡吉田城址の保存と活用に万全を期すため、保存管理、活用、整備、運営・体制等について検討した。そして史跡吉田城址の価値を後世に確実に継承するとともに、活用を進めるため、新たに保存活用計画を策定する。

第３節　計画策定の体制

この計画の策定に当たり、吉田城址保存活用計画策定委員会を設置し、史跡吉田城址の保存と活用の基本的方針及び構想に関すること、計画書の作成に関することなどについて、資料１の体制で審議・検討を行った。

第４節　計画策定の経過

保存活用計画は、令和４年度に策定を行った。策定委員会及び各部会の開催経過は資料２のとおりである。

なお、幅広く市民からの意見を集約するため、令和３年９月１日（水）から 11 月 15 日（月）にかけて、無作為に抽出した市民 5,000 名を対象に、郵送による事前のアンケートを実施しており、計画策定にはこの結果も参考にしている。

第５節　上位計画及び関連する諸計画

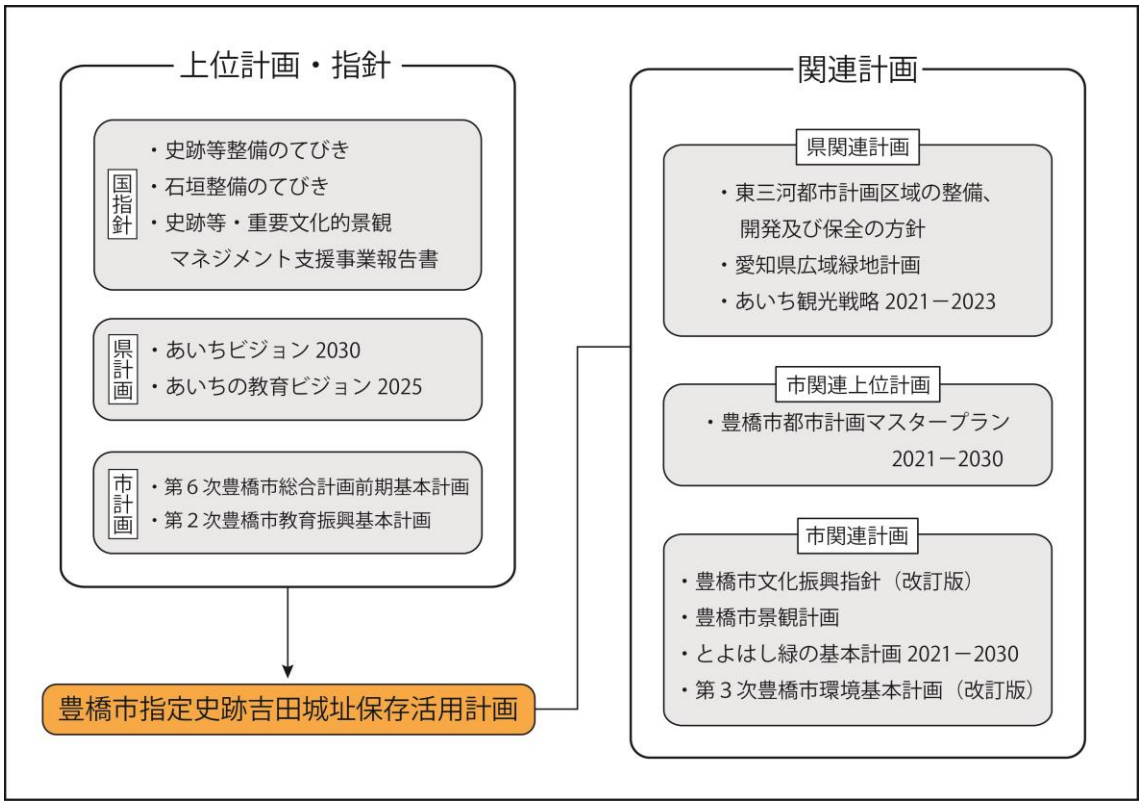


図１　諸計画・指針との関係（イメージ図）

本計画は、文化財保護法の趣旨を踏まえ、下記の文化庁監修のてびきや各種関連計画等との整合を図りながら、景観・伝統文化・文化財の保護とその担い手の育成による歴史の継承、伝統文化・文化財の魅力発信、伝統文化・文化財に親しむ機会の充実などを推進していくこととする。

○文化庁文化財部記念物課監修　指針
・「史跡等整備のてびき」
・「石垣整備のてびき」
・「史跡等・重要文化的景観マネジメント支援事業報告書」
○上位計画
・「あいちビジョン 2030」
・「あいちの教育ビジョン 2025－第四次愛知県教育振興基本計画－」
・「第６次豊橋市総合計画前期基本計画」
・「第２次豊橋市教育振興基本計画」
○関連上位計画
・「東三河都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（東三河都市計画マスタープラン)」
・「愛知県広域緑地計画」
・「あいち観光戦略 2021－2023」
・「豊橋市都市計画マスタープラン」
○関連計画
・「豊橋市文化振興指針（改訂版)」
・「豊橋市景観計画」
・「とよはし緑の基本計画 2021－2030」
・「第３次豊橋市環境基本計画（改訂版)」

●史跡等整備のてびき

平成 17 年度に文化庁文化財部記念物課が監修した『史跡等整備のてびき』においては、史跡を適切に保存し、次世代へと確実に伝達していくためには、史跡の価値を明確にし、それを適切に保存管理するための基本方針、方法、現状変更等の取扱基準を保存管理計画として策定することが必要であると位置づけている。『史跡等整備のてびき』は国指定史跡等を基本として記述されているが、その他都道府県及び市町村指定史跡においても、これに準拠した対応が必要であると明示されている。このことから本計画においても、『史跡等整備のてびき』の基本的な考え方に準拠しつつ、史跡吉田城址の現在的な環境を鑑み、柔軟性を持った整備活用の方向性を定めていく。

●石垣整備のてびき

平成 26 年度に文化庁文化財部記念物課が監修した『石垣整備のてびき』は、石垣を城址や寺院の骨格を成す遺構と位置づけ、整備を適切に進めるための理念や、計画・設計の原則と方向性、管理・修復等に関する方向性を示している。

●史跡等・重要文化的景観マネジメント支援事業報告書

平成 26 年度に文化庁文化財部記念物課が監修した報告書で、全国の史跡等・重要文化的景観のマネジメントの現状を把握し、それらマネジメントの理想的な在り方を導き出し、所有者及び管理団体、地方公共団体等に示し、適切な保存・管理・整備・活用を実現させるとしている。参考資料として、史跡等保存活用計画の標準構成・作成の留意点が添付されている。

●あいちビジョン 2030

愛知県において、重点的に取り組むべき政策の方向性を示す本計画では、東三河地域において、「中京大都市圏「東の拠点」として、全国・世界とつながる魅力的な地域」を形成するため、「吉田城、長篠城などの城郭・城址や、歴史街道である東海道を活用した「お城観光」「街道観光」や、奥三河の伝統文化「花祭」を活かした観光振興など、地域の歴史・文化を活用した観光客の誘致を図る」としている。

●あいちの教育ビジョン 2025－第四次愛知県教育振興基本計画－

愛知県の教育振興基本計画である本計画においては、教育文化活動の基本的な取り組みの柱のひとつとして「ふるさと教育の推進と新たな文化の創造」が位置づけられており、その施策の方向として、「歴史の中で生み出され、育まれ、今日まで守り伝えられてきた伝統・文化や文化財の保存を図り、次代に継承していくとともに、その魅力が県内外に伝わるよう公開・活用を推進していく」ことが求められている。

●東三河都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（東三河都市計画区域マスタープラン）

愛知県が都市計画区域ごとに、一市町村を越えた広域的な見地から都市計画の基本的な方針を定めるもので、主要な都市計画の決定等の方針として、「地域の歴史・景観資源となる特色ある緑を確保するため、御油の松並木や吉田城址、田原城跡などの歴史・文化資源と一体となった緑地の保全や公園などの整備を促進する」としている。

●愛知県広域緑地計画

愛知県の都市計画区域全体の緑化を推進するに当たり、市町村の区域を越えた広域的観点から、県内の緑に対する考え方や目標を定める本計画において、歴史・伝統文化と一体となった緑の例として豊橋公園（吉田城址）が示されている。これら資源や空間を地域の魅力づくりに繋げるよう、歴史・伝統文化と一体となった緑の保全を図っていくとともに、資源や空間の活用を図っていくことが求められている。

●あいち観光戦略 2021－2023

愛知県の観光振興の基本計画である本計画においては、県ならではの魅力のひとつとして歴史（武将・城郭・街道等）をあげ、それらコンテンツの展開例として、歴史的遺産や文化財等の観光資源としての活用の促進や、地域の歴史、産業、自然、文化等をテーマとした県民向けの学習機会の提供等をあげている。特に城郭については、テーマ観光領域を推進するための体制として、愛知のお城観光推進協議会を通じた取り組みを行うとしている。

●第６次豊橋市総合計画前期基本計画

本市のまちづくりの方針として、「私たちがつくる　未来をつくる」を基本理念とし、目指すまちの姿として「未来を担う 人を育むまち・豊橋」の実現に向け、まちづくりを進めていくことを掲げている。

本総合計画における基本計画のうち、分野別計画「互いを尊重し合い、心豊かに暮らせるまち」のひとつとして「美術の振興と歴史文化の継承」を掲げ、取り組みの基本方針として、文化財の保護と次世代への継承のため、「馬越長火塚古墳群や吉田城址、葦毛湿原などの貴重な文化財を次世代に継承するため、それぞれの特性に応じた保存と活用に取り組むほか、さまざまな学習プログラム等を展開し、文化財への市民の意識を高めるとともに、自主的な文化財保護活動を促進していく」としている。

また、豊橋公園を含む都市公園について、市内の緑の環境の課題として樹木の大木化・老木化の進行や、それらの更新の必要性が掲げられるほか、観光分野における地域資源の磨き上げの必要性、多種多様な魅力と連携したプロモーション活動の必要性、さらには、都市計画分野における自然環境や歴史文化などの景観資源を生かしつつ、調和のとれた景観を形成することの必要性などを掲げている。

●第２次豊橋市教育振興基本計画

本市の教育行政の指針となる本計画においては、基本政策である「美術の振興

と歴史文化の継承」の柱の１つとして「文化財を活用し伝える活動の推進」を挙げている。そのための課題として、吉田城についての整備や調査による再評価を行い、新たな魅力を創出する必要性を指摘している。こうした課題を解決し、目標の実現に向けた取り組みとして、整備と活用を推進し、豊橋市の魅力を伝える文化財の価値を高め、教育だけでなくまちづくりや観光にも資することが示されている。

●豊橋市都市計画マスタープラン 2021－2030

本市の都市計画の基本的な方針を示す本計画においては、都市づくりの基本理念「私たちが未来へつなぐ　住みよく活力あるまち豊橋を」の目標実現のための基本方針の１つとして、「自然豊かな美しいまち」を挙げ、その具体的な内容として「地域らしく心地よい景観を次世代に引き継ぐため、地域の成り立ちやさまざまな自然、歴史・文化などの景観資源を大切にするとともに、新しく魅力ある景観を創出し、誇りと愛着を感じる美しい景観を形成する」としている。

●豊橋市文化振興指針（改訂版）

本市の文化振興の指針となる本計画においては、「文化がみえるまち」の実現を理念とし、基本方針のひとつとして「地域にある文化資源の活用」を推進することとしている。その中の基本施策「文化財の保存・活用」として、市民共有の財産である有形・無形文化財を保存し、次世代へ継承していくとともに、デジタルデータ化についても検討していく。また、文化財に関する講演会や講座、体験学習などを開催することで、豊橋への愛着と誇りを育む機会の創出に取り組むこととしている。

●豊橋市景観計画

本市の景観形成の基本的な考え方を示す本計画においては、市内の主な景観資源のひとつとして吉田城址が位置づけられている。同計画において、市街地一帯は「まちの景～市街地地域～」として位置づけられており、地域全体として、歴史文化資源を活かしながら、ユニバーサルデザインに配慮したまちづくりを進め、公園や河川において緑と水に親しめる空間を創出することが方針づけられている。

また、吉田城址の北を流れる豊川や、はるか北東部にそびえる石巻山についても重要な景観資源として位置づけられている。特にこれらを一体的に眺めることができる吉田大橋（国道１号の区間）については、石巻山眺望保全指針において、良好な眺望景観形成における眺望地点に定められている。さらに、豊川対岸は、吉田城址方面を眺める重要な眺望点として景観資源ガイドマップに示され

ている。

●とよはし緑の基本計画 2021－2030

本市の緑地の適切な保全や緑化の総合的な計画である本計画においては、身近な緑の拡充と豊橋の文化継承を実現するため、豊橋市の文化に根差す緑と一帯になった歴史資源の保全と活用の施策を行うとし、「重要な歴史資源である吉田城址の石垣の積み直しや土塁の修復など、遺構の保存と整備を進める」としている。また、豊橋駅を含む中心市街地及び豊橋公園を含むエリアを「緑化重点地区※」に位置づけている。

※　都市緑地法第４条第２項の中で、緑の基本計画の策定項目として定める「緑化地域以外の区域であって重点的に緑化の推進に配慮を加えるべき地区」のこと。ただし、緑化重点地区に設定された土地であっても、直ちに緑化推進に関する規制等が適用されるわけではない。

●第３次豊橋市環境基本計画（改訂版）

本市の環境保全に関する長期的な目標及び施策の方向性を定める本計画においては、環境に関する教育・啓発を推進することを目標に、郷土を大切にする心の醸成を図るとしている。そのために、①地域の文化財や歴史資源を継承し、新たな魅力や価値の創出を図ること、②郷土への誇りや愛着を育てる郷土学習を推進すること、等の取り組みをあげている。

第６節　計画の実施期間

本計画期間は、令和５（2023）年度から令和 12（2030）年度までの８年間とする。

第２章　史跡吉田城址の概要

第１節　指定に至る経緯

吉田城への関心は古く、初代豊橋市長である大口喜六は、昭和 12 年に刊行した著書『國史上より見たる豊橋地方』において、今橋城以来の吉田地域の発展と政治・交通・軍事史について、吉田城の歴史を中心に述べている。また城址の遺構への関心から、昭和 46 年には郷土史家である高橋延年氏・柳史朗氏らによる石垣の発掘調査が実施され、『三州吉田城の石垣と刻印』が刊行された。

学術的な関心の一方で、昭和 52 年に行われた豊橋市美術博物館や市役所の庁舎建設工事を皮切りとして、令和４年度までに開発事業に伴う 50 次以上の発掘調査が行われた。これら調査では、城址の歴史を把握する上で貴重な成果が得られた一方で、多くの遺構は記録保存の後滅失した。そうした中、平成 29 年度からは、城址の本質的価値の把握を目的とした保存のための確認調査に着手した。

また、遺構は損傷が進み、近年では石垣の転落・崩落が続いている。本市ではこれら石垣の解体修復工事に令和３年度から取り組んでおり、これに伴う内部構造の確認や損傷原因の把握を目的にした発掘調査を実施している。

調査研究成果については、豊橋市美術博物館での企画展『吉田城と歴代城主（平成元年度）』『吉田城と城下町（平成 17 年度）』『みかわの城－吉田城と天下人－（平成 30 年度）』『吉田城と三河吉田藩－藩主大河内松平家の歴史と文化－（令和２年度）』、同様に豊橋市文化財センターでの企画展『太平の礎－東三河の城（平成 28 年度）』のほか、シンポジウム『吉田城築城 500 年記念　吉田城シンポジウム（平成 17 年度）』『城の魅力－吉田城と戦国－（平成 29 年度）』『池田輝政の吉田城（令和元年度）』『楽しく学ぶ吉田城（令和４年度）』『石垣を守る・直す・魅せる！（令和４年度）』などで発表している。また、先述の発掘調査においても、現地説明会を開催し情報の発信に努めている。

これらイベントに対する市民の関心は高く、さらに財団法人日本城郭協会による『続日本 100 名城（平成 29 年度）』への選定や、全国的な城ブームによる関心の高まりがあり、本市の事業以外にも各団体によるイベントや講演会が開催されている。代表的なものとして、中世城郭研究会による『第 35 回　全国城郭研究者セミナーシンポジウム　馬出しを考える－定義と分布－（平成 30 年度）』や、豊橋青年会議所による『全国城下町シンポジウム豊橋大会（令和元年度）』がある。

近年の調査研究の進展による文化財としての価値や評価の高まり、さらに市内外からの関心の高まりを受け、本市教育委員会は、令和４年３月 30 日に吉田城址を市の史跡に指定した。

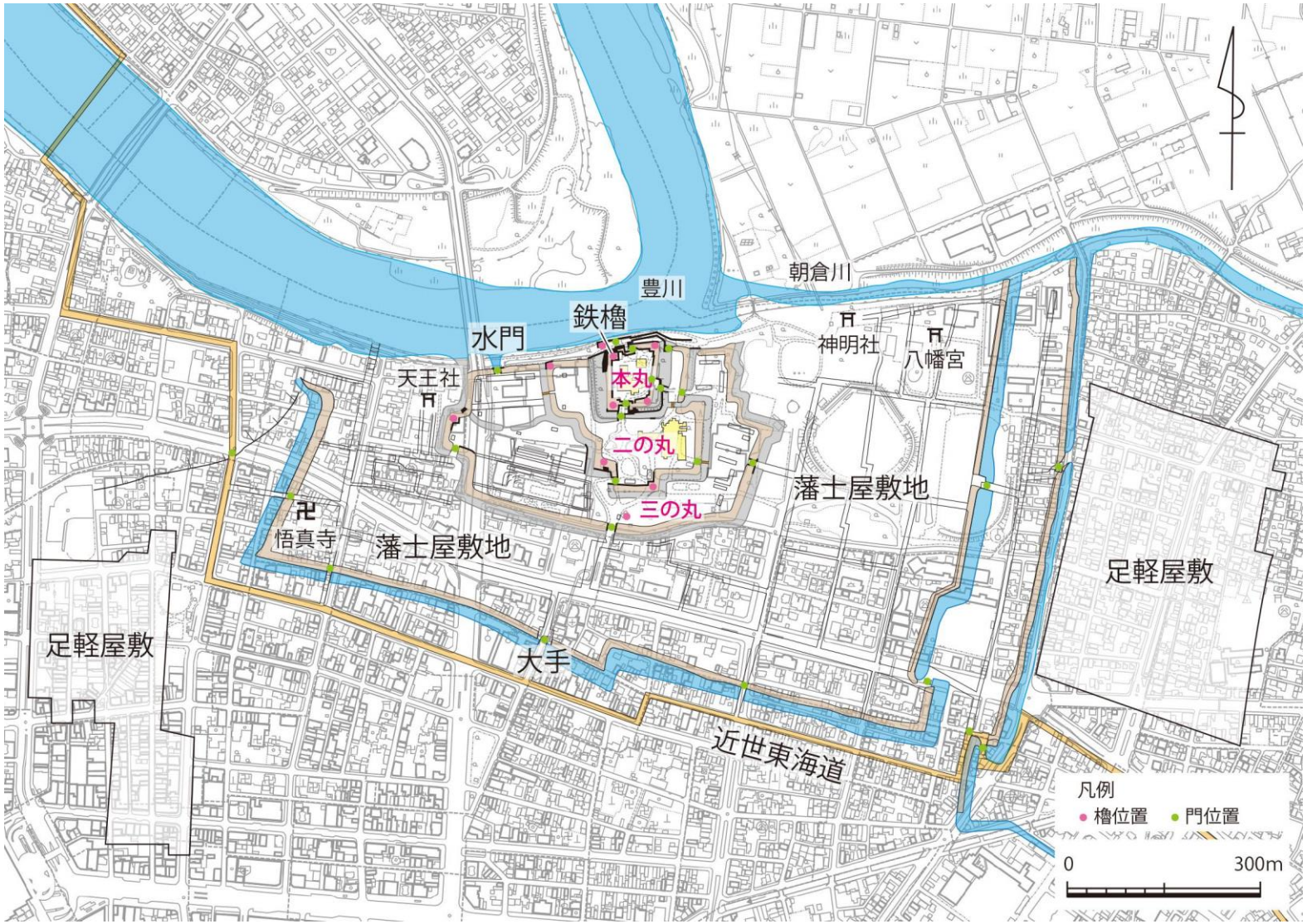


図２　吉田城の範囲と構造

第２節　指定の状況

以下に指定説明とその範囲等を示す。

１　史跡指定根拠

豊橋市文化財保護条例（昭和 31 年豊橋市条例第 23 号）

※該当部分を一部抜粋

第 26 条　委員会は、記念物のうち市にとって重要なものを市長と協議の上豊橋市指定史跡、豊橋市指定名勝又は豊橋市指定天然記念物（以下「市指定史跡名勝天然記念物」と総称する。）に指定することができる。

２　前項の規定による指定には、第４条第２項及び３項の規定を準用し、その旨を公示し、かつ、当該市指定史跡名勝天然記念物の所有者及び権原に基づく占有者に通知してする。

２　史跡指定告示

○指定名称　吉田城址　よしだじょうし

○指定区分　史跡

○員　数　　７３,３７０.９２㎡

○時　期　　戦国時代～江戸時代

○所 有 者　財務省、国土交通省、法務省、豊橋市

○所 在 地　豊橋市今橋町３－１ほか

○指定理由

吉田城は、近世の文献によれば永正２年（1505）に牧野古白（まきのこはく）が築いた今橋城を始まりとするが、実際には明応年間（1492～1501）には牧野氏が今橋を実質的に支配しており、このころすでに今橋城は存在したと考えられる。今橋は、堯孝（ぎょうこう）の『覧富士記』（15 世紀前半）に現れるように、築城前から街道の宿であり、都市的な場として栄えたところであった。その後、牧野氏と渥美半島の田原を拠点とする戸田氏とが争奪戦を繰り返し、駿河・遠江の戦国大名である今川氏の支配を受け、この間に今橋城は吉田城と名前を変えている。

さらに、西三河の松平家康が東三河を制圧すると、重臣の酒井忠次を城主に置き、徳川家康の関東移封後は、池田輝政（在城中は照政）が石高 15 万２千石の城主となり、吉田城を石垣や大規模な土塁、堀を備えた近世城郭として整備した。そして江戸時代には竹谷（たけのや）松平氏、深溝（ふこうず）松平氏、水野氏、小笠原氏、久世氏、牧野氏、本庄松平氏、大河内松平氏などの譜代大名が、石高３万石から８万石で城主を務めた。

現存する遺構は近世吉田城のものであり、基本的な構造は池田輝政による整備の姿と考えられる。ただし、深溝松平氏による本丸御殿の建設と本丸の再整備、

小笠原氏の総堀への通水など、近世にたびたび改修や整備が進められた。また、発掘調査からは戦国時代の遺構が確認され、戦国時代を通じて城域の拡大や整備が進められてきたこと、今橋城や酒井忠次時代の吉田城は想定以上に規模が大きかったことなどが明らかになった。

近世吉田城の構造は、本丸を中心に二の丸と三の丸が取り囲み、さらにその周囲に藩士の屋敷地である武家屋敷地を設け、最も外側を総堀で囲むものである。比較的単純な縄張りと言えるが、近世の城絵図から、内部は建物や塀により複数の枡形（ますがた）や通路の折れを設けるなど、防御の強化を意識した複雑な構造をとっていたことが判明している。城域は、東西 1400m、南北 700m、総面積は約 84 万㎡にも及ぶ壮大な規模の城であった。

吉田城址の遺構は、おもに豊橋公園の西側一帯に良好に残っている。発掘調査や全国的な視点にもとづく再評価により、遺跡の持つ本質的な価値が明らかにされつつある。

本丸は豊川に面した北側一帯を総石垣にしており、急斜面を保護するとともに、豊川や西に位置する吉田大橋からの視覚的な効果が図られている。とくに、北西角の鉄櫓台（くろがねやぐら）石垣は、地元で産出されるチャートや石灰岩を用いた野面積みで、池田輝政が城主の時に築いた、当時としては全国屈指の 12.7mの高さを持つ高石垣であった。また、本丸南多門周辺にも石垣を重厚に築いており、時期はわずかに下るが鉄櫓台に匹敵する高石垣が築かれている。このほか、本丸南・北多門の石垣は、深溝松平氏の本丸整備に際して名古屋城石切丁場から石材の花崗岩を調達しており、名古屋城石垣と共通する刻印が認められることなど、特筆される点は多い。

石垣以外に残存する遺構として堀や土塁がある。本丸の堀は幅 18～20m、深さ約 10mの大規模なもので、二の丸や三の丸の堀も一部残存する。また、市街地にあるにもかかわらず、二の丸や三の丸の土塁が良好に残っており、近世城郭の中では全国的に見ても稀有なものといえる。

このほか、豊橋公園の西にあたる豊川河畔には吉田城と豊川との深い結びつきを示す近世の水門跡が現存する。水門は、豊川から城内へ物資を直接搬入するため、川に面して設けられたものであり、上に米蔵が設けられた埋門で、両袖の石垣が現存している。また、城域の東端には近世の総堀の土塁が 120mほど残されており、後世の削平を最も受けやすい遺構であるにもかかわらず現存している。以上の遺構は、全国的に見ても類例や残存例が少なく、貴重である。

さらに吉田城址は、近代に歩兵第十八聯隊（れんたい）など陸軍の用地に利用された。現在も営門跡や警戒哨舎（けいかいしょうしゃ）、軍人記念碑の神武天皇像など、軍隊時代の遺構が散見され、軍都として栄えた往時をうかがうことができる。近代に吉田城址が陸軍用地となったことで、遺構が再利用され現存するきっかけとなった事実は、吉田城址の

保存の上で無視できない。

吉田城は、戦国時代から近世を通じて東三河地方における政治・経済・軍事の拠点であり続けた。また、吉田城が設けられたこの地は、物流の大動脈であった豊川と中・近世の東海道が交差する交通の要所であり、吉田湊を有する湊町でもあった。吉田城址は、長期間にわたって東三河地方の中心的な役割を担い続けた、本市の歴史を象徴する重要遺跡であり、現存する遺構は価値が高い。そのため、遺構が良好に残る範囲を対象に、市の文化財に指定して長く保存すべきものである。

３　史跡吉田城址指定地の状況

以下に、指定地（図３）の土地所有及び管理の状況について示す。

○財務省東海財務局所有地（管理者：豊橋市）（図４）

本丸・二の丸・三の丸（豊橋公園内）７１,３１６．０３㎡

○豊橋市・国土交通省中部地方整備局所有地（図５）

水門　２７２．５０㎡の一部

○法務省名古屋刑務所所有地（図６）

総堀土塁　１,７８２．３９㎡

４　土地利用の状況

（１）土地利用の概況

史跡吉田城址の指定地のほとんどは、現在の豊橋公園の敷地内にあたる。その他の２か所のうち水門は、今橋遊歩道に面したやや奥まった位置にある。また総堀土塁は、豊橋刑務支所内に位置するが、東側に平行する道路を隔て、民有地との境界をなしている。

（２）史跡指定範囲の明示

図４～６の通り、史跡吉田城址の指定地の区域界に境界杭を設置し史跡指定範囲を明示している。

（３）建築物・工作物

史跡吉田城址の指定地内の建築物としては、豊橋公園内に豊橋市美術博物館、三の丸会館、鉄櫓の文化・観光施設のほか、公園施設としての噴水や池、花壇、照明灯、柵、トイレ、陸軍歩兵第十八聯隊等に由来する記念碑や郷土偉人に関す

るモニュメント、吉田城址や豊橋公園に関する看板類が設置されている。また、水門の南部分は閉塞され、総堀土塁には刑務支所施設である柵が設置されている。

（4）地下埋設物

豊橋公園の敷地内には、電気・上下水等の埋設管が設置されている。

（5）樹木等

豊橋公園内には、数多くの樹木・草が生育している。これら樹木は、財務省東海財務局から貸借しているもののほか、公園樹や実生木（地域の自然植生）も多数認められる。また、史跡吉田城址の指定地内には、本市の選定による「とよはしの巨木・名木 100 選」のうち８件が所在している。これら草木の管理については、本市が年に数回の除草を行っているが、おもに公園としての保全や景観管理等を目的としたものである。また、石垣から生育する草木による視界不良や大木化・老木化した樹木、枝の落下等の課題がある。なお、史跡吉田城址の管理を目的とした取り組みとしては、近年、教育委員会が部分的な除草を行っている。

（6）災害

これまでに史跡吉田城址周辺で災害による大規模な遺構の損壊は発生していないものの、遺構上に生育する樹木や大雨、石垣基底部の工事による土砂掘削に伴う遺構の損傷が生じている。戦後に生じた遺構の損傷として確実なものには、昭和 46 年８月に発生した裏御門北側の石垣崩落がある。また、詳細な時期は不明であるが、本丸内南東部分の石垣も一部が崩落しており、修繕箇所の上面がコンクリートで舗装されている。平成初期には千貫櫓北側の石垣が崩落し、その際に新材として削岩機の痕跡がある石材が多数用いられている。

また、近年の事例として、令和元年６月に発生した裏御門南側石垣の部分崩落や、令和２年６月に発生した本丸内南部分の天端石の転落、令和３年５月に発生した千貫櫓台東面の崩落が挙げられる。土塁や切岸の損傷も目立っており、複数箇所で土砂の流出やそれに伴う礎石転落等が見られる。

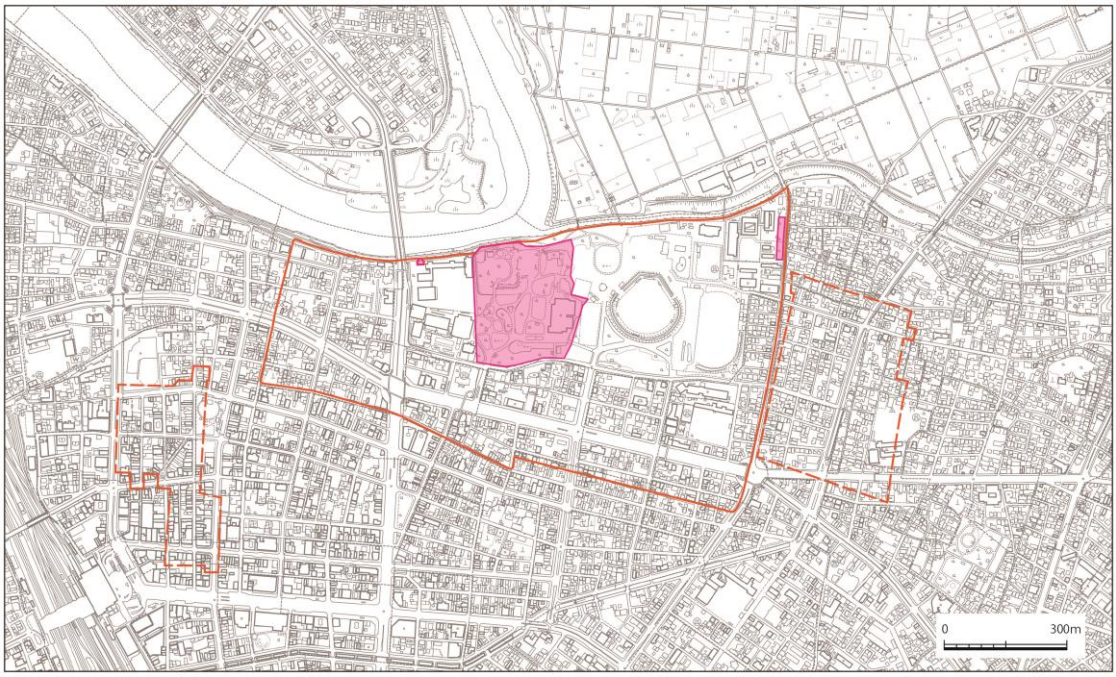


図３　史跡吉田城址指定範囲①（全体）

※朱塗り部分が史跡吉田城址の指定範囲

【参考】橙色線は総堀から内側（周知の埋蔵文化財包蔵地となっている範囲）
橙色破線は足軽屋敷（周知の埋蔵文化財包蔵地となっていない範囲）

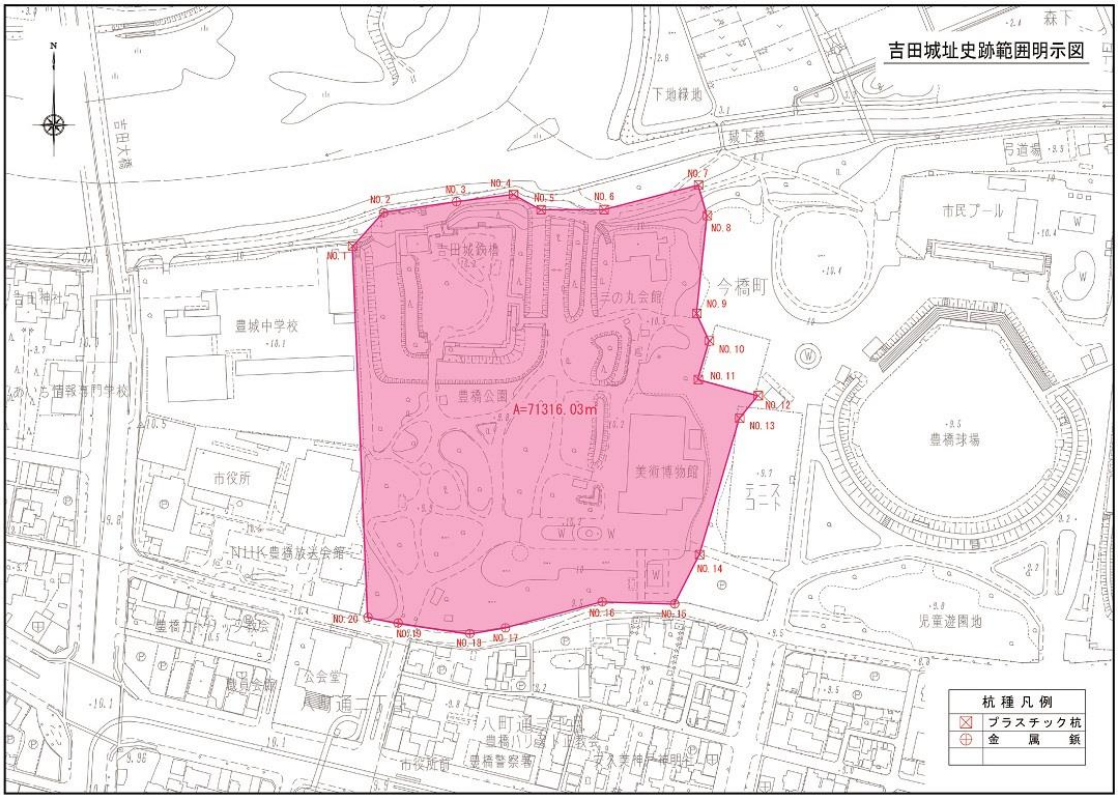


図４　史跡吉田城址指定範囲②（中心部分）

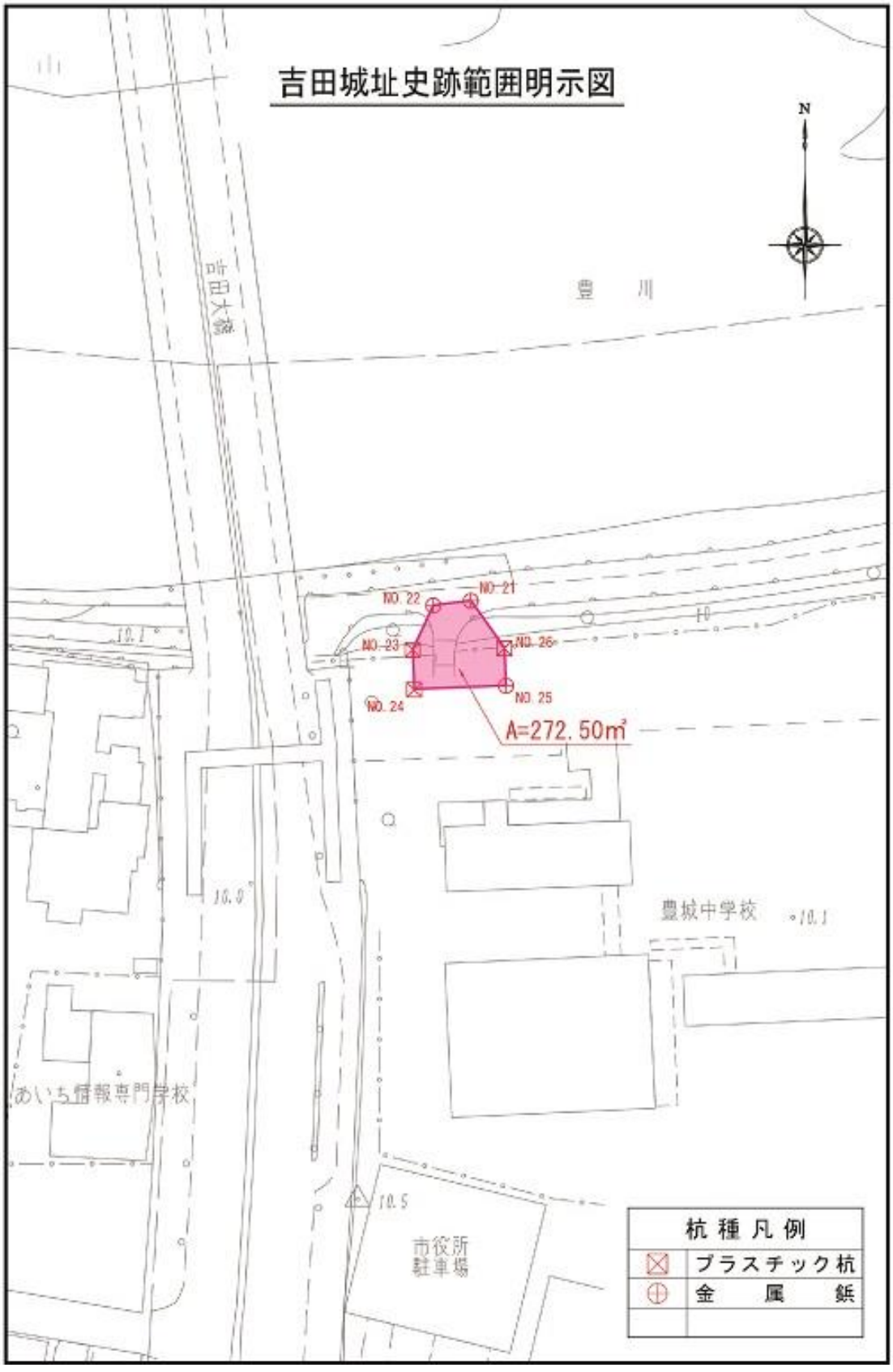


図５　史跡吉田城址指定範囲③（水門）

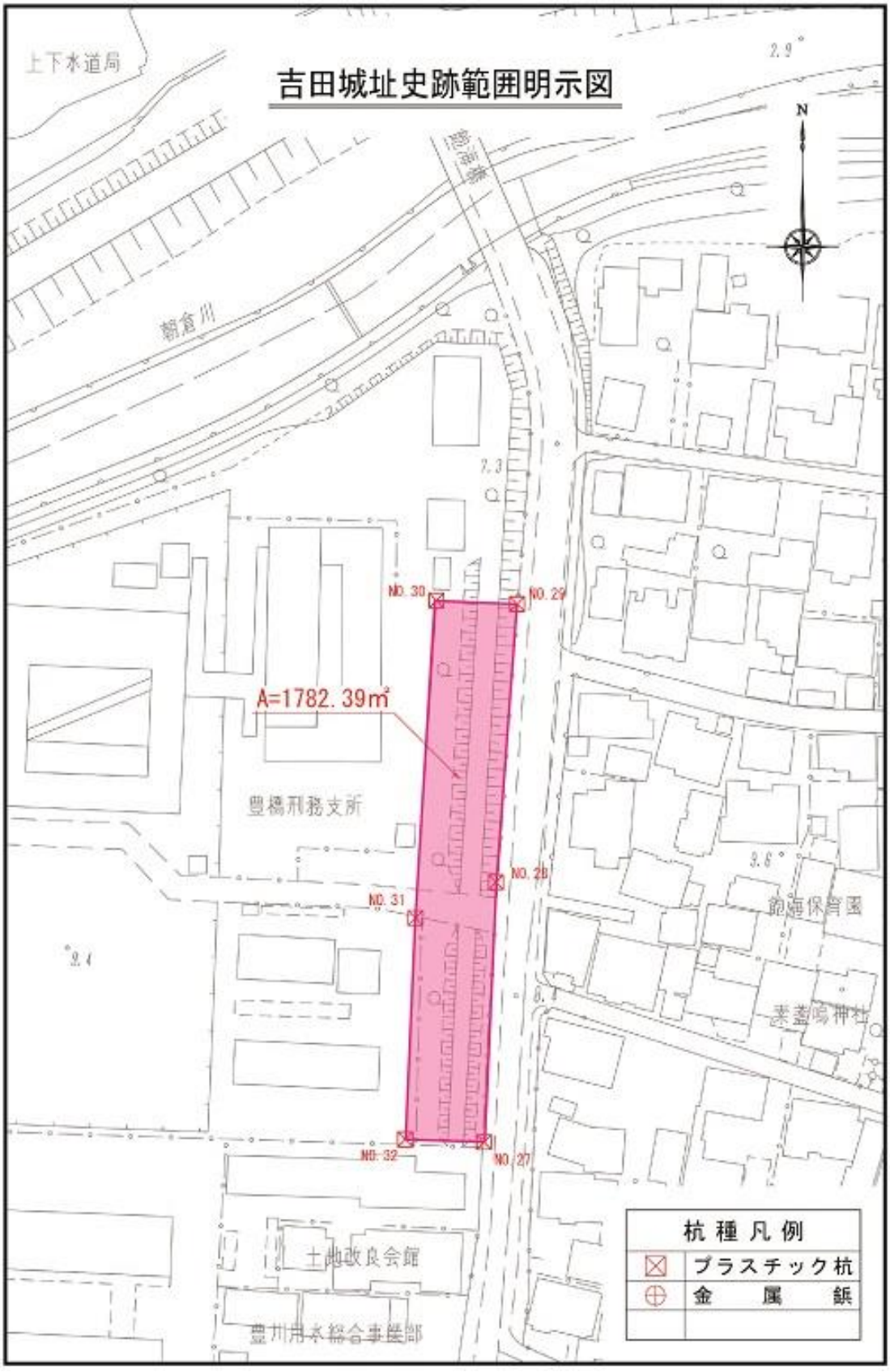


図６　史跡吉田城址指定範囲④（総堀土塁）

第３節　立地環境

１　地理的環境（図７）

豊橋市は、東側が弓張山地、南側が太平洋、西側が三河湾、北側が豊川と独立丘陵の吉祥山塊に限られた地である。東部の山地や北西部の沖積低地を除くと、市域の多くは豊川と旧天竜川によって形成された河岸段丘上にある。この河岸段丘は、高位面（天伯原面、標高 30～60m）、中位面（高師原面～豊橋上位面、標高 15～30m）、低位面（豊橋面、標高４～10m）の３面に分けることができる。吉田城の立地する河岸段丘は低位面に位置するが、総面積約 84 万㎡にも及ぶ広大な城域のうち、本丸を中心とする範囲は周囲より１～２ｍほど高い小山状の地形にあたり、本丸からは南側の城下や東西に延びる東海道、さらには北に展開する沖積低地を広く望むことができた。本丸の背後（北側）は豊川や朝倉川によって浸食された７～８ｍほどの段丘崖で、城の防御に利用された。豊川は水運にも利用され、三河湾を介し、海浜部から山間部へと通じる、奥三河地域とを結ぶ物資流通の大動脈としても機能していた。吉田城址の位置する段丘上は、この三河湾や豊川河口部を望む位置にあたる。

城の防衛面に関わる自然地形との関係として、周囲の地形は東から西方向に向かい緩やかに傾斜しているが、特に東側の前畑町から東田町付近及び、西側の関屋町から湊町付近では勾配が強くなっている。このため総堀の土塁・堀は、城中心部に対して高位となる東側には二重に設けられている。また、こうした地形から、堀は灌漑用水としても利用された。当初は空堀であったものを、承応３年（1654）に本丸から約２㎞南東に位置する向山に池を築き（現在の向山大池・向山町）、総堀を通じて城の西側地域に農業用水を供給している。

このように、吉田城は一見すると平坦な地形に築かれた城郭であるが、実際には周囲の地形を最大限に利用することで、政治・軍事・経済の拠点として整備されたことが分かる。

２　歴史的環境

本市域においては、市北部の山間地域や、豊川によって形成された段丘上、そして海浜部などほぼ全域に遺跡が分布しており、それぞれが地域の歴史を豊かに物語る。ここでは、吉田城が築城された契機や歴史的背景を理解するため、特に吉田城との関わりが深まる奈良時代以降の様相について、市内の遺跡を中心に取り上げておきたい（本文中遺跡名等の後の括弧内番号は、図８と対応する）。

（１）飛鳥時代以前

縄文時代は、詳細は不明ながら吉田城址（１）において樫王式期の土器棺が出

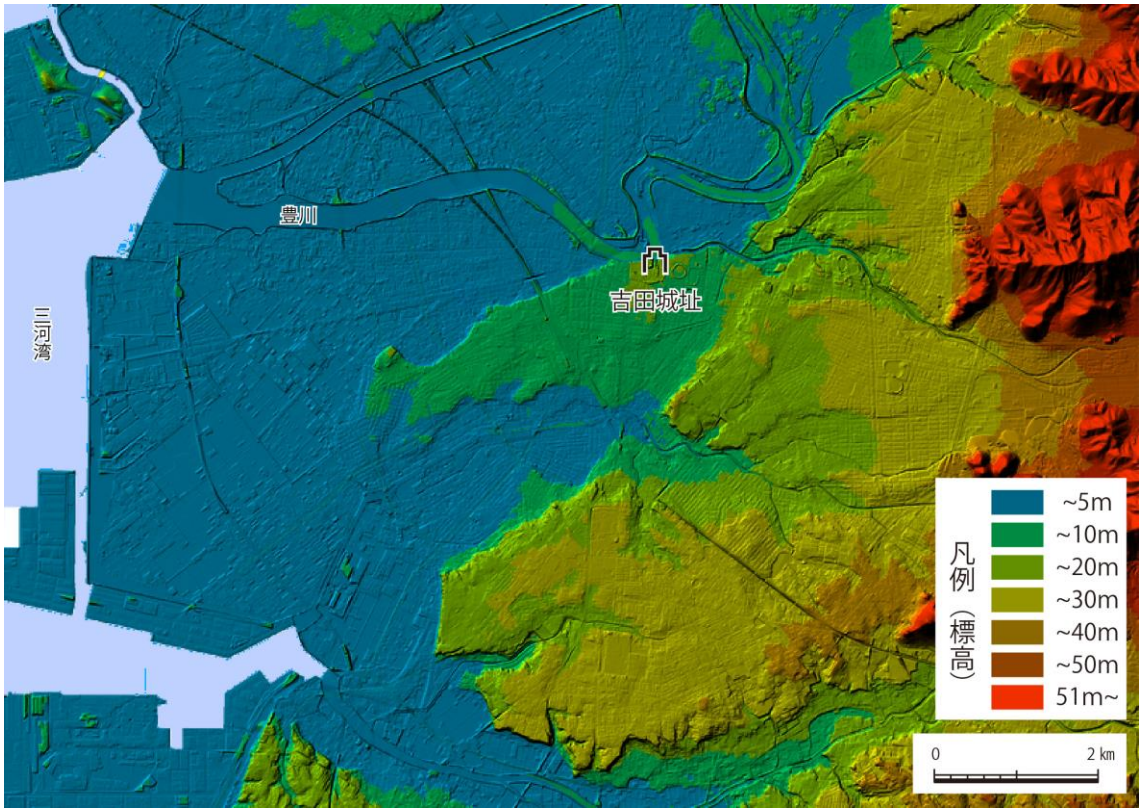


図７　周辺地形図（『地理院地図』を基に加筆して作成）

土しており、付近で何らかの活動が行われていた。弥生時代は、吉田城址と重複する飽海遺跡（２）で遠賀川式期の土器が出土し、付近に集落が展開していたと考えられる。古墳時代には、前期の柳葉形銅鏃や中期から後期初頭の円筒埴輪が出土しており、詳細は不明ながら付近に古墳が築かれていたことは確実である。

（２）奈良時代

８世紀になると、律令制に基づく中央集権国家体制の整備の一環として、地方支配機構が順次整えられていった。三河国では、豊川市域である豊川右岸の音羽川流域の段丘上に三河国府が置かれ、近隣に国分寺と国分尼寺が建立された。国府がこの地に設置された理由は、文献の上から明らかにすることはできないが、河川や陸上交通の結節点という地理的環境を重視され、経済上や軍事上からも東西三河の境界に近いこの場所が選ばれたと考えられる。他方、中央集権国家体制の確立にあたっては、交通制度の整備が重要である。単に官人の往来、税の運搬、公文書の逓送のみに止まらない、政治上や軍事上からも欠かせないインフラの整備が鋭意推進された。吉田城は、総堀に接して近世の東海道が存在するが、古代の東海道もこれに近いルートであったと推定される。

吉田城址に重複する飽海遺跡は、渥美郡衙の有力な推定地であり、郡衙がこの

地に置かれた理由も、こうした社会的環境に深く関わるものと考えられる。飽海遺跡では、7 世紀の須恵器が出土するほか、8 世紀の須恵器や製塩土器が数多く出土する竪穴建物が確認されており、 7 世紀の前身集落に続いて 8 世紀には郡衙が形成されたと考えられる。郡衙関連の遺構として、豊橋球場の北西側で方形掘り方の総柱建物が確認されるなど、豊橋公園の北東部分を中心に郡衙の遺構が展開すると考えられる。

（3）平安時代

平安時代には、本市内でも多くの官衙関連遺跡が確認されるようになる。吉田城址に重複する先述の飽海遺跡では、中心地の調査は一部に限られるものの、高級陶器である緑釉陶器や墨書土器が多数出土するほか、馬頭骨を伴う須恵器・灰釉陶器の一括廃棄遺構が確認されている。なお渥美郡衙が継続して経営される中で、天慶 3 年（940）に朱雀天皇から伊勢神宮に神領が寄進され、飽海神戸と称した。この新神戸は 14 世紀中頃までは確実に存続している。さらに、渥美郡の北に位置する八名郡の有力な郡衙推定地として西砂原遺跡（3）があり、採集遺物の中には皇朝十二銭のひとつである長平大寶や墨書土器があるほか、灰釉陶器にも優品がみられる。また、官衙に関係する重要遺跡に市道遺跡（4）がある。区画整理事業に伴う発掘調査によって全体像が把握され、一辺が 99mの正方形に区画された寺院址の中央に金堂が、その周囲に講堂・僧房群が存在したほか、瓦を生産したロストル式平窯が確認されている。

このほか、三河と遠江の国境である弓張山系には、多数の山寺が出現し盛行する。市東部の普門寺旧境内（5）は元々堂・元堂という 2 つの本堂からなり、墨書土器が多数出土する池や石組み、経塚などが確認されている。普門寺は吉田城ともゆかりが深く、後の戦国時代に兵火により全山消失して以降、今川氏や徳川家康、池田輝政ら代々の領主による保護を受けている。

（4）鎌倉～戦国時代

この時期の遺構は市内の多くの遺跡で検出されており、集落が広く展開する時期である。豊川の渡河地点であった吉田城址付近には室町時代に今橋宿があり、守護所が置かれ、地域の政治の中枢であった。また、戦国時代には東三河の各所に有力国人層が現れ、豊川の牧野氏や田原の戸田氏などが勢力を競い合った。戦国時代の城跡は、市内に 44 か所確認されているが、その中心となったのは牧野氏が築いた今橋城、つまり後の吉田城である。先述した地理的・歴史的重要性からも明らかなように、東三河地域の中心地として数多くの争いの舞台となった。なお今橋城時代の本丸は、現在の本丸東に位置する金柑丸付近であったと伝承されてきたが、発掘調査の結果、そうした状況を示す遺構・遺物は確認さ

れなかった。実際には、江戸時代の吉田城本丸に重複して存在した可能性が高い。

吉田城址の周囲には、戸田氏の居城である二連木城址（６）や、石塚氏の居城である清源寺砦址（７）、松平家康が今川方の吉田城を攻める際に築いたとされる喜見寺砦址（８）などが存在する。また、先述の普門寺が所在する山頂部には、三遠国境の城として船形山城（９）が築かれた。吉田城を中心とする争いは長期間に及んだが、永禄８年（1565）に松平家康が吉田城を攻略して以降は、重臣である酒井忠次を城主とし、酒井氏は 25 年にわたりこの地を拠点にしている。

（５）安土桃山～江戸時代

近世になると、多くの中世城館が廃止される中で、東三河の政治拠点として吉田城が整備された。近世の吉田城は、豊川方面からの眺望を意識した本丸の北側や周辺、または門の周囲が石垣で整備されてはいるが、素掘りの堀や掻き揚げの土塁による土造りを主体とする城で、戦国時代的な様相を色濃く残していた。

安土桃山時代には、豊臣政権の重臣である池田輝政が、関東の徳川家康に対する東海道の押さえとして吉田城に配置され、酒井氏以来の吉田城を大規模に改修している。現在見られる近世城郭としての姿は、こうした歴史的沿革が反映されたものと言えるだろう。その後、江戸幕府成立後に入城した譜代大名の城主たちは、東海道の要として、さらに将軍上洛の宿舎として吉田城の整備を進めた。

なお、吉田藩主と深いかかわりを持つ寺院として臨済寺（10）がある。正保２年（1645）に吉田藩主となった小笠原忠知が豊後杵築から宗玄寺を吉田に移転し、後に名を改めたとされる。忠知・長矩・長祐・長重の４代にわたる墓所が現存しており、吉田藩主の菩提寺としては市内で唯一のものである。

（６）近代

明治維新以降、本市域は大きな変貌を遂げることとなるが、その最たるものが軍都としての展開である。吉田城址も例外ではなく、陸軍の軍備充実 10 か年計画のもとで新聯隊の兵営として整備が進められ、明治 18 年（1885）には歩兵第十八聯隊が入営した。兵営整備の際に城址の石垣や土塁の一部が区画として用いられ、現在まで城址の遺構が残されるきっかけになった。また、明治 41 年（1907）には高師原地区に陸軍第十五師団が設置され、師団関係の施設や関連企業が本市域に集中して設けられた。このように、師団と市民の生活は密接に繋がり、本市は軍都として発展していった。

第十八聯隊は日清戦争を皮切りに各地を転戦し、最終的には昭和 19 年（1944）にグアム島での戦いにおいて、兵士の多くが亡くなった。史跡吉田城址とその周辺にはこうした第十八聯隊に係る施設等の戦争遺跡が遺されるほか、顕彰を目的としたモニュメント類が数多く設置されている。

軍都として飛躍的な近代化を果たした本市であるが、当時の面影を残す遺構は決して多くはない。これは昭和 20 年（1945）６月 20 日の豊橋空襲を原因にしており、市街地の全戸数の 70%が全焼・全壊するなど、甚大な被害を受けている。江戸時代以来の建物も、多くがこの時に失われた。市街地に残る近代の遺構は数少ないが、大正２年（1913）に建てられた国指定重要文化財の豊橋ハリストス正教会聖使徒福音者馬太聖堂（11）や、昭和６年（1931）に建てられた国登録有形文化財の豊橋市公会堂（12）などがある。

（７）現代

市街地の戦後復興は、昭和 20 年 12 月、豊橋駅前を中心とした道路網の建設を本格的な皮切りとして開始された。この復興事業は、新たに道をつくり、公園を設け、商業・工業・住宅地域をはっきりと分けた近代都市づくりとして行われた。歩兵第十八聯隊が置かれていた吉田城址は、市役所や裁判所、学校などの公共施設の用地として整備されたほか、城址の本丸・二の丸・三の丸の一部及び武家屋敷地の一部が豊橋公園として整備された。昭和 29 年には豊橋産業文化大博覧会が開催されたが、現在本丸北西隅に存在する復興鉄櫓は、この際に建てられたパビリオンの１つである。また、昭和 63 年から平成元年にかけて、城址に隣接する豊川の一部を埋め立て、今橋遊歩道が整備された。現在見られる吉田城址の姿は、このような沿革を経て残されたものである。

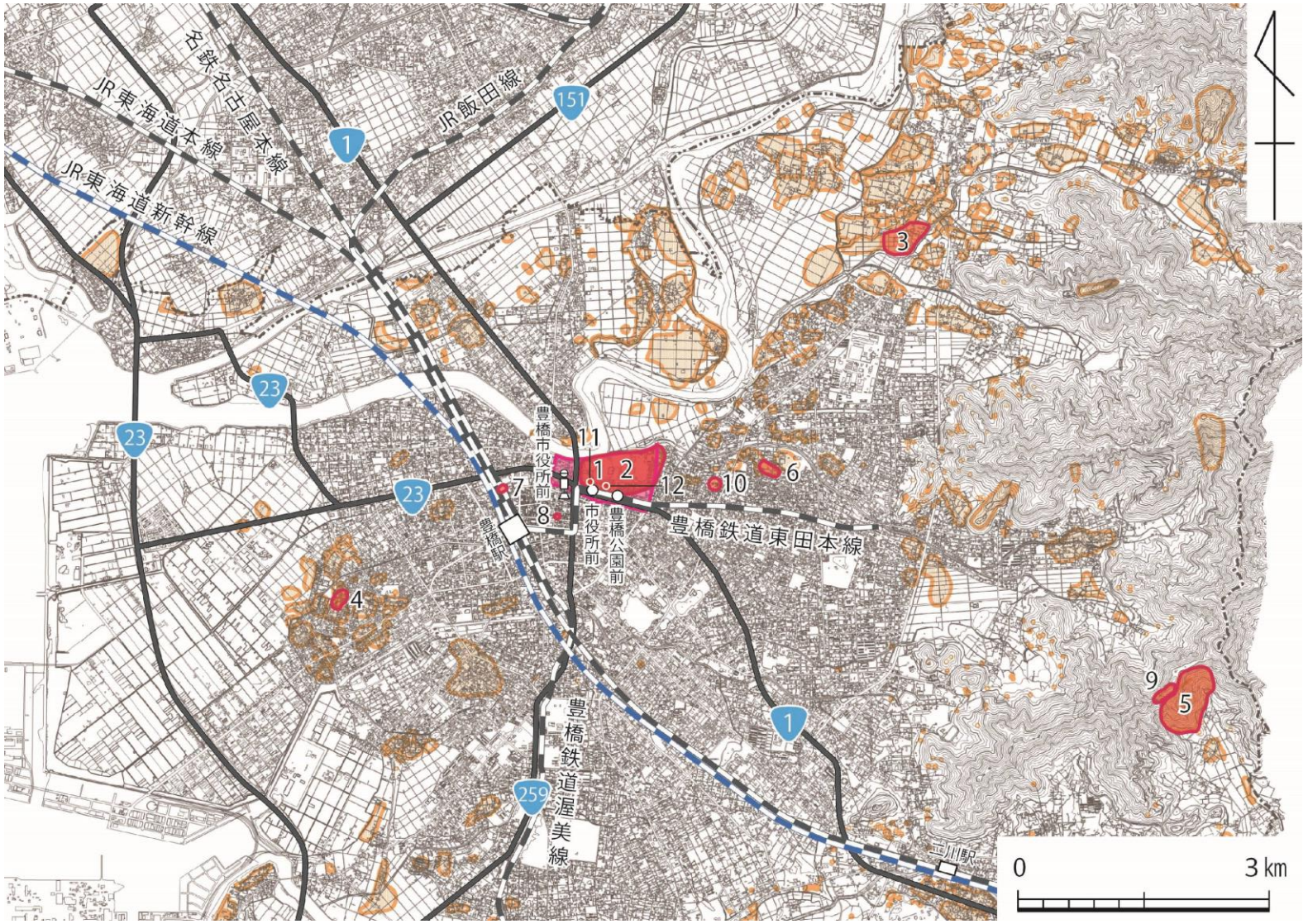


図８　吉田城址周辺の遺跡・文化財の位置（網掛は豊橋市内の周知の埋蔵文化財包蔵地の範囲を示す）

３　社会的環境

（１）人口と社会的圏域

令和４年 12 月現在の本市の人口は 370,923 人、世帯数は 163,751 世帯となっている。史跡吉田城址の指定地はいずれも八町小学校区に該当し、令和４年 10 月現在の校区の人口は 3,407 人、世帯数は 1,545 世帯となっている。また、八町小学校区と隣接する松葉小学校の２校区が豊城中学校区を構成している。

（２）土地利用

史跡吉田城址の所在する本市中心部は、国道１号や路面電車が通るなど交通に優れた地域であるだけでなく、官公庁や小中学校などの公共施設が集まり、周辺は市街地化が進んでいる。また、史跡吉田城址の中心部は豊橋公園として整備されているほか、総堀土塁は豊橋刑務支所の敷地の一部となっている。水門は、今橋遊歩道を通してアクセスすることができるが、この遊歩道は平成元年に豊川の一部を埋め立てて整備されたものである。

（３）文化財

本市の指定文化財等の種類・件数は表１の通りである。国指定史跡は、瓜郷遺跡、嵩山蛇穴、馬越長火塚古墳群の３件があり、国指定天然記念物は、石巻山石灰岩地植物群落、葦毛湿原がある。史跡吉田城址周辺の文化財としては、豊橋ハリストス正教会聖使徒福音者馬太聖堂（国指定重要文化財）、豊橋神明社の鬼祭（国指定重要無形民俗文化財）、豊橋市公会堂（国登録有形文化財）、安久美神戸神明社（国登録有形文化財）、湊築島弁天社（国登録有形文化財）などの国指定・登録文化財を始め、魚町能狂言の面と装束（県指定文化財）、龍拈寺山門（市指定文化財）、紙本著色牧野古白母堂画像（市指定文化財）、吉田神社旧式祭礼図絵馬 附　寄附人名記（市指定文化財）、飽海人形浄瑠璃（市指定文化財）などの県・市指定文化財が数多く残されている。これらの多くは、吉田城を中心として発展した宿場町や湊町に係るもの、あるいは明治時代以降の発展の歴史を物語るものであり、本市でも有数の文化財密集地であると言える。

（４）交通

本市には東三河地域の中心的な駅である豊橋駅が所在し、JR 東海道新幹線・東海道本線・飯田線、名鉄名古屋本線の４路線が乗り入れるほか、隣接する新豊橋駅には豊橋鉄道渥美線が、駅前停留場からは豊橋鉄道東田本線（市内線）が伸びている。このうち史跡吉田城址の至近にあたる豊橋鉄道東田本線の「市役所前」「豊橋公園前」停留場は、駅前停留場から 10 分程度の好立地であり、運行本数も１時間あたり８本前後と充実している。

表１　豊橋市指定・登録文化財一覧表（令和４年３月 30 日現在）

文化財の種類			国指定	国登録（件数）	国登録（棟数）	県指定	市指定	計	計
有形文化財	建造物		2	9	22	1	5	17	30
	美術工芸品	絵画	4			3	19	26	26
		彫刻	5			3	14	22	22
		工芸品	1			2	11	14	14
		書跡・典籍・古文書	3				15	18	18
		考古資料	2			1	2	5	5
		歴史資料					5	5	5
	小計		17	9	22	10	71	107	120
無形文化財	芸能							0	0
	工芸技術							0	0
民俗文化財	有形民俗文化財					1	2	3	3
	無形民俗文化財		1				3	4	4
記念物	史跡		3			2	9	14	14
	名勝							0	0
	天然記念物		2			3	5	10	10
	（内訳）	動物						0	0
		植物	2			2	5	9	9
		地質・鉱物				1		1	1
伝統的建造物群保存地区								0	0
合計			23	9	22	16	90	138	151

バス利用にあたっては、豊鉄バス「豊橋市役所前」を利用することができ、豊橋駅前から１時間あたり２～３本程度が運行されている。

また、周辺は国道１号や国道 23 号を中心とした道路網が整備されており、豊橋公園内には公園利用者のための有料・無料の駐車場が整備されている。高速道路を利用して車でアクセスする場合、東名高速道路豊川インターチェンジから国道 151 号と国道１号を経由して約 10 ㎞の道のりである。

（５）公園・緑地と景観

史跡吉田城址の中心部は現在の豊橋公園と重なり、水門と総堀土塁はそこから徒歩で訪れることができる。

史跡吉田城址の北には東三河地方を縦断する１級河川・豊川が江戸時代とほぼ変わることの無い流路を保ち、さらに遠く北に目を移すと、東三河を代表する本宮山がそびえ立っている。また、北東方向には田園地帯が広がり、本市を代表する山である石巻山を望むことができる。このような自然豊かな史跡吉田城址北側の景観に対し、南側では路面電車や豊橋市公会堂など特徴的な構成要素からなる近代都市としての景観が広がっており、魅力的なコントラストを形成している。さらに、豊橋市役所の展望ロビーからは、史跡吉田城址を含めた市内外を一望できるほか、南西には三河湾を見ることができる。

（６）公共公益施設

史跡吉田城址の指定地内には、豊橋市美術博物館や三の丸会館といった文化・芸術施設が立地するほか、隣接地には豊橋市役所や豊橋球場、豊橋市陸上競技場などの多様な施設が存在している。

（７）観光資源

近年、史跡吉田城址そのものへの来訪者が増えているほか、周辺には安久美神戸神明社や吉田神社など吉田城と関係が深い文化財が多数残されている。さらに、前述の交通利便性の良さもあり、豊橋市二川宿本陣資料館や新居関所史料館（静岡県湖西市）を始めとした、吉田藩や東海道ゆかりの文化財へのアクセスも比較的容易である。また、復興鉄櫓を背景に、本市発祥とされる手筒花火を揚げるイベントは、豊橋観光の目玉として国内外から高い人気を誇っている。

（８）来訪者のための便益施設

史跡吉田城址を見学するための駐車場としては、豊橋公園内の有料・無料の駐車場を利用することができる。また、史跡吉田城址内に公共トイレが３か所設置されている。

史跡吉田城址内の遺構を解説する説明看板や、見学を補助する誘導看板（サイン類）は豊橋公園入口を中心に数か所設置されているが、新旧のデザインが混じり、また動線と連動した配置となっていないなど、来訪者の利便性向上に向けた取り組みが必要である。

（9）社会的環境のまとめ

本市の中心市街地が吉田城を中心に発展してきたという経緯があり、周囲には充実した公共交通機関や多様な文化資源・景観資源が存在し、恵まれた社会基盤が形成されている。一方で、明治時代に地名が「吉田」から「豊橋」に変更された経緯もあり、市民にとっての「吉田城」への認知は必ずしも高いとは言えない。このため、史跡吉田城址の整備活用は十分には行われているとは言いがたく、今後はこれら資源を一体的に繋ぐ取り組みを推進する必要がある。

第３章　史跡吉田城址の本質的価値

第１節　史跡吉田城址の本質的価値

吉田城は、戦国時代から江戸時代にかけての東三河地域の中心的な城郭であり、東三河地域のみならず、愛知県・東海地方の歴史を探る上でも欠かせない城である。さらに、中核市の市街地に所在するにもかかわらず、城址には石垣・土塁・堀などの遺構が良好に遺存するなど、遺跡の規模、遺構、出土遺物等も学術上、価値が高い。加えて現在の本市発展の歴史を語る上で、吉田城がその礎となっていることも重要である。

第２節　史跡吉田城址を構成する諸要素

史跡吉田城址が持つ本質的な価値について明確にするため、現在の史跡指定範囲とその周辺に分類し、それぞれについて、本質的価値を構成する諸要素とそれ以外とに分類し、具体的な内容について表にまとめた。

表２　史跡吉田城址を構成する諸要素

区分		主な具体的要素	
史跡吉田城址を構成する諸要素	本質的価値を構成する諸要素	現況で確認できる曲輪・石垣（石積）、土塁、切岸、堀、礎石、水門、舟入、道（城内通路）等の遺構	
		土地に埋蔵されていると想定される地下遺構	
		周辺の自然地形、水系等と一体的に形成された歴史的景観	
		吉田城の歴史に関連する遺物・古文書・絵図類	
	本質的価値を構成する諸要素に準ずる諸要素	明治維新後の敷地利用を物語る遺構（軍隊関連施設・豊橋産業文化大博覧会関連遺構等）	
	本質的価値を構成する諸要素以外の諸要素	史跡吉田城址の保護に有効な諸要素	史跡吉田城址内に所在する文化施設（復興鉄櫓・豊橋市美術博物館・三の丸会館）
			史跡吉田城址等の保護に有効な史跡標柱、文化財説明板、案内板、注意板等の管理用看板
			軍隊等に関するモニュメント類
			便益施設・管理施設（トイレ・街路灯等）
			歴史的な道以外の道（園路等）
		その他の諸要素	その他の豊橋公園内の設置物（噴水・看板・地下埋設管・柵・池・ベンチ・銅像・花壇・平和の鐘・時計・ポスト、その他史跡吉田城址と関係しない設置物等）
			その他の地形、植生（公園樹）、動物等

第３節　史跡吉田城址周辺の諸要素

吉田城址の広大な城域のうち、史跡指定範囲は一部に留まる。そのため史跡指定範囲周辺にも城址に関連する要素が存在するほか、市街地には城の周辺に広がっていた東海道や宿場町や湊町、さらに、寺社仏閣等に関わる要素が現存している。史跡吉田城址の保存活用にあたってはこれらも有効な要素であり、具体的な内容について、表でまとめた。

表３　史跡吉田城址周辺の諸要素

区分			主な具体的要素
史跡吉田城址の周辺地域の諸要素	本質的価値を構成する諸要素		市街地に現存する土塁等の遺構、堀を踏襲した道路
			市街地の寺社仏閣やそれらに関わる歴史的建造物、石造物等
			城郭及び東海道・宿場町・湊町等に由来する地名・地割
			土地に埋蔵されていると想定される地下遺構
			史跡吉田城址の指定範囲と一体的な自然地形、水系等
	本質的価値を構成する諸要素以外の諸要素	史跡吉田城址の保護に有効な諸要素	市街地の文化財説明板、案内板等
			史跡吉田城址以外の文化財（安久美神戸神明社・鬼祭、豊橋ハリストス正教会聖使徒福音者馬太聖堂等）
			歴史的な道以外の園路、遊歩道、道路、駐車場、路面電車、及び付随する水路等
		その他の諸要素	豊橋公園施設のうち、史跡吉田城址と関わらないもの（遊具・スポーツ施設等）
			一般建築物（豊橋市役所、豊橋刑務支所、豊城中学校等）
			道路とその関連施設
			その他の地形、植生（公園樹）、動物等

第４章　史跡吉田城址の現状と課題

第１章で述べた通り、吉田城址では埋蔵文化財包蔵地あるいは史跡として、これまで長い取り組みが行われてきた。多様な側面からの調査研究を行いつつ、企画展や講演会での成果報告を進め、近年では城址の保存と活用に向けた調査が軌道に乗りつつある。地元においても、地域の愛好団体による自主的な草刈り等の管理の取り組みや、地元の学校による見学会など、学校教育との連携が進められている。しかし、これら取り組みは必ずしも体系的な方向性をもって進められてきたわけではない。そのため、近年では遺構へのダメージの蓄積に代表される保存面の問題や、認知度向上など活用面での課題が顕在化している。

ここでは、前章で整理した諸要素について、その要素毎に、保存管理及び活用、現状と課題について表で整理する。

第１節　史跡吉田城址周辺の諸要素に関わること

表４　史跡吉田城址周辺の諸要素に関わること

内容	現状	課題
土地所有	・指定地はいずれも公有地であり、公園用地、学校用地、河川敷、刑務所用地として利用されている。	・指定地の所有者・管理者が複数に跨っており、適切な情報共有を要する。
土地利用	・指定地の中心部が都市公園として利用されており、今後公園整備に関わる土地の改変が行われる可能性がある。	・現存遺構、埋没遺構に配慮した施設の設計計画。
	・指定地の一部は史跡の中心エリアから離れた場所に存在する。	・史跡範囲内外の景観の調和。
	・鉄櫓や石垣などを目的に、観光客が来訪する。	・史跡整備と公園利用とのバランス。
	・都市公園としての利用以外にも、通勤通学路として日常的に利用される。	※ゾーニングによる配慮。「史跡保存」「公園利用」それぞれの考え方を明確に。
建築物・工作物（看板、道路、水路等）	・デザインが不統一な説明看板や案内看板等が乱立している。	・説明板の内容や設置位置について、サイン計画に基づく更新。
	・園路上の動線で遺構を解説する看板等が不足している。	・景観を損なうモニュメントの移設、デザイン変更。
	・戦争碑や郷土偉人に関するモニュメント、花壇や噴水、記念ポスト等が指定地内に複数存在する。	※樹木の管理については、ゾーニング及び樹木管理計画により分類する。 ※豊橋公園そのものが、緑陰が深すぎるという意見が多く、公園整備と併せた対応等も考慮する。
地下埋設物	・公園内の排水に関わる埋設管や、照明灯に関わる埋設ケーブル、噴水等に関する動力施設が存在する。	・埋設物の更新及び新設、設置位置や取り扱い基準の策定。
	・埋設管の一部は石垣等の基礎部分を損傷し、崩落等の一因となっている。	・既設管が遺構に及ぼしている影響について、部分的な発掘調査による把握。
樹木等	・指定地内に多くの草木が存在し、一部は石垣や土塁等から直接、あるいは隣接して成育することで遺構を毀損する原因となっている。その結果、遺構の保全に支障を生じている。	・遺構上および隣接地の樹木の適切な管理方法と体制の整備。 ・落葉の清掃や草刈り等の日常的な維持管理方法と体制整備。

樹木等	・樹木により地上への光が遮られ、下草が枯れることが土塁の土砂流失の原因の一つと推定される。	※樹木の管理の内容・程度については、ゾーニングに基づく樹木管理計画を策定し対応する。
園路	・主要な範囲である豊橋公園内は、砂利・コンクリート・地面・レンガによる園路が設置されている。	・足元が悪く、車いすやベビーカーでの利用が困難。
	・水門・総堀土塁は、豊橋公園とは今橋遊歩道や一般道で結ばれている。	・史跡吉田城址のみどころや動線が分かり易くなるよう、サイン計画と合わせ整備を検討。
災害	・これまでに指定地周辺で大きな災害は確認されていないが、雨の影響による土塁の流失や、石垣の損傷・崩落への影響が生じている。	・現存遺構の適切な保存方法の検討。
	・台風の際に遺構上の樹木の幹や枝が折れるなどして、遺構や園路上に転落することがある。	・大雨や地震等の自然災害時の対応の検討。
情報発信	・史跡吉田城址に関するイベント等について、集約的に情報を発信する場がない。	・ホームページ等による集約的な情報発信を検討。 ・統一的なデザイン戦略の検討。
財源	・史跡吉田城址の保存と活用に十分な予算措置がなされていない。	・財源の確保。

第２節　史跡吉田城址の保存管理に関わること

表５　史跡吉田城址の保存管理に関わること

内容	現状	課題
石垣	・石垣上、石垣面、石垣裾部から樹木が成育し、遺構を損傷している。	・石垣を損傷する樹木の剪定・伐採。
	・石垣面や上部で草が生育し、遺構の見学を妨げている。	・除草のタイミングや回数、体制。
	・孕み出しや石材の割れ等の損傷が目立ち、一部は崩落等が生じている。	・低コストの除草方法の検討。
	・令和4年8月現在、遺構上の見学を制限している範囲がある。	・計画的な修繕・積み直し。 ・発掘調査による崩落原因の解明と再発防止策の検討。 ・立ち入り制限区域の公開時期や方法の検討。
土塁	・樹木により地上への光が遮られ、下草が成育しにくくなっていることが土砂流失の原因の一つと推定される。これにより塀礎石が転落するなどの問題が生じている。	・土塁を損傷する樹木の剪定・伐採。 ・樹木の剪定・伐採。
	・土塁の周辺には低木が植栽され、遺構が見えなくなっている。	・土砂流失・礎石転落への対応。流失部分の復元。
	・現状把握のための測量図やカルテが作成されていない。	・測量図・カルテの作成。
堀	・近代以降に土砂が堆積、あるいは埋められるなどしており、本来の規模・形態が不明な場所が多い。	・発掘調査による本来の規模・形態の把握。 ・堆積土砂の撤去による復元。
	・現状把握のための測量図やカルテが作成されていない。	・測量図・カルテの作成。
埋没遺構	・城内施設（御殿・堀・井戸等）や、縄文時代から近代にかけて遺構・遺物が埋蔵されている。	・整備計画に基づく顕在化や適切な保存の実施。
法面（切岸等）	・南東部では水道（みずみち）が形成され、土砂が流失している。	・流失した土砂の補填。排水経路・手法の検討。
	・南東隅角部では樹木により下草が枯れ、土塁と同様の理由により土砂流失が生じている。	・法面に生育する樹木の剪定・伐採。
	・西面を中心に、樹木により視界が遮られている。	・測量図・カルテの作成。
	・現状把握のための測量図やカルテが作成されていない。	

景観	・史跡吉田城址を北流する豊川は、水城としての吉田城と一体的な景観を形成している。 ・石垣や土塁のほか、鉄櫓などを樹木や雑草が覆うことで、史跡吉田城址の景観を妨げている。 ・史跡吉田城址周辺の景観資源として、信仰の山である石巻山や、物流の大動脈であった豊川など、地域の歴史に根差した景観が現存している。	・ビュースポットの整備と維持管理。 ・サイン計画の策定による、見学や撮影ポイントへの動線整備。
戦争遺跡	・史跡吉田城址内に、陸軍歩兵第十八聯隊を始めとする様々な軍隊施設が残されている。	・城址の廃城後の敷地利用や、豊橋市の近代化の過程を物語る遺構として、遺構の保存や史跡吉田城址の遺構との共存に配慮した整備計画を進める。

第３節　史跡吉田城址の活用に関わること

表６　史跡吉田城址の活用に関わること

内容	現状	課題
教育	・公教育との連携の体制が図られていない。	・カリキュラムや課外活動との連携。教職員との情報共有。教材の充実。
	・生涯学習の場としての活用の推進が求められている。	・ガイドブックや看板の充実。講座、ワークショップ等の開催。
公開活用	・史跡吉田城址内に、複数の公共施設（美術博物館・鉄櫓・三の丸会館）が所在する。	・各施設の役割分担。
	・史跡吉田城址を豊橋市の歴史の中に位置づける展示がない。	・通史展示に位置づけた吉田城の解説。
	・各施設での展示の位置づけが不明瞭、あるいはマンネリ化している。	・展示内容の更新や工夫の取り組みを図る。
	・現地で遺構の魅力が分かり難い。	・周遊ルートの整備・解説看板の設置やパンフレット等の活用。
	・既存の周辺資源との連携が図られていない。	・史跡吉田城址内外の調査研究による資源の調査と連携方法の検討。
	・情報発信に関わる諸問題。	・【第１節　史跡吉田城址周辺の諸要素に関わること】参照。
	・景観管理に関わる諸問題。	・【第2節　史跡吉田城址の保存管理に関わること】参照。
イベント等	・各地でのイベント参加・誘致等の体制が整備されていない。	・【第5節　史跡吉田城址の運営・体制に関わること】参照。
	・史跡吉田城址と重複する豊橋公園を舞台としたイベントが行われているが、城址の価値向上を目的としたイベントの取り組みは積極的に図られてはいない。	・史跡吉田城址を舞台としたイベント開催等の検討。
	・グッズ製作や販売の体制が整備されていない。	・製作や販売体制の検討。
	・庁内・周辺自治体との連携の体制が整備されていない。	

第４節　史跡吉田城址の整備に関わること

表７　史跡吉田城址の整備に関わること

内容	現状	課題
遺構	・遺構に関わる諸問題。	・【第2節　史跡吉田城址の保存管理に関わること】参照。
景観	・景観に関わる諸問題。	・【第2節　史跡吉田城址の保存管理に関わること】参照。
動線	・史跡吉田城址内の周遊ルートや、史跡内外を結ぶ動線が設定されていない。 ・足元が悪く、ベビーカーや車椅子での移動に支障がある。	・景観や移動に配慮した周遊ルートの設定・整備。
	・史跡吉田城址の周辺道路等に、史跡案内や、史跡をイメージさせる取り組みがない。	・史跡吉田城址のアクセスルートの環境整備。
解説	・解説に関わる諸問題。	・【第1節　史跡吉田城址周辺の諸要素に関わること】参照。
便益施設・管理施設	・史跡吉田城址の指定範囲の区域を明瞭にするための境界杭が設置されている。	・適切な維持管理の措置、史跡吉田城址の景観や利用と調和したあり方の検討。
	・豊橋公園の施設として、史跡吉田城址内には3か所のトイレが設置されている。	
	・豊橋公園の施設として、照明灯や水道、自動販売機等が設置されている。	
	・史跡吉田城址の指定地に隣接して、豊橋公園の有料・無料駐車場が整備されている。	
施設復元	・城郭施設の復元について、様々な意見がある。	・市民ニーズの把握による取り組み方針の検討。

第５節　史跡吉田城址の運営・体制に関わること

表８　史跡吉田城址の運営・体制に関わること

内容	現状	課題
市民協働	・史跡吉田城址に関わるボランティア組織として、豊橋市文化財センターが運営する文化財サポーター制度や、豊橋観光コンベンション協会が運営する観光ボランティアガイド「ほの国豊橋案内人」がある。	・ボランティアの育成・連携や、史跡吉田城址を舞台とした市民活動の推進。 ・市民参加型の活動やイベントの検討。
	・市内には、豊橋市や吉田城の歴史に関心をもつ任意団体が複数存在する。	
運営組織	・外部イベントにおける活動の主体となる組織がない。	・協議会等の体制の検討。
遺構保護	・史跡吉田城址の土地所有者と管理者が異なっている。	・管理者間の情報共有及び、連携の取り組みの推進。
調査研究	・昭和52年度以降に緊急発掘調査が、平成29年度以降に確認調査が開始され、令和5年3月現在、60回以上の発掘調査が行われている。	・発掘調査が行われた面積は城址の3%程度に過ぎず、また大半は緊急開発に伴うもの。史跡吉田城址の整備にあたっては継続的な調査が必要。
	・史跡吉田城址に関係する文献史料や、史跡周辺の石造物等についての調査も進められている。	・史跡吉田城址に関連する総合調査の実施。 ・研究機関との連携。

施設管理	・史跡吉田城址内に所在する3施設の管理部局は、下記の通りになっている。 豊橋市美術博物館：教育部美術博物館 鉄櫓：産業部観光プロモーション課 三の丸会館：文化・スポーツ部「文化のまち」づくり課	・各施設の連携、適切な維持の措置。 ・その他、【第3節　史跡吉田城址の活用に関わること】参照。
広報	・個別のイベントに対し、ポスターやチラシの作成、SNS、HPでの情報発信を行っている。	・史跡吉田城址への認知度やイメージ向上のための広報の取り組みの推進。
現状の変更	・史跡吉田城址内の現状変更の基準について、関係機関への周知を行う必要がある。	・現状変更についての周知。
	・史跡吉田城址を毀損・汚損する行為が発生している。	・個人や研究期間が行う調査の内容・方法についての許認可基準の設定。
財源の確保	・史跡吉田城址の整備のための予算確保の措置が図られていない。	・財源確保の在り方の検討。

第５章　保存活用の大綱と基本方針

第１節　大綱（ヴィジョン）

吉田城は、戦国時代に築かれた今橋城を基に、東三河地域の交通・経済・軍事の拠点として発展し、さらに、安土桃山時代から江戸時代かけては、政治や文化の中心地としての性格を増していった。こうした重要な位置にある史跡吉田城址は、東三河地域のみならず愛知県・東海地方の歴史を探る上でも欠かせない城址と言える。このため本市においては、城址に残る石垣や土塁、堀などの遺構、出土遺物等を適切に保存しつつ、その貴重な価値を市民の共有財産として後世に継承するための取り組みを行う必要がある。また、この取り組みを通して、昨今の世界的な課題である「持続可能な開発目標（SDGs）※」の達成に寄与すべく、豊橋市指定史跡吉田城址保存活用計画を策定する。

地域の重要な歴史遺産である史跡吉田城址を、周辺環境との調和を図りながら適切に保存し、貴重な価値を伝え、地域が一体となり誇りを持って確実に次世代へと継承していくことを目標とし、次のとおり保存・活用の大綱となる将来像を掲げるものとする。

人が集まり・楽しみ・守り伝える

豊かな歴史に出会う吉田城址

※　「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称。2015 年 9 月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟 193 か国が 2016 年から 2030 年の 15 年間で達成するために掲げたもの。17 の目標と 169 のターゲットから構成される。特に本計画に係るものとして、「すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」ことを目指す「４．質の高い教育をみんなに」、「都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靭かつ持続可能にする」ことを目指す「11．住み続けられるまちづくりを」がある。

第２節　基本方針

史跡吉田城址の保存活用の大綱を踏まえ、その基本方針について、以下の３つのねらいと施策の体系を示す。

１　史跡吉田城址の歴史情報発信

史跡吉田城址の持つ歴史的価値については、専門家の高評価に比べて全国的な知名度が高いとは言えず、未解明な部分が少なくない。そのため、吉田城を中心に形成された地域全体の歴史文化に関する調査研究を進め、私たちが生活する「とよはし」の歴史や、戦国時代・江戸時代史における位置づけを糸口にして、史跡吉田城址を幅広く県内外に発信し、その知名度を高めることを目指す。

２　本質的価値の共有

史跡吉田城址は、中核市の市街地という立地にありながら歴史的価値の高い石垣や土塁、堀などの遺構が良好な状態で残されている。より多くの人々が史跡吉田城址を訪れ、貴重な遺構や遺物を気軽に見学し学習できる環境を整えることによって、史跡吉田城址の本質的価値を多くの人と共有することを目指す。

３　人々の営みや景観との共存

史跡吉田城址は、明治維新後の軍隊施設としての利用や、その後の豊橋公園としての利用等を経る中で、今日まで存続してきた。今後とも地域に愛され、支えられる城址として、子どもたちなど次世代に継承していくために、地域の環境や景観と共存し、史跡吉田城址の魅力を高める整備を目指す。

第６章　保存管理

第１節　方向性

１　本質的価値の維持について

・遺構（石垣・土塁・堀・その他）を保存するための適切な整備を行い、表面維持と安全管理のための措置を図る。
・遺構の現状を的確に把握するため、管理台帳（カルテ）や測量図等を作成し、計画的な調査を行いつつ、必要に応じて発掘調査を行い、現状の適切な保存を行う。
・複数の遺構や、史跡吉田城址周辺の自然環境等によって形成される歴史的景観を顕在化させるための措置を図る。

２　本質的価値の共有について

・遺構の保存や景観管理のため、計画的な剪定や伐採等の樹木管理を行う。
・史跡吉田城址の本質的価値を向上させるための調査研究を進める。
・発掘調査によって史跡吉田城址に関連する遺構等が発見された場合は、その状況に応じて保存や復旧を行う。
・出土遺物の適切な保存と管理を行う。

３　人々の営みや景観との共存について

・史跡吉田城址と地域住民との共生を念頭におき、現在の都市公園や隣接する遊歩道、公共施設等の維持と史跡吉田城址の保護とが共存する現状変更の取り扱い基準を明確化させる。
・公園園路など史跡吉田城址の指定地内に存在する施設の維持管理について適切な配慮を行う。
・豊橋公園や美術博物館、三の丸会館など、地域の良好な景観形成に資する施設の保存管理を目指す。

４　史跡吉田城址内の地域区分について

・上記の保存管理の方向性を具体化させるために、ゾーンを設定する。
・ゾーニングは遺構の重要性や現在の公園利用を基に、図９～12 に示す A～D の４ゾーンに大別する。
・遺構の重要性は A＞B・D＞C となる。
・B・C ゾーンに個別に遺存する遺構（石垣・土塁・堀等）については、A ゾーンに準じるものとして扱う。

・史跡吉田城址の範囲のうち、史跡指定地外にあたるものについては、従来通り、足軽屋敷地以外の範囲を周知の埋蔵文化財包蔵地として保護する。また、史跡吉田城址指定地（A～D ゾーン）も、周知の埋蔵文化財包蔵地の範囲に含まれる。

本章では、上記の方向性に沿った保存管理の具体的な手法として次の 11 項目の方針を定める。

①土地利用の管理
②城郭関連建物
③美術博物館、三の丸会館、その他既存の公園施設
④工作物
⑤地下埋設物
⑥樹木管理
⑦景観管理
⑧自然災害や動物被害等による史跡吉田城址の滅失・毀損等への対応
⑨人為的被害による史跡吉田城址の滅失・毀損等への対応
⑩史跡吉田城址の日常的な維持管理
⑪現状変更の取り扱い

第２節　方針

１　土地利用の管理

史跡吉田城址指定地は、既存の法適用と本計画、及び関連する諸計画に基づく土地利用の管理を行う。

A ゾーンは、本丸・金柑丸・水門・二の丸の一部が該当する。高密度に重要遺構が現存することから、遺構の保存や歴史的景観の顕在化を促進させるための措置を積極的に講じる。

B ゾーンは、二の丸の一部が該当する。A ゾーンに次ぐ重要な遺構が地上・地中に現存し、保護を要する。

C ゾーンは、三の丸の一部が該当する。B ゾーンに次ぐ重要な遺構が地上・地中に現存し、既存施設との共存を計りながら、遺構の保護を進める。

D ゾーンは、総堀の土塁の一部が該当する。豊橋刑務支所の利用との調整をはかりながら、遺構の保護を行う。

吉田城址のうち、史跡指定地外にあたる範囲については、従来通り、周知の埋蔵文化財包蔵地として保護を行う。

なお、D ゾーンの一部は都市計画道路の計画地である。計画道路の整備計画は

未定であるが、整備の実施時には D ゾーンの取り扱いや整備計画の内容について、関係機関で改めて協議を行う必要がある。

２　城郭関連建物

現在、本丸北西にある復興鉄櫓の改修・建替えについては、内容・方法について本市教育委員会との協議の上、許容する。また、史跡吉田城址の活用を目的とする新たな復元建物の建設については、真に必要なものが出てきた場合は、内容・方法について本市教育委員会と検討の上、許容する。

３　美術博物館、三の丸会館、その他既存の公園施設

改修･建替えについては､内容･方法については本市教育委員会との協議の上、許可を受ける必要がある。ただし、指定範囲内での別場所への新設は、遺構の重要性と保護の観点から、基本的には困難である。

４　工作物

A・B・D ゾーンは、内容・方法について本市教育委員会との協議の上、許可を受ける必要がある。ただし、現存する遺構の保存を前提とする区域のため、新設は基本的に困難である。

C ゾーンは、現状で複数の建物や工作物が設置されており、地下遺構及び歴史的景観の保全に必要な措置を計ることが望まれる。

５　地下埋設物

A ゾーンは、本市教育委員会の許可を受ける必要がある。ただし史跡吉田城址の維持の措置、あるいは非常災害のために必要な措置を除き、遺構の重要性と保護の観点から設置は基本的に困難である。

B・C・D ゾーンは、本市教育委員会の許可を受ける必要がある。ただし史跡吉田城址の維持の措置、あるいは非常災害のために必要な措置を除き、史跡吉田城址への来訪者や地域住民の日常生活にとって真に必要不可欠な場合が望まれる。また、遺構の重要性と保護の観点から設置は慎重を期し、地下遺構及び歴史的景観の保全に必要な措置を行うことが望まれる。なお当該ゾーンにおいては、現地表面から 0.2～0.5m程度地下に遺構面が存在するため、新規の掘削は原則としてこの範囲に留める規模で行うものとする。これを越える規模の掘削については本市教育委員会と十分な協議を行い、調整を図るものとする。

６　樹木管理

史跡吉田城址の本質的価値を構成する要素の保存、歴史的景観の顕在化、安全

性の確保を行いつつ、全体として良好な景観を保全・形成するため、既存の石垣カルテの内容や専門家の意見により、樹木を適切に管理する。樹木のうち、遺構に影響を及ぼす恐れのあるもの、史跡吉田城址の見学上の障害となるもの、来訪者に危険を及ぼすもの、史跡吉田城址の景観をさえぎるものについては、計画的な剪定・伐採等を行う。また、その根拠として樹木管理計画を作成する。

新たな植栽については、本市教育委員会と協議の上、許可を受ける必要がある。史跡吉田城址全体の整備との整合を図りながら、本質的価値を構成する諸要素への影響が軽微となるように配慮し検討する。

７　景観管理

遺構及び、遺構と一体的な地形や景観等について、樹木管理や除草を通した歴史的景観の顕在化（見える化）及び維持管理の措置を行い、ビュースポットとして活用を図る。

急勾配の法面や転石など、安全対策を図る必要のある場合には、地形の改変を極力避けるとともに、表面の維持や緑化などの工法により、統一的な景観を保全する。

８　自然災害や動物被害等による史跡吉田城址の滅失・毀損等への対応

自然災害などにより史跡吉田城址が被害を受けた場合、臨時的な復旧工事は本市教育委員会及び指定地の管理者の協議により実施する。史跡吉田城址の構造に影響を与える根本的な復旧工事については、その計画について本市教育委員会と管理者との協議により実施する。

９　人為的被害による史跡吉田城址の滅失・毀損等への対応

史跡吉田城址の指定地内においては、石垣へのスプレーやチョークによる落書き等、史跡吉田城址の本質的価値を毀損する問題が発生している。これらの行為に対処するため、説明看板の設置や情報発信に努めるほか、個人や研究機関が史跡吉田城址内で行う調査等の方法に対し、許認可基準を設ける。

＜調査方法の許認可に関する考え方＞

遺構を損傷または汚損する調査手法はこれを認めない。その例を下記に示す。

（例）文化財保護法上の適切な手続きを行わない発掘調査。

チョークやスプレー等を用い、短期又は中長期的に史跡吉田城址の景観を損なう調査。

その他、学術研究の手法として、社会通念上、理解されていない調査手法。

10　史跡吉田城址の日常的な維持管理

本市教育委員会は、日常的・定期的に、史跡吉田城址とその周辺の巡視、点検を行い、適切な保存がなされているかを確認する。石垣や土塁などの遺構に軽微な毀損や衰亡の兆候が見られた場合、管理者と協議の上、小規模な復旧及び小修理による現状復旧を行う。

遺構に生育する草については、遺構の保全と景観管理とのあり方を考慮し、本市教育委員会及び管理者の協議により除草等を行う。

既設の看板や境界杭などの管理施設は、日常的に清掃や軽微な補修等を行い、適切な機能を維持する。

11　現状変更の取り扱い

史跡吉田城址指定地内の現状変更の取り扱い基準は、表９の通りである。また、現状変更の申請には、定められた現状変更の様式を使用する。

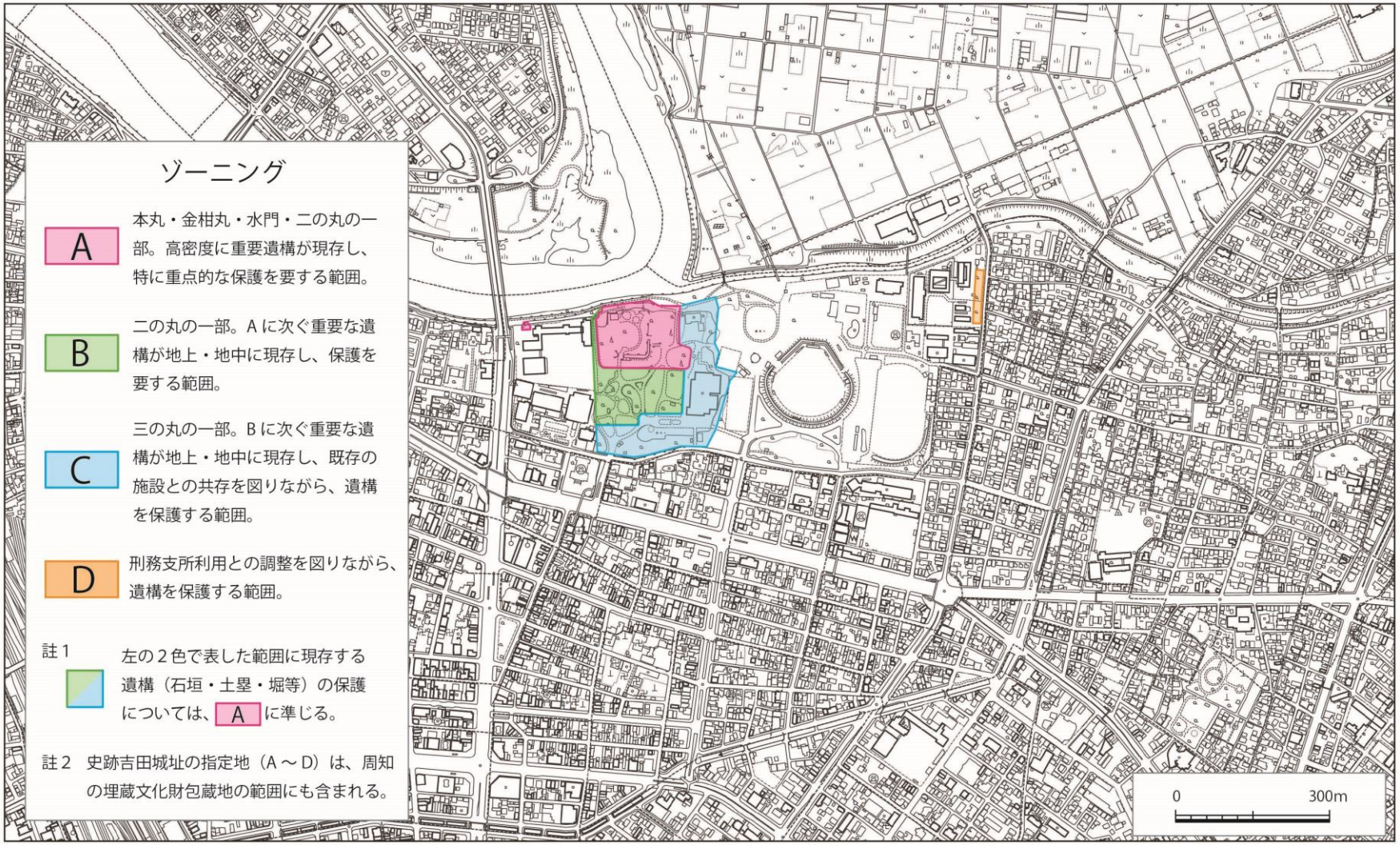


図９　史跡吉田城址のゾーニング①（全体）

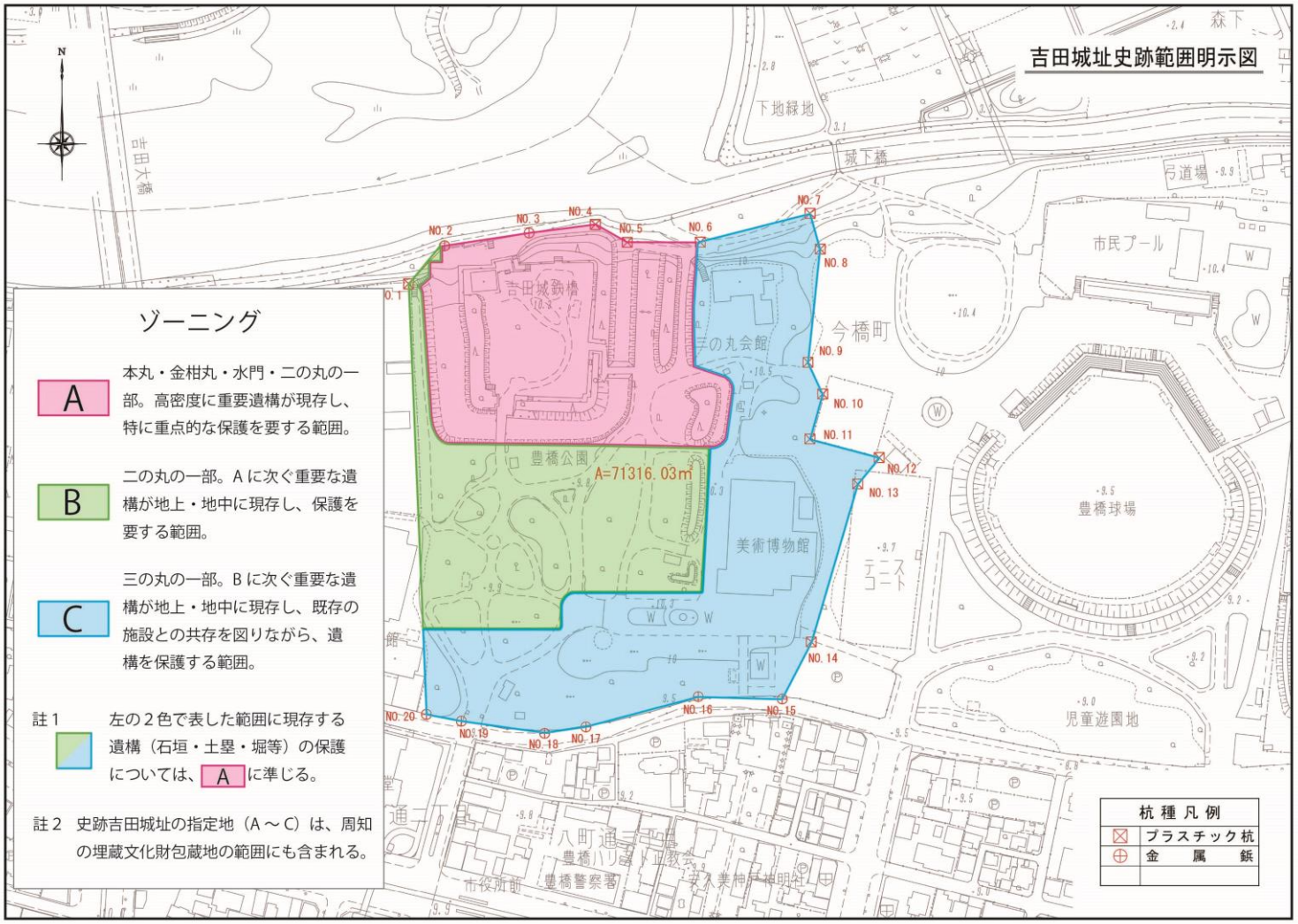


図 10　史跡吉田城址のゾーニング②（中心部分）

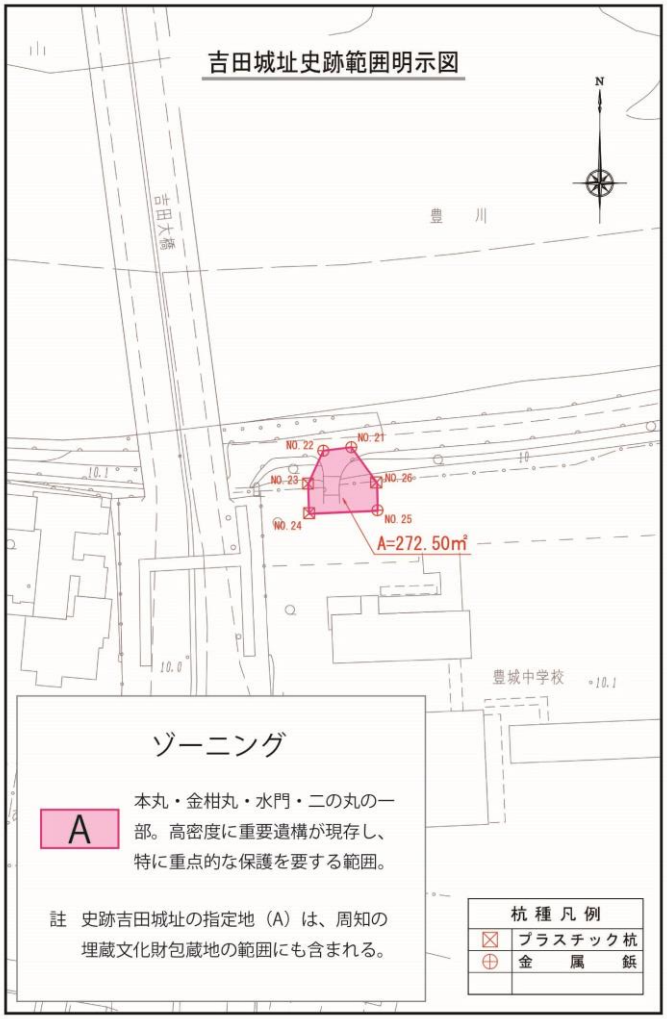


図 11　史跡吉田城址のゾーニング③（水門）

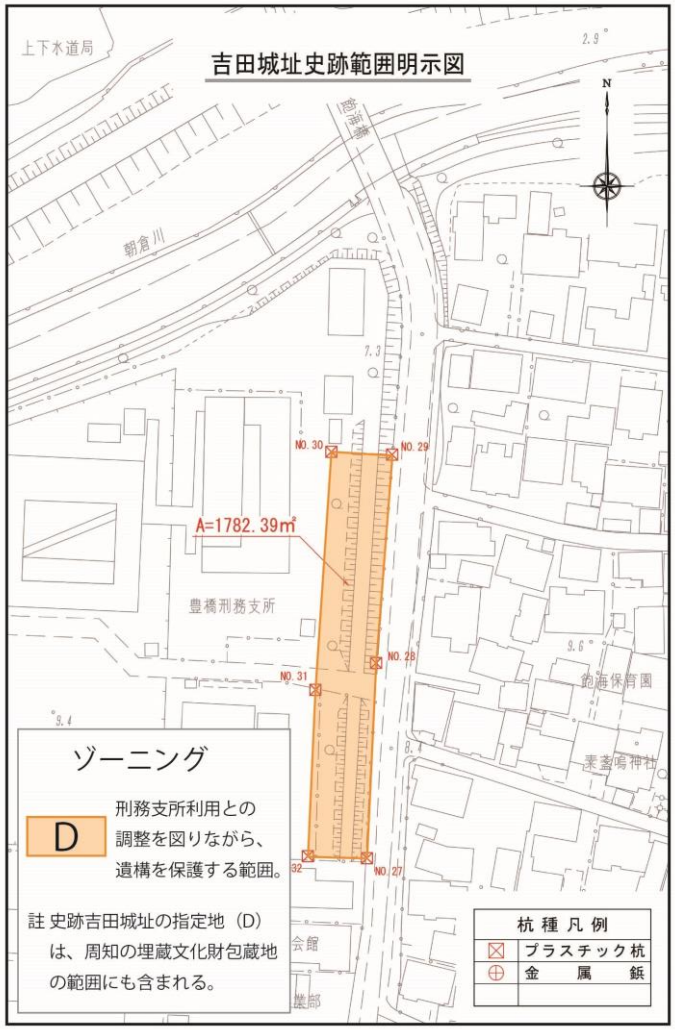


図 12　史跡吉田城址のゾーニング④（総堀土塁）

表９　現状変更の取り扱い基準

項　目			ゾーン	取り扱い基準
大項目	中項目	小項目		
土地の形状	地形の改変		A・B・C・D	土地の掘削、盛土、切土その他、遺構に影響を与える地形の改変は、市教育委員会の許可を受ける必要がある。ただし、遺構の重要性と保護の観点から改変は基本的に困難であり、遺構の重要性はA＞B・D＞Cとなる。
史跡に関すること	整備	史跡整備に伴う発掘調査、工事等	A・B・C・D	市教育委員会の許可を受ける必要がある。ただし史跡の維持の措置を前提とするものであればこれを認める。
	保存	必要な試験材料の採取	A・B・C・D	市教育委員会の許可を受ける必要がある。ただし史跡の維持の措置を前提とするものであればこれを認める。
		保存のための調査	A・B・C・D	土地の発掘及び障害物の除却その他調査のために必要な措置を行う場合は、市教育委員会の許可を受ける必要がある。ただし史跡の維持の措置を前提とするものであればこれを認める。
	管理に必要な施設（史跡標識・説明板・境界標・囲い・その他）	設置	A・B・C・D	地下遺構及び歴史的景観の保全に必要な措置を行う場合は、市教育委員会の許可を受けたうえで認める。
		除却	A・B・C・D	市教育委員会の許可を受ける必要がある。ただし史跡の維持の措置を前提とするものであればこれを認める。
建築物等（史跡と関連のないもの）	新築、増築、改築		A・B・D	市教育委員会の許可を受ける必要がある。ただし現存する遺構の保存を前提とする区域のため、基本的に困難である。
			C	市教育委員会の許可を受ける必要がある。現状で複数の建物や工作物が設置されており、地下遺構及び歴史的景観の保全に必要な措置を計ることが望まれる。
	除却		A・B・C・D	市教育委員会の許可を受ける必要がある。ただし史跡の維持の措置を前提とするものであればこれを認める。
都市公園に関すること	園路	新設	A	市教育委員会の許可を受ける必要がある。ただし史跡の維持の措置を前提とするものであればこれを認める。
			B・C	市教育委員会の許可を受ける必要がある。地下遺構及び歴史的景観の保全に必要な措置を計ることが望まれる。
		舗装、修繕	A・B・C	土地の掘削、盛土、切土その他土地の形状の変更を伴うものは、市教育委員会の許可を受ける必要がある。ただし、遺構の重要性と保護の観点からその保全を前提とすることが望まれ、遺構の重要性はA＞B＞Cとなる。
			A・B・C	土地の掘削、盛土、切土その他地形の改変を伴なわないもので、遺構に影響を与えないものについては基本的に認める。
	立竹木	植栽	A	樹木管理計画に従って行い、市教育委員会の許可を受ける必要がある。史跡の保存活用に資するために必要なもの、もしくは景観形成上、防災上必要なものが望まれる。
			B・C	樹木管理計画に従って行い、市教育委員会の許可を受ける必要がある。

都市公園に関すること	立竹木	植栽	D	市教育委員会の許可を受ける必要がある。真に史跡の保存活用に資するために必要なもの、もしくは景観形成上、防災上必要なものが望まれる。
		維持管理	A・B・C・D	日常的な維持の措置（古倒木・倒木処理・支障枝剪定・草刈・落葉処理など）については、許可を要しない。
		伐根	A・B・C・D	樹木管理計画に従って行い、市教育委員会の許可を受ける必要がある。
	埋設物等 ・地下埋設管 ・その他	設置	A	市教育委員会の許可を受ける必要がある。ただし史跡の維持の措置、あるいは非常災害のために必要な措置を除き、遺構の重要性と保護の観点から設置は基本的に困難である。
			B・C・D	市教育委員会の許可を受ける必要がある。ただし史跡の維持の措置、あるいは非常災害のために必要な措置を除き、史跡来訪者や地域住民の日常生活にとって真に必要不可欠な場合が望まれる。また遺構の重要性と保護の観点から設置は慎重を期し、地下遺構及び歴史的景観の保全に必要な措置を行うことが望まれる。
		改修	A	市教育委員会の許可を受ける必要がある。ただし史跡の維持の措置、あるいは非常災害のために必要な措置を除き、地下に埋蔵する遺構に影響を与えず、かつ、史跡来訪者や地域住民の日常生活にとって真に必要不可欠である場合が望まれる。
			B・C・D	市教育委員会の許可を受ける必要がある。ただし史跡の維持の措置、あるいは非常災害のために必要な措置を除き、遺構の重要性と保護の観点から改修は慎重を期し、地下遺構及び歴史的景観の保全に必要な措置を行うことが望まれる。
		除却	A・B・C・D	市教育委員会の許可を受ける必要がある。ただし史跡の維持の措置を前提とするものであればこれを認める。
災害対応	史跡指定地内の被害	復旧工事	A・B・C・D	非常災害のために必要な応急措置、又は史跡の保存への影響が軽微な工事は、市教育委員会の許可を要しない。
			A・B・C・D	史跡の構造に影響を与える根本的な復旧工事は、市教育委員会の許可を受ける必要はあるが、史跡の維持の措置を前提とするものであればこれを認める。

註　B・Cのゾーン内に現存する土塁や石垣、堀などの遺構及びその隣接区域については、Aゾーンに準じる取り扱いとする。

史跡指定地（A～Dゾーン）は、文化財保護法上の周知の埋蔵文化財包蔵地の範囲にも含まれる。

【根拠】豊橋市文化財保護条例
（現状変更等の制限）
第11条　市指定有形文化財に関しその**現状を変更し、又はその保存に影響を及ぼす行為をしようとするときは、あらかじめ委員会の許可を受けなければならない**。ただし、現状の変更については維持の措置又は非常災害のために必要な応急措置をとる場合、保存に影響を及ぼす行為については影響の軽微である場合は、この限りでない。
第30条　（略）第8条から第12条まで（略）の規定は、市指定史跡名勝天然記念物について準用する。

第７章　活　用

第１節　方向性

１　歴史発信について

吉田城は東三河地域の中心的な城郭であり、現在の本市の発展の礎ともなった貴重な歴史遺産である。しかし、その価値は十分に認識されていない。

そこで、現地に良好に現存する遺構の情報や、史跡吉田城址の魅力ある歴史ストーリーを分かりやすく表現し、吉田城が歴史上、重要な位置づけにあることへの理解を深める情報発信を積極的に行っていく。

２　本質的価値の共有について

史跡吉田城址の本質的価値を積極的に発信するため、遺構・遺物の公開を進める。特に石垣や土塁、堀などの遺構については、環境整備による歴史的景観の顕在化及び安全管理を進め、適切な公開手法を検討する。

３　人々の営みや景観との共存について

史跡吉田城址は、本市の中心市街地に所在する。特に史跡吉田城址の中心部分は現在の豊橋公園の範囲と重なり、多様な土地利用がなされている。史跡吉田城址はこうした環境と共存しながら、学びの交流拠点の創出、多世代交流の場の創出、市民の憩いの場の創出、観光拠点の創出に資する存在となることを目指す。

本章では、上記の方向性に沿った活用の具体的な手法として次の７項目の方針を定める。

①史跡吉田城址と地域の歴史文化に関する調査研究
②史跡吉田城址の計画的な活用
③史跡吉田城址指定地外との一体的な活用
④周辺の資源や施設の活用と広域的ネットワークの構築
⑤効果的な情報発信
⑥活用を促す仕掛けづくり
⑦観光資源としての活用

なお活用は、市民と観光客など対象を区別し、ニーズの違いを踏まえた方向性や方法を検討する必要がある。

第２節　方針

１　史跡吉田城址と地域の歴史文化に関する調査研究

（１）確認調査の実施と調査研究

地上に現存する遺構のほか、地下に埋没する遺構の構造を解明し、史跡吉田城址全体の適切な活用につなげる。

（２）史跡吉田城址周辺の文化財の調査研究

史跡吉田城址指定地外に所在する、吉田城に関係する有形・無形文化財について、吉田城との関係を解明し、価値を明らかにする。

（３）史跡吉田城址周辺の有形・無形文化財の文化財指定

調査研究成果に基づき、県・市指定や指定のランクアップを促進する。

２　史跡吉田城址の計画的な活用

（１）展示施設の活用

史跡吉田城址指定地内でその解説を行う施設として、①復興鉄櫓、②豊橋市美術博物館が所在する。このうち、①は吉田城や城下町に特化した施設であり、現在は豊橋市役所産業部観光プロモーション課が運営している。ガイダンス施設的な性格を有し、施設そのものを「吉田城」と認識する来訪者は多い。

②は豊橋市役所教育部美術博物館が運営する。令和５年度には本市の歴史を通史的に解説する常設展示開設を予定している。

これら展示について適宜見直しを図るとともに、施設を拠点として市職員やボランティアからなるガイドが連携し、季節ごとのイベントや体験プログラム、ワークショップなどの企画と開催を検討する。

（２）ボランティアの育成・活用

豊橋市文化財センターが運営する「豊橋市文化財サポーター」制度では、文化財の保存活用の諸活動に関わる定例会を実施し、史跡吉田城址においては各種イベントのサポート活動を行っている。また観光部門では、一般社団法人 豊橋観光コンベンション協会が運営する、市民ボランティア「ほの国豊橋案内人」によるガイドが行われている。これらボランティアの育成を通し、市民参画の推進や来訪者の満足度向上に向けた取り組みを推進するほか、ボランティア組織間の連携の取り組みを目指す。

（３）史跡吉田城址に関連する遺物や文化財の公開活用

発掘調査で出土した考古遺物や、古文書・美術工芸品等の展示施設での公開活

用を通し、史跡吉田城址に対する学習機会の充実を図るとともに、来訪者の知的欲求を満たす文化観光を推進する。

（４）学校教育との連携

小中学校における社会科、高等学校における歴史総合等の授業の一環に史跡吉田城址での校外学習を取り入れることを働きかけるとともに、学校教育に連動した教材の開発や、「とよはし版 GIGA スクール構想※」との連携、展示プログラムの提案を行う。また、これらの実現と促進のために教職員への研修会を行い、吉田城址の歴史的・地域的な位置づけに対する理解の広がりを目指す。

※　Global and Innovation Gateway for All : すべての児童・生徒が利用できるコンピュータと、高速ネットワーク環境を整える取り組み。本市においては、公立学校の児童・生徒 1 人 1 人にタブレット端末が貸与されている。

（５）生涯学習における活用

幅広い年齢層が史跡吉田城址に親しみ、学習する機会を創出するための取り組みを推進する。このための取り組みとして、パンフレットや案内看板の充実、現地見学会や体験学習会の開催、講演会の開催等があげられる。また、日常の散策の場として活用できる環境整備を検討していく。

（６）シンポジウム・講演会・講座・イベント

史跡吉田城址の価値を広く理解し、継続的に関心を持ってもらうことを目的に開催する。大規模な講演会だけでなく、市民館や集会所など中小規模の施設での講演会なども企画する。また、TV ドラマ・映画・アニメ・ゲーム等の社会的トレンドを反映した発信力のある講演会・イベント等の実施についても検討を進めていく。

（７）幅広い地域との連携

史跡吉田城址と一体的な地理的背景を有する東三河地域の各自治体や、東海道を通じて歴史的な繋がりを有する周辺自治体、また、歴代城主・藩主等に関わる結びつきを持つ全国各地の自治体との連携を図る。

３　史跡吉田城址指定地外との一体的な活用

（１）「吉田城、吉田宿、東海道」の包括的な活用

城下町に残る町名や寺社仏閣、そこに現存する遺構・遺物等の関連資産の情報発信や動線整備を推進する。史跡吉田城址を中心に人流の活性化を図るとともに、地域と密接に関わる歴史ストーリーの発信により郷土愛の醸成を促進する。

（２）「吉田城、豊川」が構成する景観の活用

江戸時代以来の、全国的に著名な景勝の地が現存することを活用し、史跡吉田城址を代表とする景観として整備活用を推進する。

４　周辺の資源や施設の活用と広域的ネットワークの構築

（１）地元企業や住民との連携・交流

史跡吉田城址への来訪者が、地元と交流する機会を創出する。例えば「吉田城の日」の制定によるイベントの開催等を検討する。イベントは城郭を前面に押し出したものだけでなく、イベント開催日を求心力として多様な企画の実現に取り組み、幅広い世代が史跡吉田城址に訪れ、親しむ機会の創出を推進する。

（２）周遊ルートの設定

豊橋公園を中心とする史跡吉田城址指定地の中心部一帯のほか、豊橋刑務支所内に所在する総堀土塁と、豊城中学校北面に隣接する水門からなる２か所の遠隔指定地、また史跡吉田城址の周辺地域への人流を促す取り組みを促進する。その実現のために、サイン計画を策定し、史跡吉田城址全体として調和のとれたデザイン・配置の説明看板や案内看板を設置する。

（３）広域的ネットワークの構築

類似する文化財や歴史文化の特徴を有する周辺自治体と、行政の枠組みを超えた横断的な連携を図り、観光客誘致や城郭サミット等の大規模イベントの開催を検討する。

５　効果的な情報発信

（１）情報発信の拠点

来訪者の多くが見学する復興鉄櫓や美術博物館を中心とした、来訪者と地域交流の場の実現について検討する。また、豊橋市役所じょうほうひろばや、豊橋駅の観光案内所等を通した、市民や観光客への情報発信の強化を検討する。

（２）多様な魅力についての情報発信

史跡吉田城址の社会的な認知度が決して高くないことを理解し、積極的な情報発信を行い、多様な魅力をアピールしていく。歴史イベントの開催やパンフレットの配布等による従来の周知方法のほか、例えばグッズの販売により親近感を高めることや、先にあげた「吉田城の日」の設定等が挙げられる。また近隣市のように、史跡吉田城址の魅力を向上させる取り組みと併せて、公園の名称に城（址）を付す等の方法も、城址への認知を促す上で有効である。

（3）史跡吉田城址の「見ごろ」情報の発信

歴史的景観の顕在化作業等を通し、史跡吉田城址の景観が明瞭になる時期等について、積極的な情報発信を行う。

（4）デザイン戦略

説明看板やデジタルコンテンツ、印刷物等への統一的なデザイン採用を検討し、一見して「吉田城」をイメージさせる広報の在り方を検討する

（5）インターネットの活用

ホームページによる集約的な情報発信の在り方を検討するとともに、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）等による集約的な情報発信を行う。イベント情報の発信を通し、城址そのものに強い関心を持つ層だけでなく、より幅広い層への関心の拡大を図る。

（6）印刷物の活用

駅構内や学校、図書館等、多様な施設で情報を発信するポスター・チラシの製作や活用を進める。イベント案内だけでなく、「吉田城ブランド」を向上させるためのイメージポスター等を通し、幅広い層への周知と関心の拡大を図る。

6　活用を促す仕掛けづくり

（1）アクセス性の向上による活用促進

史跡吉田城址は東三河地域の鉄道網の中心である豊橋駅を通じ、豊橋鉄道東田本線「豊橋公園前」「市役所前」から至近の好立地に位置する。こうした優れた環境を活用するため、案内板の整備等、利便性向上の取り組みを検討する。

（2）周辺施設との連携による活用促進

史跡吉田城址に隣接する豊橋公園の東側エリア（動的ゾーン）で予定されている再整備計画や、豊橋市役所、豊橋市公会堂等の周辺施設と連携し、調和的な動線整備や人流を促す手法についての検討を進める。

7　観光資源としての活用

史跡吉田城址を、本市を代表する観光資源のひとつに位置づけるため、豊橋観光コンベンション協会など観光振興を目的とする団体や、公共交通機関との連携を深め、観光資源としての魅力向上や情報発信を強化する。また、ガイドブックや記念グッズ等の製作、ガイドツアーや各種イベントの開催等を通して、効果的な活用の推進を検討する。

第８章　整　備

第１節　方向性

１　歴史発信について

・史跡吉田城址指定地を核とし、現在の市街地一体に広がっていた広大な吉田城の歴史を発信する交流拠点の形成を目指す。
・史跡吉田城址を通して郷土の歴史を学びつつ、多世代の交流が生まれ、同時に市民の憩いの場となる環境整備を行う。

２　本質的価値の共有について

・多くの人が史跡吉田城址に訪れ、その価値を広く共有・体感できる史跡公園として整備を行う。
・史跡吉田城址の本質的価値を分かりやすくするため、歴史的景観を顕在化させるための整備を行う。
・石垣・土塁・堀等の遺構について、安全に公開するための調査と、修復・復元整備を行う。
・石垣の崩落や土塁の土砂流出、堀の埋没などを防ぐため、遺構保存の整備を行う。
・本来の広大な城域や東海道・吉田宿を活用するため、市街地にも歴史を感じさせる取り組みを進める。

３　人々の営みや景観との共存について

史跡吉田城址の中心部は現在の豊橋公園の範囲と重なり、多様な利用がなされている。このため史跡吉田城址と公園の整備は不可分の関係にあり、調和を図った整備を行う。

また整備にあたっては、史跡吉田城址として全体に調和のとれた景観となるよう、看板等の形態や色彩に配慮する。

本章では、上記の方向性に沿った具体的な整備の手法として、次の３項目について方針を定める。

①保存と展示公開のための整備
②活用のための周辺整備
③整備の実施期間と手法について

第２節　方針

１　保存と展示公開のための整備

（１）遺構保存のための整備（図 14）

ア．遺構全般について

・遺構の保存と来場者の安全確保のため、測量図や健全度調査に基づき、必要な調査と修復工事を行う。
・遺構に影響を及ぼす樹木について、ゾーニングに基づく樹木管理計画を策定し、剪定・伐採を進める。
・定期的な見回り等のモニタリングを行い、遺構の状況を正しく把握する取り組みを進める。

イ．石垣

・現在閉鎖されている石垣上への動線について、安全性に配慮した解放の在り方を検討する。
・石垣内部に浸入する雨水の予防措置を進める。

ウ．土塁

・土砂が流出する部分については復元的な盛土を行い、本来の形状に復する。
・土塁表面は現環境に自生する植物が被覆するように管理するなど、土砂流出の防止を進める。

エ．堀・切岸

・石垣や土塁と一体的に形成される法面（切岸）という性質上、石垣・土塁と調和的な整備を行う。
・堀底に投棄されたゴミの清掃を行う。

（２）歴史的景観の顕在化のための整備（図 15・16）

史跡吉田城址内外から見た景観について、ビュースポットの設定を行い、現存遺構により形成される歴史的景観の顕在化を行う。なおビュースポットの設定については、下記の４点を考慮する。

①石垣・土塁・堀・切岸等の遺構群が連動した城郭構造
②史跡吉田城址を代表する重要な遺構
③古写真や浮世絵に残された景観の活用
④豊川対岸や吉田大橋からの景観

・ゾーニングに基づく樹木管理計画を策定し、史跡吉田城址の歴史的景観をさえぎる樹木の剪定・伐採を進める。
・遺構等に繁茂する雑草等の定期的な除草を行う。また、効率的な除草の方法に

ついて検討を進める。
・損傷、滅失、埋没した遺構の復元について、検討を進める。そのための方法として、部分的な発掘調査（確認調査）を実施する。
・石巻山や豊川の良好な眺望は、史跡吉田城址の背景として関わりの深いものである。これらの景観について、史跡吉田城址内からの眺望についても配慮する。
・史跡吉田城址内には明治時代以降の軍隊関連施設や戦後復興関係の施設が現存しており、本市の近代化を物語る遺構として一体的な整備を行う。
・整備に際し、史跡吉田城址の歴史的景観に影響を与えるモニュメント等構築物について、移設のほか、設置者が不明もしくは存在しないものは撤去を検討する。



図 13　古写真や浮世絵に残された吉田城の歴史的景観

左　吉田城古写真（明治初期撮影）個人蔵

右　東海道五十三次之内　吉田（行書版）　歌川広重　天保年間後期　二川宿本陣資料館蔵

２　活用のための周辺整備

（１）史跡吉田城址および史跡周辺の周遊のための整備

・来場者に魅力が伝わる周遊ルートの設定を進める。
・史跡吉田城址指定地外の吉田城址の範囲や、東海道・吉田宿等、吉田城と密接な繋がりを有する市街地の各地域において、史跡吉田城址と連動した看板設置等の取り組みを進める。
・史跡吉田城址内の周遊ルートは、ビュースポットを結ぶ形で設定し、車椅子やベビーカーでも利用できるよう、機能性、景観、および遺構保存に配慮した素材で整備する。
・繁茂した樹木や、枝の落下による事故等への懸念を解決するため、樹木管理計画に基づく剪定・伐採を行う。

（２）史跡吉田城址内外の看板整備

・史跡吉田城址の魅力を引き出し、かつ利便性に優れた統一的な説明看板・案内看板となるよう、サイン計画を策定し、これに基づく整備を行う。
・説明看板は、市内外の大人・子供のほか、海外ルーツの在住者、海外からの観光客に配慮した構成を検討する。
・説明看板による解説のほか、スマートフォンやタブレット端末を活用した案内動画等、より重層的な解説について検討する。

（３）周辺の管理施設・便益施設の整備

・史跡吉田城址指定範囲の区域を明瞭にするために、史跡標柱（看板等を含む）と境界杭を設置する。
・便益施設は、既存の施設を活用し、必要に応じて新たな設置や整備を検討する。

（４）史跡吉田城址の整備にあたる配慮

・第１章であげた、諸計画と調和した史跡整備を行う。
・バリアフリーに配慮した整備を可能な範囲で実施する。
・防犯に配慮した管理手法の検討を継続的に進める。

（５）城郭施設の復元に対する考え方

・史跡吉田城址の整備においては、現存する遺構の保護と、それらによって構成される優れた歴史的景観の顕在化を最も重要なものと位置づける。現地での城郭施設の復元は、これら一連の取り組みを進めた上で、真に必要と考えられるものがある場合は、検討する。
・一方で、AR・VR を活用したデジタルコンテンツによる復元や、史跡吉田城址の全体像を復元した精度の高い全体模型の製作など、現存遺構と併せた複合的な魅力の実現に向け、検討する。
・これらの整備にあたっては、発掘調査成果、古文書、古絵図等の資料について検証を進め、復元する内容（時代性・位置・構造・意匠等）について、十分な検討を行う。

（６）史跡吉田城址整備基本計画の策定

上記の取り組みの実現に向け、整備基本計画を策定する。

３　整備の実施期間と手法について

（１）優先的に実施すべき施策

令和７（2025）年度までに実施（計画策定等を含む）を目指すもの

・現状の測量
・安全管理に係るもの
・遺構保護や修復に係るもの
・歴史的景観の顕在化に係るもの
・「整備基本計画」「樹木管理計画」「サイン計画」の策定

（２）中期的に実施すべき施策

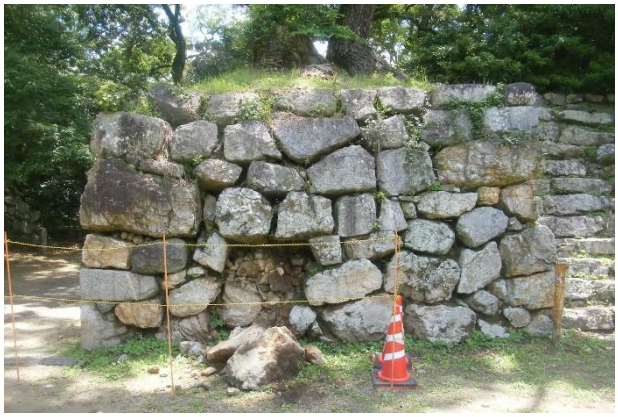
令和 12（2030）年度までに実施（計画策定等を含む）を目指すもの
・調査研究による史跡吉田城址の価値把握と向上
・整備工事に係る設計の作成
・便益施設の充実
・動線の整備

（３）長期的に実施すべき施策

長期的に実施（計画策定等を含む）を目指すもの
・城郭施設の復元
・ガイダンス施設の拡充



千貫櫓台石垣の崩落（令和３年度）



裏門石垣の部分崩落（令和元年度）



孕み出しを大型土嚢で押さえる石垣（本丸北）



樹木の成長による石垣の損傷（本丸西）



石垣面に生育する樹木（南多門堀石垣）



水道が形成され土砂流出が進む切岸（本丸南東）



土砂が流出し樹根がむき出しになった土塁（二の丸）



土砂流出によって塀礎石が転落した土塁（二の丸）

図 14　近年の代表的な遺構の損傷と、遺構保存のための整備を行う候補地の例



工事区域の石垣上に雑草が繁茂した状況（本丸東）



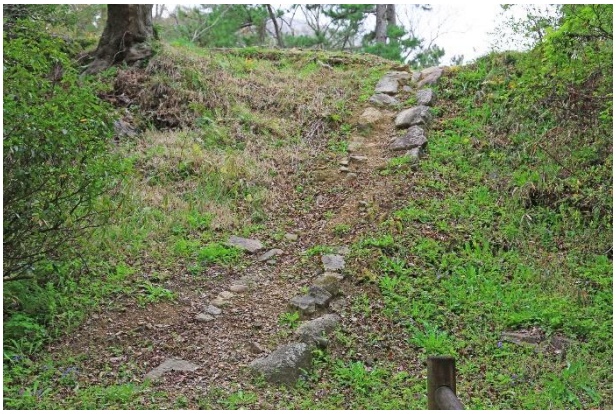
二の丸から望む池田輝政期の高石垣・空堀・復興鉄櫓



辰巳櫓跡から見下ろす裏門土橋・内堀



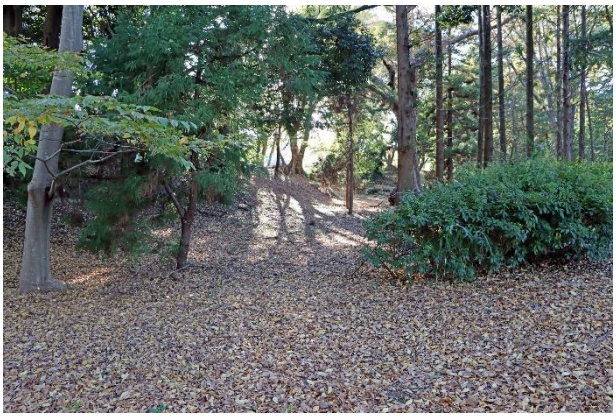
内堀・腰巻石垣・切岸・土橋が連動する景観



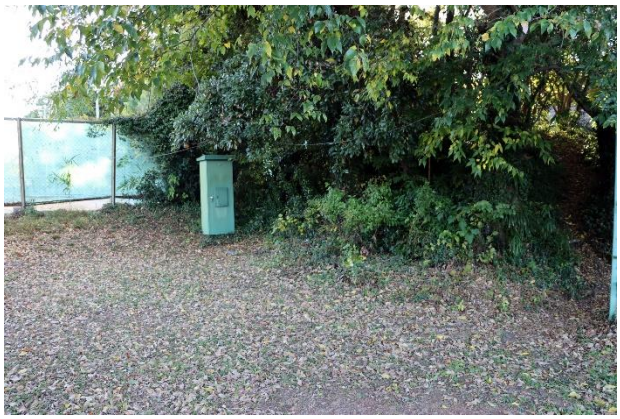
全国的にも貴重な登り塀の礎石列※（本丸東）



埋没が進む空堀（二の丸・三の丸間）



三の丸と武家屋敷地を隔てる長大な土塁



横矢掛けのための屈曲構造が残る土塁（三の丸）

図 15　歴史的景観の顕在化のための整備を行う候補地の例 1　※印以外は令和 4 年 10・11 月撮影



吉田大橋や豊川対岸から望む本丸の景観※



本丸広場に復興された鉄櫓



大手側から見た本丸の景観※



北多門の内桝形虎口と復興鉄櫓



裏門の外桝形虎口と復興鉄櫓

図 16　歴史的景観の顕在化のための整備を行う候補地の例２　※印以外は令和４年 10・11 月撮影

第９章　運営・体制の整備

第１節　方向性

１　整備と管理について

・史跡吉田城址の長期的な保存活用と整備に向けては、行政だけではなく、史跡吉田城址をとりまく多様な担い手と組織が協力して取り組みを進める。
・史跡吉田城址の土地所有者と管理者が異なっている現状を踏まえ、それぞれの土地利用と市民ニーズに応じた必要な現状把握と管理の措置を講じるとともに、諸課題を解決するため、関係者間の連携を進める。

２　地域との連携について

・より多くの市民や団体が史跡吉田城址の保存と活用の取組に関わることができる環境づくりを進める。
・史跡吉田城址の活用や情報発信を担う組織の体制づくりについて、重点的に取り組みを進める。

３　普及啓発や活性化について

・史跡吉田城址の魅力やイベント開催について、効果的な情報発信を行う。
・市内外のイベント開催・参加・誘致や、周辺自治体との連携を進める。

４　財源の確保について

・史跡吉田城址の保存管理や整備活用への財源確保のため、国庫補助金や交付金、民間資金の活用に向けた取り組みを進める。

本章では、上記の方向性に沿った運営・体制の具体的な手法として、次の６項目について方針を定める。

①行政組織間の連携
②市民協働の推進
③活動主体となる団体の体制整備
④整備委員会
⑤関係機関との連携
⑥財源の確保

第２節　方針

１　行政組織間の連携

・史跡吉田城址の現状把握や保護、歴史的景観の管理、来訪者の安全確保等に向けた措置を適切に講じるため、市役所内の関係課・国土交通省豊橋河川事務所・愛知県東三河建設事務所・法務省豊橋刑務支所等との連携を図る。

・史跡吉田城址内に立地する３施設（復興鉄櫓・美術博物館・三の丸会館）が、それぞれの特性を活かした運営を行い、全体として史跡吉田城址の価値を高めるよう、連携を図る。

２　市民協働の推進

・豊橋市文化財センターが運営する文化財サポーター制度や、豊橋観光コンベンション協会が運営する観光ボランティアガイド「ほの国豊橋案内人」、地域の愛好団体等との連携をとりながら、史跡吉田城址を中心に市の歴史文化資源活用の場における市民参加を促進する。また、その活動を支援するための仕組みづくりを目指す。

・生涯学習の場としての活用に向けて、地区市民館・校区市民館等との連携を深める。また、公教育との関わりを深めるため、小中学校や高等学校における社会科教育や部活動、ボランティア活動と連携を進める。

・史跡吉田城址の調査研究を深化させるために、大学等研究機関との連携を目指す。

・地域に愛される城址にしていくために、体験型の市民協働の機会を創出する。この具体的な取り組みの例として、史跡吉田城址の清掃活動への参加や、発掘調査体験の開催等を検討する。

・史跡吉田城址の周辺に所在する文化財を含め、文化財に対する防犯・防災の意識向上と普及啓発に向け、地元関係団体との連携を深めていく。

３　活動主体となる団体の体制整備

史跡吉田城址の活用や集約的な情報発信を実現するための組織（協議会等）の設立に向けた取り組みを積極的に推進する。市から独立的な立場にある組織が普及啓発活動に関わることで、市内外におけるイベント参加・開催・誘致のほか、魅力的なグッズ製作や販売体制の実現を目指す。また、史跡吉田城址の整備活用の経過観察に協議会が参画することで、状況の共有と取り組みの推進を図る。

４　整備委員会

整備基本計画の策定ならびに整備の実施に際しては、有識者や庁内関係部局

長など各関係者で構成された整備委員会を設け、その指導と助言のもとに事業を進める。また、経過観察の手法として、整備委員会への報告や整備委員会による事業の評価・検証を行うものとする。

５　関係機関との連携

・活用のための情報発信において、観光・メディア関係者のほか、公共交通機関との連携を進める。
・地域に存在する様々な資源（例：路面電車・手筒花火等）と連携した取り組みの実施や多様化について検討し、地域の重層的な魅力の創出を図る。

６　財源の確保

・史跡吉田城址の保存管理や整備活用を推進するための財源として、国庫補助金や交付金※1、民間資金の活用に向けた取り組みを進める。
・民間資金の活用に向けては、個別の遺構保護やビュースポット整備を対象としたスポンサー制度※2 や、企業版ふるさと納税制度※3 などを検討する。また、イベント等での収益確保の在り方について検討していく。

※１　国庫補助・交付金の取得の例として、文化財部門においては、文化庁の「地域の特色ある埋蔵文化財活用事業」や、「文化財保存活用地域計画」掲載事業に対する地方創生推進交付金の弾力化措置が挙げられる。

※２　豊橋総合動物公園が運営する「動物スポンサー制度」では、法人（10 万円/１口）・個人（２万円/１口）を募集し、イベント招待や看板・HP 等での紹介等を行っている。

※３　国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対し企業が寄附を行った場合に、寄附額の 6 割を当該企業の法人関係税から税額控除する仕組み。これにより、通常の損金算入による軽減効果（寄附額の約 3 割）と合わせ、最大で寄附額の約 9 割が軽減され、実質的な企業の負担は約 1 割まで圧縮される。

第 10 章　施策の実施計画

各施策の実施計画を、第６次豊橋市総合計画の前期目標年次である令和７（2025）年度までの３年間と、同後期計画（令和８～12〔2026～2030〕年度）、それ以降の期間に分けて、表 10 の通り定める。

第 11 章　経過観察

第１節　方向性

第６章から第 10 章の内容について、第６次豊橋市総合計画の前期基本計画の最終年次（2025）、同後期基本計画の最終年次（2030）、それ以降を経過観察の時期に設定し、表 11 のように実施する。

第２節　方針

史跡吉田城址の保存活用にあたっては、管理団体である本市や、活用の取り組みに積極的に参画する協議会※等が中心となって、表 11 のような項目について経過観察を行い、その結果をその後の保存管理・整備活用に活かしていく。そのために、整備委員会への報告などを行う。

※　協議会（部会）は、令和５（2023）年度の準備会発足、令和６（2024）年度以降の協議会発足を目指す（第 10 章参照）。

表 10　各施策の実施計画

施策	項目	第６次総合計画前期（～2025年度）	第６次
保存管理	調査研究	石垣解体修復工事に伴う発掘調査（～2025年度）	
	樹木管理	樹木管理計画策定 → 住民説明、剪定・伐採	
	日常管理	除草・清掃・モニタリング	
	保存活用計画	経過観察との整合性、現状変更取扱基準の運用、	
活用	イベント・体験プログラム等	計画 → 試験実施 → 実施	
	学校教育	教職員との連携・授業による史跡見学・部活動との	
	展示	展示手法や内容の検討、展示内容の更新	
	ビュースポット	設定 → 歴史的景観の顕在化のための	
	情報発信	ホームページ・ＳＮＳの運営方法、メディア連携等	
整備	計画・設計・整備委員会	各委員会の発足・開催・運営 整備基本計画・サイン計画の策定 （文化財保存活用地域計画の策定） 民間資金の獲得方法の検討 → 民間資金の獲得・取り組みの推進	
	遺構整備（石垣）	遺構修復・歴史的景観の顕在化・遺構保護の措置	
	遺構整備（土塁）	現状の測量・状況把握 → 遺構修復・歴史的景観の顕在化	
	遺構整備（堀）	現状の測量・状況把握 → 遺構修復・歴史的景観の顕在化	
	遺構整備（その他）	現状の測量・状況把握 → 遺構修復・歴史的景観の顕在化	
	動線整備（史跡内）		実施設
	動線整備（史跡外）		実施
	便益施設・管理施設	施設改修・維持の措置	
	復元的整備	デジタルコンテンツ・模型製作等の検討	制作
運営・体制	協議会（部門）の整備	検討・準備組織発足 → 運営・発展	
	ボランティア育成・活用	文化財サポーター・観光ボランティアガイド・　学生	
	関係者間の連携		

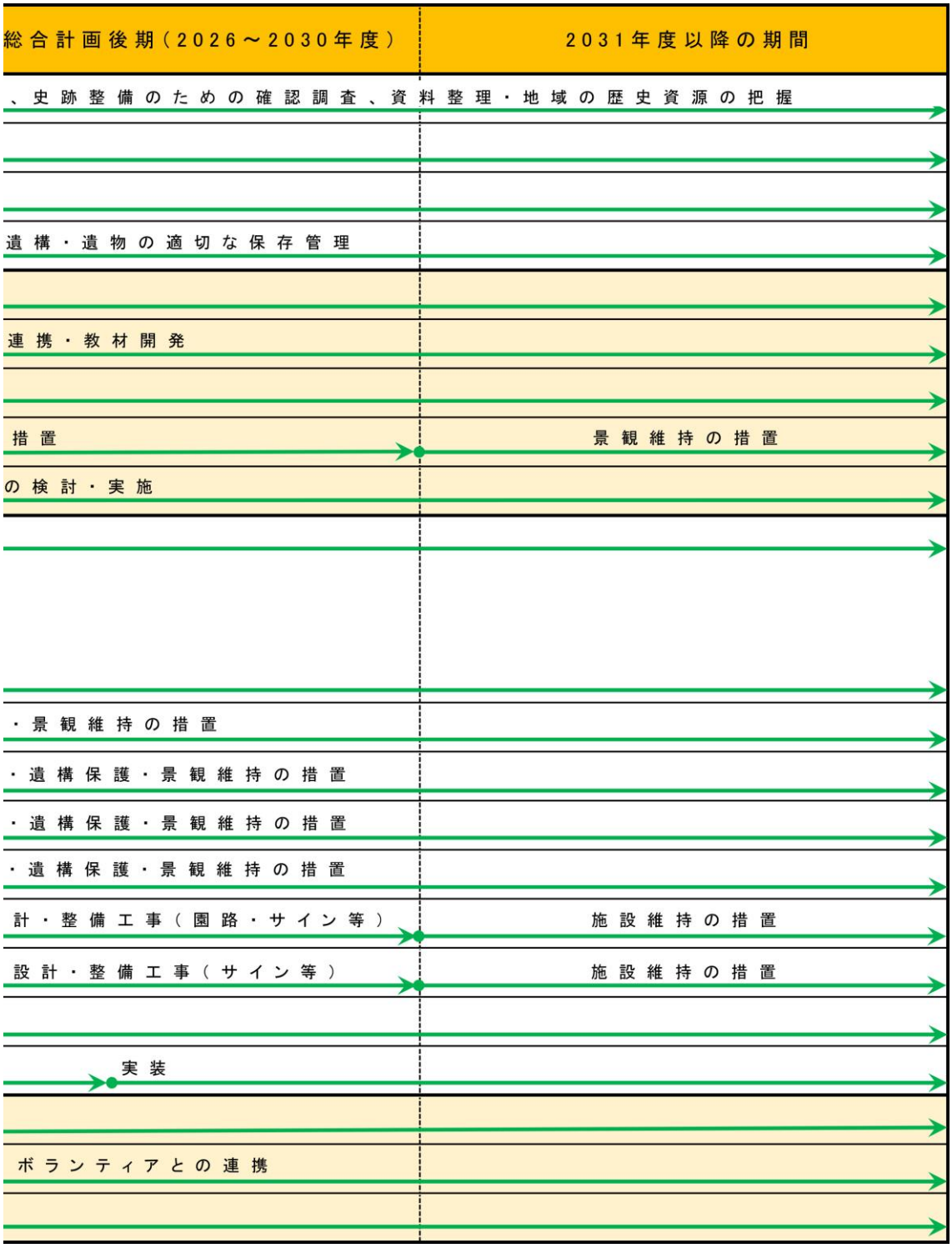

総合計画後期（2026～2030年度）
2031年度以降の期間
、史跡整備のための確認調査、資料整理・地域の歴史資源の把握
遺構・遺物の適切な保存管理
連携・教材開発
措置
景観維持の措置
の検討・実施
・景観維持の措置
・遺構保護・景観維持の措置
・遺構保護・景観維持の措置
・遺構保護・景観維持の措置
計・整備工事（園路・サイン等）
施設維持の措置
設計・整備工事（サイン等）
施設維持の措置
実装
ボランティアとの連携

表 11　経過観察の項目と時期

区分	項目	観察時期（年度）			観察主体	観察手法
		2025	2030	2031~		
計画全体	総合計画に位置づけられているか		○		事務局	整備委員会への実績の報告
	文化財保存活用地域計画との整合性は図られているか※		○			
	財源確保のための取り組みはあるか	○	○	○		
	関連部局・組織との調整は図られているか	○	○	○		
	保存活用計画の見直しは図られているか		○			
	SDGｓの実現に向けた取り組み図られているか		○			
保存管理	史跡吉田城址等の遺構・遺物の調査は進められたか	○	○	○	事務局	整備委員会への実施状況の報告
	史跡吉田城址に係る周辺文化財の調査は進められたか	○	○	○		
	樹木管理は適切に行われているか	○	○	○		
	日常の観察や維持管理は適切に行われているか	○	○	○		
	現状変更の取り扱い基準は適正に運用されているか	○	○	○		
活用	イベントや体験プログラム等は計画的に企画・実施されたか	○	○	○	事務局・協議会	活用実績や年間利用者数、利用者意見
	美術博物館や鉄櫓での展示は計画的に行われたか	○	○	○		
	課外活動や部活動等による史跡見学は図られたか	○	○	○		
	史跡吉田城址の見学や学習のための教材開発を行ったか	○	○	○		
	出土遺物の展示等は行われたか	○	○	○		
	ビュースポットの設定と管理は適切に行われているか	○	○	○		
	周遊ルートの設定と管理は適切に行われているか	○	○	○		
	史跡吉田城址の情報発信の取り組みは推進されたか	○	○	○		
整備	整備基本計画は策定されたか	○			事務局・協議会	整備委員会による事業の評価、検証
	樹木管理計画は策定されたか	○				
	サイン計画は策定されたか	○				
	遺構の測量は行われたか	○				
	来場者の安全確保・利便性向上のための整備は進められたか	○	○	○		
	遺構保存のための整備は進められたか	○	○	○		
	歴史的景観の顕在化のための整備は進められたか	○	○	○		
	史跡吉田城址の指定地内外を結ぶ取り組みは進められたか	○	○	○		
	サイン設置等は進められたか	○	○	○		
	AR・VR・模型等による展示解説について、検討や実装が進められたか	○	○	○		
運営・体制	ボランティアの育成は進められたか	○	○	○	事務局・協議会	整備委員会による事業の評価・検証
	ボランティア団体との連携は進められたか	○	○	○		
	他部局や地域との連携は進められたか	○	○	○		
	市民協働の体制整備は進められているか	○	○	○		
	中心となる団体の体制を整備し、取り組みを進めているか	○	○	○		
	国庫補助金・交付金確保の取り組みは進められたか	○	○	○		
	民間資金活用のための仕組みづくり実施は行われたか	○	○	○		

※令和３～４（2021～2022）年度に計画準備を行い、令和５～７（2023～2025）年度にかけて作成。

資料編

資料１　策定組織

吉田城址保存活用計画　策定委員会　委員

役職	名　前	所　　属	専門等
委員長	中井　均	滋賀県立大学名誉教授	城郭史
副委員長	加藤　理文	（公財）日本城郭協会理事	城郭史
委員	山田　邦明	愛知大学教授	中世史
委員	内浦　有美	豊橋市教育委員・ばったり堂代表	有識者
委員	木戸　珠造	NPO 法人吉田城復元築城をめざす会　代表理事	地域代表
委員	吉見　正樹	八町校区自治会長	地域代表
委員	大谷　政道	（一社）豊橋観光コンベンション協会　常務理事	観光部門代表
委員	金子　知永	豊橋市　都市計画部長	市関係部長
委員	河合　博文	豊橋市　産業部長	市関係部長

吉田城址保存活用計画　庁内意見交換会　委員

委員	所　　属	役　職
1	企画部 政策企画課	課長補佐
2	文化・スポーツ部 「文化のまち」づくり課	課長補佐
3	文化・スポーツ部 「スポーツのまち」づくり課	課長補佐
4	産業部 観光プロモーション課	課長補佐
5	都市計画部 都市計画課	専門員
6	都市計画部 公園緑地課	専門員
7	教育部 教育政策課	課長補佐

吉田城址保存活用計画　市民会議　委員

委員	所　属（市民）
1	市民代表（公募）
2	市民代表（公募）
3	市民代表（公募）
4	豊橋西高校文芸部 部員
5	豊橋西高校文芸部 部員
6	時習館高等学校歴史部 部員
7	時習館高等学校歴史部 部員
8	時習館高等学校歴史部 部員
9	時習館高等学校歴史部 部員
10	吉田城復元築城をめざす会 会員
11	豊橋市文化財サポーター
12	豊橋観光ボランティアガイド「ほの国豊橋案内人」会長
委員	所　属（庁内職員等）
13	都市計画部 公園緑地課 職員
14	産業部 観光プロモーション課 職員
15	都市計画部 都市計画課 職員
16	観光コンベンション協会 職員
17	企画部 政策企画課 職員
18	教育部 教育政策課 指導主事

吉田城址保存活用計画　市民会議　オブザーバー

所　属
時習館高等学校 教諭（歴史部顧問）

資料２　策定委員会及び各部会の経過

委員会・部会名等	開催日	主な議題
市民会議 事前勉強会	令和４年５月27日（金）	・豊橋市指定史跡吉田城址の概要 ・保存活用計画の策定について
第１回市民会議（高校生部会）	令和４年６月26日（日）	・豊橋市指定史跡吉田城址の概要 ・保存活用計画の策定について ・史跡の現状と課題について ・史跡の保存管理について
第１回市民会議	令和４年６月30日（木）	・史跡の現状と課題について ・史跡の保存管理について
第１回庁内意見交換会	令和４年７月21日（木）	・史跡の現状と仮題について ・史跡の保存管理について
第１回策定委員会	令和４年８月29日（月）	・委員長・副委員長の選任について ・史跡の現状と課題について ・史跡の保存管理について
第２回市民会議（高校生部会）	令和４年９月11日（日）	・史跡の活用について ・史跡の整備について
第２回市民会議	令和４年９月29日（木）	・史跡の活用について ・史跡の整備について
第２回庁内意見交換会	令和４年10月31日（木）	・史跡の活用について ・史跡の整備について
第２回策定委員会	令和４年11月28日（月）	・史跡の活用について ・史跡の整備について
第３回市民会議（高校生部会）	令和４年12月18日（日）	・運営と体制の整備について ・経過観察について
第３回市民会議	令和４年12月19日（月）	・運営と体制の整備について ・経過観察について
第３回庁内意見交換会	令和５年１月17日（火）	・運営と体制の整備について ・経過観察について
第３回策定委員会	令和５年２月２日（木）	・運営と体制の整備について ・経過観察について ・計画案の承認

豊橋市指定史跡　吉田城址保存活用計画

豊橋市

2023 年（令和５年）３月 31 日
発行　豊橋市教育委員会
　　教育部美術博物館（文化財センター）
電話　（0532）56-6060
〒440-0897　豊橋市松葉町３丁目１番地

別紙 23 土地使用料について

１．概要

計画地は国有地であるため、国（東海財務局）と公園管理者である本市が国有財産無償貸付契約に基づき本市が公園の維持管理等を行っているが、今後、多目的屋内施設で営利を目的とした興行が行われた場合、事業者は使用された部分について、その使用期間にかかる使用料相当額を支払うことが想定される。

【愛知県体育館の場合（愛知県新体育館整備・運営等事業要求水準書抜粋）】

国（東海財務局）と公園管理者である名古屋市が「国有財産無償貸付契約」を締結しており、同契約第 18 条において「営利を目的とした興行が行われた場合には、使用された部分について、その使用期間にかかる使用料相当額を支払う。」

２．留意事項

愛知県体育館と同様に、多目的屋内施設において営利を目的とした興行が行われた場合には、事業者は使用面積及び使用日数を集計し、国へ報告し、その後、国からの請求に基づき、使用料相当額を支払う可能性がある。

なお、土地使用料の算定にあたっては、当該事業に使用する土地の評価額から土地使用料を算出していると想定される。

また、上記の内容について、現在、国（東海財務局）と協議中のため、協議が整い次第、応募者へ通知するものとする。

【参考（愛知県体育館の土地使用料）】

令和 4 年度使用料　約 13,000 千円

別紙 24　什器備品の考え方について

１．什器備品の調達・設置について

本事業における什器備品については、本市と事業者が事業者の提案を基に協議の上、事業者が調達・設置を行うものとする。なお、調達・設置は建設業務において実施されるが、適宜、開業準備業務における運営業務に係る準備業務との連携を図り、本事業の効率的な運営に資する什器備品の調達に努めるものとする。

なお、市民スポーツ競技に必要となる什器備品（ゴール器具や得点盤等）、一般的な基礎的備品（机やロッカー等）の他、各リーグの施設基準に準拠することに資する什器備品についても提案することができる（著しく高価なものや公序良俗に反するものを除く）。

また、リースによる調達も可能とする。事業終了時の取り扱いには、リース契約の延長等について市又は市が指定する者との協議により決定することとする。

２．什器備品の費用負担について

本事業における上記の什器備品の調達・設置・保守管理費用は、サービス購入費に含まれている。

３．自主事業で調達・設置する什器備品について

事業者は、豊橋公園の魅力向上やホスピタリティの向上に資するサービスの提供を行うために、本市の事前の承認を得た上で、自主事業として事業期間に渡り什器備品を調達・設置することができる。自主事業により設置された什器備品の所有者区分については、要求水準書第１．７　追加投資等の取扱いを参照すること。

なお、事業者が自主事業により調達・設置する什器備品は、事業者の独立採算によるものとする。自主事業により設置された什器備品から得られる収入の増加は、事業者に帰属する。

４．什器備品の保守管理について

什器備品保守管理業務の対象範囲は、本事業において設置した什器備品全てとし、事業期間中に設置した什器備品に関しても対象とする。事業者は、什器備品台帳を作成し、事業期間に渡り管理を行う。

５．什器備品一覧について

本事業における什器備品は次表の一覧を参考に提案すること。ただし、品名及び仕様は参考例として示したものであるため、記載の有無に関わらず、提案する施設や事業に合わせて、必要な什器備品を提案すること。

什器備品一覧

設置場所			競技	品名	規格等	参考		数量	単位	備考
						メーカー	品番			
多目的屋内施設	（アリーナ）			国旗・市旗	天笠1,350×1,850			3	組	
				棚	ノンボルト中量ラック	コクヨ	MM-A08325F1N	90	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
			バレーボール	バレーボール用支柱	ペベルギア式　特殊鋼管製	セノー	DE101500	3	組	
				バレーボール用支柱	ペベルギア式　カーボン製	セノー	DE530000	3	組	
				支柱カバー		セノー	DE201000	3	組	
				バレーボール用アンテナ		セノー	DE941100	3	組	
				バレーボール用ネット	6人制ネット	セノー	DE800300	3	組	
				バレーボール用ネット	9人制男子	セノー	DE830200	3	張	
				バレーボール用ネット	9人制女子	セノー	DE830300	3	張	
				審判台		セノー	DL052000	3	台	
				審判台	多種目兼用型	セノー	DL013100	3	台	
				選手交代表示板		セノー	DS9P5410	3	組	
				テンションゲージ		セノー	DZ911000	1	台	
				支柱運搬車		セノー	DE000040	3	台	
			バスケットボール	バスケット台	オレンジゴール　プラスチック板　バックボードマーキング付	セノー	DA067503	3	対	
				ショットクロック	両面表示	セノー	DS400300	3	対	
				セッティングゲージ		セノー	DA060004	3	対	
				セッティングゲージ収納運搬台車	2対用	セノー	DP200100	3	台	2対用
				電光得点表示装置		セノー	DS222000	6	台	
				オルタネイティング・ポゼション表示器		セノー	DS460000	3	台	
				大響ブザー		セノー	DS310001	3	台	
				ファール回数表示器		セノー	DS307000	3	対	
				反則数表示盤	チーム用　収納箱付	セノー	DS504000	3	組	
				反則数表示盤	個人用　収納箱付	セノー	DS512000	3	組	
			卓球	卓球台		三英	VR-VERIC-W　10-312	18	台	卓球ネット・サポート付きの備品を提案すること
				審判台	バドミントン・卓球兼用型	セノー	DL203000	18	台	
				卓球用フェンス		セノー	DH915100	268	台	
				フェンス運搬車	L200　50枚/台	セノー	DP921000	6	台	
				卓球台カバー		三英	11-036	18	枚	
				ラージボール用キャップ		三英	11-527	18	組	
			バドミントン	バドミントン用ネット		セノー	DG801000	16	張	
				兼用支柱	移動式　バドミントン・ソフトバレーボール・インディアカ兼用	セノー	DG220000B	16	組	
				バドミントン用マットオフィシャルコート		セノー	DG902100	提案	面	提案する床仕様に合わせ、要求水準に示す競技が可能となるよう、競技用コートなどを追加導入すること
				コート運搬車		セノー	HP100000	提案	台	競技用コートなどを追加導入した場合に計上すること
		a 競技場	フットサル	フットサル用ゴール	折畳み式	セノー	DJ061100	1	組	
				フットサルネット		セノー	DJ810000	1	対	
				フットサルゴール用ウエイト		セノー	DJ060M27	1	組	
				フットサルゴールウエイト用運搬車		セノー	DJ060M04	1	台	
				壁等保護材				提案		壁等の保護の視点から必要な什器備品を提案すること
			ハンドボール	ハンドゴール		セノー	DJ103100	2	組	
				ハンドボールゴールネット		セノー	DJ830000	4	対	
				ハンドボ－ル退場タイマ－		セノー（モルテン製）	DS980000	2	組	
			ゴールボール	ゴールボールゴールセット		セノー	DR946000	1	対	
				ゴールボール用ボール		セノー	DR945510	1	個	
			ボッチャ	ボッチャボールセットコネクト		セノー	DR972000	1	式	
				ボッチャレフェリーキット		セノー	DR972100	1	式	
				レクリエーション用ボッチャシート		セノー	DR972300	1	枚	
				スタンダードランプ		セノー	DR972200	1	台	
			シッティングバレー	シッティングバレーボール用支柱		セノー	DE530800	1	組	
				シッティングバレーボール用支柱カバー		セノー	DE211800	1	組	
				シッティングバレーボール用アンテナ		セノー	DE941800	1	組	
				シッティングバレーボール用ネット		セノー	DE821800	1	張	
				シッティングバレーボール用ボール				5	球	
			その他	得点板	バレーボール・バスケットボール用	セノー	DS015100	3	台	
				得点板	多種目兼用型	セノー	DS073100	18	台	
				ボール入れ籠	バスケットボール・バレーボール用	セノー	DK060000	6	台	
				フロアーシートビニール		セノー	HH912300	130	本	
				フロアー シー ト整理台	16本掛け	セノー	HH900600	9	台	
				フロアシート巻取器		セノー	HH900110	10	台	
				巻心アダプター		セノー	HH900200	130	組	
				シートリフター		セノー	HH900400	10	組	
				ポータブルステージ		フジタス工業	FS-PN800	30	台	
				ステップ		フジタス工業	STS-600	4	台	
				ステージスカート		フジタス工業	NSC-8	1	式	
				コアラモップハンガーＡ型	12本掛け	セノー	HT980100	2	台	
				コードリール		ハヤタ	GT-50	6	台	
				マイク型拡声器		セノー	HZ921000	2	本	
				清掃用具	施設管理者用、施設利用者用			提案		清掃に必要な什器備品を提案すること
		b 観客席		ドリンクホルダー付きスタッキングチェアー				提案	脚	規模に応じて数量は調整すること

設置場所			競技	品名	規格等	参考		数量	単位	備考
						メーカー	品番			
多目的屋内施設	（ア）メインアリーナ	c ＶＩＰエリア						提案		要求水準書の内容を満たした什器備品を提案すること
		d 更衣室・控室・医務室関連		コインロッカー	有料・コインリターン兼用　6人用	コクヨ	KL-A6G	40	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				キーバンド	コインリターン専用	コクヨ	LKK-2	240	個	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				会議テーブル		コクヨ	KT-P1101	20	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				会議イス		コクヨ	CK-M640	60	脚	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				スポーツロッカー		セノー	JR911800	60	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				ホワイトボードスクリーン	3連　H1800	コクヨ	B03-P318S1S1-1	4	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				病院用ベッド	キャスター付きタイプ	コクヨ	HP-B100F1	1	台	
				マットレス		コクヨ	HP-BM70NN	1	台	
				診察台用枕		コクヨ	HP-DC7	1	台	
				診察台		コクヨ	HP-D4V	1	台	
				脱衣カゴ	2段タイプ　キャスター付き	コクヨ	HP-DK20C	2	台	
				クロススクリーン	2連	コクヨ	SN-CH662	2	台	
				診察デスク	ストレートタイプ	コクヨ	HP-DDIS146	1	台	
				救急医療セット				1		目的に合致した必要な什器備品を提案すること
				ワゴン（M3）	3段引き出しタイプ	コクヨ	SD-GX46M3	1	台	
				医師用イス	サークル肘付き	コクヨ	C06-P402S+C04A-5	1	脚	
				患者用イス		コクヨ	CR-G540E1	2	脚	
				医療用棚		コクヨ	HP-UH1F1NN	1	台	
				医療用台		コクヨ	HP-UD7F1N3	1	台	
				ミーティング用テーブル		コクヨ	MT-JTTR157SAW	1	台	
				会議イス		コクヨ	CK-M640	4	脚	
				製氷機				1		
				担架		セノー	JG983000	3	台	
				車いす		セノー	HZ9811	2	台	
				全自動血圧計	椅子・架台付	セノー	LE921110	1	台	
		e メディアスペース		会議テーブル		コクヨ	KT-P1101	24	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				会議イス		コクヨ	CK-M640	72	脚	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				ホワイトボードスクリーン	3連　H1800	コクヨ	B03-P318S1S1-1	4	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				プロジェクター		NEC	NP-MC393WJL	2	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				機器台		コクヨ	BD-KA70PAWN	2	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
		f 大会運営諸室		会議テーブル		コクヨ	KT-P1101	40	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				会議イス		コクヨ	CK-M640	120	脚	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				ホワイトボードスクリーン	3連　H1800	コクヨ	B03-P318S1S1-1	4	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				プロジェクター		NEC	NP-MC393WJL	1	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				機器台		コクヨ	BD-KA70PAWN	1	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				演台		コクヨ	WA-KA50PAW	1	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				チェアポーター	30脚/台	コクヨ	CP-6400	4	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				3人用ロッカー		コクヨ	LK-3F1	4	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				キーバンド	コインリターン専用	コクヨ	LKK-2	12	個	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
	（イ）サブアリーナ			棚	ノンボルト中量ラック	コクヨ	MM-A08325F1N	50	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
			バレーボール	バレーボール用支柱	ベベルギア式　カーボン製	セノー	DE530000	2	組	
				支柱カバー		セノー	DE201000	2	組	
				バレーボール用　アンテナ		セノー	DE941100	2	組	
				バレーボール用ネット	6人制ネット	セノー	DE830300	2	組	
				バレーボール用ネット	9人制男子	セノー	DE830200	2	張	
				バレーボール用ネット	9人制女子	セノー	DE830300	2	張	
				審判台	多種目兼用型	セノー	DL013100	2	台	
				選手交代表示板		セノー	DS9P5410	2	組	
				テンションゲージ		セノー	DZ911000	1	台	
				支柱運搬車		セノー	DE000040	2	台	
			バスケットボール	バスケット台	オレンジゴール　プラスチック板	セノー	DA067503	2	対	
				セッティングゲージ		セノー	DA060004	2	対	
				セッティングゲージ収納運搬台車	2対用	セノー	DP200100	2	台	
				オルタネイティング・ポゼション表示器		セノー	DS460000	2	台	
			卓球	卓球台		三英	VR-VERIC-W　10-312	10	台	卓球ネット・サポート付きの備品を提案すること
				審判台	バドミントン・卓球兼用型	セノー	DL203000	10	台	
				卓球用フェンス		セノー	DH915100	156	台	
				フェンス運搬車	L200　50枚/台	セノー	DP921000	3	台	
				卓球台カバー		三英	11-036	10	枚	
				ラージボール用キャップ		三英	11-523	10	組	
			バドミントン	バドミントン用ネット		セノー	DG801000	8	張	
				兼用支柱	移動式　バドミントン・ソフトバレーボール・インディアカ兼用	セノー	DG220000B	8	組	
				バドミントンマットオフィシャルコート		セノー	DG902100	提案	面	提案する床仕様に合わせ、要求水準に示す競技が可能となるよう、競技用コートなどを追加導入すること
				コート運搬車		セノー	HP100000	提案	台	競技用コートなどを追加導入した場合に計上
			その他	得点板	バレーボール・バスケットボール用	セノー	DS015100	2	台	
				得点板	多種目兼用型	セノー	DS073100	10	台	
				ボール入れ籠	バスケットボール・バレーボール用	セノー	DK060000	4	台	
				防球ネット		セノー	HA920000	1	式	
				フロアーシートビニール		セノー	HH912300	70	本	
				フロアーシート整理台	16本掛け	セノー	HH900600	5	台	

設置場所			競技	品名	規格等	参考		数量	単位	備考
						メーカー	品番			
多目的屋内施設	（イ）サブアリーナ		その他	フロアシート巻取器		セノー	HH900110	5	台	
				巻心アダプター		セノー	HH900200	70	組	
				シートリフター		セノー	HH900400	5	組	
				ポータブルステージ		フジタス工業	FS-PN800	30	台	
				ステップ		フジタス工業	STS-600	4	台	
				ステージスカート		フジタス工業	NSC-8	1	式	
				コアラモップハンガーＡ型	12本掛け	セノー	HT980100	2	台	
				コードリール		ハヤタ	GT-50	6	台	
				マイク型拡声器		セノー	HZ921000	2	本	
				清掃用具	施設管理者用、施設利用者用			提案		清掃に必要な什器備品を提案すること
				コインロッカー	有料・コインリターン兼用　6人用	コクヨ	KL-A6G	24	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				キーバンド	コインリターン専用	コクヨ	LKK-2	144	個	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
	（ウ）武道関係諸室	a 武道場	剣道	対戦ボード		九櫻	JH310	6	台	
				試合判定マークセット		九櫻	JH2125	6	組	
				剣道審判旗セット		九櫻	JH419	6	組	
				太鼓台	1尺6寸	浅野太鼓楽器		1	台	
				太鼓	1尺6寸用　４本柱またはやぐら型	浅野太鼓楽器		1	台	
			柔道	柔道畳	密着式　すべり防止シート付　イエロー	セノー	EA920281	192	枚	
				柔道畳	密着式　すべり防止シート付　グリーン	セノー	EA920284	396	枚	
				運搬車	柔道畳用　22枚積載	セノー	EP102000	27	台	
				柔道審判旗セット		九櫻	JH418	6	組	
			その他	デジタイマー		セノー（モルテン製）	DS9UX0110	6	台	
				器具運搬車		セノー	AP112000	3	台	
				清掃用具	施設管理者用、施設利用者用			提案		清掃に必要な什器備品を提案すること
				コインロッカー	有料・コインリターン兼用　6人用	コクヨ	KL-A6G	24	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				キーバンド	コインリターン専用	コクヨ	LKK-2	144	個	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				会議テーブル		コクヨ	KT-P1101	16	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				会議イス		コクヨ	CK-M640	48	脚	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
		b 弓道・アーチェリー場	弓道	看的板				2	基	6人立用
				的枠		九櫻	UM24	30	個	
				巻きワラ		九櫻	UM50	3	個	
				巻きワラ台		九櫻	UM60	3	台	
				姿見		九櫻	UM84	2	面	
				弓立		九櫻	UM83	10	個	
				矢立		九櫻	UM82	5	個	
				回転ホワイトボード		コクヨ	BB-R936WW	1	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				コインロッカー	有料・コインリターン兼用　6人用	コクヨ	KL-A6G	5	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				キーバンド	コインリターン専用	コクヨ	LKK-2	20	個	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				和机		コクヨ	KT-C41	6	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
	（エ）多目的室兼会議室			会議テーブル		コクヨ	KT-P1101	50	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				会議イス		コクヨ	CK-M640	150	脚	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				ホワイトボードスクリーン	3連　H1800	コクヨ	B03-P318S1S1-1	3	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				コートハンガー		コクヨ	CH-9SAWEH	2	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
	（オ）トレーニングルーム			トレーニング設備備品				提案		要求水準書の内容を満たした什器備品を提案すること
				コインロッカー	有料・コインリターン兼用　6人用	コクヨ	KL-A6G	24	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				キーバンド	コインリターン専用	コクヨ	LKK-2	144	個	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
	（カ）管理諸室	a 管理事務室		オフィスチェアー		コクヨ	C02-W151C	10	脚	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				スタンダードテーブル		コクヨ	SD-ISN1475CLS	10	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				デスクワゴン	C3ワゴン　シリンダー錠タイプ	コクヨ	SD-IS46C3SAWN4	10	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				パンフレットスタンド	傾斜　3列4段	コクヨ	ZR-PSS403	3	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				パーティションスタンド		コクヨ	APS-B01ERD2	10	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				誘導灯				4	個	規模に応じて品目、数量は調整すること
				カラーコーン				10	個	規模に応じて品目、数量は調整すること
				警備員用ベスト				100	着	規模に応じて品目、数量は調整すること
		b 機械室等						提案		机・イス等、必要な什器備品を提案すること
	（キ）共用部分	a エントランスホール、ラウンジ		案内板	Ｌサイズ	コクヨ	GB-64	10	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				クロスパネル		コクヨ	SN-PB1218	5	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				傘袋スタンド		コクヨ	US-700	5	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				ロビーチェア	3人用	コクヨ	N56-L3C	10	脚	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				センターテーブル		コクヨ	N56-T1-1	5	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				ウォータークーラー				1	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				クロススクリーン	2連　H1800	コクヨ	SN-CH662	1	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				授乳チェア				1	脚	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
				おむつ替え台				1	台	室の形態、規模に応じて品目、数量は調整すること
		b トイレ						提案		便座クリーナー・サニタリーボックス等、必要な什器備品を提案すること

・一覧の品名及び仕様は参考例として示したものであるため，記載の有無に関わらず，提案する施設や事業に合わせて，必要な什器備品を提案すること。

別紙 25　ネーミングライツについて

事業者は、本事業のネーミングライツについて、以下を踏まえ、市と協議のうえで、設定を行うことができる。

１．ネーミングライツの趣旨

ネーミングライツは、市の保有する公共施設等の名称に、契約により企業名や商品名などを冠した愛称を付与させる代わりに、ネーミングライツを取得した民間事業者等（以下、「ネーミングライツパートナー」という。）からその対価を得ることにより、施設の安定的運営と魅力向上を図るものである。

２．本事業におけるネーミングライツの概要

本事業においてネーミングライツを導入することにより、豊橋公園の魅力や利用者のサービスの向上を図り、本事業の収益性の向上並びに市の財政負担の軽減を図ることを目的とする。

ネーミングライツパートナーの選定及び契約の締結は、市と協議のうえで、本事業の自主事業として事業者が自ら実施するものとする。

なお、本事業のネーミングライツ導入後は、本事業のホームページや広報印刷物などにおいて愛称が使用されるが、条例上の施設名称については変更をせず、市において必要な場合は、愛称ではなく条例上の施設名称を使用するものとする。

３．ネーミングライツの対象

本事業のネーミングライツ設定については、本事業の多目的屋内施設（要求水準書第１．２．（７）本事業の対象となる施設参照）を対象とする。事業者からの提案に基づき、市と協議のうえで、ネーミングライツ導入を決定するものとする。

４．ネーミングライツパートナーの要件

以下のいずれかに該当する法人等については、本事業におけるネーミングライツパートナーとしても選定することはできないものとする。

（１）公序良俗に反する事業を行う団体
（２）政治性又は宗教性のある事業を行う団体
（３）地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の４の規定により一般競争入札の参加を制限されている団体
（４）豊橋市広告掲載基準第２条に規定する業種又は事業者
（５）その他、市のネーミングライツパートナーとして不適当と認められる団体

５．愛称の要件

ネーミングライツにより付与する愛称は、市民や施設利用者にとって、親しみやすさや呼びやすさなど、理解が得られる愛称とする。また、以下のいずれかに該当するものは愛称として付与することができないものとする。

（１）法令、規則等に違反するもの

（２）公序良俗に反するもの又はそのおそれがあるもの
（３）基本的人権を侵害するもの又はそのおそれがあるもの
（４）政治性又は宗教性のあるもの
（５）誇大又は虚偽のおそれのあるもの
（６）社会問題その他についての主義又は主張に当たるもの
（７）青少年の健全育成にとって有害であるもの又はそのおそれのあるもの
（８）その他愛称として適当でないと市が認めるもの

６．ネーミングライツの期間

本事業のネーミングライツの期間については、愛称の認知度の定着や利用者の利便性を考慮し、原則として５年以上とし、事業者はより長期の期間の設定に努めるものとする。

なお、利用者の混乱を避けるため、ネーミングライツの期間内において、愛称の変更はできないものとする。ただし、やむを得ない理由により愛称を変更する必要がある場合には、事業者と市とで協議のうえ、その可否を決定するものとする。

７．ネーミングライツに係る対価

本事業では、事業者による安定的な事業経営や魅力的なサービス提供を図る観点から、ネーミングライツに係る対価を事業者が収受するものとする。

ネーミングライツに係る対価の金額については、特に条件を設けないものとする。

８．ネーミングライツの契約

事業者とネーミングライツパートナーにおいて、ネーミングライツ設定の契約を締結する。なお、ネーミングライツ設定に係る費用については、事業者及びネーミングライツパートナーによるものとし、市は一切の費用を負担しないものとする。

９．ネーミングライツの契約の解除

市と事業者との間で締結する特定事業契約が解除その他の理由で終了した場合には、ネーミングライツも特定事業契約の終了と同時に無条件で終了するものとし、市は何らの責任を負担しないものとする。

また、事業者は、ネーミングライツパートナーの選定後にネーミングライツパートナーが「４．ネーミングライツパートナーの要件」の各号に該当する、又は該当することが明らかになった場合、契約を取り消し、又は解除することができるものとする。

また、ネーミングライツパートナーの社会的信用を損なう行為等により対象となる施設のイメージが損なわれた、又は損なわれるおそれがある場合等、市又は事業者が当該ネーミングライツパートナーを適当でないと認める場合には、市と事業者とで協議するものとし、市が要請した場合には、事業者は当該ネーミングライツパートナーとの契約を取り消し、又は解除するものとする。

別紙 26　プロフィットシェアリングの考え方について

【プロフィットシェアリングの考え方については、入札説明書添付資料５「特定事業契約書（案）」の別紙７に記載しているため、参照すること。】

別紙 27　自主事業について

１．自主事業について

事業者は、豊橋公園の魅力向上等に資することを目的として、事業者の独立採算により自主事業を行うことができる。

新たに公園施設を設置する場合は、今後豊橋市都市公園条例に定める設置管理許可使用料を市に支払うものとする。

２．民間活力を活かした施設に求める機能

レストラン・カフェ、こども向け遊戯施設（有料も可）など、施設整備面・運営面を含めて、豊橋公園の魅力向上に資する積極的な提案を求める。なお、施設規模は建築面積 500 ㎡までとする。

３．自主事業の種類と事業者が本市へ支払う費用のイメージ

施設・場所		主な自主事業	費用	備考
屋内	①　多目的屋内施設（運営権設定）	飲食・物販業務 広告誘致業務 イベント開催	なし	運営権を権原に、ホスピタリティの向上に資するサービスの提供を事業者自ら実施又は第三者に委託（事業者が第三者へ賃貸借する場合は本市と賃貸借契約を締結する）
		追加投資		収入の増加は事業者に帰属
	②　上記①を除く本事業の対象施設	飲食・物販業務 広告誘致業務 イベント開催	行政財産目的外使用料	
屋外	③　事業予定区域内の屋外	【民間活力を活かした施設】の設置・運営	設置管理許可使用料	
		イベント開催	占用料	

【令和５年11月28日修正版】

別紙 28　一般利用日等の取扱い

多目的屋内施設における一般利用の設定方法、予約方法等については、下記の考え方を基準として市と事業者が協議のうえで定める。

１．一般利用日・一般利用料金の設定について

- 多目的屋内施設のメインアリーナ及びサブアリーナについては、営利を目的としない一般利用の日（以下、「一般利用日」という。）と、営利を目的とする興行等の利用の日（以下、「興行等利用日」という。）に区別し、それぞれに対する利用料金の設定について提案すること。興行等利用日の利用料金については、事業者の提案に基づき市と協議したうえで、事業者が利用料金を定める。一般利用日の利用料金については、事業者の提案を参考として、市及び他都市の類似施設の料金水準等を踏まえて、市が条例を制定又は改正し、事業者がその金額の範囲内で利用料金を定める。
- なお、メインアリーナ及びサブアリーナ以外の諸室についても、上記と同様に一般利用日と興行等利用日に区別して利用料金を設定する提案も可能とする。
- メインアリーナにおける各年度の一般利用日は、年間 60 日以上（土日・祝日 24 日以上を含む）とすること。なお、サブアリーナは原則通年の一般利用を想定しているが、興行等利用日として貸し出すことも可能とする。
- 予め市が認める行事（市内スポーツ大会等）については、一般利用日の内定と同時に予約を受け付ける（以下「優先予約」という。）こと。
- 事業者の収益を確保するため、先着順により受付を開始した一般利用日については興行による利用も可とし、最終的な実績として一般利用料金が適用された日が規定の日数を下回った場合でもペナルティの対象とはならない。

２．一般利用日の利用予約ルールについて

多目的屋内施設の利用予約ルールについては、市及び他都市の類似施設の運用を踏まえて、事業者の提案によるものとするが、メインアリーナの一般利用日の利用予約ルールについては、以下の運用を基本として、市・事業者協議のうえで決定する。

① 当該年度の前年度 11 月頃・・・市と事業者は当該年度の予約状況を確認して協議を行い、予約の入っていない日から、メインアリーナで 60 日以上（土日・祝日 24 日以上を含む）を選定する。

② 当該年度の前年度１月頃～３月・・・優先予約分を除いて「一般利用日」として募集する。

③ 当該年度の４月以降・・・一般利用日として設定され募集された日についても、事業者は一般利用日または興行等利用日として、全ての予約を受け付けることができる。

３．豊橋市総合体育館における利用予約の受付手順について

多目的屋内施設における利用予約の運用の参考とするため、豊橋市総合体育館における利用予約の受付手順を以下に示す。

■　優先予約

①　当該年度の前年度 11 月頃・・・施設利用調整会議を行い、当該年度の優先予約を確定する。

②　優先予約の内容を予約システムに入力する。

■　一般利用予約（※利用日の２か月前から開始）

①　利用者からの問合せに対して、利用希望日を聞き取り、施設の予約の空き状況を確認する。

②　窓口にて施設の利用方法や使用備品等の条件を確認したうえ、利用承認申請書を利用者に記載してもらい、受理する。

③　指定管理者が予約システム（e あいち（あいち共同利用型施設予約システム））に②の申請内容を入力し、予約を確定する。

別紙 29　利用料金設定イメージ

１．利用料金設定の対象

本事業の対象施設の中で、多目的屋内施設、陸上競技場、テニスコート、相撲場、駐車場には利用料金制を導入する。その他の施設についての利用料金制の導入については、事業者の提案を踏まえ、市と協議のうえ、決定する。

２．利用料金設定のイメージ

<table>
<tr><th colspan="2">施設分類</th><th>既存の利用料金</th><th>本事業の利用料金</th></tr>
<tr><td>既存のままとする施設</td><td>陸上競技場</td><td>豊橋公園条例
において上限設定</td><td>据え置き</td></tr>
<tr><td rowspan="4">新設・再整備する施設</td><td>テニスコート</td><td>（硬式庭球場・
軟式庭球場）
豊橋公園条例
において上限設定</td><td rowspan="3">事業者の提案を参考として、本市及び他都市の類似施設の料金水準等を踏まえて、本市が条例を制定又は改正し、事業者がその金額の範囲内で利用料金を定める</td></tr>
<tr><td>相撲場</td><td>豊橋市武道館条例
において上限設定</td></tr>
<tr><td>駐車場</td><td>・本市による直営（無料）
・美術博物館駐車場使用に関する規則において使用料設定（有料）</td></tr>
<tr><td>多目的屋内施設</td><td>なし（武道場機能は
豊橋市武道館条例
において上限設定）</td><td>（興行等利用日）
事業者の提案に基づき市と協議したうえで、事業者が利用料金を定める</td></tr>
</table>

３．多目的屋内施設の利用料金設定について

運営権設定施設である多目的屋内施設のメインアリーナ及びサブアリーナについては、営利を目的としない「一般利用日」と、営利を目的とする「興行等利用日」に区別し、それぞれに対する利用料金の設定について提案すること。一般利用の考え方については、「別紙 28　一般利用日等の取り扱い」を参照すること。

【令和５年11月28日修正版】

別紙30　豊橋市体育施設利用料金減免要綱

豊橋市体育施設利用料金減免要綱

（趣旨）

第１条　この要綱は、市有体育施設に係る各条例に基づき、利用料金の免除及び減額の基準について定めるものする。

（免除又は減額の対象となる施設）

第２条　利用料金を免除又は減額する施設は、次のとおりとする。

（１）豊橋公園内の豊橋球場、陸上競技場、硬式庭球場、軟式庭球場、武道館及び東田公園内の東田球場

（２）高師緑地青少年広場照明設備、向山運動広場照明設備、明海広場照明設備

（３）地区体育館（１０館）

（４）トレーニングセンター

（５）岩田総合球技場内の市民球技場、市民球場、市民庭球場、豊橋市民クラブハウス

（６）総合体育館

（７）万場調整池庭球場

（８）屋内プール・アイスアリーナ

（９）総合スポーツ公園サッカー場

（利用料金を免除する行事）

第３条　次の行事（行事を開催するための各種会議等を含む。）に係る利用料金は免除する。

（１）豊橋市（附属機関を含む）が主催又は共催する行事

（２）市内小中学校又は市内特別支援学校が行う部活動等の行事

（３）公益財団法人豊橋市スポーツ協会が主催する行事

（４）豊橋市が事務局又は構成員となっている実行委員会等が主催する行事

（５）豊橋市が認めた総合型地域スポーツクラブが主催する行事

（６）スポーツ推進委員ブロック会議等で企画又は承認されたブロック行事及び校区体育行事

（７）社会福祉法に基づく市内社会福祉団体が行う、身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳所持者のスポーツ活動を主目的とする行事

（８）当該施設の指定管理者が市の承認を得て実施する自主事業

（利用料金を減額する行事）

第４条　次の行事等に係る利用料金は２分の１に減額する。

（１）公益財団法人豊橋市スポーツ協会が共催するスポーツ行事

（２）公益財団法人豊橋市スポーツ協会の加盟団体が主催又は主管するスポーツ行事

（３）市内高等学校が行う部活動等のスポーツ行事

（４）屋外施設において、大会開催のための予備日として専用使用承認を受けたものを大会が順調に終了したために取り消すとき。ただし、すでに減額されている場合を除く。

２　前項に掲げるもののほか、特例かつ公益上必要な行事等に係る利用料金は原則２分の１に減額する。

３　前二項の規定にかかわらず、次の利用料金は減額しない。

（１）屋外施設の照明設備利用料金
（２）個人利用料金及び個人利用の場合の附属設備利用料金等

（減額後利用料金の計算方法）
第５条　第４条第１項各号に該当する行事に係る減額後の利用料金は、利用日ごとの合計金額の２分の１に相当する額（１０円未満の端数が生じた場合は１０円に切り上げる。）とする。

（利用料金減免申請手続）
第６条　この要綱に基づき利用料金の減免を申請する者（以下「減免申請者」という。）は、各施設の関係規則に定められた利用料金減免申請書を当該施設の専用利用承認申請書に添えて、指定管理者に提出しなければならない。
２　指定管理者が必要とするときは、減免申請者は第３条又は第４条第１項又は第２項に該当する行事であることを証明する書類のほか、行事の内容を明らかにする書類等を利用料金減免申請書に添付しなければならない。

（利用料金減免対象行事の通知）
第７条　市長は、第４条第２項に該当する行事を当該行事の利用承認申請期限前に、様式１により指定管理者に通知しなければならない。

（協議及び報告）
第８条　指定管理者は、この要綱に基づく申請を却下しようとするときは事前に市と協議しなければならない。
２　指定管理者は、利用料金の減免を行ったときは市に報告をしなければならない。

（関係書類の保管）
第９条　指定管理者は、利用料金減免申請書及び第６条第２項に掲げる書類を５年間保管しなければならない。また、指定期間終了後は次の指定管理者に引き継がなければならない。

（その他事項）
第１０条　指定管理者は、この要綱に基づく申請の取扱いに疑義が生じたときは、速やかに市と協議するものとする。

附　則
１　この要綱は、平成２１年１月１日から施行する。
２　この要綱は、平成２１年４月１日以後の体育施設利用に係る利用料金の減免に適用する。
３　豊橋市体育施設利用者減免要綱（昭和 57 年４月１日）は、平成２１年３月３１日以前の体育施設使用に係る使用料の減免に適用し、平成２１年４月１日に廃止する。

附　則
この要綱は、平成２４年４月１日から施行する。

附　則
この要綱は、平成２６年４月１日から施行する。

附　則

この要綱は、平成２８年１０月３日から施行する。

附　則

この要綱は、平成２９年４月１日から施行する。

附　則

この要綱は、令和２年４月１日から施行する。

附　則

この要綱は、令和４年４月１日から施行する。

附　則

１　この要綱は、令和６年４月１日から施行する。

（経過措置）

２　この要綱の施行の日前に利用料金の減免について承認を受け、又は申請をした者の当該利用に係る利用料金の額については、なお従前の例による。

豊橋市総合体育館・利用料金減免実績一覧表

（単位：千円）

				①市の後援による減免		②公益財団の共催による減免		③その他の減免	
年度	減免金額	減免件数	利用料金額（減免後）	減免件数	減免金額	減免件数	減免金額	減免件数	減免金額
平成30年度	34,514	344	24,479	56	18,480	0	0	288	16,034
令和元年度	15,484	134	24,920	92	12,184	0	0	42	3,300
令和2年度	20,884	301	20,131	86	13,851	0	0	215	7,033
令和3年度	30,255	438	27,464	134	19,481	0	0	304	10,774
令和4年度	34,702	474	34,560	194	23,053	0	0	280	11,649